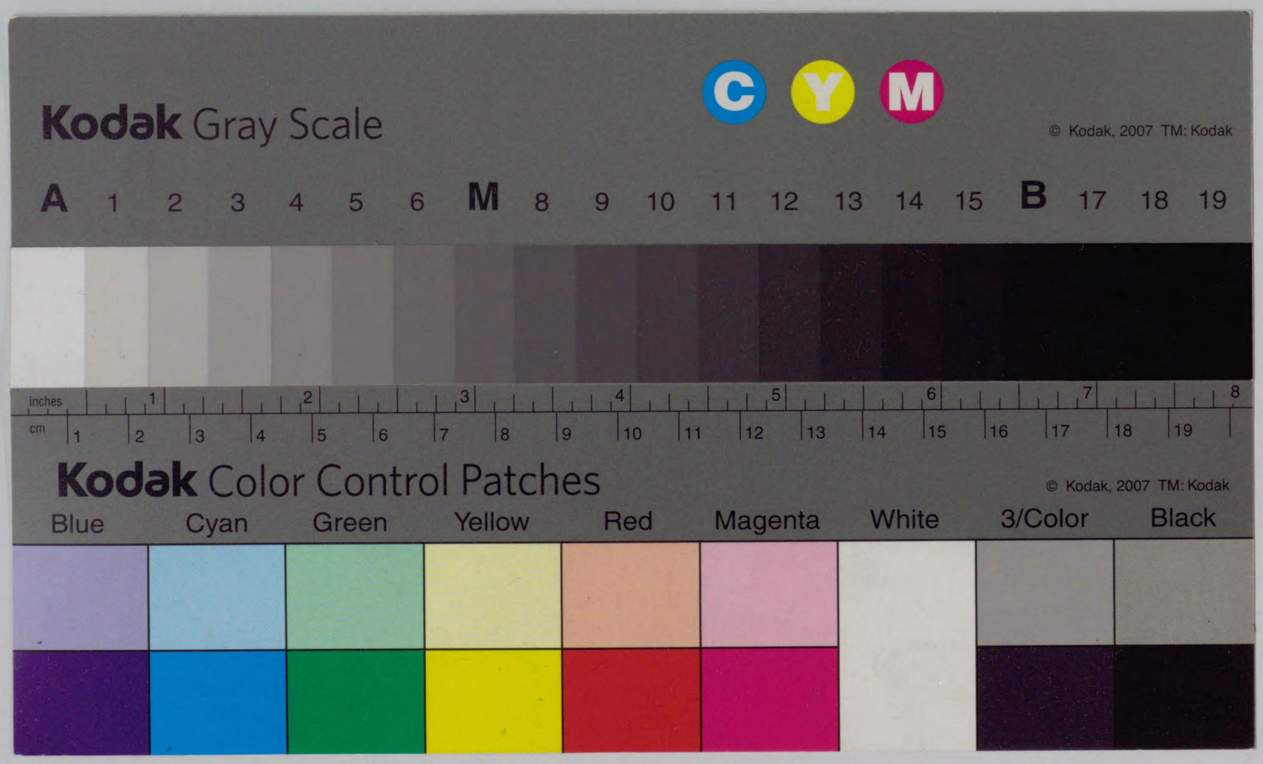

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

638
81

638
81

148

村越三千男編並画

内外植物原色大圖鑑

第三巻

東京 内外植物大圖鑑刊行會 發行

638
81

638-81
特別

第三巻目次

筒花群（其二） *TUBIFLORAE* 1

13. しんけい（唇形）科　Labiatæ 1
14. くまつづら（馬鞭草）科　Verbenaceæ 37
15. むらさき（紫草）科　Borraginaceæ 44
16. ハゼリサウ科　Hydrophyllaceæ 55
17. はなしのぶ（花葱）科　Polemoniaceæ 56
18. ひるがほ（旋花）科　Convolvulaceæ 59

回旋花群 *CONTORTAE* 70

1. たうわた（蘿藦）科　Asclepiadaceæ 70
2. けふちくたう（夾竹桃）科　Apocynaceæ 76
3. りんだう（龍膽）科　Gentianaceæ 80
4. まちん（馬錢）科　Loganiaceæ 88
5. もくせい（木犀）科　Oleaceæ 91

カキ群 *EBENALES* 100

1. えごのき（齊墩果）科　Styracaceæ 100
2. はひのき（灰木）科　Symplocaceæ 104
3. かき（柿樹）科　Ebenaceæ 107
4. あかてつ（赤鐵）科　Sapotaceæ 113

イソマツ群 *PLUMBAGINALES* 114

1. いそまつ（磯松）科　Plumbaginaceæ 114

サクラサウ群 *PRIMULALES* 117

1. さくらさう（櫻草）科　Primulaceæ 117
2. やぶかうじ（紫金牛）科　Myrsinaceæ 129

シャクナゲ群 *ERICALES* 133

1. しゃくなげ（石南）科　Ericaceæ 133
2. いちやくさう（鹿蹄草）科　Piroraceæ 152
3. りやうぶ（令法）科　Clethraceæ 155

イハウメ群 *DIAPENSIALES* 156

1. いはうめ（岩梅）科　Diapensiaceæ 156

＊　＊　＊

638
81

次卷所載豫告　鐘花群—菊科

1. キク　Chrysanthemum
2. シヲン　Aster
3. ノコギリサウ　Achillea
4. カヒザイク　Ammobium
5. ムギワラギク　Helichrysum
6. カミツレ　Matricaria
7. ローマカミツレ　Anthemis
8. ウサギギク　Arnica
9. アフリカギク　Arctotis
10. キセンセン　Calendula
11. ヒナギク　Bellis
12. アフリカヒナギク　Lonas
13. サツマギク　Callislephus
14. ベニバナ　Calthamus
15. ルリニガナ　Catananche
16. ヤグルマギク　Centaulea
17. キクヂシヤ　Cichorium
18. テウセンアザミ　Cynara
19. オホアザミ　Silybum
20. ハルシヤギク　Coreopsis
21. マツバハルシヤギク　Helenium
22. オホハルシヤギク　Cosmos
23. テンヂクボタン　Dahlia
24. テンニンギク　Gailardia
25. クンシャウサウ　Gazania
26. ヒマハリ　Helianthus
27. シカクヒマハリ　Tetragonotheca
28. ヒメキクイモ　Heliopsis
29. ハナカンザシ　Helipterum
30. センボンヤリ　Gerbera
31. バレンギク　Lepachys
32. ムラサキバレンギク　Echinacea
33. キリンギク　Liatreis
34. クッカウアザミ　Ageratum
35. フキ　Petasites
36. クッントウ　Tussilago
37. フクワウサウ　Prenanthes
38. オホハンゴンサウ　Rudbeckia
39. ジヤノメギク　Sanvitalia
40. ルリギク　Stokesia
41. センジュギク　Tagetes
42. オランダセンニチ　Spilanthes
43. ステビア　Stevia
44. バラモンジン　Tragopogon
45. アフリカキンセン　Dimorphotheca
46. ヒヤクニチサウ　Zinnia
47. ブタクサ　Ambrosia
48. ヨモギギク　Tanacetum
49. サンシチサウ　Gynura
50. ゴバウ　Arctium
51. タンポポ　Taraxacum
52. ノブキ　Adenocaulon
53. ハハコグサ　Gnaphalium
54. ヤマハハコ　Anaphalis
55. シマイヅハハコ　Microglossa
56. エゾノチチコグサ　Antennaria
57. ウスユキサウ　Leontopodium
58. ヨモギ　Artemisia
59. ヲケラ　Atractylis
60. タカサブラフ　Eclipta
61. タウコギ　Bidens
62. セリバセンダングサ　Glossogyne
63. ヌマダイコン　Adenostemma
64. タウカセン　Buphthalmum
65. モミヂハグマ　Ainsliaea
66. ヤブレガサ　Cacalia
67. ヤブタバコ　Carpesium
68. ヤハズアザミ　Carduus
69. オホヒレアザミ　Onopordon
70. アザミ　Cirsium
71. キツネアザミ　Hemistepta
72. サントリサウ　Cnicus
73. ヤマヂワウギク　Conyza
74. トキンサウ　Centipeda
75. タカサゴトキンサウ　Cotula
76. オホトキンサウ　Epaltes
77. シマトキンサウ　Soliva
78. オニタビラコ　Crepis
79. ヤブタビラコ　Lapsana
80. モクビヤクカウ　Crossostephium
81. ブクリヤウサイ　Dichrocephara
82. ヒゴタイ　Echinops
83. ミスミギク　Elephantopus
84. ヒメジヨヲン　Erigeron
85. ヒヨドリバナ　Eupatorium
86. カウゾリナ　Picris
87. ミヤマカウゾリナ　Hierancium
88. ヲグルマ　Jnula
89. ネバリヲグルマ　Grindelia
90. ワウゴンサウ　Hypochoeris
91. アキノノゲシ　Lactuca
92. コケセンボンギク　Lagenophora
93. タカラカウ　Ligularia
94. シウブンサウ　Rhynchospermum
95. タウヒレン　Saussurea
96. サハギク　Senecio
97. タムラサウ　Serratula
98. メナモミ　Siegesbeckia
99. ヲナモミ　Xanthium
100. コケタンポポ　Solenogyne
101. アキノキリンサウ　Solidago
102. ハチヂヤウナ　Sonchus
103. シャウジャウバナ　Vernonia
104. ハマグルマ　Wedelia
105. カウヤバハキ　Pertya

内外植物原色大圖鑑卷之三

13. しんけい(脣形)科 LABIATÆ.

本科の植物は草本又は稀に灌木にして．概ね芳香を有する腺毛を有す。莖は方形．葉は單葉をなし．對生．又は輪生し．托葉を有せず。花は完全にして不整齊なるを普通とし．腋生にして．單生或は雙生．又は密繖花序．或は遠心的の穗狀聚繖花序をなし．且相聚合して更に輪繖花序をなす。花は2枚の苞及小苞とを有す。雄蕊は先熟なり。蕚は下位にして永存し．整齊．又は上下2唇をなすか或は5齒又は5裂(稀に4齒)をなし．概ね脈紋を有す。花冠は長短あれど．いづれも管狀をなし．上部は4-5裂し．概ね上下の2唇に分れ當中に於ては覆瓦樣に排列し．上唇は其上部にあり。又上唇は2裂又は全緣をなすことあれども．下唇は概ね3裂す。雄蕊は花冠の管狀部に着生し．通常4箇を有し．2長．2短をなし．何れも完全なるか．又は其中の2箇は不完全なり。花絲は概ね細長にして相分離し．花冠の裂片と互生す。葯は2胞にして内向するか．或は併合して單胞となる。概ね環狀の花盤を有し．多肉なり。子房は上位にして合着せる2箇の心皮より成り．各々2裂をなせるが故に．其全形は恰も4裂又は4分の狀態をなし．且其内部には4室を有し．毎室に單卵子を藏す。卵子は直立し．倒生にして底着す。花柱は纖長にして分裂せる子房の中央より生ず。果實は乾燥せる4箇の小堅果をなせども．稀に肉質をなすものありて．何れも單種子を藏す。種子は小形にして直立．又は傾上し種皮は薄く．内胚乳を缺除するか．或は少量を有することあり。胚は直立．又は稀に彎曲す。子葉は多肉．幼芽は短くして下位なり。

1 脣形科の代表花

本科に屬する植物は廣く全世界に播布し．殊に溫．熱兩帶に多く．寒帶には稀なるものなり。現時に於ける既知のものは．概略150屬．3000種との事なれども．本邦には自生品及外來園藝栽培種等を合併し．大約48屬．200種餘を産出す。

本科所載植物召目次

アヲクルマバナ……1476
アヲジソ……1557
アヲソ……1557
アヲヤマジソ……1543
アキギリ……1593
アキチヤウジ……1578
アキノタムラサウ……1584
アシタカジヤカウサウ1468
アゼコシ……1515
アフギカヅラ……1454
アリタサウ……1546
イガニガクサ……1493
イスバンサルビヤ……1605
イタチジソ……1492
イトカケサウ……1483
イヌカウジユ……1536
イヌゴマ……1627
イヌジソ……1509
イヌチヨロギ……1637
イヌハクカ……1547
イヌヒキオコシ……1570
イヌヒキオコシ……1608
イヌヤマハクカ……1570
イハジヤカウサウ……1641
イハジシヤ……1457
イブキジヤカウサウ……1642
ウスギナツノタムラサウ……1587
コガネヤナギ……1624
コシロネ……1519
コトヂサウ……1594
コナガヤブチヨロギ……1635
コナミキ……1620
コニガクサ……1638
コバノタツナミサウ……1610
コマドメ……1584
コリユース……1478
コリンサウ……1482
サヤバナ……1478
サルダヒコ……1519
サルビヤ……1599
サンガイグサ……1504
シソ……1556
シソバタツナミ……1611
ジナイモ……1632
ジフニヒトヘ……1455
ジフネン……1562
シマカコサウ……1459
シマキランサウ……1459
シモバシラ……1499
ジヤカウサウ……1467
シラゲメバハキ……1551
シロジソ……1557
シロソ……1557
シロネ……1515
シロバナアキチヤウジ1579
ハナハクカ……1554
ハヒコトヂサウ……1595
ハマヂシヤ……1457
ハルノタムラサウ……1589
ヒキオコシ……1571
ヒキオコシダマシ……1608
ヒゲオシベ……1582
ヒゴロモサウ……1607
ヒソツブ……1497
ヒメオドリコサウ……1502
ヒメキセワタ……1512
ヒメキランサウ……1448
ヒメクルマバナ……1506
ヒメサヤバナ……1479
ヒメサルダヒコ……1520
ヒメジソ……1538
ヒメシロネ……1518
ヒメタツナミサウ……1614
ヒメタムラサウ……1591
ヒメナミキ……1621
ヒメニガクサ……1640
ヒメハクカ……15.8
ヒメメグサ……1528
ヒラギサウ……1449
ビロウドタツナミ……1610
ビロウドチヨロギ……1634
ビロウドナミキ……1623
フジテンニンサウ……1484
ウヅタツナミ……1611
ウツボグサ……1463
ウヅラキランサウ……1447
ウライフドリコサウ……1503
ウルキ……1455
ウルヒ……1455
エ……1562
エゴマ……1562
エゾイヌゴマ……1628
エゾクルマバナ……1476
エゾコシロネ……1521
エブシロネ……1521
エゾタツナミサウ……1615
エゾナミキサウ……1617
エゾニガクサ……1640
エゾノナミキサウ……1618
エゾミンガハサウ……1549
エンシウニシキサウ……1451
エンメイサウ……1571
オトメサルビヤ……1603
ヲドリコサウ……1501
ヲドリサウ……1501
オニサルビヤ……1606
オホキセワタ……1565
オホジフニヒトヘ……1507
オホナミキサウ……1618
オホバキセワタ……1565
オホバナベニサルビヤ1607
オホバミヅトラノヲ……1489
オホバヤマハクカ……1568
オホヒキオコシ……1581
オホヤマジソ……1542
オランダジソ……1560
オランダハクカ……1531
カイジンドウ……1450
カウスキサウ……1525
カウライジソ……1560
カキドホシ……1545
カコサウ……1463
カスミグサ……1504
カタメンジソ……1559
カハミドリ……1443
カヒガラサルビア……1532
カミバハキ……1552
カメバサウ……1572
カメバヒキオコシ……1572
カラフトナミキサウ……1619
カルラバノサルビヤ……1600
カンキリグサ……1545
カントリグサ……1545
カントリサウ……1545
キクバジフニヒトヘ……1450
キセワタ……1511
キダチハクカ……1473
キダチヒヤクリカウ……1643
キバナノクルマバナ……1492
キランサウ……1446
キランニシキゴロモ……1460
キリツボ……1578
キンモンサウ……1452
キンランジソ……1478
クルマバナ……1474
クルマヤマハクカ……1569
クロバノヒキオコシ……1575
クワエンキセワタ……1509
クワクカウサウ……1630
クワクカウチヨロギ……1630
ケイガイ……1546
ケサヤバナ……1480
ケシヤウサルビヤ……1602
ケシロネ……1516
ケナシツルカコサウ……1453
ケナツノタムラサウ……1586
ケハクカ……1530
コアキチヤウジ……1580
コガネバナ……1624
シロバナイヌカウジユ1537
シロバナウツボグサ……1464
シロバナカハミドリ……1444
シロバナヤマジソ……1541
ジンドウサウ……1449
スズカウジユ……1561
セイスキサウ……1488
セイヤウイヌゴマ……1631
セイヤウナミキサウ……1626
セイヤウヤマハクカ……1525
セイラン……1486
セージ……1599
タイマツバナ……1534
タイワンカハミドリ……1445
タイワンシロネ……1517
タイワンナギナタカウジユ……1491
タイワンハクカ……1529
タイワンハナハクカ……1555
タイワンヒメジソ……1539
タイワンメバハキ……1553
タカクマヒキオコシ……1577
タカサゴタムラサウ……1592
タカネジヤカウサウ……1468
タジマタムラサウ……1588
タチキランサウ……1451
タチジヤカウサウ……1643
タチムシヤリンダウ……1487
タツナミサウ……1609
タテヤマウツボグサ……1466
タニジヤカウサウ……1469
タフバナ……1470
チクマハクカ……1547
チゴクノカマノフタ……1446
チシマヲドリコサウ……1492
タマザキウラガヘリバナ……1493
チヂミジソ……1560
チームサウ……1643
チヤボナミキ……1623
チヨウロギ……1632
チヨウロク……1632
チヨナ……1632
チヨロギ……1632
チヨロギダマシ……1627
チリメンアヲジソ……1558
チリメンジソ……1560
ツクバネキンモンサウ1453
ツルイヌチヨロギ……1639
ツルカコサウ……1457
ツルジンドウ……1454
ツルニガクサ……1639
テウセンイヌゴマ……1629
テウセンジソ……1560
テンニンサウ……1483
トラノヲジソ……1561
トンビグサ……1504
ナガハタツナミサウ……1613
ナガバヤブチヨロギ……1634
ナギナタカウジユ……1490
ナツノタムラサウ……1585
ナミキサウ……1616
ナントウイガニガクサ1494
ナンヤウサヤバナ……1481
ニガクサ……1637
ニガハクカ……1523
ニシキゴロモ……1452
ニシキジソ……1478
ニヒタカジヤカウサウ1555
ニホヒニガクサ……1496
ヌカエ……1556
ノチヨロギ……1637
ノラエ……1556
ハクカ……1527
ハクサンカメバサウ……1573
ハゲイトウモドキ……1478
ブゾロイバナ……1462
フブキバナ……1498
フブキバナ……1535
ベニバラサルビヤ……1601
ホザキイガニガクサ……1495
ホザキムシヤリンダウ1487
ホソバシモバシラ……1500
ホソバノヤマハクカ……1570
ホソバヤマジソ……1544
ホトケノザ……1504
ホトケノツツジ……1504
マネキグサ……1514
マヨナラ……1522
マルバハクカ……1523
マンシユウヒキオコシ1576
マンネンロウ……1533
ミゾカウジユ……1538
ミゾカウジユ……1598
ミソガハサウ……1548
ミツデコトヂサウ……1596
ミヅトラノヲ……1488
ミツネコノヲ……1489
ミツバコトヂサウ……1597
ミヤマウツボグサ……1465
ミヤマキランサウ……1505
ミヤマクルマバナ……1475
ミヤマタフバナ……1472
ミヤマタムラサウ……1590
ミヤマナミキ……1622
ミヤマヒキオコシ……1574
ムシヤリンダウ……1486
ムラサキサルビヤ……1604
ムラサキテンニンサウ1485
ムラサキニヒタカハクカ……1526
ムラサキヒキオコシ……1581
メグサ……1527
メハジキ……1510
メバハキ……1550
メヤマハクカ……1567
メリツササウ……1525
モナルダサウ……1533
ヤクモサウ……1510
ヤクヤウサルビヤ……1599
ヤクリカウ……1642
ヤグルマクワクカウ……1533
ヤナギハクカ……1497
ヤブチヨロギ……1633
ヤヘヤマジフニヒトヘ1456
ヤマエゴ……1563
ヤマキセワタ……1514
ヤマクルマバナ……1477
ヤマジソ……1541
ヤマタツナミサウ……1612
ヤマタフバナ……1471
ヤマヂワウ……1505
ヤマハクカ……1566
ヤンバルクルマバナ……1513
ヤンバルスズカウジユ1620
ヤンバルタムラサウ……1590
ヤンバルツルハクカ……1513
ヤンバルナミキサウ……1625
ユキミサウ……1598
ユキヨセサウ……1499
ラシヤウモンカヅラ……1524
ラワンデル……1508
ルリジソ……1461
ルリタツナミ……1616
ルリテフテフ……1524
ルリハクカ……1461
レモンジソ……1563
レモンエゴマ……1563
ワウゴン……1624
ワタクワクカウ……1636
ワタチヨロギ……1636

1. カハミドリ屬 AGASTACHE.

1443. **かはみどり** 藿香・排草香 (1圖版-1)‥ シンケイ科
Agastache rugosa, *O. Kuntze.* (*Lophanthus rugosa, Fisch.* et *Mey.*)

〔形態〕本邦各地の山野．殊に山地に近き田畑等の稍濕潤なる土地に自生多き多年生草本にして．高さ1米(3-4尺)に達し．一種の芳香を有す。本種は全株に毛を有することなく。葉は短き柄によりて對生し．葉身は心臟狀卵形をなし．先端尖り．緣邊齒牙狀の鈍鋸齒を具へ．葉面稍皺縮す。花は輪繖花序に排列し頂生す。本花の有する蕚は筒狀にして．15脉を有し．稍彎曲し．先端5裂し．各裂片は披針形をなし先端尖る。尙この裂片は後部のもの長きを特性とす。花冠は稍挺出し．上唇は直生し．先端凹み．下唇は稍平開し．先端3裂し．其中片は鈍齒牙緣をなす。雄蕊4箇を有し．花柱より數倍長く．後者は下方に向ひ．前者は斜上す。花柱は頂端整齊に2岐す。果實は瘦果にして倒卵形をなし．表面滑澤なり。〔花色〕紫碧色。〔花候〕夏-秋。

〔分布〕北海道・本州・四國・九州・滿洲・朝鮮。

人生との關係　朝滿の山野にも遍生する草本にして．漢方にてはその莖葉を陰乾にして祛痰．興奮劑として煎用す。

1444. しろばなかはみどり …… シンケイ科
Agastache foeniculum, *O. Kuntze.* (*L. anisatus, Benth.*)

638
81

〔形態〕概形前種に酷似せる一種にして、全體に彼よりはその莖葉の綠色淡く、輪繖花序は疎穗狀をなし、花色白色を呈するものなり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州北部及南部。

1445. **たいわんかはみどり** ……シンケイ科
A. formosanum, *Hayata.* (*L. formosanus, Hayata.*)

〔形態〕同じく水濕地に自生する多年生草本にして、本種は 60 糎（2 尺）許に達するものなり。葉は膜質をなし、概形前種に酷似し、長さ 6-9 糎（2-3 寸）許にして、下面に毛茸を有す。花は總狀花序をなして頂生し、萼は筒狀漏形、長さ 7·5 糎（2·5 分）許、前種と同樣 15 脉を有し、先端 5 裂し、各裂片は長橢圓狀三角形をなす。花冠は筒狀唇形をなし、長さ 7·5 糎（2·5 寸）を有し、上面短毛を布き、上唇は廣圓形にして 2 裂し、下唇は廣闊にして 3 裂す。本種の花冠は前種カワミドリに比し遙かに長きことを特徵とす。
〔花色〕碧紫色。〔分布〕臺灣。

2. キランサウ屬　AJUGA.

1446. **きらんさう** 金瘡小草 ……シンケイ科
Ajuga decumbens, *Thunb.* (1 圖版-2)

（異名）ちごくのかまのふた　〔形態〕到處の路傍、田間等に自生する多年生草本にして、莖は伏臥し、直立することなく地面を被ひ、全株に絨毛を布く。葉は短柄を有し、卵形乃至長橢圓狀披針形、銳頭をなし、基脚狹く、緣邊波狀樣鈍齒牙狀を呈す。この葉は深綠色を呈し、稍紫色を帶ぶ。花は葉腋上に着生し、輪繖花序をなす。本花の萼は鐘形にして先端 5 裂し、各裂片は披針形をなす。花冠は筒狀にして唇形をなし、上唇は短く、先端 2 裂し、下唇は上唇の 2 倍許長く、先端 3 裂し、中央の裂片は更に 2 裂す。雄蕊 4 箇を有し、2 强をなし、子房は 4 出、柱頭は 2 岐す。果實は瘦果にして倒卵形をなし、表面皺縮す。〔花色〕濃紫色或は淡紫色を呈し、紫色の斑點を布く。
〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部·九州。

1447. **うづらきらんさう** ……シンケイ科
Ajuga decumbens, *Thunb.* forma condensata, *Makino.*

〔形態〕本種は前種キランサウの一異種に屬し、概形殆ど彼と同樣なれども、唯其葉の皺縮彼より極端に走り、遂には相重疊するが如き狀態を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

1448. **ひめきらんさう** ……シンケイ科
Ajuga pygmaea, *A. Gray.*

〔形態〕暖地の田野、路傍等に自生する多年生の小草本にして、全體に前種等より一層小さく、全株に短毛を散生す。莖は頗る短小なれども、多數の匍枝を出し地に曳く。葉は短柄を有し、篦形にして基脚楔形、緣邊深波狀或は全緣をなし、短き莖に簇生す。花は前種同樣腋出し、萼の裂片は廣橢圓形鈍頭をなす。花冠は筒部眞直にして著しく挺出し、鉢部は筒部の 1/3 乃至 1/2 長く、上唇は細小にして先端 2 裂し、各裂片は卵形を呈すれども、下唇は 3 裂し、側片は狹長なる橢圓形をなし、中央の裂片は廣闊にて截頭をなし、先端凹む。〔花色〕碧色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州·琉球·臺灣·朝鮮·滿洲。

1449. **ひらぎさう** 神頭草 ……シンケイ科
Ajuga incisa, *Maxim.* (1 圖版-3)

（異名）じんどうさう　〔形態〕一見木犀科に屬する。ヒヒラキ（柊）樹の葉に似たる葉を有す草本なれば、本和名を有するものなり。本種は多く山地に自生品を見る多年生草本にして、高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し、全株に短毛を有す。莖は勁直にして紅紫色を帶び、葉は長柄によりて對生し、卵形或は圓卵形をなし、先端銳頭或は銳尖頭をなし、基脚は心臟狀或は截形、緣邊は粗なる銳尖缺刻緣或は齒牙緣をなし、尙緣邊及肋脈に紫色を帶ぶ。花は梢上葉腋上に輪繖花序をなし、4-5 花を着生し、偏側生穗狀を呈す。萼の齒片は壑形をなし、花冠は萼の 3 倍長く、筒部は狹くして長く、著しく挺出し、上唇は先端 4 裂し圓形なれども、側片は三角形にして先端尖り、下唇も亦圓形を呈すれども、先端凹む。〔花色〕紅紫色。〔花候〕春-夏。
〔分布〕本州中部。

1450. **かひじんどう** ……シンケイ科
Ajuga ciliata, *Bunge.* (1 圖版-4)

（異名）きくばじふにひとへ　〔形態〕多く林野に自生する多年生草本にして、莖は方形をなし、高さ 45 糎（1·5 尺）許に達し、全株に短毛を布く。頭本種は叢生する特性あり。葉は短柄によりて對生し、葉身は卵形にして鈍或は銳頭、基脚楔形、緣邊は不齊の缺刻狀粗鈍齒牙緣をなす。この葉は梢上方に至れば鋸齒を有せざるに至り、又各葉の基部に針狀の 2 小托葉と、1 小腺を有する特徵あり。花は輪繖花序をなし、梢頭に多數の唇形花を着生し、穗狀をなす。苞は紫色を帶び、萼及花冠は碧紫色を呈し、花冠の筒部は眞直、鉢部は筒部と稍長さを同じくす。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·九州·朝鮮·滿洲。

1451. **ふんしうにしきさう** ……シンケイ科
Ajuga Makinoi, *Nakai.*

（異名）たちきらんさう　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、前揭キランサウに比し、莖は方形をなせども、其質彼より强剛、且つ簇生する特性あり。莖高さ 18 糎（6 寸）內外に達し、初め根葉を出し、後莖を抽き葉を對生す。この葉は何れも篦形をなし先端尖り、缺刻緣をなし、上面脈上に絨毛を布く。花は梢上葉腋に着生し、萼は長さ 4·5 糎（1·5 分）許、花冠はキランサウの倍大即ち 1·8 糎（6 分）許を有し、上唇は長橢圓形をなし、先端 2 裂し、各裂片は長橢圓形をなし先端尖り、下唇は 3 裂し、側裂片は半圓形にして細齒牙緣或は全緣をなし、中央の裂片は小形にして三角形を呈す。
〔花色〕碧色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

1452. **にしきごろも** ……シンケイ科
Ajuga yezoensis, *Maxim.* (1 圖版-5)

（異名）きんもんさう　〔形態〕山地の稍陰濕の地を好みて自生する多年生草本にして、前揭キランサウに酷似せる一種なれども、本種は彼に比し稍大きく、莖は方形をなし、高さ 9-12 糎（3-4 寸）に達し、全株に短毛を散生し、且簇生するものなり。葉は長柄によりて對生し、廣橢圓形或は稍圓形にして疎なる鈍齒牙緣をなす。この葉は葉脈粗く、背面紫紅色を呈し美麗なり。花は彼と同樣輪繖花序をなして頂生し、1-4 花を着く。萼は 5 中裂し、各裂片は三角狀披針形をなし、先端尖り、花冠は長さ 1 糎（3 分）許、筒部は狹長にして挺出し、上唇 2 裂し、各裂片は線狀披針形、鈍頭をなし、鉢部は花筒の 1/4 乃至 1/3 許の長さを有す。〔花色〕淡紫碧色。〔花候〕初夏。
〔分布〕北海道·本州各部·四國。
〔附記〕本種には一種、其葉に紫色を帶びず、全く綠色を呈するもの、或は其花に白色を呈するもの、又はその莖葉が橢圓狀篦形乃至橢圓形をなし、屢ば長き葉柄を有するものあり。この種は特に **ながばにしきごろも** Ajuga yezoensis, *Maxim.* forma elongata, *Kudo.* の名稱を有す。

1453. **つくばきんもんさう** ……シンケイ科
Ajuga yezoensis, *Maxim.* var. tsukubana, *Nakai.*

〔形態〕本種は概形、其他ニシキゴロモに酷似したるものなれども、本種の花冠は其上唇單に齒裂するのみにて、且側片より遙かに短きを其特徵とする一種なり。〔分布〕本州中部。

1454. **あふぎかづら** ……シンケイ科
Ajuga japonica, *Miq.* (1 圖版-6)

（異名）つるじんどう　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株に短毛を布く。莖は伏臥性にして、所々に匍枝を出し、根を下す。葉は長き葉柄を有し互生し、圓形或は橢圓形にして、銳頭或は鈍頭をなし、基脚は截形或は心臟形、緣邊は不齊の粗鈍齒牙緣乃至缺刻緣をなす。花は輪繖花序をなし、4-6 花を着生す。萼は齒裂し、各齒片は披針狀線形をなし毛緣を有す。花冠は長く挺出し、上唇は短く先端深く 2 裂し、下唇は 3 裂し、側片は小さく橢圓形をなし、中央の裂片は大形にして先端凹む。〔花色〕菫紫色。
〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·朝鮮·滿洲。

1455. **じふにひとへ** 散血草·筋骨草 ……シンケイ科
Ajuga nipponica, *Makino.* (1 圖版-7)

（異名）うるひ·うるき　〔形態〕各地の林野に自生多き多年生草本にして、全株に白色の毛茸を密布し、一種の香氣を有す。莖は簇生し、直立或は斜上性を有し、其表面紫色を帶び、高さ 15-18 糎（5-6 寸）に達す。葉は葉柄によりて對生し、葉身は膜質をなし、倒卵狀橢圓形、鈍頭、基脚は楔形、緣邊は不齊の微凸尖深波狀をなす。花は輪繖花序をなし、6-14 花を着生し、梢頭は穗狀をなせども、脚部に着生するものは隔離生す。本花は苞を有すれども、下方に生ずるものは葉狀をなし、上方に至るに從ひ漸く狹長となる。花冠は先端 5 裂し、上唇は頗る小形にして淺く 2 裂すれども、下唇深く 3 裂し、側片は細長卵形をなし、中央の裂片は大形倒卵形にして、先端深く 2 裂す。〔花色〕白色なれども、之れに菫色或は淡紫色の脈線を交ゆ。〔花候〕4-5 月。〔分布〕本州各部·四國。

1456. **やへやまじふにひとへ** ……シンケイ科
Ajuga bracteosa, *Wall.*

〔形態〕臺灣、琉球等の如き熱帶地方に近き地方の山野に自生する多年生草本にして、全株に絨毛を布き、枝條は擴開斜上する特性を有す。葉は有柄にして對生し、肉質をなし、倒卵形鈍頭、基脚狹く、深波狀齒牙緣或は稍全緣にして、葉長 12 糎（4 寸）餘に及ぶ。花は輪繖花序をなし、腋出し、梢部にありては穗狀をなす。本種の花は小形にして長さ 9 糎（3 分）許を有し、花冠の筒部は挺出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球·臺灣。

PL. 1.

638
81

1457. **つるかこさう**　(1圖版-8)…… シンケイ科
Ajuga glabrescens, *Makino.* (*Ajaga reptans*, var. *japonica*, *Makino.*)

(異名) いはぢしや・はまぢしや　〔形態〕多く林野、路傍等に自生する多年生草本にして、莖は高さ9-12糎(3-4寸)乃至45糎(1·5尺)許に生長し、全株に絨毛を有すれども、前種ジフニヒトへの如く多からざるものなり。この莖は叢生し、匍匐枝を出し、隨所に根を下す。葉は有柄にして對生し、軟質にして橢圓形乃至卵形、鈍頭をなし、基脚は截形、緣邊粗なる銳尖缺刻緣、或は齒牙緣をなし、特に緣邊肋脉に紫色を帶ぶ。花は輪繖花序をなして、4-5花を着生し、稍頭に至れば偏側生穗狀をなす。本花の有する萼は先端4裂し、この齒片は壑形をなす。花冠は萼の3倍長く、筒部は狹長にして著しく挺出し、上脣は圓形、側片は三角形をなし、先端尖り、下脣は圓形をなし先端鬥む。〔花色〕濃紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

1458. **けなしつるかこさう**　…… シンケイ科
Ajuga dictyocarpa, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の各地に自生する草本にして、莖は匍匐斜し、高さ18-30糎(0·6-1尺)に達し、全株に毛茸を散生す。葉は膜質にして、倒卵形或は三角狀倒卵形をなし、先端は斜或は圓頭、基脚は楔形或は急激に銳脚をなし、中部以上に粗なる鈍齒牙緣或は淺裂し、下面の中肋に毛茸を有す。花は輪繖花序を腋出し、各花は稍無梗、萼は鐘形をなし、粗に毛腺點を布き、先端5裂し、各裂片は長三角形を呈す。花は筒狀唇形をなし、背面に毛茸を有す。本花冠は上脣を缺き、下脣は3裂し、左右兩側の裂片は小形なる長橢圓狀三角形をなし、中央の裂片は形大きく先端凹む。〔分布〕臺灣。

1459. **しまかこさう**　…… シンケイ科
Ajuga boninsimae, *Maxim.* (1圖版-9)

(異名) しまきらんさう　〔形態〕硫地の山野に自生する多年生草本にして、莖高さ15-18糎(5-6寸)に達し、短毛を有し、地面に匍枝を曳く。葉は倒卵形、鈍頭にして、上半部波狀様齒牙緣をなす。花は輪繖花序をなして腋出し、稍上にありては穗狀をなす。本花の萼は5中裂し、各裂片は披針形を呈す。花冠は長さ1·8糎(6分)餘を有し、筒部は直立にして萼の3倍位長く、兩面に短毛を有す。雄部は筒部の½乃至⅔の長さを有するものなり。〔分布〕小笠原島。

1460. **きらんにしきごろも**　…… シンケイ科
Ajuga bastarda, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖は伏臥斜上性を有し、高さ7·5糎(2·5寸)許に生長し、全面紫色を帶び、毛茸を有す。葉は有柄にして對生し、葉身は倒披針形或は長橢圓形をなし不齊の疎波狀齒牙緣を具へ、長さ4·5糎(1·5寸)許に生長し、上面中肋は紫色を帶び、毛茸を散生す。花は輪繖花序をなし腋出し、各花は無梗にして、1-3花を着生す。萼は鐘形をなし、長さ6粍(2分)許にして毛茸を有し、緣部紫色を帶び、先端5裂し、各裂片は壑形をなす。花冠は長さ8粍(2·5分)許を有し、長脣は至つて短く凹頭をなし、下脣は大形にして3深裂し、側裂片は長橢圓狀披針形をなし、先端尖り、中央の裂片は方形楔形をなし、先端凹み、微に凸端をなす。
〔花色〕紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部。

3. ルリハッカ屬　AMETHYSTEA.

1461. **るりはくか**　…… シンケイ科
Amethystea caerulea, *L.*

(異名) るりじそ　〔形態〕山野に自生する一年生草本にして、莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し、全株無毛種に屬す。葉は有柄にして對生し、葉身は深く3裂し、各裂片は卵狀披針形をなし、不齊の粗鋸齒緣を具ふ。花は長柄により腋出或は頂生し、繖形狀圓錐花序をなす。各花は細小、萼は球狀鐘形にして10脈を具へ、先端は整齊に5裂し、各裂片は三角形、銳尖頭をなし平開し、碧色を帶ぶ。花冠は唇形をなし、筒部は短く、後片、側片は稍前方に伸長し、前片は稍大形にして開展す。〔花色〕碧色。〔花候〕春-夏。
〔分布〕九州。

4. ブゾロイバナ屬　ANISOMELES.

1462. **ぶそろいばな**　…… シンケイ科
Anisomeles indica, *O. Kuntze.* (2圖版-10)

〔形態〕暖國の山野に自生する多年生草本にして、莖高さ60-90糎(2-3尺)に生長し、全株に短毛を密布す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形をなし、先端尖り、基脚截形、緣邊に齒牙狀の鈍鋸齒を具ふ。花は輪繖花序をなして腋出し、多數の花を密生し、稍上方にありては穗狀をなす。萼は先端齒裂し、各齒片は三角狀披針形をなし、先端尖り、粗毛を布く。〔花色〕紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕琉球・臺灣。

5. ウツボグサ屬　BRUNELLA.

1463. **うつぼぐさ**　夏枯草　…… シンケイ科
Brunella asiatica, *Nakai.* (2圖版-11)

(異名) かこさう　〔形態〕各地の原野、路傍等に自生多き多年生草本にして、全株に短毛を散生す。莖は方形をなし、直生或は斜上し、高さ30糎(1尺)許に達し、地上に匍枝を曳く。葉は長柄により對生し、葉身は長卵形乃至披針形をなし、長さ3糎(1寸)乃至4·5糎(1·5寸)許を有し、先端尖り、全緣なるか、齒牙緣或は羽狀に中裂す。花は稍頭に圓柱形の穗狀花序をなし、卵狀心形にして毛緣を有する苞を鱗次し、その苞葉間に筒狀の唇形花を抽出す。本花には2種の花型を有す。即ち兩性花と雌性花の2種にして、前者は大形、後者は小形なり。萼は鐘狀唇形をなし、脊部より壓扁し、上脣は扁平にして廣く、先端3齒緣をなし、下脣は2裂し、苞と共に毛を布く。花冠は萼の倍長く、上脣は直生し、龍骨を有し、全緣をなし、下脣は3裂す。
〔花色〕濃紫色或は淡紫色。〔花候〕6-9月。〔分布〕北海道・本州・四國・琉球・朝鮮・臺灣。

人生との關係　本種は花の着生したる樣貌に似たるにより、本和名を有するものにして、野に於て野趣に觀賞するによく、又鉢植としても愛らしきものなり。花色に注意して採集すれば、紫色、白色、淡紫色等の異品を採取せられ培養上趣味多きものなり。

本植物の莖葉を夏季開花時に採集したるものを蔭干にして貯へ、時に應じ之れを煎用すれば瘰癧、痲病等の特効藥として効果ありとし古來重用す。

朝鮮、滿洲の山野にも普遍的に生育し、殊に水濕地を好みて饒産す。朝鮮にては莖葉を茹でて菜とし食用に供す。花穗の乾燥したるものは利尿劑として煎用し、莖葉は瘰癧、子宮病、眼病等に使用し効ありとして重用せらる。

1464. **しろばなうつぼぐさ**　…… シンケイ科
Brunella asiatica, *Nakai.* var. albiflora, *Nakai.*

〔形態〕本種は前種の一變種にして概形彼に酷似し、唯花色白色を呈するものなり。〔分布〕本州中部・四國。

1465. **みやまうつぼぐさ**　…… シンケイ科
Brunella vulgaria, *L.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、莖は直生し、單一にして小枝を分つことなく、高さ7·5糎(2·5寸)乃至30糎(1尺)許に達し、概形ウツボグサに酷似し、一見彼と誤る位なれども、本種は彼に比すれば莖は更に著しく叢生するのみならず、花は彼より小さく、その色濃紫色を呈する他、本種は彼の如く匍枝を有せざるを彼と異る特徴とす。〔分布〕北海道・本州北部及中部の諸高山。

1466. **たてやまうつぼぐさ**　(2圖版-12)…… シンケイ科
Brunella prunelliformis, *Makino.* (*Dracocephalum prunelliforme*, *Maxim.*)

〔形態〕本邦中部の高山に自生する多年生草本にして、莖は斜上性をなし高さ30糎(1尺)許に達す。葉は有柄、革質にして對生し、葉身は卵形乃至長橢圓狀披針形をなし、先端銳或は鈍頭、基脚圓く、不明の鋸齒狀細齒牙緣をなすか、或は毛緣をなす。この葉は長さ3-6糎(1-2寸)許あり。花序は廣卵狀を呈する穗狀をなし、多くの花を密生す。苞は心臟形或は心臟狀圓形をなし、長き尾の如き先端をなす。萼は紫褐色を呈し、長さ1·3糎(4分)許、基脚に絨毛を有し、頂部毛緣をなす。花冠は筒狀唇形をなし長さ約3糎(1寸)許を有し、上脣は卵形にして細齒牙緣を有し外面に腺毛を布き、下脣は平開3裂し、側裂片は半圓形をなし長毛緣をなせども、中央の裂片は截頭にして橢齒緣をなす。〔花色〕紅紫色。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部及北部の諸高山。

6. ジャカウサウ屬　CHELONOPSIS.

1467. **じゃかうさう**　鈴子香　…… シンケイ科
Chelonopsis moschata, *Miq.* (2圖版-13)

〔形態〕山中樹蔭中に自生する多年生草本にして、莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し、1種の芳香を放ち、全株に僅毛を布く。葉は有柄にして對生し、葉身は披針形或は倒卵狀長橢圓形或は橢圓形にして先端尖り、基脚は圓形或は心臟形をなし、齒牙狀粗鋸齒緣を具へ、長さ9糎(3寸)乃至21糎(7寸)許あり。花は聚繖花序をなし、短梗によりて腋出し、各花又短梗により1-3花を着生す。本花の有する小苞は線形、萼は鐘狀唇形をなし、上脣は稍大きく3齒緣をなし、下脣は2裂す。この萼は花後膨大す。花冠も亦鐘狀唇形にして、長さ3-3·6糎(1-1·2寸)許を有し、上脣は稍短く先端2裂し、下脣は濶大にして先端3裂し、中央の裂片最も大きく四角形をなす。雄蕊は4

638
81

箇ありて2箇づゝ相接近し、柱頭は2岐す。果實は痩果にし壓扁し、上端に斜形をなせる翼狀の突起を有す。〔花色〕淡紅紫色或は白色。〔花候〕9–10月。〔分布〕北海道・本州・四國。

1468. **たかねじゃかうさう** ……… シンケイ科
Chelonopsis moschata, *Miq.* var. lasiocalyx, *Hayata.*

（異名）あしたかじゃかうさう　〔形態〕本種の花候は他種より早く、葉は兩面脈上及莖面に粗毛を布き、花の有す小梗は ジャカウサウ に比し長く、次種タニジャカウカウサウに比し短き特徴を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕7–8月。〔分布〕本州中部の諸高山。

1469. **たにじゃかうさう** ……… シンケイ科
Chelonopsis longipes, *Makino.* (2圖版–14)

〔形態〕四國殊に土佐國に多く自生品を見る多年生草本にして、莖は斜上或は直生し、高さ60–90糎(2–3尺)に達し、紫色を帶び、稍部には短毛を布く。葉は短柄によりて對生し、葉身は長橢圓狀披針形にして先端尖り、基脚稍狹まり、心臟狀の耳葉を有し、齒牙狀鋸齒緣を具ふ。この葉は長さ7·5糎(2·5寸)乃至15糎(5寸)許を有し、兩面脈上に短毛を密布す。花は聚繖花序をなして對生し、2–5花を着生す。本種の花梗は稍長にして3糎(1寸)許あり。萼は倒卵狀鐘形をなし全面毛茸を生じ、先頂部は毛緣をなす。花冠は筒狀唇形をなし挺出し、花喉は平開。上唇は圓形をなし不明に2裂し、下唇は大形にして3裂し、側裂片は圓形、中裂片は長大にして圓形或は稍凹頭をなし。不齊の細齒牙緣を有す。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

7. タフバナ屬 CLINOPODIUM.

1470. **たふばな** 塔花 (2圖版–15)……シンケイ科
Clinopodium gracile, *O. Kuntze.*

〔形態〕各地の原野或は畦畔等に最も普通に自生する多年生草本にして、高さ15–18糎(5–6寸)乃至30糎(1尺)許に達し、全株無毛なり。この莖は方形をなし、初め地に臥し後直立す。葉は卵形にして先端尖り、緣邊粗鋸齒緣をなし、短柄によりて對生す。花は輪繖花序をなし頂生し、各花は短梗を有し、莖を圍んで層をなし、下部のものは葉を有すれども、上部に至れば之を缺き、唯花のみをもつて層をなすこと5–6楷乃至10數楷に達することあり。タフバナの名は蓋しこれより出でたるものならん。本花の有する苞は細小にして線形をなし、萼と共に毛を有せず。〔花色〕淡紅色。〔花候〕5–6月。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

1471. **やまたふばな** ……… シンケイ科
Clinopodium multicaule, *O. Kuntze.*

〔形態〕多く山地の樹蔭等に自生する多年生草本にして、高さ20–25糎(7–8寸)に達す。本種の莖は同じく方形なれども、前種と異り下向せる短毛を布き、葉は膜質をなす。この下部に生ずる葉は卵形なれども、上方に生ずるものは卵狀披針形、鈍頭をなし、基脚狹まり、緣邊粗に齒牙緣を具へ、何れも短柄によりて對生す。輪繖花序は4乃至1花を着け、稍隔離性なり。苞は葉狀をなし、小苞は刚毛狀をなし、小梗と長さを同じくし、萼は筒狀鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は毛緣をなす。花冠は萼の長さの倍大を有す。〔花色〕純白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・朝鮮。

1472. **みやまたふばな** (2圖版–16)……シンケイ科
Clinopodium sachalinense, *Koidz.* (*Calamintha umbrosa*, var. *japonica*, *Franch.* et *Sav.*)

〔形態〕多く高山、山足等の草本帶に自生する多年生草本にして、高さ42糎(13–14寸)に達す。莖は方形をなし、節部にのみ細毛を密生す。葉は膜質有柄にして對生し、葉身は廣卵形鈍頭、基脚圓形を呈し、緣邊波狀様鈍鋸齒緣或は毛緣をなし、葉柄には長毛を有す。輪繖花序は頂生にして穗狀をなす。萼は唇形をなし、筒部に稍細毛を布き、花冠は萼より稍挺出し、上下兩唇共に紅色の脈條を有し、下唇には更に赤色の斑點を布く。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分花〕樺太・北海道・本州北部及中部。

1473. **キダチハクカ** (2圖版–17)……シンケイ科
Clinopodium hortensis, (L.) (*Satureia hortensis. L. Sp.*)

〔形態〕昔時の外來に係り、本邦にては專ら園地に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖は方形をなし、割合に細く高さ60糎(2尺)許に達し、全株に短毛を布く。葉は短柄によりて互生し、葉身は長橢圓狀の線形をなし、先端尖り、基脚狹く、共色淺綠色を呈し、粗糙なり。輪繖花序は概ね6花を着け、稍偏側隔離性をなし穗狀を呈す。本花の有する萼は脉上縮澁し、5齒緣を有す花冠は筒狀唇形をなし、上唇は平坦、下唇は3裂し、中央の裂片は最も大なり。雄蕊は4箇、果實は痩果をなし、廣卵形にして、表面滑澤なり。〔花色〕白質にして稍紅暈を帶ぶ。〔花候〕夏。〔原産地〕南部歐羅巴。

1474. **くるまばな** (2圖版–18)……シンケイ科
Clinopodium chinensis, *O. Kuntze.* (*Calamintha chinensis, Benth.*)

〔形態〕タフバナと同様各地の原野、畦畔等に自生する多年生草本にして莖は同じく方形をなし、高さ30–60糎(1–2尺)に達し、全株に短毛を密布す。葉は短柄によりて對生し、葉身は卵形乃至卵狀橢圓形、鈍頭をなし、基脚圓く、粗鋸緣をなす。輪繖花序は密生し、隔離性をなす。苞は著大にして刚毛狀をなし、白色の毛緣を有す。萼は筒形をなし13脉を有し、不齊の5齒緣をなす。花冠は狹筒狀唇形をなし、長さ1·3糎(4分)許著しく挺出し、上唇は先端凹み、下唇は3裂す。雄蕊は4箇、柱頭は2岐す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

1475. **みやまくるまばな** ……… シンケイ科
Clinopodium chinensis, *O. Kuntze.* var. macrantha, *Makino.*

〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本にして、概形前種に酷似するものなれども、彼と區別せらるゝ要點は、本種の有する花冠は著大にして、長さ約1·5糎(5分)乃至2·4糎(8分)許を有するを特徴とす。〔分布〕本州北部及中部の各高山。

1476. **えぞくるまばな** ……… シンケイ科
Clinopodium chinensis, *O. Kuntze.* var. shibetchense, *Koidz.*

（異名）あをくるまばな　〔形態〕多く北地に自生する多年生草本なり。本種の特徴は莖葉共に毛を有することなく、萼及小苞は紫色を有せず、萼の裂片は毛緣をなすものなり。〔分布〕北海道・本州北部。

1477. **やまくるまばな** ……… シンケイ科
Clinopodium japonicum, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、莖は叢生する性質を有し、高さ60糎(2尺)餘に達す。本種は概形クルマバナに酷似せるものなれど、後に比し、花は小形にして長さ1糎(3分)内外に過ぎず、花色は白色にして稍紫暈を帶ぶるを差異ある特徴とす。〔分布〕本邦各地。

8. サヤバナ屬 COLEUS.

1478. **サヤバナ** ……… シンケイ科
Coleus Blumei, Benth. (2圖版–19)

（異名）キンランジソ・ニシキジソ・ハゲイトウモドキ　〔形態〕外來の園藝植物にして、一般には屬名を其儘コリュースと稱するものにして、多年生草本に屬し、高さ30–45糎(1·0–1·5尺)に達す。莖は方形をなし、節部に稍毛を有す。葉は長柄によりて對生し、葉身は膜質をなし、菱狀卵形、銳尖頭にして、缺刻狀粗齒牙緣を具ふ。この葉は黃綠色を呈し、上面中央に暗紫色或は暗褐色の斑紋を有し美觀を呈す。輪繖花序は頂生し、稍穗狀をなし、各輪5–6花を着生す。萼は小形にして毛を有し、卵狀鐘形をなす。花冠は背部に毛を有し、漏斗狀唇形をなし、筒部は急激に屈曲す。上唇は卵狀形をなし、先端尖り、下唇は廣橢圓形にして、3裂反捲し、中央の裂片は更に2中裂す。雄蕊4箇ありて3强をなし閉在し、花柱は2岐し、同じく閉在す。果實は痩果にして卵形なり。〔花色〕紫·白混色。〔花候〕早春。〔原産地〕瓜哇。

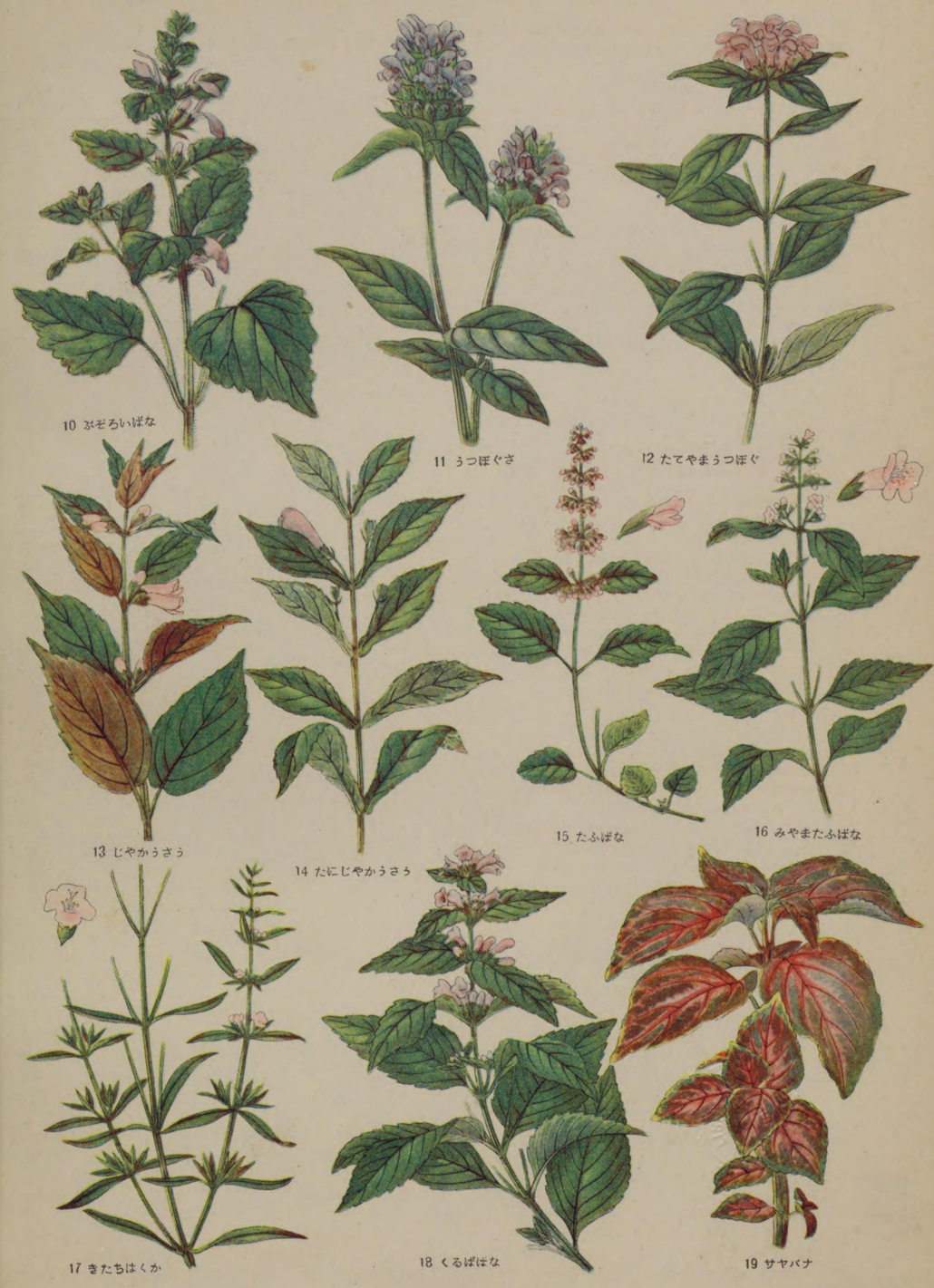
人生との關係　夏季の觀葉植物として、近時一般的に愛觀せらるゝ園藝植物なり。元來熱帶地方の原産なれば霜に弱きものなれば、本種を栽培せんとするには冬季50°F位の溫室内に保護するを要し、春先に至り挿芽によりて繁殖せしめ、夏季に至り花壇或は小鉢仕立として植込むを可とす。本種は人工交配によりその葉の色彩に種々なる變化を出さしめ得るものなれば栽培上甚だ趣味多きものなり。即ち一般には挿芽によりて繁殖せしむるものなれども、赤實生によりても繁殖せしめ得るものなり。栽培の用土、管理等凡て頗る容易なるものなり。

1479. **ひめさやばな** ……… シンケイ科
Coleus Esquirollii, *Dunn.* (*C. mucosus, Hayata.*)

〔形態〕前種に比し全體に矮性なる一種にして、嫩枝に短毛を布き、葉は柄を有し、葉身は廣卵形、銳尖頭をなし、基脚圓形或は截形をなし、兩面に短毛、下面には更に黑色の細點を密布す。〔分布〕臺灣。

1480. **けさやばな** ……… シンケイ科
Coleus formosanus, *Hayata.*

〔形態〕本種は全體に短毛を有し、葉は有柄にして對生し、葉身は菱形或は卵狀圓形なり。本種は5–6花を着生し、苞は心臟形にして脫落性を有し、萼は廣橢圓狀鐘形をなし、上齒片は卵形、側齒片は銳頭、下齒片は上部半ば



638
81

合着す。花筒は唇形をなし挺出し。上唇は鈍頭にして3中裂し。下唇は舟形をなし。全縁なり。〔分布〕臺灣。

1481. ナンヤウサヤバナ …… シンケイ科
Coleus atropurpureus, Benth.

〔形態〕本邦には稀に園地、温室等に栽培觀賞に供せらるゝ多年生草本にして。莖は方形をなし細長く。高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し。細毛を布く。葉は長柄によりて對生し。膜質をなし。葉身は廣卵形にして鈍或は鋭頭。粗齒牙緣を具へ。基脚圓形或は截形は又楔形をなす。花は聚繖花序をなし花梗を有し。不齊に分岐す。萼は上方裂片卵形にして稍鋭頭をなせども。下方の萼片は2齒をなし芒端を有す。花冠は長さ7粍（2·5分）許。雄蕊は閉在す。〔原産地〕馬來。

9. コリンサウ屬 COLLINSIA.

1482. コリンサウ …… シンケイ科
Collinsia bicolor, Benth.

〔形態〕外來種に屬し。本邦には專ら園藝植物として栽培せらるゝ一年生草本なり。高さ 60 糎（2尺）許に達し。莖は方形をなし。無柄の葉を對生す。この葉は長三角形をなし先端尖り。3縱條を有す。花は輪繖花序をなして着生し。花冠は唇形をなし。普通上唇は白色。又は淡紫色を呈し。下唇は淡紫色を呈するものなれども。又帶紫白色の改良種を見ることあり。

人生との關係 主として花壇に栽植し觀賞に供するものなれども。又切り花とし栽培せらるゝことあり。一年生草本なれば通常9月中旬に種子を蒔き。2回程移植を行ひたる後。冬季は霜除内若しくはフレーム内にて越冬せしめ。翌春に至り花園に植込むを可とす。土質は別に撰定する必要なく。一般草花栽培に準じ。容易に生育するものなり。

10. テンニンサウ屬 COMANTHOSPHACE.

1483. てんにんさう（3圖版-20）…… シンケイ科
Comanthosphace sublanceolata, *S. Moore.*

（異名）いとかけさう　〔形態〕山地に自生する亞灌木にして。初めは全株に褐色の星毛を密布すれども。後稍無毛となる性あり。葉は卵狀披針形にして先端尖り。基脚狹く。齒牙狀の粗鋸齒緣をなす。花は頂生し穗狀花序をなし。普通 4-8 花を密生す。本花の有する苞は乾皮質にして脫落性をなし。最下部にあるものは筒狀に合生し。他は圓形をなし合着せず。概ね短突起に終る。小苞は細小にして狹長橢圓形をなす。萼は筒形をなし。不齊の5齒緣を有す。花冠は唇形をなし。上唇は2裂し。下唇は3裂す。雄蕊は4箇有りて同形をなし挺出す。花柱は短く。先端2岐す。果實は瘦果にして卵狀長橢圓形無毛なり。〔花色〕黄色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·四國。

1484. ふじてんにんさう …… シンケイ科
Comanthosphace sublanceolata, *S. Moore.* var. barbinervis, *Makino.*

〔形態〕概形共他前種に酷似せるものなれども。本種は葉の下面中肋に鬚毛を生ずるを彼と異る特徵とす。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

1485. むらさきてんにんさう …… シンケイ科
Comanthosphace japonica, *S. Moore.*

〔形態〕本種はテンニンサウに比し。概形彼に酷似するものなれども。花色紫紅色を呈するを異る特徵とす。〔分布〕四國·九州。

11. ムシャリンダウ屬 DRACOCEPHALUM.

1486. むしゃりんだう …… シンケイ科
Dracocephalum argunense, *Fisch.*（3圖版-21）

（異名）せいらん　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして。全株に細毛を散生し。莖は方形をなし。高さ 30-60 糎（1-2 尺）に生長す。下生葉は長柄を有し。長橢圓狀卵形をなし。缺刻狀に中裂すれども。莖生葉は線形をなし。緣邊反捲す。輪繖花序は頂生し。稍穗狀をなし。苞は卵形にして芒端をなし毛緣を有す。萼は筒狀にして 15 脉を有し。長さ 1·5 糎（5分）許にして先端5裂し。各裂片は披針形鋭頭をなす。花冠は唇形をなし萼の2倍長く。上唇は凹頭。下唇は3裂し。中央の裂片最も大きく。雄蕊は4箇ありて下唇下に平行斜上し。葯胞は癒附す。柱頭は2岐し。各岐は鞭形をなす。果實は瘦果にして卵形をなし。表面滑澤なり。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

1487. ホザキノムシャリンダウ …… シンケイ科
Dracocephalum Moldvica, L.

（異名）タチムシャリンダウ　〔形態〕外來の一年生草本にして。本邦には園地に栽培せらるゝ園藝品種とす。全株に細毛を布き。葉は有柄にして對生し。葉身は披針形或は卵狀長橢圓形。鈍頭をなし。缺刻狀鋸齒緣を具ふ。輪繖花序は腋出し。梢頭に至り穗狀をなす。花冠は萼の 2-3 倍の長さを有す。〔花色〕淡色或は白色。〔花候〕春-夏。〔原産地〕歐羅巴。

12. ミヅトラノヲ屬 DYSOPHYLLA.

1488. みづとらのを …… シンケイ科
Dysophylla Yatabeana, *Makino.*

（異名）せいすねさう　〔形態〕溝流、水邊等に自生する多年生草本にして。全株に毛を有することなく。莖は斜上性を有し。高さ 30 糎（1尺）許に達し。常に脚部に於てのみ分岐する特性あり。葉は無柄にして通常4葉宛輪生し。葉身は線形をなし。先端尖り。疎齒牙緣を具ふ。花は穗狀花序をなし密生し。苞は細小にして線形或は線狀披針形をなす。萼は卵狀鐘形をなし。長さ3粍（1分）許。外面に短毛を布き。先端5裂し。各裂片は三角形鋭頭をなす。花冠は先端4裂し。各裂片は平開す。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し。花絲の中部に鬚毛を有す。花柱は先端2岐す。果實は瘦果にして楕圓形無毛なり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州·朝鮮。

2 みづとらのを

3 みづねこのを

1489. みづねこのを …… シンケイ科
Dysophylla verticillata, *Benth.*

（異名）おほばみづとらのを　〔形態〕山地に自生する一年生草本にして。莖は前種に反し直立性をなし。尚屢ば分岐し。全株無毛或は稀に毛茸を散生するものあり。葉は概形前種に似たれども。膜質をなし。4-10 葉を輪生し。全緣或は疎鋸齒緣をなす。花は梢頭に穗狀をなして密生し。萼は鐘形にして毛茸を有し。齒片は卵形を呈し。花冠は小形にして萼よりは稍長き位なり。果實は同じく瘦果にして球狀卵形をなし。表面滑澤なり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

13. ナギナタカウジュ屬 ELSCHOLTZIA.

1490. なぎなたかうじゅ …… シンケイ科
Elscholtzia Patrini, *Garcke.*（3圖版-22）

〔形態〕到る處の山野。路傍等に自生する一年生草本にして。莖は軟毛を布き。平開し。高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は卵狀或は長橢圓形にして先端尖り。齒牙狀銳鋸齒緣をなし。兩面に短毛を散生し。莖と共に1種の香氣を有す。花は穗狀花序をなし。多くの花を一側に偏して着生し。所謂偏側花序をなし。その狀ナギナタ狀に似たるによりこの和名を有す。本花の苞は廣卵形。凸頭をなし。毛緣を具へ。每苞3-4花を着く。萼は鐘形にして5齒緣をなし。各齒片は三角形をなす。花冠は小筒狀唇形にして。上唇は凹頭。下唇は3裂し。各裂片は圓形をなし。外面及萼面共に細毛を布く。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し。花柱は先端2岐し。各岐は鞭形をなす。果實は瘦果なり。〔花色〕紅紫色。〔花候〕秋。〔分布〕千島·本州·四國·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

1491. たいわんなぎなたかうじゅ …… シンケイ科
Elscholtzia formosana, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の山野に自生する一年生草本にして。莖は高さ 30 糎（1尺）許に生長し。概形前種に酷似し。花穗も亦長刀狀を呈するものなれども。本種は彼に比し。苞萼の緣毛密生し。萼には鬚毛を密生する特徵を有するものなり。〔分布〕臺灣。

638
81

14. チシマオドリコ屬 GALEOPSIS.

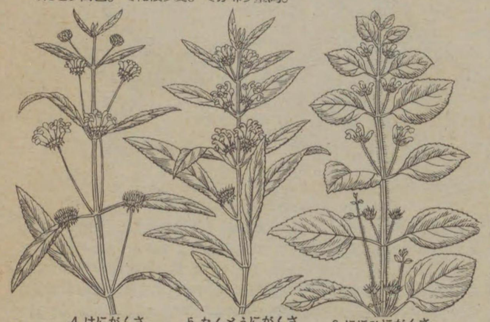
1492. **ちしまをどりこ** (3圖版-23)…… シンケイ科
Galeopsis Tetrahit, *L.* var. bifida, *Syme.*

(異名) いたちじそ・きばなのくるまばな　〔形態〕本州にては野州日光地方に多く自生品を見る一年生草本にして、全株に粗毛を有し、莖は方形をなし、高さ30糎(1尺)乃至90糎(3尺)許に達するものあり。葉は卵形或は卵狀長楕圓形、銳尖頭をなし、基脚圓く、齒牙狀粗鋸齒緣を具へ、長さ3糎(1寸)乃至7·5糎(2·5寸)許あり。輪繖花序は6-30花を密生し、隔離性或は楯頭に於ては密接す。萼は鐘狀筒形をなし、10脉を具へ、先端5裂し、各裂片は墾形をなし、先端に刺を有す。花冠は萼の2倍長くして、唇形をなし、上唇は直生にして兜形をなし、先端凹み、全緣にして毛茸を有すれども、下唇は平開し、先端3裂し、側裂片は卵形、中央の裂片は倒卵形をなし、口蓋に2箇の膨出部を有す。果實は瘦果にして4面卵形をなし、表面滑澤なり。〔花色〕暗紅色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部地方の山地。

15. イガニガクサ屬 HYPTIS.

1493. **いがにがくさ** …… シンケイ科
Hyptis capitata, *Jacq.*

(異名) たまざきうらがへりばな　〔形態〕臺灣の原野に自生する一年生草本にして、高さ60-90糎(2-3尺)に達するものなり。葉は有柄にして對生し、葉身は長橢圓狀卵形にして、不齊の鋸齒緣を具ふ。頭花は花梗により腋生し、花徑2·4糎(8分)許、苞は卵狀披針形或は線形をなし、萼と長さを同じくす。この萼の齒片は墾形をなし、筒部より短きものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。



4 はにがくさ　5 なんとうにがくさ　6 にほひにがくさ

1494. **なんとうにがくさ** …… シンケイ科
Hyptis brebipes, *Poit.*

〔形態〕前種と同樣臺灣の原野に自生品を見る一年生草本にして、高さ30-90糎(1-3尺)に生長するものなり。葉は前種と稍形狀を異にし、卵狀長楕圓形或は披針形にして、鋸齒緣をなし、彼と同樣長柄によりて對生す。頭花は前種より小さく花序彼の ⅓ 許にして同じく花梗を有す。尙本種の苞は披針形をなし、萼には短毛を有し、齒片は墾形をなして直生し、花冠は萼と同長なるものなり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1495. **ほざきのにがくさ** …… シンケイ科
Hyptis spicigera, *Lam.*

〔形態〕本種も亦臺灣の原野に自生する一年生草本にして、莖には稜角上硬隆起を有し、高さ60-90糎(2-3尺)に達するものなり。葉は長柄を有し、葉身は卵形をなし、先端尖り、基脚楔形をなす。頭花は楕頭に密生し穗狀をなす。これ穗喚の名稱を有する所以なり。本花の有する苞は線形をなし、萼と長さを同じく、萼の齒片は墾形をなし質硬く、花冠は萼より稍長き特徵を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1496. **にほひにがくさ** …… シンケイ科
Hyptis suaveolens, *Poit.*

〔形態〕前種と同樣臺灣各地の原野に自生する一年生草本にして、莖には疎毛を散生し、高さ60-90糎(2-3尺)に達するものなり。葉は同じく葉柄を有し對生なれども、本種のものは其幅廣く、廣卵形をなし、基脚は心臟形或は楔形をなし、緣邊には細鋸齒を具へ、長さ30糎(1尺)乃至7·5糎(2·5寸)許ありて、全面に短毛を有するものなり。花は葉腋上に着生し、總狀或は稍頭狀花序、或は單生し、苞は細小にして剛毛狀をなし、萼は鐘形にして多數の縱條を有し、先端5齒緣をなし、各齒片は墾形を呈し、其質硬し、花冠は唇形にして、先端5裂し、下唇は急激に傾下し、中部膨出、基脚狹搾す。雄蕊は4箇、果實は瘦果なり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

16. ヤナギハクカ屬 HYSSOPS.

1497. **ヤナギハクガ** …… シンケイ科
Hyssops officinalis, L. (3圖版-24)

(異名) 屬を共儘ヒソツプとも呼ぶ　〔形態〕東部歐洲及西部亞細亞には自生品を見るものなれども、本邦には多く觀賞用或は藥用植物として栽培せらるゝ小灌木なり。全株稍無毛種に屬し、高さ30-60糎(1-2尺)に達し、多くの小枝を分つ。葉は肉質の披針形乃至線形にして鈍頭をなし、基脚狹く、短柄によりて對生す。花は楕上方に偏側穗狀をなして6-10花を着け、萼は15脉を有し、先端5齒緣をなし、各齒片は三角形にして芒端をなす。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は直生扁平にして先端凹み、下唇は3裂し、中央の裂片は大形なり。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し、花柱は2岐す。果實は瘦果にして狹三角形をなし、裏面稍平滑なり。〔花色〕碧色なれども稀に白色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　多く觀賞用として栽植せらるゝものなり。

17. フブキバナ屬 IBOZA.

1498. **フブキバナ** (3圖版-25)…… シンケイ科
Iboza riparia, N. E. Br. (*Moschosma riparium*, *Hochst.*)

〔形態〕近時の外來に係る園藝種にして、一般にはモスコスマと呼稱すれども宮南氏により本和名を附せられたるものなり。莖は高さ70糎(2·3尺)乃至1·牛米(5尺)內外に生長し、葉は普通對生なれども往々3葉宛輪生することあり。葉は殆ど圓形に近き橢圓形をなし緣邊は疎に鈍鋸齒をなし、長さ5·5糎(2寸)、幅3·5糎(1寸)を有し、長き葉柄を具へ、全面に毛茸を密生す。本種は全體に1種の香氣を有す。花は穗狀をなして着生し、白色の小花を叢生する樣紫蘇の花穗の如き觀を呈するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕12-1月。〔原産地〕南亞弗利加及熱帶各地の河畔の如き水濕地。

人生との關係　觀賞用として栽培するものにして、繁殖は挿木により、低溫にて冬季にも開花し、夏は戶外にて盛に開花するものなり。

18. シモバシラ屬 KEISKEA.

1499. **しもばしら** …… シンケイ科
Keiskèa japonica, *Miq.* (3圖版-26)

(異名) ゆきよせさう　〔形態〕山林、原野等に自生する多年生草本にして、高さ60糎(2尺)許に成長するものなり。葉は柄を有し、對生し、葉身は橢圓形或は卵狀長橢圓形にして先端鋭く尖り、基脚は鋭或は鈍脚をなし、鋭鋸齒緣を具ふ。花は頂生或は腋生し、苞は廣披針形にして鋭尖頭をなし、萼は鐘形にして5深裂し、各裂片は稍同形、花冠は筒狀唇形にして、喉部擴大し、上唇は短淵にし先端凹み、下唇は3裂し、側片は圓く、中央の裂片は長く、平開す。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し、花柱は頂端2岐し、各枝は墾形をなし稍長さを同じくす。〔花色〕白色にして少しく黃暈を帶ぶ。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部。

1500. **ほそばしもばしら** …… シンケイ科
Keiskea japonica, *Miq.* var. lancifolia, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し、概形彼と同樣なれども、本種の葉は披針形にして、先端長鋭尖頭をなし、長さ12糎(4寸)乃至18糎(6寸)許に達し、花は總狀花序をなし腋出し、對生或は頂生、又は單生し、分枝することなく、花は少數を着生するものなり。〔分布〕四國・九州。

19. ヲドリコサウ屬 LAMIUM.

1501. **をどりこさう** 續斷・野芝麻 (3圖版-27)・シンケイ科
Lamium album, *L.* var. barbatum, *Franch.* et *Sav.*

(異名) をどりさう　〔形態〕路傍、山野等の稍談地を好みて自生する多年生草本にして頗る繁殖の早きものなり。高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は大形にして、長さ3-7·5糎(1-2·5寸)許を有し、長柄によりて對生し、葉身は卵形をなし先端尖り、基脚心臟形、緣邊粗鋸齒をなす。花は輪繖花序をなし、8-16花宛着生し、花穗は上方に至れば接着し、下部にては隔離す。苞は大形にして葉狀をなし、萼は鐘形をなし先端5裂し、各裂片は三角形をなし、先端に鬚毛を有す。花は筒狀唇形をなし、筒部は彎曲、基脚膨出し、上唇は弓形鈍頭をなし毛茸を密生し、下唇は3裂し、側裂片は墾形、中央の裂片は倒心臟形をなす。雄蕊は4箇ありて2强をなす。果實は瘦果にして四

20 てんにんさう　21 むしやりんだう　22 なぎなたかうじゆ
23 ちしまをどりこ　24 ヤナギハクカ　25 フブキバナ
26 しもばしら　27 をどりこさう　28 ヒメヲドリコサウ

638
81

面形をなし,表面平滑なるものなり。〔花色〕白色或は帶紫白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國・九州・朝鮮・滿洲。

1502. **ヒメヲドリコサウ** ····· シソケイ科
Lamium purpureum, L. (3圖版-28)

〔形態〕往時の外來に係るものなれども,現時は本邦各地の田野,路傍,畑地等に繁殖生育する一年生草本にして,全株に短毛を布き,高さ21-24糎(7-8寸)に達するものなり。莖は方形をなし,稍紅紫色を帶ぶるものあり。葉は長柄によりて對生し,葉身は卵狀心臟形にして鈍頭或は稍銳頭をなし,緣邊は鈍齒牙緣をなす。輪繖花序は稍頭狀をなし,下部に着生するものは隔離す。本花の有する苞は鑿形をなし,萼片は披針形鑿形にして筒部より長く,花冠は花筒の上部稍彎曲し,內面に環狀をなして粗毛を有す。上唇は卵形にして鈍頭をなせども,側片は稍2齒緣をなす。〔花色〕紫色,稀に白色のものを見ることあり。〔花候〕春-夏。〔原産地〕歐羅巴。

1503. **うらいをどりこさう** ····· シソケイ科
Lamium uraiense, *Hayata*.

〔形態〕原野に自生する一年生或は二年生草本にして,莖には粗毛を有し,葉は膜質にして長橢圓形或は卵狀長橢圓形をなし,先端尖り,鋸齒緣を具ふ。花は腋出し,苞は細小,萼には粗毛を散生し,花冠は斜鐘形をなし,外面に粗毛を布く。〔分布〕臺灣。

1504. **ほとけのざ** 元寶草 ····· シソケイ科
Lamium amplexicaule, *L*. (4圖版-29)

(異名) ほとけのつつじ・かすみぐさ・とんびぐさ・さんがいぐさ

〔形態〕原野に自生多き一年生又は越年草本なり。莖は方形にして伏臥性をなし,高さ24-27糎(8-9寸)に達す。葉は圓狀卵形又は心臟形,銳頭にして,基脚稍心臟形或は楔狀をなし,緣邊缺刻狀鋸齒をなす。この葉は莖の下部に生ずるものは長き葉柄を有すれども,上部のものは無柄にして,2葉相對し莖を抱く。花は輪繖花序をなし,苞は腎臟狀圓形にして,柄を有することなく,緣邊鋸齒をなす。萼には短毛を密布し,先端5裂し,各齒片は鑿形をなす。花冠は細長き管狀部を有する唇形花冠をなし,上唇は長橢圓形全緣,下唇は側片殊に細小なる特徵を有す。雄蕊は4箇,柱頭は先端2裂す。本植物は自花受精をなすをもつて有名なり。尙本種はその和名ホトケノザと稱するも,春の七草の夫とは全く科屬を異にするものなり。〔花色〕紅紫色。〔花候〕4-5月。〔分布〕本州各部・四國・九州・臺灣・朝鮮。

1505. **やまぢわう** ····· シソケイ科
Lamium humile. *Maxim*. (4圖版-30)

(異名) みやまきらんさう 〔形態〕山地に自生する矮性の多年生草本にして,全株に絨毛を布き,高さ僅々9-12糎(3-4寸)に過ぎざるものなり。莖葉は細小にして鱗狀を呈し,梢頭に大形の無柄葉を通常4葉を1ヶ所に集り生じ,始ど輪生の觀を呈す。この葉は比較的大形にして長さ6糎(2寸)許を有し,其狀恰も襯の如き觀を呈し,緣邊粗齒狀を呈す。花は輪繖花序をなし,通常2花を着け,苞は披針形にして齒牙緣をなし,萼は先端5裂し,各齒片は鑿形をなす。花冠は萼の2倍許長く,外面は萼と共に絨毛を布き,花冠の內面には環狀をなして粗毛を有す。喉部は稍膨大し,上唇は長橢圓形,全緣にして直生し,下唇は3裂し,側片は卵狀長橢圓形,中央の裂片は廣濶にして截頭をなす。〔花色〕帶紅紫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

1506. **ひめくるまばな** ····· シソケイ科
Lamium chinense, *Benth*. var. parvifolia, *Hemsl*.

〔形態〕臺灣の原野に自生品を見る小草本なり。葉は小形の卵狀圓形をなし絨毛を有し,下部に生ずるものは長柄を有すれども,上方に生ずるものは短柄を有し,何れも對生す。花は輪繖花序をなし,腋出又は隔離す。苞は萼より短く,萼は長さ6粍(2-6分)許にして絨毛を有し,花冠は筒部挺出し,喉部擴大し,上唇は延長し,下唇は上唇と同長,側片は廣濶にして全緣或は細鋸齒緣をなし,中央の裂片は長大にして先端更に4裂する特徵を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1507. **おほじふにひとへ** ····· シソケイ科
Lamium formosanum, *Nakai*.

〔形態〕本種も亦臺灣の原野に自生品を見る多年生草本にして,全株に甚毛を密布し,高さ30糎(1尺)に達す。葉は短柄によりて對生し,葉身は長橢圓形をなし,齒牙緣をなす。花は輪繖花序をなし,通常5-6箇の無梗花を着生す。萼は鐘狀をなし,10脈を有し,先端5裂し,各裂片は銳尖頭をなし,花冠は唇形にして,長さ1·2-1·5糎(4-5分)許,上唇は稍全緣なれども,下唇は3裂し,左右の裂片は短き長橢圓形をなし,中央の裂片は長く,更に4裂す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

20. ラワンデル屬 LAVANDULA.

1508. **ラワンデル** ····· シソケイ科
Lavandula vera, DC. (4圖版-31)

〔形態〕英國に於ては專ら藥用植物として栽培する常綠の半灌木にして,花を着くる枝は短毛を帶びて直立し,莖の下部に於ては葉のみを生じ,其葉は線狀にして,邊緣は背面に向ひ捲曲す。尙稚葉は灰白色を呈し,星狀の毛茸を布く。花は穗狀花序を頂生す。苞は膜質をなし褐色を呈し,菱狀卵形をなし,先端尖る。萼は卵狀筒形をなし,13-15脈を有し,先端5裂し,花冠は筒狀唇形をなし,萼の倍長く,上唇は2裂し,下唇は3唇裂し,雄蕊は4箇ありて2强をなし,花柱は2岐す。果實は痩果をなし,表面滑澤,內に1箇の種子を蔵す。〔花色〕碧色。〔原産地〕南歐羅巴。

人生との關係 上述の如く藥用植物として栽培せらるゝものなれども,本邦にては時に園地に栽培せらるゝことあり。

藥用に供するものは本植物の花に水蒸氣を通じ,蒸溜して得たる揮發油にして,之をラワンデル油(Oleum Lavendula)と稱す。

ラワンデル花は其香氣佳絕なるが故に,浴湯となし,又浸劑を洗滌料となす。其他主としてラワンデル油を製するに使用するものなり。(神谷)

21. クヮエンキセワタ屬 LEONOTIS.

1509. **クヮエンキセワタ** ····· シソケイ科
Leonotis Leonurus, R. Br. (4圖版-32)

(英名) ライオンス・テイイール (Lions Tail.) 〔形態〕熱帶亞弗利加原産の常綠灌木にして,高さ2-3米(7-8尺)に達し,方形にして,灰色の線毛を布く。葉は披針狀橢圓形にして,長さ約7糎(2·3寸),幅1·5糎(5分)許を有し,半ば以上鋸齒緣をなし,表裏共に毛茸を有す。花は莖の頂部に數段をなして,輪生し,萼は筒狀をなし10脈を有し,先端5裂し,銳尖頂をなす。花冠は長き筒狀唇形をなし,上唇は上方に裁だしく伸長し,其突入面に4雄蕊及1雌蕊とを着く。〔花色〕全體に紅橙色を呈し,之に天鵞絨樣の毛茸を密生し,美觀を呈す。〔花候〕11月。〔原産地〕熱帶亞弗利加。

人生との關係 近時の外來に係る種類にして,本邦にては專ら園藝植物として栽培し觀賞に供す。花持の永きものなり。

繁殖は挿木により,栽培は頗る容易なるものにして,フレーム中にて越年し,開花する程なり。

22. メハジキ屬 LEONURUS.

1510. **めはじき** 益母草・茺蔚 ····· シソケイ科
Leonurus sibiricus, *L*. (4圖版-33)

(異名) やくもさう 〔形態〕各地の原野に自生する一年生草本にして,全株無毛なるか,或は細毛をを布き,高さ60糎(2尺)乃至180糎(6尺)に達す。根生葉は圓形にして,邊緣に缺刻多く,恰もトリカブトの葉に似たれども,肉薄く柔くして毛茸を生せず。莖の上部に至るに從ひ,漸次狹細となり,梢葉は對生し,大なる缺刻ありて,3小裂片に分れ,各小裂片は緣邊に小缺刻を有し,恰もヨモキの梢葉の觀あり。花は梢葉の腋部に着生し,數層重疊す。萼は鐘狀をなし,先端5裂し,花冠は筒狀をなし,先端2裂し,上唇は匙形をなし,下唇は4淺裂し,雄蕊は4箇ありて2强をなし,子房は4裂し,1花柱を具ふ。花後小形にして長く,且4稜ある果實を結ぶ。これを茺蔚子と稱し藥用に供す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・琉球・臺灣。

1511. **きせわた** 蘷菜 ····· シソケイ科
Leonurus macranthus, *Maxim*.

〔形態〕山麓乾原等に多く自生品を見る多年生草本にして,全株に褐色の偃毛を密布し,高さ1米(3-4尺)に達す。莖は方形をなし,地下に細長なる根莖を曳き,概ね單一なれども,稀に小枝を分つ。葉は有柄にして對生し,心臟狀卵圓形にして3裂し,緣邊鋸齒をなし,質厚く毛茸を有す。梢葉は卵形をなす。花は輪繖花序をなし多花を着け,梢部に在りては往々穗狀をなす。苞は剛毛狀をなし,先端刺をなす。萼は鐘形をなし先端5齒緣をなし,各齒片は鑿形にして,先端に刺を有す。花冠は筒狀唇形をなし,外面に細毛を布き,花筒は眞直,上唇は兜形,下唇は平開し,先端3裂し,側裂片は卵狀長橢圓形,中央の裂片は倒卵形全緣をなす。雄蕊は4箇ありて2强をなし,葯は淡黃色を呈し,花後微小なる痩果を結ぶ。〔花色〕淡紫色なれども又白色のものあり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州各地・四國・九州・朝鮮・滿洲。

1512. **ひめきせわた** ····· シソケイ科
Leonurus tuberiferus, *Makino*.

638
81

7 きせわた

8 やんばるつるはくか

〔形態〕山地に自生多き多年生草本にして、全株に短毛を布き、高さ 30 糎(1 尺)内外に達する小品なり。葉は長柄によりて對生し、葉身は廣卵形、鈍頭にして、鈍齒牙緣をなす。輪繖花序は 1-3 花を有し、腋出す。苞は剛毛狀をなし、小苞と同長なるか或は短く、萼は先端 5 裂し、各裂片は三角狀鑿形をなし、先端刺をなす。花冠は萼と共に短毛を布き、上唇は微に凹頭、下唇は 3 裂し、上唇と同長なれども、中央の裂片は稍大形なり。〔花色〕紫色。〔花候〕3-4 月。〔分布〕九州・朝鮮。

23. ヤンバルツルハクカ屬 LEUCAS.

1513. **やんばるつるはくか** ····· シンケイ科
Leucas mollisima, *Wall.* var. chinensis, *Benth.*

〔異名〕やんばるくるまばな 〔形態〕原野に自生品を見る多年生草本にして、莖には白毛を布き、高さ 37 糎(1·2-1·3 尺)に達し、多くの小枝を分岐する性あり。葉は稍無柄にして對生し、葉身は卵狀披針形或は卵形鋭頭、稀に鈍頭にして鋭鋸齒緣を有す。輪繖花序は腋出し、柄部に於ては接近す。萼は筒形にして 10 脉を有し、長さ 6 粍(2 分)許にして毛茸を密布し、先端 5 裂す。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は直生し、先端凹み、下唇は平開し、先端 3 裂し、中央の裂片は頗る大形なり。雄蕊 4 箇、花柱は不齊に 2 岐し、果實は瘦果にして卵狀 3 稜形鈍頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕臺灣。

24. マネキグサ屬 LOXOCALYX.

1514. **まねきぐさ** ····· シンケイ科
Loxocalyx ambiguus, *Makino.* (4 圖版-34)

〔異名〕やまきせわた 〔形態〕本州中にては多く伊吹山、京都北山等に自生品を見る多年生草本にして、全株に短毛を布き、高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達す。葉は膜質をなし、葉柄を有し對生す。葉身は卵形にして、鋭尖頭をなし、基脚心臟形或は楔形、緣邊粗齒牙緣を具へ、全面に多くの皺襞を有す。輪繖花序は 1-4 花を着生し、苞及小苞は細小にして剛毛狀をなし、萼は倒圓錐狀鐘形をなし、外面脉上に短毛並に腺毛を布き、花冠は著しく挺出し、筒狀唇形をなし、上唇は兜形、下唇は整齊に 3 裂し、各裂片は圓形をなす。雄蕊は稍同形、花柱は短し。果實は瘦果にして四面形をなし短毛を被むる。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國。

25. シロネ屬 LYCOPUS.

1515. **しろね** 地瓜兒苗 (4 圖版-35) ····· シンケイ科
Lycopus lucidus, *Turcz.* var. genuinus, *Herd.*

〔異名〕あぜこし 〔形態〕各地の池沼、水澤等の如き濕地に自生する多年生草本にして、全株僅に毛を有し、高さ 60-90 糎(2-3 尺)に達す。葉は短柄を有し對生し、葉身は長披針形、鋭尖頭、鋭脚をなし、緣邊粗に鋭鋸齒緣をなす。輪繖花序は多花を密生し、比較的小形なり。萼は鐘形をなし、先端 5 裂し、各齒片は刺頭をなす。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は稍大きく、下唇は先端 2 裂す。本種の花は雌雄雜花をなし、雄花及完全花に在りては 2 箇の雄蕊を有し、雌花にありては假雄蕊 4 箇、花柱は先端 2 岐し、各枝は扁平なり。果實は瘦果にして 4 面形をなし、邊緣に肥厚し、滑澤なり。〔花色〕白色にして紅色の細點を布くもの、或は然らざるものとあり。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・臺灣・朝鮮。

人生との關係 本種は地下に白色の匍匐根を有するものにして、山民は冬日この根を掘り取り、食用に供することあり。

1516. **けしろね** ····· シンケイ科
Lycopus lucidus, *Turcz.* var. hirtus, *Regel.*

〔形態〕概形凡て前種に酷似せるものなれども、本種は葉の兩面に粗毛を布くを彼と異るところとす。〔分布〕本州中部。

1517. **たいわんしろね** ····· シンケイ科
Lycopus lucidus, *Turcz.* var. formosanus, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の原野に自生品を見る多年生草本にして、概形前種等と同様なれども、本種は葉の幅稍狹く、殆ど全緣をなし、全株稍無毛なり。〔分布〕臺灣。

1518. **ひめしろね** ····· シンケイ科
Lycopus angustus, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、高さ 30-90 糎(1-3 尺)に達す。葉は稍無柄にして對生し、葉身は狹披針形、鋭頭をなし、基脚圓形或は心臟形をなし、基部に生ずる葉は緣邊缺刻狀齒牙緣をなせども、梢部に生ずるものは粗鋸齒緣をなす。輪繖花序は腋出し、各花は無梗、萼は 5 裂し、各裂片は鑿形をなし、果實は瘦果をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道・本州・九州。

1519. **さるだひこ** ····· シンケイ科
Lycopus Maackianus, *Makino.* (4 圖版-36)

(異名) としろね 〔形態〕前種等と同樣池沼、水邊等に自生する多年生草本にして高さ 30-90 糎(1-2 尺)に達し、餘り多く分枝せざる性質を有す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵狀披針形にして、緣邊疎鋸齒をなす。輪繖花序は腋出し、各花は無梗。萼は先端 5 裂し、各裂片は披針形或は鑿形をなす。花冠は筒狀唇形をなし先端 4 裂し、果實は瘦果をなす。〔花色〕白色にして紫色の細點を有す。〔花候〕初秋。〔分布〕北海道・本州・九州。

1520. **ひめさるだひこ** (4 圖版-37)·····, シンケイ科
Lycpus Maackianus, *Makino.* var. ramosissimus, *Makino.*

〔形態〕前種等と同樣水濕地に自生する多年生草本にして、莖は高さ前種等より低く、前種の分枝少きに反し、本種は多くの小枝を分つ。葉も亦概ね小形、瘦果は著しく萼筒上に挺出する特徴を有するものなり。〔花色〕前何〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・四國・九州。

1521. **えぞしろね** ····· シンケイ科
Lycopus virginicus, *L.* var. parviflorus, *Makino.*

(異名) えぞこしろね 〔形態〕多く樺太、北海道の如き寒地の濕地に自生する多年生草本にして、全株に細毛を密布し、莖は方形にして細長なる匍枝を出し、高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し、根莖は其先端念珠狀をなす。葉は長橢圓形、鋭尖頭にして、基脚尖り、緣邊疎鋸齒緣をなし對生し、兩面共に腺狀の細點を有す。花は前種等と同樣輪繖花序をなし、梢上葉腋毎に着生す。萼は先端 5 裂し、各裂片は廣卵形鋭頭をなし、この 5 裂中 1 片は短小なる特徴を有す。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は兜狀にして先端凹み、下唇は 3 裂す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

26. マヨラナ屬 MAJORANA

1522. **マヨラナ** (4 圖版-38)····· シンケイ科
Majorana hortensis, Moench. (*Origanum Majorana, L.*)

〔形態〕外來の品種にして、本邦にては主として觀賞用として栽培せらるる多年生草本なり。莖高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し、葉は葉柄により對生し、葉身は橢圓形、鈍頭をなし、全緣、兩面に白色の細毛を密布す。花は小形の穗狀をなし、3-5 花を簇生し、3 出圓錐狀をなす。本花の小苞は卵形、萼は 5 齒緣をなし、花冠は唇形にして上唇は 2 裂し、下唇は 3 裂す。雄蕊は 4 箇ありて花冠外に挺出し、花柱は先端 2 岐し、果實は瘦果をなし、表面滑澤なり。〔花色〕白色或は紫色。〔花候〕夏。〔分布〕歐羅巴。

27. ニガハクカ屬 MARRUBIUM.

1523. **ニガハクカ** ····· シンケイ科
Marrubium vurgare, L. (4 圖版-39)

(異名) マルバハクカ 〔形態〕外來の多年生草本にして、本邦には園地に栽培せられ、高さ 30 糎(1 尺)乃至 45 糎(1·5 尺)許に達し、全株に綠毛を密布するものなり。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形或は菱狀卵形をなし、鈍齒牙緣をなす。輪繖花序は腋出し、多花を密生し球狀を呈す。萼は筒形をなし 10 齒緣を有し、各齒緣は鉤刺端をなす。花冠は唇形をなし上唇は舌狀にして先端 2 裂すれども、下唇は上唇より割合に短く、先端 3 裂す。

29 ほとけのざ

30 やまぢわう

31 ラワンデル

32 クワエンキセワタ

33 めはじき

34 まねきぐさ

35 しろね

36 さるだひこ

37 ひめさるだひこ

38 えぞしろね

39 にがはくか

638
81

雄蕊は4箇を有し2强をなし.花柱は先端2岐し.各枝端短小なり。果實は瘦果にして卵形を呈し.滑澤なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。

〔原産地〕羅巴。

28. ラシャウモンカヅラ屬　MEEHANIA.

1524. **らしゃうもんかづら** …… シンケイ科

Meehania urticifolia, *Makino.* (5圖版-40)

(異名) るりてふてふ　〔形態〕山地殊に深山の蔭地に多く自生する多年生草本にして.全株に細毛を布き.莖は方形にして直生し.匍匐枝を出し長く地に臥す。基部に生ずる葉は長柄を有すれども.上部に生ずるものる短柄を有し.葉身は膜質にして三角形狀卵形をなし.先端尖り.基脚は心臟形或は楔形をなし.鈍或は鋭齒緣をなす。輪繖花序は2-6花を着生し.梢頭に於ては總狀をなす。本花の有する萼は筒狀漏斗形にして15脉を具へ唇形をなし.上唇は3裂して稍長く.下唇は2裂し.各裂片は何れも卵形をなす。花冠も亦漏斗狀唇形をなし.上唇は2裂し.下唇は上唇と稍同長にして先端3裂し.中央の裂片は特に闊大にし先端凹み.內面に濃紫色の斑點を布く。雄蕊は4箇ありて平行斜上し閉在す。柱頭は整齊に2岐す。果實は瘦果にして卵形を呈し.表面滑澤なり。〔花色〕鮮紫色。〔花候〕春。

〔分布〕本州各部・四國・九州。

29. セイヤウヤマハクカ屬　MELISSA.

1525. **セイヤウヤマハクカ** …… シンケイ科

Melissa officinalis, L. (5圖版-41)

(異名) カウスキハクカ・メリツササウ　〔形態〕地中海々濱の各地並に小亞細亞地方に自生品あれども.方今は中.南部歐羅巴地方に於て藥用植物として栽植せらるゝ多年生草本にして.全株に軟毛を散生す。葉は長柄を有し.葉身は卵形をなし.基脚は心臟形.緣邊鈍鋸齒緣をなす。輪繖花序は腋出し.小數花を着生す。本花の有する苞は卵形をなし.萼は鐘狀唇形にして13脉を有し.脉上に鬚毛を列生し.上唇は3齒緣.下唇は2深裂す。花冠は筒狀唇形をなし.筒部は上方に漸く擴大し.上唇は直生し.先端凹み.下唇は平開.先端3裂.雄蕊4箇ありて3强をなし.花柱は2岐し.整齊鑿形をなす。果實は瘦果にして.卵形をなし.表面滑澤なり。〔花色〕白色なれども往々紫色の斑點を布く。〔花候〕夏。〔原産地〕地中海・小亞細亞。

人生との關係　本植物の葉を開花前並に開花時に採集し.蔭干にしたるものを「メリツサ」葉(Folia Melissae)と稱し藥用に供す。本品は佳快の芳香性を有し.稍々枸橼に類す。但峻烈ならず。味は芳香性にして稍若く.且收斂性なり。

主として芳香藥として使用すれども.特に複方「メリツサ」精の主成分なり。(神谷)

1526. **むらさきにひたかはくか** …… シンケイ科

Melissa parviflora, *Benth.* var. purpurea, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の山野に自生する多年生草本にして.全株無毛種に屬す。葉は有柄にして對生し.葉身は卵狀披針形をなし.先端尖り.基脚狹く.緣邊鋸齒狀をなす。輪繖花序は3-5花を着け腋出す。萼は11脉を有し.その內5脉は顯著なり。この萼は全面に粗毛を列生し.上唇は反捲して3齒緣をなし.各齒片は圓形.鋭頭.下唇は先端2裂し.各裂片は披針形をなす。花冠は筒狀唇形をなし.筒部は稍閉在.反捲斜上し.舷部は外面に粗毛を布く。上唇は廣濶にして先端凹み.下唇は3裂し.各裂片は圓形にして中央の裂片は稍大きく.先端凹む。果實は瘦果をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。

〔分布〕臺灣。

30 ハクカ屬　MENTHA.

1527. **はくか** 薄荷 (5圖版-42) …… シンケイ科

Mentha arvensis, L. var. *vulgaris*, Benth.

(異名) めぐさ　〔形態〕特異の香氣を有する藥用植物にして.山野には自生品を見るものなれども.亦世界各地に栽培せらるゝ多年生草本なり。莖は高さ60糎(2尺)餘に達し.全株に短毛を布く。葉は有柄にして對生し.葉身は卵形或は橢圓形をなし.鋭頭.鋭脚をなし.上半部粗に鋭鋸齒緣をなす。輪繖花序は有梗にして腋出し.多花を着生す。萼は鐘狀にして10脉を有し.5齒緣をなし.各齒片は三角狀卵形なり。花冠は筒形にして先端4裂し.上部の1片は稍濶大し微に凹頭をなす。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出す。花柱は整齊に2岐し.各枝は鋭頭なり。果實は瘦果にして卵形を呈す。〔花色〕白色なれども稍碧紫色暈を呈す。〔花候〕夏-秋。〔分布〕樺太・北海道・本州・九州・琉球・朝鮮・滿洲。

人生との關係　本植物の葉より薄荷油を製し.各種の藥用に供することは周知の事實なり。本邦にては山形.秋田.北海道其他各地に於て栽培し.薄荷油を製造す。歐羅巴諸國に於ても盛に培養せらるれども.彼の地に於ては專らMentha piperitaなる種類を.亞米利加に於ては前者と共にMentha viridisなる種類を藥用に供す。

朝鮮.滿洲等にては到處の原野に自生し.古來清涼發汗劑として有名なる藥草と稱すれども.薄荷油及薄荷錠等の製造は凡てこれを移入に仰ぎ.その製造原料として特に花圃に栽培せらるゝ域に達し居らざる模樣なり。以下少しく薄荷葉の藥効及製藥につき記述すべし。

日本藥局方の指定による薄荷葉は本頂記載植物の葉を採集せるものにして.其主成分は薄荷腦(Menthol, $C_{10}H_{19}OH$)にして.これを製造の目的を以つて北海道.米澤.新潟.千葉縣下に於て培養せらるゝものなり。而してこの薄荷葉は1年に2回乃至3回收穫することを得れども.開花時に刈入れ陰乾にしたるものを最も良品とす。蓋し此時期に於ては薄荷油をを含有すること最も多量なるによるものなり。この薄荷葉を水蒸氣と共に蒸溜すれば薄荷油約2·5%を得.其香氣は產地並に品種の異るに從ひ多少の相異あれども.其主成分は薄荷腦にして.我國產品は大に此成分の含有量に富み略々其半量に達するものなり。

薄荷油　前揚薄荷葉に水蒸氣を通じ蒸溜して製出したるものなり。本品は無色或は微に黃色又は帶綠微黃色稀薄の揮發油にして.薄荷特有の芳香を放ち.味は樟腦に似て寒冷を覺え.中性なり。比重0·9-0·91を有し.水蒸氣と共に氣出したるものは通常粘液性分質を含有し.且つ着色せるものなれば.更に水蒸氣と共に其蒸溜を行ひ精製するものなり。本品の價値は香味の精良なるにあるを以て.これが試驗を行ふには.本品に砂糖を配加し.舌頭に致し試むべし.然るときは其儘味ふよりも一層不純の香味を感取し得らるゝものなり。薄荷油は英國製を最良品とし.リキユー酒製造の原料には專ら英國製のみを使用せらる。英國製に亞ぐは獨逸製の再溜品にして亞米利加產はテルペンチ油を夾雜すること多きを以て良品と稱するに至らず。去れど本邦產のものよりは遙に高價なるものなり。我國產品は味著しく苦く.ために劣等品に屬するは遺憾なる次第なり。

我國產薄荷油は其主成分たる薄荷腦(Menthol, $C_{10}H_{19}OH$)を除去せるものなれど.尙其少量を含有するものにして.其他の成分は殊にメントーン(Menthon, $C_{10}H_{18}O$)及種々のテルペン(Terpen)類なれども.品種により種々のエステル類.アルコール等をも含有するものあり。

薄荷油の應用は興奮藥.健胃藥.驅風藥等にして.其用量は0·05乃至0·15とす。酒精にて稀釋し.又は油糖として與ふ。外用としては偏頭痛.神經痛.齒痛等に使用す。

薄荷腦　無色針狀の結晶體をなし.特異なる竄透性の香氣を有し.味は初め灼くが如く.後.冷凉なり。水には極めて微に溶解し.中性の反應を徵し.酒精・エーテル・クロロフォルム・アツエトン・揮發油類・流動パラフィン硫化炭素等には溶解す。熔融點は約43度.沸騰點は212度なり。酒精溶液は分極光線の平面を左旋す。藥用に供すべき純品(日本藥局方指定)は.其一分に硫酸40分を注加すれば.溷濁して褐赤色を呈すれども.24時間を經過すれば薄荷腦の香氣を有せざる澄明無色の油層を析出す。又本品を氷醋酸1立方糎.硫酸6滴.硝酸1滴の混加液に混加し染色せざるもの.又本品0·1グラムを重湯煎上に蒸發するに秤定し得べき固形物を殘留せざるものを標準とす。

《薄荷腦の製法》　薄荷腦は薄荷油の固形成分なるを以て.薄荷油を强く冷却するときは.本成分のみ固結析出するものなり。此際油分を傾瀉し去り.固形分を濾紙上に擴布して附着せる油分を吸收せしめ.然る後酒精に溶解して結晶せしむるものなり。我國產の薄荷油には著しく薄荷腦に富み0·5%の多きに達するものあり。かゝる薄荷油は冬季常溫にて已に固結することあり。

《應用》　外用としては先づ薄荷腦挺子となし.偏頭痛に對し其患部を摩擦するなり。この挺子は薄荷腦を熔融し.これを鑄型に入れ形成す。本品の製出には普通1-2%のチモール及少許のパラフィンを添加するものなり。又ワセリンを賦形藥として軟膏を作り.レウマチス及神經痛に塗擦藥となし.或は10倍のクロロホルム溶液を齒痛に應用す。內用には喘息に吸入藥となし.又レウマチス・神經痛・下痢及虛脫等に1日數回0·5乃至1·0瓦を使用す。

薄荷水　粗に剉截せる薄荷葉1分を適量の常水に浸漬したるものに.水蒸氣を通じて30分を溜取したるものなり。本品は薄荷特有の香氣を有し.主として合劑.乳劑等の佐使藥として應用せらるゝものなり。

薄荷精　本品は薄荷油10分を酒精90分に混加したるものにして.無色透明の液體なり。主として健胃.驅風等に應用せらる。

薄荷舍利別　中剉截せる薄荷葉2分を酒精1分を以て濡ほし.蒸溜水10分を注き.屢ば攪拌しつゝ24時間冷却し.壓搾し.濾過し.其濾液7分に白

糖2-3分を溶融して製出す。本品は類緑褐色を呈する合剤別にして．多く芳香性矯味薬として合剤に配伍す。尚本品は時と共に凝敗し易きものなれば1時に多量を製出することは不可なり。

薄荷錠　本品は薄荷油1分に白糖99分を混和し．これを錠剤とし．其1箇中に0·01瓦の薄荷油を含有する様製したるものなり。本品の應用は薄荷油と同様なれば其項參照すべし。

1528. **ひめはくか** ····· シソケイ科
Mentha joponica, *Makino.* (5圖版-43)

(異名) ひめめぐさ　〔形態〕山野の濕地を好みて自生する多年生草本にして．莖は結節を有し．基部に短毛を密布し．高さ60-90糎(2-3尺)許に達す。葉は短柄を有し對生し．葉身は橢圓形乃至長橢圓形．鈍頭をなし．鈍或は鋭脚にして．緣邊鋸齒をなす。輪繖花序は短梗を有し．腋出し．梢頭屢ば頭狀に密集す。本花の有する苞及小苞は細小にして線形をなす。本種の花は細梗を有し．花形に2種あり。即ち1は兩性花をなし．1は雌性花にして雌雄2花をなす。萼は筒狀鐘形をなし．稍整齊に5裂．稀に4裂す。花冠も亦4裂し．兩性花にては筒狀鐘形．雌花にては筒狀をなし．下唇の裂片は橢圓形．概ね圓頭をなし．上唇の裂片は概ね凹頭にして．下唇の裂片より稍長き特徴を有す。果實は痩果なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。
〔分布〕北海道·本州·中部及北部。

1529. **たいわんはくか** ····· シソケイ科
Mentha neptoides, *Lef.*

〔形態〕山野の濕地に自生品を見る多年生草本にして全株無毛種に屬す。葉は無柄にして對生し．葉身は卵形．鋭頭．基脚は圓形或は戟形をなし．緣邊齒牙狀の鋸齒を有す。輪繖花序は多花を着け密生穗狀をなす。苞は披針形をなし花部と長さ相同じく．萼は5齒緣をなし．上側の3齒片は短く．下側の2齒片は長し。花冠は鐘形をなし．筒部は挺出し．先端4裂し．上唇は大形の廣卵形をなし直生．凹頭をなし．下唇は平開す。果實は痩果をなす。
〔形態〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1530. **ケハクカ** ····· シソケイ科
Mentha sylvestris, L. var. *pubescens*, Koch.

〔形態〕本邦には主として園地に栽植觀賞に供せらるゝ小形の多年生草本にして．全株に短毛を密布す。葉は短柄を有し對生し．葉身は質薄く．長橢圓形或は卵狀披針形にして．鈍或は鋭頭．基脚心臟形をなし．緣邊に不整の鋸齒を具ふ。花は穗狀花序をなし．長さ約3糎(1寸)許の線狀圓柱形をなし．多數密生し．梢頭枝端に頂生す。苞は線狀鑿形をなし．果實は痩果をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

1531. **オランダハクカ** (5圖版-44)····· シソケイ科
Mentha viridis, L. var. *crispa*, Benth.

(異名) チリメンハクカ　〔形態〕往古の外來に係り．園地に栽養せらるるものなれども．現時は往々園地外に自生品を見る多年生草本にして．全株稍無毛なるか．或は粗澁し．概形は頗るよく薄荷に酷似せるものなり。葉は無柄にして對生し．葉身は披針形或は長橢圓狀披針形をなし先端尖り．基脚心臟形．緣邊鋸齒をなす。花は圓柱形の穗狀花序をなし．梢頭枝端に頂生し．下部にては稍隔離して着生す。本花の苞は剛毛狀線形をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕歐洲。

31. カヒガラサルビヤ屬　MOLUCELLA.

1532. **カヒガラサルビヤ** ····· シソケイ科
Moluccella laevis, L. (5圖版-45)

(英名) シェルフラワー (Shell-Flower)　〔形態〕最近の外來に係り．特に其萼が奇異なる形態を有するにより栽培觀賞に供せらるゝ一年生草本にして．莖は高さ40糎(1尺3-4寸)に生長す。葉は長柄を有し對生し．葉身は圓形にして稍心臟形をなし．緣邊に齒牙狀の疎鋸齒を有す。花は輪繖花序をなし．梢上葉腋上に着生す。本種は其の苞圓形をなして著しく發育し．遂には貝殻狀を呈し．中央凹み．其底部に花蕾を藏し頗る奇觀を呈するものなり。〔原産地〕モロツコ地方。

人生との關係　前種と同樣觀賞用として栽培するものにして．繁殖は種子に據るものなり。尚本植物の和名は松崎氏の命名せられたるものなり。
(此項石井氏園藝圖譜に據)

32. ヤグルマクヮクカウ屬　MONARDA.

1533. **ヤグルマクックカウ** ····· シソケイ科
Monarda fistulosa, L. (5圖版-46)

(異名) モナルダバナ　〔形態〕外來の觀賞植物にして多年生草本なり。葉は柄を有し對生．葉身は卵狀披針形．鋭尖頭をなし．基脚は圓形或は稍心臟形をなし．緣邊疎鋸齒緣をなす。花は無梗にして梢頭に密簇し頭狀花序をなす。本花序は總苞を有し．各苞片は卵形にして帶白色或は紫色を呈す。萼は狹き筒狀をなし．15脉を有し．整齊に5齒緣をなし．各齒片は鑿形にして．喉口に毛茸を密布す。花冠は長き筒狀唇形をなし．上唇は線形にして直生し．下唇は3裂し．側裂片は卵形鈍頭．中央の裂片は狹長にして先端稍凹む。雄蕊は2箇ありて斜上し．長唇より稍超出す。子房は4裂し．稍挺出す。
〔花色〕紅紫色或は白色。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

1534. **タイマツバナ** ····· シソケイ科
Monarda didyma, L. (5圖版-47)

(英名) スウキート·ベルガモット (Sweet Bergamot)　〔形態〕近時の外來に係り．切花として市場に見受けらるゝものにして．多年生に屬し．草高さ60糎(2尺)許に生長し．方形にして直立性なり。葉は短柄によりて對生．葉身は三角形．基脚稍心臟形をなし．緣邊に細鋸齒を有す。本種の花は火燄の燈ゆるが如き强列なる色彩を有する唇形花冠を有し．梢頭に簇生せる様は1種の奇觀を呈するものにて牧野博士の新命名せられたるタイマツバナなる和名は實に適切なる感を有するものなり。〔花候〕6-7月。
〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前述の如く切り花として珍重さるるものゝ1種なれども．又花園内に群植し美觀を呈するものなり。草性强健にして繁殖力强く．割合に濕地を好むものなれば．土質は壤土を適當とす。早春株分を行ひ適宜の場所に定植す。(此項石井氏園藝圖譜に據)

33. センサウ屬　MESONA.

1535. **せんさう** ····· シソケイ科
Mesona procumbens, *Hemsl.*

(異名) はひめそな　〔形態〕熱帶地方の山野に自生する一年生草本にして．高さ1米(3尺)に近く．全株に粗毛を散生す。莖は基部稍横臥し上部次第に直生す。葉は葉柄を具へ．葉身は卵形或は卵狀橢圓形をなし．先端鋭く．基脚圓形．緣邊には齒牙狀鋸齒を有す。秋日莖頂より花莖を抽出し多數の小花を着生し．穗狀花序をなす。萼は通常時期により其の形を變ず。即ち開花時には鐘形をなせども．花後次第に筒形となり下方に傾く．斯く成熟せる萼は唇形を呈し．下唇は全緣なれども．上唇は3裂す。花冠は筒狀唇形をなし．上唇は淵大なれども．下唇は卵狀長橢圓形を呈し．上唇より微に長くして細く．先端稍凹形をなす。雄蕊は4箇を有し．花柱は2岐す。果實は痩果にして廣卵形をなす。〔花色〕紅紫色。〔花候〕秋。〔分布〕臺灣。

34. イヌカウジュ屬　MOSLA.

1536. **いぬかうじゅ** 石薺蘇 ····· シソケイ科
Mosla punctulata. *Nakai.* (5圖版-48)

〔形態〕各地の原野に自生多き一年生草本にして．全株に細毛を布き．莖は方形をなし．高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は有柄にして對生し．葉身は卵狀披針形．鈍頭．基脚は圓形或は楔形をなし．緣邊鋭頭の鋸齒をなし．下面に腺點を密布す。この葉ばこれを揉みて嗅げば．最初は僅に香氣あれども更にこれを嗅げば．惡臭あるを覺ゆるものなり。花は梢頭に總狀花序をなし．細花を綴る様紫蘇の花に酷似すれども．本種の花は2花1箇所より對生し．小梗を有し．この小梗の基部に卵狀披針形の小苞を具ふ。萼は唇形にして5齒緣をなし．全面に毛茸を有す。花冠も亦唇形をなし．萼片より長く．果實は痩果をなし緻密にして顯著なる網狀隆起を有す　〔花色〕淡紫色。
〔花候〕9月。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球·朝鮮·滿洲。

1537. **しろばないぬかうじゅ** ····· シソケイ科
Mosla lanceolata, *Maxim.*

〔形態〕本種は臺灣に自生する1種にして．概形殆ど前種に類似すれども．花色白色を呈すると．其果實が前種に比し著しく小形なる特徴を有するものなり。〔分布〕臺灣。

1538. **ひめじそ** ····· シソケイ科
Mosla grosseserrata, *Maxim.* (5圖版-49)

(異名) みぞかうじゅ　〔形態〕原野に自生する一年生草本にして．全株に短毛を散生し．莖は方形にして高さ30-90糎(1-2尺)に達す。葉は長柄を有し對生し．葉身は卵形にして鈍頭或は鋭尖頭をなし．基脚楔形．緣邊粗鋸齒緣を具へ．下面に腺點を布く。花は疎に總狀花序をなし．梢頭枝端に頂生す。苞は披針形をなし．小梗より超出す。萼は唇形をなし．上唇は3裂し．中央の裂片は小形なり。花冠は細長の唇形をなし．長く萼片より超出す。果

PL. 5.

實は瘦果にして稍に稜狀の隆起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕秋。
〔分布〕本州名部·四國·九州·琉球·韓鮮·滿洲。

1539. **たいわんひめじそ** ……… シンケイ科
Mosla formosana, *Maxim.* (5圖版-50)

(異名) いぬじそ　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.全株無毛に屬し.莖は方形をなし.高さ60-90糎(2-3尺)に達す。この莖は多くの小枝を分ち.各枝條は直生にして開出す。葉は柄を有し對生。葉身は卵形.鋭頭.鈍脚をなし.緣邊鈍齒牙緣を有す。花は疎に小花を有する總狀花序をなし.梢頭枝端に着生す。苞は披針形をなし.大梗と長さ相同じく.萼は先端5裂せる唇形をなし.上唇の齒片は短形にして鈍頭をなす。花冠は長さ横徑の3倍長く.又萼の長さより3倍長きものなり。果實は瘦果にして疎に網狀隆起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕周年。〔分布〕臺灣。

1540. **やまじそ** ……… シンケイ科
Mosla japonica, *Maxim.* (6圖版-51)

〔形態〕主として山麓の原野等に自生する一年生草本にして.全株紫色を帶び.短毛を布く。莖は方形にして高さ28-30糎(8-9寸乃至1尺)許に達す。葉は短柄によりて對生し.葉身は卵狀披針形或は長橢圓狀卵形にして鈍頭或は鋭頭をなし.基脚楔形.緣邊低鋸齒緣をなす。花は總狀花序をなし.多數密生す。本種の苞は頗る大形にして圓形或は橢圓形をなし毛緣を有す萼は鐘形にして10脉を有す。花冠は筒狀唇形をなし.長さ4粍(1·5分)許.上唇は先端凹み.下唇は3裂し.側方の裂片は圓形.中央の裂片は大形なり。雄蕊は2箇.假雄蕊は絲狀をなす。果實は瘦果にして球形を呈し.稍隆起せる網狀脉理を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·九州·朝鮮。

1541. **しろばなやまじそ** ……… シンケイ科
Mosla leucantha, *Nakai.*

〔形態〕前種と同樣山地の原野等に多く自生する一年生草本にして.全株に細毛を布き.莖は方形にして分枝多く.各小枝は直生し開出することゝ等前種と同樣なれども.本種の莖は前種の如く紫色を帶ぶることなく.凡て綠色を呈し.枝條には鋭稜を有するものなり。本種の有する苞は卵形.萼は10脉を有し.先端5裂し.各裂片は披針形をなし.花後1側膨大す。花冠は長さ3粍(1分)許にして先端4裂し.下部の裂片は廣濶にして凹頭をなす。
〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

1542. **おほやまじそ** ……… シンケイ科
Mosla Hadai, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦前種同樣の土地に自生する一年生草本なり。莖は方形をなし.高さ90糎(3尺)許に達し.多くの枝條を分岐し.各枝條は開出斜上す。葉は有柄にして對生し.葉身は長橢圓形乃至廣卵形をなし.葉脉に沿ひて毛茸を有し.兩面に透明の紫點を布く。花は長穗狀形をなして着生し.苞は卵形にして花より超出す。萼は先端5裂せる唇形をなし.上齒片短く.其他は稍同長なり。花冠も同じく唇形をなし.下唇は橢圓形にして細齒牙緣を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

1543. **あをやまじそ** ……… シンケイ科
Mosla thymolifera, *Makino.*

〔形態〕産地及概形等殆ど前揭ヤマジソに酷似するものなれども.本種は全株綠色にして軟毛を布き.莖は高さ40糎(1尺3-4寸)內外に達するものなり。尙本種の有する苞は圓形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。
〔分布〕邦內各地。

1544. **ほそばやまじそ** ……… シンケイ科
Mosla angustifolia, *Makino.*

〔形態〕本種も亦ヤマジソに酷似せるものなれども.本種の莖は疳長に長さ9-15糎(3-5寸)に達し.直生す。葉は有柄にして對生し.葉身は線形をなし.鋸齒緣を具ふ。尙本種の有する苞は稍菱形狀廣橢圓形を呈し.鋭尖頭をなす。〔分布〕本州中部。

35. カキドホシ屬　NEPETA.

1545. **かきどほし** 積雪草·連錢草 ……… シンケイ科
Nepeta Glechoma, *Benth.* (6圖版-52)

(異名) かんとりさう·かんとりぐさ·かんきりぐさ　〔形態〕原野.路傍等に自生多き多年生の匍匐草本にして.全株に稍毛茸を有し.葦葉共に1種の香氣を放つ。莖は方形にして3-4月頃直上し.高さ15-18糎(5-6寸)に達す。葉は長柄によりて對生し.葉身は圓腎形.基脚心臟形をなし.緣邊粗齒牙緣をなし.毛茸の外腺點を散在す。花は梢上葉腋に2乃至數花宛輪生す。本花の萼は唇形をなし15脉を具へ.上唇は3裂.下唇2裂し.各裂片は芒端をなす。花冠は筒狀唇形にして.花喉は膨出し.上唇は眞直にして先端尖り.下唇は3裂し.中央の裂片は最も大きく先端凹む.雄蕊は4箇ありて强をなし斜上し.子房は4裂.花柱は2岐し.各枝は鋸形をなす。果實は瘦果にして表面平滑なり。〔花色〕淡碧色にして.下唇の中央片には濃紫色の斑點を有す。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道·本州·九州·臺灣·朝鮮·滿洲。

人生との關係　本植物の莖葉を陰干にしたるもの煎用すれば.小兒の疳を癒すると稱し.古來盛に賞用せらるゝものなり。この藥効は實驗者の首肯する所なり。

朝鮮.滿洲等にても到る處の原野.路傍等に普通に自生するものにして.漢方にてはこれを陰乾となし小兒の疳の藥とし.又惡瘡.癰疽.丹毒等に賞用するものなり。

1546. **ありたさう** 荊芥 ……… シンケイ科
Nepeta japonica, *Maxim.* (6圖版-53)

(異名) けいがい　〔形態〕多く園圃に培養せらるゝ一年生草本にして.全株に短毛を布き.莖高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は有柄にして對生し.葉身は羽狀に5深裂し.各裂片は長橢圓形線狀.鈍頭をなし全緣なり。この葉は上部に至れば3深裂するものなり。花は輪繖花序をなし.2-3花を着生し.疳長離隔生にして穗狀をなす。萼は橢圓形をなし.先端5裂し.各齒片は三角鋭頭をなし.前齒片は稍小形なり。花冠は細小なる唇形をなし.稍萼より超出す。果實は瘦果をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。
〔分布〕邦內。

人生との關係　莖葉及花穗の乾燥したるものを煎用すれば.瘡毒.瘡腫を消し.產後の諸症並に血の道に効ありとして古來重用す。

1547. **いぬはくか** ……… シンケイ科
Nepeta Cataria, *L.* (6圖版-54)

(異名) ちくまはくか　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.全株に灰白色の細毛を密布し.莖高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は有柄にして對生し.葉身は卵狀心臟形.鋭頭にして.鈍齒牙緣をなす。花は短梗によりて聚繖花序をなし.梢頭枝端に總狀に排列す。本花の有する苞は鋸形をなし萼筒より短く.萼は卵形をなし先端5裂し.各齒片は披針形にして刺端をなし.筒部より稍短きものなり。花冠は約1糎(3分)內外にして唇形をなす。果實は瘦果なり。〔花色〕白色或は白紫色にして屢ば赤色の斑點を有するものあり。〔花候〕6-7月。〔分布〕本州中部及北部。

1548. **みそがはさう** ……… シンケイ科
Nepeta subsessilis, *Maxim.* (6圖版-55)

〔形態〕深山の濕地に自生多き多年生草本にして.全株に細毛を布き.莖高さ60-90糎(2-3尺)に達す。最下部に生ずる葉は有柄にして.卵形.鋭頭.基脚心臟形.緣邊鈍鋸齒を有し.葉柄の基部は莖を抱き.莖の中部に生ずる葉は短柄を有し.卵形鋭尖頭をなし.最上部に生ずる葉は無柄にして.葉身は卵狀披針形をなし.緣邊は同じく鈍鋸齒緣をなす。輪繖花序は頂生にして穗狀をなし.下部は稍隔離生なり。苞は鋸形をなし.萼と長さを同じくし.萼は稍彎曲し.先端5齒裂し.各齒片は披針形をなす。花冠は萼の3倍大長く.約3糎(1寸)許あり。果實は瘦果なり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕秋。
〔分布〕北海道·本州·四國·朝鮮。

1549. **えぞみそがはさう** ……… シンケイ科
Nepeta subsessilis, *Maxim.* var. yezoensis, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕本種は概形殆ど前種と同樣なるものなれども.唯本種は彼に比し全體に大形にして.葉は其基脚明かに圓形をなす特徵を有するものなり。
〔分布〕北海道。

36. メバハキ屬　OCIMUM.

1550. **メバハキ** 羅勒 ……… シンケイ科
Ocimum Basilicum, L. (6圖版-56)

〔形態〕外來の一年生草本にして.全株無毛種に屬し.莖は方形をなし.高さ30糎(1尺)許に達す。葉は長柄を有し互生す。この葉は卵形或は長橢圓形.鋭頭にして基脚狹く.稍全緣なり。花は輪繖花序をなし.長さ15-18糎(5-6寸)の穗狀に排列す。苞は卵形をなし有柄なり。萼は鐘形をなし先端5裂し.最上片は圓大にして稍反捲し.兩側並に下方の4裂片は鋭頭をなし芒を有す。花冠は筒狀唇形をなし.上唇は稍整齊に4裂し.下唇は稍長く全緣なり。雄蕊は4箇ありて傾下し.花冠外に挺出す。果實は至小なる瘦果をなし黑熟す。〔花色〕白色·淡紅色或は紫色。〔花候〕6-7月。〔原產地〕熱帶亞弗利加·南米ブラジル。

1551. シラゲメバハキ …… シンケイ科
Ocimum. graveolens, A. Br.

〔形態〕本種は全株に白色の毛を散生し、莖は有柄にして互生し、卵狀、鋭頭をなし、基脚圓形を呈し、粗鋸齒緣を具へ、輪繖花序は稍稍頭枝端に隔離生總狀をなすものなり。〔原産地〕亞弗利加。

1552. カミバハキ …… シンケイ科
Ocimum sanctum, L.

〔形態〕前種と同樣外來の多年生草本にして、全株に軟毛を布く。葉は有柄にして對生し、葉身は長橢圓形にして鈍頭或は鋭頭をなし、全緣或は齒緣をなす。花は稍端枝頭に頂生し、苞は卵狀披針形或は心臟形をなし、萼は先端5裂し、最上片は廣長橢圓形、下方にある2片は極めて長く長芒を有し、側片は廣卵形にして下片より短く、花冠は小形にして萼よりは稍超出するものなり。〔原産地〕舊熱帶地方。

1553. たいわんめばはき …… シンケイ科
Ocimum Tashiroi, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生品を見る多年生草本にして、莖は直生し、枝條には短毛を布く。葉は膜質をなし、卵形或は三角狀銳尖頭をなし、基脚尖り、鋭鋸齒緣を具ふ。花は總狀花序をなして頂生し、往々圓錐狀をなし、3-4花を簇生す。苞は卵形をなし、先端掌狀をなし、齒緣を具へ、粗毛を布く。萼は鐘狀唇形、花冠は筒狀唇形をなし、萼と長さを同じくし、先端3裂し、下唇は長橢圓形をなす。〔分布〕臺灣。

37. ハナハクカ屬　ORIGANUM.

1554. **ハナハクカ** …… シンケイ科
Origanum vulgare, L.（6圖版-57）

〔形態〕外來の1種にして本邦にては專ら園地に栽培せらるゝ多年生草本なり。全株に短毛を散生し、莖は方形にして、高さ30-60糎（1-2尺）に達す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形にして稍鋭頭をなし、基脚圓形、全緣なり。花は莖の上方に穗狀花序をなして多花を排列す。苞は卵形にして先端尖り、暗紫色、稀に綠色を呈し、萼と長さを同じくし、萼は卵形にして稍13脉を有し、整齊に5齒緣をなし、喉緣に毛茸を有す。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は先端凹み、下唇は3裂す。雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し、花柱は先端2岐す。果實は瘦果にして卵形をなし、表面平滑なり。

〔花色〕紫色稀に白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　專ら觀賞用として園地に栽培す。繁殖は根分け或は種子により、栽培は頗る容易なるものなり。

1555. たいわんはなはくか …… シンケイ科
Origanum vulgarum, *L.* var. formosanum. *Hayata.*

（異名）にひたかじやかうさう　〔形態〕臺灣に自生品を見る多年生草本にして、全株に毛茸を有す。葉は有柄にして對生し、葉身は圓卵形なり。花は長橢圓形を呈する穗狀花序に排列し、苞は長橢圓狀倒卵形或は倒披針形をなし、先端鈍頭、基脚楔形をなす。萼は長鐘形をなし、外面粗毛、喉部に腺毛を密生す。花冠は筒狀唇形にして、外面に毛を有し、上唇は倒卵狀圓形をなし先端2裂、下唇は大形にして3裂し、中央の裂片は倒卵狀圓形、側裂片は倒卵形をなす。〔分布〕臺灣。

38. シソ屬　PERILLA.

1556. **シソ** 紫蘇（6圖版-58）…… シンケイ科
Perilla frutescens, Bril. var. *crispa*, Decne.
forma *purprea*, Makino.

（異名）ノラエ・イヌエ・ヌカエ　〔形態〕畑地に栽培する一年生草本にして、莖は方形をなし、莖角には外反せる疎毛を有し、高さ60-90糎（2-3尺）に達し、全株に1種の佳香を有す。葉は長柄により對生し、葉身は紫色を呈し、廣卵形にして緣邊鋸齒をなす。花は總狀花序をなし頂生或は腋出し、萼は鐘形にして先端5尖裂し、花冠は唇形、雄蕊は4箇ありて2强をなす。〔花色〕淡紫色或は白色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　葉及果實を食用に供す。即梅子、其他漬物の着色用に供し、或は梅子、蕃椒等を包み、紫蘇卷を作り、或は紫蘇酒と稱し、1種の甘味酒を造る等用途多きものなり。又果實を佃煮とし、或は鹽漬として食用に供し、香味佳良なるものなり。

栽培法　紫蘇を多量生産せんがため栽培するには、春期施肥せる畑地に條播し、發芽後密生したる箇所を間引き適度に培養す。肥料は1アール（1畝歩）に堆肥約37·5瓩（10貫）、人糞尿37·5（10貫）を基肥として施與し、成長の後は稀薄なる液肥約17瓩（5貫）内外を施す樣にすべし。葉を採取するには花穗の正に出でんとする期時を可とし、果實を採集せんとするには充分に成熟したるものを採取する樣にすべし。

紫蘇には其の葉の色彩により種々の品種あるものなれば以下其品種に就き記述すべし。

1557. アヲジソ 青紫蘇 …… シンケイ科
Perilla frutescens, Brit. var. *crispa*, Decne.
forma *viridis*, Makino.

（異名）アヲソ・シロジソ・シロソ　〔形態〕本種は前種の一栽培品種に屬し、其葉が兩面共に綠色、花は白色を呈するものなり。

1558. チリメンアヲジソ 縮緬青紫蘇 …… シンケイ科
Perilla frutescens, Brit. var. *crispa*. Decne.
forma *viridi -crispa*, Makino.

〔形態〕前種と同樣兩面共に綠色を呈すれども、本種の葉は皺縮せる特徴を有するものなり。用途彼に同じ。

1559. カタメンジソ 片面紫蘇 …… シンケイ科
Perilla frutescens, Brit. var. *crispa*, Decne.
forma *discolor*, Makino.

〔形態〕本種は其葉の上面綠色を呈し、下面紫色を呈するものなり。1種本種と反對に、上面紫色にして屢ば綠條又は斑紋を有し、下面綠色を呈し、尙皺縮せるものあり。本種は *P. frutescens*, Brit. var. *crispa*, Decne. forma *rosea*, Nakai. の學名を有す。

1560. チリメンジソ 縮緬紫蘇 …… シンケイ科
Perilla frutescens, Brit. var. *crispa*, Decne.
forma *crispa*, Makino.

（異名）チヂミジソ・テウセンジソ・カウライジソ・オランダジソ

〔形態〕本種も亦前種シソの1栽培變種にして、葉は皺縮し、兩面共に暗紫色を呈し、花色帶紫色を呈するものなり。

1561. とらのをじそ …… シンケイ科
Perilla frutescens, *Brit.* var. hirtella, *Nakai.*

〔形態〕山野に自生品を見る一年生草本にして、莖は方形をなし、全株に疎毛を布き、單1或は分岐し、高さ45糎（1·5尺）許に達し、稍部は紫色を帶び、葉は紫蘇に似たる香氣を放つ。この葉は卵形或は長橢圓狀卵形を呈し、先端尖り、緣邊疎齒牙狀をなし、全面皺質、長さ12糎（4寸）許に達す。花は總狀花序をなし頂生或は腋出す。苞は廣卵形にして緣毛緣を有し、瓦列す。萼は筒狀鐘形をなし、先端5裂し、上方の1片は三角形をなし、側方の2片は披針狀長橢圓形、下方の2片は披針形をなし、何れも先端尖る。花冠は筒部漸張し、上唇は2裂し、側片は短く、下片は傾下內曲し、1側稍膨大す。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

1562. **エゴマ** 荏胡麻·荏（6圖版-59）…… シンケイ科
Perilla frutescens, Brit. var. *Typica*, Makino.

（異名）エ·ジフネン　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ一年生草本にして全株に平開する毛茸を布き、高60糎（2尺）乃至120糎（4尺）內外に達し、稍不快の臭氣を有す。葉は長柄によりて對生し、葉身は廣卵形にして銳頭或は急遽に銳尖頭をなし、齒牙狀鈍鋸齒緣を具へ、長さ7·5糎（2·5寸）乃至15糎（5寸）許に達す。花は偏側生總狀花序をなし頂生或は腋出す。本花の有する苞は卵狀披針形にして先端尖り、萼は鐘形をなし、10脉を有し、外面に毛茸を布き、稍整齊に5齒緣をなし、花後擴大す。花冠は不整齊の鐘形をなし、先端5裂し、下方の裂片は稍長し。雄蕊は4箇あり何れも稍長さを同じくし、亦花冠と同長なり。花柱は整齊に2岐し、各枝は鞭形をなす。果實は稍球形の瘦果をなし、稍隆起せる網脉を有するものなり。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕東印度。

人生との關係　種子より油を搾取し、荏の油と稱し、其乾性を利用し、傘、雨衣等の防水的塗布料に使用するものなれども、食用に供せらるゝことは殆んど稀なり。

1563. れもんえごま …… シンケイ科
Perilla crispa, *Brit.* var. typica, *Makino.*
forma citriodora, *Makino.*

（異名）れもんじそ・やまえご　〔形態〕概形前種エゴマと同樣なれども、本種の有する香氣はレモン實に似たるにより本和名を有するものなり。

〔分布〕本州中部及南部·九州。

PL. 6.

39. スズカウジュ屬　PERILLULA.

1564. **すずかうじゅ** ……シシケイ科
Perillula reptans, *Maxim.* (7圖版-60)

〔形態〕山野に自生する多年生の小草本にして，高さ 15-18 糎 (5-6 寸)乃至 30 糎 (1 尺) 許に達し，全株に掩縮毛を布く。莖は方形をなし，地下に球莖を有す。葉は長柄によりて對生し，葉身は卵形銳頭，基脚楔形をなし，上下兩端を除き齒牙狀の粗鋸齒緣を有す。花は輪繖花序をなし，2-6 花を着生す。萼は鐘形にして 11 脉を有し，花後擴大し，下方に傾斜す。花冠は筒狀にして不明なる唇形をなし，上唇は 2 裂，下唇は 3 裂し，各裂片は圓形なり。雄蕊は 4 箇ありて稍 2 强をなし，花柱は整齊に 2 岐し，各枝は倒卵形をなす。果實は卵形をなせる瘦果なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕8-9 月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

40. オホキセワタ屬　PHLOMIS.

1565. **おほきせわた** …… シシケイ科
Phlomis Maximwiczii, *Regel.*

(異名) おほばきせわた　〔形態〕本邦にては時に園地に栽培せらるゝことある多年生草本なり。莖は方形をなして直生し，葉は心臟形或は心臟狀卵形をなし，先端尖り，兩面縐縮す。花は輪繖花序をなして多花を着生し基部にては隔離す。本花の有する小苞は披針形にして，毛緣を有し，萼は細長筒狀をなし，筒部は 7-5 粍 (2-6 分) 許，紘部は截頭，5 齒緣をなし，各齒片は刺端をなす。花冠の長さは萼の 2 倍にして，唇形にして，外面に短毛を密布し，上唇は直生にして，內面に髭毛を布き，下唇は 3 裂し，各裂片は卵形をなす。雄蕊は 4 箇ありて斜上し，花柱は先端 2 岐す。果實は廣卵形の瘦果なり。〔花色〕帶赤色。〔花候〕夏。〔分布〕朝鮮・滿洲。

41. ヤマハクカ屬　PLECTRANTHUS.

1566. **やまはくか** …… シシケイ科
Plectranthus inflexus, *Vahl.* (7圖版-61)

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，全株に細毛を布き，莖は方形をなし，高 90-120 糎 (3-4 尺) に達す。葉は有柄にして對生し，葉身は卵形を呈し先端尖り，邊緣に鈍鋸齒を有す。花は稍穗狀をなし，枝稍頭に着生す苞は卵形，萼は鐘形にして整齊に 5 齒緣をなす。花冠は筒狀唇形をなし，上唇は 4 裂し，濃紫色の斑紋を有し，下唇は全緣なり。雄蕊は 4 箇ありて 2 强をなし，下降して下唇中に入る。花柱は上端整齊に 2 岐し，各枝は錐形をなす。〔花色〕淡碧色にして上唇に濃紫色の斑紋を有す。〔花候〕秋。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

1567. **めやまはくか** …… シシケイ科
Plectranthus inflexus, *Vahl.* forma subglabrus, *Makino.*

〔形態〕前種ヤマハクカの 1 品種に屬するものにして，本種の彼と異るところは莖及葉が彼に比し稍無毛なるを特徴とするものなり。(栽植種)

1568. **おほばやまはくか** …… シシケイ科
Plectranthus inflexus, *Vahl.* var. macrophyllus, *Maxim.*

〔形態〕本種は枝條短く，葉は大形なれども，鋸齒は粗大ならず。花は聚繖花序をなし通常密生し，多花を着生するものなり。〔分布〕本州中部及北部。

1569. **くるまばやまはくか** …… シシケイ科
Plectranthus inflexus, *Vahl.* var. verticillatus, *Matsum.*

〔形態〕本種は其葉が 4 葉づゝ輪生し，葉身は卵形を呈し，緣邊鈍齒狀をなすものなり。〔分布〕本州中部。

1570. **いぬやまはくか** …… シシケイ科
Plectranthus umdrosus, *Makino.*

(異名) ほそばのやまはくか・いぬひきおこし　〔形態〕本種はヤマハクカニ比し，幹枝は細長く，弓狀に平開し，葉は卵狀披針形にして銳尖頭を有するものなり。〔分布〕本州各部・九州。

1571. **ひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus japonicus, *Koidz.* (7圖版-62)

(異名) えんめいさう　〔形態〕林地，山麓等に自生する多年生草本にして，全株に細毛を布き，莖は方形をなし高さ 90-120 糎 (3-4 尺) に達す。葉は有柄にして對生し，葉柄は毛茸を有し，葉身は卵形にして先端尖り，基脚楔形をなし，緣邊に齒牙狀の鋸齒を具ふ。花は圓錐狀をなし，稍頭枝端に頂生し，花冠は約 3 粍 (1 分) 許の筒狀唇形をなし，上唇 4 裂，下唇は全緣。果實は瘦果にして頂端に不明の稜起を有す。〔花色〕白色にして紅色或は紫色の斑點を有す。〔花候〕8-9 月。〔分布〕本州各部・九州。

1572. **かめばひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus excisus, *Maxim.* (7圖版-63)

(異名) かはばさう　〔形態〕山地殊に深山に自生する多年生草本にして，全株に細毛を布き，莖は方形をなし，高 60-90 糎 (2-3 尺) に達す。葉は長柄によりて對生し，葉身は廣卵形をなし，粗銳鋸齒緣を具へ，特にこの葉の先端は延長して龜尾狀をなし奇觀を呈す。本和名もこの龜尾狀より生じたるものなり。花は聚繖花序をなし，頂生或は腋出し，圓錐狀をなす。本花の萼は小梗より稍長く，整齊に 5 齒緣をなし，各齒片は三角形，銳頭をなす。花冠は筒狀唇形をなし，長さ 7 粍 (2-5 分) 許に達し，基脚の偏側膨大す。〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州北部及中部・九州。

1573. **はくさんかめばさう** …… シシケイ科
Plectranthus excisus, *Maxim.* var. Hakusanensis, *Matsum.*

〔形態〕前種の 1 變種に屬し，同じく深山に自生するものにして，概形前種に似たれども，本種の葉の有する龜尾體の基脚は深波狀を呈し，尾體は卵狀披針形をなし先端尖り，疎に粗鋸齒緣をなし，長さ 4-8 糎 (1-6 寸) 許を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1574. **みやまひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus shikokianus, *Makino.*

〔形態〕本種は前種カメバヒキオコシに比し，葉緣の鋸齒銳頭をなさず，先端に龜尾狀の齒片を有せざるものなり。〔分布〕本州中部及南部・四國。

1575. **くろばなひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus trichocarpus, *Maxim.* (7圖版-64)

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，全株に細毛を布き，莖は方形をなし，高 90-120 糎 (3-4 尺) に達す。葉は有柄にして對生し，葉身は膜質をなし，廣卵形，銳頭，基脚楔形或は截形，緣邊齒牙狀鈍鋸齒緣を有し，概形甚だよくヤマハクカの葉に似たるものなり。花は聚繖花序をなし腋出し，8-15 花を着く。〔花色〕暗紫色。〔花候〕8 月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

1576. **まんしうひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus glaucocalyx, *Maxim.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，莖は直生し，多くの小枝を分ち，毛茸を有す。葉は有柄にして對生し，葉身は卵形或は卵狀楕圓形をなし先端尖り，基脚心臟狀楔形をなし，粗齒緣を具へ，長さ 6-9 糎 (2-3 寸) に達し，頂齒片は長大にして，披針形或は卵形をなし，兩面沿脈に毛茸を有す。花は聚繖花序をなし，約 5-6 花を着生し總狀をなし，花冠は長さ 6 粍 (2 分) 許，長唇は 4 裂す。〔分布〕北海道。

1577. **たかくまひきおこし** …… シシケイ科
Plectranthus lanceus, *Nakai.*

〔形態〕山野の稍水濕地に自生する多年生草本にして，莖は方形をなし，稜角は上方に反捲する毛緣を有し，高 30 糎 (1 尺) 乃至 90 糎 (3 尺) に達す。葉は葉柄により對生し，この葉柄は毛を有す。葉身は披針形，長銳尖頭をなし，基脚叉銳尖，緣邊は上半部銳鋸齒緣を有し，兩面に毛茸及斑點を有す。花は長圓錐形花序をなして葉腋に生じ，小梗は有腺，萼は開出し，その上唇は 3 裂，下唇は 2 裂す。花冠は筒狀唇形をなし，長さ 1 糎 (3 分) 內外，筒部は背側膨出し，上唇は 3 裂して稍反捲す。雄蕊は 4 箇，花絲は中部に毛を有す。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

1578. **あきちゃうじ** 香茶菜 …… シシケイ科
Plectranthus longitubus, *Miq.* (7圖版-65)

(異名) きりつぼ　〔形態〕深山に自生する多年生草本にして，全株に細毛を布き，莖は方形をなし，高 60-90 糎 (2-3 尺) に達す。葉は短柄を有し對生，葉身は披針狀長橢圓形にして先端尖り，基脚狹まり，齒牙狀鈍鋸齒緣をなす。この葉はこれを嚙めば 1 種の苦味を感ず。花は聚繖花序をなし，稍頭枝端に頂生す。本花の有する小梗は花梗より短く，萼は 5 尖をなし，花筒様にして 2 裂す。花冠は筒狀唇形にして，筒狀部頗る長く，長さ 1-5 糎 (5 分) 許，上唇は鈍頭にして 4 齒緣をなし，下唇は卵形にして先端凹む。〔花色〕紫碧色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・朝鮮・滿洲。

人生との關係　葉及枝莖を驅蟲劑又は香料に供す。

1579. **しろばなのあきちゃうじ** …… シシケイ科
Plectranthus longitubus, *Miq.* var. albiflorus, *Makino.*

〔形態〕前種の 1 變種に屬し，花色白色を呈するものなり。〔分布〕邦內。

1580. **こあきちゃうじ** ····· シンケイ科
Plectranthus longitubus, *Mig.* var. contractus, *Maxim.*
〔形態〕本種も亦前種アキチヤウジの1變種にして全株短縮し、葉は廣卵形、花序は總狀に排列ずるものなり。〔分布〕本邦中部及南部。

1581. **ムラサキヒキオコシ** ····· シンケイ科
Plectranthus serra, Maxim. (7圖版-66)
(異名) オホヒキオコシ 〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本にして、全株に短毛を布き、莖は方形にして、高60-90糎(2-3尺)に達す。葉は葉柄により對生し、葉身は卵形にして先端尖り、基脚楔形、緣邊齒牙狀鋸齒をなす。花は聚繖花序をなし、圓錐狀に排列し、梢頭枝端に頂生す。花冠は筒狀唇形にして、筒部は萼の2倍長く、上唇は直生にして、先端4裂し、下唇卵形をなし延長す。果實は瘦果をなし、頂端に鬚毛を有す。〔花色〕菫色。〔花候〕夏。〔原産地〕滿洲。

42. ヒゲオシベ屬 POGOSTEMON.

1582. **ひげおしべ** ····· シンケイ科
Pogostemon formosanus, *Oliv.* (7圖版-67)
〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し、莖は高90-120糎(3-4尺)許に達するものあり。葉は長柄により對生し、葉身は菱狀披針形或は卵形にして先端尖り、基脚楔形、緣邊は裂片狀齒牙緣をなす。花は聚繖花序をなし、梢頭に密生し圓錐狀をなす。苞並に小苞は線形をなし、萼は卵狀筒形にして短毛を散生し、整齊に5齒緣をなし、各齒片は鑿狀披針形にして毛緣をなす。花冠は筒狀にして稍唇形をなし、先端4裂、雄蕊は4箇ありて花冠外に挺出し、花柱は整齊に2岐す。果實は卵形の瘦果なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

43. マンネンロウ屬 ROSMARINUS.

1583. **マンネンロウ** 迷迭香 ····· シンケイ科
Rosmarinus officinalis, L. (7圖版-68)
〔形態〕本邦にては園地に栽植せらるゝ常綠の小灌木にして、幹高60-120糎(2-4尺)に達す。葉は多數繁茂し、革質線形にして緣邊反捲し、上面滑澤、下面腺毛を布き、無柄にして輪生又は對生す。花は總狀花序をなし、頂生又は腋出す。苞は細小にして凋落性を有し、萼は卵狀鐘形にして2唇をなし、粉狀の短毛を布く。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は直生し先端凹み、下唇は3裂し、中央の裂片は大形にして凹面彎曲す。雄蕊は2箇ありて上唇下に入り、子房は4室、花柱は不齊に2岐し、果實は倒卵形の瘦果をなし、表面滑澤なり。〔花色〕白色或は青白色又は淡紫菫色を呈するものあり。〔花候〕春-夏。〔原産地〕地中海沿岸地方。

人生との關係 本植物の葉を通經藥に用ひ、又枝葉を蒸溜して揮發油即迷迭香油(Oleum rosmarini)を採取し、これを外用藥に用ひ、稀に內用藥に供す。又化粧品とす。この油は有毒なるものなれば多量に用ふれば死を致すことあり。

44. アキノタムラサウ屬 SALVIA.

1584. **あきのたむらさう** 鼠尾草 ····· シンケイ科
Salvia chinensis, *Benth.* (7圖版-69)
(異名) こまとどめ 〔形態〕多く各地の山野に自生する多年生草本にして冬を經るも枯死することなく、下葉は地に着きて叢生し、霜雪の時は背面紫色を呈し、暖季に向へば綠色に變ず。この葉は變態多きも再羽狀複葉を正しき形とす。小葉は卵形にして銳頭或は鈍頭をなし鈍齒牙緣をなす。莖葉は長柄を有すれども、梢葉は短柄なり。この葉柄には鬚毛を布き、葉面には短毛を散生す。花は輪繖花序をなし6花を着け、梢頭に疎生穗狀をなす。苞は披針形をなし、萼は紫色を帶び、上唇は卵形にして鈍頭、下唇は銳頭にして2齒緣をなす。花冠は筒狀唇形をなし短毛を散生し、筒部は半ば挺出し、上唇は楕圓形にして先端凹み、下唇は3裂、雄蕊は2箇ありて花冠外に挺出す。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕6-9月。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球·朝鮮·滿洲。

(附記) 本種は數種の品種を有す。即**みつばあきのたむらさう**(forma ternata)は3出複葉をなし。**まるばあきのたむらさう**(forma integrifolia)は圓形葉のものなり。其他は以下記述すべし。

1585. **なつのたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia japonica, *Thunb.* var. typica, *Makino.*
〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株に疎毛を散生し、莖は方形をなし、高15-18糎(5-6寸)乃至60糎(2尺)餘に達す。葉は長柄によりて對生し、葉身は薄質にして、3出乃至2回羽狀複葉をなし、小葉は卵形乃至披針形にして鈍鋸齒緣を具ふ。花は輪繖花序をなし6-10花を着け、頂生或は腋出し、隔離生總狀をなす。苞は細小なる披針形をなし、萼は不齊の唇形をなし、11脉を有す。花冠は筒狀唇形をなし、外面の上部に毛茸を有し內面に毛環を有す。雄蕊は2箇ありて長く花冠外に挺出し、花柱も亦長く挺出し、先端2岐す。〔花色〕濃紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州。

9 なつのたむらさう　10 はるのたむらさう

1586. **はるのたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia Ranzaniana, *Makino.*
〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、莖は方形をなし、高30糎(1尺)を出でざるものなり。葉は庶ね長柄によりて根生し、單葉なるか、或は稍2回頭大羽狀複葉をなし、小葉は圓形にして鈍鋸齒緣、或は楔狀倒卵形にして粗鋸齒緣を有するもの等あり。花は輪繖花序をなし、雌雄蕊共に稍花冠外に挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。

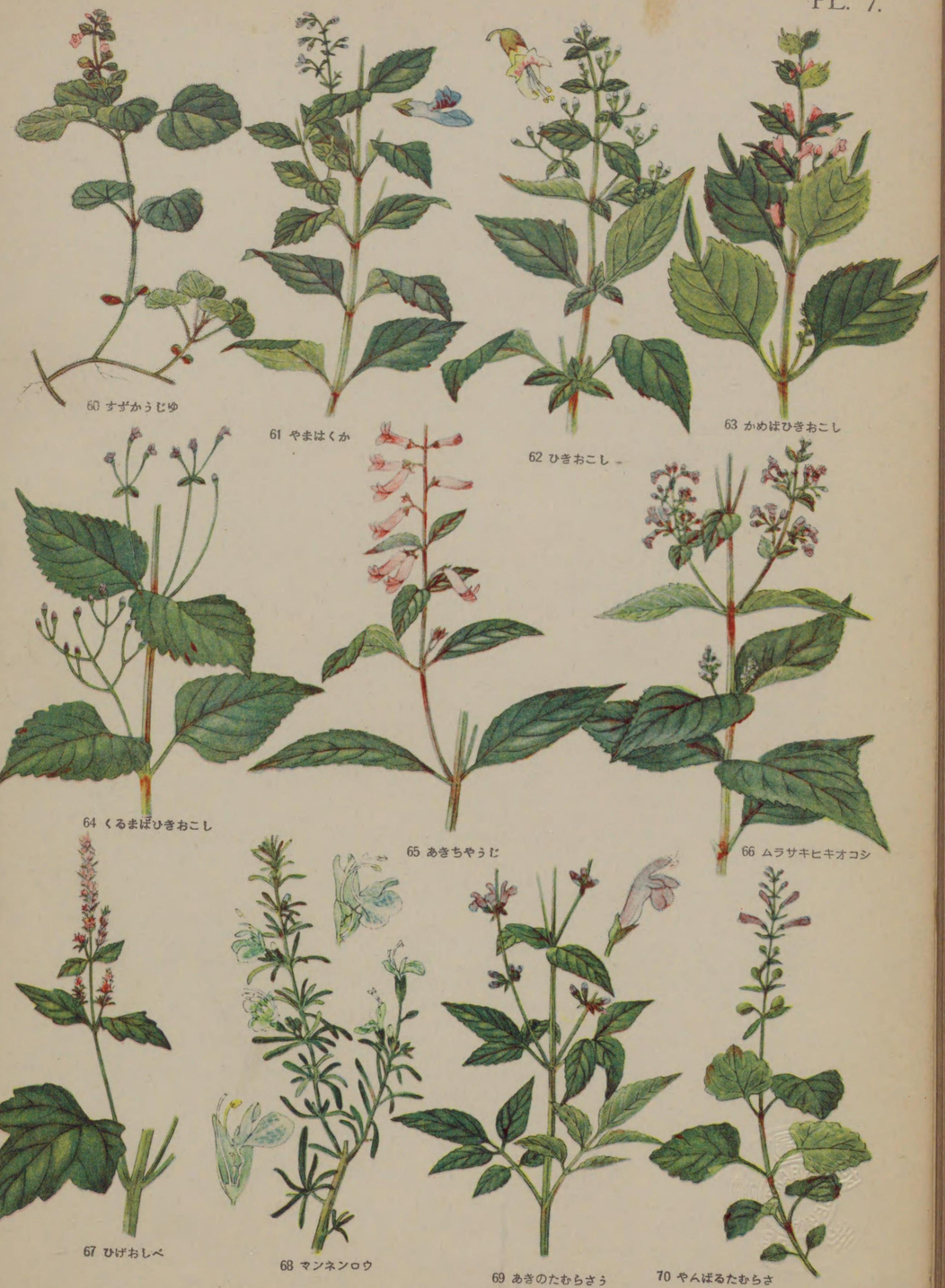
1587. **やんばるたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia Hayatana, *Makino.* (7圖版-70)
(異名) みやまたむらさう 〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し、莖は方形、瘦細にして、高30糎(1尺)內外に達す。葉は長柄によりて稍根生し、羽狀複葉をなし、先端の1片は形大きく、側片は3-4箇を着け、何れも短柄を有し小形にして2-3の鈍鋸齒を有す。花莖は稍長にして長さ15-18糎(5-6寸)許に達し、中途に分岐し、少數花を着生す。本種の萼は筒狀唇形をなし、上唇は全緣、下唇は長く、先端2裂す。花冠は長さ6粍(2分)許、外面に氈毛を有し、上唇は凹形、下唇は3裂し、中央の裂片は廣濶全緣なるものなり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州(大島)·臺灣金島。

1588. **ひめたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia pygmaea, *Matsum.*
〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、細長なる方莖を有し、高9-12糎(3-4寸)許に達し、單生す。葉は長柄により根生し、概形前種に似たり。花は2-4花により總狀に排列し、苞は長楕圓狀線形或は卵狀長楕圓形をなし、萼は3齒緣をなせる上唇と、2齒緣をなせる下唇とを有し、各齒片は卵狀披針形銳頭なり。花冠は筒狀唇形をなし、上唇は2齒緣、下唇は3齒緣をなし、中央の齒片は側齒片より長く、微に凹頭をなし、筒部は閉在、雄蕊は著しく花冠外に挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

1589. **けなつのたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia japonica, *Thunb.* var. crenata, *Makino.*
〔形態〕概形前種に酷似せるものなれども、本種は全株に毛茸稍多く、花は淡紫色を呈するものなり。〔分布〕本州中部。

1590. **うすぎなつのたむらさう** ····· シンケイ科
Salvia japonica, *Thunb.* var. lutescens, *Koidz.*
〔形態〕本種も亦概形前種等に酷似せるものなれども、花色帶黃色を呈し、萼は稍無毛なるものなり。〔分布〕本州中部。

PL. 7.


60 すずかうじゆ
61 やまはくか
62 ひきおこし
63 かめばひきおこし
64 くるまばひきおこし
65 あきちやうじ
66 ムラサキヒキオコシ
67 ひげおしべ
68 マンネンロウ
69 あきのたむらさう
70 やんばるたむらさ

1591. **たじまたむらさう** …… シンケイ科
Salvia omerocalyx, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，全株無毛種に属し，莖は方形をなし，高 30 糎（1 尺）許に達す。葉は根生し，概ね羽狀複葉をなし，小葉は 3-5 箇ありて，最頂片は長橢圓形或は稍圓形，先端鈍頭，基脚圓形をなせども，側片は遙かに小形，何れも鈍齒牙緣をなす。花は總狀花序をなし，萼は毛緣を具へ，花冠は長さ 1 糎（3 分）許，上唇は先端凹み，下唇は稍大形にして 3 裂し，雄蕊 2 箇，花柱は先端 2 岐し，長く花冠外に提出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州（但馬）。

1592. **たかさごたむらさう** …… シンケイ科
Salvia scapiformis, *Hance.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，全株無毛種に屬し，莖は前種の如く甚長なれども，本種は基脚に於て分枝するものなり。葉は長柄によりて根生し，葉身は廣卵形或は長橢圓狀心臟形をなし，先端圓く，緣邊鈍齒を有し，下面紫色を帶ぶ。花は 5 箇許を着け長總狀をなし，萼には短毛を布く。花冠は筒狀唇形をなし萼筒より長く，上唇は直生し，先端 2 裂，下唇は 3 裂し，側裂片は長橢圓形鈍頭をなし，中央の裂片は更に 2 裂し，小裂片は截頭，鈍齒牙緣をなす。〔花色〕帶色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・臺灣全島。

1593. **あきぎり** …… シンケイ科
Salvia nipponica, *Miq.*（8 圖版-71）

〔形態〕山地溪間の陰地等に自生する多年生草本にして，全株に粗毛を布き，莖は稜を有し方形をなし，斜上性を有し，高 15-30 糎（0·5-1 尺）に達す。葉は長柄によりて對生し，葉身は卵形を呈し，3 深裂するか，或は三角形をなし，先端尖頭，基脚截形或は心臟形をなし，緣邊鈍齒牙緣をなす。この葉は根部に生ずるものは形小さく，稍心臟狀卵形をなせども，稍上に生ずるものは卵形，銳頭にして全緣なり。花は輪繖花序をなし，4 花許を着け，稍疎總狀をなす。萼は倒圓錐狀筒形をなし，花冠は唇形にして，上唇は兜形をなし先端凹み，下唇は 3 裂し，各裂片は圓頭なり。〔花色〕黃色にして稀に紫紋のあるもの，或は紫色を呈するもの等あり。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部・九州・臺灣・朝鮮・滿洲。

1594. **ことぢさう**（8 圖版-72）…… シンケイ科
Salvia nipponica, *Miq.* forma argutidens, *Makino.*

〔形態〕前種の 1 品種にして，產地，概形等殆ど彼と同樣なれども，唯其葉の齒牙が，彼に比し銳尖頭をなすものなり。〔花色〕黃色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部。

1595. **はひことぢさう** …… シンケイ科
Salvia nipponica, *Miq.* forma repens, *Koidz.*

〔形態〕本種は其莖が長く地上を匍匐する特徵を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1596. **みつでことぢさう** …… シンケイ科
Salvia nipponica, *Miq.* forma tripartita, *Koidz.*

〔形態〕本種は其葉が戰形狀に 3 深裂せる特徵を有するものなり。〔分布〕四國・九州。

1597. **みつばことぢさう** …… シンケイ科
Salvia nipponica, *Miq.* forma trisecta, *Koidz.*

〔形態〕本種は其葉が完全に 3 裂せるものなり。〔分布〕四國。

1598. **ゆきみさう** …… シンケイ科
Salvia plebeia, *R. Br.*（8 圖版-73）

（異名）みぞかうじゆ　〔形態〕田圃，畦畔等に自生する多年生草本にして，全株に短毛を布き，莖は方莖，高 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は短柄により對生し，葉身は長橢圓形にして鈍頭，稍葉は卵形にして銳頭をなし，何れも鈍齒牙緣を具ふ。花は輪繖花序をなし 6 花宛着生し，圓錐狀穗狀をなす。萼は鐘狀をなし，花冠は萼より稍超出し，雄蕊は至つて小形なり。〔花色〕白色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣・朝鮮。

1599. **サルビヤ** …… シンケイ科
Salvia officinalis, L.（8 圖版-74）

（異名）ヤクヨウサルビヤ・セージ　〔形態〕葉を藥用に供せんがため歐洲諸國にては盛に培養せられ，本邦にも亦移植栽培せらるゝ多年生草本にして，全株に灰白色の細毛を密布し，莖は方形，高 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は有柄にして對生し，葉身は長橢圓形鈍頭，基脚は狹きか，或は圓く，緣邊細鈍齒牙緣をなし，葉面皺褰をなす。花は輪繖花序をなし，隔離性圓錐狀總狀を呈す。苞は卵形にして先端尖り，凋落性を有し，萼は鐘形にして紫色を帶び，花冠は萼の 2-3 倍長く，上唇は兜形をなし先端凹み，下唇は 3 裂して平開し，內面に毛環を有す。〔花色〕淡紫色・稀に白色。〔花候〕夏。〔原產地〕墨西哥。

人生との關係　本植物の葉を採り乾燥したるものを「サルビヤ」葉（Folium Salviae）と稱し藥用に供す。本品は長橢圓形にして長さ 5-10 糎（1·5-3·5 寸）餘，鈍鋸齒緣にして鈍頭，基脚の兩側は屢々耳形に分裂するものあり。この葉は縮縐樣に皺縮し，微細なる毛茸及腺毛を有す。氣味は特異性芳香性にして稍苦く，收斂性なり。

本植物は全草に 1·3-2·5 % の精油を含有し，その成分は ピネン（Pinen），シネオール（Cineol），ツヨン（Thujon），ボルネオール（Borneol）等なり。

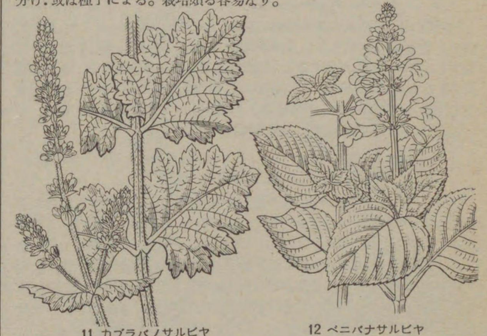
藥用としては本葉の浸劑（1:100）を咽喉炎に含嗽劑とす。其他この葉を洋食用ソースの賦香料に供す。

本植物は橫濱附近に栽培せられ市場に供給せらるゝものなり。
（此項神谷）

1600. **カブラバノサルビヤ** …… シンケイ科
Salvia napifolia, Jacq.

〔形態〕本邦にては專ら園地に栽植觀賞に供せらるゝ多年生草本にして，前種と同樣全株に短毛を布き，莖は方形をなし，高 60-90 糎（2-3 尺）に達す。莖葉は羽裂し，頭部の裂片は大きく，他の裂片及稍葉は卵狀長橢圓形をなし，深波樣鈍齒牙緣をなす。花は輪繖花序をなし，6-12 花を着け，隔離生總狀或は圓錐狀樣總狀をなす。萼は 5 裂し，上唇は細 3 齒緣，下唇は 2 齒緣をなし，各齒片は披針形銳頭にして剛毛端をなす。花冠は筒狀唇形をなし，萼より長し。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕西比利亞。

人生との關係　主として園地に培養し觀賞に供するものなり。繁殖は根分け，或は種子による。栽培頗る容易なり。



11 カブラバノサルビヤ　12 ベニバナサルビヤ

1601. **ベニバナサルビヤ** …… シンケイ科
Salvia coccinia, L.

〔形態〕最も一般的に栽培せらるゝ觀賞用の一年生，稀に多年生草本にして全株に灰白色の細毛を密布し，莖は方形をなし，高 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は有柄にして對生し，葉身は卵形銳頭，基脚心臟形をなし，鈍鋸齒緣を具ふ。苞は卵形にして銳尖頭をなす。花は輪繖花序をなし，6-10 花を着け，頂生穗狀をなし，隔離生なり。萼は筒狀鐘形をなし，綠色或は紫色，或紅色を呈し，齒片は銳頭なり。花冠は萼の倍長く，下唇は上唇の 2 倍長きものなり。〔花色〕濃紅色，稀に紫色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　園圃に培養，或は鉢植とし觀賞に供することあれども，又廣き庭園の花圃に植込み，花圃に風致を添へ，美觀を呈するものなり。繁殖は種子による。栽培は頗る容易なり。

1602. **ケシャウサルビヤ** …… シンケイ科
Salvia forinacea, Benth.（8 圖版-75）

〔形態〕近時の外來に係り，本邦にては專ら園地に栽培觀賞に供せらるゝ多年生草本にして，莖は方形をなし，高 1 米（3-4 尺）內外に達す。葉は長柄によりて對生し，葉身は長橢圓狀卵形をなし無毛なり。花は前種に似て，長き花莖を抽出し，輪繖花序をなし長穗狀にして多花を着生す。この花穗は苞片と共に白粉に被はるゝものにして，本種の 1 特徵とす。〔花色〕堇色を含める暗色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　暗色の花と，白粉を裝ひたる花軸との調和頗る愛らしく，又美しきものなれば花壇或は鉢植として栽培し，美觀を呈するものなり。殊に近時は切り花としても盛に愛好せらるゝに至りたり。栽培は普通春播として溫床內に播種，育苗後花園に植出し，夏より秋にかけ開花せしむるものなり。又挿芽によりても繁殖せしめ得るなり。庭園の集團植としても適

當なり。

1603. **オトメサルビヤ** …… シソケイ科
Salvia obtusa, Mart. et *Gal.*

〔形態〕本種も亦近時の外來に係り、專ら園地に栽培せらるゝ多年生草本にして、莖は方形をなし、莖面に2列の短毛を有す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形鈍頭をなし、鋸齒緣を具へ、下面に灰白色の短毛を布く。花は輪繖花序をなし、2花隔離して着生す。萼は筒狀鐘形をなし、花は筒狀唇形にして、筒部膨大し、萼の2倍長く、雄蕊は閉在し、花柱は毛を有す。

〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

1604. **ムラサキサルビヤ** …… シソケイ科
Salvia Horminum, L. (8圖版-76)

〔形態〕明治末年頃の外來に係る園藝植物にして、サルビヤ中の特異なる1種とす。莖は方形をなし、高さ約40糎(1·2尺)許に達するものなり。葉は有柄にして對生し、葉身は廣橢圓狀卵形にして毛茸を有す。花は輪繖花序をなし6花宛着生し、萼は鐘形をなし永存す。花冠は小形にして見るに足ざるものなれども、本花の有する苞葉は大形にして紫色を帶び頗る見事なるものなり。この花は下方より順次上方に開花し、ために觀賞期非常に長きものなり。〔花色〕紫色を普通とすれども、其變種に白色·鮮紅色·紫碧色を呈するもの等あり。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係 本邦にては專ら園地に栽培し觀賞に供するものにして、之れを栽培せんとするには種子を春播にし、移植を行ひたる後花園に定植す。本植物は性質强健なるものなども日當りよき場所を好むものなれば、之れに適する樣にし其他特に注意の必要なきものなり。

1605. **イスパンサルビヤ** …… シソケイ科
Salvia hispanica, L.

〔形態〕近時の外來に係り園地に培養せらるゝ一年生草本にして、全株に細毛を布き、莖は方形をなし、高60-90糎(2-3尺)に達す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形、銳頭をなし、基脚銳く、絲邊鈍齒牙緣をなす。花は輪繖花序をなし、總狀に排列し、苞は卵形にして先端尖り毛緣を有す。萼は廣筒形をなし、軟毛を密布す。花冠は萼より稍超出し、花柱に鬚毛を有す。

〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

1606. **オニサルビヤ** …… シソケイ科
Salvia Sclarea, L. (8圖版-77)

(英名) クレリー(Clary) 〔形態〕近時の外來に係り本邦にては專ら園地に栽培せらるゝ二年生草本にして、莖は方形をなし、高60糎(2尺)內外に達するものなり。葉は一見粗剛にして葉面に皺襞多く、其狀よくシネラリヤに似たり。この葉は全體に毛茸を有し、稍部のもの無柄、苞は對生にして橫出し、基部凹入し、全體は卵形にして先端尖り、緣邊のみ桃色を帶び、內部は帶綠白色なり。花はこの苞に3箇宛左右に着生し、概形オドリコサウの花に似たる唇形花をなす。

人生との關係 觀賞用として栽培する他、葉を料理の調味料に使用す。繁殖は種子により、普通秋播とし、霜除の下に越冬せしめ、翌年花壇に定植す。(此項石井氏園藝圖譜に據る)

1607. **ヒゴロモサウ** …… シソケイ科
Salvia splendens, Ker. (8圖版-78)

(異名) オホバナベニサルビヤ (英名) スカーレット·セージ(Scarlet Sage) 〔形態〕本屬の植物中最も普通に栽培せらるゝ多年生草本なれども、園藝上にては一般に一年生草本として取扱はるゝものなり。莖は方形をなし、高60-90糎(2-3尺)に達す。葉は長柄によりて對生し、葉柄は卵形をなし先端尖り、齒牙狀の鋸齒緣を具ふ。花は輪繖花序をなし1梗2花宛隔離して生じ、總狀をなす。苞は卵形にして先端尖り紅色を呈し、凋落性なり。萼は鐘形にして緋紅色を呈し、無毛なるか、或は脉上小梗と共に絨毛を布き3齒緣をなし、各齒片は卵形にして銳頭をなす。花冠は萼の3倍長く、筒部は稍膨大し、下唇は短き特徵あり。〔花色〕緋紅色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕伯耳西。

人生との關係 花色華麗なるにより盛に培養せらるゝ種類なり。

繁殖は實生及挿芽に依るものなれども、一般には春播とし、2回移植の後花壇又は鉢に定植す。本種は播種後發芽迄は比較的高溫を要するものなれば注意を要す。

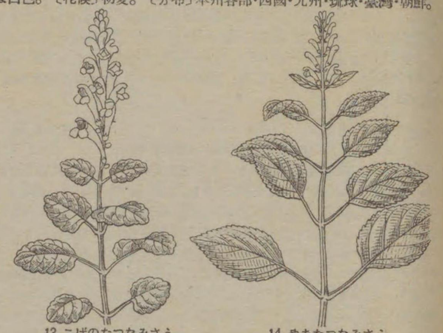
1608. **いぬひきおこし** …… シソケイ科
Salvia Tashiroi, *Hayata.*

(異名) ひきおこしだまし 〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し、高60-90糎(2-3尺)餘に達す。葉は紙質にして菱狀卵形をなし、先端尖り、鋸齒緣をなし、對生なれども、根葉は羽狀複葉をなし長柄を有す。花は5-7花を輪生し、萼は筒狀唇形にして翼を有し、外面に腺毛を布き、內面に粗毛を有す。花冠は筒狀唇形をなし、外面に短毛を布き、上唇は長橢圓形、下唇は3裂し、側方の裂片は小形を呈し半圓狀にして、中央の裂片は廣楔形をなし、更に2裂し、各裂片は擴大す。〔分布〕臺灣。

45. タツナミサウ屬 SCUTELLARIA.

1609. **たつなみさう** …… シソケイ科
Scutellaria indica, L. (8圖版-79)

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、全株に短毛を布き、莖は方形をなし、高30糎(1尺)內外に達す。葉は葉柄を具へ對生し、葉身は廣卵形或は圓形にして鈍頭或は銳頭をなし、鈍鋸齒緣を具ふ。花は短梗を有し、偏側生穗狀樣總狀花序をなして頂生し、苞は卵形にして柄を有す。萼は唇形をなし、上唇は其背部に後反する圓鱗狀の突起を有す。花冠は唇形にして長き筒部を有し、上唇は稍兜狀をなし、下唇は廣くして3裂す。雄蕊は4箇ありて2强をなし、花柱は先端2岐し、果實は小堅果なり。〔花色〕青紫色或は白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球·臺灣·朝鮮。


13 こばのたつなみさう

14 やまたつなみさう

1610. **こばのたつなみさう** …… シソケイ科
Scutellaria indica, *L.* var. parvifolia, *Makino.*

(異名) びろうどたつなみ 〔形態〕前種と同樣山野に自生する多年生草本にして、全株に短毛を密布し、高20-25糎(7-8寸)に達し、基脚伏臥性をなす。葉は葉柄を有し對生し、葉身は心臟形、鈍頭をなし、基脚楔形或は楔狀心臟形をなし、緣邊鈍齒牙緣をなす。花形及其着生の狀態等凡て前種に同じ。〔花色〕淡碧紫色。〔花候〕5月。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球。

1611. **やまたつなみさう** …… シソケイ科
Scutellaria japonica, *Morr.* et *Decne.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株稍無毛種に屬し、莖は方形をなし、單生或は分枝し、高9-30糎(0·3-1尺)許に達す。葉は膜質をなし、有柄にして對生し、葉身は三角狀廣橢圓形或は廣橢圓狀卵形をなし、銳頭、基脚稍心臟形をなし、銳或は鈍齒牙緣を具ふ。花は總狀花序をなして頂生し、偏側生をなす。苞は卵狀披針形、萼は鐘形をなし、花冠は長さ1·5-2·0糎(5-7分)の筒狀唇形をなし、筒部は稍弓形を呈し、上唇は短く2裂し、下唇は3裂し、中央の裂片は闊大なり。〔花色〕白色にして上側碧色を帶ぶ。〔花候〕7月。〔分布〕北海道·本州·四國。

1612. **しそばたつなみ** …… シソケイ科
Scutellaria indica, *L.* var. humilis, *Makino.*

(異名) うづたつなみ 〔形態〕山麓、樹蔭等に自生する矮性の多年生草本にして、莖は方形をなし、節間短く、多くは簇生するものなり。葉は長柄によりて平開し、廣卵形或は圓形にして鈍頭をなし、緣邊に鈍鋸齒を有すること前種と同樣なれども、本種の葉は上面綠色、下面菫色を呈するものなり。花は長穗狀をなして偏側生し、屢ば簇出す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部。

1613. **ながばたつなみさう** …… シソケイ科
Scutellaria longituba, *Koidz.* (8圖版-80)

〔形態〕原野の稍水濕地に自生する多年生草本にして、葉は長卵形鈍頭基脚圓形を呈し、鈍齒牙緣をなし、毛を有せず。花は總狀花序をなして頂生す。本種の花の有する花筒は長さ4·5糎(1·5寸)許に達し、短毛を被むるものなり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島。

PL. 8.

71 あきぎり

72 こどちさう

73 ゆきみさう

74 サルビヤ

75 ケシヤウサルビヤ

76 ムラサキサルビヤ

77 オニサルビヤ

73 ヒゴロモサウ

79 たつなみさう

80 しそばたつなみ

1614. ひめたつなみさう …… シンケイ科
Scutellaria playfairi, *Kudo.*

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、全株に短毛を布き、莖は基脚伏臥し、枝條は斜上す。葉は質厚く、短柄によりて對生し、葉身は心臟形鈍頭をなし、波縁鈍齒牙緣を具へ、長さ6-15粍(2-5分)許あり。花は偏側生總狀花序をなし、短梗によりて疎に着生す。苞は細小、花冠は筒狀唇形をなし、長1糎(3分)餘、筒部は基脚狹搾し、喉部擴大す。〔分布〕臺灣。

1615. えぞたつなみさう …… シンケイ科
Scutellaria dentata, *Lev.*

〔形態〕原野の稍水濕地に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬し葉は長柄によりて對生し、葉身は卵形、鋭尖頭をなし、基脚圓く、鈍齒牙緣をなす。花は總狀花序に排列し、小苞は全緣にして小梗より長く、花冠は萼の6-7倍長きを特徴とす。〔花色〕白色にして革色を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

1616. **なみきさう** (9圖版-81) …… シンケイ科
Scutellaria scordifolia, *Fisch.* forma pubescens, *Kom.*

〔形態〕原野及海岸の砂地等に自生する多年生草本にして、全株に白色の短毛を密生し、莖は方形をなし、高12-15糎(4-5寸)乃至30糎(1尺)許に達す。葉は短柄によりて對生し、葉身は披針形或は長橢圓形、鈍頭をなし、基脚心臟形、縁邊鈍鋸齒を具へ、上面には疎毛を布き、下面には葉柄と共に白色の短毛を密生し、小凹點を有す。花は稍部に腋出し、小梗は萼と同長或は稍長く、花冠は筒狀唇形をなし、筒部は彎曲し、觜部は平開す。〔花色〕通常紫色、中心に白斑を有するものなれども、稀に白色のものを見ることあり。〔花候〕初夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

1617. えぞなみきさう …… シンケイ科
Scutellaria scordifolia, *Fisch.* forma puberula, *Kom.*

〔形態〕河邊、池溝等の水濕地に自生するものにして、全株に短毛を散生し、葉は鈍披針形をなすものなり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

1618. おほなみきさう …… シンケイ科
Scutellaria galericulata, *L.* var. pubescens, *Regel.*

(異名) えぞのなみきさう　〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、高15-18糎(5-6寸)乃至30-60糎(1-2尺)に達し、莖には細毛を布き、殊に節部に於て密生す。葉は短柄によりて對生し、葉身は廣披針形をなし、鋸齒縁を具へ、上面に剛毛、下面に短軟毛を密生し、小凹點を有せず。花は1-2花を腋出し、小梗は萼より短く、萼は唇形をなし全緣、花冠は筒狀唇形をなし、筒部彎曲し、觜部は唇形をなし、萼には小梗と共に細毛を密布す。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

1619. からふとなみきさう …… シンケイ科
Scutellaria galericulata, *L.* var. genuina, *Regel.*

〔形態〕前種と同樣原野の稍水濕地に自生する多年生草本にして、莖は稜角上に細毛を密生し、葉は長橢圓狀披針形或は線狀披針形を呈するもの等あり、何れも鈍頭、疎鈍鋸齒縁をなし、上面並に先端附近に短き剛毛、下面脈上には短軟毛を生じ、小凹點を有せざるものなり。〔分布〕樺太。

1620. こなみき …… シンケイ科
Scutellaria Guilielmi, *A. Gray.*

(異名) やんばる・すすかうじゆ　〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、全株に短毛を散生し、莖は方形をなし質軟弱にして、高30糎(1尺)內外に達す。葉は有柄にして對生し、葉身は腎臟狀卵形にして心脚をなし、缺刻狀に深裂す。花は花梗を有し腋出せり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球。

1621. **ひめなみき** …… シンケイ科
Scutellaria dependens, *Maxim.* (9圖版-82)

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬す。莖は軟弱にして、多くの小枝を分ち、高30糎(1尺)乃至45糎(1·5尺)許に達す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形或は卵狀披針形鈍頭をなし、基脚心臟形なり。全緣或は下半部は不明の鈍齒牙緣をなす。花は花梗によりて腋出し、萼は綠色にして唇形をなし、上唇の背部反起し、花冠は筒狀唇形をなし、上唇は小さくして、下唇は大形なり。雄蕊は4箇ありて2長、2短をなし、子房は4箇に深裂し、1花柱を具ふ。〔花色〕白色にして下唇に淡紫色の斑點あり。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。

1622. **みやまなみき** …… シンケイ科
Scutellaria shikokiana. *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株無毛株に屬し、莖は方形をなし、高30糎(1尺)內外に達す。葉は長柄によりて對生し、葉身は膜質にして卵狀三角形鈍頭をなし、縁邊缺刻狀粗鈍齒牙緣をなし、下面に屢ば紫色を帶ぶ。花は總狀花序をなし疎生し、苞は披針形或は卵狀披針形をなし、小梗は花より長き特徴あり。〔花色〕白色。〔花候〕春-秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

15 みやまなみき

16 ちやぼなみき

1623. **ちゃぼなみき** …… シンケイ科
Scutellaria Tanakae, *Franch.* et *Sav.*

(異名) びろうどなみき　〔形態〕山地殊に高山草本帶に多く自生する小形の多年生草本にして、莖は上部腺質縺疎し、高20糎(7-8寸)に達す。葉は有柄にして對生し、卵形或は三角狀卵形をなし、鈍齒牙緣をなす。花は總狀花序をなし、腋出或は頂生す。苞は楔狀稜形を呈し、萼は斜鐘形、花冠は長24粍(8分)許、上唇は3裂、下唇は卵形圓頂をなし、外面は萼と共に毛茸を有す。〔分布〕臺灣。

1624. **コガネヤナギ** …… シンケイ科
Scutellaria baicalensis, *Georgi.* (9圖版-83)

(異名) コガネバナ・ワウゴン　〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本にして、全株に疎毛を布き、莖は方形、高60-90糎(2-3尺)に達す。葉は稍無柄にして對生し、葉身は披針形鋭尖頭をなし、全緣又は毛緣をなす。花は總狀花序をなし、稍偏側生穗狀をなし、苞は花と稍同長、萼は鐘狀唇形、花冠は筒狀唇形をなし、筒部は斜上、彎曲し、上唇は兜形をなし先端凹み、雄蕊は4箇ありて2强をなし、下方の2者は上唇下に斜上し、花柱は不齊に2岐し、果實は瘦果にして稍球形をなす。〔花色〕紫色或は淡紫色又帶青色・白色等種々。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

1625. **やんばるなみきさう** …… シンケイ科
Scutellaria rivularis, *Wall.* (9圖版-84)

〔形態〕原野、畦畔等に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬す。莖は方形をなし、基脚は伏臥性、枝條は斜上し、高2糎(5-6寸)乃至30糎(1尺)許に達す。下部に生ずる葉は短柄を有すれども、稍葉は無柄にして何れも對生し、葉身は卵狀披針形鈍頭をなし、基脚楔形、縁邊は全緣或は鈍齒牙緣をなす。花は無梗にして腋出或は稍頭穗狀花序をなして着生し、苞は卵形或は披針形全緣、花冠は長0·6-1·3糎(2-4分)許あり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1626. セイヤウナミキサウ …… シンケイ科
Scutellaria altissima, *L.*

〔形態〕園地に栽培せらるゝことある外來の多年生草本なり。莖は直生或は分枝し、高30-60糎(1-2尺)に達す。葉は有柄にして對生し、葉身は卵形或は卵狀披針形にして、鈍齒牙緣、廣心脚をなし、稍皺質を呈す。花は總狀花序をなし、花穗長く稍分岐し、絨毛を布く。この花は對生或は偏側生す。萼は絨毛を布き、花冠は萼の4倍長き特徴を有す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

46. イヌゴマ屬　STACHYS.

1627. **いぬごま** (9圖版-85) …… シンケイ科
Stachys baicalensis, *Fisch.* var. hispidula, *Nakai.*
(*S. aspera.* var. *japonica*, *Maxim.*)

(異名) ちよろぎだまし　〔形態〕田野、路傍等に自生する多年生草本にして、莖は稜角をなし上下行の剛毛を列生し、高60糎(2尺)許に達す。葉は短柄を有し對生、葉身は長橢圓狀披針形、基脚心臟形をなし、鈍鋸齒縁を

具へ.無毛なるか.又は脉上に粗毛を布く。花は輪繖花序をなし.6-8花を着け.梢頭穗狀に密生す。蕚は鐘狀にして.5齒緣を有し.各齒緣は鋭尖頭刺端をなす。花冠は筒狀唇形をなし.上唇は圓形にして全緣.下唇は3裂し平開す。〔花色〕淡紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

1628. えぞいぬごま …… シンケイ科
Stachys baicalensis, *Fisch.* var. hispida, *Nakai.*
(*S. aspera.* var. *baicalensis, Maxim.*)

〔形態〕前種に酷似したるものなれども.本種の莖は稜角に沿ひ粗毛を布き.葉は兩面共に有毛なり。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

1629. てうせんいぬごま …… シンケイ科
Stachys baicalensis, *Fisch.* var. japonica, *Kom.*

〔形態〕本種も亦前種等に概形相似たるものなれども.本種の莖は全部無毛なるか.或は結節部のみ繞澁し.葉も亦無毛なるものなり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

1630. **クヮクカウチョロギ** (9圖版-86) …… シンケイ科
Stachys Betonia, Benth. (*Betonia officinalis, L.*)

(異名) クヮクカウサウ (英名) ベトニー (Betony) 〔形態〕外來の1種に屬し園地に培養せらるゝ多年生草本にして.全株に粗毛を布き.莖は方形.高18-60糎(0・6-2尺)に達す。葉は下部に生ずるものは長柄を有し.葉身は長楕圓形鈍頭.基脚心臟形をなし.鈍齒牙緣を具ふれども.上葉は無柄にして.葉身は披針形をなし鋸齒緣を具へ.梢頭に近く生ずるものは線形をなし全緣なり。花は輪繖花序をなし.梢頭に密生し穗狀をなし.脚部にある1花輪は隔離す。蕚は鐘形をなし.齒片は披針形にして刺端を有し.花冠は筒狀唇形をなし短毛を布く。〔花色〕赤紫色なるか.稀に白色。〔花候〕7-8月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係 本邦への渡來は相當に古きものなれど.觀賞用殊に切花として栽培するに至りたるは全く近頃の事なり。繁殖は株分による。性質强健にして.日當りよき處にては年々發芽開花し.別に土質等を撰定するに及ばざる程栽培容易なるものなり。

1631. セイヤウイヌゴマ …… シンケイ科
Stachys annua, L.

〔形態〕園圃に栽培せらるゝ一年生草本なり。莖は方形にして上部に短毛を布き.高30-60糎(1-2尺)に達す。葉は有柄にして對生し.葉身は卵形にして鈍頭を有し.緣邊疎鋸齒をなす。花は輪繖花序をなし.概ね6花を着け頂生し.基部に隔離して生じ.穗狀をなす。蕚は筒狀鐘形をなし.絨毛を布き.先端5裂し.各裂片は披針形.鋭尖頭.稍刺端をなす。花冠の約2倍長く.短毛を布く。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

1632. **チョロギ** 草石蠶 …… シンケイ科
Stachys Sieboldii, Miq. (9圖版-87)

(異名) チョロウギ・チョロウク・チョナ・ジイナモ 〔形態〕園圃に栽培せらるゝ多年生草本にして.全株に粗毛を布き.地下に長さ3糎(1寸)許に達する白色連珠狀をなせる塊莖を生ず。莖は方形をなし.高30-60糎(1-2尺)に達す。葉は有柄にして對生し.卵形乃至卵狀披針形をなし.先端尖り.基脚心臟形.緣邊鈍齒牙緣をなす。花は輪繖花序をなして4-6花を着生し.梢頭枝端に隔離して生じ穗狀をなす。下苞は尋常葉形をなし.花より超出し.上苞は披針形全緣にして蕚と同長.蕚は先端齒裂し.各齒片は稍三角形鋭頭にして刺端をなす。花冠は筒狀唇形をなし.筒部は半ば挺出し.外面細毛を布き.內面に毛環を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕秋。〔原産地〕支那。

人生との關係 塊莖は肉質脆く味淡白なるものにして.普通梅酢漬として食用に供す。よく正月の煮豆などに配し.裝飾的に使用せらるゝことは周知のことなり。又煮食に供することあり。

本植物の栽培は最も簡單なるものにして.而も風土の好嫌なきものなれば如何なる土質.如何なる土地にても栽培し得らるゝものなり。毎年3月頃前年に採集貯藏せし塊莖を深さ9糎(3寸)許の深さに植ゑ込み.降霜の時季に至り.表面に敷藁或はその他のものにて覆ひをなし.地面の凍るを防止し.秋日莖の枯れたるを期とし堀り取り貯藏し置くものとす。

1633. **ヤブチョロギ** …… シンケイ科
Stachys arvensis, L.

(異名) ノチョロギ 〔形態〕原野に自生する一年生草本にして.全株に疎毛を布き.莖は方形.細長にして傾上或は平臥す。葉は有柄にして對生し.葉身は卵形.鈍頭.基脚心臟形をなし.鈍齒牙緣を具ふ。花は輪繖花序をなし.4-6花を着け.隔離して生ず。蕚は筒狀鐘形にして毛茸を有し.齒片は披針形.鋭頭をなす。花冠は蕚より稍超出し.筒部は閉在し.唇部は短形なり。〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕舊世界の歸化植物。

1634. ながばやぶちょろぎ …… シンケイ科
Stachys oblongifolia, *Benth.*

(異名) びろうどちょろぎ 〔形態〕原野に自生する一年生草本にして全株に短毛を布き.莖は方形をなし.高30-60糎(1-2尺)に達す。葉は短柄によりて對生し.長楕圓狀披針形にして先端尖り.下面に白毛を密布す。花は2-6花を隔離して生じ穗狀をなし.蕚片三角形或は披針形.剛毛端をなす花冠小形にして蕚より超出す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

17 ヤブチヨロギ　18 ワタチヨロギ

1635. こながやぶちょろぎ …… シンケイ科
Stachys oblongifolia, *Benth.* forma leptopoda, *Kudo.*

〔形態〕前種の一品種に屬し.莖は彼に比し瘠長.葉は小さく.線狀長楕圓形をなし.何れも有柄.花も亦彼より小さく.蕚は倒圓錐狀鐘形をなすものなり。〔分布〕臺灣。

1636. **ワタチョロギ** …… シンケイ科
Stachys lanata, Jacq.

(異名) ワタクヮクカウ 〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本にして.全株に綿毛を密布し.高30糎(1尺)乃至45糎(1・5尺)に達す。葉は長楕圓形或は楕圓形にして.先端尖り.基脚鋭脚をなし.細鈍齒牙緣を具ふ。花は輪繖花序をなし頂生にして.約30箇の小形花を着生し.隔離して生じ穗狀をなす。苞は線狀披針形をなし蕚と同長.蕚の齒片は鋭尖頭をなし內捲す。花冠は外面蕚と共に綿毛を密生し.花筒は閉在す。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕南部歐羅巴。

47. ニガクサ屬 TEUCRIUM.

1637. **にがくさ** …… シンケイ科
Teucrium japonicum, Houtt. (9圖版-88)

(異名) いぬちょろぎ 〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.全株稍無毛種に屬し.莖は方形をなし.高60糎(2尺)餘に達す。葉は有柄にして對生し.葉身は卵狀長楕圓形にして先端尖り.粗鋸齒緣を具ふ。花は輪繖花序をなして.腋生或は頂生す。本花の苞は線狀披針形を呈し.蕚は鐘形をなし10脉を有し.稍無毛にして5齒緣をなす。花冠は筒狀唇形をなし.上唇は細小.下唇は長大なり。雄蕊4箇ありて2强をなし.花冠外に挺出す。花柱は整齊に2岐す。果實は瘦果にして倒卵形をなし.表面皺襞あり。〔花色〕白色・紅暈。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

1638. こにがくさ …… シンケイ科
Teucrium stoloniferum, *Roxb.*

〔形態〕同じく山野に自生する多年生草本なり。本種は匐枝を曳き.莖は細長にして直生し.上部に腺毛を密生す。葉は有柄にして對生し.葉身は廣卵形にして鋭頭或は鈍頭をなし.鈍齒牙緣を具へ.長4・5糎(1・5寸)乃至9糎(3寸)許あり。花は總狀花序をなして頂生或は腋出し.小苞は披針形.蕚は有毛.花冠は筒狀唇形なり。〔花色〕鮮紅色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球・臺灣。

1639. つるにがくさ …… シンケイ科
Teucrium stoloniferum, *Roxb.* var. Miquelianum, *Maxim.*

(異名) つるいぬちょろぎ 〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.全株無毛.莖は斜上し.葉は膜質をなし.葉柄を有し對生.葉身は卵狀披針形鋭頭にして不整の重鋸齒緣をなし.長さ4・5糎(1・5寸)乃至9糎(3寸)に達す。花は總狀花序をなし頂生或は腋出し.苞は披針形.蕚は稍無毛.花冠は筒狀唇形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州・臺灣。

PL. 9.

81 なみきさう　82 ひめなみき　83 コガネヤナギ
84 やんばるなみきさう　85 いぬごま　86 クワクカウチヨロギ　87 チヨロギ
88 にがくさ　89 いぶきじやかうさう　90 キダチヒヤクリカウ

1640. ひめにがくさ …… シンケイ科
Teucrium veronicoides, *Maxim.*

（異名）えぞにがくさ　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。全株に腺毛を布き、莖は方形にして匐枝を曳き、高 20–24 糎（7–8 寸）に達す。葉は長柄を有し對生。葉身は稍心臟狀卵形にして鈍頭、緣邊不整の齒牙狀鈍鋸齒緣をなす。花は輪繖花序をなして 2 花を着生し、偏側生穗狀樣總狀花を頂生或は腋出し、隔離生なり。蒴の裂片は不同、各裂片は三角形鈍頭なり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

48. イブキジャカウサウ屬 THYMUS.

1641. いぶきじゃかうさう 石薄荷（9 圖版–89） シンケイ科
Thymus Przewalskii, *Nakai*, var. laxa, *Nakai.*

（異名）ひやくりかう（百里香）・つるうつぼ・せんりかう・はまくさ・はひばら・かやりぐさ・なんばぐさ　〔形態〕近江の伊吹山を始め、諸國の原野に自生する多年生草本なり。莖は線樣にして剛强、匍匐莖延し、多くの枝を分ち叢生し、處々に鬚根を下し、冬も凋まず。春季新枝を生じ、高 10 糎（3 寸）に達す。葉は小形にして、卵形又は倒卵狀披針形をなし、鈍頭、全緣にして緣邊に緣毛を生じ、綠色扁平、短柄を有し對生す。この葉は氣味辛烈芳香ありて薄荷に似たり。花は梢頭に總狀をなせる短き花穗を着け、小形の筒狀唇形花を着生し、花間に多くの葉狀苞を有す。花梗は短小、花に 2 形あり雄花は大形にして、雌雄兩全花は小形なり。蒴は紫色にして唇形 5 尖をなし、微毛を有す。雄蕊 4、雌蕊は 1 筒なり。〔花色〕淡紫色°〔花候〕夏初。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。

人生との關係　葉及花穗を藥用に供す。又揮發油を採りて藥用に供す。

1642. キダチヒャクリカウ …… シンケイ科
Thymus vulgaris, L.（9 圖版–90）

（異名）タチジャカウサウ・チームサウ　〔形態〕文久年間本邦に渡來せし灌木樣の常綠草本なり。莖は堅硬にして上部直生し、高 18–30 糎（0·6–1 尺）許に達し、前種の如く匍匐莖を出し橫行莖延するに反し、本種は多くの小枝を分つ。葉は無柄にして線狀披針形又は卵狀披針形をなし、銳頭にして葉緣少しく反捲し、軟毛を生じ、長さ 6 粍（2 分）許あり。花は梢頭に穗狀をなし、小形の唇形花を輪狀に攅簇す。この花は前種に酷似し、同じく小形にして、芳香を有す。本植物の枝を地に挿せば、根を生じ易きものなり。

人生との關係　前種と同樣花穗又は全草より揮發油を採取し、藥用に供するものなり。

*　*　*　*　*

14. くまつづら（馬鞭草）科
VERBENACEÆ.

本科の植物は草本、灌木或は喬木にして平滑なるか又は種々なる毛茸を有す。葉は托葉を有せず。通常對生、稀に輪生、極めて稀に互生し、單葉、稀に複葉（羽狀、掌狀）をなす。花は兩性にして花冠は合瓣總狀又は聚繖花序をなす。萼は下位にして概ね宿存し萼片は合着して鐘狀又は盃狀をなし、4–5 或は 6–8 箇の裂片をなすも又稀に全緣のことあり。花瓣は合着して圓筒狀となり、上部は 4 又は 5 稀に無數に分裂し同大同形なるか、又は大小 2 脣をなす。雄蕊は 4 箇ありて 2 長 2 短をなし、往々 2 筒又は 5–6 箇あり。花絲は分離して花冠に着生し、且つ其裂片と互生す。葯は 2 室にして內向し、且つ縱裂す。子房の下方には花盤あり、僅かに發達せるも時に肥厚せるもあり。子房は上位にして 2 箇稀に 4 箇の心皮より成り 4 箇に淺裂し、2–5 室なれども後には僞膜により 4–10 室となり、各室 1 箇の倒生或は半倒生の（卵子）を藏し、胚孔は下向す。花柱は單一にして頂生、柱頭は 1 –2. 果實は核果或は蒴果にして、種子は少量の胚乳を含むものあり。

19 クマツヅラ科の代表花

本科植物には美麗なる花を開き、觀賞用に供せらるゝもの（ランタナ、ニンジンボク、ビジョザクラ）等、材用として重要なるもの（チークノキ）等あり。花の美なると共構造の唇形科に似たると、雌雄兩蕊の成熟期を異にすること、芳香を放つこと等により蟲媒花ならんと認めらる。分布の廣き植物なれども殊に熱帶及南半球の溫帶に多く北半球の溫帶には少し。

本科に屬する植物は凡そ 67 屬 1200 餘種を有すれども、本邦には 13 屬 74 種を產するに過ぎず。

本科所載植物名目次

アヲゲムラサキ……1652
アマクサギ……1660
イハダレサウ……1673
イボタクサギ……1663
オニヤブムラサキ……1656
オホシロシキブ……1649
オホバンジンボク……1685
オホバハマクサギ……1675
オホムラサキシキブ…1646
カウスイボク……1674
カウチムラサキ……1650
ガシヤンギ……1663
カハリバニンジンボク1685
カリガネサウ……1657
キバナハマクサキ……1676
クサギ……1659
クサギリ……1659
クマツヅラ……1680
クラリンダウ……1668
ケムラサキ……1653
ゲンペイクサギ……1665
コウワウクワ……1670
コバノコウワウクワ…1672
コバノシチヘンゲ…1672
コバノヤブムラサキ…1655
コバノランタナ……1672
コバムラサキシキブ…1647
コメゴメ……1653
コメノコ……1644
サンダンクワ……1670
シキザクラ……1681
シチヘンゲ……1670
シマヒギリ……1667
ジユラシンカヅラ……1669
シラダクサギ……1661
シルホーキ……1683
シロシキブ……1648
セイヤウサンダンクワ1670
セイヤウニンジンボク1684
タイワンシロシキブ…1656
タイワンニンジンボク1686
タイワンレンゲウ……1669
タウギリ……1666
タガヤサン……1668
タチハマゴウ……1638
ダンギク……1658
チークノキ……1679
ナガバムラサキシキブ1645
ナガバヤブムラサキ…1654
ナンメイラ……1644
ニンジンボク……1683
ネバリビジョザクラ…1682
バウシワボク……1674
ハナガサ……1681
ハマカヅラ……1687
ハマクサギ……1675
ハマゴウ……1687
ハマシキミ……1687
ハマハギ……1687
ハマハヒ……1674
ハマハヒ……1657
ハリガネカヅラ……1665
ハリマツリ……1669
ヒギリ……1666
ビジョザクラ……1681
ヒナビジョザクラ……1682
ヒルギダマシ……1643
ヒルギモドキ……1643
ビロウドムラサキ……1650
ホウライムラサキ……1651
ホカケサウ……1657
ホソバムラサキ……1652
ホナガサウ……1678
マキバクサギ……1664
ミツバハマゴウ……1668
ミムラサキ……1644
ムラサキシキブ……1644
ムラサキランタナ……1671
モクマベン……1678
ヤブムラサキ……1653
ヤヘザキクサギ……1662
ヤマドリサウ……1657
ヤマムラサキ……1644
ヤマムラサキ……1653
ランギク……1668
ランタナ……1670

1. ヒルギダマシ屬 AVICENNIA.

1643. ひるぎだまし 茄藤樹・海茄冬 ……クマツヅラ科
Avicennia officinalis, *L.*（10 圖版–91）

（異名）ひるぎもどき　〔形態〕紅樹林（Mangrove）を形成する植物の 1 種にして、高 1·5–2 米（5–7 尺）の常綠灌木にして、海岸干潮線附近に生じ下部より氣根を生ず。樹皮は灰褐色にして嫩枝には白色の細毛を有す。葉は對生にして有柄、葉身は革質、全緣、廣楕圓形にして、下面に白色毛茸を有す。花は小筒狀にして枝端に簇生す。苞は萼より短く、萼は 5 裂片し緣邊

に毛を有す。花冠は徑1-1·5糎(3-5分)にして4裂す。雄蕊4.子房は稍4室.果實は蒴にして扁壓せる廣楕圓形をなし.長さ約2糎(7分)許.熟して2裂し1種子を出す。シクンシ科に屬する植物にも.「ひるぎもどき」あり。混同すべからず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球·臺灣。

人生との關係 海岸に簇生し.南國特有の1種景觀を呈す。特に海渚に植ゑて泥土の集積を促し.海岸を埋むるに用ひらる。樹皮より「タンニン」($C_{10}H_{10}O_6$)を製し製革其他に用ひられ.花は良好なる蜜を生ずるを以て養蜂家に利用せらる。

(附記) 紅樹林.熱帶.亞熱帶地方の潮の干滿する所に生じ.特殊の生態を有する各種の植物を總稱せるものにして.主なるものはヒルギ科(Rhizophora やへやまひるぎ屬)クマツヅラ科(Avicenia 屬)なれどもシクンシ科.ヤマブシキ科.センダン科.ヤブカウジ科.アカネ科.キツネノマゴ科.シュロ科等に屬するものもあり。小喬木或は灌木にして常綠革質の葉を茂生し.盛に氣根を生じて支柱の觀を呈するものあり.或は呼吸根を無數に泥土に直立せしめ.恰も蠟燭の林立せるが如き狀を呈するものあり(Avicenia)。殊に Rhizophora. Avicenia の兩屬の植物は結實の後.種子內の胚は尙生長を停止せざるを以て.樹上にある時幼植物は既に果實を破りて體の下半を裸出し.長き棒狀をなし垂れり.期到れば皆母樹を辞して落下し.泥土に刺さり.或は潮に運ばれて適所に着生し.其まゝ生長を繼續する等の特徴を有するもの等あり。

2. ムラサキシキブ屬 CALLICARPA.

1644. **むらさきしきぶ** 紫珠 …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* (10圖版-92)

(異名) みむらさき・やまむらさき・なんめいら 〔形態〕山林中に自生する落葉灌木にして.高3-5米(1-1·5丈)に達す。樹膚は淡灰色にして.幼條は粉の如き星狀毛を生じ.帶紫色を呈す。葉柄は短く.葉身は長さ10-15糎(4-5寸)許.倒卵形或は廣倒卵披針形にして兩端尖銳.緣邊に鋸齒を有し.葉脈は隆起す。芽に鱗片を有せず。花は聚繖花序をなし葉腋より生じ多數の細花を密攢す。萼は短鐘形にして僅に4裂し無毛なり。雄蕊は4箇.花柱は1箇にして共に抽出す。子房は4室.果實は小形の核果にして紫色を呈し.光澤あり。〔花色〕紫色又は白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·琉球·臺灣。

1645. **ながばむらさき** …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* var. angustifolia, *Rehd.*

〔形態〕「むらさきしきぶ」の1變種にして.臺灣地方の山野に自生する灌木なり。全株に毛なく.葉は倒披針形にして兩端尖る。長さ約20糎(7寸)許.葉柄短く.葉緣は全邊又は極めて細き鋸齒を有す。聚繖花序は葉腋より生ずるあり.或は頂生なるものあり。萼は鐘形にして先端4裂し.各裂片は圓形をなす。

1646. **おほむらさきしきぶ** …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* var. luxurians, *Rehd.*

〔形態〕本種亦「むらさきしきぶ」の1變種に屬し.葉も花序も共に壯大なるものにして.江ノ島.伊豆列島等の海岸に自生す。〔分布〕本州南部·四國·九州·琉球·朝鮮南部の群島。

1647. **こばむらさきしきぶ** …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* var. Taquetii. *Nakai.*

〔形態〕葉の極めて小なる種にして.其大なるものにても長さ3糎(1寸)許.花序にも花少し。〔分布〕本州中部·朝鮮。

1648. **しろしきぶ** …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* var. leucocarpa, *Nakai.*

(異名) やましろ 〔形態〕花も果實も共に白色なる種なり。
〔分布〕邦內各地。

1649. **おほしろしきぶ** …… クマツヅラ科
Callicarpa japonica, *Thunb.* var. luxurians, *Rehd.* forma leucocarpa, *Nakai.*

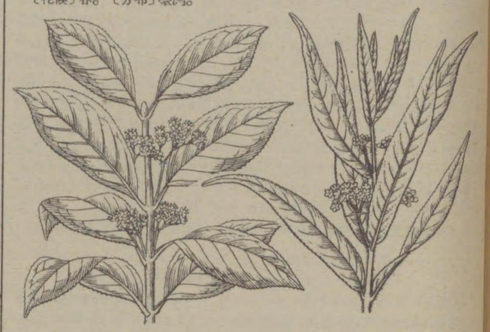
〔形態〕「おほばむらさきしきぶ」の1變種にして.果實の白色なるものなり。〔分布〕本州中部。

1650. **びろうどむらさき** …… クマツヅラ科
Callicarpa Kochiana, *Makino.*

(異名) かうちむらさき 〔形態〕四國地方の山麓.原野等に自生せる灌木にして.高2米(5-6尺)許.分岐多し。枝條.葉.花梗.萼等すべて褐色の星狀絨毛を密生す。これ「びろうどむらさき」の和名を得し所以なり。唯葉の表面は中肋上にのみ毛を有す。葉柄は長さ1-2糎(3-7分)にして.兩端尖銳なる倒披針形の葉身を着く.長さ20-24糎(7-8寸).緣邊には銳き細鋸齒を有す。花は聚繖花序の枝に集團して頭狀の觀を呈す。花梗は略葉柄と同長にして.線形の苞を着く.萼は4-5裂し細くして鑿形をなせる3糎(1寸)許りの裂片を着く.花冠は淡紫色を呈し.雄蕊は長く抽出し圓き葯をつく.果實は白色に成熟す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕四國(土佐)·臺灣。

1651. **ほうらいむらさき** 山薄姜·粗糠仔 ‥ クマツヅラ科
Callicarpa formosana, *Rolfe.*

〔形態〕臺灣の山野に自生する灌木にして.全株に茶褐色の星毛を密生す葉は有柄にして厚質.長楕圓形にして先端尖銳.葉脚亦一般に銳なれども.或は圓形をなせるものあり。長さ10糎(3-4寸)內外.緣邊に細鋸齒を有し.下面茶褐色にして軟毛を密布す。聚繖花序は腋出にして多數の花を着く。果實は球形.紫色にして徑約3粍(1分)內外の核果なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。



20 ほうらいむらさき　21 ほそばむらさき

1652. **ほそばむらさき** 紅面將軍 …… クマツヅラ科
Callicarpa pilosissima, *Maxim.*

(異名) あをげむらさき 〔形態〕臺灣の山麓.平地に自生する灌木にして.全株に茶褐色の粗毛を密布す。葉は短柄を有し.線狀或は長楕圓狀披針形にして先端は長く尖り.緣邊には細鋸齒を有すれども明かならず。この葉は長さ11糎(3·5寸)許あり。聚繖花序は腋出して密生す。花梗は長く.略葉柄の2倍に達す。萼は其裂片鈍齒牙狀を呈す。花冠は無毛にして筒部の上方は擴大す。雄蕊は4箇にして同長。果實は核果なり。
〔分布〕臺灣。

1653. **やぶむらさき** 白棠子樹·女兒茶 …… クマツヅラ科
Callicarpa mollis, *Sieb.* et *Zucc.* (10圖版-93)

(異名) やまむらさき·けむらさき·こめごめ 〔形態〕山地に自生せる灌木にして高3-5米(1-1·5丈)に達し.分岐多く若き枝には綠色星狀毛を密生す。葉は有柄にして卵形又は倒卵形或は長楕圓狀披針形をなし.先端は長く尖り.長さ3-10糎(1-3寸).緣邊に鋸齒を有し.全面に直立せる星狀毛を生ず。花は聚繖花序をなし.腋出にして少數の花を着け.星狀毛を有す。萼は筒形にして深く4裂し.各裂片は線狀披針形をなし先端尖り.花冠の外面と共に星狀毛を密生す。果實は淡紫色を帶びたる徑5粍(2分)許の核果なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣·朝鮮南部。

1654. **ながばやぶむらさき** …… クマツヅラ科
Callicarpa mollis, *Sieb.* et *Zucc.* var. microphylla, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕「やぶむらさき」の1變種にして葉は披針形を呈し.長さ3-10糎(1-3寸).先端は長く尾狀にして尖る。〔分布〕本州中部·九州·朝鮮南部。

1655. **こばのやぶむらさき** …… クマツヅラ科
Callicarpa mollis, *Sieb.* et *Zucc.* var. ramosissima, *Nakai.*

〔形態〕葉の極めて小なる種類にして.長さ3糎(1寸)以內.枝は分岐多し。〔分布〕本洲中部。

1656. **おにやぶむらさき** 萬年青 …… クマツヅラ科
Callicarpa longiloba, *Merr.*

(異名) たいわんしろしきぶ 〔形態〕概形「びらうどむらさき」に酷似すれども.葉の鋸齒全然異なり稍全緣なり。〔分布〕臺灣。

(附記) 早田博士の C. tomentosa. 中井博士の C. cinnamomea. も本種と同一品なりといふ。

3. カリガネサウ屬 CARYOPTERIS.

1657. **かりがねさう** 蕕 …… クマツヅラ科
Caryopteris divaricata, *Maxim.* (10圖版-94)

(異名) やまどりさう·ほかけさう 〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.高1米(3-4尺)許.全株に細毛を生じ叢生す。莖は方形にして枝條を平開し.有柄葉を對生す。この葉は卵形にして先端短く尖り.緣邊に鈍鋸齒を有す。莖葉共に甚しき臭氣を放つをもつて著し.聚繖花序は腋出にして疎に花を着け.萼は先端5裂し.各裂片は三角形をなす。花冠は紫色の合瓣花にして上唇は4裂し.下唇は頗る大なる1瓣より成る。雄蕊は4箇(內2本は長し)にして花柱と共に長く花冠外に抽出し弓狀に屈曲す。果實は蒴。〔花色〕碧紫色。〔花候〕秋。〔分布〕北海道·本州·九州。

1658. **だんぎく** 蘭香草 …… クマツヅラ科
Caryopteris incana, *Miq.* (10圖版-95)

(異名) らんぎく 〔形態〕主として園圃に栽培せらるゝ多年生草本にして.高0·3-1·5米(1-5尺).全株に短毛を密布す。葉は有柄對生にして卵形又は長楕圓形をなし.長さ3-6糎(1-2寸).緣邊に粗鋸齒を有し.葉面は多くの皺ありて暗綠色なれども.裏面は淡綠色なり。花は聚繖花序に着き短梗にして各葉腋に密生し.段狀をなすを以て段菊「だんぎく」の和名を得しなるべし。萼の裂片は披針形.花冠は唇形をなし.雄蕊を長く突出せるは著し。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州·臺灣。

人生との關係 本植物は支那の原產にして舊くより觀賞用として栽培せられしが(九州の一部及臺灣には野生品あり)。近時切花として販賣せらるゝを見る。性强健にして戶外の半陰地を好む。繁殖は主として株分によるも亦實生にても可なり。

4. クサギ屬 CLERODENDRON.

1659. **くさぎ** 臭牡丹樹·海州常山·臭梧桐 ‥ クマツヅラ科
Clerodendron trichotomum, *Thunb.* (10圖版-96)

(異名) くさぎり 〔形態〕山林.原野に自生する落葉灌木にして.大なるは幹の直徑30糎(1尺)に達するものあれど.2-4米(0·6-1·2丈)位を普通とす。樹膚は灰色にして.若き枝には白色又は褐色の毛茸を有す。葉は廣卵形にして短毛を密生し.先端尖り.長柄によりて枝上に對生す。聚繖花序は頂生にして扇狀に開き.多數の5裂せる合瓣花を疎に着生す。萼は大形にして卵形を呈し.裂片は紅色を帶び.宿存性にして花後膨大す。花冠は線狀に5裂し.各裂片は白色を呈し.下部の筒狀部は其長さ萼の2倍に達す。雄蕊は4箇にして長く.花柱と共に著しく突出す。花後小核果を結び.藍碧色に成熟し一見極めて毒々しき觀を呈するものなり。本植物は莖葉共に甚しき惡臭を有するにより此名あり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕8月。
〔分布〕北海道·本州·四國·九州·琉球·臺灣·朝鮮·滿洲·關東州。

人生との關係 本植物の嫩葉を取り煠熱したる後水に浸し度々水を取換へたる後食するか.或は之を乾燥し時に應じて食す。又此木の心に生じたる蟲をクサギノムシと稱へ炙りて食すれば頗る佳味なり。古來之を小兒の疳藥と稱す。民間にては此の植物の煎汁を牛馬の殺虱藥として外用す。又朝鮮にては嫩葉を油に炒りて食し其根を常山と稱し.瘧即ち間歇熱を治するの効ありとして藥用に供す。

(附記) 本植物の1變種に **しようらうくさぎ** (var. esculentum, *Makino.*) 一名「じうろくさぎ」葉は通常心臟形にして先端は長く尖り.聚繖花序は概ね短く.萼片は狹長なるものなり。四國.九州に產す。其嫩葉は「くさぎ」の葉より美味なりといふ。

1660. **あまくさぎ** …… クマツヅラ科
Clerodendron yakusimensis, *Nakai.*

〔形態〕「くさぎ」に比し.莖葉に毛なく.葉は小にして卵形を呈し厚く光澤あり。花序には花少く.花形「くさぎ」に似たり。〔分布〕九州屋久島。

人生との關係 民家に栽培し前種同樣其葉を食用となす。

(附記) 本種の1變種に **がらんびくさぎ** var. Fargesii, *Nakai.* あり一名「こばくさぎ.こうしゅんくさぎ」といふ。萼の裂片特に銳形をなすを以て著し。

1661. **しらげくさぎ** …… クマツヅラ科
Clerodendron canescens, *Wall.*

〔形態〕臺灣の山麓等に自生する小灌木にして.全株に毛茸を密生す。葉は長き葉柄を有し.卵狀心臟形にして.葉身は長さ8-15糎(2·5-5寸)に達し.先端尖り.全緣或は微鋸齒を有す。花序は腋出にして圓錐形をなし.略葉の長さに等しく密生す。苞は葉狀にして長楕圓形をなし.略萼と同長なり。萼は五角形をなし.先端5裂し.花冠と共に短き毛茸を有す。花冠の下部は細長き筒狀をなし.大凡萼の2倍に達す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

22 しらげくさぎ　23 やへざきくさぎ

1662. **やへざきくさぎ** 臭茉莉·山茉莉 …… クマツヅラ科
Clerodendron fragrans, *Vent.*

〔形態〕本邦亞熱帶地方の山野に自生する灌木にして.全株に短軟毛を密生す。葉は長き葉柄を有し.卵圓形にして先端尖り.緣邊には不齊形なる波狀齒牙を有し.長さ15-25糎(5-8寸)にして薄質なり。花序は頂生にして圓錐形を呈し.多數の稍無梗花を着生す。小苞は披針形にして萼より長く.萼は筒形を呈し.倒圓錐狀にして.先端5裂す。花冠は帶綠淡紅色にして下部は長き筒狀を呈し.花柱著しく突出す。〔花色〕帶綠淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕琉球·臺灣。

1663. **いぼたくさぎ** 許樹 …… クマツヅラ科
Clerodendron inerme, *Gaertn.*

(異名) がじゃんぎ 〔形態〕九州以南の瀕海に自生する灌木にして若き枝葉には短毛を有す。葉は有柄.革質にして.倒卵形又は楕圓形をなし.長さ2-4糎(0·6-1·3寸)許.全緣にして先端鈍し。聚繖花序は腋出にして3-7花を着生す。萼は5裂して齒狀を呈し.花冠の筒部は約2糎(6分)の長さを有す。果實は廣楕圓形をなせる長さ1·2糎(4分)許の核果なり。
〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕九州(大島·喜界ヶ島)琉球·臺灣。

24 いぼたくさぎ　25 まきばくさぎ

1664. **まきばくさぎ** 大青 …… クマツヅラ科
Clerodendron cyrtophyllum, *Turcz.*

〔形態〕臺灣地方の原野に自生する灌木にして.葉は長柄を有し.長さ15-20糎(5-6寸)許の長楕圓形をなし.葉身は薄質にして.先端少しく尖る。花序は圓錐狀にして頂生し.苞は絲狀長楕圓形を呈し.細小。萼は倒圓錐形にして葉の下面と共に點紋を有し.先端5裂す。花冠は帶綠色にして.1糎(3分)許の筒部をなし.雄蕊長く突出す。果實は熟して黑色の球形小核果となる。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1665. **ゲンペイクサギ** …… クマツヅラ科
Clerodendron Thomsonae, Balf. (10圖版-97)

(異名) ハリガネカヅラ 〔形態〕阿弗利加原産の蔓性常綠灌木にして. 外觀クサギに似. 花は紅白に見ゆるにより上記の和名を得たり。葉は有柄にして長楕圓狀卵形を呈し. 全緣にして先端尖る。聚繖花序は頂生にして圓錐狀をなし. 疎に花を着く。蕚は白色にして. 長さ約2糎(7分)に達し5深裂し. 著しく目を惹く。花冠は帶黃緋色を呈し. 筒部は狹長にして蕚と略同長をなし. 雌雄蕊其中央より突出す。〔花色〕紅白色。〔花候〕夏。
〔原産地〕亞弗利加。

人生との關係 初夏を飾る鉢花として普通に栽培せらる。溫室內に地植として自由に成長せるものは時に7-10米(20-30尺)の長さに達し。藤の如く纏絡す。鉢植とするには挿木により4-5寸鉢に仕立つるを可とす。活着極めて容易にして土質を撰ぶことなし。冬季は溫室內にて保護するを良とす。

1666. **ヒギリ** 唐桐・顏桐 ……クマツヅラ科
Clerodendron japonicum, Makino. (10圖版-98)

(異名) タウギリ 〔形態〕印度原産の落葉小灌木にして. 高約1米(3尺)許. 全株稍無毛なり。葉は長さ10-20糎(4-7寸)にして有柄. 圓卵形を呈し. 先端は短くして尖り. 緣邊は細かき齒牙狀鋸齒を有し. 兩面に球狀の小鱗を密布せり。花序は圓錐狀にして頂生し. 疎に花を着く。蕚は大形にして5深裂し. 花冠と共に緋紅色を呈し美觀を呈す。花冠の下部は筒狀をなし. 長さ2-2·5糎(6-8分). 花後碧黑色の小核果を結ぶ。〔花色〕紅色。
〔花候〕夏-秋。〔原産地〕印度。

人生との關係 普通溫室內に培養し. 晩春より庭園或は鉢植として花壇に出し愛玩す。葉及種子には少量の「アルカロイド」を含有す。

1667. **しまひぎり** …… クマツヅラ科
Clerodendron paniculatum, *L.*

(異名) りゅうせんくわ 〔形態〕山野に自生する灌木にして. 高2米(6尺)內外に達す。葉は長き葉柄を有し. 葉身は心臟狀卵形を呈し. 徑約20糎(6寸)にして. 緣邊は3-5淺裂し細齒牙緣を有す。圓錐花序は頂生にして疎に花を着生す。蕚は小形にして先端5裂し. 花冠は2-3糎(0·6-1寸)に達す。〔花色〕赤橙色或は白色。〔花候〕初夏。〔分布〕臺灣。

1668. **クラリンダウ** …… クマツヅラ科
Clerodendron nutans, Wall.

(異名) タガヤサン 〔形態〕亞米利加原産の灌木にして全株無毛なり。葉は短き葉柄を有し. 葉身は長さ8-20糎(2·5-6寸)にして. 長楕圓狀披針形をなし. 先端は長く尖る。聚繖花序は頂生にして圓錐狀を呈し. 長き花梗により美花を綴る。蕚は帶紫色にして五角形をなし. 花冠は大形にして. 長さ蕚の2倍し. 雄蕊は長く花冠外に突出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。
〔原産地〕亞米利加。

人生との關係 觀賞用として庭園に栽植せらる。

(附記) タガヤサンの和名を有せる植物甚だ多し. 即ち本植物以外にはオトギリサウ科のテツザイノキ(Mesua ferrea, L.). マメ科のタガヤサンノキ(Cassia siamea, Lam.). シュロ科のビラウ(Livistonia chinensis, R. Br.)等之なり。古來美と堅牢とを以て著名なる木材タガヤサンはマメ科に屬する植物より得たるものなり。

5. ハリマツリ屬 DURANTA

1669. **ハリマツリ** …… クマツヅラ科
Duranta Plumieri, Jacq.

(異名) タイワンレンゲウ・ジュランカヅラ 〔形態〕常綠小灌木にして. 全株初めは細毛を有す。枝は方形にして往々刺あり。葉は短き葉柄を有し. 葉身は長さ3糎(1寸)許にして. 倒卵形を呈し. 先端尖れども時に鈍頭のものあり。多くは全緣なれども往々上半部に齒牙狀の鋸齒を有するものもあり。總狀花序は頂生或は腋出にして往々大なる圓錐狀を呈し. 徑1-2糎(3-6分)の美花を疎に着生す。蕚は筒形にして5淺裂し. 花後擴大して扭捩す。花冠も5裂し. 下部筒狀をなし. 4個の雄蕊(2强)をなす。果實は倒卵狀の小核果にして熟すれば黃色を呈す。〔花色〕淡紫色或は白色。
〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

人生との關係 觀賞用として園圃に栽植せらる。

6. コウワウクヮ屬 LANTANA.

1670. **コウワウクヮ** 馬纓丹・山大丹・龍船花 ‥ クマツヅラ科
Lantana Camara, L.

(異名) ランタナ・サンダンクワ・セイヤウサンダンクワ・シチヘンゲ
〔形態〕熱帶亞米利加原産の小灌木にして. 本邦にては專ら觀賞用として栽培せらる。莖高30-100糎(1-3尺)に達し. 全株に粗毛を有す。幼莖は方形にして刺あり。葉は有柄にして卵形を呈し. 先端尖り. 鋸齒狀齒牙緣をなし. 上面に多くの皺あり. 1種の臭氣を有す。花は小形にして多數集合し. 稍平頭なる頭狀花をなす。通常初め黃色或は淡紅色にして次第に橙色或は濃紅色に變ず。蓋七變花の和名を得し所以なり。苞は披針形にして. 長さ花筒に2倍し. 蕚は小形にして膜質. 截頭なり。花冠の下部は狹圓筒形. 舷部は4裂し平開す。雄蕊は4箇にして2强をなし. 子房は2室にして花柱は短し。果實は肉質の核果なり。〔花色〕黃色・淡紅色・橙色・濃紅色等各色に變ず。〔花候〕周年。〔原産地〕熱帶亞米利加。

(附記) 熱帶亞米利加全部に亙りて分布し. 北米「テキサス」地方にも及べり。歐洲へは1692年頃輸入せられ. 我國にては明治10年頃既に栽培せられし記錄あり。冬期は「フレーム」又は溫室內にて保護せば周年花を見るを得べし. 繁殖は挿木によるを良とす。活着極めて容易なり。また實生をもなし得べし。

26 コウワウクワ　27 コバノランタナ

1671. **ムラサキランタナ** …… クマツヅラ科
Lantana lilacina, Desf.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ小灌木なり。莖は直生し枝條は開出して方形を呈し. 粗毛を有す。葉は對生にして卵形又は長楕圓形をなし. 鋭頭或は鈍頭. 基脚は圓形或は稍心臟形にして鈍齒牙緣を有し. 上面に粗毛. 下面に絨毛を布く。頭花は半球形をなし. 花は紅紫色にして喉部黃色を呈す。液質に富める果實を結ぶ。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕ブラジル

1672. **コバノランタナ** …… クマツヅラ科
Lantana Sellowiana, Link. et Otto.

(異名) コバノコウワウクヮ・コバノシチヘンゲ 〔形態〕南亞米利加原産の小灌木にして. 觀賞用として舊くより栽培せらる。全株に短き剛毛を有し. 莖は多枝にして. 枝條は懸垂し纖弱の感あり。葉は有柄にして卵形或は菱狀長楕圓形を呈し. 先端尖り. 長さ2糎(6分)許. ランタナより小形にして. 齒牙狀鈍鋸齒緣を有す。莖葉共に棘を有せず。花は長梗にして頭狀花序をなし. 花色淡紫色を呈しランタナの如く變化せず. 且つ落花し易し。總苞片は廣卵形にして有毛. 覆瓦狀に排列し. 花筒は有毛にして瘠長なり。
〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕南亞米利加。

(附記) 冬期は「フレーム」又は溫室內に入れ. 繁殖は挿木を可とす。

7. イハダレサウ屬 LIPPIA.

1673. **いはだれさう** (10圖版-99)…… クマツヅラ科
Lippia nodiflora, *Rich.* var. sarmentosa, *Schau.*

(異名) はまはひ 〔形態〕海岸の砂地に自生する一年生草本にして. 莖は地に臥し長く横はり節々より根を出す。莖は高さ10-20糎(3-6寸). 葉は對生にして厚紙質を呈し. 楔狀篦形をなし. 先端圓形或は鈍頭又は稍鋭頭をなし. 長さ25糎(8寸)內外にして上半部の緣邊に鋭鋸齒を有す。花序は頭狀にして腋出し單立す。花梗は細く. 苞は覆瓦狀に列び. 倒卵形或は菱狀楔形をなし先端尖る。蕚は透明膜質にして2深裂し. 各裂片は披針形を呈し2龍骨をなし細毛を有す。花冠は狹き筒狀にして唇形をなし. 下唇は稍長し. 雄蕊は4箇ありて2强をなし. 花冠の中部に着生す。子房は2室を有し. 果實は乾質なり。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

PL. 10.

91 ひるぎだまし　92 むらさきしきぶ　93 やぶむらさき　94 かりがねさう　95 だんぎく　96 くさぎ　97 ゲンペイクサギ　98 ヒギリ　99 いはだれさう

1674. **ばうしうぼく** ……クマツヅラ科
Lippia citriodora, *H. B. et K.* (11圖版-100)

(異名) かうすいぼく　〔形態〕觀賞用として栽植せらるゝ落葉小灌木にして、高き芳香を放つを以て著し。葉は短き葉柄を有し、披針形を呈し、頭脚共に鋭尖にして全緣なれども、往々中部に細鋸齒を有するものあり。この葉は上面は縮皺にして下面に腺點を滿布す。常に2-3葉づゝ輪生すれども時に對生をなすことあり。小穗狀花序は輪生或は腋出又は頂生にして圓錐狀を呈し、白色或は淡紫色をなせる細小なる花を着く。萼は筒形をなし有毛にして稍唇形を呈し、銳頭をなせる短き裂片を有す。花冠は下部圓筒形をなし、紘部は稍唇形にして4裂し、各裂片は廣濶なり。〔花色〕白色又は淡紫色。〔花候〕8-9月。〔原産地〕南米智利。

8. ハマクサギ屬　PREMNA.

1675. **はまくさぎ** 腐婢・臭娘子・臭梁子 ……クマツヅラ科
Premna japonica, *Miq.* (11圖版-101)

〔形態〕本邦各地の海邊に自生する落葉灌木にして、高さ2-12米(6-40尺)に達し、幼枝には短毛を生ず。葉は對生にして長き葉柄を有し、葉身は卵形或は廣橢圓形にして鈍頭或は銳尖頭をなし、基脚は楔形にして全緣或は先端に近く粗大の鈍齒牙狀缺刻を有す。聚繖花序は頂生にして圓錐狀を呈し、黃色花を疎に着生す。萼は鐘形をなし先端圓形をなせる5裂片を有し、各片緣に毛を生ず。花冠の下部は短き筒狀をなし、上部は唇形をなし、上唇は圓形にして凹頭、下唇は3裂す。雄蕊は4箇ありて稍2强をなし、花喉の基脚に着生す。子房は稍4室にして、花柱は上端2岐す。果實は球形の核果にして9月頃成熟し帶紫黑色を呈し、徑4糎(1·3寸)許、淺く4叉す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣・支那(江西・福建・浙江)。

1676. **おほばはまくさぎ** ……クマツヅラ科
Premna luxurians, *Nakai.*

〔形態〕海岸に自生する喬木にして、高8米(25尺)、幹徑10糎(3寸)に達し、若き枝には毛茸を散生す。葉柄は長さ3-5糎(1-1·5寸)にして毛を有す。葉身は廣卵形或は稍圓形にして、長さ10-20糎(3-6寸)、先端尖り、上半部は粗齒牙緣をなし、下面に毛茸を生ず。花序は圓錐形にして、長さ約3糎(1寸)許、萼は先端5裂し、各裂片は鈍頭なり。花冠は筒形をなし、長さ約1糎(3分)、先端2裂し、上裂片は更に2淺裂し、下裂片は3裂し、中裂片は稍長大なり。花柱は毛管狀を呈し、柱頭は2叉す。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國。

1677. **きばなはまくさぎ** ……クマツヅラ科
Premna microphylla, *Turcz.*

〔形態〕概形前種に酷似すれども、一般に葉は長く、鋸齒銳く、毛茸硬く花は小形なり。尙未熟の果實は梨子形を呈すること等によりて區別し得らる〔花色〕黃色。〔分布〕臺灣。

9. ホナガサウ屬　STACHYTARPHETA.

1678. **ホナガサウ** (11圖版-102) ……クマツヅラ科
Stachytarpheta dichotoma, Vahl.

(異名) モクバベン　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ灌木にして、高60糎(2尺)許、全株稍無毛なり。葉は卵形を呈し、長さ5-10糎(1·5-3寸)にして銳頭、緣邊には銳鋸齒を有す。花序は穗狀をなして甚だ長く頂生なり。苞は楕形にして萼よりも短く。萼は細き筒形をなし、先端稍整齊に5裂す。花冠は淡紫色を呈し盆形をなして彎曲し、不齊に5裂す。雄蕊は2箇、子房は2室をなし、果實は蒴にして長橢圓狀線形を呈し宿存萼を伴ふ。〔花色〕淡紫色。〔原産地〕熱帶亞米利加。

(附記) 冬期は温室内にて保護するを佳とす。

10. チークノキ屬　TECTONA.

1679. **チークノキ** ……クマツヅラ科
Tectona grandis, L. f. (11圖版-103)

〔形態〕東印度、マライ半島、ジヤバ島等の乾燥せる森林地に自生する落葉喬木にして、高25-50米(8-15丈)に達し、周圍20米(6丈)を超すものあり。樹皮は稍薄くして海綿狀の纖維質又は長き網目質をなし、枝條は方形にして星狀の細軟毛あり。葉は對生にして短き葉柄を有し、卵形或は卵狀長橢圓形をなし、長さ30糎(1尺)、幅20糎(7寸)許にして銳頭、基脚は楔形を呈し、上面は粗糙、下面は褐色或は灰色の星狀毛を密布す。花は多數攅簇して圓錐花序をなし褐色の短毛を生ぜる花梗を有す。苞は狹小にして脫落性なり。萼は小形にして白色又は茶褐色の細軟毛を密生し、鐘形にして先端5-6裂す。花冠は幅狀をなし5-6裂す。雄蕊は5-6個、子房は4室、花柱は線狀にして柱頭は2岐す。果實は徑2糎(6分)許の球形をなせる核果にして宿存萼を有す。本種は開花の數に比し結果は甚だ少きものなり。〔花色〕白色。〔分布〕亞細亞の東南部地方に栽植せらる。

人生との關係　本植物の木材は輕くして甚だ堅く木理緻密にして硅酸を含み永く、腐朽することなく、之を磨けば光澤ありて美麗なり。「アジヤ」第一の良材と稱せられ艦艦用、建築用、汽車の車輛用等に供せらる。又1種の油を含めるにより之を搾りて木材の塗料に用ひ、葉よりは赭色の染料を製し、絹絲を黃または橙黃色に染むに用ゆ。

11. クマツヅラ屬　VERBENA.

1680. **くまつづら** 馬鞭草・鐵麻鞭・鐵馬鞭・鳳翥草 クマツヅラ科
Verbena officinalis, *L.*

〔形態〕邦内各地の原野、路傍等に自生する多年生草本にして、高さ1米(3尺)内外に達し多くの小枝を分ち、全株に僅毛を生ず。葉は對生にして倒卵形或は長橢圓形をなし、3裂又は羽狀に深裂し鋸齒緣を有す。穗狀花序は頂生にして甚長をなし、疎生す。苞は卵狀披針形をなし先端尖る。花は小形、萼は5稜を有せる筒形をなし、5個の齒緣は稍不明なり。花冠は漏斗形をなし、外面に細毛を生じ、上部は5裂すれども不齊にして各裂片は圓頭なり。雄蕊は4個にして花冠の上半部に着生し2强なり。花柱は短く頂端不齊に2岐す。果實は乾果にして4個の種子を藏す。〔花色〕淡紫色又は碧紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係　本植物は全株に「ベルヘナリン」(Verfenalin $C_{17}H_{25}O_{10}$)と稱する「アルカロイド」を含有す。生葉にて馬鞭草と稱するは全草を乾燥したるものなり。其煎汁は通經又は發汗に効ありとして飲用せらる。又諸種の皮膚病或は腫瘍に搾汁又は煎汁を塗布し又洗滌料として使用せらる。

1681. **ビジョザクラ** 美女櫻 ……クマツヅラ科
Verbena Pilogiflora, Cham. (11圖版-104)

(異名) ハナガサ・シキザクラ　〔形態〕觀賞用として舊くより栽培せらるゝ植物にして、高さ30糎(1尺)内外の多年生草本なり。全株に粗毛を生じ、莖は斜上性にして地に接したる部分より容易に發根して、盛に新株を增殖す。葉は葉柄を有し長橢圓形或は披針狀三角形をなし、先端尖りて緣邊には缺刻狀鋸齒を有す。穗狀花序は廣橢圓形或は長橢圓形をなし、多數の花を着生す。花は有梗にして、苞は卵形をなし萼より短し。萼及花冠は下部筒狀を呈し、花冠の紘部は5裂し、各裂片は大形にして先端鈍む。

〔花色〕白色・淡紅色・濃紅色・紫紅色等變化に富む。〔花候〕4-10月。シキザクラ・ハナガサ等の和名も花期の長きより起る。〔原産地〕南米。

人生との關係　極めて一般的に培養せらるゝ植物にして切花に適す。繁殖は實生、挿木何れにても佳なり。播種は普通秋に行へども、春蒔きにても亦良し。唯開花の遲るゝのみ。挿木亦春秋2季に行はる。日當りよき所にては越冬すれども「フレーム」内にて保護するに如かず。

1682. **ねばりびじょざくら** ……クマツヅラ科
Verbena tenera, *Spreng.*

(異名) ひなびじょざくら　〔形態〕普通のビジョザクラより小形にして、高さ20糎(6寸)許に過ぎざる多年生草本にして全株に毛茸を散生す。ネバリビジョザクラの和名を得し所以なり。莖は伏臥性にして、葉は短き葉柄を有し3深裂をなし、裂片は更に羽裂し、羽裂片は線形をなし全緣なり。穗狀花序は頂生にして有梗、萼は筒形にして苞の2倍に達す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕初夏-秋。〔原産地〕南米ブラジル。

12. ニンジンボク屬　VITEX.

1683. **ニンジンボク** 牡荊 ……クマツヅラ科
Vitex cannabifolia, Sieb. et Zucc. (11圖版-105)

〔形態〕園圃に栽培せらるゝ支那原産の落葉灌木なれども琉球、臺灣には自生するものあり。海岸の砂地を好む。叢生する特徵あり。葉は對生にして長柄を有し、3-5小葉より成れる掌狀複葉をなし、各小葉は披針形又は長橢圓形にして全緣或は粗鋸齒緣、銳尖頭にして大なるは長さ0·5-1糎(1·5-3寸)に達し、下面に短き剛毛を生ず。圓錐花序は頂生し、萼は鐘形にして5齒緣を有し、各齒片は鋸形を呈す。花冠は小唇形をなし長さ萼に2倍し外面は萼と共に細毛を生ず。果實は核果にして球形をなし、成熟すれば黑色となり、徑0·5糎(2分)許あり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕7-8月。〔分布〕琉球・臺灣。

人生との關係　本植物の果實を牡荊子と稱し、根を切斷し搾りて兩端よ

り滲出せる液汁を採集したるものを荊瀝と稱す。牡荊子は感冒に効ありとして應用せられ、荊瀝は祛痰藥とす。1日の用量4-12瓦なりといふ。

1684. **セイヤウニンジンボク** …… クマツヅラ科
Vitex Agnus-castus, L. (11圖版-106)

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ灌木にして、葉は長柄を有し5-7片より成れる掌狀複葉をなし、各小葉は披針形にして先端尖り、基脚狹くして全緣、下面は灰白色を呈し細毛を密布す。花序は圓錐形にして頂生或は腋出し、多數の花を楷狀に着生す。花冠は下部筒形をなし、上部は5裂し、長さ蔓の3倍に達す。〔花色〕淡紫色・葯色稀に白色。〔花候〕夏。
〔原産地〕歐羅巴の南部地方。

1685. **おほにんじんぼく** 薄荷木・山埔姜 …… クマツヅラ科
Vitex heterophylla, *Roxb.*

(異名) かはりばにんじんぼく 〔形態〕臺灣に自生する喬木にして、葉は長柄を有し革様質にして3-5の小葉より成れる掌狀複葉をなし各小葉亦長柄を有し橢圓形或は長橢圓形をなし、緣邊は波狀を呈し、表面には粗毛を生じ、下面には腺點を有し黃色なり。圓錐花序は大形にして頂生或は腋出す。萼は杯形をなし波狀の齒牙緣を有す。花冠は長さ約萼に2倍し徑約1糎(3分)許にして先端5裂し、上下の2脣をなし、上脣は2叉、下脣は3叉す。下脣は碧色を呈し萼と共に短毛を生ず。〔花色〕黃白色。〔分布〕臺灣。

1686. **たいわんにんじんぼく** …… クマツヅラ科
Vitex Negundo, *L.* (11圖版-107)

〔形態〕灌木或は小喬木にして、幼き枝條は方形をなす。葉は掌狀複葉にして、小葉は5箇時に3箇のものあり。有柄にして闊狀卵形又は披針形をなし、先端尖り、緣邊は鋸齒を有するもの或は全緣なるものありて長さ5-10糎(1·5-3寸)許に達し、下面には細毛を有し、灰白色を呈す。圓錐花序は頂生にして、長さ10-20糎(3-6寸)に過ず。花は長さ約1糎(3分)にして、雄蕊及花柱を抽出す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1687. **はまごう** 蔓荊 …… クマツヅラ科
Vitex rotundifolia, *L. f.* (11圖版-108)

(異名) はましきみ・はまかづら・はまはひ・はまはぎ 〔形態〕邦内各地海濱の砂地に自生する伏臥性小灌木にして、長さ2米(6尺)に達するものあり。地上を匍匐し所々に蘗根を生ず。葉は有柄にして厚紙質をなし、倒卵形全緣、長さ2·5-4糎(0·8-1·3寸)、先端鈍形又は圓形をなし、下面に白色の粉毛を密生す。聚繖花序は頂生にして短穗狀様の圓錐形をなし、少數の花を着く。萼は長さ5粍(1·5分)許の鐘形をなし、先端に波様をなせる銳頭の5齒緣を有す。花冠は萼と共に外面に粉毛を有し筒狀唇形を呈し、長さ萼に2倍し、上脣は2裂、下脣は3裂し、中裂片最も大なり。雄蕊は4箇にして2强、子房は2箇の心皮より成り4室を有し、花柱は頂端2岐す。果實は核果にして徑5-7糎(1·5-2寸)の球形なり。〔花色〕濃紫色。
〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州・小笠原島・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲・支那・フイリッピン。

人生との關係 本植物の果實を乾燥したるものを蔓荊子と稱し、藥用に供す。味稍苛烈にして特異の芳香を有す。古來强壯、清涼藥とし又頭痛、感冒等に用ひられ民間にては浴湯料とす。又朝鮮にては頭痛、痙攣等の妙藥として知られ其他驅蟲劑に用ひらる。

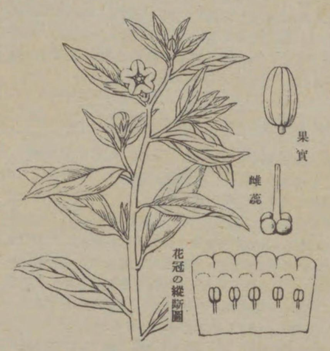
1688. **みつばはまごう** …… クマツヅラ科
Vitex trifolia, *L.*

(異名) しるほうぎ・れちはまごう 〔形態〕前種に似たれども葉は概ね3小葉より成れる掌狀複葉をなし、各小葉は卵形或は披針形にして先端尖る。〔分布〕九州(大島)・琉球。

* * * * *

15. むらさき(紫草)科 BORRAGINACEÆ.

本科に屬する植物は一年生、二年生又は多年生草本、灌木又は喬木にして屢ば粗毛又は長剛毛を有す。葉は概ね全緣にして粗毛、細軟毛、剛毛等を生じ互生、又極めて稀に對生又は輪生し托葉を有せず。花序は1回又は2回の總狀様又は穗狀様の聚繖花序をなし、幼時は概ね强く卷旋すれども開花結實の際には仲長す。花は兩性にして整齊、稀に不整齊をなし概ね5、時に4、6乃至無數の數より成る。萼は下位にして概ね鐘形をなせども時に圓筒形をなし、通常5個に淺裂し、時に深裂又は分裂し、通常宿存性なり。花冠は合瓣にして管狀又は漏斗狀をなし、上部は概ね皿狀に擴散せる緣邊を有し、5個(例外として4個)に淺裂し、時に其咽喉部に舌片狀の附屬物を有す。花蕾にては瓣片は覆瓦狀、包旋狀、褶襞狀、又は內向鎌合狀に排列す。雄蕊は花冠の裂片と同數にして之と互生し、管狀部又は咽喉部に着生し、同長なるか、又は多少其長さを異にす。葯は2胞にして內向し、縱裂す。花盤は子房の下にありて多少明瞭なる環狀をなすか、又は5裂し、或は之を缺くことあり。子房は上位無柄にして、2箇の心皮より成り、初めは2室なれども後に僞隔膜を生じ4室となり、各室に1個の卵子を藏む。花柱は單一なるか又は2淺裂をなすことありて、子房の頂部又は小房の中間に着生す。柱頭は頭狀又は2淺裂をなす。卵子は倒生又は半倒生なり。果實は概ね4箇の小堅果より成り、各1種子を有し、或は又2箇の蒴果より成りて蒴毎に2種子を有するものあり。種子は直生又は彎曲し、種皮は膜質にして僅少の胚乳を藏す。胚は直生、又は彎曲し、子葉は扁平、平凸、又は褶襞をなし、幼根は短くして上向す。



28 ムラサキ科の代表花

本科の植物は廣く地球上の溫帶及熱帶地方に分布し既知のもの凡そ、88屬1500餘種あり、邦産には17屬凡そ50餘種を産す。

(附記) 本科植物には古來染料用として重要なりしもの(例むらさき)藥用として用ひらるゝもの(例アルカンナ)等の外に其の花の美麗にして芳香を放ち園藝植物として觀賞せらるゝもの甚だ多し。

本科所載植物索引目次

アルカンナ……1689　イヌムラサキ……1711　イハムラサキ……1700　イハムラサキ……1718　ウシノシタグサ……1690　エイバブシ……1713　エゾオニルリサウ……1698　エゾムラサキ……1718　オニルリサウ……1697　オホバチシヤノキ……1703　オホルリサウ……1696　オホルリサウ……1722　カキノハダマシ……1701　カハラケナ……1727　キウリグサ……1727　キウリナ……1727　キダチスナビキ……1725　キダチルリサウ……1706　キバナルリサウ……1695　コゴメスナビキサウ…1709
サハルリサウ……1691　シロマラフクラギ……1726　スナビキサウ……1724　タイワンチシヤノキ…1704　タカサゴチシヤノキ…1704　タカサゴチシヤノキ…1704　タカサゴハナイバナ…1693　タチカメバサウ……1720　タビラコ……1727　チシマルリサウ……1715　チシヤノキ……1701　ツルカメバサウ……1730　トラルリサウ……1699　ナンバンルリサウ……1708　ニホヒムラサキ……1707　ハカガミサウ……1720　ハナイバナ……1694　ハマベンケイサウ……1713　ハマムラサキ……1724　ハマムラサキノキ……1726
ヒレハリサウ……1723　ヒロハチシヤノキ……1702　フタマンギ……1705　ホソバルリサウ……1721　ホタルカグラ……1712　マルバチシヤノキ……1703　ミヅタビラコ……1728　ミヅナ……1724　ミヤマワスレナサウ…1717　ムラサキ……1710　モンパノキ……1728　ヤマウグヒス……1728　ヤマルリサウ……1728　ヤラメガシハ……1700　ルリサウ……1718　ルリサウ……1719　ルリヂサ……1692　ワスルナグサ……1716　ワスレナグサ……1716　ワスレナサウ……1716

1. アルカンナ屬 ALKANNA.

1689. **アルカンナ** …… ムラサキ科
Alkanna tinctria, Tausch. (12圖版-109)

〔形態〕歐羅巴の南部地方に栽培せらるる多年生草本にして全株に細毛を密生す。莖は高さ50糎(1.5尺)に達し、葉は長橢圓形にして互生す。花は小形にして其形邦産のムラサキに酷似し卷繖花序に着生す。〔花候〕夏。〔分布〕歐洲南部。

PL. 11.

人生との關係　本植物の根の皮部より「アルカニン」(Alkannin) と稱する紅色の色素を採り染料に供す。又其根を「アルカンナ」根 (Radix Alkannae) と稱し藥用に供す。

2. ウシノシタグサ屬 ANCHUSA.

1690. **ウシノシタグサ　牛舌草** ……ムラサキ科
Anchusa italica, Retz. (12圖版-110)

〔形態〕 觀賞用として庭園に培養せらるる多年生草本にして高さ 1.7 米 (3-5尺) に達し、全株に粗毛を密生し莖は肉質にして圓錐狀に分枝す。葉は長橢圓形或は卵狀披針形にして全緣又は稍波樣の齒牙緣をなし、光澤ある疎毛を生ず。根生葉は有柄にして長さ 6 糎 (2寸) に達し、稍葉は無柄なり。總狀花序は屢々双生して多數の花を攢簇す。苞は披針狀線形をなし小梗より長く、萼は 5 深裂し各裂片は線狀披針形をなす。花冠は盆形にして 5 深裂し、各裂片は鈍頭をなし、花喉に 5 箇の凹面鱗片を有し毛茸を密布す。雄蕊は 5 箇を有し花絲は短く閉在す。小堅果は 4 箇にして多角形を呈し皺皺を有す。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐洲南部。

3. サハルリサウ屬 ANCISTROCARYA.

1691. **さはるりさう** ……ムラサキ科
Ancistrocarya japonica, *Maxim.*

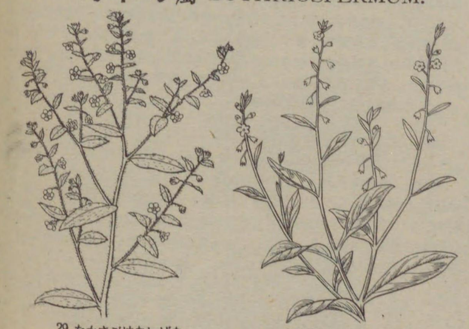
〔形態〕 山中樹下に自生する多年生草本にして高さ 1 米 (3尺) に達し、全株に短き剛毛を生ず。葉は短柄を有し倒卵狀長橢圓形にして全緣、先端銳尖にして基脚楔形を呈す。總狀花序は頂生、花梗は萼より短し。萼は 5 深裂し各裂片は線形をなす。花冠は筒部短く喉部は有毛にして鱗片を缺き紋部は 5 裂す。雄蕊は 5 箇、花柱は絲狀にして球形を呈する柱頭を有す。果實は卵形にして上部長く尖り頂端に鉤狀突起を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中南部・四國・九州。

4. ルリヂサ屬 BORRAGO.

1692. **ルリヂサ**…… ムラサキ科
Borrago officinalis, L. (12圖版-111)

〔形態〕 觀賞用として栽培せらるる一年生草本にして高さ 50 糎 (1.5 尺) 內外に達し、全株に白色の長毛を密生す。葉形に種々あり、卽ち下部のものは廣橢圓形を呈して鈍頭、基脚は狹くして翼狀となり長柄に移行し、中部の葉は長橢圓形にして短柄を有し、最上部のものは披針形を呈し無柄なり。總狀花序は概ね双生にして長き花梗を有する美花を着生す。萼は先端 5 裂し各裂片は線形をなす。花冠は輻形を呈し先端 5 裂し、各裂片は卵狀三角形をなす。雄蕊は 5 箇ありて花冠の基脚に近く着生し突出せり。果實は小堅果にして熟すれば黑色となる。〔花色〕鮮碧色。紫色、白色等種々あり。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

5. ハナイバナ屬 BOTHRIOSPERMUM.



29 たかさごはないばな　　30 はないばな

1693. **たかさごはないばな**…… ムラサキ科
Bothriospermum tenellum, *Fisch. et Mey.*

〔形態〕 臺灣地方の路傍・原野等に自生せる一年生草本にして高さ 30-60 糎 (1-2尺)、全株に僵毛を有す。葉は卵狀披針形を呈し下部のものは葉柄を有す。花は葉腋に生じ疎に着生すれども時に密生して總狀花序をなすものあり。花梗は萼と同長なり。〔花色〕白色。〔花候〕早春。〔分布〕臺灣。

1694. **はないばな**…… ムラサキ科
Bothriospermum tenellum, *Fisch. et Mey.* var. asperugoides, *Maxim.*

〔形態〕 原野、路傍等に自生多き一年生草本にして全株に細き毛茸を有し高さ通常 20 糎 (7寸) 許なれども往々 60 糎 (2尺) 許に達するものあり。葉は有柄にして卵狀長橢圓形をなす。花は總狀花序に排列し、各花は葉狀の苞を有し恰も葉腋より花梗の出でたる感あり。從つて和名は「葉內花」の義なるべし。萼は 5 深裂し各裂片は狹長なり。花冠は筒部短く先端 5 裂し各裂片は鈍頭をなし、花喉に 5 箇の凹面をなせる鱗片を有す。雄蕊 5 個、子房は 4 室にして柱頭は球形なり。果實は廣橢圓形をなせる小堅果にして皺皺す。〔花色〕帶白色。〔花候〕春-秋〔分布〕本州中南部、九州。

(附記) 本種の一變種に ダイハナイバナ B. var. majusculum. Hayata. といふあり。臺灣に產し、花及果實ともに大なる種類なり。

6. キバナルリサウ屬 CERINTHE.

1695. キバナルリサウ…… ムラサキ科
Cerinthe major, L.

〔形態〕 觀賞用として栽培せらるる多年生の草本にして、莖は高さ 20-40 糎 (6-12寸) に過ぎず。葉は膜質にして長橢圓狀披針形を呈し先端圓く基脚は延びて莖を抱く。この葉は上面並に緣邊に毛茸を有す。總狀花序は稍聚繖狀を呈し多數の花を着く。花は黃色にして葉緣を有し大形紫色の苞と共に甚だ美麗なり。花冠は筒形をなし先端 5 裂し、各裂片は細小にして反捲せり。雄蕊は 5 箇ありて何れも花筒に着生し、葯は銳尖頭にして基脚戟形を呈し閉在す。柱頭は鈍頭なり。果實は 2 個の瘦果にして褐色の斑點を有し平滑なり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

7. オホルリサウ屬 CYNOGLOSSUM.

1696. **おほるりさう**…… ムラサキ科
Cynoglossum villosum, *Nakai.* (12圖版-112)

〔形態〕 山地に自生し高さ 60-100 糎 (2-3尺) に達する多年生草本にして莖葉共に逆行せる絨毛を密生し粗糙なり。葉は殆ど葉柄を缺き披針形にして長さ 5-11 糎 (1.5-3.5寸)、兩面に絨毛を有す。總狀花序は分岐し、萼は 5 深裂し各裂片は卵形を呈し、花冠は鐘形にて長さ 3-4 粍 (1-1.3 分) 許。花後生ずる果實は小形の堅果にして 4 個を有し、倒卵狀を呈し鉤毛を密生す。〔花色〕青色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中南部、四國、九州 (對馬)。

人生との關係. 一種の「アルカロイド」を含み有毒なり。然れども其の成分並に毒作用等は未だ明かならざるものの如し。

1697. おにるりさう…… ムラサキ科
Cynoglossum asperrimum, *Nakai.*

〔形態〕 山地に自生する多年生草本にして莖高 1-1.3 米 (3-4尺) に達し、全株に長き刺毛を有す。葉は披針形銳尖頭にして兩面に刺毛を密布す。花序は總狀をなして長く分岐し僵生刺毛を生ぜり。萼は 5 裂し外面に刺毛を有す。花冠は長さ約 7.5 糎 (2.5分) 許。果實は堅果にして鉤毛を密生す。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道、本州、四國、九州。

(附記) 前種に似たれども葉の上面に刺毛ありて著しく粗糙なり。

1698. えぞおにるりさう…… ムラサキ科
Cynoglossum asperrimum, *Nakai.* var. yesoens, *nakai.*

〔形態〕 本種は甚だよく前種に似たれども花序に生ずる毛茸は彼の如き僵毛にあらずして、剛毛を有せる點に於て異れり。

〔分布〕北海道。

1699. とさるりさう…… ムラサキ科
Cynoglossum tosaense, *Nakai.*

〔形態〕 山地に自生する多年生草本にして高さ 60 糎 (2尺) に達し多く分枝し全株に粗毛を疎生す。莖部の葉は有柄なれども稍葉は無柄にして、長さ 2-9 糎 (0.6-3寸) に達し長橢圓狀披針形を呈し先端銳尖なり、上面には毛茸を散生すれども下面は脈上にのみ細毛を有す。總狀花序は長く分枝して僵毛を生ず。萼は 5 裂し外面には小剌毛を有す。花冠は淡碧色を呈し各裂片は圓頭をなす。果實は鉤毛を有す。〔花色〕淡碧色。〔花候〕夏。〔分布〕四國。

(附記) 本種は前記「おほるりさう」に比し葉の上面稍無毛なり。

8. イハムラサキ屬 ECHINOSPERMUM.

1700. いはむらさき 岩紫…… ムラサキ科
Echinospermum Matsudairai, *Makino.*

〔形態〕 山地に自生する一年生草本にして莖は高さ60糎(2尺)內外、纖細にして直立し,全株に粗毛を有す。葉は有柄にして篦形或は長橢圓狀披針形をなし毛茸を有し,鈍頭或は鋭頭にして鋭尖脚なり。夏秋の候莖頂に總狀花序を抽出し,徑3粍(1分)許りの細花を綴り,每花小梗を具ふ。苞は披針形をなし,萼は5深裂して鉤毛を密生し,各裂片は長橢圓形鋭頭なり。花冠は長さ萼に倍し漏斗狀盆形を呈し5裂し,各裂片は橢圓狀にして圓頭なり。花喉に着ける鱗片は新月形を呈す。5雄蕊は花冠の內部に着生し,短き花絲を有し閉在せり。花後小堅果を結ぶ。果實は扁三角形にして背面は卵狀三角形を呈し側面と同じく細小なる硬き隆起を生じ緣邊に逆鉤を列生す。〔花色〕紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部。

9. チシャノキ屬 EHRETIA.

1701. ちしゃのき 厚売・松楊 ……ムラサキ科
Ehretia thyrsiflora, *Nakai.* (12圖版-113)

〔異名〕 かきのきだまし,やめながしは 〔形態〕本邦西南部の山地に自生する落葉喬木にして高さ10米(30尺)餘,太さ1米(3尺)に達するものあり。樹皮は帶紫色を呈し幼枝に毛茸を生ず。葉は長き葉柄を有し質厚く,倒卵形又は橢圓形にして緣邊には疎に細鋸齒を有し,先端急に尖り基脚は鋭又は往々鈍脚をなし,長さ7-17糎(2-5寸)にして兩面に短き剛毛を密生し互生す。概形柿の葉に似たるを以てカキノキダマシの別名あり。初夏の頃梢上に毛茸を有する花軸を抽出し白色の小花を圓錐形に攢簇す。萼は球狀鐘形にして先端深裂し,各裂片は稍圓形にして有毛なり。花冠も5深裂し,各裂片は長橢圓狀披針形を呈し鈍頭にして平開せり。5個の雄蕊は花冠外に挺出し,花柱は2個に分岐す。子房は4室をなし,花後結ぶ所の果實は徑5-7粍(1.5-2.0分)にして球形を呈し熟すれば橙黃色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕6-7月。〔分布〕本洲南部,九州,琉球臺灣。

1702. ひろはちしゃのき …… ムラサキ科
Ehretia thyrsiflora, *Nakai.* var. latifolia, *Nakai.*

〔形態〕 前種の一變種にして葉形,橢圓形或は廣橢圓形を呈し,緣邊に波狀鋸齒を有するものなり。
〔分布〕本州。(周防)九州(北部)。

31 まるばちしゃのき　32 たいわんちしゃのき

1703. まるばちしゃのき …… ムラサキ科
Ehretia Dicksoni, *Hance.* var. japonica, *Nakai.*

(異名) おほばちしゃのき 〔形態〕亞熱帶地方の山麓,平地等に自生する喬木にして,葉は3輪(1寸)許りの長き葉柄を有し,廣橢圓形にして鋭き齒牙緣をなし,先端尖り基脚圓狀にして長さ約10糎(4寸)許に達し上面には剛毛を有し下面に柔毛を生ず。圓錐花序は總狀にして頂生又は腋出し疎に毛を有す。萼は5裂し,各裂片は長橢圓形をなす。花冠は徑約17粍(5分)許にして橢圓形をなせる5裂片は反捲して少許の毛を有するか又は往々無毛なり。5箇の雄蕊は花冠外に挺出す。果實は球形にして徑1-1.7糎(3-5分)許,熟して黃色となる。
〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕琉球,九州(大島)。

1704. たいわんちしゃのき …… ムラサキ科
Ehretia taiwaniana, *Nakai.*

(異名) たかさごちしゃのき 〔形態〕臺灣に自生する亞喬木にして葉柄は無毛なり。葉身は稍革質を呈し橢圓形又は長橢圓形にして先端尖り,基脚は圓形又は稍尖り,葉面下垂し,緣邊は細齒牙狀をなせる鋸齒を有すれども又往々全緣或は重鋸齒等種々なるものあり。上面は無毛なるか或は葉脈に沿ふて僅毛を有す。圓錐花序は長さ3-20糎(1-6寸)許にして頂生密集し,基脚には葉を有せざるも往々にして之を有するものあり。花は著しき芳香を有す。萼は5裂し,各片は圓形或は卵狀圓形を呈し毛緣を有す。花冠も5裂し各裂片は約3粍(1分)許りの長さにして反捲し長橢圓狀を呈し鈍頭なり。筒部は閉在或は稍挺出す。雄蕊は挺出し,花柱は先端2裂す。果實は小形にして球形を呈し,熟して橙色となる。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1705. ふくまんぎ …… ムラサキ科
Ehretia buxifolia, *Roxb.*

〔形態〕 本邦亞熱帶地方に自生する高さ1-1·3米(3-4尺)許りの灌木にして幼條には短き剛毛を有す。葉は葉柄を有し革質にして,長さ2·3糎(7.5寸)許り,倒卵狀楔形にして鈍頭をなし,全緣なるか或は先端淺く3裂し,上面には白色の硬き隆起を密布す。花序は聚繖狀にして腋出し長梗によりて1-5花を着生す。萼は5裂し各裂片は披針狀線形をなす。花冠は白色にして鐘狀をなし,裂片は卵形をなす。 〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州(大島,喜界島)·琉球·臺灣。

10. キダチルリサウ屬 HELIOTROPIUM.

1706. キダチルリサウ …… ムラサキ科
Heliotropium Peruvianum, L.(12圖版-114)

〔形態〕 觀賞用として舊くより栽培せらるる小灌木なり。全株に剛毛を密布し,葉は有柄にして廣橢圓形を呈し,先端尖りて基脚狹し。穗狀花序は聚繖狀にして頂生し,花冠は萼より稍長し。 〔花色〕淡碧紫色。〔花候〕四季を通じて開花す。(溫室內)〔原産地〕祕露。

1707. ニホヒムラサキ……(12圖版-115)…… ムラサキ科
Heliotropium corymbosum, Riuiz. et pav.

〔形態〕 概形前種に似たる觀賞用植物にして明治の初年頃渡來せしものなりといふ。小灌木にして葉は廣披針形をなし先端尖り基脚著しく狹し。花序は聚繖花序をなし多數の美花を着生す。花は前種よりも大形をなし且つ水仙に似たる香を有ず。 〔花色〕紫色,淺紫色,白色。〔花候〕四季を通じて開花す。(溫室內)〔原産地〕祕露。
(附記) 前種と共に插木とし容易に繁殖し得.

1708. なんばんるりさう …… ムラサキ科
Heliotropium indicum, L. (12圖版-116)

〔形態〕 高さ30-60糎(1-2尺)の一年生草本にして臺灣地方の原野に野生し,莖は剛毛を密生す。葉は葉柄を有し卵形にして先端尖り,緣邊は鈍齒牙狀鋸齒をなし皺質にして長さ3-10糎(1-3寸)許ありて絨毛を有す。花序は穗狀をなして頂生し多數の花を密生し,無苞にして往々分岐せることあり。花は碧色なれど間もなく白色に變ず。萼は5深裂し,各裂片は線狀披針形を呈し短き剛毛を有す。花冠は盆形にして鱗片を有せず。5個の裂片は圓形にして緣邊齒牙狀をなす。雄蕊は5箇,子房は4室,柱頭は圓錐狀線形なり。果實は廣卵形を呈し熟して2個の痩果となる。 〔花色〕碧色-白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1709. こごめすなびきさう …… ムラサキ科
Heliotropium strigosum, *Willd.* (12圖版-117)

〔形態〕 多年生草本にして全株に剛毛を生じ,莖は分枝して斜上す。葉は線形又は線狀披針形にして長さ1.7糎(5分)許。總狀花序は稍長にして上部の花は小苞を有し無梗なれども下部のものは大形苞を伴ひ有梗なり。萼の裂片は稍廣披針形をなし花冠の筒部と略同長をなす。花冠は筒形又は盆形をなし,裂片は鋭頭にして卵形をなす。〔分布〕臺灣。

11. ムラサキ屬 LITHOSPERMUM.

1710. むらさき 紫草・藐・紫丹・(12圖版-118) ムラサキ科
Lithospermum officinale, *L.* var. erythrorhizon, *Maxim.*

〔形態〕 山野に自生する多年生草本なれども時として園養し觀賞に供することあり。莖は高さ60糎(2尺餘)に達し,全株に剛毛を密布し粗鬆なり。葉は無柄にして厚く披針形を呈し頭脚共に鋭尖,全緣にして互生す。總狀花序は頂生して白色の小花を着生す。苞は葉狀をなし,萼は5深裂し各

109 アルカンナ　110 ウシノシタクサ　111 ルリヂサ
112 おほるりさう　113 ちしやのき　114 キダチルリサウ　115 ニホヒムラサキ
116 なんばんるりさう　117 こごめすなびきさう　118 むらさき

裂片は線狀を呈す。花冠は漏斗狀をなし先端5裂し,各裂片は半圓形をなし花喉に鱗片を有す。果實は小堅果にして卵圓形をなし,熟すれば淡褐色を呈し滑澤なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。*

人生との關係　本植物の根は往時に於ては紫色の染料として最も重用せられ,德川時代に於ては江戸紫と稱し一種の代表的名稱を有するに至りたる程なり。唯日光により褪色し易きを缺點とす。奥州南部産最も著る。現今にては外國染料に壓倒せられ全く之を使用せず。然れども鮮落地方にありては今尚之を使用す。紫色の支那蠟燭はこれを以て染めたるものなり。而して染料用としては栽培種を尚び,藥材には野生種を用ふ。莖根共に胃腸を調へ大小便の利通に效ありといふ。本邦にても亦古來藥用に供せらる。卽ち此の植物の「エキス」を軟膏として火傷・凍傷・濕疹・水泡等に用ひ效果ありといふ。

1711. **いぬむらさき　麥家公**…… ムラサキ科
Lithospermum arvense, *L.*

〔形態〕山野に自生する一二年生草本にして高さ20-60糎(7-20寸)に達し全株に剛毛を有す。葉は線形又は線狀橢圓形にして互生し,先端尖り基脚狹し。總狀花序は稍穗狀を呈し頂生す。花冠は黃白色にして萼より稍長く,小堅果は卵狀廣橢圓形にして灰白色を呈し骨質緻密なり。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

1712. **ほたるかづら**…… ムラサキ科
Lithospermum Zollingeri, *A. DC.*

(異名) るりさう　〔形態〕山野・陽地に自生する多年生徇匆草本にして全株に剛毛を有し,枝條は斜上して高さ15-18糎(5-6寸)に達す。葉は

33 いぬむらさき　34 ほたるかづら

無柄にして互生し,葉身は卵狀長橢圓形をなし,微に凹頭を有し,基脚狹く,長さ約3糎(1寸)許あり。花は穗狀花序をなして頂生し,少數花を着生す。本花の有する苞は葉狀をなし,萼は先端5裂し,各裂片は線形をなす。花冠は筒狀鐘形にして萼の倍長く,先端5裂し,各裂片は橢圓形をなし,中央に白線を有す。雄蕊は5箇ありて花瓣に着き開在す。子房は4室にして單花柱を具へ果實は卵狀球形の小堅果にして白色に成熟し,表面滑澤なり。倘本花の有す花梗は花より長く,花後卷曳する特徵あり。〔花色〕鮮碧色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州各部。

12. ハマベンケイサウ屬　MERTENSIA.

1713. **はまべんけいさう**…… ムラサキ科
Mertensia asiatica, *Macbride.* (13圖版-119)

(異名) えいばぶし　〔形態〕多く本邦北部の海邊砂上に自生する多年生草本にして,全株に白粉を裝ひ,表面滑澤。莖は多くの小枝を分ち擴開性を有す。葉は肉質を呈し,卵形或は倒卵形又は笹狀長橢圓形鈍頭をなし,長さ3-6糎(1-2寸)に達し,上面往々硬隆起を有す。この葉は基部のものは長柄を有すれども,莖上葉は無柄なり。花は總狀花序をなして頂生し,各花は長梗を有し下垂するを常とす。萼は5深裂し,各裂片は卵狀三角形をなす。花冠は萼の2倍長き筒狀漏斗形をなし,筒部と紋部とは長さ相同じく,先端5裂し各裂片は鈍頭を有す。雄蕊は5箇ありて花絲は狹長,葯よりは遙かに長し,子房は4室をなし,花柱は雄蕊よりは2倍長し。果實は卵狀長橢圓形にして壓扁せる小堅果をなし,表面滑澤,內面中線突出して翼狀をなす。〔花色〕青紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部。

1714. **たかをかさう**…… ムラサキ科
Mertensia paniculata, *G. Don.* (13圖版-120)

〔形態〕本邦北地主に千島「アラスカ」等に自生する多年生草本にして全株に粗毛を有し,莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達す。根生葉は葉柄を有し,葉身は卵狀心臟形にして先端尖り,莖生葉は無柄にして葉身は卵狀長橢圓形をなし先端鋭尖をなす。花は圓錐狀總狀花序をなし少數花を着生す。萼は先端5裂し,各裂片は披針形或は線形をなし,先端尖り,花冠は稍鐘形をなし,萼の3倍許長く,先端5裂し,各裂片は長卵形をなし,花柱は閉在す。
〔花色〕紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

1715. **ちしまるりさう**…… ムラサキ科
Mertensia rivuralis, *DC.* var. japonica, *Takeda.*

〔形態〕本種も亦前種と同樣北地に自生する多年生草本にして,莖の梢部及葉の上面とに粗毛を布き,この粗毛は終には硬隆起に變ずる特性あり。根葉は有柄,葉身は心臟狀卵形にして長さ3糎(1寸)許を有し,莖生葉は無柄にして卵形或は卵狀披針形をなす。花は總狀花序或は稍圓錐狀をなし,萼は5深裂し,各裂片は長橢圓狀披針形,鈍頭をなし,花冠の筒部は萼の2倍長く,紋部と同長,花柱は著しく花冠外に抽出す。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

13. ワスレナサウ屬　MYOSOTIS

1716. **わすれなさう**…… ムラサキ科
Mycsotis palustris, *Lam.* (13圖版-121)

(異名) わすれなぐさ・わするなぐさ　〔形態〕北地に自生する多年生草本なれども,又各地に於て庭園或は鉢植として培養愛玩せらるることあり。莖葉共に剛毛を布き,概形タビラコ或はルリサウ等に酷似すれども稍小形にして,高さ15-18糎(5-6寸)に達す。この莖は上部の葉腋上に小枝を分ち,稍長橢圓形をなせる全緣葉を互生す。花は卷繖花序をなして頂生し,萼は5齒緣をなし,纖細短小なる僵毛を被り,果實は成熟期に達すれば展開す。花冠は先端5裂し,各裂片は圓形をなし,花形小なれども愛らしきものなり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕北海道。

1717. **みやまわすれなさう**…… ムラサキ科
Myosotis sylbatica, *Hoffm.*

〔形態〕前種と同樣北地に自生する多年生草本にして全株に硬毛を布く。莖は前種同樣梢部に於て分岐し,高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は稍無柄にして,長橢圓狀線形或は倒披針形にして銳頭をなす。花は總狀花序をなし稀花を着け,小梗は萼より遙かに超出し,萼は5深裂し,概眞直の粗毛を被むり,基脚には少數の鉤毛を有す。花冠は徑6粍(2分)乃至8粍(2·5分)許に達し,先端5裂し,各裂片は圓形をなし,花形小なれども愛らしきものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

1718. **えぞむらさき**…… ムラサキ科
Myosotis intermedia, *Link.*

(異名) いはむらさき　〔形態〕北地に自生する二年生草本にして全株に剛毛を密布す。莖は直生すれども,屢ば分枝す。葉は長橢圓形或は長橢圓狀線形にして稍銳頭をなし,脚葉は長柄を有す。花は梢上2岐し各分岐に總狀花序をなして着生し,小梗は平開し,萼の2倍長く,萼は先端5深裂し,各裂片は披針形をなす。花冠は幅形をなし,花口は鱗片によりて閉塞し,先端は5裂し,各裂片は鈍頭をなし,頂部凹み,開展す。雄蕊は5箇ありて閉在し,子房は4室,花柱は絲狀をなす。果實は卵形の小堅果にして表面滑澤なり。
〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州。

14. ルリサウ屬　OMPHALODES.

1719. **るりさう**…(13圖版-122)…… ムラサキ科
Omphalodes Krameri, *Franch. et Sav.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なれども,時には人家に栽培せらるることあり。全株に平開せる軟毛を布き,莖は直生し,高さ往々30糎(1尺)許に達するものあり。葉は長橢圓狀倒披針形をなし,脚葉は長柄を有す。花は總狀花序をなして頂生し2岐し,苞を缺き,小梗は花部より長く,花後點頭す。萼は5深裂し,各裂片は展開し,花後稍擴大す。花冠は幅形をなし,花口は凹面鱗片によりて閉塞し,先端は5裂し,各裂片は圓形をなし,展開す。雄蕊は5箇ありて花絲短く,花筒に着生,閉在す。子房は4室,花柱は絲狀,柱頭は球形をなす。果實は扁尖塔形の小堅果にして中央に凹窠,邊緣に鉤刺を列生す。〔花色〕鮮碧色。〔花候〕4-5月。〔分布〕北海道・本州各部。

人生との關係　園地に培養或は鉢栽培として觀賞に供す。本種には栽培品により花色種々あり。愛好家は白色のものをハリサウ・紅色のものをサンゴサウ・紅斑のものをメノウサウと稱し愛玩す。

1720. **やまるりさう**…… ムラサキ科
Omphalodes japonica, *Maxim.*

（異名）やまうぐひす　〔形態〕多く山麓の陰地等に自生する多年生草本にして,莖は簇出斜上性を有し,高さ 20-25 糎（7-8 寸）に達す。根生葉は翼片を有する長柄を有し,葉身は篦形をなし先端尖り。不齊の細齒牙緣をなせども,莖生葉は線狀長橢圓形或は稍披針形をなし,無柄にして基脚稍莖を抱く。花は總狀花序をなし分岐することなく直生す。本花の有する苞は葉狀をなす。〔花色〕淡藍碧色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

35 やまるりさう

36 ホソバルリサウ

1721. **ホソバルリサウ**…… ムラサキ科
Omphalodes linifolia, Moench.

〔形態〕本邦にては專ら花園用及切花用として栽培せらるる一年生草本にして,莖は 30 糎（1 尺）內外に生長し,概形前種ルリサウに酷似せるものなれども,其葉細長にして柳の葉に似たる觀あれども,全體に糙澁するものなり。〔花色〕基本種としては白色なれども,園藝上培養せらるるものは多くは碧紫色を呈するものなり。〔花候〕夏。〔原産地〕ポルトガル地方。

人生との關係 花園內に栽培し仲々に趣味あるものなり,殊に近來は切花用として栽培せらるること多し。繁殖は種子により,春播又は秋播によれども,普通は秋播を可とし,5-6 月頃開花し始むるものなり。

15. オホハリサウ 屬 SYMPHYTUM.

1722. **オホハリサウ**…… ムラサキ科
Symphytum asperrimum, Donn. (13 圖版-123)

〔形態〕本邦にては園地に培養愛觀に供せらるる多年生草本にして全株に稍起底短剛毛を密布し,莖は高さ 60-120 糎（2-4 尺）許に達す。葉は卵形或は橢圓形にして先端尖り全面粗澁す。この葉も前種等と同樣根生のものは長柄を有すれども,莖生葉は殆ど無柄にして基部稍莖を抱く。花は稍上數回分岐せる各枝端に短き蠍尾狀をなせる穗狀をなして着生す。本花の苞は先端 5 裂し,各裂片は長橢圓形鈍頭,花冠は筒狀をなし,長さ 1-5 糎（5 分）許を有し,內部雄蕊の着生する所の外面稍擴大す。〔花色〕初め紅色を呈し,後碧色に變ず。〔花候〕6-7 月。〔原産地〕コーカサス地方。

人生との關係 庭園に培養し,或は鉢植として觀賞に供す。

1723. **ヒレハリサウ**…… ムラサキ科
Symphytum officinale, L. (13 圖版-124)

〔形態〕前種と同樣外來の品種にして,本邦にては主として園地に栽培觀賞に供せらるる多年生花本なり。全株に白色の粗毛を布き,莖は高さ 1 米（3-4 尺）に達す。本種の莖は多少翼狀の縱條を有し,尙小枝に分岐するものなり。葉は卵狀披針形にして先端尖り,下部のものは葉柄を有すれども,上部にあるものは無柄にして莖に流れ翼狀を呈し,表面稍澁す。花は蠍尾狀の花穗をなし,花梗によりて着生す。花冠は筒狀にして 5 齒緣を有し,內部に 5 箇の鱗片を具ふ。苞は 5 深裂し,各裂片は披針形・銳頭なり。

〔花色〕白色・黃色・紫碧色等種々。〔花候〕6-7 月。〔原産地〕歐洲。

人生との關係 多くは園地に栽植し觀賞に供し,又其全草を開花時に刈り取り乾燥貯藏し,瘡傷・加答兒等を治するに使用することあり。

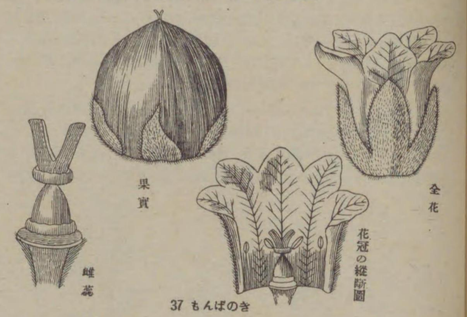
16. ハマムラサキサウ 屬 TOURNEFORTIA.

1724. **はまむらさき**…… ムラサキ科
Tournefortia sibirica, *L.* (13 圖版-125)

（異名）みづな・すなびきさう　〔形態〕海邊の砂地に自生する多年生草本にして,全株に剛毛を布き,概形ムラサキに酷似し,莖は高さ 60 糎（2尺）許に達す。葉は無柄にして互生し,葉身は廣披針形鈍頭,全緣なり。この葉は莖の上方に於て密生する特徵あり。花は總狀花序をなして頂生し,房狀を呈す。花冠は筒狀をなし鱗片を有することなく。先端 5 深裂し,各裂片は全緣にして平開す。萼も亦先端 5 深裂し,各裂片は線狀披針形をなす。雄蕊は 5 箇ありて閉在し,子房は 4 室をなし,花柱は短くして先端 2 岐す。果實は球形の核果にして稍肉質をなし,細毛を有す。〔花色〕白色にして花喉に黃彩あり。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。

1725. **きだちすなびき**…… ムラサキ科
Tournefortia sarmentosa, *Lam.*

〔形態〕前種に酷似し原野又は海邊に近き地方に自生する多年生藤本にして同じく全株に剛毛を布く。葉は有柄にして互生し,卵形或は卵狀長橢圓形をなし先端尖り,長さ 45-75 粍（1·5-2·5 寸）許あり。花は穗狀花序をなして 2 出し,圓錐狀を呈す。萼は卵形にして先端尖り。花冠は筒狀をなし萼より長きこと其ノ許,先端 5 裂し,各裂片は稍銳頭をなし萼と共に短毛を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。



37 もんばのき

1726. **もんばのき**…… ムラサキ科
Tournefortia argentea, *L. f.*

（異名）しろまらふくらぎ・はまむらさきのき　〔形態〕暖地の海岸に自生する灌木狀草本にして,全株に褐色の絹毛を密布し,莖は往々 6 米（2丈）餘に達するものあり。葉は前種ハマムラサキに似,廣橢圓形或は倒卵狀披針形をなし,先端銳或は鈍頭をなし,長さ 12-15 糎（4-5 寸）許を有す。花は頂生又は腋出し,2 叉或は圓錐狀穗狀花序をなす。萼は先端 5 裂し,各裂片は披針形をなし,毛茸を密生す。花冠は先端 5 裂し,各裂片は卵形を呈す。果實は小形の核果なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

17. タビラコ 屬 TRIGONOTIS.

1727. **たびらこ** 田平子・鷄腸草…… ムラサキ科
Trigonotis peduncularis, *Benth.* (13 圖版-126)

（異名）かはらけな・きうりな・きうりぐさ　〔形態〕各地の原野・路傍等に自生する二年生草本にして,春日根生葉の中心より長さ 15-18 糎（5-6 寸）の花莖を出す。本種は簇生する性を有し,全株に伏毛を布く。根生葉は長柄によりて多數輻出し,葉身は卵形或は橢圓形をなす。莖生葉は根生葉に比し稍狹尖なり。花は卷繖花序をなし稍長なれども多花を着く。本花は苞を有せざれども,花梗を有し,花冠は小形にして先端 5 裂し,各裂片は圓形をなす。〔花色〕淡碧色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・琉球。

人生との關係 本種は俗にホトケノザと稱し春の七草の一に數ふれども唇形科のそれとは全く別物なり。又牧野博士は本種はキウリグサと稱ふべきものにしてタビラコは誤稱なりと斷言せられ居れば玆に附記し參考に供することとせり。

1728. **みづたびらこ**…… ムラサキ科
Trigonotis brevipes, *Maxim.* (13 圖版-127)

〔形態〕山地の稍水濕ある砂石等の間に自生する多年生草本にして全株に僅毛を布き,概形前種タビラコに似たれども,本種は根葉を缺如し,莖葉は有柄にして互生し,葉身は長橢圓形圓頭なれども微に凸端をなす。花は稍長なる總狀花序をなし小形の無梗花を着生すれども,この花穗は前種の如く卷繖せざるものなり。萼は先端 5 裂し,各裂片は先端尖り,花冠は小形にして先端 5 裂し,各裂片は圓形をなし,花色碧色なれども白色の密鱗を有し,花喉はために殆んど閉塞せらるるものなり。果實は小堅果にして無柄。三

PL. 13

119 はまべんけいさう

120 たかをかさう

121 わすれなさう

122 るりさう

123 おほるりさう

124 ヒレハリサウ

125 はまむらさき

126 たびらこ

127 みづたびらこ

128 たちかめばさう

129 つるかめばさう

角四面形をなす。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

1729. **たちかめばさう**…… ムラサキ科
Trigonotis Guilielmi, *Maxim.* (13圖版-128)

(異名) はかがみさう・かめばさう　〔形態〕各地の原野・路傍等の陰濕地を好みて自生多き多年生草本にして,全株に短小なる剛毛を散生す。春日根生葉間の中心より花莖を直生し,15-18糎(5-6寸)の高さに達す。葉は廣披針形にして先端尖り,紋厠魁甲狀を呈するを以て本和名を有するものなり。本種は概形前種タビラコに酷似すれども,毛茸を有せざるものなり。花は兩岐せる總狀花序をなし穗狀を呈す。萼は先端5裂し各裂片は披針形をなし,花冠は先端5深裂し,各裂片は圓形をなし,喉部に隆起を有す。〔花色〕白色或は碧色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州北部及中部。

1730. **つるかめばさう**…… ムラサキ科
Trigonotis Icumae, *Makino.* (13圖版-129)

〔形態〕前種と同樣林野の陰地に自生する多年生草本にして全株に偃毛を布き,莖は高さ90糎(3尺)許に達すれども,この莖は地に伸びて長く,疎に小枝を分つ。葉は前種と略々同形にして根生葉は同じく長柄を有す。花は總狀花序をなし小數花を着生すれども,この花序は分岐せず。花形は彼より稍大形なるものなり。尙本種は莖側の葉腋より新枝を分岐し,この新枝は更に延長して遙に橫臥し,その先端地に着き,其處より根を下し,新苗を發生し,以つて株の增殖を計るものなり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

*　*　*　*　*

16. はぜりさう科 HYDROPHYLLACEÆ.

本科に屬する植物は本邦には殆ど自生品を有せざれども近ごろ栽培種を有するを以て一二揭載することとせり。一年生又は多年生草本にして,稀に半灌木のものあり。葉は單一又は羽狀複葉を常とし,托葉を有せず。互生或は對生をなし,毛茸を生ず。花は整齊にして兩性。多くは卷繖花序をなす。萼は下生し,合片にして先端5裂し宿存性なり。花冠は輻狀,鐘形又は短き漏斗狀を呈し,先端5裂す。雄蕊は通常5箇にして,花冠の基部に不同の高さに着生し,瓣片と互生せり。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り,子房は上位にして廣き基底を有し2室或は1室を有し,各心皮は2乃至多數の倒生或は半倒生の卵子を含む。花柱は2或は1體にして頭狀,或は絲狀をなせる柱頭を有す。果實は蒴にして有胚乳種子を含む。

38 ハゼリサウ科の代表花

本科に屬する植物は世界を通じて凡そ17屬170種を有し,多數は北亞米利加に產出す。

1. ハゼリサウ屬 PHACELIA.

1731. **ハゼリサウ**…… ハゼリサウ科
Phacelia tanacetifolia, Benth.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるる一年生草本にして高さ30糎(1尺)許に過ぎず。全株に粗毛を有し,莖は軟弱なり。葉は深裂して羽狀を呈し互生し,各裂片は3-9箇にして更に羽狀に分裂し缺刻狀の齒牙緣をなす。卷繖花序は稍房狀をなし,多數の花を着生す。萼の裂片は線形をなし,花冠は鐘形を呈し長さ1糎(3分)許にして萼より長し。雄蕊は花冠の基部に着生し著しく挺出す。〔花色〕淡紅碧色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕北亞米利加。

1732. **タチホロギク**…… ハゼリサウ科
Phacelia congesta, Hook.

〔形態〕外來の一年生草本にして全株に短毛を布き,莖は軟弱なれども稍直生し,高さ15-18糎(5-6寸)乃至45糎(1·5尺)許に達す。葉は葉柄を有し,長さ30糎(1尺)許に達し,羽狀全裂をなし,この裂片は1-4を有し,卵形或は長橢圓形をなし,更に缺刻狀に淺裂し,この淺裂片は卵形銳頭をなす。花は總狀花序をなし,側生或は頂生し,稍房狀を呈し疎に着生す。萼は先端5裂し,各裂片は線形或は稍箆形をなす。花冠は廣鐘形をなし長さ6粍(2分)許にして稍萼の2倍長く,雄蕊は稍挺出す。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

2. ルリカラクサ屬 NEMOPHILA.

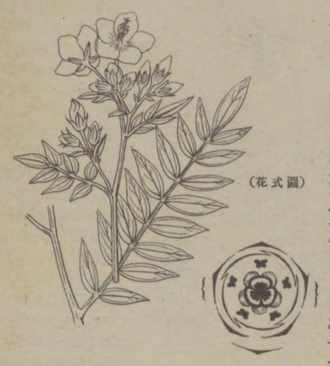
1733. **ルリカラクサ**…… ハゼリサウ科
Nemophila insignis, Benth. (14圖版-130)

〔形態〕前種と同じく北亞米利加產の一年生草本なり。從來ネモフイラと呼稱せられしが,牧野博士によりルリカラクサと命名せられたり。瑠璃色の花,唐草樣の葉を有するを以てなり。高さ20糎(6寸)にして全株に毛茸を有し羽狀に分裂せる葉を互生す。花は大形にして盆狀を呈し先端5裂し,雄蕊は花冠の基部に着生す。〔花色〕瑠璃色又は白色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕北亞米利加。

*　*　*　*　*

17. はなしのぶ科 POLEMONIACEÆ.

本科の植物は北亞米利加の西部に自生多き草本なれども。極めて稀に半灌木又は亞喬木のものあり。莖は普通直立性なれども。時に匍匐するものを見る。葉は互生なれども下部に限り對生することあり。托葉を有せず。



39 ハナシノブ科の代表花

（花式圖）

花は鮮美なるもの多く。5 の數より成り。兩性にして花冠は整齊なれども稀に不整齊を成す。萼は宿存性にして鐘狀又は筒狀を呈し上部まで合着す。花瓣は全く合着し鐘狀或は漏斗狀を呈し。往々にして皿狀をなし。5 裂し各裂片は右廻旋をなし。緣邊の分裂せるものと然らざるものとあり。雄蕊は 5 箇ありて。花瓣に互生す。子房は上位にして通常 3 箇稀に 2 或は 5 箇の結合せる心皮より成り。通常 3室を有し。各室には 1 箇乃至多數の倒生卵子を含む。花柱は單一にして頂端 3 裂す。果實は蒴にして通常胞背裂開をなす。種子には胚乳を有す。

本科は凡そ 10 屬 200 餘種を有し。亞米利加西部に多く産出す。本邦には 5 屬 12 種を産するに過ぎず。

本科所載植物索引

アママツバ……1738　ツルコベア……1735　フロクススプラダ…1743
イガザクラ……1739　ハナシノブ……1744　ベニバナコロミヤ……1734
キキヤウナデシコ……1740　ハナツメクサ……1743　ホシザキキキヤウナデシコ……1741
キキヤウベチユニヤ…1740　ヒメハナシノブ……1744　クサケフチクタウ……1742　ヒメハナシノブ……1736　ホソバヒメハナシノブ…1737
スタープロクス……1741　ヒメフロクス……1740　ヤナギハナシノブ……1733

1. ヤナギハナシノブ屬 COLLOMIA.

1734. **ヤナギハナシノブ**（14 圖版-131）…… ハナシノブ科

Collomia biflora, Brand. (*C. coccinea*, Lehm.)

（異名）ベニバナコロミヤ　〔形態〕近年歐羅巴より輸入せられたる觀賞植物にして高さ 50 糎（1-5 尺）許りの一年生草本なり。全株に毛茸を有す。葉は無柄にして披針形を呈し。概形柳の葉に似て互生し。緣邊に少許の大鋸齒を有し。先端尖り基脚は莖を抱き。長さ 6 糎（2 寸）。幅 1 糎（3 分）内外にして明瞭なる中肋を有す。花序は稍々頭狀をなし。頂生にして紅色の小花を簇る。萼は綠色にして 5 裂し。花冠は下部筒狀をなし。萼より長く。先端は 5 裂して星芒狀を呈し徑約 1 糎（3 分）許。深紅色なれども瓣裏は橙黃色を呈す。果實は蒴にして種子は濕れる時は粘着性を有す。學名の Collomia は膠の意にて此の種子の性質を表はせるものなり。〔花色〕深紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕智利。

2. ツルコベア屬 COBAEA.

1735. **ツルコベア**…… ハナシノブ科

Cobaea scandens, Cav.（14 圖版-132）

〔形態〕前種と同樣外來種に屬し。本邦にては專ら園地に培養せらるる多年生草本にして。莖は蔓性をなし卷鬚により他物に纏絡上昇し。時に其長さ 6 米（2 丈）餘に生長するものあり。葉は互生にして 1 回羽狀複葉をなし。各 1 葉は 5 箇或は 7 箇の小葉より成り。その頂端は卷鬚となり。他物に纏絡す。本種の花は大形の鐘狀花にして一見ノウゼンハレンの花形に似たるものなれども。花色は帶紫色を呈するものなり。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　專ら觀賞用として園地に栽培せらるゝものなり。

3. ヒメハナシノブ屬 GILIA.

1736. **ヒメハナシノブ**…… ハナシノブ科

Gilia tricolor, Benth.（14 圖版-133）

〔形態〕近時の外來に係る觀賞用の一年生草本にして全株に疎毛を有し。莖は多くの小枝を分ち撒開し。高さ 24 糎（1 尺）乃至 45 糎（1-5 尺）許に達するものなり。葉は再羽狀をなし。各裂片は針形をなす。花は花莖の先端に簇生し。花冠は比較的大きく。漏斗狀をなし。先端 5 裂し輻形をなす。〔花色〕5 裂する部分は紫碧色を呈し。咽部は黃褐紫色となり。筒部は黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　花色に白色或は碧色のものあり。花形愛らしきものなれば觀賞用として栽培せらる。繁殖は種子による。

1737. **ホソバヒメハナシノブ**…… ハナシノブ科

Gilia achilaefolia, Benth.

〔形態〕近時の外來に係り。春向の花壇草花及小鉢向として栽培せらるゝ一見纖細なる感を有する一年生草本なり。概形前形に似たるものにして。彼は高さ 60 糎（2 尺）餘に達すれども本種はそれより丈低く。一層纖細なるを彼と異るところとす。〔花色〕紫碧色。〔花候〕春。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種等と同樣春の花壇用として栽培し。觀賞に供するものなり。繁殖は秋播とし數回の移植を行ひ。冬季間は平箱又は小鉢に仕立ておき。春に至り花壇に植出すか。或は鉢仕立とするものとす。

1738. **アママツバ**…… ハナシノブ科

Gilia liniflora, Benth.（14 圖版-134）

〔形態〕近時の外來に係る觀賞用草本にして。莖は高さ 24-45 糎（8-15 尺）許に達し。多くの小枝を分ち撒開す。葉は掌狀に分裂し。各裂片は線形をなし互生す。花冠は稍大形にして輻形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種等と同樣春の草花として觀賞するに適す。繁殖法栽培法等前種に同じ。

1739. **イガザクラ**…… ハナシノブ科

Gilia squarrosa, Hook *et* Arn.

〔形態〕本種も亦近時の外來に係る觀賞用園藝草本にして一年生草に屬し。莖は高さ 1 糎（3 寸）乃至 30 糎（1 尺）許に達し。全株に粘毛を布く。葉は 2 回羽狀に全裂し。各裂片は鋸形を呈し。剌頭を有す。花は頭狀をなせる聚繖花序をなし。苞は葉狀。萼は倒圓錐狀錐形にして剌條を具へ。花冠は筒狀にして先端 5 裂し。筒部は萼より稍短く。裂片は卵形をなし筒部の ½ 許長きものなり。〔原産地〕北亞米利加。

4. キキャウナデシコ屬 PHLOX.

1740. **キキャウナデシコ**…… ハナシノブ科

Phlox Drummondii, Hook.（14 圖版-135）

（異名）ヒメフロックス・キキャウベチュニヤ　〔形態〕フロックスと稱し一般に栽培せらるる觀賞植物にして。高さ 15-45 糎（5-15 寸）許に達し。全株には粘質の軟毛を有す。葉は無柄にして脚葉は廣披針狀楕形をなし。莖葉は長楕圓形にして先端尖り。基脚は心臟形をなし莖部を抱く。花序は房狀にして頂生す。萼は 5 裂し各裂片は線形を呈し先端芒狀をなす。花冠は盆形にして紫·紅·碧·白等各種の色を有し筒部は長くして萼の筒部に 3 倍し。先端は倒卵形をなせる 5 箇の裂片より成る。〔花色〕紅·淡紅·白·紫·碧色等種々あり。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加（テキサス）。

人生との關係　最も普通に觀賞用植物として愛養するものにして。繁殖は種子により。栽培法は頗る容易なるものなり。

1741. **ホシザキキキャウナデシコ**（14 圖版-136）ハナシノブ科

Phlox Drummondii, Hook. var. *stellaris*, Voss.

（英名）スタープロックス（Star Phlox.）〔形態〕前種の一變種にして葉其他の形狀前種に異ならざれども。唯 5箇に分裂せる花瓣が鋸齒狀に深裂したるの差あるのみ。此の深裂したる各裂片は尖鋭にして恰も星芒狀の觀あるを以て此名を附したるなり。〔花色〕前種に同じ。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

（附記）前種と同樣秋蒔を佳とすれども春蒔にても可なり。移植は幼時の外避くるを良しとす。性强健にして敢て土質を選ぶの要なし。

1742. **クサケッチクタウ**　草夾竹桃…… ハナシノブ科

Phlox paniculata, L.（14 圖版-137）

〔形態〕往時の外來に係り。現時は本邦各地に於て最も普遍的に栽培觀賞に供せらるゝ多年生草本にして。全株無毛なるか或は細毛を布く。葉は基

130 ルリカラクサ
131 ヤナギバハナシノブ
132 ツルコベア
133 ヒメハナシノブ
134 アママツバ
135 キキヤウナデシコ
136 ホシザキキキヤウナデシコ
137 クサケフチクタウ
138 ハナツメクサ
139 ヒメハナシノブ

部にあるものは大形にして長楕圓形或は卵狀披針形をなし,先端尖り.基脚心臟形をなし,全緣にして對生或は散生し.莖上葉は小形の披針形或は卵圓狀披針形にして,先端尖り.基部は狹搾し,稍莖を抱く。花は通常圓錐狀の房狀花序をなし頂生し,多花を密生す。苞は披針形,萼は筒狀をなし5脊線を具へ,脊線間は白膜を以て連接し,先端5裂し,各裂片は鑿形をなす。花冠は盆形をなし,筒部は長さ2-4 糎(8分)許,岐部は5裂し,各裂片は倒卵狀圓形をなす。雄蕊は閉在し,花筒內不同の高さに着生す。〔花色〕白·柔皮色·鮭肉色·バラ色·ライラック色·マゲンダ色·紫色等種々。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　近時園藝の發達につれ種々の優良花を簇出し,現今にては見捨て得られぬ園藝植物として栽培せらるゝ一種とす。而も本種は栽培頗る容易なるものにして,繁殖は春季株分を行へば2-3年は其儘にて毎年開花し,2-3年を經過したるものは更に新くするを可とす。肥料としては株分けの際腐熟したる馬糞位を與ふれば充分なり。かくして春季株分けを行ひたるものは大抵其年の夏には開花し始むるものなり。

1743. **ハナツメクサ**……ハナシノブ科
Phlox subulata, L.（14圖版-138）

〔形態〕觀賞用として栽培せらるる多年生草本にして,全株に短毛を有す。莖は多く分枝し伏臥して芝生狀の觀を呈し,高さ10糎(3寸)に過ぎず。葉は概ね簇生して鑿狀線形をなし緣邊に毛茸を有す。花序は單一にして聚繖狀をなす。苞の筒部は裂片と略同長にして裂片は鑿形をなす。花冠は各種の鮮美なる色を現し,徑約2-5糎(8-5分)許りにして先端5裂し,各裂片は倒心臟形をなす。〔花色〕淡紅色·紫色·白色等種々あり。〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

(附記)　强壯なる植物なれば陰濕の地を除き殆ど場所を選ぶ要なし。繁殖は株分又は挿芽による。(石井氏,園藝圖譜による)

5. ハナシノブ屬　POLEMONIUM.

1744. **はなしのぶ**……ハナシノブ科
Polemonium caeruleum, *L.* subsp. vulgare, *Brand.*

〔形態〕各地の山野に自生する多年生草本なれども,時に園養せらるゝことあり。莖は稍部にのみ腺毛を布き,高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は奇數の羽狀複葉にして,小葉は披針形,稀に稍卵形にして銳尖頭或は鈍頭。全緣にして互生す。花は密錐花序をなして多數着生し,萼は鐘形をなし,先端5裂し,各裂片は卵形或は披針狀長橢圓形にして稍銳頭或は鈍頭をなし,花冠は稍幅狀鐘形をなし,萼の2-3倍長く先端5裂し,各裂片は倒卵形鈍頭なり。雄蕊は花冠の基脚と同高に着生し,花絲は傾下し,基脚に鬚毛を有す。果實は蒴にして廣橢圓形をなし,小形にして宿存萼に蔽はる。

1745. **ひめはなしのぶ**……ハナシノブ科
Polemonium humile, *Willd.*（14圖版-139）

〔形態〕北地に自生する多年生草本にして,莖には絨毛を布き,高さ4-5-15糎(1-5-5寸)許に達する小形種なり。葉は羽狀複葉をなし,各小葉は卵形或は橢圓形をなし,概ね鈍頭なり。花は房狀花序をなして頂生し,頭狀を呈し,軟毛に蔽はる。萼は先端5裂し,各裂片は廣橢圓形鈍頭をなし,筒部と稍長さを同じくす。花冠は漏斗狀鐘形にして先端5裂し,各裂片は倒卵形鈍頭なり。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

*　*　*　*　*

18. ひるがほ(旋花)科 CONVOLVULACEÆ.

殊地に多き草本稀に木本なり。本科に屬す植物には其根部に下劑性の成分を含有するものあれば藥用として應用せられ,或は多量に澱粉を含有するをもつて食用としても重用なるもの多きものなり。

通常草本にして多くは左纏繞する莖を有し,且つこの莖には乳汁液を含有するもの多し。葉は互生にして托葉を缺き,多くは大形なれども,稀には鱗片狀をなすものあり。花は兩性·整齊にして單生なるか或は葉腋上に花莖を出し,多くは美花を着く。萼は下位にして分離せるか或は基部に於て少しく結合せる5箇或は4箇の萼片より成り,花冠は全邊なるか或は5若しくは4裂し,雄蕊は5箇或は4箇ありて花冠の基部に着生し,裂片と互生す。雌蕊は2箇の側生卵子を有す。子房は上位にして1乃至稀に多數の室を有し,假隔膜によりて數室をなし,分裂せざるか或は2-4分し,花柱は單一なるか或は稀に2箇にして,柱頭は單一なるか,或は2裂するか或は花柱と同岐なり。果實は蒴或は肉果にして,種子は胚孔を含むものなり。

本科所載植物名目次

アサガホ……1781
アサガホカラクサ……1765
アサガホナ……1774
アフヒカヅラ……1755
アフヒゴケ……1763
アマダヲシ……1762
アメリカアサガホ……1783
アメリカイモ……1768
ウシノソウメン……1758
ウチハウカウ……1786
オホヒルガホ……1750
カクアサガホ……1774
カハリハアサガホ……1789
カボチヤアサガホ……1775
カライモ……1767
キクアサガホ……1778
グンバイヒルガホ……1769
ケニゴシ……1781
コバノモミヂアサガホ……1779
コヒルガホ……1751
サツマイモ……1767
サンシキヒルガホ……1750
シロバナヒルガホ……1752
シロバナユフガホ……1746
セイヤウヒルガホ……1757
タイワンアサガホ……1777
タウアサガホ……1747
タウナスビ……1747
チヤウジナスビ……1747
ツルナシアサガホ……1780
テガタアサガホ……1777
ナスビノヒゲ……1758
ナンヤウアサガホ……1784
ネコアサガホ……1774
ネコアサガホ……1780
ネナシカヅラ……1758
ノアサガホ……1773
ハウチハカヅラ……1769
ハゴロモルカウ……1788
ハマネナシカヅラ……1760
ハマヒルガホ……1755
ハリアサガホ……1747
ヒルガホ……1748
ヒロハヒルガホ……1754
ヒメアサガホ……1776
ヒメヨガネヒルガホ……1770
ヒメノアサガホ……1776
フギレヒルガホ……1753
ベンリイモ……1786
ホソバヒルガホ……1749
ホルトカヅラ……1764
マメダヲシ……1761
マルバアサガホ……1775
マルバアサガホ……1782
マルバアサガホ……1787
マルバアサガホカラクサ……1766
マルバウカウ……1787
ミドリネナシカヅラ……1759
モミヂヒルガホ……1777
モミヂルカウ……1788
ヤクワイサウ……1746
ヤヘヤマカラクサ……1775
ヤラツバ……1772
ユフガホ……1746
ヨウサイ……1771
ヨルガホ……1746
リウキウイモ……1767
ルカウアサガホ……1787
ルカウサウ……1785

1. ヨルガホ屬　CALONYCTION.

1746. **ヨルガホ**　夜會草·滿月草……ヒルガホ科
Calonyction bona-nox, Boj.（15圖版-140）

(異名)ユフガホ·ヤクワイサウ·シロバナユフガホ　〔形態〕外來の一年生蔓草にして,全株無毛種に屬すれども,屢は刺を有するものあり。葉は長柄によりて互生し,葉身は心臟狀卵形にして,長銳尖頭をなし,多角線或は戟形をなし,長さ7-5-15糎(2-5-5寸)許あり。花は概ね偏側生總狀花序をなし長梗を有し,2-6花を着く。萼は先端5裂し,各裂片は卵狀披針形·銳尖頭をなし,花冠は大形の盆形をなし,筒部は頗る狹く,長さ約12糎(4寸)許,雄蕊及花柱は挺出し,柱頭は2岐し,果實は2室をなす。〔花色〕白色にして帶綠色の褶襞あり。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　夏季觀賞に供する草花にして,本花は夕方に開花し,翌朝凋萎す。これ本和名を有する所以なり。繁殖は種子により,栽培法はアサガホに準ずべきものなれば同項を參照すべし。

1747. **ハリアサガホ**……ヒルガホ科
Calonyction muricatum, G. Don.（15圖版-141）

(異名)タウナスビ·チヤウジナスビ·タウアサガホ　〔形態〕本種も亦外來の一年生蔓草にして,無毛種に屬し,莖は通常粗澁し,葉は心臟狀卵形にして先端尖り全緣,長さ4-5-9糎(1-5-3寸)許あり。花は稍上葉腋上に概形アサガホの花に似たる漏斗狀花を單生す。萼は先端5裂し,各裂片は橢圓狀披針形をなし,花冠は筒部線形をなし,長さ4-4-8糎(0-8-1-5寸)許內面に毛茸を有す。蒴は球形をなす。〔花色〕紅紫色なれども花冠の基脚に濃紫暈を有する特徵あり。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

2. ヒルガホ屬　CALYSTEGIA.

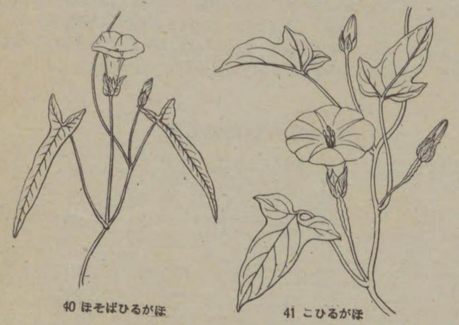
1748. **ひるがほ**　旋花（15圖版-142）……ヒルガホ科
Calystegia subvolubilis, *Don*, (*C*, *Sepium*. var. japonica, *Makino*.)

〔形態〕到る處の原野·畑地等に自生する多年生蔓草にして,長き纏繞莖を有し,他物に纏絡上昇す。葉は戟狀をなし,長さ9糎(3寸)許に達し,長柄に

よりて互生す。花は梢上葉腋上に單生し.長梗によりて往々葉より超出す。小苞は2箇を有し.何れも大形にして葉質をなし.卵形鈍頭.基脚心臟形をなす。萼片は5箇ありて卵狀披針形をなし.花冠は漏斗形にして5角形を呈す。雄蕊は5箇ありて花冠の基脚に着生し閉在す。子房は1室.花柱は絲狀をなし.柱頭は2岐す。果實は蒴にして宿存萼に包被せらる。〔花色〕淡紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州各部。

1749. **ほそばひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia subvolubilis, *Don.* forma angustifolia, *(Nakai) (C. Sepium.* var. japonica. f. angustifolia, *Nakai.)*

〔形態〕全體前種に酷似するものなれども.本種は其葉狹長橢圓形鋭尖頭をなし.基脚箭形なるを彼と異るところとす。〔分布〕本州中部。



40 ほそばひるがほ　　41 こひるがほ

1750. **おほひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia subvolubilis, *Don.* forma major, *(Makino) (C. Sepium.* var. japonica. f. major. *Makino.)*

〔形態〕本種は前種ヒルガホに比し一種大形なるものなり。〔分布〕本州北部。

1751. **こひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia japonica, *Chois.* (C. hederacea, *Wall.*)

〔形態〕原野·畑地等に自生する一年生蔓草にして.前種等と同樣纏繞莖を有す。葉は長柄を有し.葉身は戟形をなし3裂し.中裂片は最も大きく披針形鋭頭をなし.側方の裂片は側向鈍頭にして截頭をなし.凹頭或は2裂す。花は梢上方葉腋上に單生し.ヒルガホに似て漏斗狀全緣なり。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國。

1752. **しろばなひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia, japonica, *Chois.* var. albiflora, *Makino.*

〔形態〕概形前種に相同じく.本種の花は白色を呈するものなり。〔分布〕本州南部。

1753. **ふぎれひるがほ**（15圖版-143）…… ヒルガホ科
Calystegia japonica, *Chois.* var. pentapetala, *(Makino) (C. hederacea, var. pentapetala, Makino.)*

〔形態〕前種の一變種にして.莖葉凡て小形.花冠は深く5裂せるを異るところとす。（栽培變種）

1754. **ひろはひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia Sepium, *R. Br.*

〔形態〕本種は全體大形なるのみならず.其葉三角形狀卵形にして全緣なるものなり。〔分布〕北海道。

1755. **はまひるがほ**…… ヒルガホ科
Calystegia Soldanella, *R. Br.*（15圖版-144）

（異名）あふひかづら　〔形態〕海邊の砂地等に自生多き多年生蔓草にして.地下に長き根莖を曳き繁殖す。葉は質厚く.腎臟形にして鈍頭或は稍凹頭をなし.微に凸端を有し.多角緣をなす。花は長梗によりて腋生し.葉長と稍長きを同じくす。苞は2箇ありて卵形の葉狀をなし.萼と同長。萼片は線狀卵形にして鈍頭を有す。花冠は漏斗形をなし.果實は球形の蒴にして宿存萼並に苞を伴ふ。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·臺灣。

3. サンシキヒルガホ屬　CONVOLVULUS.

1756. **サンシキヒルガホ**…… ヒルガホ科
Convolvulus tricolor, L.（15圖版-145）

〔形態〕歐洲南部地方には自生品を見るも一年生草本なれども.本邦にては專ら觀賞用として栽培せらるるものなり。本種は全株に軟毛を布き.莖は斜上性を有し.他物に卷絡上昇す。葉は有柄にして互生し.葉身は倒卵形は長橢圓形なり。花は梢上方葉腋上に單生し.萼片は卵形にして粗毛を布き花冠は鐘形にして5角緣をなし.萼の3-4倍長く.雄蕊は閉在し.花冠の基に着生し.子房は2室.花絲は絲狀を呈し.柱頭は2岐す。果實は蒴にして室4穀をなし短毛を有す。〔花色〕周緣は紫藍色を呈し.中心部は黃色の中間部は白色を呈す。〔花候〕夏。〔原産地〕南部歐羅巴。

人生との關係　普通泰播草として栽培す。性强健なるものなれば栽培は頗る容易なり。用土は腐植質に富める肥土を用ひ.1-2回移植後花壇に定植するを可とす。

1757. **セイヤウヒルガホ**…… ヒルガホ科
Convolvulus arvensis, L.（15圖版-146）

〔形態〕外來の園藝品種にして.一年生の蔓草なり。葉は形狀一定せず.長さ2-4-7-5糎（0-8-2-5寸）許を有し.脚片は鋭頭をなす。花は通常長梗によりて2箇宛腋生す。本花は花徑3糎（1寸）內外.萼は小形にして廣濶なり。〔花色〕白色或は淡紅色。〔花候〕夏。（栽培種）

4. ネナシカヅラ屬　CUSCUTA.

1758. **ねなしかづら**（15圖版-147）…… ヒルガホ科
Cuscuta japonica, *Chois.* var. thyrsoidea, *Engelm.*

（異名）なすびのひけ·うしのそうめん　〔形態〕山野に自生する一年生の寄生蔓草にして.莖は肥厚し.黃色或は紅色を呈し.吸盤によりて倚著す。本種は葉を有せず.始めは地上に生すれども.漸次他の草本に纏附し.吸盤によりて宿主より養分を吸收し生育するものなれば他の植物を害すること甚だしきものなり。花は稍無梗·細小にして稍穗狀花序をなして着生す。苞は鱗狀をなし.萼片は卵形にして鈍頭.花冠は廣筒形をなし.先端5裂し.各裂片は平開或は反捲す。雄蕊は花絲を缺き花筒に著生し.花柱は絲狀をなして挺出す。子房は2室.柱頭は2岐す。果實は廣橢圓形をなせる蒴にして.長さ7粍（2-5分）許あり。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球。

1759. **みどりねなしかづら**…… ヒルガホ科
Cuscuta japonica, *Chois.* var. viridicaulis, *Honda.*

〔形態〕前種に酷似せる一年生の蔓性宿根草本なれども.本種の莖は綠狀にして綠色を呈し.花色は白色.蒴は綠色なれども往々紫點を有するものあり。〔分布〕九州。

1760. **はまねなしかづら**…… ヒルガホ科
Cuscuta maritima, *Makino.*

〔形態〕本種も亦前種等に酷似せる一年生の蔓性寄生草にして.多く海邊に自生し.莖は綠狀にして黃色を呈し.花は無梗或は短梗を有し密生するを特徵とす。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕四國。

1761. **まめだほし**…… ヒルガホ科
Cuscuta chinensis, *Lam.*（15圖版-148）

〔形態〕各地の原野に自生する一年生の寄生蔓草にして.初め種子より發芽したるときは根を有すれども.成長すれば他植物の莖又は枝梢に纏繞し寄生根を生じ.根は全く消失す。花は聚繖花序或は總狀花序をなして密生す。萼片は卵狀長橢圓形·鈍頭をなし.花冠は鐘形をなし萼の倍長く.先端5淺裂し.各裂片は披針狀卵形或は線狀鋭形をなす。果實は球形の蒴をなす。本植物は主として大豆其他の荳科植物に纏繞し其養液を吸收し遂に枯死せしむるに至るものなれば本和名を有するものなり。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣。

1762. **アマダホシ**…… ヒルガホ科
Cuscuta Epilinum, Weihe.（15圖版-149）

〔形態〕歐洲及北部亞細亞原產の一年生寄生蔓草にして.多くは亞麻科植物のアマに寄生し.大害を與ふるものなり。莖は綠狀にして黃色或は帶赤色を呈し.細小なる鱗狀葉を有す。花は小形無梗にして簇生す。萼は先端5裂し.各裂片は線形.花冠は球狀圓柱形をなし萼より超出す。果實は小形の蒴にして萎縮せる花冠を宿存す。〔花色〕黃白色。〔花候〕春-夏。（歸化植物）

140 ヨルガホ　　141 ハリアサガホ　　142 ひるがほ
143 ふぎれひるがほ　　144 はまひるがほ　　145 サンシキヒルガホ
46 セイヤウヒルガホ　　147 ねなしかづら　　148 まめだほし　　149 あまだほし

5. アフヒゴケ屬　DICHONDRA.

1763. あふひごけ…… ヒルガホ科
Dichondra evolvulacea, *Britt.*

〔形態〕山野・路傍等に自生する多年生の匍匐草本にして.全株に細毛を布く。葉は長柄によりて互生し.葉身は心臟狀卵形にして全緣.徑 9-15 粍(3-5分)許あり。花は花梗により腋生し單立す。本花の萼は倒卵形をなし.花冠は廣鐘形をなし萼より短く.先端5裂す。雄蕊は花冠より短く.子房は2室花柱は2箇ありて絲狀をなし.柱頭は球形をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州南部・四國・九州・臺灣。

6. ホルトカヅラ屬　ERYCIBE.

1764. ほるとかづら…… ヒルガホ科
Erycibe acutifolia, *Hayata.*

〔形態〕山野に自生する藤本にして.葉は革質をなし.卵形・鋭頭にして基脚圓形をなす。花は圓錐花序をなして着生し.苞は細小.萼は革質をなし.先端5裂し.各裂片は卵圓形をなし毛緣を有す。花冠は鐘形をなし.長さ1糎(3-3分)許にして.先端5裂し.各裂片は倒楔形をなし.更に2裂し.各小裂片は鈍截頭をなす。雄蕊は5箇ありて閉在し.子房は長楕圓狀にして4室を有す。果實は卵狀長楕圓形の漿果にして黑熟し.無毛なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

7. アサガホカラクサ屬　EVOLVULUS.

1765. あさがほからくさ…… ヒルガホ科
Evolvulus alsinoides, *L.*

(異名) やへやまからくさ　〔形態〕伏臥性の多年生草本にして全株に稍絹毛を布き.莖は高さ 15-30 糎(0·5-1 尺)許に達す。葉は稍無柄にして互生し.葉身は長楕圓形・披針形或は線形をなし.長さ 6-13 粍(2-4 分)許.下面に粗毛を布く。花は纖細なる花梗によりて 1-2 花を腋生す。本花は小苞を有し.萼片は細小なる線狀披針形。花冠は稍幅形をなし.花徑約6粍(2分)許を有す。雄蕊は花筒の內部に著生し.花絲は線狀.花柱は2箇ありて先端更に2岐す。果實は球形の蒴をなす。〔花色〕淡碧色或は白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕小笠原島・臺灣。

1766. まるばあさがほからくさ…… ヒルガホ科
Evolvulus alsinoides, *L.* forma rotundifolia, *Yamamoto.*

〔形態〕前種の一品種に屬するものにして.本種は其葉が卵狀心臟形或は圓形を呈するものなり。〔分布〕臺灣。

8. サツマイモ屬　IPOMOEA.

1767. **サツマイモ**・(16圖版-150)…… ヒルガホ科
Ipomoea Batatas, Lam. var. *edulis, Makino.*

(異名) カライモ・リウキウイモ・シマイモ・タウイモ　〔形態〕稍暖地に培養せらるる多年生草本にして.地下に多肉根を有し.莖は細長にして地上を匍匐す。葉は長柄を有し通常心臟形にして先端尖り.莖と共に稍紫褐色を呈す。花は長梗によりて腋生し 4-5 花を以て房狀花序をなす。萼は大小5箇を有し.楕圓形鋭頭をなす。花冠は漏斗狀をなし.雄蕊5箇ありて長短不同。子房は4室をなし.花絲は絲狀をなす。果實は蒴にして4殼より成る。〔花色〕稍白色を呈すれども.底部內面に淡紫彩あり。〔花候〕夏。

人生との關係　本植物の球根を取り.或は煮或は生にて食し.又澱粉を製し.或は薄く切りて日に乾し貯へ食し.或は麹を加へて燒酎を製する等用途甚だ多く.本邦に於て重要なる蔬菜なることは周知の事實なり。以下本植物につき其栽培品種及栽培法等につき記述すべし。

1768. **アメリカイモ**・(16圖版-151)…… ヒルガホ科
Ipomoea Batatas, Lam. var. *Batatas,* Makino.

(異名) ベンリイモ　〔形態〕前種と概形稍同樣なるものなれども.本種の莖は淡紅色を呈し稍瘠細.葉は綠色にして邊緣に稜角多く.塊根の皮部は菲薄・滑澤にして淡紅色を呈し.肉質は緻密純白にして水分多きものなり〔花候〕夏。(栽培變種)

サツマイモの栽培品種と其栽培法

サツマイモには栽培品種頗る多し.其內主要なるもの下記の如し。

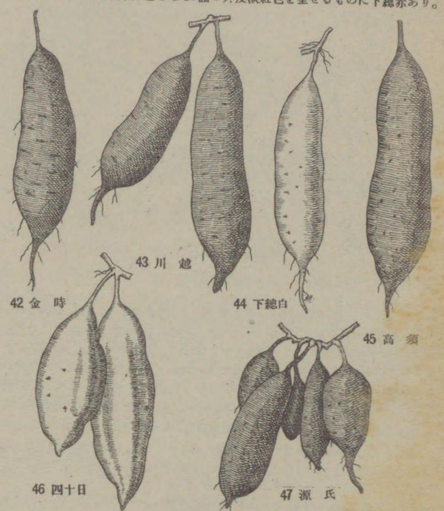
I. 薩摩種

(イ) **八幡藷**　神奈川縣に多く栽培せられ.葉は濃綠色なるも.その芽は濃紫色を呈せり。藷は中位にして紡錘形をなし凹凸少く.外皮は滑かにして淡黃色をなり。肉は緊りて甘味に富み.品質佳良なり。早生種中最も早生なるものなる　收量は中位なり。

(ロ) **小笠原藷**　葉は紫赤色を呈し.藷は稍長く不揃にして.その外皮は黃色を呈し肉も亦淡黃色なり。早生種にして收量多きも品質惡く.栽培の望少きものなり。

(ハ) **高須藷**　葉は濃綠色なるも.芽は淡き紫赤色を呈せり。塊根は紡錘形をなし.外皮は平滑にして溝少く.淡き黃色を呈し.その肉も亦黃色なり。早生種にして收量前者に劣れるも.品質佳良にして有望種なり。

(ニ) **下總白藷**　千葉縣に多く栽培せられ.葉は綠色にして.芽は紫赤色なり。塊根は紡錘形にして形正しく.肉.皮共に淡黃色を呈す。中生種にして.收量極めて多く.經濟的栽培に適せり。澱粉含量多く.千葉縣下の澱粉は專ら本種より製せらる。これに類するものにして.葉は紫赤色をなし.藷の外皮淡紅色を呈せるものに下總赤あり。


42 金時
43 川越
44 下總白
45 高須
46 四十日
47 源氏

(ホ) **川越藷**　埼玉縣川越市附近に多く產し.關東地方の甘藷の主なるものなり。葉は綠色なるも.芽は紫赤色を呈す。藷は稍紡錘狀形をなし.外皮は紫赤色にして.肉は淡黃色をなせり。質は緻密にして甘味に富み.收量多き優良なる晩生種なるも.貯藏力稍弱き缺點あり。これが變種にして.色更に濃く.收量多きものに金時と云へるあり。

(ヘ) **赤藷**　九州にて多く栽培せらるゝものにして.芽.葉共に紫赤色を呈す。藷は稍長き紡錘形をなし.外皮は薄く.濃紫赤色を呈し.光澤あり。肉色生にては淡黃色なるも.煮たるものは白色なり。甘味に富み優良にして晩生種なるも.寒氣に弱きを以て暖地の他栽培は不可能なり。九州にてはアカバチリ.サツマバチリ.ボケ等の異名あり。

II. 亞米利加種

(イ) **四十日藷**　鹿兒島縣地方にて產出せらるゝものにして.芽は紫赤色なるも.葉は濃綠色を呈せり。藷は中部肥大し.兩端尖り.縱溝あり。外皮は肉と共に白色にして.肉は水分多く品質劣る。早生種にして收量多く.貯藏に堪へ.貯藏によりて甘味を增すを以て.加工用に適するものなり。尙ほこの1種と見るべきものに琉球藷あり。形は短く.頭部太く.外皮は稍淡赤色を呈す。肉色生にては白きも.煮たるものは黃色なり。品質は同樣にして良品ならず。

(ロ) **源氏藷**　亞米利加種の代表的品種にして.長崎地方はその本場なるも.廣く各地に栽培せらる。藷は短き紡錘形にして.外皮は淡紅色をなせり。肉は比較的粉狀にして甘味に富み.且つ貯藏力强し。栽培容易なる爲め喜ばる。中生種なり。

以上記述せる他.食用種に鎌倉.大正赤。澱粉製造用に琉球.八里半.大正白(蔓無種)切干用に臺灣白。特殊なるものに花藷.紫藷.皺藷等あり。

甘藷の栽培法

甘藷は元來熱帶性植物にして.溫暖なる氣候を好み.且つその生育期間長きを以て.福島.茨城縣以北にては栽培困難なり。氣候の適せる所に於ては.土質の撰擇甚だ難く.良く瘠薄乾燥に耐へ.栽培容易なるも.之に反し.氣候の適せざる所に於ては.如何に肥培すると雖も.品質.收量共に不良なり。一般に排水佳良にして高燥なる輕鬆土.卽ち砂質壤土最も之に適す。溫潤にして重粘なる埴質の所にては.生育遲れ.品質不良なり。寧ろ瘠地に適し.連作を好むことは.本植物の特性とも云ふべきなり。蔬菜用には.普通栽培の他に.早熟栽培に依りて 7-8 月頃採收するを有利なりとす。苗の育成には.苗床を用ふるも.早熟栽培には專ら溫床を使用せらる。溫床の設置は.溫暖なる場所を選び.幅 1.2 米(4 尺).長さ適宜.深さ 15-18 糎(5-6 寸)許に掘り.藁圍をなすものなるも.その廣さは.10 アール(1 反)當約 13·2 平方米(4 坪)位を普通とす。その中に落葉を入れ.その上に半熟堆肥 18 糎(6 寸)位踏み込み.更に 3·3 平方米(1 坪)當約 3·6 立(2 升)位の割合に米糠を散布し.更にその上に腐熟堆肥を 3 糎(1 寸)許の厚さ

に踏み込み、これに下肥 3•3平方米（1 坪）當 2 荷位の割合に注ぎ、15-18 糎（5-6 寸）位に覆土し、3-4 ヶ月後、攝氏 26-27 度に昇りたる時種藷を伏せるなり。種藷は 1 箇約 75 瓦（20 匁）位の形のよく整ひたるものを選び、3 月中旬に伏せるものなるも、この伏せ方に、縦伏、横伏、斜伏等あり。伏せ終りたる藷の隠れる位に覆土し、その上に稍疎減は夢の程度を 6-9 糎（2-3 寸）に被ひて灌水し、更に藁、蓙にて屋根を架け、雨露を防ぎて専ら保温に努むるなり。後約 10 日を經れば、芽生し始むるを以て速に被覆物を除去し、藷を露出せしめて、強健なる苗を仕立つるなり。五月上旬降霜の憂なき時に至り栽植を始む。栽植せんには、施肥を施し、畦幅 60 糎（2 尺）、株間 24-36 糎（0.8-1.2 尺）許とす。栽植苗は長く延びたる莖約 30 糎（1 尺）に切りて用ふる莖苗と、30 糎（1 尺）に充たざるものを採きて用ふる蔓苗を普通とす。然し、最も間到なる早熟栽培に於ては、藷を切断し、莖を附けたる儘の所謂藷付苗を栽植し、莖より發根したれば

48 斜　挿　　49 釣針挿　　50 船底挿

親莖と分離する方法を採るなり。苗の挿方に、斜挿（普通挿）、釣針挿、船底挿の方法あり。その狀態は圖に依りて了解すべし。挿入の際土壌の乾燥せる時は、苗の下部を稍強く壓し、その活着を計ること肝要なり。以上 3 方法の中、その良否は環境に依りて異れるも、一般に船底挿最もよく、釣針挿之に次ぎ、斜挿は手數を要せざるの特徴あるも、收量最も劣れり。甘藷の栽培上最も注意すべきは、莖の繁茂を抑制し、地温を高むることにして、之が爲め肥料は基肥のみを用ひ、特殊なる場合の他は、補肥を與へず、且つ蔓返を行ふ。蔓返の目的は、節よりの發根を防ぎ、葉の裏面を日光に當て、以て蒸發を旺盛ならしめ、地表を日光に曝し、地温を高むるにあり。俗ほ又、中耕は深く行ひて乾燥を圖り、陽光を充分入れて以て地温の上昇に努むべし。其他除草は緊要なる作業とす。

收穫は普通栽培にては 9 月下旬より、早熟栽培にては 7 月中旬より行ふも、收量は 10 アール（1 反）當、前者 2256-2629 瓩（600-700 貫）、後者 750 瓩（200 貫）内外なり。貯藏は、暖地に於ては頗る簡單なるも、寒地にては、地中に深く埋藏すべし。

甘藷澱粉製造法

馬鈴薯のところにて詳説したるを以て、（その項を參照）本項にては極めて小規模なる方法を記述せんとす。先づ藷を生にて碎り卸し、篩にて漉し、その濾し水を桶底に沈澱せしめ、4-5 回程上水を取り換へ、桶底に沈澱せし白汁を取り、日に乾して製するなり。此の製法は寒中に行ひたるものを寒晒しと云ひ、變色、變味の憂ひなしとして珍重せられ、葛の代用品として、吉野葛の上品に優れるものなり。

51 ヨウサイ　　52 ねこあさがほ

莢は卵形、花冠は漏斗狀をなし長さ 4-5 糎（1-5 寸）。蒴は長卵形をなし、長さ 7 粍（2-5 分）許あり。〔花色〕概ね淺紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕舊熱帶。

（附記）臺灣にては本植物を栽培し食用に供す。

1769. はうちはかづら …… ヒルガホ科
Ipomoea biloba, *Forsk.* （16 圖版-152）

（異名）ぐんばいひるがほ　〔形態〕原野-路傍等に自生する多年生の蔓草にして、多數の小數を分ち他物に纏絡上昇す。葉は肉質をなし、長柄によりて互生し、葉身は稍圓形にして凹頭或は 2 裂し、長さ 3-9 糎（1-3 寸）許あり。花は長梗によりて腋生し、葉より長く挺出す。本花の苞は披針形をなし、花冠は筒狀漏斗狀をなし、長さ 4-5 糎（1-5 寸）許、緣邊稍分裂す。果實は廣橢圓形の蒴にして長さ 1-3 糎（4 分）許あり。〔花色〕紫色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

1770. ひめこがねひるがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea chryseides, *Ker.*

〔形態〕原野に自生する蔓性の多年生草本なり。葉は卵狀心臓形・鋭頭をなし、全緣なるか齒緣或は 3 裂す。花は聚繖花序をなし、多くの有梗花を着生す。本花の有する苞片は橢圓形をなし、花冠は漏斗狀を呈し、長さ 1-3-1-8 糎（4-6 分）許あり。果實は稍多角形をなせる廣卵形の蒴にして長さ 6 粍（2 分）許あり。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1771. ヨウサイ　甕菜 …… ヒルガホ科
Ipomoea aquatika, Forsk.

（異名）アサガホナ　〔形態〕熱帶地方の稍水温地に自生する一年生の匍匐草本なり。莖は中空にして細長く、水面に浮び或は温地に蔓延す。葉は長柄を有し互生し、葉身は廣卵圓形或は橢圓形乃至披針形をなし、基脚は心臓形或は截形にして全緣なるか或は多角樣に淺裂し、長さ 7-5-15 糎（2-5-5 寸）許あり。花は長梗によりて 1-5 花を着け、各小梗も亦長きものなり。

1776. ひめあさがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea obscula, *Ker.*

（異名）ひめのあさがほ　〔形態〕海濱又は原野等に自生する蔓性の一年生草本にして、前種同樣他物に纏絡上昇す。葉は長柄によりて互生し、葉身は卵狀心臓形・鋭尖頭全緣をなし、長さ 6 糎（2 寸）許あり。花は葉長より長き花梗により 1-3 花を着け、小梗は肥厚す。本花の有する苞片は卵形にして稍鋭頭、花冠は鐘形をなし、長さ 1-8-2-4 糎（6-8 分）許。蒴は廣卵形をなす。〔花色〕黄白色にして基脚紫色を呈す。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

53 あまばあさがほ　　54 ひめあさがほ　　55 もみぢひるがほ

1777. もみぢひるがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea palmata, *Forsk.*

（異名）たいわんあさがほ・てがたあさがほ　〔形態〕原野・路傍等に自生する多年生蔓草なり。葉は長柄によりて互生し、托葉を有す。葉身は掌狀に 5 乃至 7 裂し、各裂片は卵狀披針形、或は長橢圓形・鈍頭稍に鋭頭をなし、長さ 3-4-5 糎（1-0-1-5 寸）許あり。花は葉柄と同長或は更に長き花梗により 1-2 花、稀に多花を着け、各花は亦長き小梗を有す。苞は卵形・鈍頭をなし、花冠は鐘形にして長さ約 3 糎（1 寸）許、蒴は廣卵形にして長さ 1-3 糎（4 分）許あり。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕周年。〔分布〕臺灣。

1778. きくあさがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea pestigridis, *L.*

〔形態〕原野に自生する一年生の蔓草にして全株に粗毛を布く。葉は長柄によりて互生し、掌狀に 5 稀に 9 深裂し、各裂片は橢圓形鋭尖形、基脚狹搾す。花は葉と同長の花梗により頭狀花序をなして着生し、5-6 片の苞を有し總苞狀をなし、苞は披針形鋭頭をなす。花冠は漏斗狀をなし、苞と共に外面粗毛を布く。蒴は廣橢圓形をなし、長さ 6 粍（2 分）許あり。〔花色〕淡紅色。〔分布〕臺灣。

1779. こばのもみぢあさがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea quinata, *R. Br.*

（異名）ごえふひるがほ　〔形態〕山野に自生する蔓草なり。葉は長柄を有し互生し、葉身は掌狀に 5 深裂するか或は 5 片の掌狀複葉をなし、各小葉は針狀披針形或は狹橢圓形鈍頭をなし、微に凸端をなし全緣、長さ 2-4-3-6 糎（0-8-1-2 寸）許を有す。花は葉柄より短き花梗により概ね單花を着け、小梗は肥厚、苞片は卵形にして鈍頭をなし、内片は外片の 2 倍長く、花冠は漏斗狀をなし、先端 5 淺裂し、長さ 4-5 糎（1-5 寸）許。果實は廣卵形をなせる蒴を有し、長さ 1-3 糎（4 分）許あり。〔花色〕白色或は紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1780. かはりばあさがほ …… ヒルガホ科
Ipomoea heterophylla, *R. Br.*

（異名）ねこあさがほ・つるなしあさがほ　〔形態〕山野に自生する一年生草本にして、全株に粗毛を布き、莖は直生或は斜上性を有し、高さ 9-12 糎（3-4 寸）乃至 45 糎（1-5 尺）許に達す。葉は短柄によりて互生し、葉身は長橢圓形にして基脚戟形をなせども、稀には羽裂又は掌狀に 5-7 淺裂或は深裂するものあり。花は短き花梗によりて單生し、線形をなせる 2 箇の小苞を有す。萼は卵狀披針形或は披針形にして鋭尖頭を有し、長さ 6 粍（2 分）許あり。花冠は鐘形にして稍全緣、果實は蒴をなす。〔花色〕淡紫色。〔分布〕琉球・臺灣。

9. アサガホ屬 PHARBITIS.

1781. アサガホ　牽牛・朝顔（16 圖版-154）…… ヒルガホ科
Pharbitis Nil, Chois.

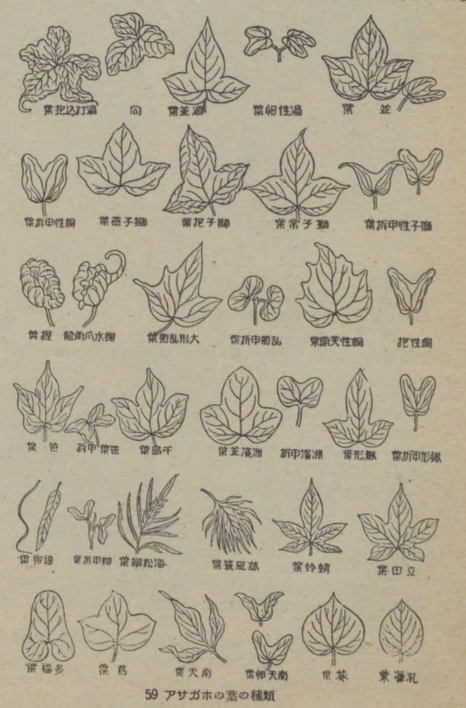
56 きくあさがほ　　57 こばのもみぢあさがほ　　58 かはりばあさがほ

（異名）ケニゴシ　〔形態〕專ら觀賞植物として愛養せらるる一年生の纏繞性草本にして、全株に粗毛を布く。葉は長柄によりて互生し、葉身は其の形狀種々ありて一樣ならず。花は概ね葉柄より短き花梗によりて 1-3 花を着生す。この花は 2 箇の小苞を有し、萼片は 5 箇ありて狹搾披針形鋭頭をなし、基脚に長毛を布く。花冠は漏斗狀をなし、蒴は球形にして 3 室を有し、宿存萼を伴ふ。〔花色〕種々。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

人生との關係　夏の草花として到る處に愛養せらるゝことは今更云ふ迄もなきことなり、以下少しく本植物の品種及栽培法につき記述すべし。

アサガホの栽培法

朝顔の栽培には大輪種の栽培と、變種の栽培の二方法ありてその方法は自ら幾分異れり。大形なる花を咲かしむるを目的とする大輪咲は、培養の宜しきを得ざるべからず



59 アサガホの萼の種類

ざるは言を俟たざるところなるも、去りとて、種類そのものに大輪を咲き得る素質を具備せざるものに於ては、如何にその手入に萬善を期すると雖も、好結果を得るに至らざるは勿論なり。よりて強めその種類區別に就き少しく記述すべし。

種類の判別

栽培家の誇とする大輪種を得んとするには、その種類の判別を行はざるべからず。順序として葉形より記述すべし。

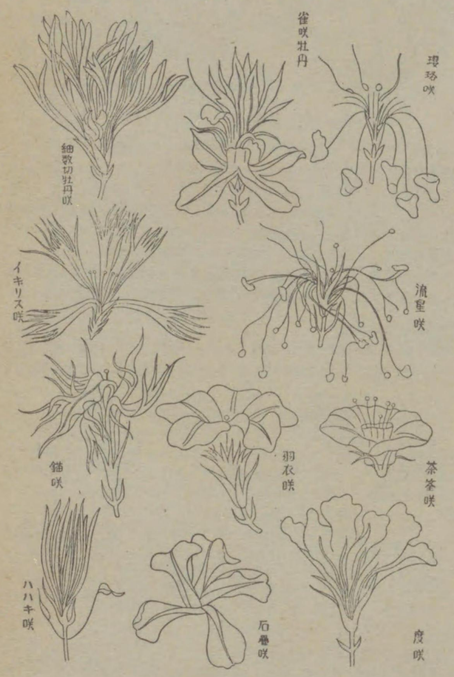
〔甲〕 **葉形**　大輪咲の葉は、その基部と双方の雀葉の張り開きたるを以て良とす。

（イ） **常葉**　常葉なるものには比較的大輪咲少く、15糎（5寸）位のものを出すに極めて困難なるも、主人筋にてはこれによりて大輪を咲かしむるを誇とする關係上尊重せらるゝことあり。

（ロ） **丸葉**　圓形なるものは大輪になり難く、12糎（4寸）を超えたるものは上等なるものなり。

（ハ） **洲濱葉**　この種の葉にて、6曜丸咲に出たるものは、比較的大輪咲を出すことあり。

（ニ） **千鳥葉**　この葉を有するものは、最も大輪を咲く素質を有するものにして、栽培法宜しきに於ては15糎（5寸）以上に咲かしむること左程困難ならざるも、切れ咲に變り易き缺點あり。花冠は6曜を以て普通となす。本種は花の大小不揃ひの缺點あり。



60 アサガホの花の種類

（ホ） **龍菊葉**　本葉の花も6曜を普通となし、花は大輪なるも、切れ咲になり易く、日々の大さ不同なるの缺點あり。

（ヘ） **鍬形葉**　前2種の如き大輪には非ざるも、咲き出づる花に大小不同の缺點なきを愛せらる。蜻蛉葉に屬するものも之に類似す。この種の花は正しき5曜の丸咲にして、切れ咲になること殆どなし。

最後に特記し參考に供すべきは、林風葉に屬するもの、渦性を帶びたる種類は素人は勿論玄人にても、大輪咲を作り出すに困難なるものなれば、寧ろ初めより手を出さざるを得策とす。

〔乙〕 **花色**　葉の形によりて、凡そ花の大小を區別するも、花の色に依りても亦多少その大小を區別し得るものなり。

（イ） **白.薄色.紫.洋紅.底紅.**等の花色を有するものは、最大輪に咲き易き部に屬す。

（ロ） **紅.躑色.藤紫.葡萄鼠.柿色.**等の花色を有するものは、稍大輪に咲き出づる素質を有するものなり。

（ハ） **煤色.桑色.濃鼠.枯葉.本紅.**等の花色を有するものは、稍困難に屬するものなり。

（ニ） **綠.猩々緋.淡黄.**等の花色を有するものは、最も至難の部に屬するものなり。

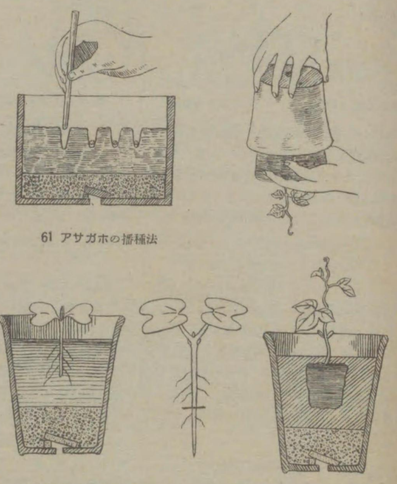
播種法

大輪物及變り物は、その播種方法少しく異れるを以て、先づ大輪物の說明をなさんとす。東京地方にては一般に5月5日頃より15日位迄の間を播種期となせるを以て、その期に至れば、鉢、苗箱、苗床の何れにても、排水可良ならしむる爲め、砂7分、土3分の割合に混じ（別に肥料分を考へず）、之を床土となし、その上に蒔付け、適宜に水を施せば、早きは1週間、遲くも2-3週間にして發芽す。甲折の充分開展したるを機とし、3-5寸鉢に1本宛移植すべし。この時鉢に入るゝ土は、次に述ぶる培養土を用ふるを可とす。

凡て大輪種の培養法にして、培養者の得意とするところは、早折卽ち最初に出たる2葉を長期間脫落せしめざることにあり。然るにこの甲折は早く脫落し易きものなれば如何なる方法に依りて脫落を防ぎ得るか、その秘傳を記述すべし。

（イ） 最初の移植は、二葉のみにして未だ本葉の出でざる内にこれを行ふにあり。之は苗を幾歩なりとも衰弱せしめざる爲めにして、若し衰弱したるものゝ脫落を急ぐは、やむを得ざることなり。

（ロ） 元肥を充分に施し、勢力を保持せしむるなり。培養土に充分なる肥料を含有



61 アサガホの播種法

62 アサガホの移植法（其一）　63 アサガホの移植法（其二）

せしめて置くことは、本目的の一必要條件なり。

（ハ） 充分なる日光を與へ、2葉を强健に育つべし。

（ニ） 施肥の際は絕對に2葉にかゝらざる樣注意を肝要とす。

（ホ） 灌水に過不足なき樣注意すべし。

以上の5要點に注意せば、少くも開花時迄附着することは確實なり。開花期迄2葉を殘存せしむることは何れの役をもなさざるも、之栽培家の誇にして、又この2葉の早落は、苗の拵方の悪きを表し、草に缺點を有せしめし證據ともなり、延ては花の品來柴に悪しき結果を來す前兆とも見らるゝものなれば、出來得る限り永く保たしめるを良策とす。

尙ほ苗に就きて注意せんに、最初普通葉の未だ出でざる時、小鉢に移植することは前述せしところなるも、この際直根の先端を切除するを可とす。又その際莖の色を調ぶべし。この莖の色は、大體花色に等しきものなれば、之に依りてその花色の判別をなし置くことは栽培上、花色の配合上便なり。尙ほ又最初の2葉の丸きものは上物にして、尖れるものは並物なることも記憶し置くべし。

變り種播種法

大輪種にては、充分に成熟したる豐滿なる大粒の種子を選出し、未熟なる小粒のものは使用せざるも、變り種を作らんとするには、之と反對に、大小不同にして、豐滿なるものより寧ろ痩せたる小粒、或は表面に隨縮凹凸あるものを使用するものなり。先づ種子の撰出を終りたらば之を一晝夜浸水し、後水より出し、膨れたるものは見込なきものなれば之を除去し、之に反し、容易に水を吸收せざるものよりは、變り物出づるを以て之を大切にし、播種の際は播種後水分の吸收、發芽に容易なる樣、其種子を取り若干の皮を剝ぎて播種すべし。

播種期は大輪種と同期にても、或は少しく遲るゝも可なり。尙ほ蒔床、蒔土、蒔方も大輪種に準ず。播種後早きは3-4日、遲きも7-8日にして發芽す。變種なるを以て、發芽にも種々變りたるものを出す。俗に坊主苗と云ひ、種皮を被れる儘何時迄も脫落せざるものあり。斯る場合は、早朝露の未だ乾かざる内、靜かにつまみ取るを可とす。2葉の開きたる時、その變り方を鑑別し培養にかゝるものなるも、これが栽培法は人に依りて種々工風せられ差異あるものなれども、大體は前に述べたる大輪の栽培法に準ずれば好結果を得らるゝものなり。

PL. 16.

150 サツマイモ
151 ひめこがぬひるがほ
152 はうちはかづら
153 ヤラツバ
154 あさがほ
155 マルバアサガホ
156 ルカウサウ
157 ウチハルカウ
158 ハゴロモルカウ

培養土

培養土は.水を施して固まる.が如きは絶對に避けざるべからず。朝顔は蒔き付後より移植する迄は.殊に肥沃なる土を要せざるを以て.肥瘦何れにても可なるも.移植後は迅速葉盛に葉葉の發育を促し.殊に大輪種に至りては.培養土の調節に一層の注意を拂はざるべからず。培養土の作り方には種々あるも.その1例を擧げんに.充分腐熟せる馬糞5分に眞土4分.川砂1分の割合に混じ.之に腐熟せる人糞尿を多量に注ぎて練り合せ.その儘雨露を避けたる所に於て稍乾燥せしむ。之を篩にかけ18立(1斗)に對し油粕1.8立(1.升).過燐酸石灰0.18立(1合)を混じて貯へ置く。この操作は遲くも.植込みの3ヶ月以前に行ふものなり。培土の良否を試驗するには.これを鉢に入れ.水を注ぎて.乾燥せしめ.鉢と土の間に隙間を生ぜざれば可なりとなし.之に反せる場合は上等ならず。

鉢植法

鉢栽培をなさんには.3·5寸鉢に第1回の移植をなしたる後直ちに灌水し.翌日より日當りよき場所へ並べ.その後20-30日を經過し.本葉4-5枚出づるを待ちて.7寸鉢に移植を行ふたり。變り物を栽培する場合は5寸鉢にても可なり。やがて莖伸び15-18糎(5·6寸)許に達し.蕾の見え初めたるものは.その儘にても可なるも.15-16糎(5·6寸)に達するも未だ蕾の見えざる場合は.2·3枝の葉を殘して摘心せば.次に出づる莖には必ず蕾の出づるものなり。莖は將來有望なりと認むるもの1本のみを殘し.他は切除すべし。但し最下方に位せる葉の間より生ぜる1-2芽は.後日2番莖となす爲め殘さざるべからず。而して1本の莖に充分勢力を集中せしめ.蕾の數20個に達したる時.その先より必ず摘み取りて.この蕾の發育を充分ならしむる樣努むべし。この頃に至れば.方々に芽を生ずるを以て.怠ることなく摘み取るを可とす。蕾の見え初むる迄は施肥或は灌水を控へ.蕾の出初めし頃充分に施すを可とす。

64 アサガホの行燈仕立圖

65 アサガホの懸崖仕立圖

2本仕立をなす場合は.1本の莖に蕾12-13箇以上を着けざる樣注意すべし。極大輪を咲かせんには.1本立となし.蕾を中數に減ずることなり。總じて朝顔の花は.最初に開くものよりも.2·3輪後に於て大形なるものなり。

鉢植せし朝顔は.支柱を施す方法と.全然之を施さざる方法の2法あり。支柱を施すを有架法と云ひ.これには支柱の作り方に依りて.鳥居形.行燈形.梯子形.帽子形の名稱あり。何れも莖を伸ばし.夫々の形に支柱を設くる方法なり。之に反し支柱を施さざるを無架法と云ひ.之には.蓆仕立法及び懸崖法あり.懸崖法は.徑18糎(5寸)許の覆高鉢(俗に胴返しと云ふ)に苗を定植し.本葉5·6枚になりたる頃(蕾の有無に係らず).その內4枚のみを殘し.他は摘除し.その葉の間より4本の芽を出さしめ.その內優勢なるもの3本を殘し.1本を除く。而して3本の芽より3·4枚の葉の出ずるを待ち.蕾の見えざる場合は.その葉の內1葉を殘し.他は摘去す。再び出づる葉の間よりは必ず蕾を生ずるを以て.各莖に蕾4箇を着け.側芽一切を除く時は.莖は四方に殘れ.遂に3莖12花を開くに至るなり。之れ1番莖にして.開花終りたらば3本共枝元より切り去り.再び出芽せしむるなり。之を2番莖と稱し.雅致あるものを生ずるも.變り物には不向なり。凡そ3番莖迄は繰返すことを得.その後は採種用となすを普通とす。

灌水法

朝顔は概言せば.多分なる水を必要とするを以て.灌水は度々之を行はざるべからず。去りとて.多きに過れば徒長するをもつて.餘程の研究を要する一作業なり。勿論氣候.温度も考慮を要するものにして一概に言ふ能はざるも.苗の幼少時は.氣温低き頃なるを以て.1日1回位を可とするも.發さ增し炎天の候に至れば.1日2·3回之を行はざるべからず。1日1回の時は.正午より午後2時頃迄の間.2回の時は.早朝8時或は9時迄の間に1回.正午より2時迄の間に1回.偶ほ3回の時は.之に夕方の1回を加ふることゝなるなり。

早朝の灌水は.汲み立ての冷水にて可なるも.晝間のものは.日にあて温まりたるものを施すを要す。而して.この2回は充分に與へ.夕方の灌水は成るべく之を避くるを可とす。然し.眞夏にありて乾燥甚だしき時.止むを得ざる場合は.出來得る限り少量を與ふるを可とす。この際多量に施す時は.徒長し易き惡結果を來す恐れあり。例外として.仲びの屈きもの.翌日開花せんとするもの等にはこの限りに非ず。普通夏の凪中に葉の萎れる位.日光に當つる時は.その成績良好なり。

1782. **マルバアサガホ**…… ヒルガホ科
Pharbitis hispida, Chois. (16圖版-155)

〔形態〕外來の一年生草草にして.全株に粗毛を布き.概形前種アサガホと同樣なれども.本種の葉は心臟形銳尖頭·全緣なるを彼と異るところとす。花は概ね葉柄より長き花梗によりて1-5花を繖形に攢簇し.小梗は萼の2倍長く.萼は脚部に長毛を布く。花冠は漏斗狀.蒴は球形にして3室を有す。〔花色〕紫色乃至白色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

1783. **アメリカアサガホ**…… ヒルガホ科
Pharbitis hederacea, Chois.

〔形態〕本種は前種アサガホに比し.その葉の中裂片は卵形をなし.基脚膨大せず.花梗は短く.單生し.萼片の毛茸は更に深く.萼片の上部は通常反捲する特徵あるものなり。〔原産地〕熱帶地方。

1784. **ナンヤウアサガホ**…… ヒルガホ科
Pharbitis insularis, Chois.

〔形態〕近時の外來に係る一年生草本にして.全株に短毛を布く。葉は有柄にして互生し.葉身は心臟狀銳尖形をなす。花は葉柄より超出せる花梗によりて2乃至多花を着け.長さ1·3糎(4分)許ある線狀披針形の苞を有し.萼片は披針狀楔形·銳頭をなす。〔花色〕艷麗なる紫色。〔花候〕夏。〔原産地〕北蕃黃島。

10. ルカウサウ屬 QUAMOCLIT.

1785. **ルカウサウ　蔦蘿**…… ヒルガホ科
Quamoclit vulgaris, Chois (16圖版-156)

(異名) カボチヤアサガホ　〔形態〕往時の外來に係り.本邦各地に於て普通に栽培せらるゝ蔓性の一年生草本にして.全株無毛種に屬す。葉は羽狀に深裂し.各裂片は狹線形をなし.多數並列す。花は長梗によりて腋出し.單花或は2-3花を着生し.小梗は花冠より短く.萼は先端5裂し.長短5箇をなし.各裂片は卵狀披針形.微に凸頭或は鈍頭をなす。花冠は漏斗狀をなし.長さ約3糎(1寸)許.先端5裂し.各裂片は卵形·銳頭をなし平開す。雄蕊は5箇ありて.花冠外に挺出し.子房は4室.蒴は廣卵形をなし.長さ6耗(2分)許あり。〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕墨西哥。

人生との關係　園地或は鉢植として觀賞に供す。殊に鉢植として細き支柱に纏絡開花せしめたるものは愛らしきものなり。繁殖は種子により苗木を仕立て移植し.肥料は油粕·魚腸の洗汁等適當なり。

1786. **ウチハルカウ**…… ヒルガホ科
Quamoclit coccinea, Moench. (16圖版-157)

〔形態〕本種も亦前種と同樣外來の園藝品種にして.一年生の蔓草なり。本種の葉は前種と異り葉身は卵狀心臟形全緣にして.先端尖り.長柄によりて互生す。花梗は長さ4·5-15糎(1·5-5寸)許にして少數或は多花を着け聚繖花序をなす。萼は先端5裂し.各裂片は楕圓形にして急激に銳尖頭をなす。花冠は盆形をなし.花徑1·3-1·5糎(4-5分)許ありて邊緣不明に淺裂す。〔花色〕濃紅色にて喉部黃色を呈す。〔花候〕夏。〔原產地〕亞米利加。

1787. **マルバルカウ**…… ヒルガホ科
Quamoclit angulata, Boj.

(異名) ルカウアサガホ·マルバアサガホ　〔形態〕前種と同樣外來の一年生蔓草にして.同じく園地に培養觀賞に供せらるゝ一種とす。葉は長柄によりて互生し.葉身は心臟形をなし.底耳稜角をなす。花は長梗によりて腋生し.不同の萼片5箇を有し.肉質にして楕圓形.芒頭をなす。花冠は盆形.筒部は5裂し.各裂片は三角形をなす。〔花色〕黃褐色。

〔花候〕夏-秋。〔原產地〕伯耳義。

人生との關係　前種と共に觀賞用として栽培せらるゝ草花なり。繁殖.栽培法等ルカウサウに同じ。

1788. **ハゴロモルカウ**…… ヒルガホ科
Quamoclit cardinalis, X. (16圖版-158)

(異名) モミヂルカウ　〔形態〕本種はルカウサウとマルバルカウとの雜種により成立したるものにして.其葉はモミヂの葉の如き形狀をなし.各裂片は狹披針形を呈するものなり。(栽培變種)

*　*　*　*　*

同旋花群

1. たうわた(蘿摩)科 ASCLEPIADACEÆ.

或はガガイモ科又スズメノヲゴケ科と稱することあり。本科の植物は多年生草本又は灌木にして、概ね纏繞性をなし、乳液を含むもの多し。葉は對生、稀に互生又は輪生にして全緣をなし、托葉を有せず。花序は種々あれども概ね腋生にして、聚繖花序をなす。花は雌雄兩全、整齊にして5出をなす。萼は下位にして、其裂片は當にありては覆瓦狀をなす。花冠は鐘形、壺形、輻形又は漏斗狀をなし、先端5裂し、各裂片は通常外方に反捲し、鐮合樣又は覆瓦樣をなす。花冠の喉部又は管狀部には毛茸を輪生し、時に鱗片又は突起物を生ずるものあり。雄蕊は5箇ありて花冠の內面殊に其基部に着生するを常とす。花絲は短くして概ね連合し單束をなすか或は分離す。葯は基部に於て花絲に附着し、2胞にして內向も、花絲の連合して成る內質の柱狀部に附着し互に相連合す。葯の頂は內向又は直立せる薄膜ありて突出す。花粉は1箇又は2箇の粉質又は蠟質の塊をなして各葯胞中に在り。花粉塊は2箇又は4箇宛相集まりて、柱頭に於ける腺に連合す。子房は2箇の心皮より成りて相分離し、上位にして、雌蕊の內柱に圍繞せらる。花柱は2箇ありて短く、頂に於て連合し、楯形の柱頭をなす。各心皮は多數稀に僅數の卵ありて2列に着生し、花盤を有せず。果實は蓇葖にして1對をなし、內に多數の種子を藏す。種子は概ね扁平の卵圓形をなし、翅を有し、其頂端に長毛を簇生す。子葉は扁平、幼根は短くして下位なり。

66 タウワタの代表花

本科の植物は熱帶、溫帶の諸地に普く播布し、世界に產するもの凡220屬2000餘種を有す。

本科所載植物名目次

アヲカモメヅル……1796
イケマ……1791
イヨカヅラ……1801
オキナハシタキヅル……1814
オホカモメヅル……1815
オホツルガシハ……1800
オホバナノカモメヅル……1821
ガガイモ……1810
カハカミカヅラ……1807
カモメヅル……1705
カラスノヒルヅル……1801
キジヨラン……1809
クサガチイケマ……1795
クサタチバナ……1794
クロバナカモメヅル……1797
クロバナロクオンサウ……1804
クロベンケイ……1805
コケイマ……1792
コカモメヅル……1816
コバノカモメヅル……1822
サクラヲン……1808
シタキサウ……1813
シホカゼサウ……1794
シマイケマ……1809
シロバナカモメヅル……1820
スズサイコ……1811
スズメノヲゴケ……1802
タウワタ……1789
タチガレハ……1800
タチカモメヅル……1797
タテヤマカモメヅル……1798
ツルガシハ……1799
ツルワタ……1789
トサカモメヅル……1818
ナガバカモメヅル……1798
ヒゴビヤクセン……1803
ヒメガガイモ……1793
ヒメカモメヅル……1819
ヒロハスズサイコ……1812
フタロキカヅラ……1806
フナバラサウ……1805
フヨウラン……1809
ホウライアヲカヅラ……1807
ホウライイケマ……1793
ホソバカモメヅル……1817
マメダタカヅラ……1806
マルバノカモメヅル……1823
モクラマカヅラ……1807
ヤナギタウワタ……1790
ロクオンサウ……1803

1. タウワタ屬 ASCLEPIAS.

1789. **タウワタ** ……タウワタ科
Asclepias curassavia, L. (17圖版-159)

(異名) ツルワタ 〔形態〕溫室植物として取扱はるゝ園藝品にして、一年生或は多年生草本に屬し、溫室內に充分に生長せしむれば1米(3-4尺)以上に生育すれども、普通は60-90糎(2-3尺)に達するものなり。この莖は花部と共に短毛を布く。葉は葉柄によりて對生し、葉身は膜質をなし、披針形或は長橢圓狀披針形にして先端尖り、銳脚をなす。花は直生の花梗を有し、繖形花序をなし總苞を伴ふ。萼は5裂し、各裂片は披針形、銳尖頭なし。花冠は輻形にして5深裂し、各裂片は長橢圓形をなし反捲す。副花冠は先端5裂し、各裂片は楯狀をなす。果實は蓇葖にして直生し、長さ6-9糎(2-3寸)許あり。〔花色〕黃赤色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞米利加。

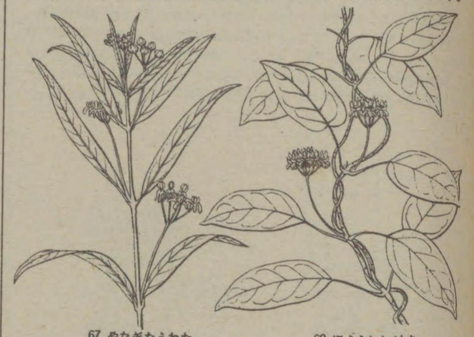
人生との關係 觀賞用に供せらるゝものにして、栽培法としては元來無帶植物なれば冬季は溫室內に保護するの必要あり。繁殖は挿木によるものとす。

1790. **やなぎたうわた** ……タウワタ科
Asclepias tuberosa, *L.*

〔形態〕本種も亦前種と同樣久しき以前より渡來せる多年生草本なれど、殊に近來切り花用として盛に培養せらるゝに至りたる1種なり。莖は60-90糎(2-3尺)に生長し、柳の葉に似たる觀ある細長葉を對生するにより、松崎氏は本和名を附せられたるものなり。去れどこの葉は全面に粗毛を有す。花形、其他前種と同樣なり。〔花色〕橙黃色。〔花候〕5-6月。

〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係 觀賞用とし栽培す。繁殖は挿木によることあれども、又種子により自由に繁殖せしめ得らるゝものにして、春日「フレーム」內に播種し、相當の大きさに達する迄注意して取扱へば花着きよき美事なるものを作り得らるゝものなり。但し冬季は「フレーム」內に保護するを可とす。


67 やなぎたうわた　68 ほうらいいけま

2. イケマ屬 CYNANCHUM.

1791. **いけま** 生馬・手皮消・白鬼督 ……タウワタ科
Cynanchum caudatum, *Maxim.* (17圖版-160)

〔形態〕山地に自生する多年生の蔓性草本にして、莖は往々紫色を帶ぶ。葉は長柄によりて對生し、葉身は心臟狀卵形をなし先端尖り、基脚心臟形をなし、長さ6-9糎(2-3寸)乃至15-18糎(5-6寸)に達す。花は徑2-2.5糎(7-8分)許の繖形をなし、6-9箇(2-3寸)の長梗によりて腋生す。本花の萼は先端5裂し、各裂片は卵形にして鈍頭をなし、花冠も亦先端5深裂し、各裂片は卵狀長橢圓形にして鈍頭をなし反捲す。副花冠は直生す。蓇葖は披針形をなし、長さ約9糎(3寸)許あり。〔花色〕白色。〔花候〕7-8月。

〔分布〕北海道・四國・九州。

人生との關係 本植物の根を煎用すれば馬の諸病に効ありといふ。故に生馬の名あり。山民は其根を消食・解毒等に煎用し、又其根を燒きて食用に供す。

1792. **こいけま** 隔山消 ……タウワタ科
Cynanchum Wilfordi, *Hemsl.*

〔形態〕本種は前種イケマに比し、花梗は葉柄より短きか、或は之と同長にして、花色淡綠色、花冠の裂片は反捲せざることを差異の特徵とす。

〔分布〕本州中部及南部・九州。

1793. **ほうらいいけま** ……タウワタ科
Cynanchum formosanum, *Hemsl.*

(異名) ひめががいも 〔形態〕山野に自生する多年生蔓草本にして、全株無毛種に屬す。葉は稍肉質をなし、長柄によりて對生し、葉身は長橢圓形にして、先端尖り、銳脚をなす。花は葉柄の半ば位の花梗を有し少數花を着け、小梗は花より短く、粉狀の短毛を布く。萼は先端5裂し、各裂片は披形をなし、毛緣を有す。花冠は肉質にして幅形をなし、蕾の3倍長く、各裂片は卵形、稍鈍頭、副冠は基脚緊縮し、上部短筒形をなし、先端5裂し、5鱗蓇をなす。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

1794. **くさたちばな** 白薇 ……タウワタ科
Cynanchum acuminatifolium, *Hemsl.* (17圖版-161)

(異名) しほかぜさう 〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、全株に細毛を布き、莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し、直生す。葉は短柄によりて對生し、葉身は橢圓形或は倒卵狀橢圓形をなし、銳尖頭、鈍脚にして全緣なり。花は聚繖花序をなして腋出し、細長の小梗により疎に着生し、房狀をなす。花冠は內外共に無毛にして先端5裂し、各裂片は卵狀披針形をなし、副冠も亦先端5裂し、各裂片は楯形をなす。果實は3-6糎(1-2寸)許を有する角狀の萠にして熟すれば裂開して白絮を出す。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

1795. **かもめづる** ……タウワタ科
Cynanchum Dickinsii, *Nakai.* (17圖版-162)

〔形態〕山野に自生する多年生の蔓性草本にして、細長なる莖をもつて他物に攀絡す。葉は長柄によりて對生し、葉身は披針形、銳尖頭にして基脚圓形或は稍心臟形をなし、長さ10糎(3寸)內外に達し、全面に細毛を散生す。花後長形の萠果を結び、先端に長毛を有する種子を出す。〔花色〕黑褐色。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

1796. **あをかもめづる** ……タウワタ科
Cynanchum ambiguum, *Matsum.*

〔形態〕山野に自生する多年生の草草にして、全株に短毛を散生す。葉は短柄によりて對生し、葉身は狹披針形、銳尖頭をなし、基脚楔形或は圓形を呈す。花は葉柄より短き花梗により繖形に排列し、各小梗は花より短し。花冠は輻形をなし、萼の約3倍長く、內面に細毛を布く。副花冠は蕊柱より遙かに短く、5深裂し、各裂片は肉質方形をなす。〔花色〕灰白色。〔花候〕夏。

〔分布〕四國・九州。

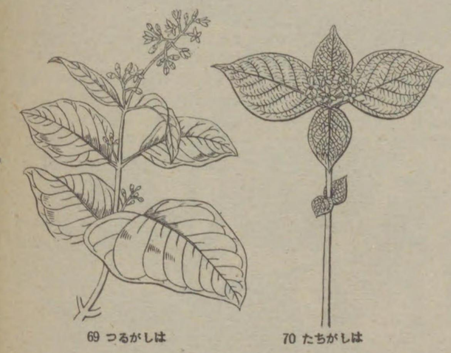
1797. **たちかもめづる** ……タウワタ科
Cynanchum glabrum, *Nakai.*

(異名) くろばなかもめづる 〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、全株に僅毛を布く。莖は直生なれども稍都は蔓狀を呈す。葉は短柄によりて對生し、葉身は長橢圓狀卵形にして短銳尖頭をなし、基脚楔形或は稍心臟形をなし、長さ45糎(1·5寸)許あり。花は聚繖花序をなして腋出し、各花は稍無梗にして繖形をなす。本花の有する萼片は狹長、花冠は約3粍(1分)許、裂片は卵形にして先端尖る。果實は狹長なる蓇葖をなし、長さ3-45糎(1-1·5寸)許に達し、熟すれば白絮を出す。〔花色〕黑紫色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

1798. **たてやまかもめづる** ……タウワタ科
Cynanchum tateyamense, *Matsum.*

(異名) ながばかもめづる 〔形態〕山地に自生する多年生蔓草にして、概形は前揭カモメヅルに似たれども、本種の花は徑1·5糎(5分)許、花冠は稍鈍狀輻形をなし、內面無毛、副毛冠は先端5裂し、各裂片は卵形にして銳頭をなすものなり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

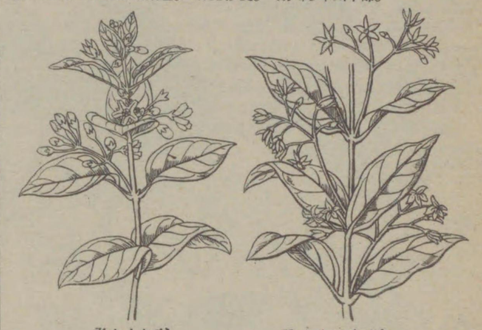

69 つるがしは　70 たちがしは

1799. **つるがしは** ……タウワタ科
Cynanchum grandifolium, *Hemsl.*

〔形態〕山中、樹叢等に自生する多年生草本にして、全株に細毛を布き、莖は細長にして、稍都は稍蔓狀を呈し上昇す。葉は有柄にして對生し、葉身は膜質をなし、下生葉は廣卵形、圓脚をなし、長さ往々20-25糎(7-8寸)に及ぶものあれども、稍葉は披針形、銳尖頭をなす。花は聚繖花序をなし多花を簇生し、花冠は外面暗紫色、內面白色にして細毛を布き、花冠の裂片は卵狀披針形にして先端尖り、副冠は5裂し、各裂片は蕊柱と同長なり。蓇葖は强度に擴開し、稍反捲す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

1800. **たちがしは** ……タウワタ科
Cynanchum nikoense, *Makino.*

(異名) おほつるがしは 〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖は直立し、高さ30糎(1尺)內外に達し、稍都には細毛を布く。葉は膜質にして葉柄によりて對生し、葉身は圓形乃至橢圓形、銳尖頭をなし細毛を散生す。花は短梗によりて頂生又は腋出し、葉長よりは著しく短く、繖形をなし密生す。萼は鐘形をなし5深裂し、各裂片は廣披針形銳頭をなす。花冠は無毛にして先端5裂し、各裂片は狹長なる橢圓形、鈍頭をなす。蓇葖は長銳尖頭をなし、長さ6-9糎(2-3寸)許を有し、2果直生し開出し、成熟すれば白絮を出す。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。


71 いよかづら　72 すずめのをごけ

1801. **いよかづら** ……タウワタ科
Cynanchum japonicum, *Hemsl.*

(異名) からすのひるづる 〔形態〕海邊に近き山野に自生する多年生草本にして、全株に細毛を布き、莖は稍都蔓狀をなし、長さ90-120糎(3-4尺)に達す。葉は短柄によりて互生し、橢圓形又は倒卵形或は圓橢圓形にして急激に銳尖頭をなし、基脚圓形なり。花は繖形花序をなし小數花を着生し、內面無毛。萼の裂片は披針形銳頭にして毛緣を有し、花冠の裂片は線狀披針形をなす。蓇葖は圓柱狀卵形をなし、先端狹搾し、熟すれば白絮を出す

〔花色〕淡黃綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係 種子の有する毛を綿の代用として使用し、莖は乾燥して他物を束ねるに用ひ、又皮部より纖維を採り種々の工業用に利用せらる。

1802. **すずめのをごけ** 白前 ……タウワタ科
Cynanchum japonicum, *Hemsl.* var. purpurascens, *Matsum.*

〔形態〕前種イヨカヅラの1變種にして、彼に比し本種は其花色暗黃色又は淡紅色或は褐紫色を呈するものなり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係 本植物の根は之を煎服すれば脚氣を治するに特効を有するといふ。

1803. **ろくおんさう** 野莢豆・合傘消 ……タウワタ科
Cynanchum amplexicaule, *Hemsl.* (17圖版-163)

(異名) ひごびやくせん 〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本にして、全株粉白色を呈し、莖は長さ1·2米(4尺)許に達す。葉は無柄にして互生し、葉身は倒卵狀長橢圓形にして先端尖り、耳脚を有し莖を抱く。花は聚繖花序をなし稍上葉腋上に着生し、小梗は花と長さ相同じ。萼は5裂し、各裂片は卵狀披針形銳頭をなし、花冠も亦先端5裂し、各裂片は卵狀披針形銳頭をなし、內面に細毛を布く。副花冠は5裂し、各裂片は倒卵狀箆形をなす。蓇葖は圓筒狀銳尖形をなす。〔花色〕綠黃色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州。

1804. **くろばなろくおんさう** ……タウワタ科
Cynanchum amplexicaule, *Hemsl.* var. castaneum, *Makino.*

〔形態〕本種は前種の1變種にして花色紫黑色を呈するものなり。

〔分布〕九州。

1805. **ふなばらさう** 知微老 ……タウワタ科
Cynanchum atratum, *Bunge.* (17圖版-164)

(異名) くさだちいけま・くろべんけい 〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本にして、全株に短毛を密布し、概形クサタチバナに似たれども

全體に大形なり。葉は短柄によりて互生し、葉身は質厚く、楕圓形凸頭をなし、基脚圓形或は心臓形をなし縁邊波狀をなす。花は有梗にして梢上葉腋上に多數簇生す。花冠は先端5裂し、各裂片は卵形にして先端往々反捲し、外面に短毛を布く。副花冠は先端5裂し、各裂片は圓形、鋭頭をなす。花後蒴果を生ずること前種に同じ。〔花色〕紫黒色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・九州・臺灣。

3. マメヅタカヅラ屬 DISCHIDIA.

1806. **まめづたかづら** ……タウワタ科
Dischidia formosana, *Maxim.*

〔異名〕ふくろねかづら 〔形態〕山野に自生する匍匐性の多年生草本にして、全株無毛種に屬す。葉は短柄によりて互生し、葉身は肉質を呈し圓形、凹頭、基脚楔形をなす。花は小形にして小數花を花梗によりて腋出し、各花は小梗を有す。本花の有する蒴は5深裂し、各裂片は廣楕圓形鈍頭をなし、花冠は壺形にして先端5裂し、各裂片は長楕圓狀披針形をなし、内面に絨毛を布く。副花冠も亦5裂し、各裂片は鋭頭をなし反捲す。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

73 まめづたかづら　73½ ほうらいあをかづら

4. ホウライアヲカヅラ屬 GYMNEMA.

1807. **ほうらいあをかづら** ……タウワタ科
Gymnema affine, *Decne.*

〔異名〕かはかみかづら・もくらまかづら 〔形態〕山野に自生する藤本にして枝條には僅毛を布く。葉は葉柄によりて互生し、葉身は倒卵形、廣卵形或は長楕圓形にして、鈍頭或は短鋭尖頭をなし、基脚狹或は圓形をなし長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許あり。花は聚繖花序をなし繖形に排列し、花梗は葉柄と同長。蒴は先端5裂し、各裂片は細小なる鈍頭の卵形をなし、花冠は徑4粍(1·5分)許、先端5裂し、各裂片は廣潤、小形肉質にして内向し、鱗片は花冠の裂片と交互す。柱頭は圓錐形にして鈍頭をなす。蓇葖は堅硬にして脚部廣く稜を有し多季に至り成熟す。〔花候〕夏-秋。〔分布〕臺灣。

5. サクララン屬 HOYA.

1808. **さくららん** 毬蘭 ……タウワタ科
Hoya carnosa, *R. Br.* (17圖版-165)

〔形態〕山野に自生する液質の藤本にして、枝條には短毛を布く。本種は時に觀賞用として栽培せらるゝことあり。葉は有柄にして互生し、肉質を呈し、葉身は廣卵狀心臓形乃至廣楕圓形をなし、短鋭尖頭にして、長さ4·5-7·5糎(1·5-2·5寸)許あり。花は短梗によりて繖形花序に排列す。本花の有する蒴は小形にして5深裂し、花冠は肉質にして軸形をなし、花徑1·5-1·8糎(5-6分)許、先端5裂し、各裂片は廣卵形をなし、反捲し、内面に乳頭を布く。副花冠は廣楕圓形鋭頭にして凸面を有する葉狀をなし、邊緣外旋す。蓇葖は線形をなし、長さ7·5-10糎(2·5-3寸)許に達す。〔花色〕暗白色にして中心淡紅色を呈す。〔花候〕夏。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

人生との關係 觀賞用として愛養せらる。本植物は寒氣を恐るゝにより多日は温室内に保護する必要あり。

6. キジョラン屬 MARSDENIA.

1809. **きじょらん** 鬼女蘭・牛嬭菜 ……タウワタ科
Marsdenia tinctoria, *R. Br.* (17圖版-166)

(異名) しまいけま・ふようらん 〔形態〕山地、梢谷等に自生する藤本にして、葉には初め葉柄と共に短毛を密布す。葉は有柄にして互生し、葉身は圓形にして先端尖り、稍心臓形或は戟形をなす。花は聚繖花序に排列し、花梗は葉柄と同長にして10餘花を着く。本花の有する蒴は鐘形にして先端5裂し、各裂片は卵圓形を呈し短毛を布く。花冠は鐘形にして正開することなく、先端は5裂し、各裂片は倒卵狀長楕圓形、鈍頭をなし、喉部に毛を有す。副花冠は小形にして葉狀をなす。葯は柱頭より超出し、柱頭は圓錐形凹頭をなす。蓇葖は狹長形鋭尖頭をなし、長さ12-15糎(4-5寸)許に達す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

7. ガガイモ屬 METAPLEXIS.

1810. **ががいも** 蘿摩 ……タウワタ科
Metaplexis japonica, *Makino.* (17圖版-167)

〔形態〕山地、原野等に自生する多年生草本にして、白色の乳液を含み、全株に軟毛を有し、莖は他物に纏絡上昇す。葉は長柄によりて互生し、葉身は卵狀心臓形をなし急激に先端尖り、基脚心臓形をなす。この葉は長さ6-9糎(2-3寸)許ありて下面には白粉を布く。花は總狀花序をなし花梗によりて腋出し、其長さ花梗と合せて9-12糎(3-4寸)に達し、各花は小梗を有す。本花の有する蒴は先端5深裂し、各裂片は鑿形をなし先端尖る。花冠は軸形をなし5裂し、各裂片は披針形をなし反捲し、縁毛を密生す。副花冠は低く環形をなし、5箇の凹部は葯と互生し、葯の先端には膜質心臓形の附屬體あり。蓇葖は卵狀披針形にして長さ9-12糎(3-4寸)許に達す。〔花色〕表面淡綠色内面淡紫色を呈す。〔花候〕7-8月。〔分布〕北海道本州・九州。

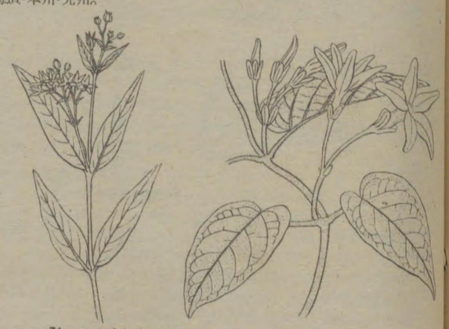
人生との關係 本植物の果實中に藏する白毛を綿の代用とし、或は針枕に包み、又印肉の材料に供す。俗にパンヤと稱するもの之なり。

又この白毛を止血劑として應用し、或は葉の乾燥したるもの燻燒し諸臭氣を去るに妙なりとして使用するものあり。

8. スズサイコ屬 PYCNOSTELMA.

1811. **すずさいこ** 徐長卿 ……タウワタ科
Pycnostelma paniculatum, *K. Schm.* (17圖版-168)

〔形態〕林野に自生する多年生草本にして、莖は匍長をなし、高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は短柄によりて對生し、葉身は披針狀線形或は線形をなし先端及基脚共に尖り、恰も柳の葉に似たれども、この葉は上面に短毛を散生す。花は房狀花序をなし多花を着生し、花梗は葉長より短きものなり。蒴は5裂し、各裂片は細小披針形にして先端尖り。花冠は短形にして先端5裂し、各裂片は長楕圓狀披針形をなす。副花冠は先端5裂し、雄蕊は上方に高く着生し側偏、肥厚せり。蓇葖は細長にして長さ約7·5糎(2·5寸)許あり。〔花色〕淡黄綠色にして稍暗紫暈を帶ぶ。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。



74½ ひろはすずさいこ　74½ したきさう

1812. **ひろはすずさいこ** ……タウワタ科
Pycnostelma paniculatum, *K. Schm.* var. latifolium, *Makino.*

〔形態〕本種は其葉長楕圓狀披針形或は披針形にして、梢葉は狹披針形を

PL. 17.

159 タウワタ　160 いけま　161 くさたちばな
162 かもめづる　163 ろくおんさう　164 ふなばらさう　165 さくららん
166 きじよらん　167 ががいも　168 すずさいこ

なし。實きもの徑は3糎（1寸）許に達す。〔分布〕本州南部。

9. シタキサウ屬 STEPHANOTIS.

1813. **したきさう** …… タウワタ科
Stephanotis japonica, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する藤本にして、嫩枝には軟毛を密布し銀白色を呈するものあり。葉は有柄、膜質にして橢圓形乃至卵形をなし、先端尖り、基脚圓形或は心臟形をなし全緣なり。この葉は長さ4·5–15糎（1·5–5寸）許、兩面脈上に細毛を布く。花は葉長より短き花梗によりて聚繖花序をなし、腋出し、2–5花を着く。本花の有する苞は細小の鱗片狀をなし、萼は稍不同なる卵狀披針形或は狹長橢圓形をなし、花冠は肉質にして盆形をなし、先端5裂し、各裂片は披針形乃至卵狀披針形をなす。副花冠は5裂し、各裂片は狹三角形をなし、全部花絲柱に著生す。〔花色〕白色。〔花候〕5–6月。

〔分布〕本州中部及南部·四國·琉球·臺灣·支那。

（附記） 本植物の花は夜間芳香を放つ得性あり。物品識拾遺と稱する著書にシタキサは熊野山中に產す。柔性イケマに似たりとあるは即ち本植物のことを記したるものなり。

1814. **おきなはしたきづる** …… タウワタ科
Stephanotis lutchuensis, *Koidz.*

〔形態〕本植物は前種シタキサウに比し、花序は多數花より成り、花は彼より小さく、花冠1·8–2·4糎（6–7分）を出でざるものなり。〔分布〕琉球。

10. カモメヅル屬 TYLOPHORA.

1815. **おほかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora aristolochioides, *Miq.*（18圖版–169）

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして、全株無毛種に屬す。葉は長柄によりて對生し、葉身は三角狀披針形乃至披針形をなし、長さ往々15糎（5寸）許に達するものあり。花は聚繖花序をなし葉長より遙に短く、各花は小梗を有す。花冠は先端5裂し、內外に細毛を散生す。萼裂は2双をなし細長く先端尖り、攲閉して一直線をなす。〔花色〕淡暗紫色。〔花候〕夏。

〔分布〕四國·九州。

1816. **こかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora nikoensis, *Matsum.*（18圖版–170）

〔形態〕山野に自生す多年生蔓草にして、莖は疳長、稍部には短毛を布く。葉は葉柄によりて對生し、葉身は披針形をなし先端尖り、上面に短毛を布く花は有梗にして葉より長く、小梗は絲狀をなす。萼は無毛にして先端5裂し、各裂片は三角形銳頭をなす。花冠は副形をなし、各裂片は長橢圓形鈍頭をなし、內面に細毛を密布す。副花冠は蕊柱の半ば長く、各裂片は背部より壓扁し圓形にして直生す。葯の附屬物は三角形をなし、蕊柱は短形にして壓扁す。〔花色〕帶褐色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州。

1817. **ほそばかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora Oshimae, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の山野に自生するものにして、概形前種に似たれども其葉彼に比し細長なるものなり。

1818. **とさかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora shikokiana, *Matsum.*

〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本にして、莖は毛茸を有せず。葉は對生、稀に3片の輪生を見ることあり。葉身は卵狀披針形或は披針形をなし先端尖り、基脚心臟形をなし、上面脈上及邊緣に短毛を布く。花冠は內面に毛を有することなく、副花冠は氈毛を有し、附屬體は扁圓狀腎臟形を有し花粉塊は廣橢圓形或は橢圓形をなす。〔分布〕四國

1819. **ひめかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora stenoloba, *Warb.*

〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本にして、葉は圓卵形をなし、下面に僅毛を布き、花序は腋間に着生し、花梗は疳長、小梗は毛管狀をなし、萼裂片並に花冠の裂片は披針形を呈するものなり。〔分布〕琉球。

1820. **しろばなかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora sublanceolata, *Miq.* var. albida, *Makino.* et *Nemoto.*

〔形態〕本種はコバノカモメヅルに酷似したるものにして、花色白色を呈するものなり。〔分布〕北海道·本州·九州。

1821. **おほばなのかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora sublanceolata, *Miq.* var. macrantha, *Makino.* et *Nemoto.*

〔形態〕本種も亦コバノカモメヅルに酷似したるものなれども、本種は花形稍大形にして帶黃綠色を呈するものなり。〔分布〕本州北部及中部。

75 まるばのかもめづる　76 こばのかもめづる

1822. **こばのかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora sublanceolata, *Miq.* var. obtusula, *Makino.* et *Nemoto.*

〔形態〕原野の水邊地に自生する蔓性の多年生草本にして、全株に細毛を布く。葉は3糎（1寸）許の葉柄によりて對生し、葉身は廣披針形にして先端尖り、基脚楔形をなす。花は葉長の2倍の花梗により繖形に排列し、各花は細梗を有す。萼は先端5裂し、各裂片は卵狀披針形を呈し、花冠は無毛にして先端5裂し、各裂片は披針形をなす。副花冠も亦先端5裂し、肉質、葉狀をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕8月。〔分布〕本州中部。

1823. **まるばのかもめづる** …… タウワタ科
Tylophora Yoshinagae, *Makino.*

〔形態〕本種はオホカモメヅルに酷似せるものなれども、彼に比し葉は薄き膜質にして、葉身は廣卵形にして基脚心臟形をなし、先端尖り稍尾狀を呈し、長さ10糎（3·5寸）許に過ぎざるものなり。〔分布〕四國。

1824. **つるもうりんぐわ** …… タウワタ科
Tylophora Tanakae, *Maxim.*（18圖版–171）

〔形態〕山野に自生する多年生の蔓草にして、全株に短毛を布き、莖は細長にして他物に纏絡上昇す。葉は有柄にして對生し、葉身は圓橢圓形或は圓卵形を呈し、基脚楔形或は稍心臟形をなし、兩面共に毛茸の外淡紫色の細點を布く。花は複繖形狀をなし稍上葉腋上に着生し、各花は細小梗を有す。萼は先端5裂し、各裂片は卵形にして銳尖頭をなし、花冠は稍幅形を呈し、無毛、各裂片は卵形にして稍銳尖頭をなす。副花冠は肉質棄狀を呈し、橢圓狀圓錐形をなし、先端尖る。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州·琉球。

（附記） 時に園藝用として栽培せらるゝことあり。

*　*　*　*　*

2. けふちくたう(夾竹桃)科　APOCYNACEÆ.

本科に屬する植物は草本又は蔓繞木本なれども，稀に直立せる喬木及灌木なることあり。葉は單一にして全緣をなし，一般に交互對生をなすも稀に輪生又は互生し，極めて狹き側脈を有すること稀ならず。托葉は極めて稀に存在し葉間に生ず。花は4又は5の數より成り，苞及小苞を有し概ね多數相集りて複總狀花序をなし，この花序は又2出聚繖花序又は往々螺旋狀花序をなす。花は兩性にして常に放射相稱をなし，萼は通常殆んど基部まで深く5(極めて稀に4)裂し，各裂片は何れも同形又は不同形にして多少深く覆瓦狀をなし，基部に腺を有すると有せざるとあり。

(花式圖)　77 ケフチクタウ

花冠は合着せる花瓣より成り，往々皿狀又は漏斗狀，稀に鐘狀又は壺狀をなし，內面は平滑なるか或は咽喉部又は基部に於て往々下向せる毛を有す。花冠は通常5稀に4裂し，內に通常4-5箇の雄蕊を着生し，其裂片と互生す。花絲は概ね短く，極めて稀に合一して筒狀をなす。葯は通常長線形又は針形をなし，先端內出す。花粉は粒狀なり。花盤は稀に缺くも通常は皿狀にして全緣なるか又は淺裂し，又は2-5箇の鱗片より成ること稀ならず。心皮は概ね2箇(極めて稀に5箇あり)にして分離するか又は合一し，上位なるか又は一部分下位なり。卵子は倒生にして懸垂するか又極めて稀に直立す。花柱は合一して概ね絲狀をなせども上部は往々肥厚せる1箇の極めて多樣なる形を有する柱頭をなす。果實は單一にして裂開せず概ね漿果をなすか又は往々2箇の分果より成り，この分果は乾燥して蒴狀に裂開するか稀に肉質をなす。又往々閉果にして漿果狀又翅果狀又は石果狀をなす。種子は多角形にして往々偏壓せられて扁平をなし，1箇の翅を有するか或は通常1箇の毛冠を有す。胚乳は硬骨狀又は肉質をなし僅少なるか又は往々缺如す。胚は眞直にして殆んど種子と同長，子葉は扁平なるか又は稀に回旋するか，又は褶曲し，概ね上向せる幼軸を有す。

本科の植物は概ね熱帶に產するものにして，溫帶には僅少なり。世界を通じ凡そ130屬，1100種を有すれども，本邦には邦內產及外來種を合し大凡13屬，3-40種許を生育す。

本科所載物種名目次

アカハゼ……1830
アリアケカヅラ……1826
インドソケイ……1835
オホバアリアケカヅラ1825
オホバナケフチクタウ1839
キバナケフチクタウ……1839
ケテイカカヅラ……1841
ケフチクタウ……1833
コバナアリアケカヅラ1827
ゴムカヅラ……1831
ゴムカヅラモドキ……1830
サカキカヅラ……1829
サンイウクワ……1838
ストロファンツス……1837
セイヤウケフチクタウ1834
セキダカヅラ……1840
タイリンアリアケカヅラ
ヲ……1825
チヤウジカヅラ……1843
チヤウジサウ……1828
ツルギキヤウ……1845
ツルニチニチサウ……1845
テイカカヅラ……1840
テウセンセキダカヅラ1841
ナガバテイカカヅラ…1842
ニシキカヅラ……1829
ニシキラン……1829
ニチニチクワ……1832
ニチニチコウ……1832
ニチニチサウ……1832
フイリノツルニチニチサウ……1846
ヘンデルギ……1826
ホウライアヲキ……1826
ホウライオホケフチク1826
マサキヅル……1840

1. ヘンデルギ屬　ALLAMANDA.

1825. **オホバナアリアケカヅラ** …… ケフチクタウ科
Allamunda cathartica, L.（18圖版-172）

（異名）タイリンアリアケカヅラ　〔形態〕外來の園藝種にして藤本をなし，全株無毛種に屬す。葉は4片づゝ輪生し，稍小形，膜質にして倒卵形をなし先端尖る。花は鮮黃色にして，花喉に白點を有し，花冠の筒部は1側膨大し，各裂片は銳尖頭をなす。〔原產地〕南亞米利加。

1826. **ヘンデルギ**（18圖版-173）…… ケフチクタウ科
Allamanda cathartica, L. var. *Hendersoni*, Bailey.

（異名）アリアケカヅラ　〔形態〕前種と同樣外來の園藝種にして，全株無毛種に屬す。本種の葉は3-4片輪生し革質にして，橢圓狀卵形をなし，先端尖り全緣をなす。花は頂生或は腋出し，萼は先端5深裂し，各裂片は卵形にして先端尖る。花冠は筒狀漏斗形をなし，長さ10糎(3寸)許，花喉に5箇の斑點を有す。雄蕊は5箇ありて花絲は短く，子房は1室，胚は球形にして多くの刺を有す。〔花色〕黃橙色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

1827. コバナアリアケカヅラ …… ケフチクタウ科
Allamanda cathartica, L. var. *Williamsii*, Hort.

〔形態〕前種の一栽培品種なり。前種に比し本種は枝條疳長にして短毛を布き，葉は短柄によりて3-4片づゝ輪生し，葉身は橢圓形をなし兩面及葉柄に毛茸を有す。花序は短形，苞は短小，萼は披針形或は橢圓形をなす。花冠は筒狀にして彎曲し，長さ6糎(2寸)許に達す。花筒は上部鐘形をなし，赤褐色を呈し，弦部は4·5糎(1·5寸)許を有し，各裂片は卵形鈍頭をなし，長さ1·8糎(6分)許ありて花喉は濃黃色に赤褐色采を有す。〔花色〕黃色。〔栽培證〕

2. チャウジサウ屬　AMSONIA.

1828. **ちゃうじさう** 水甘草·丁字草 …… ケフチクタウ科
Amsonia elliptica, *Roem.* et *Schult.*（18圖版-174）

〔形態〕原野の稍水濕地に自生する多年生草本にして，全株無毛種なり。莖は直立し，高さ60糎(2尺)許に達す。葉は披針形全緣にして其狀柳の葉の如し。花は總狀花序をなして頂生し，花梗より短き，細線形の苞を有し萼は小形にして先端5裂し，各裂片は鑿形をなす。花冠は盆形をなし，花喉には長軟毛を有す。この花冠は5中裂し，各裂片は長さ1糎(3分)內外の披針形をなす。雄蕊は5箇ありて短絲により花喉梗に着く。子房は2室，柱頭は球形をなす。蒴葉は2雙にして狹圓柱形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

人生との關係　花色，形態等優美なるものなれば庭園に栽植し，或は鉢植として觀賞に供す。

3. サカキカヅラ屬　ANODENDRON.

1829. **さかきかづら** 紫金藤 …… ケフチクタウ科
Anodendron laeve, *Maxim.*（18圖版-175）

（異名）にしきらん·にしきかづら·しきんとう　〔形態〕暖地海邊の山地に自生する常綠の蔓性灌木にして，嫩枝を除き莖，枝共に紫黑色を呈す。葉は狹長橢圓形又は披針形にして短銳尖頭，全緣をなし，8對ばかりの針形をなせる肋脈を有し，平滑にして光澤を有す。この葉は長さ6-9糎(2-3寸)許にして淡黑色の短柄を有す。花は3出聚繖花序又は密集せる圓錐花序をなし枝頭に着生す。萼片は小さく狹細なる卵形をなし，腺を有せず。花冠は筒狀をなし內面に毛茸を有し，各裂片は細長にして針形をなし，上面に細毛を有す。蒴葉は硬膜を有し先端尖り，種子は卵形にして嘴を有し，種髮長きものなり。〔花色〕綠黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·琉球·臺灣·支那の南部。

（附記） 1種臺灣に產するものにオホサカキカヅラ(A. Benthamianum, Hemsl.)一名オホシキントウと稱するものあり。本種は本屬中最も大形花を有するものなり。

4. ゴムカヅラモドキ屬　ECDYSANTHERA.

1830. **ごむかづらもどき**（18圖版-176）… ケフチクタウ科
Ecdysanthera rosea, *Hook.* et *Arn.*

（異名）あかはぜ　〔形態〕琉球，臺灣等の山野に自生する藤本にして，枝は疳長，他物に纏絡上昇す。葉は有柄膜質にして，橢圓形或は橢圓狀倒卵形をなし，先端短銳尖をなすか或は鈍頭，基脚狹し。この葉は上面滑澤，下面粉白色を呈し，長さ3-4·5糎(1·0-1·5寸)許あり。花は圓錐花序をなして頂生し多花を着く。各小梗は萼より短く，萼は細小にして5深裂し，各裂片は披針形をなす。花冠は廣鐘形をなし，長さ5-7粍(1·5-2分)許，各裂片は廣闊鈍頭をなし，筒部より短し。雄蕊は花筒の基脚に着生し，花絲は短く，子房は上位，花柱は短形，柱頭は橢圓形をなす。蒴葉は2雙にして狹開し，長さ9糎(3寸)許あり。〔花色〕淡紅色。〔分布〕琉球·臺灣。

1831. **ごむかづら** …… ケフチクタウ科
Ecdysanthera utilis, *Hayata.* et *Kawakami.*

〔形態〕山野に自生する蔓性灌木にして，葉は長柄を有し，革質をなし，橢圓形にして先端，基脚共に鋭形をなし，長さ10糎(3寸)許あり。花は3出の聚繖花序をなし圓錐狀を呈し，短毛を布く。萼は先端5裂し，各裂片は三

169 おほかもめづる

170 こかもめづる

171 つるもうりんくわ

172 しろはなかもめづる

173 ヘンデルギ　174 ちやうじさう

175 さかきかづら

176 ごむかづらもどき　177 ニチニチサウ

角形銳頭．花冠は稍壺形をなし．花徑1·5糎（5厘）許．筒部は廣橢圓狀鐘形をなし先端5裂し．各裂片は圓截形をなす。蒴葵は2箇を着け．連續擴開し長さ9糎（3寸）許あり。〔花色〕黃白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球·臺灣。

5. ニチニチサウ屬 LOCHNERA.

1832. **ニチニチサウ** 長春花 ……ケフチクタウ科
Lochnera resea, Reichb.（18圖版-177）

（異名）ニチニチクワ・ニチニチコウ 〔形態〕往年の舶來に係る一年生草本にして，一般的に園養せらるゝものにして．全株に短毛を布き．莖は高さ36糎（1·2尺）許に達す。葉は有柄にして對生し．卵形或は長橢圓形圓頭にして微に凸端をなし．基脚狹く．長さ2·4-4·5糎（0·8-1·5寸）許あり。花は腋出し．單生或は双生し稍無梗なり。萼は鐘形をなし先端5裂し．各裂片は鑿形をなす。花冠は盆形をなし．筒部は細長く．長さ1·8糎（6分）許ありて外面に細毛を布く。花冠の裂片は倒卵形鈍頭をなし．微に凸端を有す。雄蕊は5箇ありて閉在し．柱頭は圓柱形をなし．下部に膜質輪を有す。蒴葵は狹圓柱形をなし双生し．斜めに擴開す。〔花色〕淡紅色或は白色。

〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係 鉢植として觀賞し．又植込等に栽植す。

6. ケフチクタウ屬 NERIUM.

1833. **ケフチクタウ** 夾竹桃 ……ケフチクタウ科
Nerium odorum, Soland.（19圖版-178）

〔形態〕往時の外來に係り．專ら園地に栽植せらるゝ常綠の灌木なり。葉は革質にして線狀披針形．銳尖頭をなし．基脚狹く．長さ12-18糎（4-6寸）許に達す。この葉の側脈は中肋に稍直角をなし羽狀に平行す。花は聚繖花序をなして頂生し．花徑凡そ3糎（1寸）許あり。萼は先端5裂し．各裂片は披針狀鑿形をなし．花冠は筒狀鐘形を呈し．副花冠は4-7裂し．各裂片は稍同長なり。本花には往々重瓣をなすものあり。蒴葵は双生し圓柱形にして15-20糎（5-7寸）の長さに生長す。〔花色〕紅色或は白色。〔花候〕夏。

〔原産地〕印度。

人生との關係 花色美しきものなれば常に庭園に栽植し觀賞せらるゝものなれども．時として鉢植としても愛玩せらるゝことあり。

1834. **セイヤウケフチクタウ** …… ケフチクタウ科
Nerium Oleander, L.（19圖版-179）

〔形態〕同じく外來の品種なれども本種は前種に比し．花は稍小さく．又香氣を有せず。副花冠は3-4裂し．各裂片は不同にして．長披針形をなし．葯の附屬體は短小にして閉在す。〔原産地〕南亞米利加。

7. インドソケイ屬 PLUMIERA.

1835. **インドソケイ** …… ケフチクタウ科
Plumiera acutifolia, Poir.（19圖版-180）

〔形態〕本植物も亦外來の灌木にして．葉は葉柄を有し．長橢圓形．銳尖頭銳尖脚にして全緣をなし．長さ往々30糎（1尺）許に達するものあり。花は長梗によりて聚繖花序をなし多花を着く。萼は細小にして杯形をなし．先端5深裂し．各裂片は卵形をなす。花冠は漏斗形をなし．筒部は狹長なれども．雄蕊の着生部に於て稍膨大す。子房は半下位をなし．花柱は短く．柱頭は短2岐し．蒴葵は長橢圓形鈍頭にて直生し．長さ15糎（5寸）許あり。

〔花色〕外面は稍淡紅色なれども內面は白色．基脚黃色を呈す。〔花候〕夏。

〔原産地〕印度。

8. ホウライアヲキ屬 RAUWOLFIA.

1836. **ほうらいあをき** ……ケフチクタウ科
Rauwolfia chinensis, *Hemsl.*（19圖版-181）

（異名）ほうらいおほけふちく 〔形態〕臺灣の山野に自生する落葉灌木にして．葉は短柄によりて對生．稀に3-5片の輪生をなし．葉身は膜質披針形全緣にして下面に白粉を有す。花は聚繖花序をなして腋出し．單生或は2-5花簇生す。萼は細小にして先端5深裂し．各裂片は三角形或は鑿形．銳頭をなし先端反捲す。花冠は盆形をなし．筒部は雄蕊の附着部に於て膨大すること前種の如し。子房は上位．花柱は絲狀をなし．柱頭は短圓柱形をなし．下部に膜質の緣部を有す。果實は核果にして廣橢圓形をなし．帶黑色に成熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕臺灣。

9. ストロファンツス屬 STROPHANTHUS.

1837. **ストロファンツス** …… ケフチクタウ科
Strophanthus hispidus, DC.（19圖版-182）

〔形態〕亞弗利加の西部及東部に産出する藥用植物なり。幹高さ3米（1丈）餘に達する逆性の灌木にして．全面に淡黃色或は類白色の絨毛を密生す。葉は短柄によりて對生し．葉身は橢圓形をなし全緣にして葉と同じく絨毛を有す。花は尖銳なる副葉を有する花梗を出し奇形をなせる合瓣花を着け繖形花序をなす。萼は先端5裂し．各裂片は披針形をなし毛茸を有す。花冠は漏斗狀にして下部は筒狀．上部は鐘狀をなし先端5裂し．各裂片は頗長き線狀をなし毛茸を密生す。雄蕊は5箇．子房は2室に分れ．多數の胚子を藏す。種子は頂端尖銳にして絨毛を有し．先端に毛冠を頂く刺狀を着く。

〔花色〕外部は白色なれども內部及基脚は黃色にして紫色の斑點を有す。

人生との關係 本植物の種子を「ストロファンツス」子（Semen Strophanthi）と稱し藥用に供す。日本藥局方には「ストロファンツス·コンペ」の種子のみを採用す。本品は多くの毛茸を被り．其毛茸は種子の先端に向つて偃伏し．帶綠灰褐色或は類褐色を呈し．常に著しく類綠色の光彩を帶び味甚だ苦きものなり。

「ストロファンツス」子は心臟强壯藥及利尿藥として賞用せられ．其製劑は丁幾劑なり。

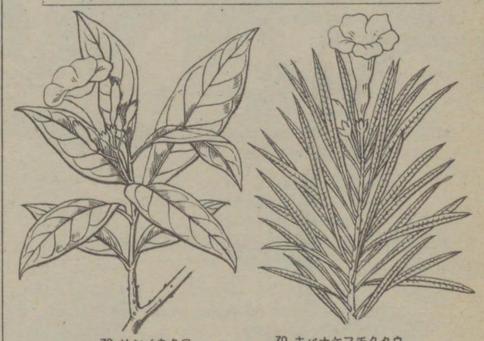
10. サンイウクヮ屬 TABERNAEMANTANA.

1838. **サンイウクヮ** …… ケフチクタウ科
Tabernaemontana coronaria, Willd.

〔形態〕外來の灌木にして．枝條は2出生し．葉は有柄．膜質にして不齊の橢圓狀長橢圓形銳尖頭．鈍脚或は銳脚をなし．緣邊波狀をなす。花は聚繖花序をなし．之れも2出生し．4-6花を着生す。萼は深く5裂し．各裂片は卵形にして鈍頭をなす。花冠は狹圓筒狀にして先端5裂し．各裂片は長橢圓形鈍頭をなす。この花冠の筒部は雄蕊の着部に於て擴張す。心皮は離生し．花柱は絲狀を呈す。蒴葵は毛茸を有し．長さ6-7·5糎（2-2·5寸）許あり。

〔花色〕純白色。〔原産地〕印度。

（附記） 本說明に揭げたる圖版は高柳悅三郎氏が臺灣に於て採集せられたるものより寫生せるものなり。



78 サンイウクワ

79 キバナケフチクタウ

11. キバナケフチクタウ屬 THEVETIA.

1839. **キバナケフチクタウ** …… ケフチクタウ科
Thevetia neriifolia, Juss.

（異名）オホバナケフチクタウ 〔形態〕外來の常綠灌木にして多く園地に栽培せらるゝ觀賞植物なり。葉は綠形にして先端尖り．邊緣反捲し．長さ9-12糎（3-4寸）許あり。花は聚繖花序をなして頂生し．少數花或は1花を着く。萼は5深裂し．各裂片は披針形銳頭をなす。花冠は漏斗形をなし．花喉に卵形の鱗片を有し．花筒と共に短毛を布く。雄蕊は花筒の膨出部に着生し．葯は銳尖頭をなし．柱頭に倚着し．子房は上位．花柱は絲狀．柱頭は廣潤なり。果實は核果にして鈍頭をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。

〔原産地〕熱帶亞米利加。

人生との關係 園地に栽培し觀賞に供す。

12. テイクヮカヅラ屬 TRACHELOSPERMUM.

1840. **ていくゎかづら** 絡石 (19圖版-183)・ケフチクタウ科
Trachelospermum asiaticum, *Nakai*. var. intermedium, *Nakai*.

(異名) せきだかづら・まさきづる 〔形態〕山野に自生する常綠藤本にして.莖には氣根を有し.他物に着き上昇し.枝條には褐色の粗毛を布く.葉は革質にして.卵狀披針形鋭頭を呈し全緣或は細齒牙緣をなし.表面滑澤にして白斑を有し. 下面無毛なり。花は聚繖花序をなし疎に腋出或は頂生す。萼は細小にして5深裂し.各裂片は披針形鋭頭をなし毛緣を有す。花冠は盆形をなし. 筒部は內面に毛を有し. 先端5裂し.各裂片は回旋狀に排列平開し.緣邊波狀をなし反捲す。雄蕊は花筒の中部以上に着生し.花絲は短形にして廣濶. 葯は鋭尖頭をなす。子房は下位.花柱は絲狀. 柱頭は廣圓柱狀圓錐形をなす。果實は圓筒形にして稍彎曲し.種子は長形の種鬚を有す。〔花色〕白色にして芳香を放つ。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮。

人生との關係 庭園の裝飾的垣根等に纏繞せしむれば.枝條繁茂し.四時青々として風致を添ふるものなり。又盆栽用として培養せらるゝものなれば以下少しく本植物の盆栽法につき記述し同好者の參考に資せんとす。

絡石の盆栽法 盆栽用の本植物は頗る其品種多く.次に揭げたる種の外.葉の極めて小形にして密生し縮緬樣の皺を有するものあり (園藝家はチリメンカヅラと稱す)。 本種は夏季には帶褐黃色部を存し綠色を呈せざれども秋に至りて良く紅葉し. 枝條も亦細小なるものなり。この外普通のものにても斑葉種ありて.幼時は白色部に淡紫色を帶び甚だ美麗なるものなり。

以上何れの種類にても皆盆栽に供せらるゝものにして.樹容は單幹.半懸崖. 懸崖等に仕立つるものなり。併本植物の幹は容易に太くならざるものなれば. 相當なる形をなす迄には甚だ長年月を要するものなり。それのみならず本植物は其根或は根側より不定芽の發生夥しきものなれば. それ等は着根より取除りくことを肝要なるものとす。

移植は年々行ふを良とす。即ち砂2分に腐葉土8分位を混じたるものを使用し.根を痛めざる樣植換へを行ふなり。

かくして夏日は充分に施肥し. 日光は午前中丈け受けしむれば葉色佳良なり。新梢は2-3節を殘して摘み去り翌春に至り1節に短縮せしむるを可とす。

元來が水分を多く必要とする植物なれば其心懸けにて灌水し. 冬期は室內に置く樣にすべし。通常は挿木にて繁殖せしむるものとす。

前揭チリメンカヅラは花を持たざるものなれば枝を密生したる樹容と其葉を觀賞するものなり。

1841. てうせんていくゎかづら …… ケフチクタウ科
Trachelospermum asiaticum, *Nakai*. var. glabrum, *Nakai*.

〔形態〕本種は莖葉共に無毛にして.葉は通常大形なるものなり。
〔分布〕本州中部及南部・九州(對馬)。

1842. ながばていくゎかづら …… ケフチクタウ科
Trachelospermum asiaticum, *Nakai*. var. oblanceolata, *Nakai*.

〔形態〕本種は其葉倒披針形をなし.長さ6糎(2寸)餘を有するものなり。
〔分布〕九州。

1843. けていくゎかづら …… ケフチクタウ科
Trachelospermum asiaticum, *Nakai*. var. pubescens, *Nakai*.

〔形態〕本種は葉の下面中肋に沿ふて短毛を布く種類なり。〔分布〕本州中部。

1844. **ちゃうじかづら** …… ケフチクタウ科
Trachelospermum majus, *Nakai*. (19圖版-184)

〔形態〕本種はテイクヮカヅラに比し.各部大形にして葉長6糎(2寸)許に達し.葉の白斑少く.花形大きく.花冠の裂片は廣倒卵形を呈し.果實は鋭角にして長さ15糎(5寸)許に達するものなり。〔分布〕本州南部・九州。

13. ツルニチニチサウ屬 VINCA.

1845. **ツルニチニチサウ** …… ケフチクタウ科
Vinca major, L. (19圖版-185)

(異名) ツルギキャウ・ツルニチニチクヮ 〔形態〕外來の園藝種にして庭園等に栽培せらるゝ多年生草本なり。全株無毛種に屬し. 花を生ぜざる莖は平臥性をなせども. 花を着生する莖は直生す。葉は有柄にして對生し.心臟狀卵形或は心臟狀鈍頭にして毛緣を有し.表面滑澤なり。花は長梗によりて梢上葉腋上に單生す。萼は小形にして先端5深裂し. 各裂片は線形をなし先端尖り.毛緣を有す。花冠は盆形をなし先端5裂し.各裂片は倒卵形鈍頭をなす。雄蕊は花筒の中部に着生し閉在す。子房は2室.蓇葖は2雙にして狹圓柱形をなす。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係 鉢植或は植込み等に栽植し觀賞に供す。繁殖は挿木による。

1846. **フイリノツルニチニチサウ** …… ケフチクタウ科
Vinca major. L. var. *variegata*, L. (19圖版-186)

〔形態〕概形前種と同樣なれども本種は其葉の緣邊に白色の幅輪を有するものなり。〔花色〕淡碧色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

* * * * *

3. りんだう(龍膽)科 GENTIANACEÆ.

本科に屬する植物は草本又は稀に半灌木又は灌木或は小喬木或は多年生水草なり。葉は通常對生なれども.互生或は輪葉を有するものあり。この葉は托葉を有することなく.全緣又は時に缺刻を有す。花は聚繖花序或は總狀花序或は單生し. 苞及小苞を有するものと. 然らざるものとあり。花は放射相稱をなし. 4-5乃至6-12の數より或り. 時として稍僅に左右相稱をなす。一般に兩性花なれども. 極めて稀に雜性或は雌雄異株をなすものあり. 萼は基部に於て合着するか. 成は分離し. 覆瓦樣をなすものと. 鑷合樣をなすもの. 或は全く開出せるものあり. 花瓣は互に癒着して漏斗狀. 皿狀或は輻狀の花冠をなし.裂片は概ね右又は左に回旋し. 稀に不規則なる覆瓦樣をなすものあり。雄蕊は花冠の裂片と同數にしてこれと互生し. 花冠の筒部內側基部咽喉部に着生し.稀に多少不完全のもの. 又は全く退化せるものを混ずることあり。花絲は絲狀をなし.基部扁平なり。葯は基部又は背側に着き直立するか或は懸垂して外方に轉向し. 內向又は外向せる縱裂目を有するか.或は頂に有孔のものあり。 花盤は缺存するか. 環狀又は5線狀或は種々の形をなすものあり。子房は上位にして稀に柄を有し.通常2箇の心皮より成り.1室又は2室の側膜胎座を有す。卵子は多數ありて倒生又は半倒生をなす。 果實は膜質又は革質をなせる蒴にして. 往々多少漿果狀をなすものあり。種子は無柄にして胎座中に埋まり.又は短き柄を有し.球形・絲形・扁平等をなし.又翅を有するものあり。胚は小形なれども多くの胚乳を含む。

本科の植物は溫帶に廣く分布し.世界を通じ大約64屬800種を產し.我國には自生品・栽培種を合し.約9屬50種を產出す。

80 リンダウ

本科所載植物沼目次

アケボノサウ……1885
アサザ……1875
アサマリンダウ……1857
アマミアケボノサウ…1849
イハイテフ……1852
イヌジユンサイ……1875
イヌセンブリ……1884
ウスアカリンダウ……1866
エゾヲノヘリンダウ…1865
エヤミグサ……1853
エゾリンダウ……1862
オクヤマリンダウ……1863
オコリオトシ……1853
ヲノヘリンダウ……1864
コマガタケアケボノサウ……1888
コミヤマリンダウ……1869
ササリンダウ……1853
シノノメサウ……1859
シマセンブリ……1849
シロウマリンダウ……1858
センタウリウム……1851
センブリ……1880
タウヤク……1880
タウヤクリンダウ……1859
タツノイグサ……1853
タテヤマリンダウ……1869
チシマセンブリ……1883
ハナジユンサイ……1875
ハルリンダウ……1868
ヒナリンダウ……1867
ヒメガガブタ……1877
ヒリセンブリ……1879
フデリンダウ……1872
フナシアケボノサウ…1886
ホウライセンブリ……1850
ホソバツルリンダウ…1848
ホソバリンダウ……1854
ミヅイテフ……1852
ミヅガシハ……1878
ミヅハレンゲ……1878
ミヤマアケボノサウ…1888

178 ケフチクタウ
179 セイヤウケフチクタウ
180 インドソケイ
181 ホウライアヲキ
182 ストロフアンツス
83 ていくわかづら
184 ちやうじかづら
185 ツルニチニチサウ
86 フイリノツルニチニチサウ

オヤマリンダウ……1856 チシマリンダウ……1861 ミヤマコケリンダウ…1871
ガガブタ……1876 チヤボリンダウ……1862 ミヤマリンダウ……1860
ゲンチアナ……1873 ツクシリンダウ……1855 ムラサキセンブリ……1882
コアケボノサウ……1867 ツルリンダウ……1847 ヤヘセンブリ……1881
コケリンダウ……1870 ハナイカリ……1874 リンダウ……1853

1. ツルリンダウ屬 CRAWFURDIA.

1847. **つるりんだう** 蔓龍膽…… リンダウ科
Crawfurdia japonica, *Sieb.* et *Zucc.* (20圖版-187)

〔形態〕山麓の稍水濕地に自生する蔓性の多年生草本にして,莖は長く地に臥し,往々附近の草本に纏絡することあり。葉は有柄紙質にして對生し,葉身は卵狀披針形をなし,先端尖り,基脚心臟形をなし,3行脈を有し,長さ7-5糎(2·5寸)許あり。花は短柄によりて葉腋上に單生し小苞を有す。萼は線形をなし,花冠は稍筒形をなし摺折し,長さ1·8-2·0糎(6-7分)許,先端5裂し,各裂片は鋭頭をなす。果實は蒴果をなし長さ1·5糎(5分)に達し,赤熟す。〔花色〕綠色或は黃色。〔花候〕秋。〔分布〕千島・北海道・本州・四國・九州・臺灣。

1848. **ほそばつるりんだう** 細葉蔓龍膽…… リンダウ科
Crawfurdia Pterygocalyx, *Hemsl.*

〔形態〕前種と同じく山地に自生する蔓性の多年生草本なり。本種は前種に比し其葉彼より狹長にして,葉柄は彼より短きものなり。尙ほ本種の花冠は彼の5裂するに反し,本種は4裂し,各裂片は長楕圓形鈍頭をなすものなり。●〔花色〕淡紅色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道・本州・四國。

(附記) 一種臺灣の新高山地方に產するものあり**ニヒタカツルリンダウ**(C. lanceolata, Hayata.)と稱し,本種に比するに,葉は一層狹長にして肥厚し,花梗は短く,花下の苞は細小,萼片は長大にして翼を有せず,花は大形なるものなり。

2. シマセンブリ屬 ERYTHRAEA.

1849. **しませんぶり**…… リンダウ科
Erythraea japanica, *Maxim.*

(異名) あまみあけぼのさう 〔形態〕海岸の砂地に自生する一年生草本にして,全體に小形なるものなり。葉は楕圓形にして,鈍頭或は鋭頭をなし,基脚圓く對生す。花は聚繖花序をなして穗狀をなし,2出生す。花冠及萼共に5裂し,雄蕊は花筒の基部に着生す。〔花色〕淡碧色。〔花候〕4-5月。〔分布〕琉球。

81 ほそばつるりんだう 82 ほうらいせんぶり

1850. **ほうらいせんぶり**…… リンダウ科
Erythraea spicata, *Pers.*

〔形態〕臺灣の海濱に自生する一年生草本にして,莖は方形をなし,高さ9-18糎(3-6寸)に達す。葉は紙質をなし對生。葉身は楕圓狀長楕圓形鋭頭をなし,基脚圓く,長さ6-10粍(2-3分)許あり。花は前種と同樣聚繖花序をなして穗狀を呈し,2出生す。萼は5深裂し,各裂片は線形,花冠は盆形をなし,先端5裂し,各裂片は卵狀長楕圓形鈍頭をなす。果實は蒴にして,長さ6粍(2分)許の長楕圓形をなす。〔花色〕濃紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

1851. **センタウリウム**…… リンダウ科
Erythraea centaurium, Pers. (20圖版-188)

〔形態〕歐洲の大部,前亞細亞及亞弗利加の北部に産出する藥用植物にして,二年生草本に屬す。莖は高さ30糎(1尺)內外に達し,4稜空洞にして多くの小枝を分つ。葉は倒卵形にして短き尖端を有し,基部は狹搾し,短柄によりて對生す。尙ほ此葉は下部に生ずるものは大形なれども上方に至るに從ひ漸く狹く,花萼に至りては殆ど線形を呈し,何れも全緣にして光澤を有し,稍硬厚にして毛茸を有せず。花は聚繖花序をなして多花を着生し,萼及花冠は先端5裂し,雄蕊は5箇ありて,花粉の脫落せる後螺旋狀に廻旋す。〔花色〕薔薇色を普通とし時に白色のものあり。〔花候〕秋。〔原產地〕不詳。

人生との關係 藥用植物として栽培せらるゝものなり。卽本植物の二年生の全草を花時に採集したるものを藥用に供するものにして,其主成分は未だ明瞭ならざれども主として苦味藥として賞用すること,センブリ或はリンダウの如し。獨逸藥局方には苦味丁幾の原料として採用せられつゝあり。

3. イハイテフ屬 FAURIA.

1852. **いはいてふ**…… リンダウ科
Fauria Crista-gallis, *Makino.* (20圖版-189)

(異名) みづいてふ 〔形態〕高山の濕地に自生する多年生草本にして全株無毛種に屬す。根莖は橫斜し,葉は長柄によりて基部に着生し,葉身は腎臟形をなし先端凹み,緣邊は鈍齒牙緣をなし,葉は短澁にして莖を抱く。夏日根生葉の中間に花莖を出し,聚繖花序をなし單一或は2岐す。苞は披針形をなし,萼は5深裂し,各裂片は長楕圓狀披針形をなし,花冠は短漏斗狀をなし5中裂し,各裂片は卵狀長楕圓形鈍頭にして,中肋に沿ふて高起せる一本の縱條を有す。雄蕊は5箇ありて花冠の彎部に着生し,子房は單室,柱頭は楯形をなす。果實は蒴にして,稍球形を呈し,宿存萼より起出す。〔花色〕白色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

4. リンダウ屬 GENTIANA.

1853. **りんだう** 龍膽(20圖版-190)…… リンダウ科
Gentiana scabra, *Bunge.* var. Buergeri, *Maxim.*

(異名) ささりんだう・おこりおとし・えやみぐさ・たつのいぐさ
〔形態〕山野に自生する多年生草本にして,莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は卵狀披針形或は披針形をなし,不明なる3行脈を有し,先端尖り,基脚合着し,粗鋸緣をなす。花は梢頭に簇生し,鐘形の萼は先端5裂し,各裂片は鑿形をなす。花冠は狹鐘形にして先端5裂し,各裂片は短三角狀卵形をなし,先端尖り,この各5裂片間に小形尖頭の副片を有す。雄蕊は5箇ありて花冠の基部に着生し,子房は5稜を有し,柱頭は2岐し,蒴は紡錘形をなす。〔花色〕暗碧色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係 本植物の全草を開花季に採取し,藥用に供す。藥效は「ゲンチアナ」又は「コロンボ」等と同樣苦味質にして,健胃劑に使用するものとす。日本藥局方にては,本品を內服すれば食慾を增進し,血壓を亢進するものなれば,遲鈍性消化不良に用ひ效果あるものとせり。

民間にても本植物の全草を採集乾燥したるものを適宜に煎服し,胃腸病藥として重用すること次に揭げたるセンブリと同樣なるものなり。

龍膽は單に藥用に供するのみならず,秋の霜枯時に近き,一般に草花の少き時期に喫き,鉢植として觀賞し,日本趣味の豐かなるものなれば以下少しく鉢栽培法につき記述すべし。

最初野外より掘り來りたる株は稍深き鉢に植込み,初年には莖の數も少く,瘠細のもの多きが故に,充分に形を整ふることは困難なれども,之を一年間培養すれば,株は充分に元氣付き,翌年は丈夫なる發芽を見るに至るものなり。

植込みたる鉢が深きものなる場合は,隔年に植換へを行へば充分なり。尙本植物は其發芽する部分が地面に露はるゝを忌むものなれば,植換後土の落付きたる時にても2-3糎(0·7-1寸)の深さに在る樣に心懸くる必要あり。發芽後は屢ば液肥を施し,日光に充分晒し,莖の伸長を制限すべし。本植物の葉は傷み易きものなれば,鉢の乾燥程度に注意し,完全なるものを作り出す樣注意すべし。

懸崖仕立にせんとする場合は,莖の伸長するに從ひ9月頃より下垂せしめ,同時に長短の枝の配置に注意すべし。懸崖仕立は餘程下方の葉腋にも花蕾を出し開花するものなれば美しきものなり。

花後は花を摘み取り結實せしめざる樣にし,採種の必要ある時は1-2花を殘し成熟せしむる樣になすべし。

種子により繁殖せしむるには,採取せし種子を鉢播にし,生育したるものを1本づゝ小鉢に植込み,翌春に至り移植肥培すればその秋には開花するものなり。

1854. **ほそばりんだう** 細葉龍膽…… リンダウ科
Gentiana scabra, *Bunge.* var. Buergeri, *Maxim.* subv. angustifolia, *Makino.*

〔形態〕本種は前種に比し葉の細長なるを異る所とす。〔分布〕本州中部及南部・九州。

1855. つくしりんだう 筑紫龍膽…… リンダウ科
Gentiana scabra, *Bunge.* var. intermedia, *Kusnef.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.葉は卵狀披針形或は廣披針形をなし.下面白色を帶び.中肋は糙澁或は平滑.緣邊は糙澁す。花冠は先端5裂することリンダウに同じけれども本花冠の有する彎襞は2-5齒緣をなす。〔花色〕碧紫色。〔花候〕秋。〔分布〕九州。

1856. **おやまりんだう**…… リンダウ科
Gentiana Makinoi, *Kusn.* (20圖版-192)

〔形態〕北地の高山に自生する多年生草本にして.大形なるものは高さ30糎(1尺)許に達するものあり。地下に肥厚せる根莖を有し横行す。葉は粉白色を呈し.披針形をなし.無柄にして基脚莖を抱く。花は莖頂に簇生し.蕚は筒形をなし4-6裂し.各裂片は鑿形或は線形にして.長さ相等しからず。花冠は鐘形をなし4-6裂し.各裂片は心臟狀半圓形にして鈍頭をなし.彎襞は小さく齒牙狀をなす。雄蕊は4-6箇。柱頭は2岐す。〔花色〕紫碧色。〔花候〕8-9月。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

1857. **あさまりんだう** 朝熊龍膽…… リンダウ科
Gentiana sikokiana, *Maxim.* (20圖版-193)

〔形態〕元來伊勢國朝熊山に自生品を發見したるにより.本和名を有するものなり。普通に生長したるものは.高さ30糎(1尺)許に達し.葉はリンダウに比し短く.蕚は圓形にして先端尖り.花冠はリンダウに似たれども花色は碧色の地色に白き斑點を有するものなり。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國。

1858 しろうまりんだう 白馬龍膽…… リンダウ科
Gentiana detonsa, *Fries.* var. albiflora, *Yabe.*

〔形態〕信州白馬山中に自生品を見る一年生草本にして.莖は稍單一をなし.根葉は稍密集し.長楕圓形鈍頭をなし.莖葉は線狀披針形をなす。花は莖頂に單生し.蕚は4裂し.各裂片は披針形.花冠は鐘形をなし.長さ3糎(1寸)許.先端4裂し.各裂片は長楕圓形鈍頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部。

1859. **たうやくりんだう** 當藥龍膽…… リンダウ科
Gentiana algida, *Pall.* var. sibirica, *Kusn.* (20圖版-194)

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして.莖は高さ30糎(1尺)許に達し.花莖に伴ふて別に葉叢を有す。葉は披針狀線形をなし.基脚稍狹まり莖を抱き對生す。花は花梗を有し.梢頭に2-5花を簇生す。蕚は先端5裂し.各裂片は線狀披針形をなし.筒部と同長或は其半ばに達し.花冠は蕚の3倍長く狹鐘形にして.各裂片は卵狀披針形をなし.彎襞は小形にして先端尖る。〔花色〕白色なれども淡黃暈を有し.綠色の細點を布く。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及北部。

人生との關係 本植物も亦莖・根共に苦味を有し.主成分はリンダウと同樣なれば健胃劑としセンブリ藥に代用せらるゝものなり。

83 ほそばりんだう　84 ちしまりんだう　85 ちやぼりんだう

1860. **みやまりんだう**…… リンダウ科
Gentiana nipponica, *Maxim.* (20圖版-191)

〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本にして.莖は高さ僅々6-9糎(2-3寸)に過ぎざるものなり。この莖は簇出し.伏臥性をなし多枝を分つ。葉は無柄にして基部稍莖を抱き.葉身は卵形鈍頭をなし.莖の基部に生ずるものは最も小形なり。花は梢頭に1-3花を頂生し.花冠は蕚の2倍長きものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕7-8月。〔分布〕北海道・本州北部・中部。

1861. **ちしまりんだう** 千島龍膽…… リンダウ科
Gentiana auriculata, *Pall.*

〔形態〕本邦北部の草本帶に自生する一年草本にして.莖は直立し.高さ12-15糎(4-5寸)乃至30糎(1尺)許に達す。葉は卵形或は長楕圓形にして鈍頭をなし.基脚莖を抱き對生なり。花は莖頂に簇生し.蕚は鐘形をなし先端4-5裂し.各裂片は心臟狀卵形にして.先端尖り.花冠は鐘狀筒形をなし.各裂片は廣卵形鈍頭をなす。〔花色〕紫碧色。〔花候〕7-8月。〔分布〕樺太・千島・北海道。

1862. **ちゃぼりんだう**…… リンダウ科
Gentiana axillariflora, *Lev.* et *Vnt.*

(異名) えぞりんだう 〔形態〕多く北海道の山地に自生する多年生草本にして.莖葉の概形通常のリンダウと同樣なれども.本種は少しく小形なるものなり。花形・花色等又彼と相同じきものなり。〔分布〕樺太・北海道本州北部。

1863. **おくやまりんだう**…… リンダウ科
Gentiana Amarella, *L.* (20圖版-195)

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.莖は瘠長をなし.葉は無柄にして基部莖を抱き.葉身は廣楕圓狀箆形乃至卵狀披針形をなす。花は聚繖花序をなし.屢ば總狀をなす。蕚は先端5裂し.各裂は披針形鈍頭をなし.花冠も亦先端5裂し.各裂片は楕圓狀披針形をなす。〔花色〕碧色。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州中部。

1864. をのへりんだう…… リンダウ科
Gentiana Amarella, *L.* var. uliginosa, *Griseb.*

〔形態〕前種の一變種にして.莖は丈低く.葉は披針形をなし.基部莖を抱く。花は小數花を着生し.蕚は概ね4裂し.各裂片は花冠の筒部と同長。花冠は小形にして長さ8粍(2-5分)許を有するに過ぎざるものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕8月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

1865. えぞをのへりんだう…… リンダウ科
Gentiana yezoalpina, *Koidz.*

〔形態〕主として北海道に自生する多年生草本にして.莖は高さ15糎(5寸)弱に達し.葉は長楕圓狀箆形をなし.鈍頭を有し.3-5行脈を有す。花は長さ15-18糎(5-6分)許.蕚は花冠部より超出し.各裂片は長短同じからず。花冠は筒狀鐘形をなし.各裂片は卵形にして鋭頭をなすものなり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

1866. うすあかりんだう…… リンダウ科
Gentiana yuparensis, *Takeda.*

〔形態〕本種の花は帶紫淡紅色を呈するものにして.莖頂に簇生或は腋出す。この花は內側に細裂せる副花冠を有する特徵あり。〔花候〕8月。〔分布〕北海道。

1867. **ひなりんだう** 雛龍膽…… リンダウ科
Gentiana pseudo-humilis, *Makino.* (20圖版-196)

〔形態〕高山草本帶に自生する二年生草本なれども.極めて稀品に屬す。莖は高さ4-5糎(1-5寸)許.葉は無柄にして基部莖を抱き.葉身は長楕圓形或は鑿形線形をなし對生なり。花は稍無梗にして枝端に單立し愛らしきものなり。〔花色〕綠碧色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

1868. **はるりんだう** 春龍膽…… リンダウ科
Gentiana Thunbergii, *Griseb.* (20圖版-197)

〔形態〕原野の濕地を好みて自生する多年生草本にして.莖は多數簇生し上方1-2岐し.高さ9-12糎(3-4寸)に達す。脚葉は大形にして卵形鋭頭をなせども.莖葉は卵狀長楕圓形をなし.基部合着す。花は梢頭枝端に單生し.蕚は筒狀漏斗形をなし.先端5裂し.各裂片は鑿狀披針形をなす。花冠も亦漏斗狀をなし.先端5裂し.蕚の2倍長し。〔花色〕碧色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係 時に盆栽用として觀賞に供し.野趣に富むものなり。採集移植の際は赤土を細に篩ひたるものに植込み.播種による場合は取り蒔にするを最も利ありとす。

PL. 20.

187 つるりんだ　188 センタウリウム　189 いはいてふ　190 りんだう　191 みやまりんだう　192 おやまりんだう　193 あさまりんだう　194 たうやくりんだう　195 おくやまりんだう　196 ひなりんだう　197 はるりんだう

1869. **たてやまりんだう　立山龍膽**（21圖版-198）
Gentiana Thunbergii, *Griseb.* var. minor, *Maxim.*

（異名）こみやまりんだう　〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。本種は全體に痩小にして、莖は僅かに 2-3 條を出し、葉も亦隨つて小形なるものなり。〔花色〕碧色。〔花候〕7-8 月。〔分布〕本州中部。

1870. **こけりんだう　苦龍膽**…… リンダウ科
Gentiana squarrosa, *Ledeb.*（21圖版-199）

〔形態〕原野に自生する二年生の小草本にして、莖は簇生し、多くの小枝を分つ。葉は廣卵形にして刺頭をなし。基部に生ずる葉は大形なれども、莖上に生ずるものは小形にして瓦列す。花も亦小形にして淡紫色を呈し、愛らしきものなり。本種は前種等と共に日中開花し、夜間閉塞する特性あり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部、九州。

1871. **みやまこけりんだう**…… リンダウ科
Gentiana arisanensis, *Hayata.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、莖は簇出し、斜上性をなし、高さ 4-5 糎（1-5 寸）許に達する小品なり。葉は卵形にして先端尖り、芒端をなし、長さ 6 粍（2 分）許あり。花は莖頂に單生し、長さ 1-7 糎（5-5 分）許。萼は鐘狀筒形をなし先端 5 裂し、各裂片は狹長なり。花冠も亦鐘狀筒形をなし、長さ 1-5-1-8 糎（5-6 分）許、先端 5 裂し、各裂片は廣卵形をなし、臂襞は三角形をなす。〔花色〕碧色。〔花候〕7-8 月。〔分布〕臺灣。

1872. **ふでりんだう**…… リンダウ科
Gentiana Zollingeri, *Fawc.*（21圖版-200）

〔形態〕原野に自生する二年生草本にして、莖は高さ 6-9 糎（2-3 寸）許に達する小品なり。葉は卵狀圓形にして微に尖頭をなし、稍部に簇生す。花は莖頂に數花を着け、花色淡紫色を呈し愛らしきものなり。〔花候〕3-4 月。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國。

1873. **ゲンチアナ**…… リンダウ科
Gentiana lutea, L.（21圖版-201）

〔形態〕歐洲中部の山地に野生し、莖は高さ 9-12 糎（3-4 寸）に達する多年生草本なり。この莖は單生し、葉は心臟形全緣にして、其脈絡縱線のもの著しく凸起し、莖生葉は無柄にして基部稍莖を抱き、基部に生ずるものは短柄を有す。花は茶セン狀をなし、先端 5 深裂し、各裂片は披針形をなし、內面に線條を通ず。雄蕊は 5 箇、雌蕊は 1 箇にして柱頭は分岐し、各々卷曲す。子房は塲狀をなし、1 室を有し、多數の種子を藏す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕歐洲中部。

人生との關係　本植物の根部を「ゲンチアナ」根と稱し藥用に供す。其質柔軟にして破折し易く、外面赤褐色を呈し、深き縱條を有するを以て之を縱斷すれば圓形をなさず、所々に凹陷を有すること龍膽根と同樣なり。

本品は主として苦味性の健胃劑となし胃病、消化不良等に應用すること、龍膽、千振と同樣なり。

5. ハナイカリ屬　HALENIA.

1874. **はないかり**…… リンダウ科
Halenia corniculata, *Cornaz.*（21圖版-202）

〔形態〕高山に自生する二年生草本にして、莖は高さ 12-15 糎（4-5 寸）に達し、葉は卵形或は卵狀披針形にして先端尖り、三行脈を有し、對生す。花は疎に聚繖花序をなし頂生し、萼は 4 深裂し、各裂片は披針狀線形をなす。花冠は鐘形にして先端 4 裂し、各裂片は卵形にして先端尖る。この花冠は背長なる距を有し、四方に開出し奇形を呈す。雄蕊は 4 箇ありて花筒に着生し、子房は單室、柱頭は短くして先端 2 岐し、果實は蒴にして卵狀披針形をなし、2 瓣より成る。〔花色〕淡黃色。〔花候〕8-9 月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。

6. アサザ屬　LIMNANTHEMUM.

1875. **あさざ　杏菜**…（21圖版-203）…… リンダウ科
Limnanthemum nymphoides, *Hoffmgg.* et *Link.*

（異名）いぬじゅんさい・はなじゅんさい　〔形態〕暖地の池溝等に自生する多年生の水草にして、一見したる所其葉ジュンサイに酷似すれども本種の葉は基脚深心臟形を呈し、緣邊は波狀樣齒牙緣を有し、表面は綠色を呈すれども、裏面は少しく紫色を呈し、大さ普通 2-4-4-5 糎（8-1-5 寸）許あり。花は聚繖花序をなして腋出し、2-3 花を着く。萼は 5 深裂し、各裂片は披針形鈍頭をなし宿存性なり。花冠は稍幅形をなし 5 深裂し、各裂片は銳頭、緣邊は細裂す。雄蕊は 5 箇ありて花筒に着生し、子房は 1 室をなし、柱頭は先端 2 岐す。果實は蒴にして橢圓形をなし壓扁す。〔花色〕濃黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部、臺灣。

人生との關係　時に觀賞用として栽培することあり、又若き葉を採り食用に供せらるゝものなり。

1876. **ががぶた　金銀蓮花**…… リンダウ科
Limnanthemum indicum, *Thw.*

〔形態〕前種と同樣暖地の池溝等に自生する多年生の水草にして、根は長く水底にあれども葉は水面に浮び、其形廣橢圓狀心臟形にして長さ 12-15 糎（4-5 寸）に及ぶものあり。花は長梗により多數枝端に簇生す。萼の裂片は披針形をなし、花冠は萼の 2 倍長く、其裂片は邊緣細裂し、縱襞を有せず。〔花色〕白色黃心。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部、臺灣。

1877. **ひめががぶた**…… リンダウ科
Limnanthemum cristatum, *Griseb.*

〔形態〕カガブタと同樣多年生の水草なり。葉は圓形にして、基脚深き心臟形をなし、長さ 2-4-7-5 糎（0-8-2-5 寸）許に達す。花は花梗を有し、結節上に密簇し、萼の裂片は卵狀披針形をなし、花冠は萼の 3 倍長く、其裂片は 5-6 にして何れも全緣をなし、內面中部以下に縱襞を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

86 ががぶた

87 みづがしは

7. ミツガシハ屬　MENYANTHES.

1878. **みづがしは　睡菜**…… リンダウ科
Menyanthes trifoliata, *L.*

（異名）みづはんけ　〔形態〕暖地の池溝沼澤等の水中に自生する多年生の水草にして、根莖は肥厚して横走し、莖は高さ 30 糎（1 尺）許に達す。葉は 3 箇の小葉より成り、各小葉は橢圓形或は長橢圓形にして波狀緣をなす。花は總狀花序をなして頂生し、萼は 5 深裂し、花冠は短き漏斗狀をなし 5 中裂し、各裂片は剪裂し、內面に絨毛を布く。雄蕊 5 箇ありて花筒に着き、子房は單室をなし、花柱は先端 2 岐す。果實は蒴にして球形をなし、宿存萼を作ふ。〔花色〕白色。〔花候〕6 月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

（附記）本植物の花は 2 形をなす。卽ち一は長花柱、短雄蕊。一は短花柱、長雄蕊を有するものなり。

人生との關係　本植物の全草を花時に於て採集し、陰干にして貯へ置き、健胃劑として應用す。

8. ヒメセンブリ屬　PLEUROGYNE.

1879. **ひめせんぶり**…… リンダウ科
Pleurogyne carinthiaca, *Griseb.*

〔形態〕山麓等の稍水濕地に自生する二年生草本にして、莖は方形をなして翼を有し、高さ 3-9 糎（1-3 寸）許に達する小品なり。葉は稍無柄にして長橢圓形或は卵形をなし全緣、長さ約 1-3 糎（4 分）許あり。花は花梗によりて單生し、萼は 4 深裂し、花冠は幅形をなし先端 4 深裂し、各裂片は橢圓形をなす。雄蕊は 4 箇ありて花喉に着生す。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

9. センブリ屬　SWERTIA.

1880. **せんぶり　當藥・千振**…… リンダウ科
Swertia japonica, *Makino.*（21圖版-204）

（異名）たうやく　〔形態〕山野の稍水濕地に自生する二年生草本にし

て,莖は方形をなし,翼を有することなく,疳長にして多くの小枝を分ち,高さ20-25糎(7-8寸)に達し,屢ば暗紫色を呈するものあり。葉は無柄にして對生し,線形乃至線狀披針形をなし,長さ1-3-4-5糎(0-4-1-5寸)許に達す。花は花梗により3-5箇を梢頭枝端に簇生す。〔花色〕白色にして紫條を有す。〔花候〕10月。〔分布〕本州各部·九州。

人生との關係 本植物の莖葉を生のまゝ,或は陰干にしたるものを煎用すれば感冒·止下劑·驅蟲劑として特效あり。又其葉の煎汁にてシヤツ·ジユバンの如き下衣を染むるときは,蚤·蝨等を驅除するに頗る效果を有するものなり。

1881. やへせんぶり……リンダウ科
Swertia japonica, *Makino.* var. plena, *Makino.*
〔形態〕前種の一變種にして,花冠の複生せる種類なり。〔分布〕本州中部。

1882. むらさきせんぶり……リンダウ科
Swertia chinensis, *Hemsl.* et *Forbes.*
〔形態〕本種は前揭センブリに比し,莖は彼より高く大抵45-48糎(15-16寸)に達し,枝條短く,葉は廣く,花色は紫碧色を呈し,蒴は彼より一層銳尖形,花冠の裂片は稍廣濶にして先端尖り,腺體は不完全に毛茸により圍まるる特徵を有するものなり。〔分布〕本州中部及南部。

1883. ちしませんぶり　千島千振……リンダウ科
Swertia tetrapetala, *Pall.*
〔形態〕寒地に自生する一年生草本なり。莖は疳細にして翼を有せず。葉は卵狀披針形乃至披針形をなし對生す。花は總狀或は圓錐花序をなして着生す。花の各部は4の數より成り,蒴の裂片は線形を呈し,花冠の裂片は長橢圓形をなし,雄蕊は花冠より短きものなり。〔花色〕濃紫色。〔花候〕8月。〔分布〕千島·北海道·本州北部·及中部。

1884. **いぬせんぶり**……リンダウ科
Swertia tosaensis, *Makino.* (21圖版-205)
〔形態〕山野に自生する二年生草本にして,莖は方形をなし,疎に小枝を分ち,枝條は斜上し,高さ9-45糎(0-3-1-5尺)許に達するものあり。葉は稍篦形或は線狀長橢圓形鈍頭をなし,長さ6糎(2寸)許に及ぶ。花は聚繖花序をなし,圓錐狀に着生し,小苞は線形。蒴は先端5裂し,各裂片は披針形をなす。花冠も亦先端5裂し,各裂片は狹長橢圓形をなし,基脚に2腺體を有し多くの毛茸により圍繞せらる。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國。

1885. **あけぼのさう**……リンダウ科
Swertia bimaculata, *Hook.* et *Thoms.* (21圖版-206)
(異名) よしのしづか　〔形態〕山谷の澗水附近に自生する多年生草本にして莖は方形をなし多くの小枝を分ち,高さ1米(3-4尺)に達するものあり。この莖は其結節部紫黑色を呈する特徵あり。葉は有柄にして對生し,葉身は橢圓狀披針形をなし3行脈を有す。花は聚繖花序をなし,梢頭枝端に着生し,蒴は5裂,花冠は輻形をなし,先端5裂し,各裂片は橢圓形を呈す。雄蕊5箇ありて花冠の基部に近く着生し,子房は1室,柱頭は2岐し,果實は蒴をなし,宿存萼より超出す。〔花色〕白色にして背面淡黃綠帶,內面に同色の二點並に紫黑色の細點を布く。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

1886. ふなしあけぼのさう……リンダウ科
Swertia bimaculata, *Hook.* et *Thoms.* var. impunctata, *Makino.*
〔形態〕本種は花冠に斑點なく,反つて2箇の腺體を具ふるものなり。〔分布〕本州北部。

1887. こあけぼのさう……リンダウ科
Swertia yesoensis, *Matsum.*
〔形態〕北地の山野に自生する二年生草本にして,莖は方形をなし,枝條は東出直生す。葉は稍無柄にして對生し,卵狀披針形をなし,3行脈を有す。花は聚繖花序をなして梢頭枝端に簇生し,蒴は4深裂,花冠も亦4裂し,各裂片は長橢圓形鈍頭をなす。〔分布〕北海道。

1888. **みやまあけぼのさう** (21圖版-207)……リンダウ科
Swertia perennis, *L.* var. cuspidata, *Maxim.*
(異名) こまがたけあけぼのさう　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして,初め長柄を有する根葉を出し,莖間に花莖を出し,卵狀長橢圓形鈍頭の全緣葉を互生す。花は聚繖花序をなして頂生し,苞は2箇ありて對生。蒴片は蒴形をなし,花冠の裂片は長橢圓形銳尖頭をなす。〔花色〕暗碧色。〔花候〕8-9月。〔分布〕本州北部及中部。

1889. **しののめさう**……リンダウ科
Swertia Swertopsis, *Makino.* (21圖版-208)
〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,莖は翼を有し,葉は有柄にして對生し,葉身は卵狀披針形をなし先端尖り,基脚狹く長さ9糎(3寸)許に達す。花は繖形花序をなして腋出し,萼の裂片は蒴形,花冠は鐘形をなし,裂片は卵形を呈す。〔分布〕本州中部·南部·四國·九州。

* * * * *

4. まちん(馬錢)科　LOGANIACEÆ.

本科に屬する植物は喬木·灌木或は草本にして,乳管を有せず。葉は對生或は輪生し,多くは托葉を有す。花は整齊なるか,或は少しく不整齊にして,通常兩性,稀に單性なり。花序は通常有限花序をなせども,稀には無限花序をなす。蒴は下生し,合片蒴にして4裂若くは5裂するか,或は離片蒴をなし,4-5箇の蒴片より成る。花冠は合瓣花冠にして通常4,若くは5裂し,稀に多裂す。其裂片は芽中に於ては鑷合樣·覆瓦樣或は回旋樣に排列す。雄蕊は花冠に着生し,通常4箇若くは5箇の結合せる心皮より成り,各心皮は多數乃至1箇の牛倒生或は倒生卵子を有す。子房は上位にして通常2室稀に3-5室,或は1室を有す。花柱は通常單體。稀に2箇あり。柱頭は單體をなすか或は2岐す。果實は蒴又は漿果,或は核果をなし,種子は胚乳を含み,又往々翅を具ふ。

本科の植物は世界を通じ,凡そ31屬550種を算し,其多數は熱帶地方に,少數は溫帶地方に産出し,本邦には自生するもの或は栽培せらるゝもの5屬10種あり。倘ほ本科の植物には有毒なるもの多く,又藥用或は觀賞に供するものあり。

1. フヂウツギ屬　BUDDLEIA.

1890. **ふぢうつぎ**　酔魚草·藤空木……マチン科
Buddleia insignis, *Carr.* (22圖版-209)
〔形態〕山野或は河邊等に自生する灌木にして,莖は高さ1-2米(3-6尺)許に達し,節間に縱走せる翅を有す。葉は短柄によりて對生し,葉身は廣披針形をなし先端尖り,疎鋸齒緣を具へ,基部は銳形をなす。花は穗狀花序に似たる總狀花序をなし多數着生す。蒴は先端5深裂し,各裂片は披針形,花冠は不整齊なる筒狀にして,花後卵圓尖頭の果實を結ぶ。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·琉球。

人生との關係 本植物は有毒にして,其枝葉を採り石灰に和して池中又は小流に投入すれば,水中の魚類は何れも醉麻し,水面に浮び出づるに至る。故に醉魚草の名あり。但し此醉ひたる魚は,毒を有するを以て食すべからず。人若し誤りて其花·葉·果實等を食すれば劇痛を起すことあるものなれば注意すべし。

1892. **こふぢうつぎ**……マチン科
Buddleia curviflora, *Hook.* et *Arn.* (22圖版-210)
(異名) しまやまふぢうつぎ　〔形態〕本邦暖地の原野·砂地等に自生する灌木にして,幼條には褐色の短毛を密生すれども,前種の如く翅を有せざるものなれば,其區別容易なるものなり。葉は短柄によりて對生し,葉身は廣披針形全緣をなし,下面は灰白色を呈し,短毛を密生す。花は稍頭枝端に長き穗狀花序をなして多數着生し,各花は短梗を有す。蒴は4齒緣をなし,花冠は筒形にして,彎曲し,先端4裂し,各裂片は圓形をなす。果實は橢圓形をなせる蒴をなし,長さ6粍(2分)許あり。〔花色〕紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州·琉球·臺灣。

人生との關係 觀賞用とし庭園に栽植することあれども,前種と同樣有毒植物の一なり,注意すべし。

1892. **うらじろふぢうつぎ**……マチン科
Buddleia curviflora, *Hook.* et *Arn.* var. venenifera, *Makino.*
〔形態〕本種は前種の一變種にして,其葉彼に比し更に長大なるのみならず,下面に毛茸を布くこと更に密なるものなり。〔分布〕九州(屋久島·中ノ島)。

PL. 21.

198 たてやまりんだう
199 こけりんだう
200 ふでりんだう
201 ゲンテアナ
202 はないかり
203 あさざ
204 せんぶり
205 いぬせんぶり
206 あけぼのさう
207 みやまあけぼのさう
208 しののめさう

1893. **りうきうふぢうつぎ**…… マチン科
Buddleia Lindleyana, *Fort.*

（異名）たうふぢうつぎ　〔形態〕園地に栽植觀賞に供せらるゝ落葉喬木にして,高さ2米(6尺)餘に達す。葉は卵形或は長橢圓狀披針形をなし,先端尖り鋸に細齒牙緣をなし,長さ4-5·9糎(1·5-3·0寸)許ありて下面に稍毛茸を有するか,或は無毛なり。花は總狀花序をなし多花を密生す。花冠は筒狀をなし,先端4裂,筒部は彎曲し外面に毛茸を有す。〔花色〕紫菫色。〔花候〕7-8月。〔原産地〕支那。

人生との關係　前種と同樣庭園に栽植し觀賞に供するものなれども有毒植物の一なれば注意すべし。

2. ホウライカヅラ屬　GARDNERIA.

1893. **ほうらいかづら**…… マチン科
Gardneria nutans, *Sieb.* et *Zucc.*（22圖版-211）

〔形態〕暖地に自生する纏繞藤本にして,全株無毛種に屬す。枝條は始め方柱をなし,後圓柱となる。葉は短き葉柄を有し,葉身は橢圓形にして先端尖り,基脚楔形をなし全緣なり。花は腋生にして通常1箇を下垂すれども,往々2-3箇を有することあり。萼は小形にして先端2裂し,各裂片は圓形をなし,毛緣を有す。花冠は輻狀に5深裂し,各裂片は披針形にして先端尖る。雄蕊は5箇を有し,葯間に多くの毛を生ず。果實は蒴果にして橢圓形をなし熟して紅色となる。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。

3. アキナヘ屬　MITRASACME.

1895. **あみなへ**…… マチン科
Mitrasacme polymorpha, *R. Br.*（22圖版-212）

〔形態〕原野路傍等に自生する一年生草本にして,全株に疎毛を散生し,莖は高さ3-6糎(1-2寸)に達し,小枝を分岐す。葉も亦小形にして橢圓形若しくは長橢圓形をなし,莖の下方にのみ對生或は輪生し,上部には僅かに鱗片狀の微葉のみを對生す。花は繖形花序をなして頂生或は腋生し,1-2花を着く。本花の有する小梗は絲狀を呈し,萼は鐘形をなし,先端4裂し,各裂片は銳頭,花は壺狀をなし,同じく先端4裂し,各裂片は平開し,花喉には鬚毛を散生す。雄蕊は4箇ありて花喉に着生し,花柱は1箇,子房は2室をなし,果實は球形の蒴をなし,長さ3粍(1分)許あり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·九州·臺灣。

1896. **ひめなへ**…… マチン科
Mitrasacme alsinoides, *R. Br.*（22圖版-213）

〔形態〕原野の水濕地に自生する一年生草本にして,全株無毛種に屬す。莖は軟弱にして小枝を分ち,高さ4·5糎(5寸)許に達す。葉は前種よりは幅狹く且つ小形なる長橢圓形にして先端尖り對生す。本種は莖葉共に淡綠色を呈す。花は頂出或は腋出し,2-3花宛簇生し,花形前種に似たれども花色白色を呈するものなり。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·九州·臺灣。

4. マチン屬　STRYCHNOS.

1897. **マチン**　馬錢·番木鼈…… マチン科
Strychnos Nux-vomica, L.（22圖版-214）

（異名）ストリキニーネノキ　〔形態〕東印度に原産する常綠喬木にして,幹は高さ5米(1·5丈)許に達するものなり。葉は卵圓形革質にして3-5箇の行脈を有し,全緣にして對生なり。花は聚繖花序をなして多花を着生す。本花の有する萼は鐘形をなし,先端4-5裂し,各裂片は3角形をなす。花冠は筒狀鐘形をなし,先端5裂し,各裂片は卵圓形を呈し,先端稍尖る。雄蕊は5箇あれども花絲を有せず,花冠の喉部に着生し,雌蕊は線狀,子房は上位にして2室を有す。果實橙は實大の蒴果をなし,內に1·5-1·8糎(5-6分)許を有する有毛扁圓の種子を藏す。〔花色〕白色。〔原産地〕東印度。

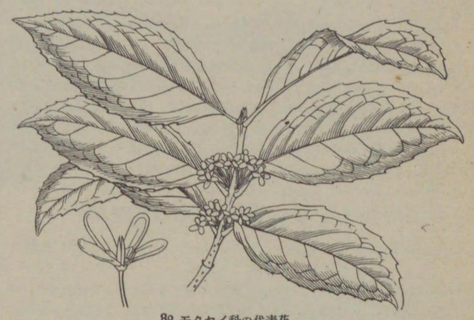
人生との關係　本植物の種子を番木鼈子又は馬錢子(Semen Strychini ; Nux Vomica)と稱し藥用に供す。本品は圓板形をなして稍反曲し,中央に臍點を有し,表面は絹絲樣の光澤ある灰白色の毛茸を密生し,中央より周緣に向ひ偃伏し,無臭なれども,味は極めて苦きものなり。

本品の有效成分は「ストリキニーネ」(Strychnin)及「ブルチン」(Burcin)なる2種の「アルカロイド」にして,其藥效は神經系統を興奮せしむる目的に藥用す。其他「ストリキニーネ」及其鹽類を製する原料として缺くべからざるものなり。(此項神谷記)

*　*　*　*　*

5. もくせい(木犀)科 OLEACEÆ.

本科に屬する植物は通常灌木或は喬木,稀に半灌木なり。葉は對生或は輪生し托葉を有せず,單葉或は複葉なり。花は整齊にして兩性或は單生をなし,花序は無限花序或は有限花序をなす。萼は下生し,合片萼にして通常4裂す。花冠は通常合瓣花冠をなし,多くは4-6裂し,其裂片は芽中に於ては覆瓦樣或は鑷合樣に排列するか,或は稀に花冠を有せざるものあり。萼も亦之を缺如することあり。雄蕊は2箇ありて花冠に着生し,花冠の存せざるものあにりては雌蕊の下部に着生す。雌蕊は2箇の結合せる心皮より成り,各心皮は通常2箇或は稀に4-10箇若しくは1箇の倒生或は稀に半倒生の胚子を藏す。子房は上位にして2室を有す。花柱は單一なるか或は存在せず。柱頭は單一なるか或は2岐し,花盤を有せず。果實は蒴,翅果,漿果或は核果をなし,種子は胚乳を有するか或は之を缺く。



88 モクセイ科の代表花

本科には21屬,凡そ390餘種の植物を有し,多く溫帶,亞熱帶及熱帶地方に產すれども,本邦には自生或は栽培せらるゝもの9屬,凡そ60種を產出し,木材用,油料,香油料,藥用或は觀賞用に供するもの多し。

本科所載植物索引

アヲダモ……1914　シナハシドイ……1940　ヒロウドアヲダモ……1917
アヅマコバチ……1911　シホジ……1911　ヒロハアヲダモ……1906
アラゲアヲダモ……1916　シマタゴ……1912　フクリンネズミモチ……1933
アンニヤモンニヤノキ 1898　シロソケイ……1923　フクロモチ……1934
イタチグサ……1903　シロバナツルソケイ……1923　フタバノキ……1898
イタチハゼ……1900　シロライラック……1951　フヂキ……1914
イヌシロソケイ……1924　シンソケイ……1922　ベルシヤハシドイ……1953
イボタ……1927　スワウボク……1950　ホソバアヲダモ……1915
イボタノキ……1927　セイヤウトネリコ……1907　ホルトノキ……1938
イボタラフ……1927　ソケイ……1921　マツリ……1926
イホツキ……1927　タイワンイボタ……1931　マツリカ……1926
イボトリ……1927　タイワンソケイ……1925　マリクワ……1926
ウスギモクセイ……1942　タウネズミモチ……1937　マルバアヲダモ……1915
オホシダ……1914　タマツバキ……1932　マンシウハシドイ……1948
オホトネリコ……1904　ダモ……1914　マンナ……1918
オホバイボタ……1928　タモノキ……1910　ミヤマイボタ……1930
オホバイボタノキ……1928　ツクシトネリコ……1908　ムラサキハシドイ……1950
オホバトネリコ……1910　ツルマツリ……1921　モウリンクワ……1926
オレイフ……1938　テウセンレンギウ……1901　モクカウクワ……1920
カラユキヤナギ……1899　テラツバキ……1932　モクセイ……1940
キソケイ……1922　ドスナラ……1947　モリクワ……1926
キモンネヅミモチ……1936　トネリコ……1903　ヤチカバ……1947
ギンツクバネ……1947　ナガバモクセイ……1943　ヤチダモ……1910
キンバイ……1919　ナガミノトネリノ……1900　ヤヘライラック……1952
ギンモクセイ……1940　ナタヲレノキ……1946　ヤマトアヲダモ……1905
キンモクセイ……1941　ナタハジキ……1946　ヤマトレンギウ……1902
ケヅホバイボタノキ 1929　ナンジヤモンジヤノキ 1898　リウキウソケイ……1923
ケネヅミモチ……1935　ネズミモチ……1932　リウキウツウバイ……1920
コバタゴ……1899　ハシドイ……1947　レンギウ……1900
コバチ……1913　ハナハシドイ……1950　ロクダウボク……1898
コバノオレイフ……1939　ヒトツバタゴ……1898　ワウシユクバイ……1919
コバノトネリコ……1914　ヒヒラギ……1945　ワウバイ……1919
サツマモクセイ……1946　ヒラギモクセイ……1944

1. ヒトツバタゴ屬　CHIONANTHUS.

1898. **ひとつばたご**　六道木·二葉木…… モクセイ科
Chionanthus retusus, *Lindl.* et *Paxt.*（22圖版-215）

（異名）あんにやもんにや·ろくだうぼく,なんじやもんじやのき·ふたばのき　〔形態〕山地に自生する喬木にして,幹は高さ3米(1丈)許に達す。葉は圓狀廣橢圓形或は圓狀橢圓形,鈍頭にして微に凹頭をなすか,或は

鈍狀銳尖頭をなし、全緣にして緣邊に毛茸を有し、葉柄によりて互生す。この葉は兩面に短毛を布き、殊に葉柄は多毛なり。花は多數攅簇し、盛花の時は恰も雪が樹に積りたるが如き觀を呈するものなり。蒴は4裂し、各裂片には披針形をなし先端尖り、花冠は4箇の花瓣より成り、線狀筵形をなし、鈍頭して基部合着す。雄蕊は2箇ありて花冠の基部に着生し、甚だ短く、子房は單室を有す。果實は核果にして始めは綠色を呈すれども熟すれば黑色を呈し、內に單核を有す。〔花色〕白色にして芳香を有す。〔花候〕3-4月。〔原産地〕本州中部・對馬・臺灣・支那。

2. コバタゴ屬 FONTANESIA.

1899. **コバタゴ** ····· モクセイ科
Fontanesia phillyreoides, Labill.

〔異名〕カラユキヤナギ 〔形態〕外來の灌木にして、幹高さ3米(1丈)許に達し、枝條は方形をなす。葉は短柄によりて對生し、葉身は披針形にして先端尖り、基脚截形をなし、全緣にして長さ3-6-6糎(1-2-2寸)許あり。花は小形にして圓錐花序をなし、腋出或は頂生す。蒴は細小にして4裂し、花冠は4箇の狹長なる花瓣より成り基脚合着す。雄蕊は2箇ありて瓣片より超出し、柱頭は先端2岐し、子房は2室、果實は扁卵形をなし翅を有す。〔花色〕白色。〔花候〕3-4月。〔原産地〕西比利亞。

3. レンゲウ屬 FORSYTHIA.

1900. **レンゲウ** 連翹 ····· モクセイ科
Forsythia suspensa, Vahl.

〔異名〕イタチグサ・イタチハゼ 〔形態〕往昔支那より輸入せられたる小灌木にして、本邦にては專ら栽培觀賞に供せらるゝ1種なり。幹は高さ2-4米(8尺)許に達し、莖及枝の上部は稍蔓狀をなす。葉は廣卵形或は長橢圓狀卵形にして先端尖り、緣邊鋸齒をなし、長さ7-10糎(2-3-3-3寸)許を有し、互生す。花は早春葉に先ちて着生し、短梗によりて小枝端に單生す本花の有する蒴は4深裂し、各裂片は長橢圓形をなし、花冠は鐘形にして4深裂し、各裂片は亦長橢圓形をなし筒部より長し。雄蕊は2箇ありて花冠の基脚に着生し、花柱は細長、柱頭は先端2岐し、蒴は卵形をなし、長さ約2-4糎(8分)許あり。〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係 多くは切花用として栽培せられ觀賞に供せらるゝものなれども、又往々盆栽用に供せらるゝことあり。本植物は挿木により容易に繁殖し得らるゝものなれば、盆栽用としてはこの挿木により仕立つるを宜しとす。元來枝の長く伸び過ぎる性質を有するものなれば其盆栽的の形を作るには苦心を要するものなり。毎春開花後排水佳良なる土壤を用ひて移植を行ひ、充分に日に當てしむる樣に取扱ふべし。肥料は多くを要せざるものにして、7月頃迄液肥を數回分施すれば充分なり。

89 れんげう

90 てうせんれんげう

1901. **てうせんれんげう** ····· モクセイ科
Forsythia viridissima, *Lindl.*

〔形態〕園地に栽培せらるゝ灌木にして、枝條は前種と同樣4稜をなし、多少綠色を呈し、多くの疣狀凸起を有す。葉は有柄にして互生し、葉身は狹披針形或は橢圓狀披針形をなし、全緣なるか或は不齊の鋸齒緣をなし、長さ9-15糎(3-5寸)許あり。花は花梗を有し、1-3箇宛簇出し、頂生或は點頭す。蒴は花冠の半ば長く、先端4裂し、花冠は長さ2-4糎(8分)許ありて、12條の橙色線を有す。果實は廣卵形の蒴にして先端尖り、長さ1-5糎(5分)許あり。〔花色〕黃綠色にして12條の橙色線あり。〔花候〕早春。〔分布〕朝鮮。

人生との關係 前種と同樣觀賞に供するものにして、栽培法等凡て前種に同じきものなり。

1902. **やまとれんげう** ····· モクセイ科
Forsythia japonica, *Makino.*

〔形態〕本種は前揭レンゲウに比するに、其葉が下面に短毛を布き、花の有する花梗は短く、花形小にして長さ1-8糎(6分)許を出さるものなり。〔花色〕黃金色。〔花候〕早春。〔分布〕本州中部。

4. トネリコ屬 FRAXINUS.

1903. **とねりこ** 梣 ····· モクセイ科
Fraxinus japonica, *Blume.* (22圖版-216)

〔形態〕山野に自生する落葉喬木にして、幹は高さ6米(2丈)餘に達し、幼條は初め有毛なれども、後に無毛となる。葉は5-9箇(多くは7箇)の小葉よりなれる奇數羽狀複葉にして莖上に對生し、各小葉は革質にして短柄を有し、長橢圓形又は長卵形をなし、緣邊に粗鋸齒を具へ、葉軸及小葉裏面の主脈の兩側に毛茸を密生す。花は梢上枝端に巨大なる複總狀花序をなし、各花は平滑にして纖細なる花梗を有し、蒴は微細にして4箇の細長なる白色片をなし花冠を缺く。雄蕊は2箇、子房は2室に分れ、各室に懸垂せる2箇の卵子を藏し、柱頭は2岐す。果實は翅果をなし、1箇の長橢圓形を呈する種子を藏す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

人生との關係 本植物の材は種々の器具を作るに應用せらる。

1904. **おほとねりこ** ····· モクセイ科
Fraxinus borealis, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する落葉の小喬木にして、幼條は有毛なり。葉は葉柄を有し、2-4對をなし、各小葉は廣披針形にして先端尖り、細鋸齒緣をなす。本植物の果序は下垂し、果軸の有する諸分岐は銳角をなし相寄るの特徵あり。果實は翅果なり。〔花候〕春。〔分布〕本州北部。

1905. **やまとあをだも** ····· モクセイ科
Fraxinus longicuspis, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして、幹は高さ10米(3丈)餘に達し、幼條には捲縮毛を有す。葉は羽狀複葉をなし、各小葉は長柄を有し2-4對をなし、披針形にして先端尖り、鋸齒緣を具へ、概ね無毛、翅果は倒披針形鋭頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部・九州。

1906. **ひろはあをだも** ····· モクセイ科
Fraxinus longicuspis, *Sieb.* et *Zucc.* var. latifolia, *Nakai.*

〔形態〕概形前種に酷似せるものなれども、本種の有する各小葉は卵形或は橢圓形にして鈍齒牙狀鋸齒緣を有し、長さ4-5-12糎(1-5-4寸)許を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1907. **セイヤウトネリコ** ····· モクセイ科
Fraxinus excelsior, L.

〔形態〕外來種にして、園地に栽培せらるゝ落葉喬木なり。葉は羽狀複葉をなし、各小葉は稍無柄にして3-6對を有し、各小葉は長橢圓形或は卵狀披針形をなし、先端尖り、鋸齒緣を具へ、下面脈間に白色の細毛を布く。この葉は長さ4-5-12糎(1-5-4寸)許あり。果實は長橢圓形にして往々凹頭を有し、長さ3-5糎(1-2寸)許あり。〔原産地〕歐羅巴。

1908. **つくしとねりこ** ····· モクセイ科
Fraxinus pubinervis, *Blume.* (*F. satsumana*, *Koids.*)

〔形態〕暖國の山地に自生する落葉の大喬木にして、幼條及花部、嫩葉等には何れも黃褐色の毛茸を有す。葉は單羽狀複葉をなし、長さ18-90糎(0-6-3尺)に達し、小葉は3-4對を有し、厚膜質を呈し、橢圓狀卵形にして先端尖り、基脚圓形をなし、長さ3-9糎(1-3寸)許、上面中肋にのみ毛茸を殘存す。雄性花序は疎花を着け、小梗は毛管狀をなし、花は長さ3粍(1分)許、果實は篦形を呈し、鈍頭或は圓頭をなし、長さ3糎(1寸)許あり。〔分布〕九州。

1909. **ながみのとねりこ** ····· モクセイ科
Fraxinus intermedia, *Nakai.* (23圖版-220)

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして、枝條は無毛、葉は羽狀複葉をなし各小葉は3對を有し、長卵形或は橢圓形をなし先端尖り、長さ6-10糎(2-3-5寸)許、下面中肋に白色の細毛を密生す。果序の分枝は橫開す。蒴は長さ3粍(1分)許、果實は細長にして長さ約3糎(1寸)許あり。〔分布〕本州中部。

PL. 22.

209 ふぢうつぎ

210 こふぢうつぎ

211 ほうらいかづら

212 あぶなへ

213 ひめなへ

214 マチン

215 ひとつばたご

216 とねりこ

217 こほのとねりこ

1910. **やちだも** ……モクセイ科
Fraxinus mandshurica, *Rupr.* (23圖版-218)

〔形態〕北地の平野、濕地等に自生する落葉喬木にして、幹高き大なるものに至りては20-25米(7-8丈)、周圍3米(1丈)餘に達し、樹皮は帶黃黑色を呈し、深き裂け目を有する特徴あり。葉は奇數羽狀複葉にして對生し、長さ4-5寸(1·5尺)許、各小葉は4-6對を有し、卵形或は卵狀長橢圓形にして、先端急激に尖り、細鋸齒緣を具へ、下面葉脈上に短毛を布き、基脚に赤褐色の絨毛を密布す。花は圓錐花序をなして脫出し、多花を密生す。この花は花被を有せず。雄花に於ては葯は橢圓形をなし帶褐淡紅黃色を呈し、兩性花に於ては雄蕊2箇ありて不齊の卵形をなす。子房は狹卵形にして短柱を有し、果實は翅果をなす。〔花候〕5月。〔分布〕樺太·北海道。

人生との關係　本植物の材は器具及箱等を造るに使用せらる。

1911. **しほじ** ……モクセイ科
Fraxinus commemoralis, *Koidz.* (23圖版-219)

〔形態〕山地に自生する落葉喬木にして、幹は高さ10米(3丈)餘に達す。葉は通常7箇の小葉より成れる奇數羽狀複葉をなし、各小葉は無柄にして革質を呈し、長卵形或は披針形をなし先端尖り、微凸尖鋸齒緣を具へ、葉色黃綠色、下面は葉脈に沿ふて短毛を布く。花は枝梢上に圓錐花序をなし穗狀に排列し、花後小莢果狀をなせる翅果を着く。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

人生との關係　本植物の材は鮮褐色の心材と、黃白色を呈する邊材とより成り多く建築、器具或は鐵道の枕木等に使用せらるゝ等用途甚だ廣きものなり。

1912. **しまたご** ……モクセイ科
Fraxinus insularis, *Hemsl.*

〔形態〕暖國の山野に自生する落葉喬木にして、葉は羽狀複葉をなし、各小葉は有柄にして2-4對、長橢圓形或は卵狀橢圓形をなし、長銳尖頭鈍脚、緣邊鈍鋸齒を有す。花は圓錐花序をなして頂生或は腋生し、果實は披針狀筮形を呈し、長き翅を有す。〔分布〕九州·琉球·臺灣。

1913. **こばち** ……モクセイ科
Fraxinus verecunda, *Koidz.*

〔形態〕本種は前揭シホジに比し、葉は質軟く、小葉は3-5對にして葉色綠褐色を呈し、葉柄の基脚膨大する特徵を有するものなり。〔分布〕本州中部。

1914. **こばのとねりこ** (22圖版-217)……モクセイ科
Fraxinus Sieboldiana, *Blumé.* var. serrata, *Nakai.*
(*F. longicuspis. Franch.* et *Sav.*)

(異名) あをだも·おほしだ·だも·ふぢき　〔形態〕前種と同樣山地に自生する落葉喬木にして、高さ10米(3丈)餘に達するものあり。本種の幼條は毛茸を有することなく、樹皮は帶綠白色を呈し、稍滑澤なる特徵あり葉は羽狀複葉にして、各小葉は短柄を有し、卵形或は長卵形をなし、先端尖り、細鋸齒緣を具へ、下面中肋に沿ひて毛茸を有す。花は圓錐形の總狀花序をなして多花を着生し、この花は雌雄2家をなす。萼は4裂し、花冠は線形をなせる4瓣片より成り、雄花に於ては雄蕊長く、雌花に於ては退化雄蕊を有す。果序の諸分岐は稍地平に擴開し、果實は翅果をなし、銳頭又は圓頭を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

人生との關係　本植物の材は箱或は器具を造るに用ひ、或は薪炭の料に供する外、時に庭園の風致樹として栽植せらるゝことあり。

1915. **ほそばあをだも** ……モクセイ科
Fraxinus Sieboldiana, *Blume.* var. angustata. *Blume.*

(異名) まるばあをだも　〔形態〕樹形小形なるものにして、小葉は通常2對を有し、稍全緣なるものなり。〔分布〕本州·四國·九州。

1916. **あらげあをだも** ……モクセイ科
Fraxinus sambucina, *Koidz.* var. pubescens, *Nakai.*

〔形態〕嫩枝、葉柄等に粗毛を密生する1種なり。〔分布〕本州中部。

1917. **びろうどあをだも** ……モクセイ科
Fraxinus sambucina, *Koidz.* var. velutina, *Nakai.*

〔形態〕本種は葉の下面に粗毛を密生する1種なり。〔分布〕本州中部。

1918. **マンナ** ……モクセイ科
Fraxinus Ornus, L. (23圖版-221)

〔形態〕伊太利「パレルモ」州近傍にては盛に藥用植物として栽培し、其他同國の各地及地中海東部地方には野生品を見る落葉喬木にして、幹は高さ10米(3丈)餘に達し、樹皮は灰白色を呈す。葉は5-7箇の小葉より成る羽狀複葉にして、各小葉は長卵形をなし、緣邊に不齊の鋸齒を有す。花は狹細にして線狀をなせる4箇の瓣片よりなり、この瓣片は2箇宛基脚に於て合着す。萼は先端4裂し、雄蕊は2箇、雌蕊は柱頭2瓣をなし、子房は2室を有し、各室に2箇の種子を藏し、其先端に翼瓣を有す。〔花色〕類黃色。〔原産地〕伊太利。

人生との關係　秋季に至り其樹幹に切り口を設け、之より滲出したる汁液を採取し、乾燥したるものを「マンナ」と稱し藥用に供す。即ち日本藥局方にては複方「センナ」液を製し、主として緩下劑又は矯味藥として應用するものとせり。

5. ワウバイ屬 JASMINUM.

1919. **ワウバイ** 迎春花 ……モクセイ科
Jasminum nudiflorum, Lindl. (23圖版-222)

(異名) キンバイ·ワウシュクバイ　〔形態〕元來支那原産の落葉灌木にして、本邦にては古來庭園樹或は鉢盆栽植物として愛養せらるゝものなり。本種の幼條は四角形、稍無毛にして、幹は高さ1·5米(5-6尺)に過ぎず葉は3箇の小葉より成り、各小葉は卵形をなし、上面及緣邊に細毛を布く。花は枝上小枝端に單生し、萼は小形にして葉狀をなし、萼は6裂し、各裂片は披針形にして、花筒より短く、花冠は盆形をなし、先端6裂し、各裂片は倒卵形をなす。雄蕊は2箇ありて閉在し、子房は2室をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕早春。〔原産地〕支那。

人生との關係　庭園に栽植せらるゝ外、盆栽として廣く觀賞さるゝものなり。盆栽用としては樹姿の上からは懸崖、半懸崖等に適し、又石附としては樹容の點、根張りの點より最も適當なるものなり。

盆栽用としての土壤は腐葉土7分、砂3分の混合物を使用し、冬季は室內に取入れ置くを可とす。かくすれば自然開花の時季も早く、この置場所によりては1月より2月に開花し始むるものなり。之れ即ち迎春花なる名稱の基因なりとす。

移植の時季は他の樹木と異り、前年の9月より10月頃に行ひ、同時に枝を整へ置くを宜しとす。かくすれば春の發芽に際し多くの芽を一樣に發生せしむるものなり。春より夏にかけ枝條の伸長するものなれば、常に注意して2-3節を殘し摘心すべし。又徒長枝も出で易きものなれば絕えず其全部を取除く樣注意するを肝要なる事項とす。開花したる節よりは其後發芽せざるものなれば花後には斯る枝を前年生長したる最下部を殘し剪定し、更めて枝を發生せしむるを可とす。花後は施肥を充分にし、日光にも又充分に當つる樣注意すべきものとす。

1920. **リウキウワウバイ** 探春花 ……モクセイ科
Jasminum floridum, Bunge. (23圖版-223)

(異名) モクカウクヮ　〔形態〕本種も亦支那の原産種にして、常綠灌木をなし全株無毛なり。若き莖は前種と同樣綠色を呈し、梢の上方は翌性をなす。葉は3稀に5片の羽狀複葉をなし、各小葉は革質にして、卵狀長橢圓形或は廣橢圓形、銳尖頭をなす。花は聚繖或は圓錐花序をなし、萼は倒圓錐形にして五角形をなし、萼片は長鑿形にして筒部と同長、花冠は萼の4倍長く、各裂片は卵形銳頭なり。雄蕊は閉在す。〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

人生との關係　觀賞用として栽培愛玩すること前種に同じ。

1921. **ソケイ** 素馨 ……モクセイ科
Jasminum officinale, L. (23圖版-224)

(異名) ツルマツリ　〔形態〕本種も亦外來の常綠灌木にして、本邦にては庭園又は鉢植として觀賞に供せらるゝものなり。全株に細毛を布き、葉は羽狀複葉をなし、各小葉は2-3對にして、菱狀長橢圓形、銳頭をなし、何れも全邊なり。花は聚繖花序をなし枝上枝端に頂生し、萼の裂片は線形、花冠は盆形をなし、先端4-5裂し、各裂片は長橢圓形をなす。〔花色〕帶黃白色を呈し、强き芳香を放つ。〔花候〕夏。〔原産地〕カシミヤ。

人生との關係　本植物の花は芳香を有するをもつて、觀賞用として栽培する他、香油の原料採取用として培養せらるゝものなり。

1922. **キソケイ** 黃素梓 ……モクセイ科
Jasminum odoratissimum, L. (23圖版-225)

(異名) シンソケイ　〔形態〕前種等と同樣外來の常綠灌木にして、本種は幹の高さ1·5米(4-5尺)乃至3米(1丈)餘に達するものなり。葉は1-2對の小葉より成る羽狀複葉にして、各小葉は廣橢圓形乃至披針形にして鈍頭をなす。花は房狀聚繖花序をなして頂生し、萼は5裂し、各裂片は細小、花冠は盆形をなし先端5裂し、各裂片は長橢圓形鈍頭にして、概ね筒部より短きものなり。〔花色〕黃色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕マデーラ。

人生との關係　本植物の花も亦前種と同樣芳香を有するをもつて觀賞用として栽培せらる。

1923. シロソケイ 白素梓 …… モクセイ科
Jasminum trinerve, Vahl.

（異名）シロバナツルソケイ・リウキウソケイ 〔形態〕本種の幹は藤本狀をなし、全株無毛。葉柄短く、葉面に3行脈を有するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕瓜哇。

1924. いぬしろそけい …… モクセイ科
Jasminum subtriplinerve, *Blume.*

〔形態〕幹は長さ2米(5-7尺)内外に達する藤本にして、葉は革質をなし表面滑澤。卵狀長橢圓形或は披針形にして長鋭尖頭をなし、3行脈を有す。花は聚繖花序をなし腋出或は頂生し、1-7花を着く。萼は先端5裂し、各裂片は鑿形或は絲狀をなし。花冠は盆形にして、同じく先端5裂し、各裂片は長橢圓狀線形を呈するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

1925. たいわんそけい …… モクセイ科
Jasminum grandiflorum, L.

〔形態〕本種は稍直立性の灌木をなせども、枝條は懸垂し無毛なり。葉は對生し、羽軸は扁平或は翼を有し、5-7片の小葉より成る羽狀複葉にして、各小葉は橢圓形乃至廣橢圓形をなし、概ね微に凸端を有し、最先端にある1片は卵狀披針形、鋭尖頭をなす。萼は長さ6粍(2分)許の齒片を有し、花冠は盆形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕臺灣にては園養せらるゝものなれども、喜馬拉の原產種なり。

1926. モウリンクワ …… モクセイ科
Jasminum Sambac, Ait.

（異名）マツリカ・マツリ・マリクワ・モリタワ 〔形態〕外來種に屬する藤本にして、全株に短毛を布き、葉は葉柄を有し、對生或は3片宛の輪生をなし、葉身は橢圓形或は廣卵形にして微に凸頭或は圓頭をなす。花は聚繖花序をなして枝端に頂生し、3-12花を着生す。萼は先端5裂し、各裂片は線形にして、花冠は盆形をなし、筒部は1-3糎(4分)許、各裂片は長橢圓形或は圓形を呈するものなり。〔花色〕淡黄白色。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

6. イボタノキ屬 LIGUSTRUM.

1927. **いぼたのき** 水蠟樹 (23圖版-226)……モクセイ科
Ligustrum Ibota, *Sieb.* var. angustifolium, *Blume.* (*L. Ibota, Sieb.*)

（異名）いぼた・いぼたらふ・いぼのき・いぼとり 〔形態〕林野に自生多き落葉灌木にして、幼條には短毛を密生し、幹は高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達す。葉は長橢圓形、鈍頭にして基脚又鈍形をなし、長さ3糎(1寸)許を有し、短柄によりて對生し、下面には短毛を密生す。花は圓錐花序をなして枝端に頂生し、多花を着け、短毛を密布す。萼は壺形をなし外面に細毛を布き、先端4淺裂す。花冠は筒形をなし長さ1糎(3分)許、同じく先端4裂し、各裂片は三角形、鋭頭をなす。雄蕊は花冠の裂片より稍短し。果實は漿果をなし球形にして黒色に成熟し、果徑6粍(2分)許あり。〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔成果〕10月。〔分布〕北海道・本州・四國・琉球・臺灣朝鮮。

人生との關係 本植物の成果より其樣を取り炒りて茶の代用となし、又本植物に寄生する小蟲のため枝に生じたる白色の粉狀物より蟲白蠟を取り藥用に供す。普通本品をイボタ蠟と稱し藥材及工業用に供せらるゝものなり。

1928. **おほばいぼたのき** …… モクセイ科
Ligustrum ovalifolium, *Hassk.*

（異名）おほばいぼた 〔形態〕多く瀕海地に自生する常綠灌木にして、全株無毛種に屬し、幹高さ3-6米(1-2丈)に達するものなり。葉は長橢圓形をなし、先端、基脚共に尖り、長さ3-6糎(1-2寸)許を有し、短柄によりて對生す。花は圓錐花序をなして頂生し、花冠の筒部は裂片と同長。雄蕊は花冠外に挺出し、果實は球形の漿果にして黒熟す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔成果〕11月。〔分布〕北海道・四國・九州。

人生との關係 本植物の果實は有毒なれば注意すべきものなり。

1929. けおほばいぼたのき …… モクセイ科
Ligustrum ovalifolium, *Hassk.* var. heterophyllum. *Nakai.*

〔形態〕本種は前種の1變種に屬し、幼條並に花序に毛茸を有するものなり。〔分布〕本州中部。

91 おほばいぼたのき

92 みやまいぼた

1930. **みやまいぼた** …… モクセイ科
Ligustrum yesoense, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、幼條には細毛を布き、幹は多くの小枝を分つ。葉は短柄によりて對生し、葉身は廣披針形にして先端及基脚共に尖り、下面に細毛を布く。花は圓錐花序をなして枝端に頂生し、花冠の筒部は萼部より長く、雄蕊は花冠と同長なるか或は稍長きものなり。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道・本州。

1931. たいわんいぼた …… モクセイ科
Ligustrum formosanum, *Rehd.*

〔形態〕幹高さ1米(3尺)乃至3米(1丈)許に達する灌木にして、幼條に毛茸を有し、葉は革質にして、廣卵形或は菱狀廣橢圓形稀に倒卵形をなす。花は圓錐花序をなし頂生し、花軸には細毛を散生す。花冠は盆形をなし、筒部は細長、裂片は長橢圓狀卵形をなして反捲し、筒部の2倍長く、雄蕊は花筒より超出す。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

1932. **ねずみもち** 鼠梓・女貞木・冬青木 …… モクセイ科
Ligustrum japonicum, *Thunb.* (23圖版-227)

（異名）たまつばき・てらつばき 〔形態〕山野に自生する常綠灌木なれども、又庭園等に栽植せらるゝことあり。全株無毛種に屬し、高さ3-6米(1-2丈)に達し、葉は革質にして卵形或は稍圓形をなし、短鋭尖頭、鈍端にして全緣、長さ3-6糎(1-2寸)許あり。花は圓錐花序をなして頂生し、萼は壺形にして4齒緣を有し、花冠は漏斗狀にして、筒部は萼の2倍長く、各裂片は長三角形をなし花筒と同長にして稍反捲す。雄蕊は2個ありて挺出す。果實は核果にして黒熟し、橢圓形にして長さ1·3糎(4分)許あり。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔成果〕11月。〔分布〕本州各部・九州・小笠原島・琉球・臺灣・朝鮮・滿洲。

人生との關係 核を炒りて「コーヒー」の代用として飲用す。朝鮮、滿洲地方にては本植物の果實を女貞子と稱へ藥用に供す。即ち本種子を服すれば精神を養ひ、百病を除く妙藥なりと稱すれども、要するに1種の滋養强壯劑なり。亘齊嶋にて發賣する女貞丸は本種子より製したるものなり。

本邦にては庭園或は生垣用樹木として廣く栽植せらる。繁殖は普通挿木によるものなれども、播種にもよることあり。

1933. ふくりんねずみもち …… モクセイ科
Ligustrum japonicum, *Thunb.* var. aureomarginatum, *Nakai.*

〔形態〕概形前種に似たるものなれども、本種は其葉の緣邊黄色を呈するものなり。（栽培種）

1934. ふくろもち …… モクセイ科
Ligustrum japonicum, *Thunb.* var. rotundifolium, *Blume.*

〔形態〕概形ネヅミモチに似たるものなれども、本種の葉は質厚く革質をなし、葉身は圓形或は圓卵形をなし滑澤にして、表面隆起し、花は圓錐花序をなし多花を密生するものなり。〔分布〕九州(對馬)・臺灣。

1935. けねずみもち …… モクセイ科
Ligustrum japonicum, *Thunb.* var. pubescens, *Koidz.*

〔形態〕本種は花部に短毛を有する1種なり。〔分布〕邦内南部。

1936. きもんねずみもち …… モクセイ科
Ligustrum japonicum, *Thunb.* var. variegatum, *Nakai.*

PL. 23.

218 やちだも

219 しほじ

220 ながみのとねりこ

221 マンナ

222 ワウバイ

223 リウキウワウバイ

224 ソケイ

225 キソケイ

226 いぼたのき

227 ねずみもち

〔形態〕本種は葉の中央に黄色の斑紋を有するものなり。（栽培種）

1937. タウネズミモチ …… モクセイ科
Ligustrum lucidum, Ait.

〔形態〕支那原産の常綠灌木にして．全株無毛種に屬す。葉は有柄にして對生し．葉身は卵形或は卵狀披針形にして．鋭頭或は鋭尖頭をなし．長さ7·5-12糎（2·5-4寸）許あり。花は圓錐花序をなし頂生し．萼は倒圓錐形．截頭をなし．花冠の筒部は萼と同長．裂片は長楕圓形をなし筒部より長く．雄蕊は花冠外に挺出す。果實は楕圓形或は球形をなし黑熟し．長さ9-12粍（3-4分）許を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕支那。

7. オレイフ屬 OLEA.

1938. **オレイフ** 阿列布·橄欖 …… モクセイ科
Olea europaea, L.（24圖版-228）

（異名）ホルトノキ　〔形態〕歐羅巴南部に原産の常綠小木本にして．幹は高さ6米（2丈）許に達するものなり。葉は長楕圓形或は披針形をなし．全緣．革質にして下面に鱗毛を布き．短柄により對生す。花は總狀圓錐花序をなして腋出し．1種の芳香を放つ。本花の萼は先端4齒緣をなし．花冠は4深裂す。雄蕊は2箇．子房は2室なり。果實は廣圓形の核果にして點頭す。〔花色〕黄白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐洲南部。

人生との關係　充分成熟したる果實を採取し．石核を除き．壓搾して得たる脂肪を「オレーフ」油と稱し藥用に供す。主成分は脂肪約70％を含有し其他に少量の軟脂．「アラヒン」等をも含有す。日本藥局方にては引赤紙．單鉛泡膏．弱發泡膏．藥用石鹼等を製するに應用すとあり。其他軟膏．硬膏製造の原料に供するものなり。

1939. コバノオレイフ …… モクセイ科
Olea eurpaea, L. var. *Oleaster*, DC.

〔形態〕概形前種に酷似するものなれども．本種の莖は方形をなし稍刺を有し．葉は小形なる楕圓形をなし．果實も亦前種に比し小形なるものなり。〔原産地〕歐羅巴。

8. モクセイ屬 OSMANTHUS.

1940. **もくせい** 木犀 …… モクセイ科
Osmanthus asiaticus, *Nakai*.

（異名）ぎんもくせい　〔形態〕專ら庭園に栽植し觀賞に供せらるゝ常綠の小灌木にして．幹は高さ3米（1丈）餘に達するものあり。葉は革質にして短柄により對生し．葉身は楕圓形乃至披針形をなし．先端尖り．基脚楔形．緣邊鋭鋸齒緣或は全緣をなす。花は頗る佳香を放つ。本花は4深裂し．内に2雄蕊．1雌蕊を着生す。果實は核果にして廣楕圓形をなし碧黑色に成熟し．長さ1·3糎（4分）許あり。〔花色〕白色。〔花候〕11月。〔分布〕九州。

1941. **キンモクセイ** 金木犀（24圖版-229）…… モクセイ科
Osmanthus fragrans, Lour. var. *aurantiacus*, *Makino*.

〔形態〕概形前種に同樣なれども．本種は花色橙黄色を呈するものにして前種より一層强烈なる佳香を放つものなり。〔原産地〕支那。

1942. ウスギモクセイ 淡黄木犀 …… モクセイ科
Osmanthus fragrans, Lour. var. *Thunbergii*, *Makino*.

〔形態〕本種の葉はキンモクセイの如くなれども．花色黄白色を呈し．核果は暗碧色に成熟し．核は楕圓狀紡錘形を呈するものなり。（栽培種）

1943. ながばもくせい …… モクセイ科
Osmanthus Matsumuranus, *Hayata*.

（異名）おほばもくせい　〔形態〕臺灣島に自生品を見る常綠灌木にして．葉は紙質をなし．葉柄によりて對生し．長楕圓形或は披針形．全緣なるか或は稍波狀をなし．長さ12糎（4寸）許あり。花は總狀花序をなせども短形をなし腋出す。萼は先端4裂し．各裂片は鈍頭にして毛緣を有す。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

1944. **ヒラギモクセイ** …… モクセイ科
Osmanthus fortunei, Carr.（24圖版-230）

〔形態〕本種は葉緣に多數の齒牙を有するものなり。されど梢上に生ずる葉には少數なるか．往々全緣をなすものあり。〔原産地〕支那。

1945. **ひひらぎ** 柊·枸骨 …… モクセイ科
Osmanthus ilicifolius Nakai.（24圖版-231）

（異名）ひらぎ・ひいら・おにひらぎ・おにのめつき・おにしば

〔形態〕山地に自生品を見る常綠喬木にして．幹は高さ6米（2丈）餘に達し．樹皮は赭黑色を呈し平滑なり。葉は短柄によりて對生し．葉身は先端鋭尖頭をなし．葉脚より葉緣に沿ふて鋭尖なる鋸齒を有し人を刺す。基部は鈍形にして葉柄に流る。花は雄性兩性雜花をなし3粍（1分）許の小梗によりて腋出し．モクセイには及ばざれども1種の佳香を放つ。萼は短鐘形をなし4齒緣を有し．花冠は全裂して4片をなし．覆瓦樣に排列す。雄花に於ては雄蕊2箇ありて花冠外に挺出し．退化子房を有し．兩性花にありては雄蕊2箇．子房は2室を有す。核果は廣楕圓形をなし暗紫色に成熟し．長さ1·3-1·5糎（4-5分）許あり。〔花色〕白色。〔花候〕10月。〔成果〕翌年10月。〔分布〕本州中部及南部·四國。

人生との關係　本植物は多く生垣とし．又其葉に白斑あるものは盆栽として觀賞に供する他．枝葉を採りて節分の鬼除けに使用せらるゝことは周知の事實なり。

尙本植物の材は褐色の邊材．帶紫褐色の心材を有し．材質堅硬にして鉋削りし難く．鉋削面は光澤を有するのみならず細紋を有し美麗なるものなり。この材は主として算顆·印材·櫛·箸·將棋·三絃の撥を造るに用ひられ．又方旋作用に供せられ．椀類を作るにも重用せらるゝものなり。

1946. なたをれのき …… モクセイ科
Osmanthus Zentar[illegible]nus, *Makino*.

（異名）なたはじき・さつまもくせい　〔形態〕暖國の山地に自生する常綠喬木にして．幹は高さ15米（5丈）許に達するものあり。枝條は毛茸を有せず。花は白色．果實は長卵形或は楕圓形をなして下垂し．黑色に成熟し稍白粉を裝ふ。〔花色〕白色。〔花候〕11-12月。〔成果〕翌年5月。〔分布〕九州·琉球。

9. ハシドイ屬 SYRINGA.

1947. **はしどい**（24圖版-232）…… モクセイ科
Syringa amurensis, *Rupr*. var. japonica, *Franch*. et *Sav*.

（異名）ぎんつくばね・やちかば・どすなら　〔形態〕幹高さ10米（3丈）餘．周圍1米（3尺）餘に達する落葉喬木にして．樹皮は帶褐黑色を呈し横に線條を有す。葉は葉柄を有し互生し．葉身は廣卵形乃至廣楕圓形をなし全緣．長さ7·5-18糎（2·5-6寸）許を有し．有毛或は無毛なるものあり。花は數花撒簇し圓錐花序に排列す。萼及花冠は共に4裂し．果實は成熟すれば裂開す。〔花色〕白色小形。〔花候〕6月。〔成果〕10月。〔分布〕千島·北海道·本州中部及北部。

人生との關係　本植物の材は淡褐色の心材と．稍白色を帶ぶる邊材とより成り．材質は堅軟中庸．鉋削すれば光澤を有す。この材は主として薪炭用又は小細工用に供せらるゝものなれども．殊に生木にても燃燒し易き特性を有するもつて．露宿の際の燃料として最も可なり。又腐朽し難きをもつて．北海道の土人は建築の要部に使用す。時に庭園の風致樹．盆栽用として栽培せらるゝことあり。

1948. まんしうはしどい …… モクセイ科
Syringa amurensis, *Rupr*. var. genuina, *Maxim*.

〔形態〕本植物は其葉及花序に毛茸を有せざるものなり。〔分布〕樺太·北海道·九州。

1949. シナハシドイ …… モクセイ科
Syringa affinis, Henry.

〔形態〕本邦にては園地或は盆栽用として栽培せらるゝ灌木にして．疎に小枝を分ち．葉は廣卵形にして先端尖り．基脚截形をなす。花序は瘠長にして疎に花を着く。萼は4齒緣をなし．花冠の筒部は約7粍（2·5分）許の長さを有するものなり。〔花色〕白色。〔原産地〕支那。

1950. **ムラサキハシドイ** …… モクセイ科
Syringa vulgaris, L.

（異名）スワウボク・ハナハシドイ　〔形態〕外來の1種にして本邦にては專ら庭園に栽培せらるゝ落葉の灌木なれども．時に喬木狀を呈するものあり。全株無毛種に屬し．葉は長柄によりて對生し．葉身は卵形にして先端尖り．基脚截形或は心臟形をなし全緣．長さ4·5-10糎（1·5-3寸）許．鮮綠色を呈し表面滑澤なり。花は複總狀花序をなして頂生し．萼は不齊に4裂し．花冠の筒部は狹き筒形をなし長さ1糎（3分）許．先端4裂し．各裂片は卵形にして圓頭をなす。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　專ら觀賞用として園地に栽植せらるゝものなり。

1951. シロライラック …… モクセイ科
Syringa vulgaris, L. var. *alba*, Ait.
〔形態〕本種は前種の1栽培變種にして、花色白色を呈するものなり。（栽培種）

1952. ヤヘライラック …… モクセイ科
Syringa vulgaris, L. var. *plena*, Hort.
〔形態〕本種も亦1栽培變種に屬し、重瓣花を有するものなり。（栽培種）

93 ムラサキハシドイ　94 ペルシヤハシドイ

1953. **ペルシャハシドイ** …… モクセイ科
Syringa persica, L.
〔形態〕外來の1種にして、本邦にては專ら庭園の風致樹として栽植せらるゝ灌木なり。葉は對生し、葉身は披針形或は廣披針形にして全緣、花は圓錐花序をなし多花を着生す。〔花色〕青紫色或は白色。〔花候〕夏。
〔原産地〕ペルシヤ。

* * * * *

カキ群

1. ゑごのき(齊墩果)科 STYRACACEÆ.

本科に屬する植物は喬木又は灌木にして、星狀の毛茸を有し、葉は互生し、托葉を有せず。花は整齊にして雌雄兩全なれども、稀に雜性的雌雄異株をなし、單生なるか、又は數花攢簇して頂生或は腋生の總狀花序をなし、葉に先ちて開花するものあり。萼は鐘形又は筒狀をなし、多少子房に合着し、先端は5齒、稀に4齒、稀に全緣をなす。花冠は合瓣又は離瓣にして、裂片又は花瓣は5箇、稀に4箇あり。雄蕊は花冠の裂片又は花瓣の倍數又は其以上ありて單列をなし、花冠の筒狀部に着生す。花絲は基部に於て連合し、單體又は4-5體をなす。葯は線形又は長橢圓形にして側着し、內向す。花盤は缺如す。子房は上位又は半上位にして、2-5室をなし、每室に單一又は少數の倒生卵子を藏す。花柱は纖細にして長く、柱頭は單一又は2裂、或は5裂す。果實は蒴果又は核果にして間々殆ど乾燥するものあり。種子は單一又は2-3箇を有するものあり。

95 エゴノキ科の代表花

本科の植物は熱帶、亞熱帶に產し、殊に南亞米利加に多きものなれども、又北亞米利加・日本・支那・印度・マライ諸島にも產出す。世界を通じ6屬凡70餘種を產し 本邦には自生するもの栽培するものを合し大約4屬10餘種を產出す。

本科所載植物索引目次

アサガラ……1956　オホバヂシヤ……1963　ハクウンボク……1965
アメリカアサガラ……1955　ケアサガラ……1957　ハビロ……1953
アンソクカウ……1958　コウラジロエゴノキ…1961　ハンノキエゴノキ……1954
ウラジロエゴノキ……1960　コハクウンボク……1964　ヒメウラジロエゴノキ1961
エゴノキ……1959　シマエゴノキ……1960　ヤマヂサ……1959
エゴハンノキ……1954　タイワンエゴノキ……1962　ロクロギ……1959
ヲナガシ……1963　チサノキ……1959
オホバアサガラ……1957　チシヤノキ……1959

1. エゴハンノキ屬 ALNIPHYLLUM.

1954. ゑごはんのき …… エゴノキ科
Alniphyllum pterospermum, *Matsum.*
（異名）はんのきゑごのき　〔形態〕山野に自生する喬木にして、幼條には星毛を布く。葉は長柄によりて互生し、紙質を呈し、葉身は橢圓形或は長橢圓狀披針形をなし、先端尖り稍鈍脚を呈し、緣邊細齒狀をなす。この葉は長さ約10-12糎（3-4寸）にして、約10對の側脈を有し、先端彎曲し、上面には星毛を散生し、下面には密生す。花は圓錐狀花序をなし、新葉の發生と同時に頂生し、10數花を着生す。本花の有する萼は鐘形にして、先端5裂し、花冠も亦先端5裂し、各裂片は橢圓形にして、平開し、花徑約3糎（1寸）許あり。雄蕊は長短10數箇ありて花冠に着生し、子房は上位にして5室を有す。果實は長橢圓形をなし、長さ15糎（5寸）許あり。〔花色〕白色。
〔分布〕臺灣。

PL. 24.

228 オレイフ　229 キンモクセイ　230 ヒラキモクセイ
231 ひらぎ　232 はしゞ　233 あさがら
234 アンソクカウ　235 ゑごのき　236 はくうんぼく

2. アメリカアサガラ屬 HALESIA.

1955. **アメリカアサガラ** …… エゴノキ科
Halesia tetraptera, L.

〔形態〕外來の小木本にして、本邦には園地に栽培せらるゝ一種とす。葉は長橢圓狀卵形をなし、先端尖り、基脚楔形或は圓形をなし、細鋸齒緣を具ふ。この葉は長さ4-5-9糎(1-5-3寸)許ありて、下面に星毛を密布す。花は2-4花を葉腋上に簇生す。本花の有する萼は倒圓錐形にして4齒緣をなし、花冠は鐘形にして、先端4裂し、雄蕊は10-16箇、子房は4室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔原産地〕北亞米利加。

3. アサガラ屬 PTEROSTYRAX.

1956. **あさがら** 白辛樹 (24圖版-233)…… エゴノキ科
Pterostyrax corymbosum, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株に星毛を布き、幹は高さ6-9米(2-3丈)に達するものあり。葉は有柄にして互生し、葉身は廣橢圓形或は卵形をなし、先端は急激に尖り、緣邊に刺毛狀の細鋸齒を有す。花は圓錐花序にして、房狀を呈し、多花を着く。本花の有する萼は5齒緣をなし、花冠は5深裂し、各裂片は筮狀長橢圓形をなす。雄蕊は10箇ありて花冠より稍超出し、子房は3室を有し、果實は短筒形をなし5翼を有し、星毛を布く。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係 材は多く薪炭に使用する外、小器具を作るに利用し、又風致樹として庭園に栽植することあり。

1957. **おほばあさがら** 大葉白辛樹…… エゴノキ科
Pterostyrax micranthum, *Sieb.* et *Zucc.* (*P. hispidum, Sieb.* et *Zucc.*)

(異名) けあさがら 〔形態〕諸國の山中に自生する喬木にして全株に星毛を布く。葉は有柄にして互生し、葉身は長橢圓形或は倒卵狀長橢圓形にして短銳尖頭をなし、基脚圓形或は楔形をなし、不齊の細鋸齒緣を具へ、長さ6-7-5糎(2-5寸)許あり。花は圓錐花序をなし、長大にして稍下垂す。本花の有する萼は先端5、稀に5齒緣をなし、花冠は5深裂し、各裂片は長橢圓形をなす。果實は圓柱形にして兩端尖り、翅を有することなく、10脉を具へ、帶白色の剛毛を密生す。果實には花柱永存し、下部は綿毛を密生し、上部は平滑なり。〔花色〕白色。〔花候〕7月。〔成果〕10月。〔分布〕本州各部・四國・九州・朝鮮・支那。

1958. **アンソクカウ 安息香**……¹ エゴノキ科
Pterostyrax Benzoin, Dryander. (24圖版-234)

〔形態〕「スマトラ」島及其他の「マライ」諸島に產する喬木にして、樹皮は茶褐色を呈し、稚枝には褐色の絨毛を密布す。葉は長卵形にして、銳尖頭をなし、長さ9糎(3寸)餘に達し、下面に軟毛を密生す。花は梢上葉腋に小枝を出し、直徑6粍(2分)許の小花を綴る。花冠は先端5裂し、萼と花梗とには白色の軟毛を密生す。雄蕊10、雌蕊1箇を有し、花絲は平滑なり。果實は球形にして白色の軟毛を密生し、直徑1糎(3分)許あり。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶地方。

人生との關係 本植物の樹皮に切痕を附し、之より流出する樹脂を乾涸せしめたるものを安息香 (Gum benzoin) と稱し、藥用・香料等に供す。其主成分は安息香酸と稱するものなり。

元來この安息香には3種類あり。卽其一種は「シヤム」安息香と稱し、「シヤム」國の「バンコツク」より產出するものにして、淡褐黃色或は帶赤黃色、蠟樣の光澤を有し、相粘着する顆粒にして、其破碎面は乳白色を呈す。第二種に屬するものは「カルカツタ」安息香と稱し、印度より產出し、黃色乃至赤褐色の塊にして、淡色の顆粒を孕包し、間々多數の空罅を有するものにして、前種に比し稍劣等品に屬す。以上2種は藥用に適するものなれども、第三種に屬するものは「スマトラ」安息香と稱するものにして、多量の硅酸を含有し藥用に供する能はず、單に香料に供せらるゝものなり。

4. エゴノキ屬 STYRAX.

1959. **ゑごのき** 齊墩果・野茉莉…… エゴノキ科
Styrax japonicum, *Sieb.* et *Zucc.* (24圖版-235)

(異名) ちしゃのき・ちさのき・こはぜのき・ちゃうめ・こめみづ・やまちさ・ろくろぎ・ぼとぼとのき・ざとうのつゑ 〔形態〕山野に自生する喬木にして、幹高さ10米(3丈)餘、周圍1米(3尺)餘に達し、樹皮赭黑色、始めは平滑なれども、後小さき鱗片狀を呈するに至る。枝條は細長にして傍らに擴張し、春日新葉を出す。嫩枝と新葉とには星狀をなせる短き軟毛を密生し、後平滑となる。葉は長さ3-6糎(1-2寸)許、廣橢圓形又は橢圓狀披針形をなし、上下兩端共に尖り、鈍鋸齒狀細鋸齒緣を具ふ。花は梢上葉腋上に花枝を擢れ、平滑なる總狀花序をなして3-6花を着生す。本花の有する萼は短形にして廣く、上端に鈍齒を有す。花冠は漏斗狀をなし先端5深裂し、各裂片は卵狀披針形をなし細毛を布く。雄蕊は10箇、子房は半下位をなし、基脚3室をなす。果實は核果をなし、小形にして圓く、長さ1糎(3分)、徑6粍(2分)許。秋に至り熟すれば黑色を呈し、白粉を裝ひ、內に紫褐色の種子を藏す。小鳥のヤマガラ(山雀)好みて之を食す。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕本州各部・四國・九州・朝鮮・支那。

人生との關係 仁より油を搾る。これを「ゾサ」の油と稱す。人民この實を搗き、灰と混じて水田の肥料とし、又種子を潰して小流に投入し、鰻を捕ふに使用す。材は緻密重硬にして割れがたく、邊材は淡褐色、心材は帶紫淡褐色を呈す。器物又は杖を作り、又傘の轆轤を製す。故にロクロキの一名を有す。樹を伐れば、舊株より蘗葉を生じ、甚だよく伸長し易く、これを採りて箕の緣及薪等とす。又本植物の枝或は葉には癭蟲の寄生して蟲癭を生ずることあり。これを猫足と稱す。

1960. **うらじろゑごのき** …… エゴノキ科
Styrax suberifolium, *Hook.* et *Arn.*

(異名) しまゑごのき 〔形態〕山野に自生する小木又は灌木にして、枝條葉の裏面及花枝に毛茸を密生して赭褐色を呈することあり。葉は卵狀長橢圓形又は長圓狀披針形にして、銳尖頭をなし、長さ6-9糎(2-3寸)餘、葉柄の方に向ひて狹小となり、全緣にして硬質なり。花は總狀花序をなして腋出或は頂生し、小梗は極めて短く、萼は殼斗狀にして細齒牙緣、或は全緣をなし、花冠は先端4或は5深裂し、各裂片は狹長橢圓形をなし、果實は球形にして鈍頭を有し、熟すれば3裂す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣・香港・支那。

1961. **こうらじろゑごのき**…… エゴノキ科
Styrax Hayataianum, *Perk.*

(異名) ひめうらじろゑごのき 〔形態〕山地又は平野に自生する灌木にして、本種の葉は紙質をなし、葉柄によりて互生し、葉身は長橢圓形或は倒卵形にして銳尖頭或は鏡頭をなし、基脚鈍形、全緣にして長さ6-9糎(2-3寸)許、下面に灰白色の短毛を布く。花は前種と同樣聚繖花序をなして腋生し、萼は筒形にして不明の齒牙緣を具へ、花冠は先端5裂し、各裂片は披針形なり。〔分布〕臺灣。

1962. **たいわんゑごのき** …… エゴノキ科
Styrax formosanum, *Matsum.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、全株に星毛を布く。葉は紙質をなし、有柄にして互生し、橢圓形或は倒卵形、銳頭、基脚楔形をなし、全緣なるか或は稍細齒牙緣を具へ、長さ約3糎(1寸)許あり。花は總狀花序をなし、4-8花を着生し、萼は殼斗形をなし、不齊の齒牙緣を有し、花冠先端5裂し、各裂片は披針形にして、長さ約1糎(3分)內外なり。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕臺灣。

1963. **はくうんぼく** 玉鈴花・白雲木…… エゴノキ科
Styrax Obassia, *Sieb.* et *Zucc.* (24圖版-236)

(異名) おほばぢしゃ・はびろ・おほがめのき・ななかし・おほあかづら・おほばあかづら・はところし・やまかが・ひとつば 〔形態〕山地に自生する喬木にして、幹高さ15米(50尺)餘、周圍120糎(4尺)餘に達し、樹皮淡褐色を呈し、黑斑を表し、平滑堅硬にして裂目を有せず。枝は細長にして淡褐色を呈し、嫩枝と葉柄とには始め赭褐色の縮毛を密生すれども、後には平滑となる。葉は有柄にして互生し、葉身は膜質或は紙質をなし、廣橢圓形或は倒卵形或は橢圓形にして凸頭をなし、基脚は圓形或は楔形をなし、全緣なるか或は微に凸尖狀の齒牙緣をなし、長さ10-20糎(3-7寸)許、下面に灰白色の絨毛を布く。花は枝端に總狀花序をなし、1側に10餘花、多きは20餘花を下向して攢簇し、佳香を放つ。花枝の軸部は平滑なれども、小梗及萼には微細なる縮毛を生ず。萼は宿存性にして5箇の齒牙を有し、花冠は5深裂し、各裂片は倒卵形長橢圓形をなし、雄蕊は花冠外に挺出す。果實は長さ1-5-1-8糎(5-6分)許、卵狀長橢圓形にして先端尖り、總狀をなして下垂す。九月頃成熟し青白色となり、皮裂けて茶褐色の種子を出し、甚だ堅硬なり。

〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・朝鮮。

人生との關係 白花を開き頗る美觀を呈するを以て庭園に栽植せらる。材は緻密堅硬にして黃白色なれども、大氣に曝せば帶赤色に變ず。邊材は淡褐色、心材は帶紅赭黃色を呈し、多くは傘の轆轤・杓子・獨樂などを作り、又薪炭に供する等用途廣く、果實の仁には油脂を含有し、之より油を搾り蠟燭を製す。本植物にも蟲癭を生ずること前種エゴノキに同じ。

1964. **こはくうんぼく** 小白雲木…… エゴノキ科
Styrax Shiraiana, *Makino.*

〔形態〕前種と同様山地に自生する喬木にして全株に星毛を布く。本種は概形前種ハクウンボクに酷似するものなれども、葉・花・果實等何れも小さく、葉は基部に向ひて楔形をなし、花枝は枝端にありて總狀花序をなし、葉よりも短く、小梗も極めて短く、各1箇宛の苞を具へ、萼は鐘形にして5淺裂し、各裂片は三角形をなし、更に2裂又は3裂することあり。花冠は5-7裂し、各裂片はハクウンボクより短小にして楕圓形又は長楕圓形を呈し、果實は卵形或は球形にして、長さ1·3糎（4分）許を有するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕6-7月。〔分布〕本州中部·南部·四國·九州·朝鮮。

* * * * *

2. はひのき（灰木）科 SYMPLOCACEÆ.

本科に屬する植物は灌木或は喬木なり。葉は互生して、全緣なるか或は鋸齒をなし、托葉を有することなし。花は兩性にして、腋生なるか、或は屢ば密に攢簇し、短き總狀花序をなすもの、穗狀花序をなすもの、又は單生をなし何れも鱗片樣の苞を有す。萼の裂片は覆瓦狀に排列し、花冠は3-11を有すれども通常5箇の花瓣より成り、多少萼と合着し、蕾の時は覆瓦狀をなす。雄蕊は多數ありて1-4列に排列し、各雄蕊は凡て其基部を以て互に合着する場合と、或は一部分づゝ合一して一束となり、或は全雄蕊分離して數束をなす場合とあれども、何れの場合にてもこの雄蕊は花冠の基部に於て癒着するものなり。葯は圓形を呈し、葯隔を有せず。子房は下位或は半下位にして2-5室を有し、大形なる密槽により圍繞せらる。卵子は各室に2-4箇懸垂す。花柱は單一にして絲狀をなし、柱頭は單一又は3-5裂す。果實は漿果をなし、多肉にして圓筒狀或は圓味を帶び、萼片の殘痕を有し、內に1種子を藏す。胚は長楕圓形にして眞直或は彎曲し、胚乳の中央に位す。

96 ハヒノキ科の代表花

本科の植物は主として熱帶及亞熱帶に産し、世界を通じ1屬280種を産すれども、本邦には15-16種を産出す。

本科所載植物索引目次

アヲバノキ……1074
イスノキ……1065
カンザブラウノキ……1073
クロギ……1070
クロバヒ……1066
コウトウカンザブラウ……1074
コウトウハヒノキ……1074
サハフタギ……1075
シロサハフタギ……1077
シロバヒ……1068
シロミノサハフタギ……1076
ツメレバ……1066
タンナサハフタギ……1078
ツバタギ……1075
トチレバ……1066
ニシゴリ……1075
ハヒノキ……1065
ヒロハノミミズバヒ……1072
マルバクロバイ……1067
ミミズベリ……1071
ミミブバヒ……1071
メメズリ……1071
ヤニキ……1075
ヤマギ……1070
ヨンダイフタギ……1079
リウキウハヒノキ……1069
ルリミノウシコロシ……1075

1. ハヒノキ屬 SYMPLOCOS.

1965. **はひのき** 灰木…… ハヒノキ科
Symplocos myrtacea, *Sieb.* et *Zucc*

（異名）いすのき 〔形態〕山地に自生する常綠喬木にして、全株無毛種に屬し、葉は幼き時は厚き膜質をなせども、老成すれば革質となり、長さ6糎（2寸）、幅3糎（1寸）許を有し、楕圓形或は披針形をなし、緣邊に鋸齒をなし、先端甚だ長く伸長し、基部圓形をなす。花は總狀花序をなして腋生し、數花を着く。本花の有する小梗は甚だ長く、1·8-2糎（6-7分）に達す。萼は平滑、裂片は圓く先端稍尖る。花冠は萼の3倍長く、雄蕊25箇許ありて花冠外に挺出し、果實は青色にして、熟すれば黑色を呈し、長さ1糎（3分）許卵形にして平滑なり。本邦の特產植物に屬す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係 葉の煮汁を茶色の染料に供する地方あり。材は白色を呈し將棋の駒·箏等を作るに使用せらる。

1966. **くろばひ**…… ハヒノキ科
Symplocos prunifolia, *Sieb.* et *Zucc.* **（25圖版-237）**

（異名）とちしば·そめしば 〔形態〕前種と同樣山地に自生するものなれども、本種は小喬木をなし、葉は有柄にして互生し、葉身は革質をなし、長さ3·6糎（1·3分）乃至7·5糎（2·5寸）許に達し、披針形又は楕圓形をなし、邊緣鋸齒を具へ、先端長く伸長し、基脚楔形をなす。花は總狀花序をなし、5-10花を着け細毛を密生す。萼の裂片は廣卵形をなし、花冠は萼の3倍長く、果實は卵狀圓柱形をなし、長さ6粍（2分）許あり。〔花色〕黃色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

1967. **まるばくろばひ**…… ハヒノキ科
Symplocos prunifolia, *Sieb.* et *Zucc.* var. Uiae *Makino.*

〔形態〕本種の葉は革質にして、廣橢圓形或は楕圓形をなし、圓頭或は凹頭、基脚は鈍形、或は銳形をなし、上半部に鈍齒牙緣を具へ、長さ3糎（1寸）乃至5·4糎（1·8寸）許あり。花は短形の總狀花序をなし、多花を密生し、瓣片5箇ありて離生するものなり。〔分布〕本州南部。

1968. **しろばひ** …… ハヒノキ科
Symplocos lancifolia, *Sieb.* et *Zucc.* (*Bobua lancifolia, Nakai.*) **（25圖版-238）**

〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして、幹は高さ3-6米（1-2丈）に達し幼條には褐色の毛茸を生ず。葉は楕圓形或は披針形にして緣邊細鋸齒をなす。花は穗狀花序をなして腋生し、多花を着く。萼の裂片は圓形、花冠は萼の2倍長く、果實は球形にして綠色を呈し、毛茸を有せず。〔花色〕黃色。〔花候〕初夏。〔分布〕四國·九州·琉球·臺灣。

1969. **りうきうはひのき** …… ハヒノキ科
Symplocos okinawaensis, *Matsum.*

〔形態〕本種は前種と稍同樣なるものなれども、彼に比し花序短小にして葉柄より短く、短毛を布き、果實は廣橢圓形にして細毛を有するものなり。〔分布〕琉球。

1970. **くろぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos lucida, *Sieb.* et *Zucc.* (*Bobua japonica, Miers.*) **（25圖版-239）**

（異名）やまき 〔形態〕多く溫暖なる土地に自生する常綠喬木にして全株無毛種に屬し、幹高さ10米（3丈）餘に達し、樹皮黑褐色を呈す。葉は革質をなし、有柄にして互生し、葉身は廣橢圓形或は倒卵形凸頭をなし、緣に鋸齒緣をなし、長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許あり。花は約5花宛腋出し、殆んど花梗を有せず。萼の裂片は圓形をなし、花冠は萼の2倍長し。果實は楕圓形をなし、長さ1糎（3分）許あり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係 本植物の材は器具の製作、薪炭の原料として有要なるものなり。

1971. **みみずばひ** 美美津灰 **（25圖版-240）** ··· ハヒノキ科
Symplocos glauca, *Koidz.* (*Bobua glauca, Nakai.*)

（異名）めめずり·みみすべり 〔形態〕暖地に自生する常綠喬木にして、全株無毛種に屬し、幹は高さ10米（3丈）餘に達するものあり。葉は有柄にして互生し、葉身は稍革質を呈し、長楕圓形或は披針形をなし全緣、下面に白粉を裝ひ、長さ12糎（4寸）許あり。花は短き總狀花序をなし多花を密生す。本花の有する萼は短形、花冠は鐘形をなし、萼の2倍長く、先端5裂し、各裂片は長楕圓形をなす。果實は卵狀楕圓形をなし、長さ12糎（4分）許あり。〔花色〕黃白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係 材を種々の箱或は器具を造るに用ふる他、時に庭園の風致樹として栽植せらるゝことあり。

1972. **ひろはみみずばひ** …… ハヒノキ科
Symplocos Tanakae, *Matsum.*

〔形態〕本種は前揭クロギに似たる1種なれども、彼に比し其葉は一層大きく、果實も亦大形にして球形を呈するものなり。〔分布〕琉球。

237 くろばい
238 しろばい
239 くろぎ
240 みみずばい
241 かんざぶらふのき
242 ゐをはだのき
243 さはふたぎ
244 たんなさはふたぎ
245 らんだいふたぎ

1973. **かんざぶらうのき**（25圖版-241）…… ハヒノキ科
Symplocos theophrastaefolia, *Sieb.* et *Zucc.*（*Bobua theophrastaefolia, Sieb.* et *Zucc.*）

〔形態〕暖國に自生する常綠喬木或は灌木にして．幹は高さ10米（3丈）餘に達す。葉は有柄にして互生し．葉身は革質或は紙質を呈し．楕圓形或は倒卵形をなし．長さ6-18糎（2-6寸）．緣邊鋸齒をなすか或は全緣をなし．各側に側脈8條を有す。花は穗狀花序をなして腋出し．往々稍圓錐狀を呈し．長さ3-6糎（1-2寸）許をなし．無毛なるか或は細毛を有す。苞は細小にして粗毛を布く。萼は先端5裂し．各裂片は圓形をなし．花冠も亦先端5裂し．長さ3粍（1分）を有す。果實は楔果にして徑6粍（2分）許の鐘形をなす。〔花色〕乳白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・臺灣。

人生との關係　材を器具製作の材料に供する他．本植物の葉を黃色の原料に供す。又庭園の風致樹として栽植せらるゝことあり。

1974. **あをばのき** …… ハヒノキ科
Symplocos Kotoensis, *Hayata.*（25圖版-242）

（異名）こうとうかんざぶらう・こうとうはひのき　〔形態〕暖國に自生する喬木にして．幼條及葉柄には褐色の毛茸を有し．葉は廣披針形或は長楕圓狀披針形をなし．緣邊には鋸齒を有するか．或は全緣．下面の脈上には始め細毛を有すれども後消失す。花は穗狀花序をなし．この花は卵形を呈する苞を有し．後調落する褐色の絨毛を布き．小苞も亦卵形を呈し．宿存性の褐色絨毛を布く。萼は先端5裂し．各裂片は廣卵形をなし．褐色の細毛を布く。花冠は5深裂し．各裂片は卵狀長楕圓形をなし．果實は卵形にして黑熟し．長さ6粍（2分）許あり。〔花色〕白色。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

1975. **さはふたぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos crataegoides, *Miq.*（25圖版-243）

（異名）るりみのうしころし・やにぎ・つべたぎ・にしごり・ゆきのき
〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして．幹は高さ20-25糎（7-8尺）に達し．幼條及葉の下面或は主脈上．花軸．花梗何れも毛茸を有するものなり。葉は倒卵形をなし．短柄によりて互生す。花は圓錐狀に排列し．花冠は萼より長く．子房は無毛或は稍毛を有し．果實は藍色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　材は薪炭製造の原料に供せられ．大なるものは小道具を造るに應用せらる。

1976. **しろみのさはふたぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos crataegoides, *Miq.* var. leucocarpa,（*Nakai.*）

〔形態〕前種の1變種にして果實は白色を呈するものなり。〔分布〕本州。

1977. **しろさはふたぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos crataegoides, *Miq.* var. pallida, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕本種も亦サハフタギの1變種にして．花冠は白色或は淡黃色を呈し．先端5裂し．雄蕊は通常25箇ありて5體をなし．果實は歪卵形をなし碧熟するものなり。〔分布〕本州・九州・臺灣。

1978. **たんなさはふたぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos argutidens, *Nakai.*（25圖版-244）

〔形態〕本種は前揭サハフタギに比し．葉の鋸齒粗大．果實は黑碧色或は黑色に成熟するものなり。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

1979. **らんだいふたぎ** …… ハヒノキ科
Symplocos adinandrifolia, *Hayata.*（25圖版-245）

〔形態〕山地に自生する灌木なり。葉は披針形にして．有尾銳尖頭を有し．稍全緣．長さ10糎（3-5寸）．側脈は稍弓形をなし．各側7-8條を有す。花は穗狀花序をなして腋出し．萼は倒圓錐狀鐘形をなし先端5裂し．各裂片は三角狀長楕圓形をなし．花冠も亦側圓狀鐘形をなし．長さ6粍（2分）許．先端5裂し．各裂片は卵狀長楕圓形或は長楕圓形を呈す。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

*　*　*　*　*

3. かき（柿樹）科　EBENACEÆ

本科に屬する植物は喬木又は灌木にして．葉は互生．稍稀に對生をなし．托葉を有せず．全緣にして概ね革質をなす。花は雌雄異花にして．通常雌雄異株又は雌雄雜株なり。花冠は整齊腋生にして．雌花は概ね單生し．雄花は擅

97 カキ科の代表花

簇し殆ど無梗又は短梗によりて聚繖花序をなす。萼は下位にして．通常3-7裂し．永存性なり。花冠は合瓣にして3-7裂し．脫落性をなし．蕾にありては通常包旋狀をなす。雄蕊は花冠の裂片と同又は其2-3倍ありて下位をなし．相互に相分離．或は花絲相連合す。葯は細長にして直立し．內向にして縱裂す。雌蕊には不完全雄蕊を具ふるものと．否らざるものとあり．花盤を有せず．子房は上位．多室にして每室に1-3箇の倒生卵子を藏す。花柱は2-8箇ありて分離し．或は下部に於て連合す。柱頭は頂生にして2裂することあり。果實は閉果にして漿果をなし．稀に革質にして多種子を藏するも．時に單種子なることあり。種子は下垂し．長楕圓形にして扁壓或は球形をなし．種皮は薄く．內に多くの胚乳を含む。胚は小形にして多くは直生．子葉は大形にして葉狀を呈す。

本科の植物は廣く熱帶及暖帶地方に播布し．世界を通じ既知のもの6屬凡そ250種を產出し．木材として貴重なるもの多く．殊に心材より烏木又は黑柿と稱し最も貴重すべき堅材を出す。又果實は食用となし．或は澁汁を採りて紙·網等を塗るに使用せらる。本邦には凡そ4屬10餘種を產出す。

本科所載植物名目次

カ　キ……1980　シナノガキ……1982　マメガキ……1983
クロガキ……1985　ゾウゲボク……1987　ヤハラケガキ……1986
クロキ……1987　タイワンコクタン……1975　ヤマガキ……1981
ケガキ……1985　タイワンマメガキ……1984　リウキウコクタン……1987
コガキ……1983　ブダウガキ……1983

1. カキ屬　DIOSPYROS.

1980. **かき**　柿…… カキ科
Diospyros Kaki, *L. f.* var. domestica, *Makino.*

〔形態〕本邦各地に於て廣く栽培せらるゝ重要なる果樹に屬し．落葉喬木にして高さ10米（2-3丈）に達するものあり。葉は互生し．卵狀橢圓形或は長橢圓形·倒卵形にして先端尖り．基部稍心臟形をなし．革質にして厚く．上面平滑にして光澤を有し．下面には微に毛茸を有するか或は平滑なり。花は雌雄異花にして同株に生じ．雄花は多くの雄蕊を有し花冠の內面に着生し．葯は長くして尖り．花絲は短小なり。雌花は雄花よりも大形にして萼は形大きく．雄花と共に先端4裂し．花冠は雌雄花共に壺形をなし先端4裂すれども．雌花のものは外方へ捲曲す。この雌花は不完全雄蕊10箇以上を有し．花冠の內面に着生し．雌蕊は1本．子房は上位にして8室を具へ．肥大にして圓く．每室に單卵子を藏す。果實は漿果にして直徑3糎（1寸）より10糎（3寸）許に達し．熟すれば帶黃赤色又は朱赤色となり．內に8箇の種子を埋存す。種子は長橢圓形にして兩端稍々尖り．外皮は茶褐色平滑にして光澤を有し．中に薄鼠色の胚乳と淡黃綠色の胚とを含む。〔花色〕淡黃色。〔花候〕6月。〔成熟〕秋。（栽植種）

人生との關係　本植物は我國に於て1000年の昔より廣く栽培せられ．從て品種頗る多く實に數百種に及ぶ程なり。果實は生食せられ．澁味のあるものは醂柿（サハシガキ）·白柿（コロガキ）·樽柿（タルガキ）等にし食用に供す。

以下主要なる品種及其栽培法等につき記述すべし。

柿の品種及其栽培法

前項記載したる如く柿には栽培變種頗る多きものなれども．之れを大別して甘柿種と澁柿種とし．以下之れにより各品種を記述し．最後に一般柿樹栽培法につき記述することゝせり。

I 甘柿種

（イ） **ゼンジマル**（禪寺丸） 我國に栽培せらるゝものゝ中に．最も明らかなる記錄を有するものゝ一にして．今より 700 餘年以前．順徳天皇の建保2年王禪寺(神奈川縣)の蓮華藏院と云へる寺に等海上人と云ふ僧ありき．曾て本堂再建の用材を求めて境内を踏査したる時．一老樹に紅熟したる美しき實を發見し．之を試食せしに．その味頗る美なりしを以て．これを僧の庭園に移植し．その繁殖を農家に奬めたるを以て嚆矢となし．次で德川氏江戸に移りて後．初めて市場に現れ．慶安．元祿の頃盛に栽植せられ．當時は地名その儘王禪寺丸と呼びしが．呼び難きを以て王を除き單に禪寺丸と呼ぶに至れるものなりと云ふ。

樹生頗る强健にして．結果期に入ること早し。果は中の小にして1顆約112瓦(30匁)許．球形を呈し．その横斷面も亦圓形なり。頂端は僅に凹み．蒂部淺く稍扁平なり。果面は初め朱黄色なるも．完熟するに至れば．濃朱赤色を呈し 頂部を圍みて黒き條紋を現すこと多し。果肉には褐斑(俗に胡麻と云ふ)を有すること極めて多く．質稍粗にして種子多し。風味乏しく品質良好ならざるも．完熟せば甘味に富み．多漿にして柔軟となる。早熟にして．9月中．下旬には澁味拔け．且つ極めて豐産なるのみならず．風に依りて落果すること少き特徴を有する爲め．關東地方にては多く栽培せらる。然し10月中旬頃迄木に置く時は品質良好となる。

（ロ） **トヨオカガキ**（豐岡柿） 樹性强健なるものなり。果は中の小にして．1顆112-150瓦(30-40匁)内外にして．球形なるも稍長味を帶び蒂部淺し。果面は朱赤色にして疵紋なく．完熟せば白き果粉を被る。肉は褐斑多く．質粗にして種子多し。品質上位には非ざるも．甘味多く．早熟にして10月上•中旬に採收せられ．豐産なり。奈良縣及び京都府に多し。

（ハ） **キ•ラガキ**（伽羅柿） 佐賀縣の原産にして．果は中等大をなし．1顆150187瓦(40-50匁)許なり。形は球形なるも．上部稍細く鉉尖球形をなし．横斷面は圓形なり。頂點は僅に凹み．この附近に極めて淺き4條の溝ありて．蒂部淺く．狹し。果皮は淡褐黄色にして．外觀鮮麗ならず。肉は褐斑多く．質粗なるも甘味に富めり。暖地に適し．九州北部方面に於て多く栽培せられ．10月中•下旬に成熟し．豐産なるも往々隔年結實に陷り易く．温度低き時に於ては脫澁不良なる缺點あり。

（ニ） **ツルノコガキ**（鶴ノ子柿） 樹性强健にして．果は中等大なり。長橢圓體をなし．末端尖り．蒂部は凹入せず。果面は赤色をなし．頂部に黒斑を有することあり。甘味に富み．品質優良なるも．果の大さ不揃ひなる缺點あり。寒地に耐へ．10月中•下旬に成熟す。

（ホ） **ジラフガキ**（次郎柿） 靜岡縣の原産にして．次郎吉と云へる人の發見したるを以てこの名あり。樹性强健にして枝條は太く．丈夫にしてよく伸長發育す。果は大きく1顆よく225-262瓦(70-80匁)に達し．扁形を呈し．頂部扁平にして頂點僅に凹み．4本の淺き縱溝ありて蒂部に達す。爲めに横斷面は稍方形をなし．蒂部稍凹み．周邊に細襞を有す。果面は朱黄色なるも．完熟せば紅色を呈し．肉は黄白色にして褐斑極めて少し。質緻密．柔軟．多漿にして甘味に富み．種子少く．品質頗る優秀且つ完熟前より脫澁す。10月下旬乃至11月上旬に成熟し．豐産にして甘味中の逸物なるも．果形多少不正となる缺點あり。靜岡縣に多く栽培せらる。

（ヘ） **ゴシ。ガキ**（御所柿） 奈良縣御所村の名産にして．この名を有し．古くより知られたる品種なり。樹性强健．果は中等大にして1顆150瓦(40匁)内外に達し．形扁球形にして頂部の肩は瘠せ．下方に至り帶に近き部分は豐滿なり。時に4條の締めて淺き縱溝あるも．横斷面は殆ど圓形なり。 蒂部は稍凹み果面は朱黄色をなし．完熟せば濃紅色を呈す。果肉は緻密．柔軟．多漿にして褐斑なく．甘味に富み．種子は殆どなく．最も優秀なり。10月下旬乃至11月上旬に採收せられ．古くより著名なる品種にして．紅柿とも稱せらる。近畿地方．岐阜．山梨縣等に最も多し。關東以北に於ては澁脫け悪く．果形小さく．收量多からざる缺點あり。

（ト） **ハナゴショ**（花御所） 鳥取縣の原産にして樹性强健．果は大きく．1顆262瓦(70匁)内外にして形前種に似たるも．稍高く．尖球形をなし．横斷面は圓形なり。蒂の附近に皺襞多く．蒂部稍凹めり。果面は帶黄色をなし．肉は褐斑殆どなく．種子も亦少く．質緻密にして多漿．甘味に富み．頗る優秀なるものなり。結果期に入ること稍遲きも．豐産にして．10月下旬乃至11月初旬に採收す。

（チ） **フイウガキ**（富有柿） 岐阜縣の原産にして．同地方にては古くより栽培せられたるも．その廣く世に知らるゝに至りしは．明治35年岐阜に開催せられたる共進會の時なり。一名水御所とも云はる。樹性强健にして新稍太く．横に擴張する性あり。果は大形にして．1顆262瓦(70匁)内外なり。豐滿なる扁球形をなし整正にして．頂部稍扁平．この部に淺き4條の縱溝あり。横斷面は圓形にして蒂部は廣く稍凹めり。果面は橙紅色をなし．完熟せば濃朱紅色となり．光澤ありて頗る美麗なり。果面には褐斑なく緻密．柔軟にして．種子殆どなく．多漿にして甘味に富み．風味共に甘柿中冠絶するものなり。10月下旬乃至11月上旬に採收せらるゝを普通とすれ共．完熟前に脫澁し．9月末頃に至れば生食し得．又11月頃採收したるものは．翌年1月頃迄貯藏し得るなり。外觀風味共に優秀にして且つ豐産なるを以て．岐阜地方は勿論．奈良．和歌山縣等に廣く栽植せられ．殊に岡山縣は目覺しき進出を示し來れり。然し關東地方以北にては御所に及ばざるも．澁脫け悪きを以て注意を要す。

（リ） **テンジンゴシ。ガキ**（天神御所柿） 本種も亦岐阜縣の原産にして．天神は其の村の名稱なり。樹性は强健にして．果は前者より稍大きく．形よく似たるも前種より稍丈高く．蒂部は前者より少しく深く凹めり。果色は前種に似たるも．前者より濃く美麗なり。肉質•風味共に前種に類似し品質極めてよく．熟期も大體前種に準ず。

（ヌ） **オタゴシヨ**（晩御所） 岐阜縣の原産にして．果は富有に似たるも稍高く．その頂端の周邊に黒き横條斑を表すを以て特性となし．爲めに袈御所の異名あり。横斷面は稍方形をなし．果色は富有より稍濃く．熟期も亦稍晩し。品質．風味共に優良にして．豐産なる有望品種なり。

（ル） **アマヒ•クメ**（甘百目） 樹性强健にして．一名雲ノ上とも稱せらる。果は頗る大形にして．1顆300瓦(80匁)内外なるも．時に375瓦(100匁)に達することあり。依りてこの名あり。球形乃至短橢圓體をなし．横斷面は圓形にして．蒂部極めて淺し。果面は黄褐色をなし．頂部に黒斑を現し．肉には褐斑稍多く．質は多漿にして甘味多く．種子小さく優良品種なり。各地殊に關西地方に多く栽植せらる。所によりて江戸一．代々丸と稱せらる。

（ヲ） **シモマル**（霜丸） 樹性は强健にして果は大きく．略橢圓體をなし．周邊に淺き縱溝あり。微紅黄色をなし．肉は緻密にして．漿液多く．種子も少く甘味に富み品質良好なり。9月中旬頃より黄熟し一旦脫澁するも．再び澁味を生じ．11月頃霜に遭ひて完熟し．朱紅色を呈するものにして．豐産なり。東京附近にては樽柿に用ひらる。甘柿と澁柿の中間に屬するものと見做して可なり。

（ワ） その他主なるものに次の如きものあるも．その栽培範圍は以上の各種に比し極めて狹し。

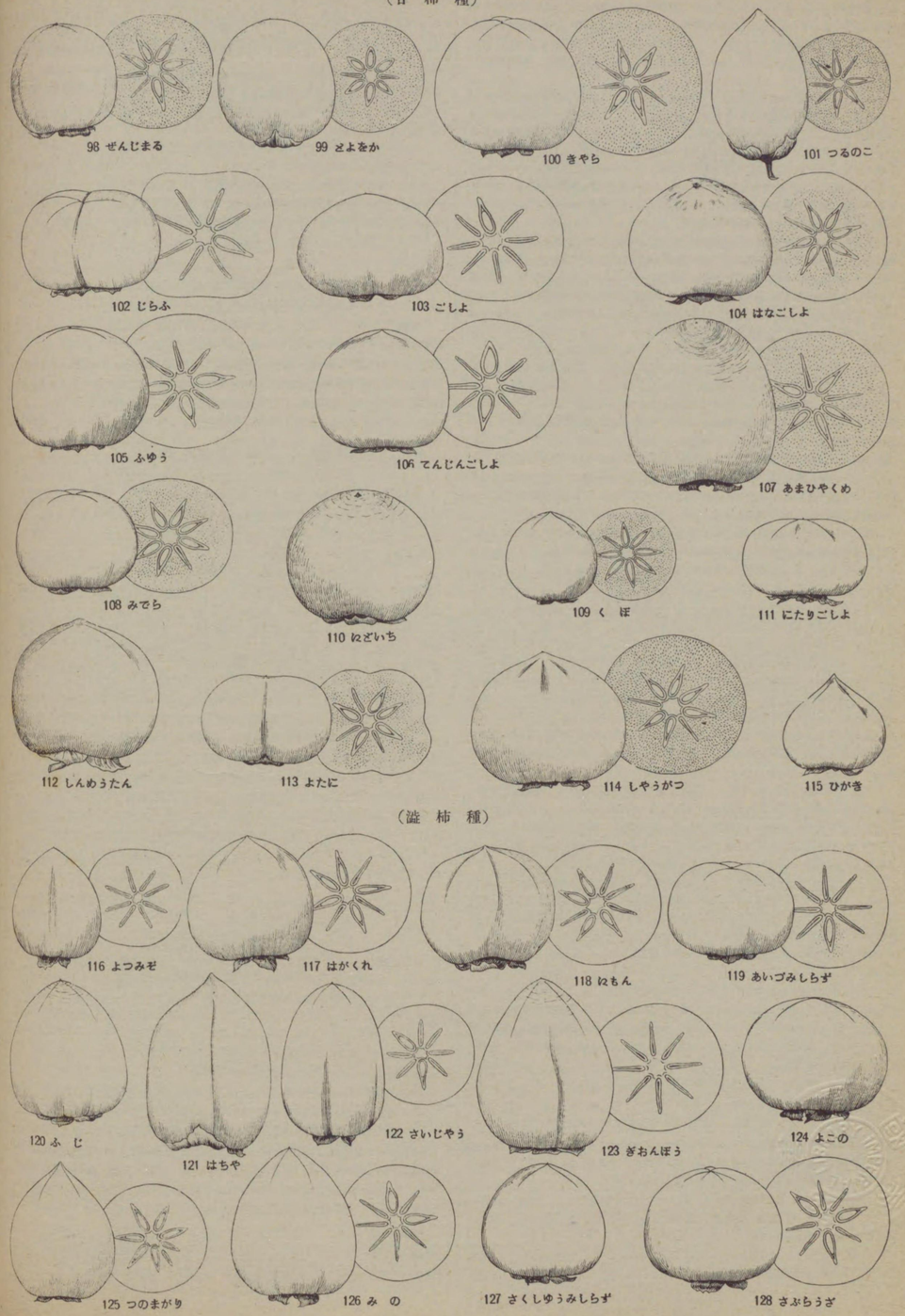
1. **コツル**（小鶴） 樹性强健にして果は小さく．長橢圓體をなし．鶴ノ子に類似す。帶黄赤色を呈し．肉は褐斑多く．品質優良ならず．然し極めて早熟にして9月上旬頃成熟するを以て．栽植せらる。
2. **クボ**（久保） 京都地方に産するものにして．果は小さく球形をなし．稍長味を帶べり。果肉には褐斑多く．品質良好ならざるも．早熟種なり。
3. **ミデラ**（御寺） 本種も亦京都地方に産し．果は中等大にして．扁狀形をなし頂端は扁平にして凹めり。 果は微紅黄色を呈し．果肉の褐斑稍粗なるも．質は緻密にして柔く．多漿にして甘味に富み．種子小さく．品質良好なり。
4. **エドイチ**（江戸一） 樹勢は强く．果は中又は大形にして始ど球形をなし．帶微紅黄色を呈し．頂部に黒斑を有す。果肉には褐斑多く．質脆きも漿液多く．甘味に富み佳良なり。10月上•中旬に成熟し．豐産なり。
5. **ミヅシマ**（水島） 北陸地方に多く．果は中等大にして扁球形なるも．頂端は僅に尖れり。4條の淺き縱溝は蒂部迄達す。肉は褐斑多く．柔軟多漿にして品質佳良なり。10月中•下旬に採收せらる。
6. **ニタリゴショ**（似タリ御所） 御所と同じく奈良縣の原産にして．果形は御所に似たるも．大きく．稍扁平にして尖球形に近し。果頂には黒色の雌蕊あり。肉は褐斑散在せるも種子少く．柔軟．多漿なること御所に似たるも．脫澁し難く．10月下旬に採收せらる。兵庫縣に多し。
7. **メウタン**（妙丹） 樹性强く．果は中等大にして扁球形をなし．頂部は扁平なるも頂端少しく尖り．その横斷面は稍方形を呈せり。果面は熟すれば橙黄色となり光澤を有す。肉は褐斑多く脆軟にして漿液多し。10月下旬に成熟し豐産なり。北陸地方に良果を産す。
8. **シンメウタン**（眞妙丹） 本種は愛知縣に産し．果は稍扁平にして大きく．品質佳良なる一種なり。
9. **ヨタニガキ**（四谷柿） 富山縣に産出するものにして．正形なるものは稍扁平にして．顯著なる4條の深溝を劃し．甘味強く．極めて早生なるものなり。
10. **シヽウガツ**（正月） 樹性は中等大．果又大形にして1顆約225瓦(60匁)内外に達す。擬寶珠狀の尖球形をなし．蒂部稍深く凹めり。果面は鮮紅色にして．果肉は褐斑細く散布し緻り．甘味に富み又種子頗る小形にして品質佳良なり。10月下旬乃至11月上旬に成熟す。永く樹上に置くも液狀をなさず．正月頃採收して食せば一層佳味なるを以てこの名あり。
11. **アブラツボ**（油壺） 愛知縣に良果を産す。果は中等大にして長橢圓形なるも．頂部稍扁たく圓柱形を呈し．横斷面は圓形にして．蒂部稍凹めり。 肉は褐斑を有せるも細く且つ稍疎にして多漿．甘味に富み．種子多きも極めて小形にして．品質佳良なり。晩熟種にして11月中旬頃紅熟する豐産種なり。
12. **ヒガキ**（乾柿） 埼玉縣浦和附近の原産にして．果は小さく．腰の張りたる尖球形をなし．蒂部淺し。本種は脫澁早きを以て．早くより生食し得るも．冬季迄樹に置きたるものは美味なり。質緻密にして種子少し。

尙ほこの他主なるものとして甲州丸．天龍坊．四谷．代々丸．酒田等あるも．その多くは質粗にして．褐斑．種子共に多し。

II 澁柿種

（イ） **ヨツミゾ**（四ツ溝） 靜岡縣の原産なり。果小さく1顆93瓦(25匁)内外に過ぎず。稍長橢圓體をなし．頂端に向ひて尖り．下中部に4條の稍深き縱溝あり。横斷面は略方形をなし．その各邊中央の縱溝部凹み．蒂部殆ど平かなり。果面は朱黄色を呈し．肉は柔軟にして種子殆どなく．脫澁後は甘味強く多漿なり。醸柿として美味なること他に冠絶し．且つ豐産なるも果の小さき缺點あり。10月上•中旬に採收せらる。

（甘柿種）



（澁柿種）

（ロ） **ハガクレ**（葉隱） 福岡縣の原産にして，九州北部地方に多く栽培せらる。樹性強健なり。果は中乃至大にして1顆225瓦(60匁)内外に達し，球形をなし頂端僅に尖り。この部に淺き4條の縱溝あり。橫斷面は圓く，帶部平又は稍凹め り。果面は朱黃色乃至鮮黃紅色にして，肉は柔軟緻密，熟柿となりたる時は柔軟多漿にして，甘味多く，品質佳良なり。熟柿に適す。10月中•下旬に採收せられ，敢無多きものなり。

（ハ） **エモンガキ**（衣紋柿） 千葉縣の原産にして，樹性強健なり。果は中の大にして，1顆187瓦(50匁)内外を算し，扁球形をなし，頂端に向ひて幾分細まり，頂點は僅に尖り，側面に向ひて幾分細まり，8本の短き條溝射出せり。橫斷面は稍方形をなし，帶部は凹み，その周緣は豐滿なり。果面は濃き朱黃色をなし，白色の果粉を被れり。肉は稍緻密にして，種子少く，その周圍に僅に褐斑あり。10月上•中旬に採收せられ，檐柿として品質佳良なるものなり。元來澁味少く樹上にて脫澁することあり。豐産なるも土質により稍落果し易き缺點あり。千葉縣地方に廣く栽培せられ，東京市場に供給せらるゝ有名なる品種なり。

（ニ） **アイヅミシラズ**（會津身不知） 福島縣の原産にして草に身不知又は西念寺とも稱せらる。性豐産にして，枝の折るゝも知らざる程結實するの意を以てその名あり。果は中の大にして1顆206瓦(55匁)内外に達す。扁球形をなし，頂部僅かに凹み，頂點より短き4條の淺き縱溝射出し，橫斷面は圓形乃至短橢圓形にして，底部廣く稍深溝凹めり。果面は橙黃色をなし，肉稍粗なるも，甘味に富み，種子極めて少く，その發達したる種子の周圍にのみ僅に褐斑散在せり。10月中•下旬より採收せられ，檐柿として品質良好なり。北陸，東北地方稀に福島，山梨縣に廣く栽植せらる。

（ホ） **フジ**（富士） 甲州百目或は遠百目等と稱せられ，各地に廣く栽培せらるゝを以て異名多し。果は大きく1顆337瓦(90匁)内外に達す。長橢圓體をなせるも下部豐大にして，帶部に至るに從ひ細く，鋭尖形を呈す。橫斷面は圓形にして，帶部稍深く凹めり。果面は朱赤黃色又は橙黃色にして，頂部に蜘蛛の巢の如き黑條斑を現す。果肉は緻密多漿にして，種子少く，爲に核無の異名あり。品質佳良にして10月下旬に採收せられ，熟柿又は乾柿に適するも，熟柿としては最も優秀なるものなり。

（ヘ） **ハチヤガキ**（蜂屋柿） 岐阜縣峰屋村の原産にして，又堂上峰屋，本峰屋等とも稱せらる。本種も栽培起源の古きものにして，今より700餘年前，後鳥羽帝の文治年間に，峰屋村の鄕士峰屋甚太夫と云へる人，柿の一枝を獻上したるを以て，この名の起源なりと云ふ。樹性强健なるも，生育中等なり。果は大きく1顆262瓦(70匁)内外に達す。形長く，肩張り，頂部は屋根形に尖り，側面は略垂直線をなし，4條の極めて淺き縱溝あり。又その底面は略平なり。縱斷面は將棋の駒形をなし，橫斷面稍方形を呈せり。果面は暗橙黃色をなし，肉質緻密にして，種子は殆ど之を有せず。10月下旬より採收せられ，澁味强きものなるも，醂柿，乾柿等となし最も優秀なるものにして，殊に水分少きを以て乾柿に適し，製品は果肉鮮色を呈し，甘味最も强く又白粉を生ずること本種に比すべきものなし。收量多く，澁柿中の逸品なり。岐阜縣に最も多し。

（ト） **サイデウガキ**（西條柿） 廣島縣西條町附近の原産なり。樹性は强く，果は中の大にして206瓦(55匁)内外なり。形稍縱扁に似たるも，彼より長く，又肩張り少く，頂部に向ひ，細く且つ下方側面の縱溝稍深く，この部分稍方形を呈せり。果色は蜂屋に似て朱黃色なるも，蜂屋より淡し。果肉緊り，澁味强きも纖維少く，醂柿とせば甘味甚だ强く，品質良好なり。又乾柿に適す。10月下旬乃至11月上旬に採收せられ，豐産なるも，隔年結實の弊に陷り易きを以て注意を要す。中國，四國に廣く分布す。

（チ） **ギヲンバウ**（祇園坊） 本種も亦廣島縣の原産にして，樹性强健なり。果は大きく，1顆300瓦(80匁)内外に達し，稍長き鈍立錐形を呈す。4條の稍深き縱溝を有し，橫斷面は方形にして，縱溝は凹めり。帶部は淺く，果色淡朱黃色にして光澤を帶べり。肉は緻密にして適當種子を有せず。11月上旬に採收せられ，熟柿として品質よきも，乾柿としては中位のものなり。前種同樣中國地方に多し。

（リ） **ヨコノガキ**（横野柿） 山口縣横野村の原産にして，樹性强健なり。果は大きく，1顆300瓦(80匁)内外に達し，扁球形をなし，豐滿なり。頂點より4條の縱溝射出す。橫斷面は稍長方形を呈し，帶部は廣く稍深く凹み，周緣は稍豐滿なり。果面は鮮かなる朱黃色をなし，光澤ありて美麗なり。肉は緻密，柔軟にして，普通種子を缺き，醂柿として風味佳良なり。11月中•下旬に採收せられ，豐産にして隔年結實の弊に陷ること少く，良品種なり。

（ヌ） 以上の他著名なるものとして次の如きものあり。

1. **イナヤマ**（稻山） 高知縣の原産なり。果は大きく，1顆300瓦(80匁)内外に達す。形は短き実圓形にして，下方に著しき縱溝を有し，橫斷面はその縱溝の狀態によりて，往々5邊形を呈することあり。帶部稍深く凹み，周緣は豐滿なり。果皮は朱黃色を呈し，肉は多漿にして，種子1-2箇或は全く之を缺く。乾柿として甘味に富み品質優良なり。10月中•下旬より採收せらる。本種に酷似したるものにて，同じく乾柿となし著名なるもの に川端あり。高知縣の原産なり。

2. **ヒラタネナシ**（平核無） 山梨縣の原産にして，果は中等大，1顆127瓦(50匁)内外に達す。形は扁球形にして，頂部平く，橫斷面は稍方形なり。果皮は朱黃色乃至朱赤色にして，美しく，肉質柔軟にして，種子は少く或は全く缺き，醂柿，醂柿として優良なる豐産種なり。10月中•下旬に採收せらる。

3. **シブツノマガリ**（澁角曲り） 果は大形にして真実形をなし，頂端に向ひて尖れり。頂端より短き縱溝射出せるも，帶部少しく曲れるを以てこの名あり。果皮は淡朱黃色をなし，醂柿に適す。

4. **ミノ**（美濃） 岐阜縣の原産なり。果は大形にして，扁橢圓體をなし，頂點は尖り，この部分に淺き縱溝あり。橫斷面は圓形にして，帶部は狹く凹めり。果面は朱紅色を呈し，肉は緻密にして種子少く，蜂屋と共に醂柿，乾柿等に適す。

5. **サクシウミシラズ**（作州身不知） 岡山縣の原産なり。果は中又は大にして，尖球形をなし，肩稍張れり。橫斷面は圓く，帶部平又は凹め。果面は橙黃色をなし種子は少く，その周圍にのみ褐斑の散在すること會津身不知に酷似す。醂柿として優良なるものなり。

6. **サブラフザ**（三郎座） 福井縣の産なり。果は中等大にして，形著しき扁球形を呈し，頂面は扁平なるも，帶部周緣近くに隆起あり て，座を形成せるを以て特徴となす。底面も亦扁平なり。果皮は濃橙黃色をなし，肉は多漿にして，檐柿として品質頗る優良なるものなり。

其他鳥ノ子，紅柿，千章，鮫平，大河津，土佐臺附等有名なり。又形の珍しきものとして二重柿，羽合等あり。

以上にて栽培せらるゝ柿の品種の概要を記述したるも，この他我國にては，同じくカキ屬(Diospyras)に屬する植物數種あり。而して之等は何れも野生するものにして果樹としての價値なきものなるも，その中栽培種の砧木用となし，又果の食し得らるゝものに次の種あり。

1981. **やまがき　山柿•葡萄柿•深山柿** …… カキ科
Diospyros Kaki, *L. f.*[3]var. silvestris, *Makino.*

〔形態〕本州各地に自生するものにして，栽培種に最も近き一種とす。本種は葉の裏面に褐色の絨毛を布き，果は徑2-2.4糎(7-8分)内外にして球形をなし，中に多くの種子あり。成熟したるものは生食し得られ，未熟なる果實よりは澁汁を採り，各種の工業用に供し，老木の材は黑色を呈し，質堅く鉋削面光澤を有するを以つて，種々の細工用として貴重せらる。〔花色〕黃白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州各部•九州。

1982. **しなのがき　信濃柿**‥(26圖版-246)‥‥‥‥ カキ科
Diospyros Lotus, *L.* var. glabra, *Makino.*

〔形態〕本種は次種マメガキに酷似せるものなれども，本種の葉は初め短毛を布けども，後には無毛となり，果形は橢圓形又は廣橢圓をなすを彼と異るところとす。〔分布〕本州南部•四國•九州•琉球。

1983. **マメガキ　君遷子**…… カキ科
Diospyros Lotus, *L.* typica, *Makino.*

〔形態〕支那•印度等に自生するものにして，葉は薄く，幅稍狹く尖り，上面は平滑ならず。裏面は葉柄と共に微毛を有し，秋落葉期に達するも紅葉せず。果は徑1-5-1-8糎(5-6分)内外に過ぎず。球形をなす。10月下旬乃至11月上旬頃に黃熟す。未熟なるものは澁味甚だ强きも，完熟したるものは甘く，生食用に供し，又乾柿に製す。勿論良品ならず。一般に栽培種の砧木用に供せらる。〔花色〕黃白色。〔花候〕6月。〔原産地〕支那。

1984. **ときはがき　常盤柿**…… カキ科
Diospyros Morrisiana, *Hance.* (26圖版-247)

〔形態〕常綠喬木にして全株無毛なれども，嫩枝には微毛を布く。葉は長橢圓形又は廣卵形にして鈍狀鋭尖頭をなし，基部に向つて漸く細く，上面には光澤を有し，葉柄によりて互生す。花は2-3花相集りて下向し，有毛の花梗を有す。萼及花冠は4裂し，20箇內外の多雄蕊を着け，葯は線形をなし，花絲は短くして毛茸を有せず。果實は正圓形をなし黃色に成熟し，表面平滑にして光澤を有す。この果は4室にして各室に單種子を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔成果〕12月頃。

1985. **けがき毛柿•番柿**…… カキ科
Diospyros utilis, *Hemsl.*

（異名）マウシ　〔形態〕臺灣に特産の喬木にして，枝葉共に毛茸を生じ，葉は短柄によりて互生し，葉身は革質をなし，長橢圓形或は披針形をなし先端尖り，基部雙耳をなし，下面に帶白色を呈し，絹毛を密布す。果實は圓形にして，食用に供せられ，材も亦良好なりといふ。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

1986. **やはらけがき**…… カキ科
Diospyros eriantha, *Champ.*

（異名）たかさごくろがき　〔形態〕本種も亦臺灣特産にして，生蕃は「オッャー」又は「ダリンガ」とも呼ぶ。本種は餘り大木とならざる小木にして嫩枝と嫩葉の裏面とに赭褐色の扁平なる毛を密着して生じ，葉は殆んど無柄にして長橢圓狀披針形をなし先端尖り，上面平滑にして光澤を有す。花は小形にして殆ど花梗を有せず，雌花は單生し，雄花は2-3花集合して着生す。果實は長橢圓形にして4室をなし，每室に單種子を藏す。材を鳥材と呼ぶ。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

栽培法

氣候•土質　カキは温和なる氣候に適し，寒冷なる所にては生育し得ず。我國に於ても北海道は既に樹の發育不良にして，結實を見ること殆ど無く，全く栽培不能なり。

澁柿種及甘柿種にても，氣候に對する適應力異り，甘柿種は澁柿種に比し，耐寒性弱く，寒き地方にては脫澁困難にして，甘味少し。從て東北地方に於ては甘味種減じ，東北地方の優良種は皆澁柿種なり。甘柿種中にて相當なるものを出すは先づ福島縣以南の地にして，特に優良なるものを出すのは，神奈川縣以南の地なり。さりとて，餘り高溫なる所にありては，漿液少く品質劣等となり，九州以南にては栽培不適當なり。乾燥に對する力弱く，寧ろ濕潤なる所を良とす。我國の如き濕潤地に優品を産し，歐米の如き乾燥地多き所に良品の出でざるも亦蓋し當然なり。

土質は他の果樹類に比較し，選ぶこと少く，過乾過濕の地にては良く生育す。深根性にして，乾燥に弱きものなる故，表層の相當に深き，礫を混じたる壤質壓土に適す。卽ち排水可良なる一方に於て，保水力の相當强きことを必要とす。輕鬆なる砂土には，結實多きも，落果著しく，又重粘，多濕なる埴土には，落果多きのみならず，風味惡く，甘柿には脫澁不充分に陷り易し。故に急傾斜地或は低濕地を避けざるべからず。我國に於ける主産地は，岐阜，新潟，福島，靜岡，兵庫の諸縣なり。

栽培法　苗木の育成及栽植　カキの蕃殖は接木によるものにして，共砧木としては，普通のマメガキ又は實生砧木を用ふ。

實生に供する種子は，充分登熟したる果實より充實したるものを選び，これを苗床に播種し，これを被覆して日光の直射及び乾燥を防ぐこと肝要なり。發生したるものは1ヶ年後畦間60糎(2尺)，株間18-21糎(6-7寸)內外の距離に移植す。カキは元來細根の發育不良なるものにして，移植には特に注意し，細根を損傷せざるを肝要とす。斯くて爾後1ヶ年乃至2ヶ年を經れば砧木に供するなり。砧木の方法は寄せ切接に據る。カキには澁味(單寄)多く，爲めに芽接にては活着困難なり。然し近來は，その時期を選ぶことにより，芽接にても可能なることを知るに至りたり。歐米には殆ど芽接によれるなり。又前述の如く，側根を發生すること困難なるものなる故，居接に依るを可とす。　切接の時期は3月下旬より4月中旬頃迄を以て良とす。接木を行ひたるものは，その儘周倒なる管理を施し，育成し，その年の休眠期に定植するものなるも，根部の發達惡きを以て，出來得る限り，落葉後直ちに移植するを安全なりとす。又時には，苗木を4ヶ年位養成し，これに割接を行ふことあり。マメガキ砧を用ひたるものは，耐寒性に富めるも，温暖多濕なる地に於ては，樹齡短く且つ病害を被ることあるを以て，關東以北に適するも，以南にては共砧を貴ぶ。カキは從來，畑の周圍或は庭園の一隅等に散植せられたるに過ぎず，從てその栽植距離等は問題とせられざりしも，合理的カキの果樹園を經營せんとするには，整正に栽植せざるべからず。その距離は整枝の方法に依りて異れるも，先づ5米(2間半)に6米(3間)の距離に1本位を適當とし，温暖にして肥沃なる所にては，6米(3間)4方に1本，寒冷にして瘠薄なる地に於ては，4米(2間)4方に1本位を適當と認む。栽植に際しては，特に丁寧に掘取り，直根のみを適宜に剪定し，栽植後は乾燥を防ぐ爲め，稍高く土を盛り，發芽後除々に之を除去するなり。尙ほカキには單爲結實をなすもの多きも，一般に甘柿にては，種子の形成の如何は脫澁の如何に係る故，禪寺丸の如き花粉多きものを授粉樹として混植する時は，結實多く，品質も亦良好なるを常とす。又カキは生長遲きを以て，數年間は疎苅類，豆類を間作するも可なり。

仕立及剪定　從來は特に仕立を行ふことなく，自然の發育に委せたるも，管理に便ならしむるには，之を行はざるべからざることは勿論にして，栽植の當初數年間は，適宜に主枝を誘導すべし。その形は，中幹乃至長幹の立木形又は自然形垣形を選ぶを可とす。卽ち短幹仕立とするには，苗を植付けたる後，幹を60糎(2尺)乃至90糎(3尺)內外の長さに剪定し，發生する枝の中3-4本を殘して伸長せしめ，翌年も前年同樣剪定し，各枝より再び2-3枝を伸長せしめ，適當に配置す。斯て年々之を持續し，側枝を出さしめ，結實を促す。樹高は約3米(10尺)位に停止せしむ。初めは，樹形に餘り拘泥することなく，出來得る限り側枝を密に出さしめることに努め，既に樹形整ひ枝條密に相接するに至らば，適度に主枝の間疎更新を行ひて，風光の透通を圖ること云ふを俟たざるところなり。この間枯枝或は冗枝を除去し，常に空氣及日光の透通を可良ならしむ。カキはその結果の習性上，兎角隔年結實の弊に陷り易きものにして，從來は「成り年」及「年切り」あるを當然なりと考へられたるなり。この弊を避くる爲めに，種枝及發育枝の區別をよく了解し，每年適度の種子を作ることに注意すること肝要なり。卽ち冬季剪定に當りては，種枝以外の發育枝に對し，その徒長的なるもの或は纖細なるものは基部より剪除し，その良好なる位置に存するものは3-4芽を殘して短截す。種子の數は，自然狀態に於ては一般に多きものなるを以て，必ず基部3芽內外に短截して穉備枝となし，之れより種子を出さしむるなり。斯して殘したる結果枝に對しては，絕對に先端を剪定せざるなり。何故なれば，結果枝は，種子の先端より生ずるを以てなり。又開花結實したる結果枝は，再び次年の種子となること稀にして，これ等の枝は，その結果部より發芽することなきを以て，枝の狀態により，結果部の上方に於て稍長く剪定をなすか，或は前年の境界，或は又前々年の先端にて之を行ふ。カキの種枝上の潛芽は，永く生活力を有し，刺戟を與ふれば伸長して，新梢を形成するものなり。一般に樹齡若きものにては，結果部の上方より剪截し，樹齡の進みたるものにては，短截するを可とす。又甘柿の中にて，御所，富有，次郎の如き，所謂御所型に類するものにては，性來雄花の着生極めて僅少なり。これ等は雄花を有せざるも，多少單爲結實をなす傾向あるものなれ共，受精によりて結實脫澁共に良好なるものなれば，授粉樹の混植を圖ると共に，雄花の着生を或程度迄助長せしむる樣剪定上考慮せざるべからず。又御所型に屬せざるものにて，種子及び褐斑多き禪寺丸或は豐岡等の類に於ては，受粉せざるものは落果するを以て特に注意を拂ふべし。元來雌花は，生育佳良なる充實したる種枝に生ずるも，雄花は稍貧弱なるものに生ずる傾向あり。故に一度結果したる勢力弱き枝を多少殘し，これに雄花を喚かしむる樣にすべし。是等の品種に於て，樹齡若き時，脫澁狀態の不良なるは，生育旺盛なるを以て，雄花を着くること極めて少く，受精の不完全に因りて起るものなりと云ふ。

以上剪枝の概要を述べたるも，既に不完全なる整枝の下に，樹齡數十年を閱したるものに於ては，新に以上の如き，每年種子を保留し，一樣に結果せしむべく剪定を行ふことは，樹形大なるを以て，到底行ひ得ざる所なものみならず，その效果少きものなり。故に斯る老木にありては，寧ろ殊更に隔年結實をなさしむる樣剪定を行ふを有利なりとす。これを行はんには，先づ柿を2つに區分し，その1部はその年に，他の1部は翌年に，隔年交互に結果せしむる樣，剪定を行ふなり。卽ち結果したる翌春に枝梢の全部を剪定し，その年には種枝より結果枝の生ずるを防ぐ，之に反し，その翌年は，全然剪定を行はずして，充分に結實せしむるなり。

又樹齡若く，生育良好なるものに對しては，夏季剪定を行ふを可とす。卽ち徒長枝に對しては，6月下旬乃至7月上旬に劣位に短截し，種枝の養成に努むるなり。然し21-24糎(7-8寸)位に伸長し，現に發育の停止したるものに對しては，別に之を行ふの必要なし。元來カキは5月上旬に至り始めて發芽伸長し，6月中旬に至れば概ね發育停止するものなり。7月以降に伸長したるものは，種枝の形成ななさざるものなり。尙ほ又老木其他勢力微弱なるものは，適宜なる間截を行ふを可とす。

肥培　隔年結實の原因の1は，從來無肥料なりしことに因れるなり。合理的栽培に當りては，施肥して枝の發育及び充實を圖り，隔年結實を防ぐと共に，果實の發育を圖ることは言を俟たざるところなり。元來カキは幼少時生育極めて緩漫なるを以て，窒素肥料に重きを置き，樹勢の旺盛を計り，6-7年を經過し，結實するに從ひ燐酸，加里肥料，殊に加里に重きを置くこと必要なり。加里成分は炭水化物の生成を助長し，脫澁作用を增進せしむるのみならず，隔年結實の弊をも或程度迄抑壓し得るものなり。又石灰をも土質によりて多分に施す必要あり。

肥料の種類としては，堆肥，大豆粕，魚粕，米糠，過燐酸石灰，蒸製骨粉，硫酸加里，草木灰を主とし，之に人糞尿，硫酸安母尼亞の如きものを適宜按配するも可なり。

肥料は基肥として，3-4月頃1回に施し，補肥の必要を認めざるも，結實量多き場合或は樹勢衰過し，翌年の生育に支障を來すが如き場合は，9-10月頃に補肥として，人糞尿及魚粕等を適宜施用すること必要なり。

カキは元來天候，肥料，害蟲，交粉等の關係によりて，落果し易きものにして，殊に肥料の過不足，土壤の過濕により，促進せらるゝものなるを以て，肥料を適當に保ち，排水を圖りて之が防止に努めざるべからず。

摘果及袋掛　樹勢に比し結實量多き時は，果實小さく，品質不良なるのみならず，隔年結實の弊に陷り易きを以て，適宜に摘果し，美大なる果實を得る樣努むること肝要なり。摘果の時期は，6月下旬頃にして，その程度は品種，樹勢等に應じて異れるも，1結果枝に對し1-2箇を殘し，1本に300箇內外とす。但し，禪寺丸等の如き，小形なる果實を結ぶものに於ては2-3箇を殘すも可なり。摘果を終りたるものは，直ちに袋掛を行ひ，蒂蝨の被害を防ぐこと肝要なり。袋掛の期間長きを以て，柿渋，荏油を塗りたるものを用ひ，枝によく結束せしむることを要す。然して10月上旬に至れば，害蟲の被害なきを以て，袋を外し，日光に當て色澤を着くるなり。

採收　甘柿にては脫澁したるものは，隨時收穫し得るも，充分に着色したるものは風味佳良なるは勿論なり。去りとて遲きに過ぐる時は，甘味は增すも，柔軟多漿となり，貯藏運搬に堪へざる故，需利的栽培に當りては，未だ肉質硬き時に採收するを得策とす。澁柿は醂柿を目的とするものに於ては多少早めに，卽ち果の固有の大さに達し，橙色を帶びたる時，又乾柿用となすには，稍橙色に朱紅色の增したる時，又熟柿となすものにては，充分樹上にて成熟せしめ，肉質の柔軟になりたるものを採收するなり。カキは，果梗と枝條離れ難きものにして，採收には，果體を攫みて捻轉するも，この方法は枝條を害し，又果粉を落し，外觀を損ずるものなるを以て，鋏若なる時には鋏にて剪り採るを可とす。この際は果梗を出來得る限り縮く，蒂に接して截り，荷造

りに便ならしむるなり。又老樹に於て乾柿用に供する場合は.剪定を兼ね.枝條の1部を剪取り.又は折取る時は.果を吊り下ぐるに便にして.一般に行はるゝ所なり。10アール(1反)當の收量は.品種及樹齢等によりて異るは勿論なるも.15-16年生の富有にては.12500箇内外.卽ち1875-2250瓩(500-600貫)位を普通とす。

荷造及貯藏 甘柿中.富有.次郎.御所等の如き優良なるものにてはよく選別し.1箇宛包紙に包み.石油箱によく乾燥したる稻藁又は麥稈を周圍に塡め.新聞紙を敷き.その間隙を鋸屑等にて塡充し乍ら詰め.蓋附をなし.横に2ヶ所.縱に1ヶ所掛繩をなす。尙又丁寧なる場合には.小形なる淺き箱に1列に12箇乃至15箇詰ることあり。然し普通種及澁柿にては.その儘木箱或は籠等に詰め.樽拔用のものは酒樽(4斗)を用ふるを一般とす。貯藏は普通行はざれ共.一時貯藏する場合には.よく選果して不良果を除き.溫度の變化少き冷涼なる納屋又は貯藏庫に並べ置くを可とするも.1ヶ月以上に亙る場合は冷藏庫を用ひざるべからず。

製果及調理 醂柿 脫澁を人工的に增進せしむる方法を施したるものを總稱するものなり。脫澁促進の方法に種々あり.湯拔法及樽拔法に大別し得。湯拔法は.攝氏40度乃至45度位の溫湯に浸漬し.蓆等にて被ひ.湯の冷却せざる樣保てば.早きは10時間.遲くも1日位にて脫澁するなり。この方法は簡單なるも.風味淡白となり.又果皮を損じ.所謂「モチ」を惡くする缺點あり。又灰汁.蕎麥或は稈等の煎汁を用ひることあり。樽拔法は.酒氣を充分含める新しき酒の空樽に.果實を塡充し.密閉し置くものにして.この方法にては脫澁迄に約1週間を要するも.前の方法によりたるものより.風味の優れることは言を俟たざる所なり。古き樽を再び用ふるには4斗樽に對し.豫め酒0·9立(5合)内外.或は酒精0·36立(2合)内外を撒布し使用するなり。樽柿と云へるは.この方法を用ひたるものを云ふ。會津地方にては.石油箱大の箱に新聞紙を敷き.之に澁柿を詰め.0·5立(3合)位の酒精を撒布し.上にも亦新聞紙を被ひ.蓋付をなし繩を掛け.搬出する方法行はる.之も亦1週間内外にして脫澁す。

〔註〕 炭酸瓦斯を滿したる容器中に密閉する時は.2-3日にて脫澁し.又アルドヒード中にては.頗る速かに脫澁すると云はる。

乾柿(干柿.白柿.枯露柿) 乾柿に適する品種は.種子少く.果肉緻密にして水分少きもの.蜂屋.美濃.祇園坊.西條.富士.稻山.川端等はその著名なるものなり。果實は前述の如く特に完熟する頃に採收し.銳利なる小刀.或は庖丁にて.蒂部を取去らざる樣丁寧に剝皮し.これを長さ1·8米(6尺)許の繩に6糎(2寸)内外を距てゝ1顆宛蒂部を繩に挾みて懸垂し.通風.日當りよき場所に吊り下げ.雨露を防ぎ又時に連結の方向を換へ.平均に乾燥せしむるなり。多量を製するには.適宜に竹竿等を渡し.藁にて假屋根を作るを可とす。斯くして20日間位を經過せば.果面稍乾燥し.水分減じ皺を生じ.柔軟となるを以て.指頭にて揉み.種子を有するものは.揉み乍ら1方に壓し拔き去るものなるも.種子多き時には一時に拔かずして.數日を要して順次に拔き去ること肝要なり。その後每日揉み1週間位を經過せば一層縮小し.皺を生じ.果肉は粘着力を增し白粉を露出し來るを以て繩より外し.形を整へつゝ莚の上に積み重ね.莚を被ひて1晝夜位を置けば.一面に白粉を被ふを以て.これを1日陰干とし.次に箱内に乾燥したる新しき藁の上に並べ.更に藁を重ね.交互に詰め.密閉して2週間内外を經れば.果面は全く白粉にて被はる故.これを箱より出し.2-3日間白粉を落さざる樣注意して莚上にて乾燥し.箱詰となし販賣或は貯藏す。之を吊柿と云ひ.又串を貫きて製したるものを串柿と稱す。

(イ) 鳥柿 前述の方法の簡單なるものなり。卽ち前方法の如き處置を行ひ.白粉の生ぜざる中に用ふるものなり。又地方によりては果實の皮を剝き.果梗によりて1連となし.竈等の上に吊して追熟せしむるなり。故に燻柿又は「イブシ柿」とも云ふ。この方法は時日を要せず.且つ果肉柔軟にして.多漿.甘味なるも.乾柿の如く長期間貯藏することの不可能なる缺點あり。

(ロ) 熟柿(烘柿) 大形なる澁柿にて造るものにして.蜂屋及西條は最適種なり。充分熟し.稍柔軟となりたる時に採收し.これを適宜の器物中に.寸斷したる藁の上に並べ.藁を被ひ蓋を密閉して追熟せしむるなり。又單に藁苞に包みて.棚に並べ追熟せしむるも可なり。この方法によりたるものは頗る美味なるも.長期間の貯藏には堪へ得ず。

(ハ) 卷柿 串柿の半乾の柔軟なるものを串より拔き取り.蒂及種子を取去り.之を竹皮に包み.その上を藁にて包み.細き繩にて堅く縛りて.これを臺所等に吊し.熟さしめて輪切りとなし食するなり。

〔備考〕 脫澁作用の原理に就ては.柴田博士その他の詳細なる研究あるも.要するにその含有せらるゝ澁.卽ち單寧の酸化酵素によりて變化分解し.葡萄糖の量の增加するによるものなり。

(ニ) 柿澁(柿油) 澁味の强きもの程よく.君遷子.祇園坊.西條等を用ふ。勿論未熟にして.最も澁味强き時に採收するも.粗惡なるものにては.落果も利用せらる。採收したるものを臼にて細く搗碎き.桶に入れて蓋をなし.日陰の冷涼なる場所に靜置せば.醱酵を起し泡を生ず.2-3日を經て.この泡の消えんとする時.布袋に入れ.壓搾するなり。これを「キシブ」と云ひ.果實3.750瓩(1貫)より0·72立(4合)位を得。生澁は直ちに使用し得るも更に之を壺又は甕に入れ.輕く蓋をして冷所に貯へ.その上澄の透明なるものをとる.之を一番澁と云ふ。生澁の搾粕に1割位の水を加へ.樽に入れて密閉し.1週間位放置し.搾り得たるものを三番澁と云ふ。製品は赤褐色にして.特有の臭氣を有す。收斂性及防腐性に富み.塗布劑及染料となし.用途廣し。卽ち紙に塗布して澁紙を作り.又は木に塗り.或は網.袋等を染め.尙又蛋白質を凝固する性質を有するを以て.醬油.酒等の壓引等に淸澄劑として用ひらる。

(ホ) 柿羊羹 最初寒天3本を水に浸し.暫時の後水分を搾り.細に千切り.水0·5立(3合)と共に入れ.小豆漉粉75瓦(200匁).裏漉したる柿肉1.312瓩(350匁)を混じ.よく交ぜ合せて箱に流し込み.冷却して.適宜の大さに切るなり。岐阜縣大垣の名產なり。

(ヘ) 柿餅 乾柿の種子及蒂を除きたるものを.糯米粉と等分に搗き合せ.蒸籠にて蒸すなり。これは最上の製品なるも.普通は大麥の炒粉と搗き合せて蒸すなり。尙ほ糯米粉9立(5升)及熟柿の種子を去りたるもの50箇を搗き合せて.蒸したるものも可なり。

(ト) 柿膾 萊菔及胡羅蔔等の膾に乾柿を細に刻み込み或は熟柿.醂柿等を刻み込み和へて用ふるなり。

(チ) 柿粕漬 澁柿の未だ完熟せざる靑きものを採りて.粕の中に漬くるものなり。澁味去り.甘味多からざるも.香物として風味良好なり。又糠に漬けて用ひらる。

〔備考〕 落果を利用し酢を製することあり。この方法は蒂蟲に犯され落下したる澁味.甘味のなきものを用ふ。先づ蒂を去りてよく水洗し.甕或は桶に入れ.蓋をなして放置し.2週間を經過せば泡立ち.醱酵を起すも.1ヶ月位を經れば醱酵衰へ.上澄を生ず。之を瓶に入れ.再び醱酵せしめ.その儘1-2ヶ月間貯藏し.用ふるなり。甘味に富み鮨飯等を作るに珍重せらる。尙又カキの葉を揉みて入れたる水中に.鹽漬魚類を入るれば.鹽分拔け.鹽出として妙なり。

1987. たいわんがき…… カキ科
Diospyros Oldhami, *Maxim.* var. chartacea, *Hayata.*

〔形態〕 臺灣に特產の喬木にして.葉は有柄にして互生し.葉身は紙樣革質をなし.長橢圓狀卵形にして先端·基脚共に銳形をなし.果實は球形にして徑3糎(1寸)許あり。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

4. あかてつ(赤鐵)科 SAPOTACEÆ.

本科に屬する植物は灌木或は喬木にして.嫩幼部には屢ば赭褐色の毛茸を密生す。葉は互生し.全緣·革質をなし葉柄を具へ.通常托葉を有せざれども若し之を有するも脫落す。花は兩性にして微小又は中形にして腋生し.單一又は攢簇し.苞及小苞を缺き.又はこれあるも微細なり。蕚片は4-8箇を有し覆瓦樣にして2輪をなし.永存す。花冠は筒狀をなし.この筒部は蕚よりも短く其裂片は蕚と同數又は其2倍乃至4倍なり。雄蕊は花冠の筒狀部に着生し.其裂片と對生.且つ同數又は2-3倍にして1列乃至3列す。葯は長橢圓狀披針形をなし.葯隔は屢ば突起す。子房は上位無柄にして.2-8室をなし.花柱は細長なり。果實は漿果にして裂開せず.内に1-8箇の種子を藏す。種子は橢圓形にして1箇以上の場合は扁平なること多し。臍は長く.種皮は堅硬なり。胚は直立し.無胚乳にして大形なる肉質の子葉2枚を具へ.或は有胚乳にして子葉扁薄のものあり。幼根は下位をなし通常微小なり。

(花式圖)

129 あかてつ科の代表花

本科の植物は熱帶諸地に播布し.世界を通じ34屬を有すれども.本邦には唯アカテツの一屬を產するのみなり。尙本科の植物には有用なるもの尠なからず。

本科所載植物沼目次

アカテツ……1990 グッタペルカノキ……1989 タココン……1988
オホバアカテツ……1988 クロテツ……1990 リウキウアカテツ……1992
オホバクロテツ……1991 ジーキ……1992 ……

1. アカテツ屬 PALAQUIUM.

1988. おほばあかてつ…… アカテツ科
Palaquium formosanum, *Hayata.*

(異名) たここん 〔形態〕臺灣の海邊に近く自生する大喬木にして.幹は高さ30米(100尺).徑1米(3-4尺)に達するものあり。葉は短柄によりて枝頭に簇生し.葉身は革質にして厚く.長橢圓形或は長卵形をなし長さ10糎(3-4寸)許.先端及基脚圓形.全緣をなし.側脉は各側に7條.下面は毛茸を有す。花は有梗にして3-4花を葉腋上に簇生す。本花の有する蕚は肉質にして先端5裂し.各裂片は互列す。花冠は漏斗狀をなし先端6裂し各裂片は披針形をなし.長さ1糎(3分)許あり。果實は肉質にして橢圓形をなし.長さ4·5糎(1·5寸)許を有す。〔花色〕綠白色。〔花候〕晩秋。〔分布〕臺灣。

1989. グッタペルカノキ…… アカテツ科
Palaquium Gutta, *Bruck.* (26圖版-248)

〔形態〕「マレー」半島に自生する常綠喬木にして.幹は高さ18米(60尺)餘に達す。葉は葉柄によりて互生し.葉身は倒卵狀橢圓形にして長さ12-18糎(4-6寸).幅6糎(2寸)許.先端銳く革質をなし.表面綠色なれども裏面は光澤ある金色を呈し.甚だ美しく.側脉20-30條を有す。この葉は托葉を有すれども小形にして早落性なり。花は小形にして2-6箇宛集合して葉腋上に着生し.蕚は倒鐘狀にして6裂し.先端黃金色を呈す。花冠は幅狀をなし.花筒は短く先端6深裂し.各裂片は卵狀披針形をなす。雄蕊は12箇ありて2裂をなし.子房は上位.球形にして6室を有し.花柱は絲狀にして雄蕊より長し。果實は漿果なり。〔原產地〕馬來。

人生との關係 本植物の幹を傷付けて滲出せしめたる乳樣液を乾燥したるものを「グッタペルカ」と稱し.種々の工業用に供す。

工業用としては重に電氣の絕緣體とし.其他諸器具の塗料に應用し.或は塡齒料に供する外.醫療用にも重用せらるゝものなり。

2. アカテツ屬 SIDEROXYLON.

1990. あかてつ…… アカテツ科
Sideroxylon ferrugineum, *Hook.* et *Arn.*

(異名) くろてつ 〔形態〕小笠原島·琉球·臺灣等の海岸隨所に自生する常綠喬木にして.幼條及嫩葉には赤褐色の毛茸を布く。葉は長橢圓形にして基部に向ひて細狹となり.質厚くして堅く.上面平滑なれども下面には茶褐色の絨毛を密生す。花は小形にして葉腋上に叢生し.花冠は微細にして鐘狀をなし.先端5裂し.5雄蕊.1雌蕊を具ふ。花後漿果を結び.大さ1·5糎(5分)許.外面平滑.内に1-2箇の種子を藏す。

人生との關係 材は稍々堅硬にして淡赤褐色を帶ぶ。小笠原島にては之を使用して.屋材·梁柱·船舶·其他器財等を作るに重用す。

1991. おほばくろてつ…… アカテツ科
Sideroxylon boninense, *Nakai.*

〔形態〕小笠原島に產出する喬木にして.高さ5米(15尺)餘に達す。樹皮は黑色を呈し.幼條には赤褐色の短毛を布く。葉は長橢圓狀披針形にして先端鈍形.基脚狹し。花は1-3花を腋生し.點頭す。本花の有する小梗は赤褐色の毛茸を布く。蕚は先端5裂にして瓦列し.花冠は短く先端5裂し.長さ3粍(1分)内外.各裂片は稍三角をなす。雄蕊は5箇なれども絲狀をなせる假雄蕊5箇を有し.花冠の裂片に對生し.子房は稍5出し.赤褐色の毛茸を布く.果實は肉質をなし澁味を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕小笠原島。

1992. りうきうあかてつ…… アカテツ科
Sideroxylon liukiuense, *Nakai.*

(異名) じーき 〔形態〕本種は前種アカテツに比し.葉は倒卵形にして屢ば鈍頭をなし.下面に淡褐色或は銀白色の絹毛を有するを異るところとす。〔分布〕琉球·臺灣。

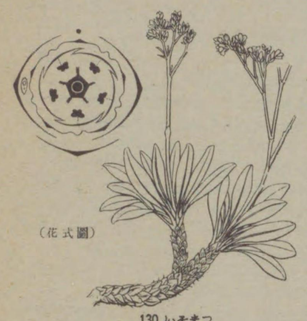
＊ ＊ ＊ ＊ ＊

イソマツ群

1. いそまつ(磯松)科

PLUMBAGINACEÆ

本科に屬する植物は草本又は矮性灌木にして，互生の葉葉又は根葉を有し托葉を缺く。花は頂生穗狀又は擬繖狀をなし，苞は其緣邊薄き膜質をなし花を包被し，別に小苞片を有す。花は整齊にして兩全，萼は下位にして筒狀をなし5-10縱條を有し，條と條との中間は薄く，先端5裂し色彩を有す。花瓣は5箇ありて，或は各箇に分離し，或は基部に於て連合す。雄蕊は5箇ありて花瓣と對生し，花絲は花冠の基部又は花瓣の中間に着生す。葯は長橢圓形をなし，花粉を有せず。子房は上位單室にして，上部は5角をなす。花柱は5箇にして基部に於て連合するか，或は分離す。卵子は單一にして倒生す。果實は蒴をなし，膜質なれども，往々上部稍堅硬となりて萼内に被はれ，薄き膜質をなせる基部に於て蓋を脫するが如く横に分裂し，或は破裂して種子を散布す。種子は圓筒形にして倒生し，胚乳は共性質一様ならず，或はこれを有せざることあり。



130 いそまつ

本科の植物は世界を通じ，10屬，凡そ200種を產出すれども，本邦には自生品及外來品を合し4屬，凡そ15種餘を產出す。

本科所載植物索引次

アヲバナシラミ……1996　シマワシグサ……1998　ハマサジ……2001
アヲマツリ……1996　セイロンマツリ……1998　ハマヂサ……2001
アカマツリ……1997　ビワタンハマサジ……2003　ヒロハノハマサジ……2002
イソハナビ……1999　トウガウイソマツ……2000　マツバカンザシ……1993
イソマツ……1999　トウガウサウ……2000　ムラサキイソマツ……1999
インドマツリ……1998　ニハハナビ……2002　ヨレハナビ……2013
オホハマカンザシ……1994　ハナハマザシ……2004　ルリマツリ……1996
シマナガジラミ……1998　ハマカンザシ……1993　ルリマツリモドキ……1995

1. ハマカンザシ屬　ARMERIA.

1993. **はまかんざし**……イソマツ科
Armeria vulgaris, *Willd.* (26圖版-249)

(異名) まつばかんざし　〔形態〕北地に自生する小形の多年生草本なり。葉は線形をなし1行脈を有し，先端鈍頭にして無毛なるか，或は稍毛緣をなし，多數簇生す。この簇葉間に稍柔毛を帶べる低小の花莖を抽出し，稍櫻の花形に似たる愛らしき小花を頭狀をなして莖頂に着生し，花下に反捲する稍狀苞を有す。蒴は乾質にして漏斗狀をなし摺折し，外面毛茸を有す。花冠は瓣片5箇ありて筮形をなし，先端凹み，雄蕊は5箇ありて瓣片に對生す。花柱は赤5箇，果實は宿存萼に包まる。〔花色〕白色或は淡紅色。〔花候〕5月。〔分布〕千島。

人生との關係　花壇の周圍或は鉢植として栽培或は觀賞に供する他，本植物の全草を採集し，陰干にしたるものを適宜の分量に煎服すれば利尿劑として效ありといふ。

1994. **オホハマカンザシ**……イソマツ科
Armeria plantaginea, Willd.

〔形態〕一般に「アルメリヤ」と稱し園地に或は鉢植栽培として愛觀せらるゝ外來の多年生草本にして，底形前種に酷似し，葉は線狀をなし根部に叢生し，この叢葉間に花莖を抽出し，前種に似たる愛らしき5裂花を頭狀に着生するものなれども，本種の葉は前種1行脈を有すると異り3乃至7行脈を有すると，花莖は彼よりも長大にして，自然花形も大なるものなり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕6月。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　前種と同樣園地に栽植し，或は鉢植として觀賞に供するものなり。繁殖は根分けによる。

2. ルリマツリモドキ屬　CERATOSTIGMA.

1995. **ルリマツリモドキ**……イソマツ科
Ceratostigma plumbaginoides, Bunge. (26圖版-250)

〔形態〕本邦にては園地に栽培せらるゝ多年生草本にして，莖は赤色を呈し，多くの小枝を分ち，高さ30-60糎(1-2尺)に達するものなり。葉は互生し，葉身は長倒卵形をなし，毛緣を有す。花は頭狀花序をなして多花を着生し，花冠は盆形をなし先端5裂し，各裂片は細齒緣をなす。〔花色〕濃碧色。〔花候〕夏。〔原產地〕支那。

3. ルリマツリ屬　PLUMBAGO.

1996. **ルリマツリ**……イソマツ科
Plumbago capensis, Thunb. (26圖版-251)

(異名) アヲマツリ・アヲバナシラミ　〔形態〕本邦にては專ら園地に培養觀賞に供せらるゝ多年生草本なれども，稍々灌木狀をなし，高さ60-90糎(2-3尺)に達し，上方は稍攀緣性をなす。葉は長橢圓狀卵形或は筮狀をなし全緣にして互生す。この葉は下面に灰質瘤起を滿布す。花は穗狀花序をなして多花を着生し，萼は筒狀をなし5齒緣を有し，腺毛を布き，花冠は3.5糎(1-2寸)許の筒部を有し，頂部盆形をなし先端5裂し，各裂片は倒卵形をなす。果實は蒴にして長橢圓形棍棒狀なり。〔花色〕碧色。〔花候〕夏。〔原產地〕亞弗利加喜望峰。

人生との關係　前種と共に觀賞用として栽培するものなれども，本種は其根及種子を藥用に供することありといふ。

1997. **アカマツリ**……イソマツ科
Plumbago rosea, L.

〔形態〕稍攀緣性の多年生草本にして，莖は軀木形をなし，葉は短柄によりて互生し，葉身は卵狀橢圓形をなし基部稍抱く。花は長總狀花序をなし，萼は筒形にして先端5裂し，腺毛を有し，花冠は筒部細長く，先端5裂し，各裂片は圓形をなし平開す。〔花色〕紫赤色。〔花候〕夏。〔原產地〕印度。

1998. **セイロンマツリ**……イソマツ科
Plumbago zeylanica, L. (26圖版-254)

(異名) インドマツリ・シマナガジラミ・シマワシグサ　〔形態〕前種等と同樣外來の品種にして，園地に栽培せらるゝ多年生草本なり。莖は稍蔓狀を呈し，長さ1-1.5米(4-5尺)に達す。葉は翼を有し，短柄によりて互生し，葉身は卵形或は長橢圓形をなし，鈍頭或は銳頭のものあり，萼は腺毛を有し，花冠は短形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原產地〕熱帶地方。

4. イソマツ屬　STATICE.

1999. **いそまつ**　磯松……イソマツ科
Statice arbuscula, *Maxim.*

(異名) いそはなび・むらさきいそまつ　〔形態〕多く本邦殊國の海濱に自生する多年生草本にして，全株無毛種に屬す。莖は稍灌木狀をなし，高さ12-15糎(4-5寸)許に達す。葉は莖の上部に叢生し，倒長卵形にして全緣なり。花はこの叢葉間に花莖を出し，梢上多數の小枝を分ち，5裂せる小形の合瓣花を着生す。萼は先端5裂し，各裂片は卵形・銳尖頭をなし，花冠亦5深裂し，各裂片は筮形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

2000. **トウガウイソマツ**　東鄕磯松……イソマツ科
Statice bicolor, Bunge. (26圖版-255)

(異名) トウガウサウ　〔形態〕海濱に自生する多年生草本にして，莖高さ30糎(1尺)内外に達す。葉は下部の短き莖に簇生し，葉身は長倒卵形にして稍全緣をなす。花は簇葉間に花莖を抽出し，圓錐花序をなして着生す。本花の有する萼は膜質にして稍漏斗狀をなし，花後宿存して美觀を呈す。花冠は小形にして先端5裂す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕支那及遼東半島。

(附記)　本植物は東鄕海軍大將が嘗て遼東半島に於て採集せられたるより一時に其名を知られたるものにして，爾後本邦に移植愛養せらるゝものなり。

2001. **はまさじ**……イソマツ科
Statice japonica, *Sieb.* et *Zucc.* (26圖版-252)

PL. 26.

246 しなのがき
247 ときはがき
248 グツタペルカノキ
249 はまかんざし
250 ルリマツリモドキ
251 ルリマツリ
252 はまさじ
253 ニハハナビ
254 セイロンマツリ
255 トウガウイソマツリ

（異名）はまぢさ　〔形態〕多く海邊の砂地に自生する二年生草本にして全株無毛種に屬す。莖は極めて短く、この短き莖に多くの倒卵狀長楕圓形の葉を叢生す。この葉は長さ18-20糎（6-7寸）許ありて紅色を帶ぶ。花はこの叢葉間に花莖を出し、高さ30-60糎（1-2尺に達し、穗狀花序をなして着生し圓錐狀をなす。小穗には1-2花を着け、每花に卵形・鈍頭をなせる3箇の苞を有す。萼は膜質にして筒形をなし、外面に毛を有し、先端5裂す。花冠は5深裂し、各裂片は箆形をなす。〔花色〕初白色なれども後鮮黃色に變ず。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部·南部·四國·九州。

2002. **ニハハナビ**…… イソマツ科
Statice latifolia, Sm.（26圖版-253）

（異名）ヒロハノハマサジ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして高さ60糎（2尺）許に達し、全株に星毛を密布す。葉は長き葉柄を有し大形にして楕圓形を呈し、鈍頭、狹脚なり。この葉は深綠色にして厚く根際より生ず。花は小形にして穗狀花序をなし、多數に分岐して圓錐狀となり各小穗に1-2花を着く。萼筒部は倒圓錐形を呈し觸部は白色にして5裂し各片三角形をなす、銳頭なり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　切花として恰適のものなり。性强健なれば栽培には特に意を用ひずとも可なり。唯排水を良好ならしむる土質を選び、肥料を充分與ふるの要あるのみ。繁殖は株分による。屋外にて越冬し得。

2003. **ヨレハナビ**…… イソマツ科
Statice tatarica, L.

（異名）ダツタンハマサジ　〔形態〕近時觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして高さ30糎（1尺）許に過ぎず、全株に白粉を有す。葉は前種ニハハナビに類し、有柄にして倒卵形或は長楕圓狀披針形を呈し、先端僅に尖り、狹脚なり。花は此の葉間より抽出せる花莖に着き、房狀をなせる穗狀花序をなし、枝極に狹き3翼を有す。各小枝に着生せる花蕾は互生して恰も花梗のねぢれたる觀あるを以てヨレハナビの和名を得たり（牧野博士命名）萼は白色にして線脉を有し、筒部は有毛、裂片は長楕圓形を呈し鈍頭なり。〔花色〕赤色。〔花候〕5-6月。〔原産地〕歐羅巴。

（附記）切花用として恰適なること、其他栽培方法等すべて前種に同じ。

2004. **ハナハマサジ**…… イソマツ科
Statice sinuata, L.

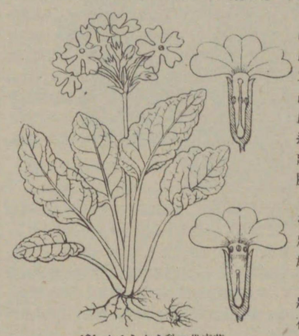
〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ一年生草本にして、高さ60糎（2尺）に餘れり。葉は形狀タンポポの葉に似て粗毛を有し地に伏す。春日此の葉間より花莖を抽出し總狀花序をなす。花軸は2叉に分岐し、翼狀の附着物を有す。〔花色〕淡紅色·紫紅色·白色·黃色等種々。〔花候〕5-6月。〔原産地〕歐洲南部地方。

*　*　*　*　*

サクラサウ群

1. さくらさう（櫻草）科 PRIMULALEÆ.

本科に屬する植物は多年生又は一年生草本にして、葉は凡て根生、又は莖に着生して互生、對生又は輪生し、托葉を有せず。花は雌雄兩全にして整齊をなし、多數撒裂し、頂生又は腋生の總狀花序、穗狀花序、繖形花序をなすか、或は單一にして腋生をなし、又は花枝の頂端に着生す。萼は下位又は稀に上位にして通常5裂、稀に4-9筒に分離、又は分裂し、宿存性又は脫落性なり。花冠は合瓣にして通常5裂、稀に4-9裂をなし、輻狀、漏斗狀、高盆狀又は鐘狀をなし脫落す。雄蕊は花冠の裂片と同數にして之と對生し、花冠の筒狀部又は其基部に附着し、花絲は概ね短くして分離し又は其基部に於て相連合す。葯は內向し、2胞にして葯嚢は縱裂するか、或は頂部に孔を開く。花盤は不明瞭なるか、又は之を缺く。子房は上位、又は稀に半下位にして單室をなし、中軸胎座を具へ、胚子は多數にして倒生又は半倒生なり。花柱は單一、柱頭も亦單一にして頭形をなし、全緣なり。果實は單室の蒴にして4-6裂、稀に橫裂して蓋果をなすか、或は分裂せずして全面をなすことあり。種子は少數又は多數にして胎座の凹部に着生し、種皮は薄質をなし、胚乳は肉質又は角質なり。胚は小形にして直生をなし、子房は鈍頭なり。


131 さくらさう科の代表花

本科の植物は廣く北半球の溫帶及寒帶地方の山野に播布し、又南亞米利加の南部及亞弗利加の南部にも分布するものにして、世界を通じ既知のもの22屬、大約350餘種を產し、本邦には外來品、自生品を含し11屬、70-80種を有す。

本科所載植物索引目次

イチゲザクラ……2031　サクラサウ……2027　ハルコザクラ……2039
イハカガミグマシ……2000　サハトラノヲ……2017　ヒナザクラ……2057
イハキコザクラ……2053　サンザクラサウ……2036　ヒメコザクラ……2056
イハザクラ……2041　シクラメン……2003　ヒメサクラサウ……2042
イワウサウ……2021　シコクカコサウ……2045　ヒメハマボツス……2013
ウミミドリ……2013　シナノコザクラ……2046　ヒメボツス……2058
ウラジロクリンザクラ2033　シホハコベ……2013　ヒロハクサレダマ……2022
エゾコザクラ……2055　シホマツボ……2013　プタノマンジュウ……2008
ヲカトラノヲ……2014　シロバナエゾコザクラ2052　プリムローズ……2031
オトメザクラ……2040　シロバナナンキンコザクラ……2051　ホザキザクラ……2061
オホサクラサウ……2034　シロバナミチノクザクラ……2054　ホザキノコケザクラ…2061
オホツマトリサウ……2004　ラ……2054　ミチノクコザクラ……2053
オホバナクリンザクラ2031　セイヤウサクラサウ…2029　ミヅトラノヲ……2017
オホハマボツス……2010　チシマザクラ……2007　ミヤマコナスビ……2025
オホミネコザクラ……2039　チュクリサクラサウ…2036　ミヤマザクラ……2042
カガリビバナ……2008　ツタバカガリビバナ…2012　ミヤマタゴボウ……2018
カガリビバナ……2009　ツマトリサウ……2052　モロコシサウ……2023
カツコサウ……2044　トキハザクラ……2038　ヤグラザクラ……2037
カンザクラ……2010　トサザクラ……2041　ヤチハコベ……2059
キソザクラ……2043　トラノヲ……2014　ヤナギトラノヲ……2026
キバナノクリンザクラ2029　ナガバノサクラサウ…2032　ヤマタネンボ……2023
キレザキヤクラサウ…2028　ナゼザクラ……2061　ユキワリコザクラ……2048
ギンレイクワ……2018　ナンキンコザクラ……2050　ユキワリサウ……2047
ギンレイサウ……2018　ヌマトラノヲ……2016　リウキウコザクラ……2050
クサレダマ……2021　ノヂトラノヲ……2015　ルリハコベ……2005
クリンサウ……2035　ハクサンコザクラ……2050　ロココ咲カガリビバナ2010
クリンザクラ……2030　ハヒハマボツス……2059
コイハザクラ……2042　パヒリオ咲カガリビバ
コツマトリサウ……2063　ナ……2011
コナスビ……2024　ハマボツス……2019
サイクラメン……2008

1. ルリハコベ屬 ANAGALLIS.

2005. **るりはこべ**…… サクラサウ科
Anagallis arvensis, *L.*（27圖版-256）

〔形態〕暖地の原野に自生する一年生草本にして、高さ30糎（1尺）內外に達し、枝條は方形にして伏臥生なり。葉は卵形或は披針形をなし銳頭、心脚にして全緣、葉柄を缺き左右より莖を抱く。花は長梗を有し葉腋より1

筒完を生ず。壺は5深裂し、各裂片は披針形を呈し鋭尖頭をなし、花冠は幅形にして壺と稍同長なり、ホ5深裂す。雄蕊は5箇、花絲には絨毛を有す。果實は頭にじて球形たり。〔花色〕雲色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

2. チシマザクラ屬 ANDROSACE.

2006. りうきうこざくら …… サクラサウ科
Androsace saxifragaefolia, *Bunge*. (27圖版-257)

〔形態〕本邦暖地の海濱に自生する一年生草本にして、高さ6-10糎(2-3寸)に過ぎず、全株に腺毛を布く。葉は根生にして長き葉柄を有し、心臟狀腎形をなし邊緣には鈍齒牙あり。春日葉間より長さ3-6糎(1-2寸)の花莖を抽出し、7-8花より成れる繖形花序を着生し、小梗は長短同じからず。總苞片は披針形にして長さ3糎(1寸)許、萼は5箇に深裂し、各裂片は橢圓形をなし先端尖る。花冠は盆形にして筒部淺く5裂し、各裂片は橢圓形をなす。雄蕊は5箇にして閉在す。果實は徑3粍(1分)許の球形をなせる朔なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

2007. ちしまざくら …… サクラサウ科
Androsace chamaejasme, *Host*. var. arctica, *Knuth*.

〔形態〕多年生草本にして長く根莖を曳く。葉は長さ1糎(3分)許、廣卵形にして兩面には毛茸を密布し、緣生す。葉間より抽出せる花莖は長さ3-13糎(1-4寸)にして絨毛を密生し、繖形花序をなして2-8花を着く。萼は小梗と同長なるか或は短く、萼は鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は披針形鋭頭なり。花冠の筒部は萼片と同長、紘部は徑7-12粍(2·5-4分)にして各裂片は倒心形をなし、花喉は始め黃色なれども終に紅色となる。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島。

3. ブタノマンヂュウ屬 CYCLAMEN.

2008. ブタノマンヂュウ …… サクラサウ科
Cyclamen europaeum, L. (27圖版-258)

(異名) シクラメン・サイクラメン・カガリビバナ・カガリビサウ

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして、塊莖は直徑3-6糎(1-2寸)の扁球形をなす。葉は長柄を有し、卵狀心臟形或は腎臟形を呈し、上面には多少白き斑紋を有し、下面は紅紫色を帶ぶ。此の叢葉間より高さ9-12糎(3-4寸)許の花莖數箇を抽出し、各頂端に芳香に富める美花を1箇宛着生す。花瓣は長橢圓狀筵形をなし長さ約2糎(6分)許あり。花梗は花後螺回す。〔花色〕鮮赤色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴南部。

(附記) 本植物の塊莖は豚の甚だ好むものなるを以て此の和名を得たり普通溫室內に栽培せらるれども、寒氣に對する抵抗性製合に强きを以て室內にても越冬し得。繁殖は實生による。普通9月に播種したるものは翌年の冬に花を見るを得べし。播種後15ヶ月にして開花するものなり。夏期の高溫には弱きものなれば日覆等を用ひて冷涼にするを要す。

2009. カガリビバナ …… サクラサウ科
Cyclamen latifolium, Sibth. et Smith. (*Cyclamen persicum*, *Mill.*)

(異名) ヒロハノブタノマンヂュウ 〔形態〕觀賞用として栽培せらるる多年生草本にして、塊莖は扁球形をなし、葉は根生して長柄を有し心臟狀卵形を呈し稍鋭尖頭、邊緣には細鈍齒牙を有し白斑あり。花莖は高さ15-20糎(5-6寸)にして大形の花を點頭す。萼は5深裂し、各裂片は三角形をなす。花冠亦5深裂し、各裂片は長橢圓狀披針形を呈し、鋭頭にして花筒の4-5倍長く顚る反捲せり。花梗は花後螺回せず。カガリビバナの和名は牧野博士の命名せられしものなり。〔花色〕赤色・淡紅色・白色等種々。

〔原産地〕歐羅巴南部。

2010. ロココ(ざき)カガリビバナ …… サクラサウ科
Cyclamen persicum, Mill. var. *Rococo*, Hort.

〔形態〕前種の1變種にして、花瓣は幅廣く頂部に至るに從ひ次第に其の幅を增し、概形扇狀をなし、瓣緣に波狀の切込みあり、且つ皺を有し雅趣に富む。〔花色〕カガリビバナと同樣種々の色あり。(27圖版-259)

2011. パピリオ(ざき)カガリビバナ …… サクラサウ科
Cyclamen persicum, Mill. var. *Papilio*, (27圖版-260)

〔形態〕ロココ咲と同樣瓣緣には波狀の切込みあれども、花瓣の幅は彼より狹く特異の花形をなせり。〔花色〕前種と同樣各種の色あり。

2012. ツタバカガリビバナ (27圖版-261) …… サクラサウ科
Cyclamen repandum, Sibth. et Smith.

〔形態〕カガリビバナと同樣廣く栽培せらるれども、彼に比すれば一般に小形にして、高さ僅に10糎(3寸)內外に過ぎず。葉は細き葉柄を有し心臟狀にして薄く、邊緣波狀を呈し先端稍尖りて、概形ツタ(葛)の葉に似たり上面は暗綠色にして微に斑紋を有す。花莖は叢葉間より抽出し先端彎曲し、佳香に富める花を着く。萼片は卵形にして先端尖り。花瓣は長さ1-2糎(3-6分)許、咽喉部は半球形をなし基部狹し。〔花色〕鮮紅色・白色・帶紫色等種々。〔花候〕3-5月。〔原産地〕歐羅巴南部。

(附記) シクラメンの種類中にては最も耐寒性の强きものなり。繁殖は實生によること何れの種類にても同じ。

4. シホマツバ屬 GLAUX.

2013. しほまつば …… サクラサウ科
Glaux maritima, *L*. (27圖版-262)

(異名) ひめはまぼつす・しほはこべ・うみみどり 〔形態〕海岸に近く自生する多年生草本にして、高さ12-15糎(4-5寸)に過ぎず。莖は稍肉質なり。葉は無柄にして披針形或は卵狀披針形を呈し全緣なり。花は腋出にして小形、無梗。萼は鐘形を呈し先端5裂し、各裂片は廣卵形にして鈍頭をなし、赤色を呈す。花冠を缺き、雄蕊は5箇にして花被の基脚に着生す。果實は朔にして球形をなし5室を有す。〔花色〕赤色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・本州北部及中部。

5. ヲカトラノヲ屬 LYSIMACHIA.

2014. をかとらのを 珍珠菜・鬼兒尾苗・野七里香 サクラサウ科
Lysimachia clethroides, *Duby*. (27圖版-263)

(異名) とらのを 〔形態〕山地、原野等に自生する多年生草本にして、高さ60糎(2尺)許に達し、根莖を曳いて繁殖す。莖は直立し全株に細毛を布く。葉は長さ12-15糎(4-5寸)にして卵形を呈し兩端尖り互生す。夏日梢上15-20糎(5-6寸)の穗狀花序を抽出し、多數の花を密生し先端彎曲す。萼は鐘形にして5裂し、各裂片は長橢圓形にして鈍頭或は銳頭をなす。花冠ホ5裂し、各裂片は倒卵形を呈し、鈍頭或は凹頭をなす。雄蕊は花冠より短く、花絲と共に細微なる腺毛あり。花絲は花冠の基部に着生し、其の下部合體せり。葯は銳頭、花柱は棍棒形をなす。果實は朔にして球形を呈し直立す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

2015. のぢとらのを …… サクラサウ科
Lysimachia barystachys, *Bunge*. (27圖版-264)

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、高さ30-60糎(1-2尺)に達し全株に短毛を布く。葉は無柄にして絲狀或は披針狀長橢圓形をなし兩端尖る。夏日梢上に花莖を抽出し、多數の小花を總狀花序に綴る。苞は絲狀鑿形にして略小梗と同長なり。萼は鐘形にして、裂片は卵形鈍頭をなし、花冠は長さ略萼の3倍に達し、長橢圓狀披針形を呈し鈍頭なり。雄蕊は長さ花冠裂片の半に過ぎず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

2016. ぬまとらのを 宿星菜 …… サクラサウ科
Lysimachia Fortunei, *Maxim*.

〔形態〕好で水邊の溫地に自生する多年生草本にして、高さ30-45糎(1-1·5尺)に達し、圓莖無毛なり。根莖を曳て繁殖す。葉は無柄にして長橢圓狀披針形を呈し、兩端尖り。軟骨緣を有し長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許にして互生す。夏日梢上に花莖を抽出すること12-15糎(4-5寸)、多數の小花を總狀花序に綴る。苞は小梗と略同長なり。萼は半球狀鐘形をなし、裂片は長橢圓形或は橢圓形にして鈍頭を有す。花冠の裂片は廣倒卵形を呈し鈍頭なり。雄蕊は花冠より短く、花絲の基部は花冠の筒部に着生す。葯は花絲と共に微細の腺毛を有す。果實は朔にして球形をなし宿存萼を伴ふ。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球・臺灣・朝鮮。

2017. さはとらのを …… サクラサウ科
Lysimachia candida, *Lindl*. var. leucantha, *Makino*.

(異名) みづとらのを 〔形態〕水澤の中に生ずる多年生草本にして、高さ30-60糎(1-2尺)に達し、全株無毛種に屬し、莖は圓形をなし叢生し、廣長なり。葉は葉柄を有し、葉身は長橢圓形或は線形を呈し兩端尖り、長さ3-4糎(0·6-1·2寸)にして、前種ヌマトラノヲより狹小なり。この葉は葉色淡綠にして莖葉共に紫色を帶ぶ。夏日梢上に花莖を抽出し多數の花を着く。總狀花序は初め廣圓錐形をなし花軸の成長と共に狹長となる。小梗は前種より長く、苞は線形にして長さ小梗の半に過ぎず。萼裂片は卵狀披針形をなし、花冠の裂片は倒卵形鈍頭なり。雄蕊は5箇にして花冠の裂片と對生し、花冠の筒部に着生し、冠外に挺出す。葯胞に點粒あり。果實は小球形の蒴なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕九州・臺灣。

256 るりはこべ

257 りうきうこざくら

258 ブタノマンヂュウ

259 ロココザキカガリビバナ

260 パピリオザキカガリビバナ

261 ツタバカガリビバナ

262 しほまつば

263 をかとらのを

264 のぢとらのを

265 みやまたごばう

132 ぬまとらのを

133 さはとらのを

2018. みやまたごばう ····· サクラサウ科
Lysimachia acroadenia, *Maxim.* (27 圖版-265)

(異名) ぎんれいくわ・ぎんれいさう　〔形態〕深山に自生する多年生草本にして，高さ 30 糎 (1 尺) 餘に達す。莖は直立して枝を分ち，皮部稜狀に隆起して稜をなし，全株無毛なり。葉は葉柄を有し，葉身は膜質にして長橢圓狀披針形を呈し兩端尖り，長さ 6-12 糎 (2-4 寸) 許にして互生し，槪形タウガラシの葉に似たれども，上面に淡綠色下面は淡紫色の細點を密布す。初夏梢上に花莖を抽き，總狀花序を疎生す。苞は絲狀鑿形をなし，長さ小梗の半に過ぎず。蒴裂片は披針形にして銳頭なり。花冠裂片は筒形をなし筒部と同長にして鈍頭なり。雄蕊は 5 箇にして花冠の咽喉に着生し，花冠の裂片と同長なり。果實は朔にして球形を呈し橫徑凡そ 5 粍(1·5 分)許なり。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·臺灣·朝鮮。

2019. はまぼっす ····· サクラサウ科
Lysimachia mauritiana, *Lam.* (28 圖版-266)

〔形態〕沿海の地に自生する多年生草本にして，高さ 13-30 糎 (0·4-1 尺) 許，莖葉共に多肉，無毛にして分枝多し，葉は篦形を呈し脚葉は有柄なれども，梢葉は無柄なり。花は頭狀穗總狀花序をなし梢葉腋毎に着生す。苞は葉狀を呈し長さ小梗に倍す。蒴は鐘形にして先端 5 裂し，各裂片は披針狀卵形をなし鈍頭なり。花冠の裂片は長倒卵形をなし長さ蒴片に倍す。雄蕊 5 箇にして長さ花冠の裂片に半ばす。果實は球形を呈し殼片硬く上部開裂す。〔花色〕淡黃綠色又は帶紫色。〔花候〕6 月。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州·小笠原島·琉球·臺灣·朝鮮。

2020. おほはまぼっす ····· サクラサウ科
Lysimachia rubida, *Koidz.*

〔形態〕ハマボツスの大形品にして，高さ 10-60 糎 (0·3-2 尺) 許，全株無毛にして莖は直生し，單一又は分枝し，屢ば黑點を有す。葉は無柄にして肉質薄く，長さ 3-6 糎 (1-2 寸)許，篦形又は線狀倒披針形を呈し，鈍頭，狹脚をなし沿着し，兩面には黑點を密布す。花は長さ約 15 糎 (5 寸)許の總狀花序をなし，3-30 花を着く。蒴は鐘形をなし長さ 1 糎 (3 分)許にして 5 深裂し，各裂片は披針形を呈し，內面には黑點を有す。花冠の筒部は長さ約 5 粍 (1·5 分) 許，赤 5 裂し，各裂片は倒卵狀長橢圓形をなし銳頭なり。果實は朔にして卵形を呈し先端少しく尖る。〔花色〕白色又は赤色。〔花候〕夏。〔分布〕小笠原島。

(附記)　ハマボツスに比すれば，花は大形にして花梗は短く，蒴片披針形銳頭をなし，果實赤大形にして卵形を呈する等著しき差異を見る。

2021. くされだま (28 圖版-267) ····· サクラサウ科
Lysimachia vulgaris, *L.* var. davurica, *Knuth.*

(異名) いわうさう　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，全株稍無毛に屑し，莖は直立し，高さ 10-13 糎 (3-4 尺) に達す。葉は短き葉柄を有し對生す。葉身は披針形乃至線形をなし，兩端尖り，槪形ヤナギ (柳) の葉に似たり。夏秋の候梢葉腋に細莖を出し，圓錐花序をなして疎に花を着く。蒴の裂片は三角狀卵形をなし先端尖り，邊緣茶褐色にして細微の毛を有し，花冠は蒴より遙に長く約 2-3 倍に達し，各裂片は卵形にして鈍頭をなし，雄蕊は直立して花冠の上に生ぜず。花絲は下部合着して短き筒狀をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州·九州·朝鮮·滿洲。

2022. ひろはくされだま ····· サクラサウ科
Lysimachia vulgaris, *L.* var. typica, *Knuth.*

〔形態〕クサレダマの 1 品種にして，葉は前種よりも廣く卵形或は長橢圓狀披針形を呈し輪生す。〔分布〕本州北部及中部。

2023. もろこしさう ····· サクラサウ科
Lysimachia sikokiana, *Miq.* (28 圖版-268)

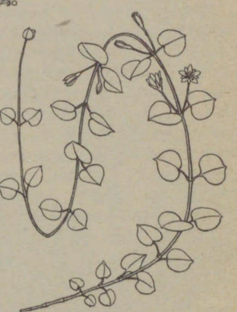
(異名) やまくねんぼ　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，高さ 30-130 糎 (1-4 尺) に達するものあり。莖は微に暗紫色を帶び稜條を有し，殆ど方形をなす。葉は有柄にして卵形或は披針形をなし，兩端尖り大なるは長さ 13 糎 (4 寸)，幅 3 糎 (1 寸) を超ゆるものあり。花は長梗を有し葉腋に 1 箇宛を生ず。蒴の裂片は卵形をなし先端長く尖り，花冠は長くして蒴に 2-3 倍し，各裂片は披針形を呈し鈍頭なり。雄蕊は短く花冠の裂片に半す。果實は球形にして宿存蒴を伴ひ，橫徑約 6 粍 (2 分) 許あり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部·四國·九州·小笠原島·琉球·臺灣。

(附記)　本植物は 1 種の佳香を有するを以て，沖繩島にてはヤマクネンボと稱す。

2024. こなすび ····· サクラサウ科
Lysimachia japonica, *Thunb.*

〔形態〕原野，路傍等に自生する一年生草本にして，高さ 16-21 糎 (5-7 寸) に過ぎず。全株に短毛を有し莖は斜上生なり。葉は葉柄を有し葉身は圓卵形又は卵形を呈し，先端少しく尖り對生す。花は葉腋に生じ短き花梗を有す。蒴の裂片は 5 箇にして披針形をなし蒴より短く，先端 5 裂し，各裂片は披針狀卵形或は卵形をなす。雄蕊は 5 箇にして長き花冠の裂片に半す果實は朔を成し球形にして宿存蒴を伴ふ。〔花色〕黃色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕北海道·本州·九州·琉球·臺灣。

134 こなすび


135 みやまこなすび

2025. みやまこなすび ····· サクラサウ科
Lysimachia Tanakae, *Maxim.*

〔形態〕深山に自生する多年多年生草本にてして，莖は匍匐性なり。全株は無毛又は短毛を布く。葉は有柄にして圓形を呈し，基脚心臟形をなし，邊緣に毛茸を有す。花は葉腋に生じ短き花梗を具へ，單立す。蒴裂は先端 5 裂し，各裂片は長橢圓狀披針形をなし，先端尖りて毛茸を有す。花冠は蒴と略同長，各裂片は卵狀を呈し銳頭なり。雄蕊は 5 箇にして花冠の裂片より短し。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部·四國·九州。

6. ヤナギトラノヲ屬　NAUMBERGIA.

2026. やなぎとらのを ····· サクラサウ科
Naumbergia thyrsiflora, *Duby.* (28 圖版-269)

〔形態〕高山の濕地及寒地の平原，沼澤等に自生する多年生草本にして，高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達し，全株無毛なり。莖は匍枝を出して繁殖す。葉は無柄にして，披針形或は長橢圓形をなし全邊なり。夏日葉腋より簇集せる總狀花序を抽き多くの花を着生す。苞は線形にして小梗より長く，蒴は 6 箇に深裂し，各裂片は線形をなし先端尖る。花冠も亦 6 裂し，各裂片は線狀篦形をなし鈍頭なり。雄蕊は花冠外に挺出す。〔花色〕黃色。〔花候〕7 月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

7. サクラサウ屬　PRIMULA.

2027. さくらさう 櫻草·翠蘭花 (28 圖版-270) サクラサウ科
Primula Sieboldi, *E. Morr.* forma spontanea, *Takeda.*

〔形態〕山地，原野の水濕地に自生する多年生草本にして，全株に軟毛を布く。根莖は紅色を帶び斜に橫向して上部に多數の根を生ず。葉は根莖の先端に叢生し，長き葉柄を有す。葉身は長さは 12 糎 (3-4 寸)，卵狀長橢圓形をなし，邊緣には大缺刻を有し，每刻不齊の鋸齒あり。春日叢葉間より花

軸を抽すこと 15-18 糎（5-6 寸）許にして、繖形花序をなし多數の花を着く。總苞片は披針形にして先端尖り、小梗より短し。萼は漏斗形をなし尖裂片の半に及ぶ。5 筒の裂片は三角狀を呈し先端尖り、邊緣には疎に微小の毛茸を生ず。花冠は盆狀にして筒部は萼より超出し、紘部は徑 24-30 糎（0-8-1 尺）にして 5 裂し、各裂片は倒卵狀楔形を成し凹頭を有す。雄蕊は 5 箇にして、長柱花にありては花筒の中央、短柱花にありては花筒の上部花喉に近く附着す。葯は長橢圓形にして花絲より長し。花柱は長きものは花喉に達し、短きものは花筒の半より少しく長し。果實は蒴にして宿存萼を伴ひ、壓扁せる球狀圓錐形をなし、徑 6 粍（2 分）許なり。〔花色〕淡紅色或は紫色。

〔花候〕4-5 月。〔分布〕北海道・本州・九州・朝鮮・滿洲。

（附記）　本植物は埼玉縣浦和町在、田島ヶ原（荒川沿岸）に野生せる 1 區劃を先年天然記念物として保護せられ居るを以て、花色、花形、花瓣の數等各種の變種を多く生じ、植物研究家に好資料を提共しつゝあり。庭園に移し栽培せるものあれども、寧ろ野外に自生せるものこそ優雅なるものなり。

2028. きれざきさくらさう …… サクラサウ科
Primula Sieboldi, *E. Morr.* forma incisa, *Makino.*

〔形態〕サクラサウの培養變種にして、唯花瓣の邊緣缺刻樣をなせるを異るところとす。

2029. **キバナノクリンザクラ** …… サクラサウ科
Primula veris, L.（28 圖版-271）

（異名）セイヤウサクラサウ・ヤウシユサクラサウ　〔形態〕古く本邦に後渡來し觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして、全株に短毛を布く。葉は翼狀片を有せる葉柄を有し、葉身は長さ 4-5-7-5 糎（1-5-2-5 寸）許、膜質或は紙質にして多くの皺を有し、卵狀長橢圓形又は卵形を呈し、先端は鈍く基脚狹く、邊緣には鈍齒牙狀鋸齒を有す。春日叢葉間より花莖を抽くこと 9-18 糎（3-6 寸）許にして、多數の花を着生し繖形花序を成す。萼は鐘形白色にして五角形をなし、各裂片は三角形をなし先端尖る。花冠の筒部は萼と略同長にして、紘部は徑 10-24 粍（3-8 分）許、裂片は倒心臟形をなし凹頭を呈す。果實は蒴にして廣橢圓形をなし宿存萼內に閉在す。

〔花色〕橙黃色稀に紫色。〔花候〕春-夏。〔原産地〕歐羅巴。

（附記）　本種は性强健にして露地栽培に適す。本種の改良せられしものは「ポリアンタ」種ありて、花色、花形等に於て優秀なれば本種の栽培は昔時程多からず。

2030. **クリンザクラ** …… サクラサウ科
Primula polyantha, Hort.（28 圖版-272）

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本なり。葉は有柄にして、長倒卵形を呈し、鈍頭狹脚をなし下面無毛なり。春日叢葉間より花莖を抽き繖形花序をなして多數の無梗花を着生す。〔花色〕淡黃色を基型とすれども赤黃色、赤色、濃黃色稀に白色等種々の變化あり。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

（附記）　寒氣に對する抵抗性强く、冬期「フレーム」にて越冬し得、繁殖は一般に秋期株分による。種子にて繁殖せしむるには秋播をよしとす。早きは翌春花を見るを得べし。土質は腐植質壤土を好む。

2031. **オホバナクリンザクラ** …… サクラサウ科
Primula acaulis, Hill.

（異名）イチゲザクラ・プリムロース　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして、葉は多數簇生して膜質を呈し、往々皺縮す。葉は有柄又は無柄にして、葉身は長橢圓形或は倒卵狀長橢圓形をなし、鈍頭狹脚にして邊緣には細かき鈍齒を有す。花莖頗る短く、長さ 6-9 糎（2-3 寸）許の小梗を出し萼と共に軟毛を生ず。萼は卵狀筒形にして 5 稜をなし、各裂片は狹披針形を呈し先端尖る。花冠の先端 5 裂し、筒部は圓筒形をなし、紘部は大きく徑約 3 糎（1 寸）に達し、各裂片は倒卵形凹頭をなし、頗る美麗なり。〔花色〕淡黃色稀に紫色或は碧色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

2032. **ナガバノサクラサウ** …… サクラサウ科
Primula auriculata, Lam.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本なり。莖は膜質にして、稍圓形或は笠形をなし鈍頭、狹脚、邊緣には細かき鋸齒を有す。春日花莖を抽出すること 9-30 糎（0-3-1 尺）餘に達し、繖形花序をなして多數の花を着生す。苞は線狀披針形にして先端尖り、基脚耳形をなす。花冠の紘部は徑 12-18 粍（4-6 分）許にして、各裂片は倒心臟形をなす。〔花色〕紅色・黃色・淡紫色等種々。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

2033. **ウラジロクリンザクラ** …… サクラサウ科
Primula leucophylla, Pax.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本なり。葉は狹き翼狀片を有する葉柄を有し、葉身は稍革質にして皺縮し、長橢圓形或は橢圓形を呈し鈍頭、狹脚をなし、下面には白色の毬毛を密布し、長さ 4-6 糎（1-3-2 寸）許にして、邊緣には細き鈍齒牙狀鋸齒を有するもの、又は全く之を缺くものあり。春日叢葉間より花莖を抽出し、多數の花を繖形花序に排列す。苞は狹き筒形にして短毛を生じ、各裂片は披針形鋭頭をなす。花冠は先端 5 裂し、筒部は萼より稍長く、紘部は徑 2 糎（6-5 分）許に達し、各裂片は倒心形凹頭をなす。果實は蒴にして圓柱形を呈し、宿存萼と略同長なり。〔花色〕黃色。

〔花候〕春。〔原産地〕塊太利。

136 オホバナクリンサウ　137 おほさくらさう

2034. **おほさくらさう** …… サクラサウ科
Primula jesoana, Miq.

〔形態〕高山多濕の地に自生する多年生草本にして、全株に軟毛を布く。葉は長き葉柄を有し、葉身は膜質にして腎臟狀圓形をなし掌狀に淺裂し、各裂片は稍三角形を呈し、更に 3 淺裂し、缺刻狀齒牙緣を有す。夏秋の候長さ 30-60 糎（1-2 尺）に達する花莖を抽出し、繖形花序をなして少數の花を着生す。萼裂片は披針形鋭頭をなす。花冠は漏斗形にして筒部は萼の長さに倍し、先端 5 裂し、各裂片は倒心形、廣凹頭をなす。〔花色〕紅紫色。

〔花候〕7-8 月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

2035. **くりんさう** …… サクラサウ科
Primula japonica, A. Gray.（28 圖版-273）

〔形態〕山地に自生すれども、往々庭園に栽培せらるゝ多年生草本にして全株無毛なり。葉は膜質にして倒卵狀長橢圓形或は笠形をなし、不齊なる鋭鋸齒緣を有す。全葉長さ 13-21 糎（6-7 寸）許にして鈍頭、狹脚をなし、次第に中肋に滑ふて根際に至り、葉柄に翼狀裂片を附くれども、初生の葉には往々にして斯の如きことなし。葉心より花莖を抽くこと 30-60 糎（1-2 尺）許にして、10 數花を繖形花序に排列すれども、花穗次第に伸長して通常 3-4 層をなす。萼は短鐘なる鐘形をなし 5 尖裂し、各裂片は廣三角形を呈す。花冠の筒部は長さ 1-2-1-5 糎（4-5 分）許にして、紘部は徑 2-4-3 糎（0-8-1 寸）裂片は多少楔形をなせる橢圓形を呈し凹頭をなす。果實は蒴にして球形をなし、略宿存萼と同長なり。〔花色〕紫色稀に淡紅色或は白色。〔花候〕5 月。〔分布〕北海道・本州各部。

（附記）　邦産サクラサウ屬中の最大品なり。

2036. **カンザクラ** 寒櫻春 …… サクラサウ科
Primula sinensis, Lindl.（28 圖版-274）

（異名）かんざくらさう・ちゅうくわざくらさう　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして、全株に短毛を布く。葉は長柄を有し、葉身は圓形にして心脚をなし、長さ 7-5-9 糎（2-5-3 寸）許に達し、邊緣深裂して掌狀の觀を呈す。花莖は長さ 10 糎（3 寸）位にして、多數の花を繖形に着生し、2-3 花は他花より上部に在り、所謂段咲をなす。萼は漏斗形をなし裁脚なり。花冠は先端 5 裂し、紘部は徑約 3 糎（1 寸）許、裂片は廣心形を呈し凹頭なり。〔花色〕白色・淡紅色或は赤色。〔花候〕早春。〔原産地〕支那。

2037. **ヤグラザクラ** …… サクラサウ科
Primula kewensis, W. Wats.（28 圖版-275）

〔形態〕觀賞用として古くより栽培せらるゝ草本にして、普通に見るものなり。高さ 30 糎（1 尺）餘に達し、葉は長橢圓形をなし鋭き鋸齒を有す。莖に白粉を有するものと、莖は帶紅色にして葉に白粉なきもの等あり。春葉間より花莖を抽出し、多數の花を繖形に綴る。〔花色〕鮮黃色。〔花候〕3-4 月。

（附記）　本植物は 19 世紀の末葉英國「キュー」植物園にて自然交配により得られしものにして、性質割合に强く栽培容易なるものなり。

PL. 28.

266 はまぼつす　267 くされだま　268 もろこしさう　269 やなぎそらのを
270 さくらさう　271 キバナノクリンザクラ　272 クリンザクラ
273 くりんさう　274 カンザクラ　275 ヤグラザク

2038. **トキハザクラ** …… サクラサウ科
Primula obconica, Hance.（29圖版-276）

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして全株に甚毛を布く。葉は長き葉柄を有し、葉身は膜質にして長楕圓狀卵形或は稍圓卵形を呈し、基脚は心臟狀、邊緣に細鋸齒を有し、長さ6糎（2寸）內外なり。葉間より數本の花莖を抽出し、高さ30糎（1尺）に達し、繖形花序をなして多數の花を着生し、2-3花は他花より上部にあり。萼は廣漏斗狀鐘形をなし5筒の齒緣を有す。花冠は先端5裂し筒部は萼より超出し、紘部は徑1-2糎（3-6分）許にして、各裂片は倒心形をなす。〔花色〕淡紫色又は淡黃色。〔花候〕1-5月。〔原産地〕支那。

（附記） 本植物の莖葉に生ぜる腺毛は1種の「アルカロイド」を含み、之に觸るれば「カブレ」を起す人あり。

2039. **ハルコザクラ** …… サクラサウ科
Primula Forbesii, Franch.（29圖版-277）

（異名）ヒナザクラ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ一年生草本にして、葉及花莖の下部に白毛を有す。葉は廣楕圓狀乃至心臟狀長楕圓形をなし、波狀の缺刻と細齒牙緣を有す。花莖は15-30糎（0·5-1尺）に伸び、多くの小花を繖形に綴り、花序は2-3層をなす。花は細梗を有し徑1·3糎（4分）許、萼は銳鋸齒緣をなし、花冠の裂片は倒心形なり。〔花色〕淡紅色。〔原産地〕支那。

（附記） 約50年前佛人の宣教師によりて歐洲へ齎され、明治の末期本邦へ輸入せられしものにして、栽培は比較的容易なり。

2040. **ヒメサクラサウ** …… サクラサウ科
Primula malacoides, Franch.（29圖版-278）

（異名）オトメザクラ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ一年生草本にして、高さ18-45糎（0·6-1·5尺）に達し、疳長、基脚には稍白毛を布く。葉は薄紙質にして、廣卵形を呈し6-8裂し、各裂片は銳缺刻狀齒牙緣を有し、上面は淡綠色にして、下面は白粉にて覆はる。花は繖形花序をなし、段咲となりて順次に上昇す。萼は短く線狀披針形にして銳頭をなし、下面に白粉を布く。萼には白粉密布し、鐘形にして裂片短く銳頭なり。花冠の先端5裂し筒部は狹き圓筒形を呈し、紘部は徑1-1·2糎（3-4分）にして、各裂片は倒心形をなす。果實は蒴にして閉在せり。〔花色〕淡紅色又は淡紫色。〔花候〕3月。〔原産地〕支那。

2041. **いはざくら** …… サクラサウ科
Primula tosaensis, *Yatabe*.（29圖版-279）

（異名）とささくら　〔形態〕深山の蔭地或は岩壁等に自生する多年生草本にして、全株に軟毛を布く。葉は長柄を有し、葉身は膜質にして圓形或は廣卵形を呈し、極めて弱く淺裂し、各裂片の邊緣は不齊の齒牙を有す。大さ6糎（2寸）內外なり。花莖は高さ1糎（3寸）內外にして、繖形花序をなし、2-3花を着生す。萼は鐘形にして5裂し、各裂片は狹三角形をなし銳頭なり。花冠は先端5裂し、筒部は其の長さ萼に倍し、紘部は徑3糎（1寸）許に達す。各裂片は卵形にして凹頭たをし、果實は蒴にして長圓柱形を呈し、其の長さ宿存萼に數倍せり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕4月。〔分布〕本州中部·四國·九州。

（附記） 本植物は寒氣に對して割合に强く、冬期戶外にて越年し得。種子の發芽も極めて良く栽培極めて容易なり。歐洲より本邦へ輸入せられしは明治の末期頃なり。

2042. **こいはざくら** …… サクラサウ科
Primula Reinii, *Franch. et Sav.*（29圖版-280）

（異名）みやまざくら　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、全株に軟毛を布く。葉は長柄を有し、葉身は圓形或は腎形をなし、基脚は深心臟形をなし、邊緣には缺刻狀鈍齒牙を有す。夏日花莖を抽出すること葉よりも長く、繖形花序をなして2-6花を着生す。萼は無毛、裂片は卵形をなし鈍頭なり。花冠の筒部は其の長さ萼に倍し、裂片は深く2裂せり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

2043. **きそざくら** …… サクラサウ科
Primula kisoana, *Miq.*（29圖版-281）

（異名）かつこさう　〔形態〕深山に自生する多年生草本にして、全株に軟毛を密布す。葉は長き葉柄を有し、葉身は腎臟狀圓形をなし、基脚は心臟狀をなす。徑6-10糎（2-3寸）許にして、淺裂し掌狀をなし、各裂片は低き三角形を呈し鈍齒牙緣を有す。花莖は葉と其の長さ略同じ。繖形花序をなして少數の花を着生す。萼の裂片は線狀披針形をなし、花冠の筒部は其の長さ萼に倍し、各裂片は楔狀橢圓形を呈し凹頭なり。〔花色〕紅紫色或は白色にして紅線を有す。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國。

2044. **にひたかくりんさう** …… サクラサウ科
Primula Miyabeana, *Ito.* et *Kawakami*.

〔形態〕臺灣の高山溪間等に自生する多年生草本にして、全株無毛なり。葉は薄紙質にして筐形を呈し、長さ1·2-1·8糎（4-6分）許にして、基脚葉柄に沿着せり。花莖は高さ48糎（1·6尺）に達し、花も亦長さ1·5-1·8糎（5-6分）に達す。果實は蒴にして球形をなす。〔花色〕紫色。〔分布〕臺灣。

2045. **しこくかっこさう** …… サクラサウ科
Primula kisoana, *Miq.* var. shikokiana, *Makino*.

〔形態〕キソザクラの1變種なり。葉は稍柔軟にして絨毛多く、上面淡綠紫色を呈し、諸脈の隆起著しからず。萼の裂片は披針形或は磬狀披針形をなし、長さ1-1·3糎（3-4·5分）許なり。〔分布〕四國。

2046. **しなのこざくら** …… サクラサウ科
Primula senanensis, *Koidz*.

〔形態〕深山に自生する多年生草本にして、葉身は膜質圓形をなし、基脚は深く心臟形を呈し、緣邊には9筒の不齊齒牙を有し、徑2·5-5糎（0·8-1·6寸）許、5脈又は鳥足狀をなせる7脈を有し、兩面稍無毛にして、下面には白粉を有す。花莖は葉より短く、繖形花序をなして2-4花を着生す。苞は披針形をなし、長さ1糎（3分）許、果實は有柄にして毛茸を有し、水平に開出す。

〔分布〕本州中部。

（附記） 本植物は前記コイハザクラに酷似すれども、葉の兩面稍無毛にして下面に白粉を有し、不齊齒牙緣を有すること、萼は彼より長く、裂片は披針形を呈すること、果實は有柄、有毛にして、水平に開出せる等著しき差異とす。

2047. **ゆきわりさう** …… サクラサウ科
Primula farinosa, *L.* sbusp modesta, *Pax*.

〔形態〕深山に自生する多年生草本にして、概形イハザクラの如くにして更に小なり。葉は長さ6糎（2寸）許にして葉柄を有し、葉身は筐形をなし細齒牙緣を有し、下面に淡黃粉を密布するによりて著しく、先端稍銳基脚は中肋に沿ひ流れて葉柄に至る。花莖は高さ12糎（4寸）許にして多數の花を着生す。萼は鐘形にして先端5裂し、各裂片は三角狀線形を呈す。花冠の筒部は其の長さ萼に倍し、微に紘部より短く、紘部の裂片は楔形にして先端2裂す。果實は蒴にして短き圓柱形をなし、宿存萼より超出す。

〔花色〕碧紫色·紫色又は碧色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·本州·四國·九州。

138 ゆきわりさう

139 ゆきわりこざくら

2048. **ゆきわりこざくら** …… サクラサウ科
Primula farinosa, *L.* var. Fauriae, *Miyabe*.

〔形態〕ユキワリサウの1種にして葉形略菱狀圓形をなすものなり。

〔花候〕初夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

2049. **おほみねこざくら** …… サクラサウ科
Primula Okamotoi, *Koidz*.

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。葉は葉柄を有し絨毛を密布し、葉身は膜質にして圓形、基脚は深き心臟形をなし、徑3-6糎（1-2寸）許、邊緣には7-9筒の齒牙狀鋸齒を有し、5脈或は鳥足狀をなせる7脈を有し、邊緣並に下面の中肋には絨毛を疎生す。花莖は葉と略同長にして、繖形花序をなし2-3花を着生す。苞は披針形をなし、長さ1糎（3分）許、萼は其の長さ略苞に同じくして5裂し、各裂片は披針形銳頭をなす。果實は蒴にして圓柱形を呈し、萼と稍同長なり。〔分布〕本州中部。

（附記） コイハザクラに類似すれども、萼は長くして裂片は披針形を呈し、彼の如く卵形ならず。而して葉の下面は唯中肋に沿ふて絨毛を散生するのみ。

2050. **なんきんこざくら**（29圖版-282）···· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* var. hakusanensis, *Makino.*

（異名）りうきうこざくら・はくさんこざくら　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、全株無毛なり。葉は短柄を有し、葉身は膜質にして長さ2-4糎(8分)許、倒卵形或は回倒卵形をなし、基脚は楔形にして、先端の邊縁に粗なる鋸牙を有す。花莖は高さ5-12糎(1-5-4寸)許にして、繖形花序をなし2-3花を着生す。萼は鐘形をなし、裂片は披針形鋭頭なり。花冠の筒部は萼より長く、舷部は徑約2糎(6分)にして、各裂片は2深裂せり。〔花色〕紅黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

2051. **しろばななんきんこざくら** ····· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* forma albiflora, *Makino.*

〔形態〕ナンキンコザクラの1品種にして、花は白色なるものなり。
〔分布〕本州中部。

2052. **しろばなえぞこざくら** ····· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* var. albiflora, *Koidz.*

〔形態〕エゾコザクラの1變種にして、花の白色なるものなり。
〔分布〕本州中部。

2053. **みちのくこざくら**（29圖版-283）···· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* var. heterodonta, *Makino.*

（異名）いはきこざくら　〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、エゾコザクラの1變種なり。全株無毛種に屬し、葉は葉柄を有し、葉面と略同長をなし、葉身は膜質にして卵形を呈し、基脚は狹く、先端の邊縁に不齊なる粗鋸牙を有す。長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許なり。花莖は高さ7·6-15糎(2·5-5寸)許にして、繖形花序をなし、多數の花を着生す。萼は鐘形をなし、先端5裂し、各裂片は披針形鋭頭なり。花冠の筒部は萼より稍超出し、舷部は徑2糎(6分)許にして5裂し、各裂片は廣倒心形をなし、更に2裂し、底凋なり。果實は蒴にして稍球形をなし、宿存萼と略同長なり。〔花色〕菫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部。

2054. **しろばなのみちのくこざくら** ····· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* var. heterodonta, *Makino.* forma albiflora, *Makino.*

〔形態〕ミチノクザクラの1品種にして、花の白色なるものなり。
〔分布〕本州北部。

2055. **えぞこざくら** ····· サクラサウ科
Primula cuneifolia, *Ledeb.* var. typica, *Makino.*

〔形態〕寒地に自生する多年生草本にして、全株無毛なり。葉は短柄或は長柄を有し、葉身は倒卵形をなし、基脚は楔形を呈し、長さ1-3糎(0·3-1寸)にして、先端の邊縁に粗鋸牙を有す。花莖は短きものあり、或は長さ12糎(4寸)に達するものあり。花は繖形花序を成し1-6花を着生す。萼は鐘形をなし、各裂片は披針形を呈し先端尖る。花冠の筒部は萼より長く、舷部は徑1·5-2糎(5-6分)許にして、各裂片の先端は深く四入す。果實は蒴を成し、宿存萼内に閉在す。〔花色〕肉紅色或は淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道。

140 ねぞこざくら

141 ひめこざくら

2056. **ひめこざくら** ····· サクラサウ科
Primula macrocarpa, *Maxim.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、全株無毛なり。葉は葉柄を有し、葉身の基部流れて翼狀をなせるものを附着す。葉身は圓形或は稍菱形を成し、基脚は急に狹く楔形を呈し、葉柄に移り、邊縁には鋸齒狀銳齒牙を有す。葉間花莖を抽出し1-3花を着生す。總苞葉は鞘形をなし、萼は鐘形にして5中裂し、各裂片は尖三角形を呈す。花冠は盆形にして、筒部は萼内に沒し、各裂片は倒心狀をなす。果實は蒴にして圓柱形をなし、其の長さ略萼に倍せり。〔花色〕紫色。〔花候〕7月。〔分布〕本州北部。

（附記）本種はユキワリコザクラに似たれども更に小なり。又エゾコザクラに比するに蒴は彼より長大にして萼外に超出する特徴あり。

2057. **ひなざくら** ····· サクラサウ科
Primula nipponica, *Yatabe.*（29圖版-284）

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、葉は楔形をなし、基脚狹く邊縁の先端部にのみ數箇の鋸牙を有し、長さ3-5糎(1-1·5寸)許なり。花莖は無毛にして高さ5-13糎(1·5-4寸)、繖形花序をなし2乃至數花を着生し、小梗は細かき毛茸を生じ花と同長なるか、或は少しく長し。苞は線形をなし、萼は鐘形にして5箇に深裂し、各裂片は鞭形を呈す。花冠は漏斗狀をなし5中裂し、各裂片は楔形にして長さ4粍(1·3分)許なり。果實は蒴にして卵形を呈し、5室を有す。〔花色〕白色にして喉部黃色なり。〔花候〕7-8月。〔分布〕本州北部。

（附記）本植物はナンキンコザクラに似たれども更に矮小なり。花亦小形にして、長さ1糎(3分)に過ぎず。

8. ヒメボッス屬 SAMOLUS.

2058. **ひめぼっす**（29圖版-285）····· サクラサウ科
Samolus Valerandi. *L.* var. typicus, *Knuth.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、高さ1·5-30糎(0·5-1尺)に達し、全株無毛にして、莖は直生し、通常單一なり。葉は翼片ある葉柄を有し、葉身は卵形或は長橢圓狀卵形を呈し、鋭頭、狹脚、全緣なり。夏日梢上に總狀花序をなして多くの花を綴る。苞は絲狀披針形を呈し、萼は鐘狀球形をなし、各裂片は廣卵形鋭頭なり。花冠は鐘形にして5裂し、各裂片は闊倒卵形凹頭なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部。

2059. **はひはまぼっす** ····· サクラサウ科
Samolus Valerandi, *L.* var. floribundus, *Knuth.*

（異名）やちはこべ　〔形態〕前種の變種にして多く平地に自生す。莖は分岐多く撒開性なり。總狀花序は圓錐狀様を呈し、苞は剛毛狀をなし、花は小形にして、母種ヒメボッスの半に過ぎず。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

142 はひはまぼっす

143 いはかがみだまし

9. イハカガミダマシ屬 SOLDANELLA.

2060. **いはかがみだまし** ····· サクラサウ科
Soldanella alpina, *L.*

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして、葉は葉柄を有し、葉身は圓腎形を呈し全緣なり。春季に至り旣葉間より長さ15糎(5寸)内外の花莖を抽出し、其の頂端に2-4花を着生し、小梗は有毛なり。花冠は先端5裂し、各裂片は更に細裂しイハカガミの花に似たり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕春。〔原産地〕歐羅巴。

10. ホザキザクラ屬 STIMPSONIA.

2061. **ほざきざくら** ····· サクラサウ科
Stimpsonia chamaedryoides, *Wright.*

（異名）ほざきのこけざくら・なぜざくら　〔形態〕亞熱帶地方に自生

PL. 29

276 トキハザクラ

277 ハルコザクラ

278 ヒメサクラサウ

279 いはざくら

280 こいはさくら

281 きそざくら

282 なんきんこざくら

283 みちのくこざ

384 ひなざくら

285 ひめぼつす

286 つまとりさう

287 こつまとりさう

する一年生草本にして、高さ6-10糎(2-3寸)に過ぎず、全株に軟毛を密布す。葉は短き葉柄を有し、葉身は回形にして鈍齒牙邊を有す。花は總狀花序をなして疎に着生し、萼の裂片は長楕圓形鋭頭をなし、花冠は盆形を呈し、各裂片は楔形凹頭なり。雄蕊は5箇にして閉在す。果實は蒴にして球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州大島・琉球・臺灣。

11. ツマトリサウ屬 TRIENTALIS.

2062. つまとりさう ····· サクラサウ科
Trientalis europaea, *L.* (29圖版-286)

〔形態〕高山に自生する多年生草本なり。莖は細く高さ15糎(5寸)内外に過ぎず。葉は披針形或は廣披針形をなし、先端は鋭又は鈍にして基脚鋭く4-5片宛莖上に輪生す。側脈は結絡して、緣取狀をなせるを以てツマトリサウの和名を得たり。花は長梗を有し1-4箇を腋出す。萼は7箇に深裂し、各裂片は線形をなす。花冠は輻狀にして、其の長さに倍し亦7裂し、各裂片は披針狀倒卵形鋭尖頭をなす。雄蕊は7箇にして花冠裂片の基脚に着生す。果實は蒴にして球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

2063. こつまとりさう (29圖版-287)····· サクラサウ科
Trientalis europaea, *L.* var. arctica, *Ledeb.*

〔形態〕前種の變種ツマトリサウに比し、莖の下部より葉を有す。上葉は倒卵狀楔形をなし、鈍頭にして4-5片宛輪生す。下葉は頂葉と同形にして、唯小なるのみ。對生又は互生す。花冠の裂片は廣し。〔分布〕樺太・千島。

2064. おほつまとりさう ····· サクラサウ科
Trientalis ramosa, *Koidz.*

〔形態〕裏地に自生する多年生草本なり。莖は強剛にして分枝し、高さ18糎(6寸)内外に達す。葉は枝條の先端に簇生し、長さ6糎(2寸)に達するものあり。花梗亦長くして3糎(1寸)に及ぶ。花冠裂片の先端は著しく尖る。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

* * * * *

2. やぶかうじ(紫金牛)科 MYRSINACEÆ.

本科の植物は灌木或は喬木にして、葉は互生し托葉なく、通常常緑にして分裂せず、腺質の細點多し。花序は繖形又は總狀等をなし頂生或は側生なり。花は兩性又は單性にして整齊をなす。萼は通常永存し、下位にして4-6裂をなす。花冠は合瓣にして筒狀をなせども短く、往々之を有せざるものあり。裂片は通常5箇にして左方に回旋す。雄蕊は花冠の裂片と同數にして之と對生し筒狀部に着生せるもの多し。葯は長楕圓形をなし先端尖りて縱裂するあり、或は頂部に細孔を有せるあり。雌蕊は5箇にして花柱は單一、柱頭は普通分裂せざれども稀に分岐せるもあり。子房は球形、卵形又は長楕圓形をなし通常上位なれども、稀に下位又は半位のものあり、1室にして基底胎座或は特立中央胎座を有し少數或は多數の胚子を藏む。果實は普通小形にして球形を呈し核果又は漿果をなし、1又は少數の有胚乳種子を含む。

144 やぶかうじ科の代表花

本科の植物を概ね熱帶又は暖帶の産にして、凡そ32屬、1000餘種あり。本邦には6屬30餘を産す。

本科所載植物名目次

アカダマノキ……2069 シナセンリヤウ……2079 ヒチノキ……2081
イヅセンリヤウ……2077 シマイヅセンリヤウ…2079 ホソバヤブカウジ……2070
ウバガネモチ……2077 シマタイミンタチバナ2082 マンリヤウ……2066
オホバマンリヤウ……2077 シレアクチ……2072 ミカドガシハ……2077
カウジ……2068 ソゲキ……2081 ミヤマシシアクチ……2072
カシハラン……2077 タイミンタチバナ……2081 ミヤマヤブカウジ……2071
カシラン……2017 タイリンセンリヤウ……2080 モクタチバナ……2073
カラタバネ……2079 タチバナ……2068 ヤブカウジ……2069
カラタチバナ……2068 ツルカウジ……2074 ヤブタチバナ……2069
クスクスカウジ……2067 ツルマンリヤウ……2065 ヤマタチバナ……2069
サンセウモドキ……2076 ナガバイヅセンリヤウ2078 リウキウツルカウジ…2075

1. ツルマンリャウ屬 ANAMTIA.

2065. つるまんりゃう ····· ヤブカウジ科
Anamtia stolonifera, *Koidz.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1-3米(0·3-1丈)に達し、匍枝又は吸枝を出す。葉は長楕圓形或は卵形をなし兩端稍尖り、長さ4·5-7·5糎(1·5-2·5寸)許にして全緣なれども、往々先端刺狀をなせる鋸齒を有するものあり。花は5-7箇を短枝端に着生し、繖形花序をなす。萼は肉質にして5裂し、各裂片は卵狀長楕圓形を呈す。花冠は5深裂し、各裂片は線狀篦形をなし萼と共に腺點を有す。雄蕊は5箇にして其の長さ花冠の約 ½ に達す。果實は核果にして球形をなし、徑約6粍(2分)許、熟して紅色となる。〔分布〕本州中部。

2. マンリャウ屬 ARDISIA.

2066. まんりゃう 硃砂根·水箆珠 ····· ヤブカウジ科
Ardisia crispa, *A. DC.* (30圖版-288)

〔形態〕山中の藍地を好み自生する小灌木にして、全株無毛種に屬し、莖は多く分岐す。葉は葉柄を有し、葉身は紙質にして披針形又は長楕圓狀披針形をなし、長さ約9糎(3寸)許にして先端特に尖り、邊緣は波狀鋸齒を呈し、鋸齒の凹みに腺體を有す。葉脈は顯著ならず。花は有葉の枝端に繖形又は複繖形花序をなして多數の兩全花を下垂す。萼は小にして萼は5裂し、各裂片は長卵形をなす。花冠亦5裂し輻狀をなし、各裂片は卵形にして先端尖り黒點を有す。雄蕊は無柄なるを以て花冠より遙かに短し。果實は球形又は扁球形をなし、熟して朱紅色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣·朝鮮。

人生との關係 觀賞用として庭園に栽培し又は鉢植として愛玩せらる。春季實を啄き繁殖せしむるを普通とすれども、又入梅中挿木するも可なり。植替は春季若しくは入梅中に行ふをよしとす。園藝上の變種多し。

2067. おほばまんりやう ····· ヤブカウジ科
Ardisia crispa, *A. DC.* var. Taquetii, *Lev. et Vnt.*

(異名) おほまんりやう·くすくすかうじ 〔形態〕前種の1變種に屬し、莖は高さ2米(6尺)許に達し、葉は大形にして邊緣波狀鋸齒亦粗大なり

〔分布〕本洲中部及南部·臺灣·朝鮮。

人生との關係 觀賞用として庭園に栽培し愛玩せらる。

2068. からたちばな 百兩金 ····· ヤブカウジ科
Ardisia hortorum, *Maxim.* (30圖版-289)

(異名) かうじ·たちばな 〔形態〕溫暖なる地方の山地に自生する灌木にして、高さ1·3米(4尺)に達するとのあれども、通常30糎(1尺)位なり、莖は單一にして花序に至り始めて5岐す。葉は葉柄を有し、葉身は披針形又は狹披針形をなし、邊緣には腺點を有す。花枝には葉を有せるあり、或は有せざるもあり。夏日枝の先端に繖房花序をなして多數の花を垂下す。萼花冠共に5裂す。果實は徑8粍(2·5分)許にして、朱紅色に熟す。

〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·臺灣。

人生との關係 庭園又は鉢植として愛玩す。

2069. やぶかうじ 籔柑子·紫金牛·金牛草 ····ヤブカウジ科
Ardisia japonica, *Blume.* (30圖版-290)

(異名) やまたちばな·やぶたちばな·あかだまのき 〔形態〕山野の藍地に自生する常緑の小灌木にして、大なるものも高さ30糎(1尺)に過ぎず。地下部の莖は長く地中を匍ひ、其の先端より地上莖を生ず。全株に細腺毛を布く。葉は葉柄を有し、葉身は紙質にして楕圓形を呈し兩端尖り、長さ3-6糎(1-2寸)許にして、邊緣には細き鋭鋸齒を有す。花は兩全花にして葉腋より生じ、1箇又は數箇叢出して、繖形又は複繖形花序をなして下垂す。花梗及小花梗には小なる腺毛を密布す。小苞は極めて小さく、萼は5裂し、各裂片は卵形をなし、先端尖り無毛なり。花冠は5裂して輻狀をなし、各裂片は稍卵形を呈し鋭頭にして腺點を有す。雄蕊は5箇を有し花冠より短し。果實は漿果にして球形を呈し、熟して紅色となる。〔花色〕帶白色。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·臺灣。

人生との關係 俗にアカダマノキとも稱し盆栽として流行を極めしことあり。庭園には捨石等の傍に栽植し綠葉、紅顆を賞す。繁殖は、實生又は挿木等によること前種マンリヤウに同じ。葉に各種の斑を表はせる園藝變種多し。

2070. **ほそばやぶかうじ** ……… ヤブカウジ科
Ardisia japonica, *Blume.* var. angusta, *Nakai.*
〔形態〕前種の1變種に屬し、全株矮小にして、葉の狹細なるものなり。〔分布〕九州屋久島。

2071. **おほつるかうじ** ……… ヤブカウジ科
Ardisia japonica, *Blume.* var. montana, *Sieb.*
(異名) おほつるかうじ 〔形態〕ヤブカウジの變種にして、原野に自生する小灌木なり。地下莖は長く地中を匍ひ、地上莖には褐色毛茸を密生す。葉は輪生又は對生をなし、葉柄亦密毛を有す。葉身は橢圓形或は卵狀橢圓形を呈し、邊緣の鋸齒ヤブカウジより粗大なり。花序は總狀をなし、節間の苞より腋生してヤブカウジに似たれども、彼より長く且つ小花梗には毛を生ぜず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部・八丈島。

2072. **ししあくち** ……… ヤブカウジ科
Ardisia quinquegona, *Blume.* (30圖版-291)
(異名) みやましししあくち 〔形態〕亞熱帶地方の山野に自生する灌木にして、枝は細く先端には短き褐毛を生ず。葉は葉柄を有し、長さ約10糎(3寸)許なり。葉身は紙質にして披針形をなし兩端尖り、下面に小なる星狀鱗片を有す。花は葉腋より生じたる花梗に着き、繖形又は圓錐花序をなせども、其の數極めて少し。小花梗は長さ6粍(2分)許、花梗と共に無毛なり。萼は5裂し、各裂片は卵狀三角形を呈し、先端尖りて鱗毛緣を有す。花冠亦5裂し、各裂片は橢圓形にして始めは左旋せり。雄蕊は花冠よりも稍短く、花絲は極めて短し。果實は漿果にして扁圓五角形をなし紅熟す、徑6粍(2分)許なり。〔分布〕九州屋久島・琉球・臺灣。

2073. **もくたちばな** 樹杞 ……ヤブカウジ科
Ardisia Sieboldi, *Miq.* (30圖版-292)
〔形態〕亞熱帶地方の山地に自生する小喬木にして、高さ6米(2丈)許なれども、大なるは10米(3·3丈)に達するものあり。分岐多く根部より盛に新株を生じ叢生す。葉は長さ12糎(4寸)許にして葉柄を有す。葉身は長橢圓形をなし兩端尖り、下面に褐色の細鱗を布く、全緣なり。花は葉腋より生ぜる長き花梗上に着生し、繖房又は繖形花序をなす。萼は5裂し、各裂片は卵形をなす。花冠亦5裂し、各裂片は略三角形をなし先端尖る。雄蕊は5箇にして花冠より稍短く、花絲を有す。果實は漿果にして始め綠色なれども、やがて紅色に變じ終に黑變して熟す、徑7-10粍(2·5-3分)許なり。
〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕九州・小笠原島・琉球・臺灣。

2074. **つるかうじ** 雪下紅・珊瑚樹 ……ヤブカウジ科
Ardisia villosa, *Mez.* (30圖版-293)
〔形態〕暖地の山野に自生する小灌木にして、莖は長く地上を曳き、枝の先端のみ斜上し、全株に赤褐色の絨毛を密布す。葉は2-5葉宛輪生し、密毛を生ぜる葉柄を具へ、葉身は膜質にして橢圓形又は倒卵狀橢圓形をなし、短銳頭稍圓脚、邊緣に粗鋸齒を有し、兩面に毛茸あり。花は長梗を有し、長さ3粍(1分)許にして、1-3箇を着けたる繖形花序を腋出し、花梗に褐色毛を密布せり。萼は5裂し、各裂片は瞼形をなし有毛なり。花冠は5裂し、各裂片は卵形を呈し先端尖る、葯は殆ど無柄なり。果實は漿果にして、徑約5粍(1·5分)許、熟して紅朱色を呈す。〔花色〕帶白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・朝鮮南部。

2075. **りうきうつるかうじ** ……ヤブカウジ科
Ardisia villosa, *Mez.* var. liukiuensis, (*Nakai.*)
〔形態〕本邦亞熱帶地方に自生する植物にして、前種の1變種に屬す。葉は卵形或は橢圓形をなし、先端は尖れるあり或は圓形をなせるあり。基脚は稍心臟形をなし、邊緣に波狀の鋸齒を有せり。〔分布〕琉球・臺灣。

3. サンセウモドキ屬 EMBELIA.

2076. **さんせうもどき** ……ヤブカウジ科
Embelia lenticellata, *Hayata.*
〔形態〕亞熱帶地方に自生せる植物にして蔓狀をなす。莖には短毛を有し、氣孔體を密布せり。葉は葉柄を有し、葉身は稍革質にして長さ約1糎(3寸)許を有し、長橢圓形又は長橢圓狀披針形をなし先端尖れるあり、或は然らざるあり。基脚は通常圓形をなし、邊緣には細かき鈍鋸齒を有す。花は總狀花序をなし、花梗は有毛なり。單性花にして雄花の萼裂片は長橢圓形を呈し、花冠は長さ3粍(1分)許にして其の裂片は長橢圓狀披針形をなす。果實は球形を呈し、徑3粍(1分)許なり。〔分布〕臺灣。

4. イヅセンリャウ屬 MAESA.

2077. **いづせんりゃう** 牡菓山 ……ヤブカウジ科
Maesa japonica, *Mor.* et *Zoll.* (30圖版-295)
(異名) うばがねもち・かしはらん・かしらん・みかどがしは
〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして、高さ1米(3·3尺)を超ゆるものあり。全株無毛種に屬し、通常叢生す。葉は葉柄を具へ、葉身は長さ10糎(3·3寸)許にして、長橢圓形又は廣披針形をなし兩端尖り、邊緣に粗鋸齒を有するあり又は全緣なるものあり。花は單性にして、長さ約3粍(1分)許、短き總狀花序をなして腋出せり。苞は小形にして長卵形又は廣披針形をなし、小苞は廣卵形を呈し萼の直下に位す。萼は5裂し、各裂片は稍離生す。花冠は狹筒狀又は筒狀をなして5裂し、各裂片は短く圓形を呈す。雄蕊は5箇を有し花筒に着生す。果實は漿果にして球形をなし、熟して白色となる。徑4-6粍(1·5-2分)許なり。〔花色〕帶黃白色。〔花候〕2-5月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

2078. **ながばいづせんりゃう** ……ヤブカウジ科
Maesa japonica, *Mor.* elongata, *Mez.*
〔形態〕前種の1變種に屬し、葉は長くして披針形を呈せるものなり。〔分布〕九州。

2079. **しまいづせんりゃう** ……ヤブカウジ科
Maesa sinensis, *A. DC.*
(異名) しませんりやう・からうばがね 〔形態〕多く亞熱帶地方の闊葉樹林に自生する灌木にして、全株稍無毛なり。葉は葉柄を具へ、葉身は膜質にして、長さ約12糎(4寸)許、橢圓形を呈し、先端銳く基脚圓形をなし、邊緣には粗鋸齒を有す。花は長さ2粍(7厘)許の小花にして、複總狀花序をなして腋出せり。萼は5裂し、各裂片卵形をなし、花冠は5中裂し、各裂片は稍腎臟狀をなす。〔花色〕綠黃色。〔花候〕春。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

2080. **たいわんせんりゃう** ……ヤブカウジ科
Maesa formosana, *Mez.*
〔形態〕亞熱帶地方に自生する灌木にして、全株無毛種に屬す。葉は葉柄を有し、葉身は長さ約7糎(2·3寸)許、膜質にして橢圓狀披針形をなし、兩端尖れども、稀に基脚圓形をなせるものあり。花は小にして長さ約1·5粍(5厘)に過ぎず。萼は5裂し、各裂片は廣卵形をなし、花冠は5中裂し、各裂片は細かき鈍鋸齒を有せり。〔分布〕琉球・臺灣。

5. タイミンタチバナ屬 RAPANEA.

2081. **たいみんたちばな** ……ヤブカウジ科
Rapanea neriifolia, *Mez.* (30圖版-296)
(異名) そげき・ひちのき 〔形態〕山地殊に闊葉樹林中に自生する灌木にして、莖は分岐多く雌雄異株なり。葉は葉柄を具へ、葉身は革質にして披針形をなし、長さ約9-15糎(3-5寸)許、兩端尖れども最先端は鈍なり。花は長さ約3粍(1分)許の花梗を有し3-7箇を葉腋に叢生す。萼は5裂し各裂片は略三角形を呈し永存性なり。花冠亦5裂し、各裂片は稍披針形をなし、其の邊緣には微突起を具へ、徑約3粍(1分)許、腺點を有す。雄蕊は5箇にして無柄、花冠に着生す。果實は漿果にして球形をなし、熟して紫黑色を呈す。徑3-6粍(1-2分)許なり。〔花色〕白色。〔花候〕4月。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

2082. **しまたいみんたちばな** ……ヤブカウジ科
Rapanea Maximowiczii, *Koidz.*
〔形態〕亞熱帶地方に自生する喬木なり。葉は有柄にして、葉身は革質をなし、倒披針形又は倒卵形を呈し、先端圓形、基脚狹し。長さ5-11糎(1·5-3·5寸)に過ぎず。花は小にして長さ3粍(1分)許、繖形花序をなして枝端に着生す。萼は4-5深裂し、各裂片は卵形、銳頭なり。花冠亦4-5深裂し、各裂片は長橢圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕小笠原島。

* * * * *

PL. 30.

シャクナゲ群

1. しゃくなげ(石南)科　ERICACEÆ.

本科の植物は灌木・半灌木・多年生草本又は稀に小木木にして.葉は互生・對生又は輪生し.單葉にして草又は枝に着生し.托葉を有せず。花は概ね雌雄兩全をなし.整齊にして輻狀相稱をなすか.稍整齊にして僅に左右相稱をなし.薬腋上に單生或は擴族して頂生又は腋生の總狀花序又は圓錐花序をなし.又往々花軸の一側にのみ着生することあり。萼は下位にして子房より分離し.淺裂又は深裂して4箇又は5箇の裂片となり.宿存性にして往々肥大するものあり。花冠は卵球形・鐘形又は漏斗形をなし.整齊又は稀に稍不整齊にして上下2唇をなすことあり。雄蕊は花冠の裂片又は花瓣と同數又は其倍數にして.花冠と相分離するか.或は基部に於て僅に相合着す。花絲は概ね相分離し.葯は花絲の基部又は背部に附着して2胞をなし.葯隔は往々上部に延長して筒狀をなし.內向にして頂端に小孔又は裂目を生じ.裂開又は縱裂す。又この葯隔には往々一對をなせる刺毛狀の附屬物.又は芒狀の突起を生ずるものあり。花粉は4箇合同して各々1箇の小塊をなす。花盤は分裂するものと.全く之を有せざるものとあり。子房は2-5室.稀に2-3室にして頂生をなし.長きもの又は短きものあり。柱頭は頭狀又は楯狀をなす。卵子は多數ありて倒生又は斜狀の半倒生をなし.中軸胎座に附着す。果實は蒴果・核果又は漿果をなし.種子は概ね微細にして每室に多數を有するもの.或は單に1箇を有するものあり。內に肉質の胚乳と.圓柱形にして往々短なる胚を有す。子葉は短く.幼根は圓長なり。

145 しゃくなげ科の代表花

本科には世界に於ける既知のもの實に70屬1500餘種を算す程なりと。而して本邦に產するものは.外來種自生種を合し約30屬200餘種を算するならんとのことなり。

本科所載植物名目次

アブヂクウスノキ……2213
アブツリガネツツジ…2121
アブノツガザクラ……2128
アカギツツジ……2187
アカツツジ……2170
アカノキキヤウツツジ2187
アカミノクマコケモモ2085
アカモノ……2095
アカヤシホ……2187
アクシバ……2102
アケボノツツジ……2186
アセビ……2131
アセボ……2131
アブラツツジ……2118
アブリカエリカ……2098
イソツツジ……2102
イチバンツツジ……2103
イヌツツジ……2180
イハツバキ……2107
イハナガヒゲ……2092
イハナシ……2097
イハナシ……2201
イハナンテン……2107
イハハゼ……2095
イハヒゲ……2091
イハモモ……2201
イロハホツツジ……2108
ウスギレヤクナゲ……2141
ウスノキ……2211
ウスバネヂキ……2216
ウマクハズ……2131
ウマツツジ……2188
ウラシマツツジ……2088
ウラジロハナヒリノキ2110
ウラジロヤウラク……2123
ウラジロレンゲツツジ2102
ウンゼンツツジ……2177
エゾイソツツジ……2106
エゾシヤクナゲ……2103
エゾシヤクナゲ……2142
エゾツツジ……2106
エゾムラサキツツジ…2184
エゾムラサキツツジ…2185
エンシュウシヤクナゲ2144
オニツツジ……2184
オホキリシマ……2183
オホコメツツジ……2181
オホサカヅキ……2105
オホシヤクナゲ……2140
オホツガザクラ……2128
オホツガマツ……2128
オホツツジ……2156
オホバスノキ……2205
オホリウキウ……2150
オヤマリンゴ……2201
カクミケウスノキ……2212
カシフシミ……2215
カシフスミノキ……2215
カラフトヒメシヤクナゲ……2086
カラムラサキツツジ…2153
キキヤウツツジ……2183
キツツジ……2100
キバナシヤクナゲ……2143
ギョリウモドキ……2090
キリシマ……2160
テウセンヤマツツジ…2183
ドウダンツツジ……2006
トキハツツジ……2185
トサノミツバツツジ…2103
ナガバシシヤシヤンボ…2204
ナガバツガザクラ……2130
ナツハゼ……2202
ナンキンムラサキ……2152
ニツクリウシヤクナゲ2083
ニクケイサウ……2103
ネヂキ……2215
ハコネコフメツツジ…2200
ハナヒリノキ……2108
ハマザクラ……2087
ハリガネカヅラ……2004
バイクリツツジ……2151
ハクサンガヤ……2138
ハクサンシヤクナゲ…2143
ハツキリシマ……2164
ハマナシ……2201
ヒカゲツツジ……2147
ヒメアセビ……2132
ヒメイソツツジ……2105
ヒメウスノキ……2213
ヒメシヤクナゲ……2083
ヒメツルコケモモ……2126
ヒロハハナヒリノキ…2109
ヒロハヒメシヤクナゲ2084
フイリシヤクナゲ……2136
フクリンツツジ……2112
フクリンアセビ……2133
フチベニシヤクナゲ…2137
ベニサラサドウダン…2117
ベニシヤクナゲ……2142
ベニドウダン……2115
ホソバイソツツジ……2104
ホソバシヤクナゲ……2144
ホソバヤマツツジ……2172
ボタンツツジ……2182
ホツツジ……2197
ホナガアセビ……2134
ホロムイツツジ……2093
ホンキリシマ……2163
ホンシヤクナゲ……2138
マツノキハダ……2188
マツノキハダ……2197
ミツバツツジ……2193
ミネズハウ……2111
ミヤマキリシマ……2159
ミヤマホツツジ……2199
ミヤマクロウスゴ……2206
ミヤマツツジ……2181
ミヤマツツジ……2184
ムラサキキリシマ……2167
ムラサキツリガネツツジ……2124
ムラサキミノ……2161
ムラサキヤシホツツジ2184
ムラサキヤマツツジ…2174
メシツブツキ……2215
メシヤクナゲ……2147
モチツツジ……2176
ヤウラクツツジ……2112
ヤウラクツツジ……2120
ヤチツツジ……2093
ヤヘキバナシヤクナゲ2146
ヤヘゲラ……2162
ヤヘヤマモイシクワ…2148
ヤヘヤマツツジ……2173
ヤマツツジ……2170
ヤマトシヤクナゲ……2139
ヤマツラ……2107
ヨドガハツツジ……2182
ヨナバ……2131
リウキウレボリ……2151
リウキウツツジ……2149
リウキウムラサキ……2152
レンゲツツジ……2183
レンゲボタン……2191

1. ヒメシャクナゲ屬　ANDROMEDA.

2083. ひめしゃくなげ　姬石南（31圖版-297）　シャクナゲ科
Andromeda polifolia, *L.* var. grandiflora, *Lodd.*

（異名）につくわうしやくなげ　〔形態〕高山の沼澤地を好んで自生する常綠小灌木にして.莖は地上を匍匐し.地上莖は單一又は分岐す。葉は全緣にして.線狀長楕圓形を呈し.兩端尖り.邊緣外卷し.裏面は白色を呈す。花は繖房花序をなして頂生す。苞は卵形にして宿存性なり。蒴は5裂し.各裂片は鋭頭をなす。花冠は壺形にして5淺裂し.雄蕊は10箇にして閉在し.葯は先端に2突起を有す。果實は蒴にして球形を呈し.徑3-4糎（1分）餘5室を有す。〔花色〕淡紅色或は白色。〔花候〕5月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北中部。

2084. ひろはひめしゃくなげ …… シャクナゲ科
Andromeda polifolia, *L.* var. latifolia, *Ait.*

〔形態〕前種に酷似すれども葉の長楕圓形なるものなり。〔分布〕本州北部。

2085. しろばなひめしゃくなげ …… シャクナゲ科
Andromeda polifolia, *L.* var. leucantha, *Takeda.*

〔形態〕ヒメシャクナゲの一種にして白色花のものなり。〔分布〕本州中部。

2086. からふとひめしゃくなげ …… シャクナゲ科
Andromeda polifolia, *L.* var. minima, *G. Don.*

〔形態〕矮小なる植物にして莖は9糎（3寸）許。花亦小形にして.葉は卵形を呈す。〔分布〕樺太・千島。

2. ハマザクラ屬　ARCTERICA.

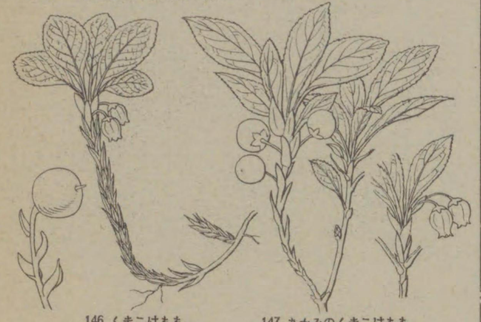
2087. はまざくら…… シャクナゲ科
Arcterica nana, *Makino.*（31圖版-298）

（異名）こめつがざくら　〔形態〕高山に自生する小灌木にして.高さ15糎（5寸）許に達し分岐多し。葉は橢圓形にして革質を呈し.對生或は3出し.全緣にして反捲し.先端僅に尖り.長さ約10糎（3-3寸）許りなり。總狀花序は枝の先端に繖形をなして着生し.苞並に小苞を有す。花は對生し.萼は5深裂し.花冠は壺形を呈し5箇の齒緣をなす。雄蕊は10箇にして葯の背面には2箇の突起を有す。果實は蒴にして球形を呈し.5室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州北中部。

3. クマコケモモ屬 ARCTOUS.

2088. **くまこけもも**…… シャクナゲ科
Arctous japonicus, *Nakai.*

（異名）うらしまつつじ 〔形態〕高山に自生する高さ3-6糎(1-2寸)の小灌木にして地下莖は長く地を匍匐し,分岐多く,地上莖は葉脚にて被はる。葉は倒卵形,又は圓卵形或は廣倒卵形にして上面顆る皺質なり。花は2-7箇宛の總狀花序をなす。花冠は壺狀にして帶綠淡黃色を呈し內面に毛多し。雄蕊は10箇にして花絲の基脚に毛を有し,葯には長き突起2箇を生ず。果實は蒴果にして熟して黑色となる。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。
〔分布〕千島·北海道·本州北中部。



146 くまこけもも　147 あかみのくまこけもも

2089. **あかみのくまこけもも**…… シャクナゲ科
Arctous ruber, *Nakai.*

〔形態〕高山に自生する伏臥性の小灌木にして,地上部の莖は分岐し,先端は葉の基部にて包まる。葉は倒披針形,或は倒卵形にして鈍頭·狹脚·緣邊に細鈍鋸齒を有し,上面皺質なり。花は總狀花序をなして2-3箇の花を着生し。苞は廣披針形なり。萼は小形にして先端5裂し,花冠は壺狀をなし長さ6糎(2寸)許にして先端淺く5裂し,各裂片反捲せり。雄蕊は10箇,花絲は全長に毛を有す。葯は後方に2箇の小突起を生ず。果實は漿果にして紅熟す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。
人生との關係 果實は甘酸味を帶び生食し得。

4. ギョリウモドキ屬 CALLUNA.

2090. **ギョリウモドキ**…… シャクナゲ科
Calluna vulgaris, Salisb. (31圖版-299)

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ灌木にして,高さ30-100糎(1-3尺)に達す。葉は4行脉を有し瓦列し,長橢圓狀線形を呈し,長さ2粍(6-7厘)許。鈍頭·箭脚にして一見ギョリウの如き觀あり。花は穗狀樣總狀花序をなす。萼片は4箇,花冠は鐘形を呈し先端4裂し,雄蕊8箇を有す。果實は蒴にして4室をなす。〔花色〕淡紅色又は白色。〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。

5. イハヒゲ屬 CASSIOPE.

2091. **いはひげ**…… シャクナゲ科
Cassiope lycopodioides, *D. Don.* (31圖版-300)

〔形態〕高山に自生する極めて小形なる匍匐性灌木にして,枝條は鈍線狀を呈し延長簇生す。葉は鱗片狀にして4行,瓦列し葉脈を有せず,長さ1-2粍(3-6厘)にして卵形を呈す。苞は小にして花梗の基部にあり。花梗は長さ1-3糎(3-10分)許りにして莖の側方より出で,絲狀にして單立或は2.3叢生す。萼片は卵形にして5箇を有し,花冠は鐘形を呈し,先端5裂す。雄蕊は10箇,葯は先端に開孔し,背部に2本の微毛を生ぜる細長き距を有す。花柱は細く短くして永存性なり。果實は蒴にして球形を呈し5室を有す。
〔花色〕微紅白色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北中部。

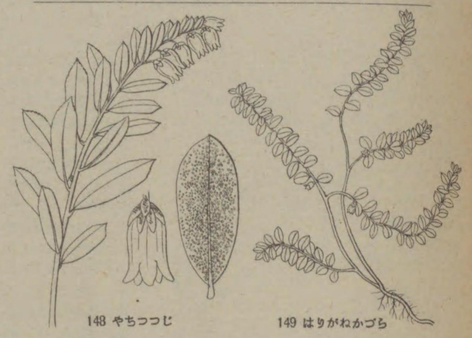
2092. **いはながひげ**…(31圖版-301)…… シャクナゲ科
Cassiope lycopodioides, *D. Don.* var. laxa *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして莖は分岐少く,葉は疎に生じ,長さ3粍(1分)許なるものなり。〔分布〕本州中部。

6. ヤチツツジ屬 CHAMAEDAPHNE.

2093. **やちつつじ**…… シャクナゲ科
Chamaedaphne calyculata, *Moench.*

（異名）ほろむいつつじ 〔形態〕卑濕地に自生する常綠灌木にして,高さ30-130糎(1-4尺)に達し分岐多し。葉は革質にして長橢圓形を呈し,先端は微凸頭をなし,全緣或は細鋸齒緣を有し,兩面に鱗毛を密布す。花は總狀花序をなして頂生し,苞は葉狀,小苞は卵形を呈し,萼の長さの½に達す。萼片は5箇にして披針形を呈し,花冠は卵狀長橢圓形にして5箇の齒緣を有す。雄蕊は10箇にして閉在す。果實は蒴にして扁球形をなし5室を有す。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道。



148 やちつつじ　149 はりがねかづら

7. ハリガネカヅラ屬 CHIOGENES.

2094. **はりがねかづら**…… シャクナゲ科
Chiogenes japonica, *A. Gray.*

〔形態〕高山の樹陰に自生する匍匐性小灌木にして,枝條には剛毛散生し分岐多し。葉は革質にして短き葉柄を具へ,倒卵形又は廣倒卵形を呈し,鋭頭或は鈍頭にして半以上に波狀の鋸齒を有し,表面は綠色無毛なれども,裏面は淡白色を呈し剛毛を散生す。花は腋出にして單立す。萼は4裂し,各裂片卵形を呈す。花冠は廣鐘形を呈し,長さ2糎(6分)許りにして先端4裂し,各裂片は外反す。開花後一兩日にて落つ。雄蕊は8箇にして閉在す。果實は多肉白色の宿存萼に包まれたる蒴にして蒴果狀を呈し,長卵形をなす。
〔花色〕白色。〔花候〕7-8月〔分布〕本州北部中部。
人生との關係 果實は生食し得。

8. アカモノ屬 DIPLYCOSIA.

2095. **あかもの**…… シャクナゲ科
Diplycosia adenothrix, *Nakai.* (31圖版-302)

（異名）いははぜ 〔形態〕山地に自生する小灌木にして地下莖は長く地中を匐ひ,地上莖は高さ10-30糎(3-10寸)許りにして分岐し,幼條には褐色の長き粗毛を生ず。葉は革質にして,圓形又は廣卵形を呈し,先端鋭く,緣邊に細鋸齒を有す。鋸齒の先は最初細き毛を有すれども後脫落す。花は腋出にして單立,花梗には卵形の小苞數片あり。萼は紅褐色を呈し,先端5裂し,花梗と共に腺毛を有す。花冠は鐘狀にして5箇の齒緣を有し,雄蕊は10箇,葯に突起なし。果實は肉質紅色の宿存萼に圍まれ褐色の粗毛を有す。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州各部。
人生との關係 果實は生食し得。美味なり。

9. ドウダンツツジ屬 ENKYANTHUS.

2096. **どうだんつつじ**…… シャクナゲ科
Enkyanthus perulatus, *Schneid.* (31圖版-303)

〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして,高さ6米(20尺)に達し,樹膚は紅褐色を帶び平滑にして分岐多し。葉は有柄にして倒卵形を呈し,先端急に尖り,基脚は長き楔形をなし,細鋸齒を有し長さ2.5-4.5糎(8-15分),表面の中肋には粗毛を生じ,裏面の基脚には絨毛を生ず。花は前年の枝條の頂にある混芽より生じ,其の中央に位し,殆ど輪形をなせる雛房花序をなし,長さ3糎(1寸)許りの花梗を垂下す。萼片は5箇にして小なり。花冠は壺狀にして長さ8粍(2.5分)許り,邊緣5裂し各裂片は反捲し,基部に萼片と交互に襞狀部あり。雄蕊は18箇にして花絲に毛を有す。葯は縱裂し,背

部には角狀の2突起を有す。果實は蒴にして5室を有し,長橢圓形をなし,長さ8粍(2.5分)許なり。〔花色〕黃白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部四國·九州。
人生との關係 庭園,生垣等に培養す。新綠,花等賞するに足れども,秋期紅葉の美觀に如くものなし。繁殖は一般石南科植物に見る插木によるを可とす。活着極めて容易なり。樹形を一定せんとするには開花後より7月半ば頃迄の間に刈込むを良とす。

10. イハナシ屬 EPIGAEA.

2097. **いはなし** 岩梨·岩菓子…… シャクナゲ科
Epigaea asiatica, *Maxim.* (31圖版-304)

（異名）いはつばき 〔形態〕山地に自生する匍匐性の常綠小灌木にして,地下莖は長く地を匍匐し,地上莖は夫より所々に生ず。幼條には褐色の長き粗毛あり。葉は有柄にして革質,長橢圓形又は橢圓形を呈し邊緣に毛を生ず。花は總狀花序をなして頂生し多數の花を密生す。苞は長卵形にして先端尖り褐色の粗毛を布く。萼片は5箇にして卵狀披針形を呈し,先端銳尖にして多少桃色を帶び,白色の覆輪を有す。花冠は先端5裂し,雄蕊は10箇にして閉在し,花絲に毛茸を有す。果實は扁球形の蒴にして稍5稜をなし,直徑1糎(3分)許。外面綠色を呈しナシ(梨)の如き斑點を有す。有毛にして胞柱より開裂す。胎座は多肉にして食用に供せらる。〔花色〕白色にして舷部鮮紅色を帶ぶ。〔花候〕春。〔分布〕北海道·本州北部及中部。
人生との關係 果實は皮を剝ぎ食すれば味酸甘にして美味なるのみならず,消化,解熱に效果多きものとす。丹波國の名產品に岩梨酒と稱するものあり。卽ち本果實より醸造したるものにして味甘く佳香を有す。

11. エリカ屬 ERICA.

2098. **アフリカエリカ**…… …… シャクナゲ科
Erica melanthera, L.

（異名）ジャノメエリカ·ハナスギ(花戶) 〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ灌木にして,高さ3米(1丈)位に達し,枝條を分岐すること多く,短き軟毛を密布す。葉は線形を呈し肥厚し,長さ5糎(1-7寸)許に達し,3出なれども叢生せるを以て概觀スギ(杉)の葉の如く,先端は鈍頭にして裏面に溝を有す。花梗は有毛にして簇生せる苞と略同長なり。萼は洋杯狀を呈して先端4裂し各裂片は倒卵形をなす。花冠も亦倒圓錐形にして長さ ⅓-½糎(1分內外)許なり。葯は歪める長橢圓形にして黑色を呈す。種名のmelantheraは此の黑蕊の意なり。〔花色〕淡紅色又は濃紅色。〔花候〕春。
〔原產地〕阿弗利加南部地方。
人生との關係 非常に花着きのよき植物にして全株花を以て覆はるゝことあり。繁殖は插木によるを可とす。寒氣に對して割合に强く少しく溫暖なる地方にては戶外にても越冬し得べし。

150 アフリカエリカ　151 シラユキエリカ

2099. **シラユキエリカ**…… シャクナゲ科
Erica subdivaricata, Berg.

〔形態〕最近我國にて栽培を見るに至りし觀賞植物にして,高さ60糎(2尺)內外の分岐多き灌木なり。葉は線狀にして先端部は細く絲狀をなし,長さ1糎(3分)內外にして輪生す。花は腋生にて總狀に着生す。花冠は鐘狀を呈し萼は4裂す。花型よく前種に似たり。〔花色〕白色。〔花候〕2-5月。
〔原產地〕亞弗利加南部。
人生との關係 栽培は前種同樣の方法にて可なり。

12. シラタマノキ屬 GAULTHERIA.

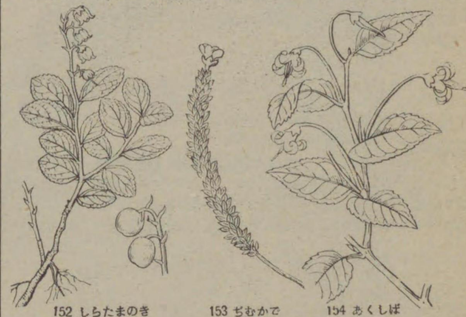
2100. **しらたまのき**…… シャクナゲ科
Gaultheria Miqueliana, *Takeda.*

（異名）しろもの 〔形態〕山地に自生する常綠の小灌木にして,地下莖は長く地をひき地上莖は12-30糎(4-10寸)に達す。葉は短柄を有し,革質にして橢圓形又は廣倒卵形を呈し,銳頭或は鈍頭にして,基部圓く,長さ1.5-3糎(0.5-1寸)許。邊緣には波狀の鋸齒を有し,表面は中肋上に微毛あり,且つ光澤ありて脈は凹入し,裏面は淡白く,太き腺毛を散在し,脈は隆起す。總狀花序は前年の枝の先端に腋生し1-6花を懸垂す。花梗は幼條と共に細毛を有す。小苞は花の直下に2箇あり,花冠は卵狀壺形にして,5箇の裂片は小形なり。萼は杯形にして5裂し,各裂片は3角形銳頭,背面に腺毛を有す。雄蕊は10箇,花絲は扁平にして葯より短く,葯の先端には4箇の著しき突起物あり。子房は5淺裂し。果實は蒴にして白色肉質の宿存萼に包まれ漿果樣となる。之を口にすれば石油臭あり。長さ約1糎(3分)許。〔花色〕白色。
〔花候〕7月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

13. ヂムカデ屬 HARRIMANELLA.

2101. **ちむかで**…… シャクナゲ科
Harrimanella Stelleriana, *Coville.*

〔形態〕高山に生ずる匍匐性の小灌木なり。莖は細く針金狀にして分岐多く,四方に擴がりて地上を匐ふ。葉は無柄にして一脈を有し,四行に散生し,長さ約3粍(1分)許にして長橢圓形をなす。花は枝の先端に1箇宛出で短き花梗を有す。萼片は5箇にして長橢圓形を呈し,淡紅色を帶び,果實



152 しらたまのき　153 ちむかで　154 あくしば

の成熟時には脫落す。花冠は廣き鐘形にして先端5裂す。各裂片には3脈あり。雄蕊10箇,葯は背部に長き角狀の突起2箇を有す。花柱は卵形にして永存す。果實は蒴にして球形を呈し紅色を帶ぶ。〔花色〕淡紅色。
〔花候〕8月。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

14. アクシバ屬 HUGERIA.

2102. **あくしば**…… シャクナゲ科
Hugeria japonica, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する小灌木にして,高さ30-60糎(1-2尺)に過ぎず。枝は綠色にして無毛なり。葉は短き葉柄を有し,卵形或は橢圓形にして銳頭又は鋭尖頭をなし,葉緣には細かき鋸齒を有す。花は長梗を有し葉腋上に單立,下垂す。萼は4裂し,各裂片は披針形,全緣にして先端尖る。花冠は短鐘形にして先端深く4裂し,各裂片は披針形を呈し外捲す。雄蕊は相揃ひて突出し,外捲せる花冠と共に奇觀を呈す。葯は紅色にして先端は黃色をなす。果實は漿果にして球形を呈し濃紅色なり。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·九州。
人生との關係 果實は酸味多きものなれども食用に供せらる。
（附記） 一種萼裂片の廣卵形或は卵狀三角形を呈せるあり。f. ovata, *Nakai.* といふ。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。
又一種萼裂片長く稍披針形をなし,腺狀の細鋸齒緣を有せるものあり。f. serrulata, *Nakai.* といふ。〔分布〕本州中部。
又一種幼條,葉柄,並に花梗に腺毛を有するものあり。var. ciliata, *Nakai.* といひ,ケアクシバと呼稱せらる。〔分布〕本州中部·濟州島·臺灣。
又一種花梗は無毛にして,雄蕊に鬚毛多きものあり。var. hasiostemon, *Sasaki.* といひ,ランダイアクシバと呼稱せらる。〔分布〕臺灣。

15. イソツツジ屬 LEDUM.

2103. **いそつつじ**‥(31圖版-305)…… シャクナゲ科
Ledum palustre, *L.* var. nipponicum, *Nakai.*

(異名) えぞしやくなげ・にくけいさう 〔形態〕山地に自生する常綠の灌木にして,高さ30-100糎(1-3尺)許に達し,小枝を分ち,幼條には赤褐色の軟毛を密布す。葉は披針形全緣にして長さ3-6糎(1-2寸),邊緣外捲し,表面には始め粒狀の腺あれども脫落し,綠色にして肋脈陷入す。裏面は中肋上に白色の微毛あれども稀に褐色毛を生ずるものあり。葉身面は白色毛を密布し,爲めに葉裏は純白色を呈す。 花は房狀にして多くの苞を有し白色なり。萼は細小にして5裂し,各裂片は卵形を呈す。花冠亦5裂し,各裂片は橢圓形なり。雄蕊は10個にして瓣片より長し。 果實は蒴にして長橢圓形を呈し,5室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

2104. **こばのいそつつじ** …… シャクナゲ科
Ledum palustre, *L.* var. minus, *Nakai.*

(異名) ほそばいそつつじ 〔形態〕前種に酷似すれども葉形の狹小なると葉裏に褐色毛のみを生ぜざるを異なりとす。〔分布〕樺太・朝鮮北部。

2105. **ひめいそつつじ**…… シャクナゲ科
Ledum palustre, *L.* var. procumbens, *Ait.*

〔形態〕イソツツジに酷似すれども全形矮小にして莖は横臥或は斜上し,葉は長さ2糎(6分),徑2粍(6厘)內外に過ぎず。〔分布〕北海道。

2106. **えぞいそつつじ**…… シャクナゲ科
Ledum palustre, *L.* var. yesoense, *Nakai.*

〔形態〕莖上の褐毛多く,葉の裏面は白毛の外に褐毛の生ずる種なり。〔分布〕北海道・本州北部。

16. イハナンテン屬 LEUCOTHOE.

2107. **いはなんてん**…… シャクナゲ科
Leucothoe Keiskei, *Miq.*

(異名) いはつばき 〔形態〕山地樹陰の溫地に生ずる常綠の小灌木にして,莖は平臥し,30-130糎(1-4尺)に達し分枝す。葉は有柄にして厚く光澤あり。葉柄は3-10糎(1-3寸)許。葉身は卵形或は廣披針形にして先端著しく尖り,基脚は鋭形又は圓形又は楔形をなし,疎鋸齒緣を有し,長さ6-8糎

155 いはなんてん

156 はなひりのき

(2-2.6寸)許あり。總狀花序は頂生或は腋出し,疎に白花を下垂し,苞,小苞は皆鱗形をなし,萼は5裂し,各裂片は卵形をなす。花冠は筒形にして長さ2糎(6分)許,5齒緣を有し,各齒片は鋭頭にして反捲す。雄蕊は10個にして花絲には毛多く,葯は無毛にして2室を有し,先端開口し,背部に4個の長き突起あり。果實は蒴にして扁球形をなし,5室を有し傾上す。種子は細長く兩端に小突起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

2108. **はなひりのき**…… シャクナゲ科
Leucothoe Grayana, *Maxim.* var. intermedia, *H. de Boiss.*

(異名) くさめのき 〔形態〕山野に自生する灌木にして,高さ60-200糎(2-6尺)に達し,分枝多し。葉は殆ど無柄にして薄く,橢圓形,廣卵形,或は長橢圓形等變化多し。この葉は邊緣に毛を有し,表面には微毛あるものとなきものとあり。花は總狀花序にして枝端に頂生し,苞,小苞は皆細長にして永存性なり。小苞は屢ば退化して腺毛となるか,或は消滅す。萼は5裂し,各裂片は卵狀披針形を呈し永存性なり。花冠は壺狀にして5裂し,各裂片は短く鈍齒狀を呈す。雄蕊は10個にして花絲に毛を有し,子房亦有毛なり。果實は蒴にして扁球形をなし,毛を生じ,種子は兩端に翼狀突起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部。

2109. **ひろはなひりのき** …… シャクナゲ科
Leucothoe Grayana, *Maxim.* var. glabra, *Komatsu.*

〔形態〕ハナヒリノキの一種なり。葉は廣濶にして,毛茸の少きものなり。〔分布〕本州北部及中部。

2110. **うらじろはなひりのき**…… シャクナゲ科
Leucothoe Grayana, *Maxim.* var. glaucina, *Koidz.*

〔形態〕葉稍小形にして裏面の淡白き種なり。〔分布〕本州北部及中部。

17. ミネズハウ屬 LOISELEURIA.

2111. **みねずはう**…… …… シャクナゲ科
Loiseleuria procumbens, *Desv.* (31圖版-306)

〔形態〕高山に自生する常綠平臥性の小灌木にして,地下部の莖は長く地中を匍ひ,地上部は多く分岐す。葉は對生にして橢圓形,或は披針形を呈し全緣にして邊緣反捲し,長さ6粍(2分)許を有し,裏面白色を呈す。花は細小にして徹形花序をなし,2-5花を頂生す。花梗は短く,苞は4個を有す。萼片は5個にして,長橢圓狀披針形をなす。花冠は稍鐘形にして先端5裂し,各裂片は鈍頭,雄蕊は5個にして閉在す。果實は蒴をなし廣橢圓形を呈し,長さ3粍(1分)許にして3室を有す。〔花色〕帶紅色又は白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

18. ベニドウダン屬 MEISTERIA.

2112. **さらさどうだん**…… …… シャクナゲ科
Meisteria campanulata, *Nakai.* (31圖版-307)

(異名) やうらくつつじ・ふうりんつつじ 〔形態〕山地に自生する灌木にして,高さ3米(1丈)餘に達す。葉は有柄にして倒卵形を呈し,細鋸齒を有し,長さ約4-5糎(1-5寸)許にして鈍頭をなし,裏面の脈間には赤褐色の絨毛を布く。花は今年の枝の先端に總狀花序をなして垂下し,花軸に褐色の毛茸を密生す。萼は5個に深裂し,各裂片は披針形にして先端尖り,花冠は廣き鐘形をなし,長さ約1糎(3-3分)許にして5淺裂し,各裂片の先端は圓形又は截形なり。花絲には短毛を有す。果實は蒴にして橢圓形を呈し傾上せり。〔花色〕綠白色にして紅紫色の線條あり。〔花候〕7月。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

2113. **しろばなふうりんつつじ**…… シャクナゲ科
Meisteria campanulata, *Nakai.* var. albiflora, *Nakai.*

(異名) しろふうりんつつじ 〔形態〕サラサドウダンの一變種にして花の白色なるものなり。〔分布〕本州中部。

2114. **こべにどうだん**…… シャクナゲ科
Meisteria cernua, *Sieb.* et *Zucc.* f. nipponica, *Nakai.*

〔形態〕概形ベニドウダンに似たれども枝條纖細にして,花及び果實共に小なる種なり。〔分布〕本州中部。

2115. **べにどうだん**‥(31圖版-308)…… シャクナゲ科
Meisteria cernua, *Sieb.* et *Zucc.* var. rubens *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして分岐多し。葉は枝の先端に集合し,倒卵形にして,先端絲狀に突起せる細鋸齒を有す。花は總狀花序をなして枝の先端より垂下し,花軸に褐色毛を有す。萼は5箇の裂片より成り,各裂片は廣披針形或は卵形にして先端著しく尖る。花冠は壺狀にして先端5裂し,各裂片は更に3裂せり。雄蕊には短き毛茸を密布す。果實は蒴にして無毛なり。〔花色〕赤色。〔花候〕4-5月。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

2116. **しろどうだん**…… シャクナゲ科
Meisteria cernua, *Sieb.* et *Zucc.* var. typica, *Nakai.*

〔形態〕ベニドウダンの白花品なり。概形ベニドウダンに酷似すれども只莖葉共に綠色なること,及花色に於て異なるのみ。〔分布〕北海道・本州九州。

2117. **べにさらさどうだん**…… シャクナゲ科
Meisteria rubicunda, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして,高さ2米(6尺)內外に達し,分岐多し。葉は倒卵形にして細鋸齒を有し,下面の主脈に沿ふて褐色毛を有す。花

288 まんりやう

289 からたちばな

290 やぶかうじ

291 ししあくち

292 もくたちばな

293 つるかうじ

294 ほそばやぶかうじ

295 いづせんりやう

296 たいみんたちばな

は今年の枝の先端より生じ．總狀花序に着生し下垂す。花冠は鐘形にして長さ6粍（2分）許．幅亦同長なり。花絲に長毛を有するは著しき特徴なり。花冠はサラサドウダンより濃色にして．果實は小形なり。〔花色〕濃紅色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部。

2118. **あぶらつつじ**…… シャクナゲ科
Meisteria subsessilis, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ2米（6尺）餘に達す。樹膚は暗褐色を呈し．水平に枝條を分岐せり。葉は短柄を有し6-8箇を枝端に叢生す。葉身は倒卵形にして兩端尖り．細鋸齒緣を有し．下面には褐色の毛茸を散生す。花は今年の枝の先端に生じたる總狀花序に着生し下垂す。花軸には白き微毛を有す。萼は5裂し．各裂片は綠色にして卵形を呈す。花冠は球狀壺形にして．長さ6粍（2分）許．5箇に淺裂す。雄蕊は10箇にして花絲には長毛を密生す。葯は背頂部に長き突起2箇を有す。果實は蒴にして廣橢圓形を呈し．下垂す。長さ約5粍（1-6分）。種子には網狀の紋あれども翼なし。〔花色〕白色。〔花候〕7月。〔分布〕本州各部。

2119. **こあぶらつつじ**…… シャクナゲ科
Meisteria nudipes, *Honda.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ1-3米（3-10尺）に達す。葉は短柄或は無柄にして5-8箇を枝端に簇生す。葉身は橢圓形或は卵形を呈し膜質にして先端は鈍頭又は圓頭．細鋸齒を有し．長さ15-30粍（5-10分）許．上面の中肋には細毛を生ず。花は4-8箇を總狀に着生し．小梗は無毛にして懸垂す。萼は5裂し．各裂片は卵形を呈し鈍頭にして先端に毛を有す。花冠は球狀壺形を呈し．長さ3-5粍（1-1·5分）．5箇の齒緣を有す。雄蕊は10箇にして閉在す。子房は球形．無毛なり。果實は蒴にして球形或は扁球形をなし懸垂す。〔花色〕白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

157 あぶらつつじ　　158 やうらくつつじ

19. ヤウラクツツジ屬 MENZIESIA.

2120. **やうらくつつじ** 嬰絡躑躅…… シャクナゲ科
Menziesia purpurea, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ2-5米（8尺）餘に達し．枝は輻生して無毛なり。葉は短き葉柄によりて枝の先端に集合し．長卵形又は廣橢圓形を呈し．先端少しく凹入せるあり．又鈍頭なるあり．上面には細毛を散生し．下面は中肋上に鱗片狀の毛を有す。花は纖形花狀をなせる房狀花序をなし．枝條の先端に着き多くの苞を有す。花梗には腺毛あり。萼は4箇の裂片をなし．各裂片は綠狀長橢圓形をなし．腺毛を生ず。花冠は鐘形にして4箇に淺裂し．內面に毛を有す。雄蕊8箇．花絲赤毛を有す。葯は廣長橢圓形にして約半分程縱裂せり。果實は蒴にして球形を呈し．4室を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕5月。〔分布〕本州中部及南部．九州。

2121. **こやうらくつつじ**…… シャクナゲ科
Menziesia pentandra, *Maxim.*

（異名）あをつりがねつつじ　〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ2米（6尺）許に達し．分岐多し。葉は短柄を有し．橢圓形或は長橢圓形にして．兩端尖り．上面並に邊緣には毛多く．下面中肋上にも粗毛を生ず。花は枝端に殆ど纖形花序をなし．花梗には腺毛を生ず。萼は齒緣をなし．各齒片は低小にして緣邊に毛を有す。花冠は稍革質にして不齊なる壺形をなし．先端5箇に淺裂す。雄蕊は5箇にして閉在し．花絲には毛なく．葯は腺形をなし先端縱裂せり。子房に腺毛あり。果實は球形を呈し5裂す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕5月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州。

159 つりがねつつじ　　160 うらじろやうらく

2122. **つりがねつつじ**…… シャクナゲ科
Menziesia ciliicalyx, *Maxim.* var. bicolor, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ1-2米（3-6尺）に達し．分岐多く．幼條に毛なし。葉は短柄を有し．長倒卵形又は橢圓形にして鈍頭·狹脚全緣なれども緣邊に微毛を有し．表裏兩面とも脈上に粗毛を散生す。花は枝條の先端に簇出し．花梗には腺毛を有す。萼は先端4裂し．各裂片は圓形或は線狀篦形を呈し．緣邊に腺毛を生ず。花冠は稍々革質にして壺狀筒形をなし．筒部は白色．裂部は紫色を呈し4裂す。雄蕊は8個にして閉在し．葯は線形なり。果實は蒴にして廣橢圓形を呈し4室を有す。〔花色〕紫白色。〔花候〕6月。〔分布〕北海道·本州中部。

2123. **うらじろやうらく**…… シャクナゲ科
Menziesia ciliicalyx, *Maxim.* var. multiflora, *Makino.*

〔形態〕纖形ツリガネツツジに酷似すれども．萼裂片は線狀篦形をなせること．並に10個の雄蕊を有せるを異なれりとす。〔分布〕北海道·本州·四國。

2124. **むらさきつりがねつつじ**…… シャクナゲ科
Menziesia lasiophylla, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして．高さ1米（3尺）許に達し．分岐多く幼條には腺毛を密布す。葉は倒卵形を呈し．上面には粗毛を散生し．下面には中肋上に剛毛數個あり。花は數個づつ纖形に出で．花梗には長き腺毛並に長き粗毛を密生す。萼は短形にして5裂し．各裂片は三角形或は卵形を呈し．緣邊に腺毛を有す。花冠は卵狀鐘形をなし內面に白毛を密生し先端5裂す。雄蕊は10箇花絲の中部は白毛を密生せり。子房．花柱共に毛なし。〔花色〕濃紫色或は淡紫色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

20. ツルコケモモ屬 OXYCOCCUS.

2125. **つるこけもも**…… シャクナゲ科
Oxycoccus vulgaris, *Hill.*

〔形態〕高山の卑濕地に自生する常綠匍匐性の灌木なり。葉は2年生にして始めは外捲す。葉柄は短く．葉身は革質にして長橢圓形或は卵形をなし．長さ1-1·5糎（3-5分）許．上面は光澤ありて中肋凹入し．下面は白色を帶び稍有毛なり。花は枝端に稍總狀に簇生し1-5花を着生す。花梗に微毛を有す。萼は低小にして4裂す。花冠は4深裂し．裂片は長橢圓形を呈し反捲す。雄蕊は8箇にして先端柱形に延長す。果實は球形の漿果にして熟して赤色となる。〔花色〕淡紅色．白色又は帶紅色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州中部。

人生との關係　果實は酸味に富めども生食し得べし。また醫藥として食す。

2126. **ひめつるこけもも**…… シャクナゲ科
Oxycoccus microcarpus, *Turcz.* **(32圖版-309)**

（異名）てうせんこけもも　〔形態〕高山の卑濕地に自生する小灌木にして莖は纖綠狀を呈し斜上性にして分枝少く．幼枝は短形なり。葉は長さ3-6粍（1-2分）にして卵形を呈し鋭頭·圓脚或は戴脚．波狀の鋸齒緣を有し宿存性なり。花は細長なる花梗を有し．枝端に1-2箇を着生し下垂す。花梗

の基部には鱗狀苞.中部には2箇の小苞を有す。蒴は宿存性にして倒卵形或は半球形を呈し,齒片は三角形をなす。花冠は4箇に深裂し.各片外方に反捲す。雄蕊は8箇にして長く抽出す。果實は小形にして球形をなし熟して紅色となる。〔花色〕淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太·本州中部。

人生との關係 前種同樣果實を食用となし得。

21. ツガザクラ屬 PHYLLODOCE.

2127. **つがざくら**…… シャクナゲ科
Phyllodoce nipponica, *Makino.*

(異名) つがまつ 〔形態〕高山に自生する常綠小灌木にして高さ6-25糎(2-8寸)に過ぎず。葉は線形にして長さ6粍(2分)許.莖上に密生し鈍頭.細鋸齒緣を有し.邊緣は反捲し上面滑澤なり。花は枝端に腋生し2箇の苞を有す。花梗には多くの腺毛を生ぜり。蒴は5裂し各裂片は長卵形を呈し無毛なり。花冠は廣鐘形をなし長さ6粍(2分)許.5筒に淺裂し.各片半圓形をなす。雄蕊は10箇を有し閉在せり。果實は蒴にして扁球形を呈し腺毛を密布し5室を有す。〔花色〕淡紅色稀に白色。〔花候〕7月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

161 つがざくら

162 あをのつがざくら

2128. **あをのつがざくら**…… シャクナゲ科
Phyllodoce aleutica, *A. A. Heller.*

(異名) おほつがまつ·おほつがざくら·はくさんがや 〔形態〕高山に自生する常綠小灌木にして.高さ12-30糎(4-10寸)に過ぎず。葉は披針形にして莖上に密生し.長さ4-10粍(2-3分)許.鈍頭·細鋸齒緣を有し邊緣は外捲す。花は莖の先端に腋生し繖房狀に排列す。花梗は長くして多くの腺毛を有し4箇の永存性の苞を着く。蒴は5深裂し各片は披針形を呈し腺毛を密布す。花冠は壺形にして5筒に淺裂せり。雄蕊10箇.花絲に毛なし。果實は蒴にして直立し5裂す。〔花色〕綠色又は帶綠黃白色。〔花候〕7-8月。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

2129. **こつがざくら**…… シャクナゲ科
Phyllodoce alpina, *Koidz.*

〔形態〕高山に自生する小灌木にして高さ3-6糎(1-2寸)に過ぎず。葉亦小形にして長さ3-8粍(1-2.5分)許なり。花梗は長さ約3糎(1寸)許。蒴片は長卵形を呈し無毛なり。花冠は卵形にして子房には微毛を有す。腺毛なし。〔花色〕淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部。

2130. **ながばつがざくら**…… シャクナゲ科
Phyllodoce tsugaefolia, *Nakai.*

〔形態〕高山に自生する小灌木にして.高さ15糎(5寸)許。分岐多し。葉は長形.薄質にして莖上に稍疎に着生し.下面中肋近くまで反捲せり。花梗は長く線毛に富み.基部に2箇の披針形をなせる苞を有す。蒴片赤披針形にして邊緣に白毛を生ず。果實は扁球形を呈し腺毛を有す。〔分布〕北海道·本州北部。

22. アセビ屬 PIERIS.

2131. **あしび** 馬酔木·椅木…… シャクナゲ科
Pieris japonicum, *D. Don.* (32圖版-310)

(異名) あせば·よなば·うまくはず·しかくはず 〔形態〕山野に自生する灌木にして.大なるは高さ10米(3-3丈).幹の直徑30糎(1尺)に達するものあり。葉は葉柄を有し厚くして倒廣披針形を呈し.兩端は尖りて滑澤なり.緣邊には鋸齒を有せるあり.又之を缺くものもあり。花は前年の夏に出で翌春開き枝の先端に複總狀花序をなして着生す。苞及び小苞は鱗片狀を呈し.果實の成熟時まで存す。蒴片は5箇にして卵狀披針形をなす。花冠は長さ1糎(3分)許り.卵形にして先端5淺裂す。雄蕊は10箇を有し花絲には毛を生ず。葯は2箇の突起を有せり。果實は薄にして球形を呈し直徑6粍(2分)許り.脆背裂開なり。〔花色〕白色。〔花候〕3-4月。〔分布〕本州各部·四國·九州。

人生との關係 本植物の材は諸種の挿物細工に用ひらる。又葉を煎出したる汁は殺蟲劑として甚だ有効なり。この葉に劇毒を有するによる。牛馬等誤つてこの葉を食すれば痲痺に陷る.之れ馬酔木の名ある所以なり。又觀賞用として時に庭園に栽培せらるゝを見る。これ樹姿古雅にして四時鬱蒼せるを以てなり。普通野生せるものを掘り來り培養すれども挿木によつて容易に繁殖することを得べし。

2132. **ふくりんあせび**…… シャクナゲ科
Pieris japonicum, *D. Don.* forma follis albo-marginalis, *Maxim.*

〔形態〕アセビの一變種にして.葉の緣邊白色のものなり。主として庭園に栽培せらる。

2133. **ひめあせび**…… シャクナゲ科
Pieris japonicum, *D. Don.* forma pygmaea, *Maxim.*

〔形態〕アセビの小形種にして庭園に栽培せらる。莖は高さ30糎(1尺)許りにして.葉は線狀披針形をなし邊緣に粗齒牙を有す。總狀花序は小形にして單一なり。

2134. **ほながあせび**…… シャクナゲ科
Pieris japonicum, *D. Don.* var. monostachya, *Nakai.*

〔形態〕アセビの一變種にして.花序は單一總狀花序をなし長さ15-30糎(5-10寸)に達するものなり。〔分布〕本州各部。

23. シャクナゲ屬 RHODODENDRON.

2135. **しゃくなげ 石南**…… シャクナゲ科
Rhododendron Degronianum, *Carr.* forma spontaneum, *Nakai.* (R. Hymenanthes, *Makino.* var. pentamerum, *Makino.*) (R. pentamerum, *Matsumura.* et *Nakai*)

(異名) しゃくなぎ·しゃくなんけ·しゃくなん 〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして.高さ6米(2丈)に達するものあり。莖は分枝し.葉は2年生にして有柄革質なり。葉身は倒卵狀長橢圓形或は披針形をなし.先端急に尖り基脚狹し.上面は濃綠色滑澤にして下面は淡褐色或は白色を呈し.毛茸を密生す。花は大形にして繖房花序をなし枝端に密生す。花梗は毛茸を多く生じ.蒴は極めて短く.花冠は徑5-6糎(1.5-2寸)許りにして5筒に淺裂し.各裂片は圓形をなす。雄蕊は10箇にして無毛なり。花柱は1箇.雄蕊より長く.果實は褐毛を生じ狹長なり。〔花色〕淡紅色或は紅色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

2136. **ふいりしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Degronianum, *Carr.* forma variegatum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し葉に黃色斑紋を有せるものなり。庭園に栽培せらるゝを見る。

2137. **ふちべにしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Degronianum. *Carr.* var. Nakaii, *Nakai.* (R. Nakaii, *Komatsu.*)

〔形態〕シャクナゲの一變種にして山地に自生す。花冠は彼より薄く且つ深裂し.裂片は不齊長卵形にして彼の如く正圓ならず。〔花色〕淡紅色にして裂片の緣は深紅色をなす。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部。

2138. **ほんしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Metternichii, *Sieb.* et *Zucc.* var. hondoense, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する常綠灌木なり。概形シャクナゲに似たれども葉の下面には銀白色或は帶褐毛の毛茸を生ず。然れども肉眼にては認め難し。〔分布〕本州各部·四國。

2139. **やまとしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Metternichii, *Sieb.* et *Zucc.* var. miranthum, *Nakai.*

〔形態〕ホンシャクナゲの一變種にして.花の小形なるものなり。〔分布〕本州中部。

2140. **つくししゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Metternichii, *Sieb.* et *Zucc.* var. typicum, *Nakai.* (R. Hymenanthes, *Makino.* var. heptamerum, *Makino.*)

(異名) おしゃくなげ 〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして.高さ3米(1丈)餘に達し分岐多し。葉は葉柄を有し.葉身は革質にして倒卵狀長橢圓形或は倒狹披針形をなし兩端尖り全緣なり。上面は綠色にして葉脈の凹入少く.下面は褐色又は淡褐色を呈し毛茸を密布す。花は頂生にして簇出し.花梗には褐色毛を疎生すれども後無毛となる。花冠は漏斗狀を呈し.徑4-5-6糎(1.5-2寸)に達し7裂す。雄蕊は14筒。花柱は抽出す。果實は薄にして7室を有し.細長にして長さ1.5糎(5分)許りなり。〔花色〕淡紅色或は白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

(附記) シャクナゲの一變種なり。邦産シャクナゲ中最も大形にして美花を開くものなり。

2141. **しろばなしゃくなげ**…(32圖版-311)…. シャクナゲ科
Rhododendron Fauriae, *Franch.* var. rufescens, *Nakai.* (Azalea Fauriei, *Makino.*)

(異名) はくさんしゃくなげ 〔形態〕高山に自生する常綠灌木にして高さ3米(1丈)に達す。葉は有柄にして革質をなし.葉身は廣橢圓形或は長橢圓形を呈し.先端は丸く基脚少しく凹入す。邊緣は稍外捲し.長さ6-18糎(2-6寸)許りにして上面は滑澤.下面は白色又は褐色毛茸を密生す。花は頂生にして繖房花序をなし.多くの苞にて被はる。花梗には褐毛を布く。蒴片極めて短く.花冠は漏斗狀鐘形を呈し徑3糎(1寸)許にして.內面背部に綠點を有す。雄蕊は10筒.子房は有毛.果實は薄にして褐毛を被り.長さ1.2-1.5糎(4-5分)許なり。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

2142. **うすぎしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Fauriae, *Franch.* (R. brachycarpum, *G. Don.* var. lutescens, *Koidz.*)

〔形態〕シロバナシャクナゲの一變種にして葉の下面に毛茸なし。
〔花色〕帶黃白色又は帶紅白色。〔花候〕7月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

2143. **べにしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Fauriae, *Franch.* var. roseum, *Nakai.*

(異名) えぞしゃくなげ 〔形態〕ウスギシャクナゲの一變種なり。
〔花色〕濃紅色。〔分布〕北海道。

2144. **ほそばしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Makinoi, *Tagg.* (32圖版-312)

(異名) ふんしうしゃくなげ 〔形態〕山地に自生する常綠灌木なり。シャクナゲに似て葉は有柄.革質をなし.葉身は絲狀披針形乃至倒披針形を呈し.兩端稍銳く長さ6-15糎(2-5寸)許にして.下面には褐色毬毛を密布す。花は稍小さく.頂生して房狀總狀花序をなす。蒴は短く.邊緣に鋸齒を有し.花梗と共に褐色毛を密生す。花冠は鐘狀漏斗形を呈し.徑3糎(1寸)餘にして後面に赤色の斑點を有す。雄蕊10筒.果實は薄にして褐色毛を被り.長橢圓形をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部.

2145. **きばなしゃくなげ 石南花·七里香·香樹** シャクナゲ科
Rhododendron chrysanthum, *Pall.* (32圖版-313)

〔形態〕高山に自生する常綠の小灌木にして.高さ15-21糎(5-7寸)に過ぎず。莖は橫臥して太く.芽並に花の鱗片は數年間永存せるものあり。葉は有柄革質にして葉身は橢圓形又は倒披針形を呈し.兩端共に鈍し。長さ3-6糎(1-2寸)許にして上面には數多く下面は平滑なり。花は頂生して繖形樣房狀花序をなし簇出す。花梗は褐色並に白色毛茸を生じ鱗片は永存性なり。花冠は漏斗形をなし5裂し.徑約3糎(1寸)許.雄蕊は10箇にして花柱は抽出す。果實は薄にして5室を有し直生す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部·朝鮮·滿洲。

2146. **やへきばなしゃくなげ**…… シャクナゲ科
Rhododendron chrysanthum, *Pall.* var. senanense, *Yabe.*

〔形態〕前種の變種にして花の重瓣なるものなり。〔分布〕本州中部。

2147. **ひかげつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Keiskei, *Miq.* (32圖版-314)

(異名) めしゃくなげ·さはてらし 〔形態〕山地に自生する常綠灌木にして大なるは高さ2米(6尺)に達するものあり。莖は斜上して分岐多し。葉は薄き革質にして披針形又は長橢圓形を呈し.先端尖り全緣なれども時に先端に微鋸齒を有せるものあり。上面は綠色をなし下面には始め粒狀にして後に鱗片化する線を有し.長さ3-6糎(1-2寸)許なり。花は2-5筒を頂生し.繖形花序をなす。花梗には線球を有す。蒴は細小にして.花冠は廣漏斗形をなし.5裂し.徑3-5糎(1-2分)內外.外面に腺球を有す。雄蕊は10筒.花柱は抽出し子房亦腺球を有す。果實は薄にして短柱形をなし長さ1糎(3分)許.5室を有し腺鱗を被むる。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。
〔分布〕北海道·本州各部·九州。

2148. **せいしくゎ**…… シャクナゲ科
Rhododendron ellipticum, *Maxim.*

(異名) やへやませいしくゎ 〔形態〕暖地に自生する小喬木なり。全株無毛種に屬し.葉は枝端に簇生して葉柄を有す。葉身は革質にして長さ10-13糎(3-4寸)許.橢圓形乃至長橢圓形を呈し.先端銳く基脚楔形をなす。花は頂生にして1-2花を着け.長き花梗を有す。蒴は小形にして細鋸齒あり。花冠は漏斗形を呈し徑6糎(2寸)許.內面の上側に黃綠斑點あり。雄蕊10箇を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春-夏。〔分布〕九州大島·琉球·臺灣。

2149. **リウキウツツジ**…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronatum, *G. Don.* (32圖版-315)

(異名) シロリウキウツツジ 〔形態〕觀賞用として庭園に栽培せらるる灌木にして高さ2米(6尺)に達す。幼條には剛毛を密布す。葉葉は倒披針形をなし兩端尖り.褐色毛茸を有し.秋葉は稍鈍頭なり。花は頂生にして2-3花を着生し.鱗片は粘質なり。蒴片は披針形をなし長さ1-1.5糎(3-5分)許りにして外面は花梗と共に粘毛を密布す。花冠は徑約5糎(1.5寸)にして背面に綠點を有す。雄蕊は10箇.花絲に粒狀突起を有す。子房には粘毛を混生せり。果實は長さ1糎(3分)許にして長卵形を呈す。〔花色〕純白色。〔花候〕夏。〔原產地〕支那?。

2150. **オホリウキウ**…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronatum, *G. Don.* forma Noordtianum, *Wils.*

〔形態〕前種の一變種にして庭園に培養し觀賞に供せらる。花冠は厚肉にして筒部長く.裂片內向し上部3裂片の基部には淡綠色の斑點を有せり。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。

163 おほむらさき

164 からむらさきつつじ

2151. **おほむらさき**…… シャクナゲ科
Rhododendron pulchrum, *Sweet.* (Rhododendron Oomurasaki, *Makino*、*Nakai.*)

〔形態〕觀賞用として庭園に栽培せらるゝ灌木にして.高さ3米(1丈)に達するものあり。枝條には剛毛を密生す。葉葉は廣倒披針形をなし兩端尖り.兩面には褐色の毛茸を散生す.葉脈上特に著し。秋葉は革質大形にして長さ約6糎(2寸)許に達す。花は枝端に着生し2-4花を普通とす。花梗には褐色毛を密生す。蒴片は披針形又は卵形を呈し長さ1-1.5糎(3-5分)許にして腺毛を密布す。花冠は徑5糎(1.5寸)許.背面に紫色の斑點多し。雄蕊は10箇にして花絲には粒狀の小突起あり。子房には毛茸を密生すれども綠質ならず。果實は薄にして長さ1糎(3分)許.星狀に裂開す。〔花色〕淡紫紅色。〔花候〕6月。〔原產地〕不明。

2152. **リウキウムラサキ**…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronatum, *G. Don.* forma purpureum, *Nakai.*

(異名) ナンキンムラサキ 〔形態〕リウキウツツジの一變種にして花

は紫紅色を呈せるものなり。觀賞用として栽培せらる。

2153. からむらさきつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronulatum, *Turcz.*

〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして葉は橢圓形又は長橢圓形をなし,兩端尖り上下兩面には,痂狀鱗片を散在す。花は短き花梗を有し3-6花を頂生せり。花梗には腺鱗あり。花冠は徑3糎(1寸)許りの幅狀漏斗形を呈し10箇の雄蕊を藏す。果實は蒴にして長さ1-1·5糎(3-5分)許りの柱形をなし5室を有し,腺鱗を生ぜり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

2154. げんかいつつじ ··(32圖版-316)…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronulatum, *Turcz.* var. ciliatum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして古き葉に粗毛を有するものなり。〔分布〕本州中部,九州(對馬)。

2155. しろばなげんかいつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron mucronulatum, *Turcz.* var. albiflora, *Nakai.*

〔形態〕カラムラサキツツジの一變種にして,花は白色地に綠點を有す。〔分布〕九州(對馬)。

2156. たうつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron sublanceolatum, *Mig.*

(異名) おゝつつじ・おゝきりしま　〔形態〕庭園に栽植し觀賞に供せらるゝ灌木なり。高さ2米(6尺)に達し,枝は割合に丈夫にして幼條には褐色又は銀色の剛毛を密生す。春葉は披針形をなし兩端尖り,長さ6糎(2寸)許りにして毛茸を有す。秋葉は革質にして橢圓形或は披針形を呈し毛茸少し。花は2-3箇を頂生し,花梗には白毛又は褐毛を有す。萼は5裂し各裂片は卵形或は長橢圓形鈍頭をなし,腺毛を有し稍粘質なり。花冠は漏斗形を呈し5裂し,徑約7·6糎(2·5寸)許。雄蕊は10箇にして花絲には粒狀突起を有す。花柱は長く抽出し子房に毛茸を密生す。果實は蒴にして長さ1糎(3分)許の長卵形を呈し多くの毛茸を有す。〔花色〕煉瓦紅色。〔花候〕夏。〔分布〕九州(大島)。

2157. さつき　杜鵑苑・映山紅…… シャクナゲ科
Rhododendron lateritium, *Planch.* (32圖版-317)

〔形態〕河岸岩上等に自生する灌木にして高さ1-1·3米(3-4尺)許。分岐多く枝は横に擴がり,幼條には褐色の剛毛を密布す。春葉は有柄にして披針形をなし兩面に剛毛を散生し,秋葉は倒披針形又は狹倒披針形を呈す。花は頂生にして混芽の中央に出で1-2箇を着生す。萼は5裂し各裂片は卵形又は極めて細小にして先端丸く,多くの毛茸を有す。花冠は徑4·5-7·5糎(1·5-2·5寸)許の漏斗形をなし5裂す。雄蕊は5箇にして花絲には多くの粒狀突起を有し,葯は紫黑色を呈す。花柱は1箇にして無毛なれども子房には多くの毛茸を生ぜり。果實は蒴にして長さ8粍(2·5分)許の卵形をなす。〔花色〕朱緋色又は紫紅色。〔花候〕6-8月。〔分布〕本州中部及南部・九州(屋久島・對馬)。

人生との關係　庭園或は鉢植,盆栽として愛玩せらる。近時一般にサツキと稱し,培養せらるゝものには各種の園藝品種を含み,眞正のサツキより出でしものゝ外に,ヤマツツジ或は其の他の系統に屬するものあり。從つて花色花期・葉形・樹姿等にも種々の變化を見るに至れり。今次に各種に通ずる栽培法の一般を記述すべし。即ち其の繁殖法は挿木,根分け,取木,實生等何れによるも可なり。實生による時は種々の新種を得るを以て興深きものなり。最も普通なるは挿木なり。其の法,入梅頃其の年の新芽の硬化せるを見計らひ長さ6糎(2寸)位に枝條を切取り2-3葉を附着し,鹿沼土に少許の蘚類を混じたる床に挿し數日間日蔭に置き以後次第に日光に浴せしむる時間を增し,常に水濕を保たしむる時は容易に發根す。此の際挿床は河砂を以て代用するもよし。すべて挿木に使用する床は絕對に肥料分を含まず日濕ぎし水は迅速に逃げ去るを要す。最も注意すべき事なり。

根分けは根際より發生せし枝條に細根の生ぜしものを分離し,隨時移植して可なり。取り木は枝條の一部を地に臥せしめ土を覆ひ置くべし。2-3年にして細根の發生を見るべし。該法は枝條の若きもの程成績良し。倘地中に埋むる部に少しく傷を付くれば更に良結果を得べし。

移植は入梅中若しくは秋の彼岸過ぎを可とす。尤も春季に行ふもよし。春または秋に行ふ場合には成るべく根を保護し入梅中ならば古き根を除去するを要す。而して植ゑ込みの土地は成るべく日當りよく溫暖なる所を擇び濕潤の地を避くるを要す。元來此の植物は落葉の腐朽せる如き輕鬆なる土地を好むものなるを以て,之を鉢植とし盆栽として培養する際には此の點に注意するを要す。普通鹿沼土に少許の蘚類を混じたるものを用ふるはよく此の目的に叶へるものなり。鉢物としての手入上注意すべきことは開花後必ず花を摘み取り子實のため樹勢の殺がるを防ぐこと,鉢內の土壤には常に水分を保たしむるよう灌水を怠らざる等にあり。殊に夏季に於て然りとす。肥料は油粕の腐熟したるものを數回與ふだけにて充分なり。

地植並に鉢物等に於て樹姿を整ふるため刈込をなさんとするには花後間もなく行ふを要す。

2158. ささきつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron Sasakii, *Wils.*

〔形態〕亞熱帶地方に自生する灌木にして,莖は疎に分岐し高さ2米(6尺)に達す。枝條には赤褐色の僵毛を布く。葉は倒披針形乃至卵狀披針形を呈し,先端鈍く或は圓く,基脚楔形を呈し稀に圓形をなす。上下兩面灰褐色の僵毛を有す。花は頂生にして2乃至多數を簇生す。萼は5裂し各裂片は膜質をなし,長橢圓形或は長橢圓狀卵形にして邊緣に毛茸を有す。花冠は長さ3糎(1寸)許りの廣漏斗形をなし5深裂し,各裂片は圓形を呈す。雄蕊は5箇にして花冠と略其の長さを同うす。花絲は中部以下に毛茸を有し花柱は稍々抽出して毛茸を生ず。〔花色〕赤色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

2159. みやまきりしま…… シャクナゲ科
Rhododendron kiusianum, *Makino.*

〔形態〕高山に自生する灌木にして高さ通常12-15糎(4-5寸)なれども往々1米(3尺)に達するものあり。分岐頗る多く枝條は疳長にして2-5枝を輪生し,幼條には狹披針形の褐色剛毛を密生す。葉は葉柄を有し通常枝端に3葉を着く。葉身は紙樣革質にして菱狀廣橢圓形或は廣菱狀卵形をなし先端は短き3角狀に尖り,基脚は圓鈍なるか或は尖る。邊緣には細き鈍齒牙を有し屢ば毛茸を生ず。長さ0·6-2·7糎(2-9分)許りにして僵生毛茸を散生せり。花は2-6箇を枝端に生じ繖形花序をなせども,花梗は極めて短きを以て密に集圍せり。萼は5裂し各裂片は細小にして圓形又は卵形を呈し,白色の絨毛を布く。花冠は徑2糎(6分)內外の漏斗狀鐘形をなし5裂し,後方の3裂片は廣橢圓形にして前方の2裂片は橢圓形をなす。雄蕊は5箇を有し花冠より稍長く,花絲の基部には粒狀の突起あり。花柱は單一にして挺出す。果實は蒴にして鋭尖卵形をなし長さ1糎(3分)內外,3-5室を有し僵毛を布く。〔花色〕紅紫色。〔花候〕5月。〔分布〕九州。

(附記)　本種の低地に生ぜるものは楕形ヤマツツジに似たり。然れども一芽中に生ずる花數は彼の2-3箇なるに比し頗る多く且つ花冠は一層開濶なるを以て識別し得べし。觀賞用として價値大なるものなり。

165 みやまきりしま

166 きりしまつつじ

2160. きりしまつつじ　石巖…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.*

(異名) きりしま　〔形態〕山地に自生する灌木にして,高さ1-3米(3-10尺)餘に達するものあり。通常簇生し分岐頗る多く,幼條には狹披針形をなせる褐色剛毛を有す。春葉は短き葉柄を有し楕圓形にして兩端尖りて腺に終る。上面には細毛を疎生し,下面の中肋には葉柄と共に幼條と同樣の毛茸を布く。秋葉は倒卵形又は長倒卵形をなし,稍厚質にして滑澤なり。花は頂生にして通例2-3箇を着生し,花梗は短く狹長披針形の剛毛を密布す。萼は5裂し各裂片は球形,橢圓形,卵形,又は倒卵形を呈し,子房と略同長にして邊緣は波狀をなし毛茸を生ず。花冠は漏斗形を呈し,徑2·4-3·7糎(0·8-1·2寸)許なり。雄蕊は5箇を有し,花絲の中央以下に突起あり。花柱は1箇を有し,長く抽出して毛茸を有せず。果實は蒴にして卵形をなし剛毛を密生す。長さ1糎(3分)許なり。〔花色〕紅色。〔花候〕春。〔分布〕九州。

(附記)　本植物は古くより觀賞用として栽培せられしため園藝變種頗る

PL. 32.

309 つるこけもも

310 あせび

311 つくしやくなげ

312 ほそばしやくなげ

313 きばなしやくなげ

314 ひかげつつじ

315 りうきうつつじ

316 げんかいつつじ

317 さつき

多く花色其の他により種々の名稱を有す。以下之等について少しく記述すべし。

2161. むらさきみの　紫袋…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* forma amoenum, *Komatsu.*

〔形態〕前種の一變種にして花は重瓣.紫色のものなり。〔分布〕九州。

2162. やへげら…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* forma calyciflorum, *Schneid.*

〔形態〕キリシマツツジの園藝變種にして花は重瓣.朱紅色のものなり。觀賞用として栽培せらる。

2163. ほんきりしま…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* forma Honkirishima, *Komatsu.*

〔形態〕前種と同樣キリシマツツジの園藝變種にして花は單瓣朱紅色のものなり。觀賞用として栽培せらる。

2164. はつきりしま…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* forma purpureum, *Komatsu.*

〔形態〕キリシマツツジの變種にして花は單瓣紫色のものなり。觀賞用として栽培せらる。

2165. さくらきりしま…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* var. latifolium, *Nakai.*

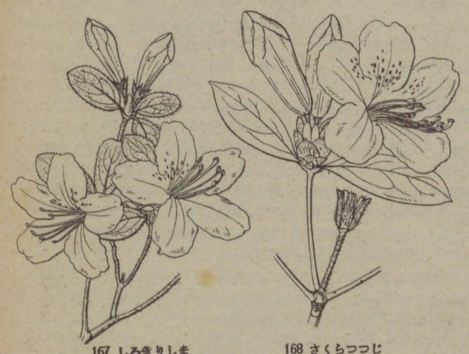
〔形態〕キリシマツツジの變種にして觀賞用として栽培せらるゝものなり。春葉は廣橢圓形を呈し兩端尖り.秋葉は廣倒卵形或は圓形をなし鈍頭なり。〔花色〕紫色。

2166. **しろきりしま**…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* var. latifolium, *Nakai.* forma album, *Nakai.*

〔形態〕サクラキリシマの白花品なり。觀賞用として栽培せらる。

2167. むらさききりしま…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* var. latifolium, *Nakai.* forma ionanthum, *Nakai.*

〔形態〕サクラキリシマの變種にして花は紅紫色を呈す。觀賞用として栽培せらる。



167 しろきりしま　168 さくらつつじ

2167. くるめつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron obtusum, *Planch.* var. Sakamotoi, *Komatsu.*

〔形態〕キリシマツツジの一變種なれども.母種とミヤマキリシマとの中間形を呈せるを以て或はミヤマキリシマの變生なりと認むるものもあり。觀賞用として栽培せらる。

2169. **さくらつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Tashiroi *Maxim.*

〔形態〕本邦の暖地に自生する常綠灌木にして.高さ4米(12尺)に達す。幼條は嫩葉と共に赤褐色の粗毛を密布す。葉は有柄にして葉身は倒披針形又は長橢圓形を呈し兩端尖る。花は2-3箇を頂生して繖形花序をなす。花梗には褐色毛並に微小の粒狀腺を有す。萼は5淺裂して殆ど脣狀をなし各裂片には毛緣を有す。花冠幅狀鐘形をなし徑約3糎(1寸)許にして10箇の雄蕊を藏す。花絲並に花柱は無毛なり。果實は長さ約1糎(3分)許の漏をなし褐色の粗毛を密生せり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕4月。〔分布〕九州(大島)·琉球。

2170. **やまつつじ　山躑躅·紅躑躅**…… シャクナゲ科
Rhododendron Kaempferi, *Planch.* (33圖版-318)

(異名) あかつつじ·つつじ　〔形態〕山地に自生する灌木にして高さ2米(6尺)に達し.分岐多く幼條には褐色の剛毛を布く。葉は葉柄を有し春葉は橢圓形或は廣卵形をなし兩端尖り長さ3-6糎(1-2寸)許にして.上面に粗毛を生じ.下面は葉脈上に毛あり。秋葉は筐形或は長倒卵形をなせり。花は頂生にして2-4箇を有し繖形花序をなす。萼は5裂し.各裂片は卵形又は橢圓形をなし.鈍頭にして邊緣に長毛を生じ外面は花梗と共に粗毛を布く。花冠は5裂し.廣漏斗形をなし徑4糎(1·2寸)許りなり。雄蕊は5箇を有し花冠と略同長をなし.花絲に粒狀の突起を有し.葯は黃色又は微紫黃色を呈す。果實は漏にして長さ1糎(3分)許の卵形をなし5室を有す。〔花色〕煉瓦紅色或は紅紫色。〔花候〕4-7月。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·琉球。

(附記) 本種は花色其他により種々の種類あり。從つて數品種に分たる以下少しく記述すべし。

2171. しろやまつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron Kaempferi, *Planch.* forma album, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして花の白色なるものなり。〔分布〕本州中部。

2172. ほそばやまつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron Kaempferi, *Planch.* var. angustifolium, *Nakai.*

〔形態〕ヤマツツジの一變種にして葉は長橢圓形をなし兩端尖れり。〔分布〕本州中部。

2173. やへやまつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron Kaempferi, *Planch.* var. Komatsui, *Nakai.*

(異名) やへざきやまつつじ　〔形態〕ヤマツツジの一變種なり。萼は瓣狀を呈せるを以て重瓣となれり。〔分布〕本州中部。

2174. むらさきやまつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron Kaempferi, *Planch.* var. mikawanum, *Makino.*

〔形態〕ヤマツツジの花色に紫を呈せるものなり。〔分布〕本州中部。

2175. せいがいつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron linearifolium, *Sieb.* et *Zucc.* var. linearifolium, *Makino.*

〔形態〕觀賞用として庭園に培養せらるゝ園藝品種なり。概形モチツツジに似たり。全株に粗毛を生じ葉は腺狀長披針形をなし.萼は5裂し.各裂片は線形をなし.腺毛多く粘質特に著し。花冠は5裂し.各裂片は腺狀長披針形をなす。〔花色〕淡紅色或は白色。〔花候〕春。

(附記) 本種の和名は靜崖ツツジの意なり。モチツツジの變種と認むるものもある。

2176. **もちつつじ**…(33圖版-319) …… シャクナゲ科
Rhododendron linearifolium, *Sieb.* et *Zucc.* var. macrosepalum, *Makino.* forma genuinum, *Makino.*

〔形態〕山麓.丘陵等に自生する灌木にして.高さ2米(6尺)に達し.幼條はに長き腺毛を散生す。春葉は橢圓形にして兩端尖り長さ3-6糎(1-2寸)許.葉柄と共に毛茸を生ず。秋葉は倒披針形をなし.長さ3糎(1寸)に過ぎず.赤多くの毛茸を有す。花は頂生にして繖形花序をなし2-4箇を着生す。萼は5裂し各裂片は線狀披針形をなし.長さ1·8-2·1糎(6-7分)にして.花梗と共に多くの腺毛を有し粘質特に著し。花冠は徑4·5糎(1·5寸)許の漏斗狀鐘形を呈し5裂す。雄蕊は5箇を有し.花絲の基部には粒狀突起あり。葯は黃色又は淡紫色を呈し.子房に腺毛を密生す。果實は長さ1糎(3分)許の長卵形をなし多くの腺毛を生せり。〔花色〕紅紫色にして背面に紫色の斑點多し。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國。

2177. **うんぜんつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron serpyllifolium, *Miq.*

〔形態〕山地に自生する小灌木にして.高さ1米(3尺)に過ぎず。分岐頗

る多く,幼條には披針形の剛毛を密生す。春葉は倒披針形又は廣倒披針形をなし,長さ約 1·5 糎(5 分)許,上面並に邊緣に細き剛毛を疎生し,下面の中肋上には稍小き剛毛を有す。葉柄は長さ 1 糎(3 分)許にして幼條と同樣の毛を有す。秋葉は稍鈍頭をなし,春葉より小さく長さ 1 糎(3 分)を出でず。花は 1-2 箇を頂生し,極めて短き花梗を有す。花梗の基部に存せる鱗片は大にして通常先端は 2-3 裂す。萼は頗る短く毛茸亦短し。花冠は 5 裂し,徑 1·2-1·8 糎(4-6 分)許りの廣鐘形をなし,背部の內面には紫色或は綠色の斑點を有す。5 箇の雄蕊 1 箇の花柱共に頗る伸出す。花絲は上部を除き粒狀の小突起を多く有し,子房は先端數裂せる鱗片を密生す。果實は蒴にして長さ 5-8 粍(1·5-2·5 分)の長楕圓形をなす。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。

2178. しろばなうんせんつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron serpyllifolium, *Miq.* var. albiflorum, *Makino.*

〔形態〕ウンゼンツツジの白花品なり。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

169 うんせんつつじ　　170 こめつつじ

2179. **こめつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron Tschonoskii, *Maxim.*

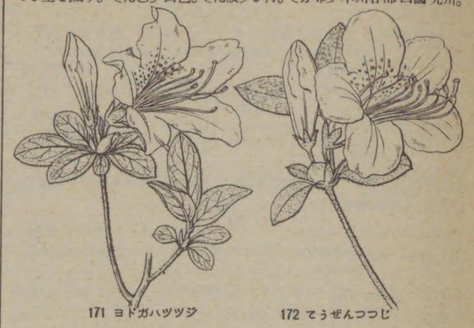
(異名) しろばなのこめつつじ　〔形態〕深山に自生する灌木にして高さ 1 米(3 尺)に餘る。莖は分岐多く,幼條には披針形の褐毛を密生す。葉柄は短く長さ漸く 2 粍(7 厘)に達し,褐毛を有す。春葉は長倒卵形或は楕圓形を呈し,兩端尖りて先端は腺に終る。長さ 1·2-1·5 糎(4-5 分)を通常とし上面並に邊緣には金褐色の疎毛を有し,下面は淡白色にして中肋上には葉柄と同形の毛茸を生ぜり。秋葉は倒披針形をなし,兩端共稍鈍なり。花は頂生にして 2-4 箇を簇出し,極めて短き花梗を有す。萼は頗る短形にして 5 裂し各裂片は廣卵形をなし多くの毛茸あり。花冠は漏斗狀鐘形をなし,5 叉は 4 裂し,徑 6 粍(2 分)許に過ぎず。雄蕊亦 4-5 箇を有し,花絲には先端を除き粒狀の突起あり。果實は蒴にして長さ約 3 粍(1 分)許,毛茸を有す。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

2180. おほこめつつじ …… シャクナゲ科
Rhododendron Trinerve, *Franch.*

〔形態〕深山に自生する小灌木にして,莖は分岐多く,嫩枝には褐色の細毛を生ず。春葉は倒披針形又は廣倒披針形を呈し,3 脈特に著し,上面には葉柄と共に淡褐色の細毛を生じ,下面は脈上に褐色の長毛を生ぜり。秋葉は披針形をなし多くの毛茸を有す。花は頂生にして 3-5 箇を簇生し,纖形花序をなす。花梗,萼共に腺毛を有す。花冠は 4 或は 5 裂し,內面に毛茸あり。雄蕊亦 4 叉は 5 箇を有し,花絲に粒狀突起あり。果實は蒴にして長さ約 6 粍(1·8 分)許の楕圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

2181. **ばいくゎつつじ**…(33 圖版-320)…… シャクナゲ科
Rhododendron semibarbatum, *Maxim.*

(異名) みやまつつじ　〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして,高さ 1·2-1·5 米(4-5 尺)に達し,多く分岐して簇生す。幼條には長き葉柄と共に腺毛を生ず。葉身は楕圓形或は卵形をなし,先端は圓形なるあり,又は尖れるもありて,邊緣には先端毛茸にて終れる小鋸齒を有し,下面の脈上に剛毛を生ず。花は前年の枝の先端に近く側出し,數箇を單立し,長さ 1 糎(3 分)許にして白色の微毛を生ぜる花梗を有す。萼は短くして 5 裂し,各裂片は廣卵形をなし腺毛を布く。花冠は徑 1·5-2 糎(5-6 分)許の輻狀漏斗形を呈し,5 裂し上側の 3 裂片の內面には,毛と共に紫色の斑點を有す。雄蕊は 5 箇を有し,上側の 2 箇は不完全にして且つ短く,花絲に白毛を密生し,下側の 3 箇は完全にして花絲に毛を有せず。果實は蒴にして卵形を呈し,有毛にして 5 室を藏す。〔花色〕白色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州各部·四國·九州。



171 ヨドガハツツジ　　172 てうせんつつじ

2182. **ヨドガハツツジ**…… シャクナゲ科
Rhododendron yedoense, Maxim.

(異名) ボタンツツジ　〔形態〕觀賞用として,庭園に培養せらるゝ灌木にして,大なるは高さ 4 米(13 尺)に達するものあり。幼條には剛毛を布く。葉は毛茸に富める葉柄を有し,葉身は楕圓狀披針形,或は披針形をなし兩面と邊緣に褐色毛茸を有し,兩端尖る。花は頂生にして 2-3 箇を簇生し,花梗に毛を有す。萼は 5 裂し各裂片は楕圓形又は廣披針形を呈し,毛茸を疎生す。花冠は重瓣をなし 10 箇の雄蕊を藏す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕5 月。〔原產地〕朝鮮。

2183. **てうせんやまつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron yedoense, *Maxim.* var. poukhanense, *Nakai.*

〔形態〕前種の一重咲にして山地に自生す。葉は披針形を呈し,萼片は卵形にして其の長さ子房に倍す。花冠は漏斗狀鐘形をなし,先端 5 裂す。10 箇の雄蕊を藏し,花絲に粒狀の突起多く,葯は紫色を呈す。花柱は無毛なるあり,又は基部に毛を有せるもあり。子房には多くの毛茸を生ぜり。果實は蒴にして,長さ 1-1·3 糎(3-4 分)の卵形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州中部·九州(對馬)·朝鮮。

2184. むらさきやしほつつじ …… シャクナゲ科
Rhododendron albrechtii, *Maxim.*

(異名) みやまつつじ·えぞむらさきつつじ　〔形態〕高山に自生する落葉灌木にして,大なるは高さ 2 米(6 尺)に餘るものあり。幼條には腺毛を生ず。葉は短き葉柄を有し互生す。葉身は膜質にして倒披針形或は倒卵形をなし,鈍頭なれども微凸端をなし,基脚は楔形なり。邊緣,葉柄並に上面には短き粗毛を生じ,下面は中肋に沿ひて白毛を密生す。花は頂生にして 2-3 箇を簇生し,多くの腺毛を生ぜる花梗を有す。萼は低小にして 5 裂し,腺毛を生じ,各裂片半圓形をなす。花冠は徑 3 糎(1 寸)餘の漏斗狀をなし 5 裂し,各裂片は先端圓形をなす。雄蕊は 10 箇にして 5 箇は短く,花絲に毛を有すれども他の 5 箇は長くして無毛なり。子房には粗毛を有す。果實は蒴にして卵形を呈し,5 室あり,多くの毛茸を生ぜり。〔花色〕紅紫色。〔花候〕5 月。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

2185. えぞむらさきつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron dauricum, *L.*

(異名) ときはつつじ·だうりやうつつじ　〔形態〕寒地に自生する常綠灌木にして,高さ 2 米(6 尺)に達す。葉は短き葉柄を有し,葉身は長さ 2-3 糎(0·6-1·0 寸)の稍圓形をなし,鈍頭銳脚にして下面に赤褐色の痂狀鱗片を有す。花芽は 1-3 箇を前年の枝の先端に腋生し,各 1 箇の花を藏む。萼は腺鱗を有し,波狀に 5 淺裂す。花冠は徑 2·4 糎(8 分)許の輻狀漏斗形にして,5 裂をなす。雄蕊は 10 箇,花柱は 1 箇にして無毛なり。果實は蒴にして腺鱗を被り,長さ 1 糎(3 分)許の短柱形をなし 5 室を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·朝鮮·滿洲。

2186. **あけぼのつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron pentaphyllum, *Maxim.*

〔形態〕山地の懸崖に自生する落葉灌木にして,高さ 4 米(1·3 丈)に達するものあり。分岐多く,枝條に毛を有せず。葉は 5 葉宛枝端に叢生し,長毛を生ぜる短き葉柄を有す。葉身は倒卵形をなし,兩端尖り,先端は腺に終り邊緣に微毛を生ず。上面は綠色にして疎毛を有し,下面は深綠色をなし,葉脈著しく毛を生ぜず。花は頂生にして 1-2 箇を着生し,花梗は無毛なり。萼は短小にして 5 淺裂し,各裂片は 3 角形を呈し,毛茸無し。花冠は漏斗形にして 5 裂し,各裂片は倒心臟形をなす。雄蕊 10 箇,雌蕊は 1 箇にして子房に毛なし。果實は蒴にして長さ 1·2-1·5 糎(4-5 分)許の楕圓形を呈す。

〔花色〕帶紅紫色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

2187. **あかやしほ**…… シャクナゲ科
Rhododendron nikoense, *Nakai.* (33 圖版-321)

(異名) けあけぼの·あかぎつつじ·あかのききゃうつつじ·あけやしほ

〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして,大なるは高さ 6 米(2·0 丈)に達するものあり。枝條に毛なし。葉は花に後れて發生し,始めは外旋す。枝の先端に 5 葉宛叢生す。葉柄は長き粗毛と短き腺毛とを有す。葉身は廣楕圓形にして兩端尖り,邊緣に毛茸を生じ,上面には極めて疎に毛を有し,下面には殆どなし。花は頂生にして 1-2 箇を着生し,腺毛に富める長さ 1 糎(3 分)內外の花梗を有す。萼は極めて小さく,花冠は 5 裂して廣く開き,各裂片は廣倒卵形を呈す。雄蕊は 10 箇にして其の中の短き 5 箇の花絲には毛茸を生ぜり。果實は蒴にして長さ 2·5 糎(8 分)許の圓柱形をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州中部。

(附記) アケボノツツジに似たれども花梗に腺毛を有せること。花冠の裂片倒卵形を呈せること。並に果實の大さ略彼に倍せる等により區別し得べし。

人生との關係　觀賞用として栽培せらるゝものあれども,寧ろ挿花として一般に利用せらるゝこと多し。卽ち早春自生地(赤城山,日光山)等より切出したる枝條は,花蕾未だ極めて小さきものなれども,里人之を各所に點けるを見る。一見枯枝の如き此の枝條を花瓶に挿し室內に置く時は,次第に蕾の大きさを增し 4-5 月の交,美花を開く,花は葉に先だつものなれば一層の美觀を呈す。

173 あけぼのつつじ　　174 ごえふつつじ

2188. **ごえふつつじ**…… シャクナゲ科
Rhododendron quinquefolium, *Biss.* et *Moore.*

(異名) しろやしほ·ききやうつつじ·まつのきはだ·くるまつつじ

〔形態〕山地に自生する灌木にして,大なるは高さ 8 米(2·7 丈),幹の直徑 30 糎(1 尺)に餘るものあり。葉は短き無毛の葉柄を有し,4-5 葉を枝の先端に叢生す。葉身は膜質にして廣卵形を呈し,銳頭或は鈍頭をなし,微凸端を有して邊緣に微小の白毛を生ず。上面は中肋に沿ひ細毛を布き,下面は中央以下に白微毛を密生すれども,後殆ど無毛となる。花は頂生にして 1-2 箇を着生し,花梗は無毛なるか又は腺毛を有す。萼は短小にして 5 淺裂し,各裂片は披針形又は狹披針形を呈す。花冠は短漏斗形をなし,5 裂し,各裂片は卵形にして內面に綠點あり。雄蕊は 10 箇を有し,花絲の基脚に毛茸を生ず。果實は蒴にして,長さ 1 糎(3 分)許 5 室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕本州中部及南部·四國。

2189. **れんげつつじ　羊躑躅·映山黃**…… シャクナゲ科
Rhododendron japonicum, *Suring.* (33 圖版-322)

(異名) おにつつじ·いぬつつじ·うまつつじ　〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして,高さ 3 米(1·0 丈)以上に達するものあり。葉は葉柄を有し,葉身は倒披針形をなし,鈍頭にして微凸端を有し,基脚銳く,邊緣は全緣波狀をなし,疎毛を有す。下面は中肋に沿ひて細微の毛あれども,往々にして之を缺くものあり。花は頂生にして 2-8 箇を叢生し,通例葉の未だ充分開かざる時に開花するを以て,全樹花にて被はれ美觀を呈す。花梗には腺毛を生ず。萼は小にして 5 裂し,各裂片は細長きか,又は短くして腺毛を有す。花冠は鐘狀漏斗形をなし徑 7·6 糎(2·5 寸)許にして 5 裂し,各裂片卵形を呈す。雄蕊は 5 箇にして花冠より短く,花柱と共に無毛なり。果實は蒴にして長さ 2·1-3 糎(·7-1·0 寸)許りの圓柱形をなし,5 室を有す。〔花色〕淡朱色。〔花候〕春。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

人生との關係　本植物の葉及花は劇毒を含む。未だ其の如何なる成分のものなるやに就ての報告を見ざれども,恐らくアセビに似たる毒分を含有するものなるべし。古來葉及花を適宜煎服すれば,痛風·「リウマチス」を治癒する特效ありと言はる。觀賞用として廣く庭園に栽培せらる。

2190. きれんげつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron japonicum, *Suring.* forma flavum, *Nakai.*

(異名) きつつじ·きれんげ·ししくはす　〔形態〕前種の一變種にして花の黃色なるものなり。各地の山野に自生す。〔分布〕本州。

人生との關係　觀賞用として培養せらるゝこと。並に其毒性等すべて前種に同じ。

2191. れんげぼたん…… シャクナゲ科
Rhododendron japonicum, *Suring.* forma multifidum, *Nakai.*

〔形態〕レンゲツツジの一變種にして,花冠の裂片 10 箇以上のものなり。〔分布〕本州中部。

2192. うらじろれんげつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron japonicum *Suring.* var. glaucophyllum, *Nakai.*

〔形態〕レンゲツツジの一變種に屬し葉の下面は白色を呈せるものなり。〔分布〕本州中部。

2193. みつばつつじ …… シャクナゲ科
Rhododendron dilatatum, *Miq.*

(異名) いちばんつつじ　〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして,高さ 3 米(1·0 丈)以上に對するものあり。葉は 3 葉宛枝端に叢生し,葉柄を有す。葉身は膜質にして廣菱形或は廣卵形をなし,先端尖りて基脚圓形を呈し,上面に腺質の突起を有す,又褐毛を混ずることあり。花は頂生にして 2-3 花を着生し,花梗には腺質の突起を生ずるあり,或は之を生ぜざるもあり。萼は細小にして,花冠は漏斗形をなし,不齊に 5 裂し,上部の 3 片は中裂すれども下部の 2 片は深裂す。上側に濃紫色の斑點を有せるものと之を缺くものとあり。雄蕊 5 箇,雌蕊 1 箇共に無毛なれども,子房には腺を有す。果實は蒴をなし,長さ約 1 糎(3 分)許にして,稍彎曲せり。〔花色〕紅紫色。〔花候〕4 月。〔分布〕北海道·本州各部·九州。

2194. とさのみつばつつじ…… シャクナゲ科
Rhododendron decandrum, *Makino.*

〔形態〕溫暖の地に自生する灌木にして分岐多し。芽の鱗片には多くの腺を有し,著しく粘質に富む。葉は廣卵形をなし,始めは褐毛を有すれども後無毛となる。花は頂生にして 1-3 箇を着生し,花梗は 1 糎(3 分)內外の長さを有し,褐毛を散生し,乳頭狀の腺毛に富む。萼は極めて短小にして,花冠は 5 裂し徑約 3 糎(1 寸)許,各裂片は卵形をなし,上片の內面には濃紫色の斑點を布く。雄蕊は 10 箇を有し無毛なり。葯は紫色を帶ぶ。雌蕊は 1 箇,亦無毛にして,共に花外に抽出せり。子房には短き腺狀突起を有す。果實は蒴にして 1 糎(3 分)許の長さを有し,腺狀の突起物を生ぜり。〔花色〕紅紫色。〔花候〕4 月。〔分布〕四國·九州。

(附記)　本種はミツバツツジに似たれども,雄蕊 10 箇を有せる點により異なる。尙コバノミツバツツジにも類すれども,花梗は彼の毛茸を有せると異なり,腺を有し,芽の鱗片の腺點亦著しく螯きを以て識別するを得べし。

2195. **くろふねつつじ**…(33 圖版-323)…… シャクナゲ科
Rhododendron Schlippenbachii, *Maxim.*

〔形態〕山地に自生すれども,觀賞用として庭園に培養せらる。高さ 2-4 米(·6-1·2 丈)を普通とすれども往々にして 6 米(1·9 丈)に達するものあり。幼條には細毛を布く。葉は約 5 葉宛枝の先端に輪生し,殆ど無柄なり。葉身は倒卵形又は長倒卵形をなし,先端少しく凹入す。花は混芽の中央にありて 2-7 箇を着け,纖形花序をなす。花梗には多くの腺毛を有す。萼は 5 裂し各裂片は廣橢圓形又は廣卵形をなし,邊緣に腺毛を生ず。花冠は徑 5 糎(1·5 寸)許の輪狀鐘形を呈し,5 裂し,各裂片は廣卵形をなし,上部裂片の內面に赤褐色の斑點を有す。雄蕊は 10 箇にして長短あり。花絲に小突起あり。花柱の基部は子房と共に腺毛を密生す。果實は蒴にして卵形をなし,長さ 1-1·5 糎(3-5 分)許なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春。〔分布〕九州(對馬)·朝鮮。

24. エゾツツジ屬 THERORHODION.

2196. **えぞつつじ**…(33圖版-324)…… シャクナゲ科
Therorhodion camtschaticum, *Small.*

〔形態〕寒地に自生する落葉小灌木にして、高さ30糎(1尺)内外に過ぎず。全株に腺毛を有す。葉は膜質にして、廣倒卵形を呈し、先端尖り邊縁に腺毛を生ず。花軸は頂生にして1-3箇の花を着け、總狀花序をなす。苞は1箇、小苞2箇を有し何れも葉質なり。萼は5深裂し、各裂片は線狀披針形にして鈍頭なり。花冠は徑3-4糎(1-1·3寸)許の幅狀鐘形をなし、5裂す。雄蕊は10箇を有し、下部の5箇は他よりも長し。花絲の基部に密毛を生ず。花柱は頗る長く、基脚に毛あり、子房亦有毛。果實は蒴にして長卵形又は卵形を呈す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

25. ホツツジ屬 TRIPETALEIA.

2197. **ほつつじ**…… シャクナゲ科
Tripetaleia paniculata, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) まつのきはだ·やまわら 〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ2米(6尺)許に達す。幼條は稜角を有し赤褐色なり。葉は極めて短き葉柄を有し、葉身は菱形又は菱狀倒卵形を呈し、兩端尖り先端は腺に終る。上下兩面の中肋上には細毛を布く。夏日莖上に花莖を抽出し、圓錐花序をなして多くの花を着生す。苞は細くして鑿形をなし、往々葉質となれるものあり。萼は小形にして5淺裂し、各裂片は三角形をなす。花冠は3深裂し、各裂片は線狀篦形をなし反轉す。雄蕊は6箇にして瓣片より短く、花柱は甚しく挺出して彎曲す。果實は蒴にして稍球形をなし、徑4·5糎(1·5分)許、3室を有す。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州各部·九州。

175 ほつつじ

176 はこねこめつつじ

2198. **ひろはほつつじ**…… シャクナゲ科
Tripetaleia paniculata, *Sieb.* et *Zucc.* var. barbinervis. *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、葉は圓形又は廣卵形を呈し、兩端尖り下面は葉脈に沿ふて白色の毬毛を生ぜり。〔分布〕本州中部。

2199. **みやまほつつじ**…… シャクナゲ科
Tripetaleia bracteata, *Maxim.*

(異名) はこつつじ 〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1米(3尺)餘に達し、分岐多し。葉は倒卵形にして先端圓形をなし、細毛緣を有す。花は莖頂に單總狀花序をなして着生し、苞は葉狀橢圓形、或は倒卵形を呈し小苞は各花に2箇を有し、葉狀となれることあり。萼は5深裂し、各裂片は綠色の披針形又は狹披針形をなす。花冠は3裂し、各裂片は反轉す。雄蕊6箇、花柱は甚しく挺出して彎曲せり。果實は蒴にして球形をなし、徑5-6粍(1·7-2分)許なり。〔花色〕帶綠黃白色又は帶紅綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

26. ハコネコメツツジ屬 TSUSIOPHYLLUM.

2200. **はこねこめつつじ**…… シャクナゲ科
Tsusiophyllum Tanakae, *Maxim.*

(異名) ちやうじつつじ 〔形態〕山地に自生する小灌木にして、高さ30-100糎(1-3尺)に過ぎず。伏臥性にして分岐極めて多し。葉は革質にして、廣倒披針形をなし、兩端尖りて長さ1糎(3分)内外、兩面は莖と共に褐色の毛茸を有す。花は短き花梗を有し1-3箇を簇生す。萼は5裂し各裂片は卵形にして鈍頭をなし、多くの毛茸を布く。花冠は長さ1糎(3分)許の筒形を呈し、内外に多くの毛あり。紋部は齊整に5裂し、各裂片は圓形をなし、平開す。雄蕊は5箇、花柱は1箇にして共に閉在す。果實はに蒴して3-5室を有す。〔花色〕白色或は淡紅色。〔花候〕7月。〔分布〕本州中部及南部·九州。

27. コケモモ屬 VACCINIUM.

2201. **こけもも** 越橘·溫普·山果兒…… シャクナゲ科
Vaccinium Vitis-Idaea, *L.* (33圖版-325)

(異名) いはもも·はまなし·おやまりんご·いはなし·ふじもも
〔形態〕高山に自生する矮小なる常綠灌木にして、地下部は長く地中を匐ひ、地上部は分枝多く直生或は斜上す。葉は短き葉柄を有し、葉身は革質にして長さ僅に1-1·3糎(3-4分)、倒卵形或は廣橢圓形をなし、先端は鈍凹、基脚は鈍或は楔形を呈し、邊緣反捲して細鋸齒あり、上面は滑澤にして皺紋を有し、下面は黑色を帶び斑點を散在す。夏日莖上に花莖を抽出し、總狀花序をなして數花を着生すれども皆花軸の偏側に生ず。苞は赤色鱗片狀をなし、各花に2箇の小苞を有す。花梗は幼條と共に細毛を密布す。萼は短鐘形をなし4裂し、各裂片は廣卵形鋭頭なり。花冠は鐘形をなし、長さ8粍(2·5分)許、外面有毛にして4淺裂し、各裂片は廣卵形を呈す。雄蕊は8箇を有し、花絲に毛を生じ、葯の基部には短毛を有す。花柱は長く花冠外に挺出す。果實は徑6-9粍(2-3分)許の漿果にして球形を呈し、熟して紅色となる。
〔花色〕帶紅色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州各部·九州·朝鮮·滿洲。

人生との關係 本植物の葉には「ヒドロヒノン」及び「ウルソン」と稱する成分を含有し、前者は解熱、防腐、消毒に、後者は利尿作用に效あり。故に膀胱疾患及急性「リウマチス」等に煎用して效ありといふ。果實は味甘酸にして生食又は漬物として賞用せらる。

2202. **なつはぜ**…… シャクナゲ科
Vaccinium Oldhami, *Miq.*

(異名) あきごろも 〔形態〕山地に自生する落葉灌木にして、高さ2米(6尺)に達す。幼條には腺毛を布く。葉は極めて短き葉柄を具へ、葉身は卵形又は廣倒卵形をなし、先端鋭く基脚は鈍にして、邊緣には先端腺に終れる細鋸齒を有す。花は今年の枝條の先端に、總狀花序をなして數箇を下垂す。萼は5裂し各裂片は3角形をなす。花冠は鐘形をなし5淺裂し、10箇の雄蕊を藏め、花絲は有毛にして葯に距を有せず。果實は漿果にして球形を呈し、熟して黑色となり、白き粉を附く。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州各部·九州。

人生との關係 果實を食用に供せらる。

2203. **しゃしゃんぼ**…… シャクナゲ科
Vaccinium bracteatum, *Thumb.*

〔形態〕山野に自生する常綠灌木にして、大なるは高さ3米(1丈)に餘るものあり。莖は分岐多く、葉は葉柄を有し、葉身は革質にして、卵形或は長橢圓形又は披針形をなし、兩端尖りて滑澤なり。花は前年の枝の葉腋より生ぜし總狀花序に多數を着生す。苞は卵形或は披針形を呈し、葉狀又は鱗片狀となり、往々花より超出せり。萼は短小にして花冠は細長く、筒狀壺形をなし、表面には有毛なるものと無毛なるものとあり。雄蕊は10箇にして花絲に毛を生じ、葯の基部には徵毛を有す。果實は漿果にして熟して紫黑色となり白粉を附く。〔花色〕紅白色。〔花候〕6月。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係 果實は食用に供せらる。

2204. **ながばしゃしゃんぼ**…… シャクナゲ科
Vaccinium bracteatum, *Thumb.* var. lanceolatum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして、葉は廣披針形或は披針形をなし、稍全邊なり。苞は小形、脫落性にして花冠の筒部は無毛なり。花托には毛茸を密布す。〔分布〕九州(屋久島·櫻島)。

2205. **くろうすご**…… シャクナゲ科
Vaccinium axilare, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして、高さ1米(3尺)許に達す。幼條は稜角を有し、稍4角形をなし無毛なり。葉は殆ど無柄にして葉身は倒卵形又は卵形を呈し、全緣なり。花は葉腋に1箇宛を生じ下垂せり。苞を有せず。萼は5裂し、各裂片は稍鋭頭をなし短し。花冠は壺形にして10箇の雄蕊を有

PL. 33.

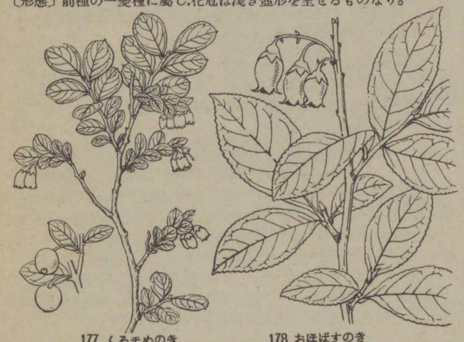
318 やまつつじ
319 もちつつじ
320 ばいくわつつじ
321 あかやしほ
322 れんげつつじ
323 くろふねつつじ
324 ねぞつつじ
325 こけもも
326 いはつつじ
327 ねぢき

し．花絲に毛茸を生ぜず。葯には2筒の突起を有す。果實は蒴果にして球形を呈し，徑1-2糎（4分）許下垂す。熟して碧黒色となる。〔花色〕綠白色。〔花候〕7月。〔分布　樺太・本州北部及中部。

人生との關係　果實は食用に供せらる。

2206. みやまくろうすご…… シャクナゲ科
Vaccinium axilare, *Nakai.* var. platyanthum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種に屬し，花冠は淺き壺形を呈せるものなり。



177 くろまめのき　178 おほばすのき

2207. **くろまめのき**…… シャクナゲ科
Vaccinium uliginosum, *L.*

（異名）たゞぐみ　〔形態〕高山の濕地に自生する小灌木にして，高さ3-6糎（1-2寸）に過ぎざれども，往々130糎（4尺）に達するものもあり。莖は分岐多く，幼條は無毛なり。葉は短き葉柄を有し，葉身は厚質にして倒卵形，楕圓形，又は圓形を呈し，鈍頭或は凹頭をなし基脚銳し，長さ1-2-2-4糎（4-8分）許，下面には稍短毛を有す。花は頂生にして2-4筒を簇生すれども往々1筒のことあり。萼は4裂，稀に5裂し，各裂片は3角形，或は廣卵形をなす。花冠は壺形を呈し2-4淺裂し，毛を有せず。雄蕊は10箇にして花絲及葯胞には粒狀突起を密布し，葯の背部には2箇の長き突起を生ず。果實は蒴果にして球形又は楕圓形をなし，熟して碧黒色白粉を附く。〔花色〕綠白色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太・千島・本州北部及中部。

人生との關係　果實は食用に供す。

2208. **おほばすのき**…… シャクナゲ科
Vaccinium Smallii, *A. Gray.*

〔形態〕高山に自生する小灌木にして，高さ1-1-5米（3-5尺）に達す。莖は多く分岐し，幼條には毛茸を2列す。葉は短き葉柄を具へ，葉身は楕圓形又は卵形をなし，長さ3-8糎（1-2-5寸）許にして，內曲せる細鋸齒緣を有し，兩面の主脈に毛茸を生ず。花は前年生じたる枝の先端に總狀花序に少數を着生す。苞は大形にして早落性なり。萼は無毛にして5淺裂し，雄蕊は10箇，花絲に細毛あり。果實は蒴果にして球形を呈し，熟して紅色となる。徑1糎（3分）許なり。〔花色〕帶紅白色或は綠白色。〔花候〕夏。

〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　果實は酸味に富めども食用に供し得。本種並にケナシスノキ，スノキ等の果實亦同樣なり。

2209. けなしすのき…… シャクナゲ科
Vaccinium Smallii, *A Gray.* var. glabrum, *Nakai.*

〔形態〕前種の一變種にして枝條，葉面等に毛茸を有せざるものなり。

〔分布〕邦內各地。

2210. すのき…… シャクナゲ科
Vaccinium Smallii, *A. Gray.* var. minus, *Nakai.*

〔形態〕オホバスノキの變種にして，枝條，葉面等に毛茸多く，葉，果實何れも母種より小形なり。〔分布〕本州各部・九州。

2211. うすのき…… シャクナゲ科
Vaccinium Usunoki, *Nakai.*

〔形態〕山地に自生する灌木にして，高さ1-1-3米（3-4尺）に過ぎず。莖は分岐多く，幼條には葉の兩側より下りし2條の細毛を布く。葉は短き葉柄を具へ，葉身は廣披針形又は廣倒卵形を呈し，先端は銳く基脚圓形をなし邊緣には內曲せる小鋸齒を有す。下面の脈上には毛茸を生ぜり。花は前年の枝の先端に總狀花序に2-3筒を下垂す。苞は早落性なり。萼は無毛にして5裂し，各裂片は廣3角形をなす。花冠は鐘狀を呈し5淺裂し，5筒の雄蕊を有し，花絲は有毛なり。果實は蒴果にして楕圓形をなし紅熟す。

〔花色〕淡紅色。〔花候〕4月。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

（附記）本植物の果實は頭部凹みて形狀臼に似たるを以て，ウスノキの和名を得たるものなり。

人生との關係　熟したる果實は味酸甘にして生食に適す。又之を搾り潰し砂糖を加へ「ジヤム」を作り，或は更に水を加へて「スープ」を製するに適す。

2212. けうすのき…… シャクナゲ科
Vaccinium lasiocarpum, *Nakai.*

（異名）かくみけうすのき　〔形態〕山地に自生する灌木にして，莖は分岐多く，幼條には毛茸を布く。葉は短き葉柄を具へ，葉身は楕圓形又は廣卵形をなし，兩面に毛茸を生じ特に中肋上に多し，邊緣に細鋸齒緣を有す。果實は枝の先端に1-2箇を着け，有毛の花梗を有し紅熟す。萼齒永存性にして，花托廣し。〔分布〕本州中部・四國。

2213. ひめうすのき…… シャクナゲ科
Vaccinium Yatabei, *Makino.*

（異名）あをぢくすのき　〔形態〕高山に自生する落葉小灌木にして，高さ30糎（1尺）を出でず。地下部の莖は長く，地上部のものは綠色にして稜角を有す。葉は短き葉柄を具へ，葉身は膜質にして，長さ5-15粍（1-5-5分）許，卵形或は圓狀卵形をなし銳頭，圓脚，邊緣に鋸齒を有し，腹上に粗毛を生ず。花は枝端に單生し，葉の未だ充分に開かざる時に開く。萼は5淺裂し各裂片齒狀をなす。花冠は球形にして5筒の雄蕊を有し，花絲は無毛なれども葯に2筒の突起を生ぜり。果實は蒴果にして紅熟す。〔花色〕綠白色。〔花候〕5-6月。〔分布〕本州北部及中部。

2214. **いはつつじ**…… シャクナゲ科
Vaccinium praestans, *Lamb.*（33圖版-326）

〔形態〕高山に自生する落葉小灌木にして，地下莖は長く地を曳き，地上莖は高さ15糎（5寸）許に過ぎず。葉は葉柄を有し，葉身は膜質にして圓形又は廣卵形を呈し，兩端尖り，細鋸齒緣を有す。葉脈多く邊緣並に下面の脈上に毛茸を生ず。花は枝端に1-3筒を簇生す。小苞は2筒を有し，往々腺毛と化せるものあり。萼は紅色。花冠は鐘形を呈し5淺裂す。花絲は多毛にして，葯の背部には微小の突起2筒を有す。果實は蒴果にして徑1糎（3分）許，紅熟す。〔花色〕紅色。〔花候〕7月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

人生との關係　果實は帶酸甘味にして生食することを得。

28. ネヂキ屬　XOLISMA.

2215. **ねぢき**　綟木…… シャクナゲ科
Xolisma elliptica, *Nakai.*（33圖版-327）

（異名）かしなしみ・かしをすみのき・めしつぶのき　〔形態〕山地に自生する喬木にして，高さ10米（3-3丈），幹の直徑33糎（1尺）に達するものあり。葉は有柄にして，葉身は紙質を呈し，卵形又は橢圓形をなし，先端著しく尖り，基脚は圓形或は心臟形にして全緣，長さ6-9糎（2-3寸）許なり。上面は無毛なれども下面は脈上に微毛を有す。初夏の候新梢上に長さ3-6糎（1-2寸）の總狀花序をなして多くの花を垂下す。苞は屢ば葉狀をなし，小苞を缺く。萼は小にして5裂し，各裂片は卵形又は三角狀披針形を呈し，永存性なり。花冠は筒狀をなし長さ8粍（2-5分）許，外面稍有毛にして先端5裂し，各裂片は短く外方に反捲す。雄蕊は10箇を有し閉在せり，葯には2箇の突起を存す。果實は蒴にして球形をなし5室を有す。徑6粍（2分）許なり。〔花色〕白色。〔花候〕5-6月。〔分布〕本州各部・四國・九州。

（附記）本植物は生長すれば樹幹綟ろいを以てネヂキの和名を得たり。

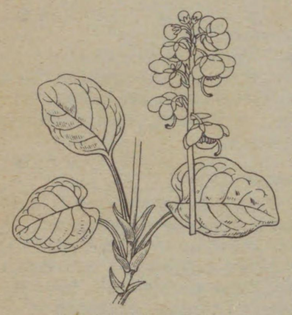
2216. うすばねぢき…… シャクナゲ科
Xolisma ovatifolia, *Rehd.*

（異名）せいばんねぢき　〔形態〕亞熱帶地方に自生する喬木にして高さ12米（4-0丈）に達するものあり。葉は稍々革質にして卵形又は卵狀長橢圓形を呈し，先端銳く基脚圓形をなし全緣なり。上下兩面とも無毛なるか又は脈上にのみ毛茸を有せるあり。花は總狀花序をなし葉腋より生じ基脚に葉狀苞又は少數の葉を伴ふ。萼裂片は三角狀披針形或は卵形をなし，花冠は長橢圓狀壺形を呈し，長さ1糎（3分）許にして少しく毛を有す。果實は蒴にして5粍（16分）許なり。〔分布〕臺灣。

*　*　*　*　*

2. いちやくさう（鹿蹄草）科 PIROLACEÆ.

本科の植物は多年生草本にして、常綠なるか又は苍白にして葉綠素を缺ける死物寄生なり。葉は散生、輪生又は鱗片狀にして互生し、托葉を缺く。



179 いちやくさう科の代表花

地下には塞に分枝せる根莖を有す。花は兩性にして整齊をなし、單立するか又は總狀花序、纖形花序等をなし頂生し、苞を有すれども小苞を缺く。萼片は4-5箇ありて永存性なり。花冠は其の基部合着すれども、他部は分裂して離瓣の如き狀をなし、4-5片を有す。雄蕊は其の數花冠の裂片に倍し子房の下位に着生し、花冠に附着せず。葯は附着物を具ふることなく、內向し、兩葯室は互に合着し、多くは橫裂、又は各1箇の頂生せる小孔によりて外開す。花粉は4箇合一せるか又は單一なり。雌蕊は4-5箇の結合せる心皮より成り、子房は上位にして4-5室を有し、各室には多數の微細なる倒生卵子を藏し、肉質の胎座の表面を覆ふ。果實は蒴にして胞背裂開をなし、微細なる多數の種子を藏す。種子は强き凝狀の種皮中に微細なる胚を具ふ。胚は少數の細胞より成り、子葉及幼軸を有し、胚乳は肉質なり。

本科の植物は北半球の北方に位せる針葉樹帶及常綠濶葉樹帶に廣く分布し、主として寒地の產なり。既知のもの凡そ10屬、30餘種あり。本邦には4屬、20種許を產す。

本科所載植物名目次

イウレイサウ……2219　キマガササウ……2217　スキシヤウラン……2219
イウレイタケ……2219　ギンリヤウササウ……2219　ヒトツバイチヤクサウ2224
イウレイバナ……2219　コイチヤクサウ……2227　ヒメイチヤクサウ……2229
イチゲイチヤクサウ…2231　コギンリヤウササウ……2220　ベニイチヤクサウ……2223
イチヤクサウ……2232　コバノイチヤクサウ…2238　ベニバナイチヤクサウ2223
ウメガササウ……2217　シヤクゲヤウササウ……2221　マルバノイチヤクサウ2225
エゾイチヤクサウ……2230　シヤクゲヤウバナ…2221　ミヤマコイチヤクサウ2230
オホウメガササウ……2218　ジンエフイチヤクサウ2226　ヤマイチヤクサウ……2227

1. ウメガササウ屬 CHIMAPHILA.

2217. うめがささう …… イチヤクサウ科
Chimaphila japonica, *Miq.* (34圖版-328)

（異名）きぬがささう　〔形態〕山林中の樹下を好で自生する亞灌木にして、高さ12-15糎（4-5寸）を出でず。葉は革質にして披針形をなし、先端尖り、基脚は圓形をなし、邊緣には銳鋸齒を有す。夏日花莖を抽出し、其の頂上に通常1箇の花を着生すれども、時に數箇を生じ、纖形花序をなすことあり。萼片は5箇にして卵形を呈し邊緣細裂す。花冠は5瓣を有し、廣橢圓形をなす。雄蕊は10箇を有し、葯の上端は2箇の小孔によりて開裂す。花絲は花柱と共に短く、柱頭は楔形をなす。果實は蒴にして球形をなし5室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州各部・九州・臺灣。

2218. おほうめがささう …… イチヤクサウ科
Chimaphila umbellata, *Nutt.* (34圖版-329)

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして、前種に似たれども大形なり。葉は通常3-6葉を2-3段に輪生し、短き葉柄を有す。葉身は革質にして披針形又は長橢圓狀倒卵形をなし、鈍頭、銳脚にして邊緣には銳鋸齒を有す。夏日花莖を抽出し、4-7箇の花を纖形或は纖房花序に綴る。花徑12-18糎（4-6分）許なり。〔花色〕白色又は赤色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道。

2. ギンリャウサウ屬 MONOTROPA.

2219. ぎんりゃうさう 水晶蘭・崖薑草　イチヤクサウ科
Monotropa uniflora, *L.* var. pentaphylla, *Makino.*

（異名）いうれいたけ・いうれいさう・すゐしやうらん・いうれいばな
〔形態〕山地の樹陰に自生する多年生の死物寄生植物にして、高さ18糎（6寸）に達するものあり。全株蠟質にして無毛、晶白を呈し、葉綠素を有せず。莖は分岐せず、葉は鱗片狀をなして互生す。花は頂生にして單立し、初めは點頭すれども後直生す。萼片は2-4箇を有し卵狀披針形、瓣片は5箇ありて筒形を呈し、基脚膨れて長さ約1·8糎（6分）許あり。雄蕊10箇、葯は腎臟形をなし橫裂す。花柱は短くして肥厚す。果實は蒴をなし廣橢圓形をなす。〔花色〕晶白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・九州・臺灣。

（附記）本植物は其の受精の狀態を生品の儘檢することを得。又之を藥品を以て固定し「プレパラート」とする時は重複受精の現象を觀察することを得るを以て植物學研究上重要なるものなり。

2220. こぎんりゃうさう …… イチヤクサウ科
Monotropa uniflora, *L.* var. tripetala, *Makino.*

〔形態〕前種の1變種に屬し、花冠は瓣片3箇を有するものなり。
〔分布〕本州各部。

2221. しゃくじゃうさう …… イチヤクサウ科
Monotropa hypopithys, *L.* var. hirsuta, *Roth.*

（異名）しゃくじゃうばな　〔形態〕山地の樹陰に自生する多年生の寄生植物にして、高さ10-13糎（3-4寸）許に達し、全株は淡褐色を呈し細毛を布く。花莖は多くの鱗片を有し、莖上には數箇の花を總狀花序をなして着生す。萼片は長橢圓狀筒形をなし、瓣片は圓形にして長き爪を有す。
〔花色〕淡褐黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州各部。

（附記）本植物は概形ギンリヤウサウに似たれども、全體淡褐黃色を呈すること、並に花は數箇を着生する等著しき相違點を有す。

3. イチヤクサウ屬 PIROLA.

2222. いちやくさう 一藥草・鹿蹄草・破血丹　イチヤクサウ科
Pirola japonica, *Sieb.*

〔形態〕山野の樹陰に自生する多年生草本にして、高さ30糎（1尺）を出でず。葉は莖頂に簇生し、約6糎（2寸）許、長き葉柄を具ふ。葉身は圓形又は廣卵形を呈し先端鈍く、基脚は圓形をなし、上面は深綠色にして脈理淡綠色をなし、龜甲紋狀を有し、下面は葉柄と共に暗褐紫色を帶ぶ。初夏の候葉間に花莖を抽くこと18-21糎（6-7寸）許にして數箇の花を着生し、總狀花序をなす。萼は5深裂し、各裂片は橢圓狀披針形をなし永存性なり。花冠亦5深裂し、各裂片は廣橢圓形をなし上面凹む。雄蕊10箇を有す。果實は蒴にして扁球形を呈す。〔花色〕黃白色。〔花候〕5-6月。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

180 ぎんりやうさう

181 しやくじやうばな

人生との關係　本植物の藥用成分に就ては未だ其の抽出報告を見ざれども民間にては古くより藥用に供せり。即ち本植物の全草を煎用すれば腳氣に効ありと稱せらる。又生葉を揉んで其の汁液を切創、或は毒蟲類の咬傷等に際し其の局部に塗布すれば止血、止痛に効ありとして用ひらる。

尙時に採集して庭園に培養し、或は鉢植として愛玩するに適す。此の際成るべく陽光を避くるの注意を要す。

2223. ぺにいちやくさう (34圖版-330)‥ イチヤクサウ科
Pirola rotundifolia, *L.* var. incarnata, *Dc.*

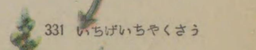
（異名）ぺにばないちやくさう　〔形態〕高山の陰地に自生する常綠の多年生草本にして、葉は短き葉柄を具へ、葉身は略圓形を呈し、稍全緣をなす。夏日葉間より多角狀の花莖を抽出し、總狀花序をなして少數の花を着生す。萼は5裂し、各裂片は披針形銳頭、花冠亦5裂して平開せり。雄蕊は10箇にして柱頭は5出す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・北部及中部。

PL. 34.

328 うめがささう

329 おほうめがささう

330 ぺにいちやくさう



331 いちげいちやくさう

332 じんねふいちやくさう

333 こばのいちやくさう

334 アメリカリヤウブ

335 いはかがみ

336 こいはかがみ

337 ひめいはかがみ

338 いはうちは

2224. ひとつばいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola rotundifolia, *L.* var. incarnata, *Dc.*
forma subaphylla, *Makino.*

〔形態〕前種の1變種に屬し、基脚には鱗狀の鞘苞のみありて披針形、笹形、或は菱形をなし、無葉なり。或は唯1葉を有し菱形、圓形又は廣橢圓形をなす。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

2225. まるばいちやくさう　天葵・紫背天葵　イチヤクサウ科
Pirola media, *Sw.*

〔形態〕山地に自生する常綠の多年生草本なり。葉は長き葉柄を具へ、葉身は革質にして圓形を呈し、邊緣鈍鋸齒をなす。夏日葉間より有稜の花莖を抽出し、多數の花を總狀に綴る。萼は5裂し、各裂片は卵狀披針形鋭頭なり。花冠亦5裂し、花柱は瓣片より長くして傾斜せり。〔花色〕白色にして瓣端稍紅色なり。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・九州。

2226. じんえふいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola renifofia, *Maxim.* (34圖版-332)

〔形態〕高山の喬木帶に自生する常綠の多年生草本にして、高さ10糎(3寸)に過ぎず。葉は長き葉柄を具へ、葉身は腎臟狀心臟形を呈し、鈍頭にして細鋸齒緣を有し光澤なし。夏日根出葉間より花莖を抽出し、總狀花序をなして數箇の花を散生す。萼は5裂し、各裂片は三角狀をなす。花冠亦5裂し、各裂片は倒卵形にして其の長さ略萼に4倍す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

(附記)　本植物の和名は「腎葉」の意にして葉形より名づけられしものなり

2227. こいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola secunda, *L.* var. vulgaris, *Herd.*

(異名) やまいちやくさう　〔形態〕高山に自生する常綠の多年生草本なり。葉は小形膜質にして、卵形をなし先端尖り、鋸齒緣を有し根生す。初秋の頃花莖を抽出し、花は常に1側にのみ着生したる總狀花序をなす。萼は5裂し、各裂片は短くして先端稍鈍なり。花冠亦5裂し、各瓣片は長橢圓形をなす。花柱は長くして花冠外に挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕8月。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

2228. こばのいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola maximowicziana, *Makino.* (34圖版-333)

〔形態〕山地樹陰下に自生する常綠の多年生草本にして、高さ2糎(6寸)に過ぎず。葉は長柄を有し長さ3糎(1寸)許、葉身は膜質を呈し、廣橢圓形をなし細鋸齒緣を有す。夏日莖を抽出し、總狀花序をなして數箇の小花を疎生す。苞は鑿形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

2229. ひめいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola denticulata, *Koidz.*

〔形態〕寒地に自生する常綠の多年生草本にして、高さ12糎(4寸)に過ぎず。全株無毛種に屬し、基脚に多數の鱗狀苞を有す。葉は革質にして廣橢圓形又は廣橢圓狀圓形をなし、邊緣には細鋸齒を疎に有す。夏日1莖を抽出し、1-2箇の小花を點頭す。萼裂片は倒卵形をなし、花柱は花冠外に挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

2230. みやまこいちやくさう …… イチヤクサウ科
pirola alpina, *H. Andres.*

〔形態〕高山に自生する常綠の多年生草本にして、高さ18糎(6寸)を出でず。葉は葉柄を有し、葉身は廣卵形又は圓形をなし、長さ略葉柄に同じく、邊緣は波狀を呈せるか或は齒牙狀鋸齒をなし、流れて葉柄に至り狹き翼狀をなす。夏日花莖を抽出し、1-5箇の小花を着け總狀花序をなす。萼片は短き三角形をなし、花冠は鐘形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

2231. いちげいちやくさう …… イチヤクサウ科
Pirola uniflora, *L.* (34圖版-331)

〔形態〕寒地に自生する常綠の多年生草本にして、高さ9糎(3寸)に過ぎず。葉は長き葉柄を有し、葉身は膜質圓形にして、葉脈多く、邊緣に鋸齒を有す。夏日花莖を抽出し、1箇の花を着く。萼は花冠と共に5深裂し、各裂は片圓形をなす。雄蕊は10箇なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

*　*　*　*　*

3. りゃうぶ(令法)科 CETHRACEÆ.

本科の植物は灌木或は小喬木にして、葉は互生し托葉を有せず。花は兩性にして整齊、花序は總狀又は複總狀をなし、苞は小にして脫落性なり。萼は5深裂し、基部に於て相重り、永存性なり。花冠は離瓣にして5箇の花瓣より成り脫落性なり。雄蕊は10箇ありて2列をなし、雌蕊の下部に着生す。雌蕊は3箇の結合せる心皮よりなり花柱は長くして3箇の柱頭を有す。子房は上位にして3凹線及3室を有し、中軸胎座をなすか、又は頂端より無數の卵子を生ず。果實は蒴にして3瓣片に裂開す種子は三角形又は球形をなし、胚乳を有す。

182 りやうぶ

本科には凡そ1屬、30種を含み、熱帶及亞熱帶地方に分布す。本邦には野生品及栽培品を合せ1屬、2種を産するに過ぎず。

1. リャウブ屬 CLETHRA.

2232. りゃやぶ 令法 …… リャウブ科
Clethra barbinerbis, *Sieb.* et *Zucc.*

(異名) さるだめし・はたつもり・はたつまり・れうぼう・れうほ・うまつつじ・へうぶ・きやうぶ・りやうぼう・よぼ・うらざくら・びようぶな・じよばな　〔形態〕山地に自生する落葉小喬木にして、大なるは高さ10米(3丈)、幹の直徑30糎(1尺)以上に及ぶものあり。樹皮は滑にして舊皮は次第に脫落し、幼條には赤褐色の星狀毛を存す。葉は有柄にして、葉身は橢圓形或は倒披針形を呈し先端銳く、基脚稍圓形をなし、邊緣には鋸齒を有し兩面に星狀毛を布く。夏日幼條の先端に花穗を抽出し、總狀又は圓錐の花序をなし、多數の花を着生し、花軸には白色又は褐色の星狀毛を密布す。小梗は花と同長にして萼と共に星狀毛あり。苞は小形をなし、萼片5箇ありて、卵形を呈す。花冠は5裂し、各瓣片は長橢圓形、凹頭をなし長さ6粍(2分)に過ぎず。雄蕊は10箇を有す。果實は蒴にして徑5粍(1·5分)許、球形をなし3室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕6-7月。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

人生との關係　春日其嫩葉を摘取し蒸して食す。昔時は乾燥して蓄へ荒救に備へしといふ。之を飯に交ぜて炊きしものを令法飯と言ふ。又茹でて煮若しくは浸物として食するもよし。之は寄生蟲驅除に効あれども、多きに過ぐれば下痢を起す恐あり、注意を要す。

2233. アメリカリャウブ …… リャウブ科
Clethra almifolia, L. (34圖版-334)

〔形態〕觀賞用として庭園に栽培せらるゝ灌木なり。葉は短き葉柄を有し、葉身は長さ5-10糎(1·5-3寸)許にして、前種より小なり。倒卵形又は長橢圓形をなし兩端尖り、邊緣には銳鋸齒を有し、上面は無毛なれども、下面には星狀毛を密布す。花は大形にして幼條の先端に生じたる總狀又は圓錐狀花序をなして多數着生し、花梗に毛を有せず。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔原産地〕北亞米利加。

*　*　*　*　*

イハウメ群

1. いはうめ(岩梅)科 DIAPENSIACEÆ.

本科の植物は低き多年生草本又は常綠の半灌木なり。全體平滑にして葉は單葉をなし、托葉を缺き互生す。花は兩性にして2箇の小苞を有し、單生又は總狀花序をなし整齊なり。萼は5箇に深裂し又は分離せる裂片より成り、宿存性なり。花盤を缺く。花冠は鐘狀又は輻狀をなし殆ど全く分離せる5箇の裂片よりなり脫落性なり。雄蕊は5又は10箇を有し、5箇は大なれども、他の5箇は小形にして不完全なり。何れも花冠の咽喉部又は其の基部に着生す。葯は花絲と直角をなし縱裂す。雌蕊は1箇にして花柱は單一、柱頭は頭狀をなし3淺裂す。子房は上位にして3箇の心皮より成り、深き3條の溝を有し3室を具へ、多數の卵子ありて中軸胎座をなす。果實は蒴にして3室を有し胞背裂開により3裂す。種子は肉質の胚乳と微細なる胚とを有し子葉頗る短小なり。

花冠の縱斷面圖

183 いはうめ

本植物は北半球の寒帶及溫帶地方の高山に生ずるものにして既知のもの6屬、12種に過ぎず。我國には2屬、5種及數箇の變種を產す。

本科所載植物名目次

イハウチハ……2240　コイハカガミ……2236　ヒメイハカガミ……2237
イハウメ……2234　シマイハウチハ……2239　フキヅメサウ……2274
イハカガミ……2235　シマイハカガミ……2239　ヤマトウチハ……2235
オホイハカガミ……2238　トクソガサウ……2240

1. イハウメ屬 DIAPENSIA.

2234. **いはうめ** 岩梅 ……イハウメ科
Diapensia obobata, *Nakai.*

(異名) ふきづめさう　〔形態〕高山に自生する匍匐性の常綠小灌木にして、高さ6糎(2寸)に過ぎず、分岐多く枝は斜上し、全株無毛種に屬す。葉は密生して倒卵狀楔形を呈し、葉質厚く、網狀脈を有せるあり、又は側脈のみのものもあり。圓頭、狹脚をなす。夏日莖頂叢葉間より花梗を抽出し、1花を頂生す。2-3箇の橢圓形綠色をなせる苞を伴ふ。萼片は5箇を有し、廣卵形、鈍頭にして瓦列し宿存性なり。花冠は鐘形を呈し、5深裂して平開し、各裂片は圓形なり。雄蕊は5箇を有し、花絲は花冠の筒部に着生し、葯は短し、果實は蒴にして球形をなし3室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

2. イハカガミ屬 SHORTIA.

2235. **いはかがみ** ……(34圖版-335)……イハウメ科
Shortia soldanelloides, *Makino.* var. genuina, *Makino.*

(異名) やまとうちは　〔形態〕深山の陰地に自生する常綠の多年生草本にして、地下部の莖は橫走す。葉は根生にして簇出し、長き葉柄を具へ、葉身は革質をなし、徑6糎(2寸)許、圓形或は卵狀圓形にして、基脚は圓形又は心臟形を呈し鈍齒牙緣をなし、上面滑澤なり。初夏の候葉間に1莖を抽くこと9-30糎(0·3-1尺)に達し、總狀花序をなして數箇の美花を着生し鱗狀苞2-3箇を伴ふ。萼片は長橢圓形をなし、花冠は筒狀鐘形にして5淺裂し、各裂片は更に細裂せり。雄蕊は10箇を有して花冠に着生し、其の內5箇は退化せり葯は短小、花柱は單一、柱頭は隆起す。果實は蒴にして球形を呈す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

2236. **こいはかがみ** ……イハウメ科
Shortia soldanelloides, *Makino.* (34圖版-336)

〔形態〕高山に自生する常綠の多年生草本にして、概形イハカガミに酷似すれども、全形彼に比し稍小なるのみならず、葉緣の鋸齒顯著ならざるを異なりとす。〔花色〕紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

2237. **ひめいはかがみ** ……(34圖版-337)……イハウメ科
Shortia soldanelloides, *Makino.* var. ilicifolia, *Makino.*

〔形態〕高山に自生しイハカガミに類似すれども、全體細長にして葉は小さく、卵狀圓形或は橢圓狀圓形を呈し、邊緣の鋸齒は疎にして大なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部。

2238. **おほいはかがみ** ……イハウメ科
Shortia soldanelloides, *Makino.* var. magna, *Makino.*

〔形態〕山地並に丘陵等に自生し、概形イハカガミに似たれども、葉は甚だ大にして長さ10糎(3寸)餘に達し、花は屢ば圓錐花序をなす。〔花色〕淡紅色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

2239. **しまいはかがみ** ……イハウメ科
Shortia rotundifolia, *Makino.*

(異名) しまいはうちは　〔形態〕屢地に自生する常綠多年生草本なり。葉は薄質にして圓形或は圓狀橢圓形を呈し、稍截頭をなし邊緣には波狀齒牙を有す。花莖は1箇の花を頂生し頭狀をなす。〔分布〕琉球。

2240. **いはうちは** 岩團扇 ……イハウメ科
Shortia uniflora, *Maxim.* (34圖版-338)

(異名) とくわかさう　〔形態〕深山の谷地を好んで自生する常綠多年生草本にして、根莖は長く橫走す。葉は長き葉柄を具へ、數箇を輪生す。葉身は心臟形又は圓形をなし、革質にして先端凹み、基脚は稍圓形を呈し、波狀の鈍齒牙緣を有す。上面滑澤なり。春日長き花梗を腋出し、1花を頂生す。萼片は5箇にして廣卵形をなし、稍同形の小苞3-5を伴ふ。花冠は鐘形を呈し5裂し、各裂片は鈍齒牙緣を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春。〔分布〕本州北部及中部。

*　*　*　*　*

第三卷總索引

ア

アキナヘ……91
アヲカモメヅル……71
アヲクルマバナ……6
アヲゲムラサキ……38
アヲジソ……22
アヲソ……22
アヲダモ……95
アヲヂクスノキ……151
アヲツリガネツツジ……139
アヲノツガザクラ……140
アヲバナジラミ……114
アヲバノキ……107
アヲマツリ……114
アヲヤマジソ……21
アカギツツジ……147
アカダマノキ……129
アカツツジ……145
アカテツ……113
アカテツ科……113
アカノキキヤウツツジ……147
アカハゼ……76
アカマツリ……114
アカミノクマコケモモ……134
アカモノ……134
アカヤシホ……147
アキギリ……20
アキゴロモ……148
アキチヤウジ……25
アキノタムラサウ……26
アクシバ……135
アケボノサウ……88
アケボノツツジ……146
アケヤシホ……147
アサガホ……65
アサガホカラクサ……63
アサガホナ……64
アサガラ……103
アサザ……87
アサマリンダウ……84
アシタカジヤカウサウ……6
アゼコシ……14
アセバ……140
アセビ……140
アフギカヅラ……2
アフヒカヅラ……60
アフヒゴケ……63
アブアツツジ……139
アフリカエリカ……135
アマクサギ……39
アマダホシ……60
アマバアサガホ……64
アママツバ……56
アマミアケボノサウ……83
アメリカアサガホ……69
アメリカアサガラ……103
アメリカイモ……63
アメリカリヤウブ……155
アラゲアヲダモ……95
アリアケカヅラ……76
アリタサウ……21
アルカンナ……44
アシソクカウ……103
アンニヤモンニヤ……91

イ

イウレイサウ……152
イウレイタケ……152
イウレイバナ……152
イガザクラ……56
イガニガクサ……10
イケマ……70
イスノキ……104
イスバンサルビヤ……30
イソツツジ……136
イソハナビ……114
イソマツ……114
イソマツ科……114
イタチグサ……92
イタチジソ……10
イタチハゼ……92
イチゲイチヤクサウ……155
イチゲザクラ……122
イチバンツツジ……141
イチヤクサウ……152
イチヤクサウ科……152
イヅセンリヤウ……130
イトカケサウ……9
イヌエ……22
イヌカウジユ……18
イヌゴマ……33
イヌジソ……21
イヌジユンサイ……87
イヌシロソケイ……96
イヌセンブリ……88
イヌチヨロギ……34
イヌツツジ……147
イヌハカカ……21
イヌヒキオコシ……25
イヌヒキオコシ……30
イヌムラサキ……51
イヌヤマハクカ……25
イハイチブ……83
イハウチハ……156
イハウメ……156
イハウメ科……156
イハカガミ……156
イハカガミダマシ……126
イハキコザクラ……126
イハザクラ……125
イハダレサウ……40
イハヂシヤ……5
イハツツジ……151
イハツバキ……135
イハツバキ……136
イハナガヒゲ……134
イハナシ……135
イハナシ……148
イハナンテン……136
イハハゼ……134
イハヒゲ……134
イハムラサキ……48
イハムラサキ……51
イハモモ……148
イブキジヤカウサウ……37
イボタ……96
イボタクサギ……39
イボタノキ……96
イボタラフ……96
イボトリ……96
イボノキ……96
イヨカヅラ……71
イワウサウ……121
インドソケイ……79
インドマツリ……114

ウ

ウシノシタグサ……47
ウシノソウメン……60
ウスアカリンダウ……84
ウスギシヤクナゲ……141
ウスギナツノタムラサウ……26
ウスギモクセイ……99
ウスノキ……151
ウスバネヂキ……151
ウチハルカウ……69
ウヅタツナミ……30
ウツボグサ……5
ウヅラキランサウ……2
ウバガネモチ……130
ウマクハズ……140
ウマツツジ……147
ウマツツジ……155
ウミミドリ……118
ウメガササウ……152
ウライヲドリコサウ……13
ウラザクラ……155
ウラシマツツジ……134
ウラジロエゴノキ……103
ウラジロクリンザクラ……122
ウラジロハナヒリノキ……136
ウラジロフヂウツギ……88
ウラジロヤウラク……139
ウラジロレンゲツツジ……147
ウルキ……2
ウルヒ……2
ウンゼンツツジ……145

エ・ヱ

エ……22
エイバブシ……51
エゴノキ……103
エゴノキ科……100
エゴハンノキ……100
エゴマ……22
エゾイソツツジ……135
エゾイヌゴマ……34
エゾオニルリサウ……47
エゾヲノヘリンダウ……84
エゾクルマバナ……6
エゾコザクラ……126
エゾコシロネ……14
エゾシヤクナゲ……136
エゾシヤクナゲ……141
エゾシロネ……14
エゾタツナミサウ……33
エゾツツジ……148
エゾニガクサ……37
エゾノナミキサウ……33
エゾミソガハサウ……21
エゾムラサキ……51
エゾムラサキツツジ……146
エゾリンダウ……84
エヤミグサ……83
エンシウニシキサウ……2
エンシウシヤクナゲ……141
エンメイサウ……25

オ・ヲ

ヲカトラノヲ……118
オキナハシタキヅル……75
オクヤマリンダウ……84
オコリオトシ……83
オシヤクナゲ……141
オトメザクラ……125
オトメサルビヤ……30

第三卷總索引

ヲドリコサウ……10
ヲドリサウ……10
ヲナガシ……103
オニサルビヤ……30
オニシバ……99
オニツツジ……147
オニノメツツキ……99
オニヒラギ……99
オニヤブムラサキ……38
オニルリサウ……47
ヲノヘリンダウ……84
オホアカヅラ……103
オホイハカガミ……156
オホウメガササウ……152
オホガメノキ……103
オホカモメヅル……75
オホキセワタ……25
オホコメツツジ……146
オホサカキカヅラ……76
オホサクラサウ……122
オホシキントウ……76
オホシダ……95
オホジフニヒトヘ……13
オホシロシキブ……38
オホツガザクラ……140
オホツガマツ……140
オホツマトリサウ……129
オホツルカウジ……130
オホツルガシハ……71
オホトネリコ……92
オホナミキサウ……33
オホニンジンボク……44
オホバアカヅラ……103
オホバアカテツ……113
オホバアサガラ……103
オホバイボタ……96
オホバイボタノキ……96
オホバキセワタ……25
オホバクロテツ……143
オホバスノキ……151
オホバヂシヤ……103
オホバチシヤノキ……48
オホバナアリアケカヅラ……76
オホバナクリンザクラ……122
オホバナケフチクタウ……79
オホバナノカモメヅル……75
オホバナベニサルビヤ……30
オホバハマクサギ……43
オホハマカンザシ……114
オホハマボツス……121
オホバマンリヤウ……129
オホバミヅトラノヲ……9
オホバモクセイ……99
オホバヤマハンカ……25
オホハリサウ……52
オホヒキオコシ……26
オホヒルガホ……60
オホマンリヤウ……129
オホミネコザクラ……125
オホムラサキ……141
オホムラサキシキブ……38
オホヤマジソ……21
オホリウキウ……141
オホルリサウ……47
オヤマリンゴ……148
オヤマリンダウ……84
オランダジソ……22
オランダハクカ……18
オレイフ……99

カ

カウジ……129
カウスキハクカ……17
カウスキボク……43
カウチムラサキ……35
カウライジソ……22
ガガイモ……72
ガガブタ……87
カガリビサウ……118
カガリビバナ……118
カ　キ……107
カキ科……107
カキドホシ……21
カキノキダマシ……48
ガクアサガホ……64
カクミケウスノキ……151
カコサウ……5
カシヲシミ……151
カスヲスミミノキ……151
カシハラン……130
ガジヤンギ……39
カシラン……130
カスミグサ……13
カタメンジソ……22
カツコサウ……125
カハカミカヅラ……72
カハバサウ……25
カハミドリ……1
カハラケナ……52
カハリバアサガホ……65
カハリバニンジンボク……44
カヒガラサルビヤ……18
カヒジンドウ……2
カブラバノサルビヤ……29
カボチヤアサガホ……69
カミバハキ……22
カメバサウ……55
カメバヒキオコシ……25
カモメヅル……71
カヤリグサ……37
カライモ……63
カラウバガネ……130
カラスノヒルヅル……71
カラタチバナ……129
カラフトナミキサウ……33
カラフトヒメシヤクナゲ……133
カラムラサキツツジ……142
カラユキヤナギ……92
ガランピクサギ……39
ガリガネサウ……39
カンキリグサ……21
カンザクラ……122
カンザブラウノキ……107
カントリグサ……21
カントリサウ……21

キ

キウリグサ……52
キウリナ……52
キキヤウツツジ……147
キキヤウナデシコ……56
キキヤウペチユニヤ……56
キクアサガホ……65
キクバジフニヒトヘ……2
キジヨラン……72
キセワタ……13
キソケイ……95
キソザクラ……125
キダチスナビキ……52
キダチハクカ……6
キダチヒヤクリカウ……37
キダチルリサウ……48
キツツジ……147
キヌガササウ……152
キバナケフチクタウ……79
キバナシヤクナゲ……141
キバナノクルリンザクラ……122
キバナノクルマバナ……10
キバナハマクサギ……43
キバナルリサウ……47
キモンネズミモチ……96
キヤウブ……155
ギヨリウモドキ……134
キランサウ……2
キランニシキゴロモ……5
キリシマ……142
キリシマツツジ……142
キリツボ……25
キレザキサクラサウ……122
キレヾゲ……147
キレンゲツツジ……147
ギンツクバネ……99
キンバイ……95
キンモクセイ……99
ギンモクセイ……99
キンモンサウ……2
キンランジソ……6
ギンリヤウサウ……152
ギンレイクワ……121
ギンレイサウ……121

ク

クサギ……39
クサギリ……39
クサケフチクタウ……56
クサダチイケマ……71
クサタチバナ……70
クサメノキ……136
クサレダマ……121
クスクスカウジ……129
グツタペルカノキ……113
クマコケモモ……134
クマツヅラ……43
クマツヅラ科……37
クラリンダウ……40
クリンサウ……122
クリンザクラ……122
クルマツツジ……147
クルマバナ……6
クルマバヤマハクカ……25
クルメツツジ……122
クレリー……30
クロウスゴ……148
クロギ……104
クロテツ……113
クロバナカモヌヅル……71
クロバナヒキオコシ……25
クロバナロクオンサウ……71
クロバヒ……104
クロフネツツジ……147
クロベンケイ……71
クロマメノキ……151
クワエンキセワタ……13
クワクカウサウ……34
クワクカウチヨロギ……34
グンバイヒルガホ……64

ケ

ケアクシバ……135
ケアケボノ……147
ケアサガラ……103
ケイガイ……21

第三卷總索引

ケウスノキ……151
ケオホバイボタノキ……96
ケガキ……110
ケサヤバナ……6
ケシヤウサルビヤ……29
ケシロネ……14
ケテイクワカヅラ……80
ケナシスノキ……151
ケナシツルカコサウ……5
ケナツノタムラサウ……26
ケニゴシ……65
ケネヅミモチ……96
ケハクカ……18
ケフチクタウ……79
ケフチクタウ科……76
ケムラサキ……38
ゲンカイツツジ……142
ゲンチヤナ……87
ゲンペイクサギ……40

コ

コアキチヤウジ……26
コアケボノサウ……88
コアブラツツジ……139
コイケマ……70
コイチヤクサウ……155
コイハカガミ……156
コイハザクラ……125
コウシユンクサギ……39
コウタウカンザブラウ……107
コウトウハヒノキ……107
コウラジロエゴノキ……103
コウワウクワ……40
ゴエフツツジ……147
ゴエフヒルガホ……65
コガネバナ……33
コガネヤナギ……33
コカモメヅル……75
コギンリヤウサウ……152
コケモモ……148
コケリンダウ……87
コゴメスナビキサウ……48
コシロネ……14
コツガザクラ……140
コツマトリサウ……129
コトヂサウ……29
コナガヤブチヨロギ……34
コナスビ……121
コナミキ……33
コニガクサ……34
コハクウンボク……104
コバクサギ……37
コハゼノキ……103
コバタゴ……92
コバチ……95
コバナアリアケカヅラ……76
コバノイソツツジ……136
コバノイチヤクサウ……155
コバノオレイフ……99
コバノカモメヅル……75
コバノコウワウクワ……40
コバノシチヘンゲ……40
コバノタツナミサウ……30
コバノトネリコ……95
コバノモミヂアサガホ……65
コバノヤブムラサキ……38
コバノランタナ……40
コバムラサキシキブ……38
コヒルガホ……60
コフヂウツギ……88
コベニドウダン……136
コマガタケアケボノサウ……88
コマトドメ……26
コミヤマリンダウ……87
ゴムカヅラ……76
ゴムカヅラモドキ……76
コメゴメ……38
コメツガザクラ……133
コメツツジ……146
コメミヅ……103
コヤウラクツツジ……139
コリンサウ……9

サ

サイクラメン……118
サカキカヅラ……76
サクラキリシマ……145
サクラサウ……121
サクラサウ科……117
サクラツツジ……145
サクララン……72
ササキツツジ……142
ササリンダウ……83
サツキ……142
サツマイモ……63
サツマモクセイ……99
ザトウノツエ……103
サハテラシ……141
サハトラノヲ……118
サハフタギ……107
サハルリサウ……47
サヤバナ……6
サラサドウダン……136
サルダヒコ……14
サルダメシ……155
サルビヤ……29
サンイウクワ……79
サンガイグサ……13
サンゴサウ……51
サンシキヒルガホ……60
サンセウモドキ……130
サンダンクワ……40

シ

ジイナモ……34
ジウロクサギ……39
シエル・フラワー……18
シカクハズ……140
ジーキ……113
シキザクラ……43
シキントウ……76
シクラメン……118
シコクカツコサウ……125
シシアクチ……130
シシクハズ……147
シソ……22
シソバタツナミ……30
シタキサウ……75
シチヘンゲ……40
シナセンリヤウ……130
シナノガキ……110
シナノコザクラ……125
シナハシドイ……99
シノノメサウ……58
ジフニヒトヘ……2
ジフネン……23
シホカゼサウ……70
シホジ……95
シホハコベ……118
シホマツバ……118
シマイケマ……72
シマイヅセンリヤウ……130
シマイハウチハ……156
シマイハカガミ……156
シマイモ……63
シマエゴノキ……103
シマカコサウ……5
シマキランサウ……5
シマセンブリ……83
シマタイミンタチバナ……130
シマタゴ……95
シマナガジラミ……114
シマヒギリ……40
シマヤマフヂウツギ……88
シマワシグサ……114
シモバシラ……10
ジヤカウサウ……5
シヤクジヤウサウ……152
シヤクジヤウバナ……152
シヤクナギ……140
シヤクナゲ……140
シヤクナゲ科……133
シヤクナン……140
シヤクナンゲ……140
シヤシヤンボ……148
ジヤノメエリカ……135
ジユランカヅラ……40
ショウラウクサギ……39
ジヨバナ……155
シラゲクサギ……39
シラゲメバハギ……22
シラタマノキ……135
シラユキエリカ……135
シルホウギ……44
シロウマリンダウ……84
シロキリシマ……145
シロサハフタギ……107
シロシキブ……38
シロジソ……22
シロソ……22
シロソケイ……96
シロドウダン……136
シロネ……14
シロバナイヌカウジユ……18
シロバナウツボグサ……5
シロバナウンゼンツツジ……146
シロバナエゾコザクラ……126
シロバナカハミドリ……1
シロバナカモメヅル……75
シロバナゲンカイツツジ……142
シロバナシヤクナゲ……141
シロバナツルソケイ……96
シロバナナンキンコザクラ……126
シロバナノアキチヤウジ……25
シロバナノミチノクコザクラ……126
シロバナヒメシヤクナゲ……133
シロバナヒルガホ……60
シロバナフウリンツツジ……136
シロバナヤマジソ……21
シロバナユフガホ……59
シロバヒ……104
シロフウリンツツジ……136
シロマラフクラギ……52
シロミノサハフタギ……107
シロモノ……135
シロヤシホ……147
シロヤマツツジ……145
シロライラツク……100
シロリウキウツツジ……141
ジンエフイチヤクサウ……155
シンケイ科……1

シンソケイ……95
ジンドウサウ……2

ス

スキシヤウラン……152
スウキト・ベルガモツト……18
スカレツト・セージ……30
スズカウジユ……25
スズカウジユ……33
スズサイコ……72
スズメノヲゴケ……71
スター・フロツクス……56
ストリキニーネノキ……91
ストロフアンツス……79
スナビキサウ……52
スノキ……151
スワウボク……99

セ

セイガイツツジ……145
セイシクワ……141
セイスキサウ……9
セイヤウイヌゴマ……34
セイヤウケウチクタウ……79
セイヤウサクラサウ……122
セイヤウサンダンクワ……40
セイヤウトネリコ……92
セイヤウナミキサウ……33
セイヤウニンジンボク……44
セイヤウヒルガホ……60
セイヤウヤマハクカ……17
セイラン……9
セイロンマツリ……114
セキダカヅラ……80
セイジ……29
センサウ……18
センタウリウム……83
センブリ……87
センリカウ……37

ソ

ソケイ……95
ソゲキ……130
ソメシバ……104

タ

ダイハナイバナ……47
タイマツバナ……18
タイミンタチバナ……130
タイリンアリアケカヅラ……76
タイワンアサガホ……65
タイワンイボタ……95
タイワンエゴノキ……103
タイワンガキ……112
タイワンカハミドリ……2
タイワンシロシキブ……38
タイワンシロネ……14
タイワンセンリヤウ……130
タイワンソケイ……96
タイワンチシヤノキ……48
タイワンナギナタカウジユ……9
タイワンニンジンボク……44
タイワンハクカ……18
タイワンハナハクカ……22
タイワンヒメジソ……21
タイワンメバハギ……22
タイワンレンゲウ……40
タウアサガホ……59
タウイモ……63
タウギリ……40
タウツツジ……142
タウナスビ……59
タウネヅミモチ……99
タウフヂウツギ……91
タウヤク……87
タウヤクリンダウ……84
ダウリヤウツツジ……146
タウワタ……70
タウワタ科……70
タカヲカサウ……51
タカクマヒキオコシ……25
タカサゴクロガキ……110
タカサゴタムラサウ……29
タカサゴチシヤノキ……48
タカサゴハナイバナ……47
タカネジヤカウサウ……6
タガヤサン……40
タケグミ……151
タココン……113
タジマタムラサウ……29
タチガシハ……71
タチカメバサウ……55
タチカモメヅル……71
タチキランサウ……2
タチジヤカウサウ……37
タチバナ……129
タチホロギク……55
タチムシヤリンダウ……9
ダツタンハマサジ……117
タツナミサウ……30
タツノイグサ……83
タテヤマウツボグサ……5
タテヤマカモメヅル……71
タテヤマリンダウ……87
タニジヤカウサウ……6
タビラコ……52
タフバナ……6
タマザキウラガヘリバナ……10
タマツバキ……96
ダモ……95
ダンギグ……39
タンナサハフタギ……107

チ

チークノキ……43
チクマハクカ……21
ヂゴクノカマノフタ……2
チサノキ……103
チシマヲドリコ……10
チシマザクラ……118
チシマセンブリ……88
チシマリンダウ……84
チシマルリサウ……51
チシヤノキ……48
チシヤノキ……103
チヂミジソ……22
チムカデ……135
チームサウ……31
チヤウジカヅラ……80
チヤウジサウ……76
チヤウジツツジ……148
チヤウジナスビ……59
チヤウメ……103
チヤボナミキ……33
チヤボリンダウ……84
チユウクワザクラサウ……122
チヨナ……34
チヨロウギ……34
チヨロウク……34
チヨロギ……34
チヨロギダマシ……33
チリメンアヲジソ……22
チリメンジソ……22
チリメンハクカ……18

ツ

ツガザクラ……140
ツガマツ……140
ツクシシヤクナゲ……141
シクシトネリコ……92
ツクシリンダウ……84
ツクバカガリビバナ……118
ツクバキンモンサウ……2
ツツジ……145
ツベタギ……107
ツマトリサウ……129
ツリガネツツジ……139
ツルイヌチヨロギ……34
ツルウツボ……37
ツルカウジ……130
ツルカコサウ……5
ツルガシハ……71
ツルカメバサウ……55
ツルギキヤウ……80
ツルコケモモ……139
ツルコベア……56
ツルジンドウ……2
ツルナシアサガホ……65
ツルニガクサ……34
ツルニチニチクワ……80
ツルニチニチサウ……80
ツルマツリ……95
ツルマンリヤウ……129
ツルモウリンクワ……75
ツルリンダウ……83
ツルワタ……70

テ

テイイール……13
テイクワカヅラ……80
テウセンイヌゴマ……34
テウセンコケモモ……131
テウセンジソ……22
テウセンセキダカヅラ……80
テウセンヤマツツジ……146
テウセンレンゲウ……92
テガタアサガホ……65
テラツバキ……96
テンニンサウ……9

ト

トウガウイソマツ……114
トウガウサウ……114
ドウダンツツジ……134
トキハガキ……110
トキハザクラ……125
トキハツツジ……146
トクワカサウ……156
トサカモメヅル……75
トサザクラ……125
トサノミツバツツジ……147
トサルリサウ……47
ドスナラ……99
トチシバ……104
トネリコ……92
トラノヲ……118
トラノヲジソ……22
トンビグサ……13

ナ

ナガバイヅセンリヤウ……130
ナガバカモメヅル……71
ナガバシヤシヤンボ……148
ナガバタツナミサウ……30
ナガバツガザクラ……140
ナガバテイクワカヅラ……80
ナガバニシキゴロモ……2
ナガバノサクラサウ……122
ナガバムラサキ……38
ナガバモクセイ……99
ナガバヤブチヨロギ……34
ナガバヤブムラサキ……38
ナガミノトネリコ……92
ナギナタカウジユ……9
ナスビノヒゲ……60
ナゼザクラ……126
ナタヲレノキ……99
ナタハジキ……99
ナツノタムラサウ……26
ナツハゼ……149
ナミキサウ……33
ナンキンコザクラ……126
ナンキンムラサキ……141
ナンジヤモンジヤノキ……91
ナントウニガクサ……10
ナンバグサ……37
ナンバンルリサウ……48
ナンメイラ……33
ナンヤウアサガホ……69
ナンヤウサヤバナ……9

ニ

ニガクサ……34
ニガハクカ……14
ニシキカヅラ……76
ニシキゴロモ……2
ニシキジソ……6
ニシキラン……76
ニシゴリ……17
ニチニチクワ……79
ニチニチコウ……79
ニチニチサウ……79
ニツクワウシヤクナゲ……133
ニハハナビ……117
ニヒタカクリンサウ……125
ニヒタカジヤカウサウ……22
ニヒタカツルリンダウ……83
ニホヒニガクサ……10
ニホヒムラサキ……48
ニンジンボク……43

ヌ

ヌカエ……22
ヌマトラノヲ……118

ネ

ネコアサガホ……64
ネコアサガホ……65
ネズミモチ……96
ネヂキ……151
ネナシカヅラ……60
ネバリビジョザクラ……43

ノ

ノアサガホ……64
ノヂトラノヲ……118
ノチヨロギ……34
ノラエ……22

ハ

バイクワツツジ……146
バウシウボク……43
ハウチハカヅラ……64
ハカガミサウ……55
ハクウンボク……103
ハクカ……17
ハクサンカメバサウ……25
ハクサンガヤ……140
ハクサンコザクラ……126
ハクサンシヤクナゲ……141
ハゲイトウモドキ……6
ハコツツジ……148
ハコネコメツツジ……148
ハゴロモルカウ……69
ハシドイ……99
ハゼリサウ……55
ハゼリサウ科……55
ハタツマリ……155
ハタツモリ……155
ハツキザシマ……145
ハトコロシ……103
ハナイカリ……87
ハナイバナ……47
ハナガサ……43
ハナシノブ……59
ハナシノブ科……56
ハナジユンサイ……87
ハナスギ……135
ハナツメクサ……59
ハナハクカ……22
ハナハシドイ……99
ハナハマサジ……117
ハナヒリノキ……136
ハヒコトヂサウ……29
ハヒノキ……104
ハヒノキ科……104
ハヒハマボツス……126
ハヒバラ……37
バベリオ咲カガリビバナ……118
ハビロ……103
ハマカヅラ……44
ハマカンザシ……114
ハマクサ……37
ハマクサギ……43
ハマゴウ……44
ハマザクラ……133
ハマサジ……117
ハマシキミ……44
ハマヂサ……117
ハマヂシヤ……5
ハマナシ……148
ハマネナシカヅラ……60
ハマハギ……44
ハマハヒ……40
ハマハヒ……44
ハマヒルガホ……60
ハマベンケイサウ……51
ハマボツス……121
ハマムラサキ……52
ハマムラサキノキ……52
ハリアサガホ……59
ハリガネカヅラ……40
ハリガネカヅラ……134
ハリサウ……51
ハリマツリ……40
ハルコザクラ……125
ハルノタムラサウ……26
ハルバハクカ……14
ハルリンダウ……84
ハンノキエゴノキ……100

ヒ

ヒイラ……99
ヒカゲツツジ……141
ヒキオコシ……25
ヒキオコシダマシ……30
ヒギリ……40
ヒゲオシベ……26
ヒゴビヤクセン……71
ヒゴロモサウ……30
ビジョザクラ……43
ヒソツプ……10
ヒチノキ……130
ヒトツバ……103
ヒトツバイチヤクサウ……155
ヒトツバタゴ……91
ヒナザクラ……125
ヒナザクラ……126
ヒナビジョザクラ……43
ヒナリンダウ……84
ヒヒラギ……99
ヒメアサガホ……65
ヒメアセビ……140
ヒメイソツツジ……136
ヒメイチヤクサウ……155
ヒメイハカガミ……156
ヒメウスノキ……151
ヒメウラジロエゴノキ……103
ヒメヲドリコサウ……13
ヒメガガイモ……70
ヒメガガブタ……87
ヒメカモメヅル……75
ヒメキセワタ……13
ヒメキランサウ……2
ヒメクルマバナ……13
ヒメコガネヒルガホ……64
ヒメコザクラ……126
ヒメサクラサウ……125
ヒメサヤバナ……6
ヒメサルダヒコ……14
ヒメジソ……18
ヒメシヤクナゲ……133
ヒメシロネ……14
ヒメセンブリ……87
ヒメタツナミサウ……33
ヒメタムラサウ……26
ヒメツルコケモモ……139
ヒメナヘ……91
ヒメナミキ……33
ヒメニガクサ……37
ヒメノアサガホ……65
ヒメハクカ……18
ヒメハナシノブ……56
ヒメハナシノブ……59
ヒメハマボツス……118
ヒメフロツクス……56
ヒメボツス……126
ヒメメグサ……18
ヒヤクリカウ……37
ビヨウブナ……155

第三卷總索引

ヒラギ ……99
ヒラギサウ ……2
ヒラギモクセイ ……99
ヒルガホ ……59
ヒルガホ科 ……59
ヒルギダマシ ……37
ヒルギモドキ ……37
ヒレハリサウ ……52
ビロウドアヲダモ ……95
ビロウドタツナミ ……30
ビロウドチヨロギ ……34
ビロウドナミキ ……33
ビロウドムラサキ ……38
ヒロハアヲダモ ……92
ヒロハクサレダマ ……121
ヒロハスズサイコ ……72
ヒロハチシヤノキ ……48
ヒロハノハマザシ ……117
ヒロハノブタノマンジユウ ……118
ヒロハハナヒリノキ ……136
ヒロハヒメシヤクナゲ ……133
ヒロハヒルガホ ……60
ヒロバホツツジ ……148
ヒロハミミズバヒ ……104

フ

フイリシヤクナゲ ……140
フイリノツルニチニチサウ ……80
フウリンツツジ ……136
フキヅメサウ ……156
フギレヒルガホ ……60
フクマンギ ……48
フクリンアセビ ……140
フクリンネズミモチ ……96
フクロネカヅラ ……72
フクロモチ ……96
フジテンニンサウ ……9
フジモモ ……148
ブゾロイバナ ……5
ブタノマンヂユウ ……118
フタバノキ ……91
フヂウツギ ……88
フヂキ ……95
フチベニシヤクナゲ ……140
フデリンダウ ……87
フナシアケボノサウ ……88
フナバラサウ ……71
フブキバナ ……10
フヨウラン ……72
プリムロース ……122

ヘ

ヘウブ ……155
ベドニー ……34
ベニイチヤクサウ ……152
ベニバナイチヤクサウ ……152
ベニサラサドウダン ……139
ベニシヤクナゲ ……141
ベニドウダン ……136
ベニバナコロミヤ ……56
ベニバナサルビヤ ……29
ベルシヤハシドイ ……100
ヘンデルギ ……76
ベンリイモ ……63

ホ

ホウライアヲカヅラ ……72
ホウライアヲキ ……79
ホウライイケマ ……70
ホウライオホケフチク ……79
ホウライカヅラ ……91
ホウライセンブリ ……83
ホウライムラサキ ……38
ホカケサウ ……39
ホザキザクラ ……125
ホザキノコケザクラ ……126
ホザキノニガクサ ……10
ホザキノムシヤリンダウ ……9
ホシザキキキヤウナデジコ ……56
ホソバアヲダモ ……95
ホソバイソツツジ ……136
ホソバカモメヅル ……75
ホソバシモバシラ ……10
ホソバシヤクナゲ ……141
ホソバツルリンダウ ……83
ホソバノヤマハカカ ……25
ホソバヒメハナシノブ ……56
ホソバヒルガホ ……60
ホソバムラサキ ……38
ホソバヤブカウジ ……130
ホソバヤマジソ ……2
ホソバヤマツツジ ……145
ホソバリンダウ ……84
ホソバルリサウ ……52
ホタルカヅラ ……51
ボタンツツジ ……146
ホツツジ ……148
ホトケノザ ……13
ホトケノツツジ ……13
ボトボトノキ ……103
ホナガアセビ ……140
ホナガサウ ……43
ボリアンタ ……122
ホルトカヅラ ……63
ホルトノキ ……99
ホロムイツツジ ……134
ホンキリシマ ……145
ホンシヤクナゲ ……140

マ

マウシ ……110
マキバクサギ ……39
マサキヅル ……80
マチン ……91
マチン科 ……88
マツノキハバ ……147
マツバカンザシ ……114
マツリ ……96
マツリカ ……96
マネキグサ ……14
マメガキ ……110
マメダホシ ……60
マメヅタカヅラ ……73
マヨラナ ……14
マリクワ ……96
マルバアヲダモ ……95
マルバアキノダムラサウ ……26
マルバアサガホ ……69
マルバアサガホカラクサ ……63
マルバイチヤクサウ ……155
マルバクロバヒ ……104
マルバチシヤノキ ……48
マルバノカモメヅル ……75
マルバルカウ ……69
マンシウハシドイ ……99
マンシウヒキオコシ ……25
マンナ ……95
マンネンロウ ……26
マンリヤウ ……129

ミ

ミカドガシハ ……130
ミゾカウジユ ……18
ミゾカウジユ ……29
ミソガハサウ ……21
ミチノクコザクラ ……126
ミヅイテフ ……83
ミヅガシハ ……87
ミヅタビラコ ……52
ミツデコトヂサウ ……29
ミヅトラノヲ ……9
ミヅトラノヲ ……118
ミヅナ ……52
ミヅネコノヲ ……9
ミツバアキノタムラサウ ……26
ミツバコトヂサウ ……29
ミツバツツジ ……147
ミツバハマゴウ ……44
ミヅハンゲ ……87
ミドリネナシカヅラ ……60
ミネズハウ ……136
ミミズバヒ ……104
ミミスベリ ……104
ミムラサキ ……38
ミヤマアケボノサウ ……88
ミヤマイボタ ……96
ミヤマウツボグサ ……5
ミヤマキランサウ ……13
ミヤマキリシマ ……142
ミヤマクルマバナ ……6
ミヤマクロウスゴ ……151
ミヤマコイチヤクサウ ……155
ミヤマコケリンダウ ……87
ミヤマコナスビ ……121
ミヤマザクラ ……125
ミヤマシシアクチ ……130
ミヤマタゴバウ ……121
ミヤマタフバナ ……6
ミヤマタムラサウ ……26
ミヤマツツジ ……146
ミヤマナミキ ……33
ミヤマヒキオコシ ……25
ミヤマホツツジ ……148
ミヤマヤブカウジ ……130
ミヤマリンダウ ……84
ミヤマワスレナサウ ……51

ム

ムシヤリンダウ ……9
ムラサキ ……48
ムラサキイソマツ ……114
ムラサキキリシマ ……145
ムラサキ科 ……44
ムラサキサルビヤ ……30
ムラサキシキブ ……38
ムラサキセンブリ ……88
ムラサキツリガネツツジ ……139
ムラサキテンニンサウ ……9
ムラサキニヒタカハクカ ……17
ムラサキハシドイ ……99
ムラサキヒキオコシ ……26
ムラサキミノ ……145
ムラサキヤシホツツジ ……146
ムラサキヤマツツジ ……145
ムラサキランタナ ……43

メ

メグサ ……17
メシツブノキ ……151
メシヤクナゲ ……141
メノウサウ ……51
メハジキ ……13
メバハキ ……21
メメズリ ……104
メヤマハクカ ……25
メリツササウ ……17

モ

モウリンクワ ……96
モクカウクワ ……95
モクセイ ……99
モクセイ科 ……91
モクタチバナ ……130
モクバベン ……43
モクラマカヅラ ……72
モチツツジ ……145
モナルダバナ ……18
モミヂヒルガホ ……65
モミヂルカウ ……69
モリクワ ……6
モロコシサウ ……121
モンパノキ ……52

ヤ

ヤウシユサクラサウ ……122
ヤウラクツツジ ……136
ヤウラクツツジ ……139
ヤクモサウ ……13
ヤクヨウサルビヤ ……21
ヤグラザクラ ……122
ヤグルマクワクカウ ……10
ヤクワイサウ ……59
ヤチカバ ……99
ヤチダモ ……95
ヤチツツジ ……134
ヤナギタウワタ ……70
ヤナギトラノヲ ……121
ヤナギハクカ ……10
ヤナギハナシノブ ……56
ヤニギ ……107
ヤハラケガキ ……110
ヤブカウジ ……129
ヤブカウジ科 ……129
ヤブタチバナ ……129
ヤブチヨロギ ……34
ヤブムラサキ ……38
ヤヘキバナシヤクナゲ ……141
ヤヘゲラ ……145
ヤヘザキクサギ ……39
ヤヘザキヤマツツジ ……145
ヤヘセンブリ ……88
ヤヘヤマカラクサ ……63
ヤヘヤマジフニヒトヘ ……2
ヤヘヤマセイシクワ ……141
ヤヘヤマツツジ ……145
ヤヘライラツク ……100
ヤマイチヤクサウ ……155
ヤマウグヒス ……52
ヤマエゴ ……22
ヤマカガ ……103
ヤマガキ ……110
ヤマキ ……104
ヤマキセワタ ……14
ヤマクネンボ ……121
ヤマクルマバナ ……6
ヤマジソ ……21
ヤマシロ ……38
ヤマタチバナ ……129
ヤマタツナミサウ ……30
ヤマタフバナ ……6
ヤマテサ ……103
ヤマヂワウ ……13
ヤマツツジ ……145
ヤマトアヲダモ ……92
ヤマトウチハ ……156
ヤマトシヤクナゲ ……141
ヤマトレンゲウ ……92
ヤマドリサウ ……39
ヤマハクカ ……25
ヤマムラサキ ……38
ヤマルリサウ ……52
ヤメラガシハ ……48
ヤラツバ ……64
ヤンバル ……33
ヤンバルクルマバナ ……14
ヤンバルタムラサウ ……26
ヤンバルツルハグカ ……14
ヤンバルナミキサウ ……33

ユ

ユキノキ ……107
ユキミサウ ……29
ユキヨセサウ ……10
ユキワリコザクラ ……125
ユキワリサウ ……125
ユフガホ ……59

ヨ

ヨウサイ ……64
ヨシノシヅカ ……88
ヨドガハツツジ ……146
ヨナバ ……140
ヨボ ……155
ヨルガホ ……59
ヨレハナビ ……117

ラ

ライオンス ……13
ラシヤウモンカヅラ ……17
ラワンデル ……13
ランギク ……39
ランダイアクシバ ……135
ランダイフタギ ……107
ランタナ ……40

リ

リウキウアカテツ ……113
リウキウイモ ……63
リウキウコザクラ ……118
リウキウコザクラ ……126
リウキウソケイ ……96
リウキウツツジ ……141
リウキウツルカウジ ……130
リウキウハヒノキ ……104
リウキウフヂウツギ ……91
リウキウムラサキ ……141
リウキウワウバイ ……95
リヤウブ ……155
リヤウブ科 ……155
リヤウボウ ……155
リユウセンクワ ……40
リンダウ ……83
リンダウ科 ……80

ル

ルカウアサガホ ……69
ルカウサウ ……69
ルリカラクサ ……55
ルリサウ ……51
ルリジソ ……5
ルリヂサ ……47
ルリテフテフ ……17
ルリハクカ ……5
ルリハコベ ……117
ルリマツリ ……114
ルリマツリモドキ ……114
ルリミノウシコロシ ……107

レ

レウボ ……155
レウボウ ……155
レチハマゴウ ……44
レモンエゴマ ……22
レモンジソ ……22
レンゲウ ……92
レンゲツツジ ……147
レンゲボタン ……147

ロ

ロクオンサウ ……71
ロクダウボク ……91
ロクロギ ……103
ロココ咲カガリビバナ ……118

ワ

ワウゴン ……33
ワウシユクバイ ……95
ワウバイ ……95
ワスルナグサ ……51
ワスレナグサ ……51
ワスレナサウ ……51
ワタクワクカウ ……34
ワタチヨロギ ……34

第三卷總索引

第三卷五十音總索引

終

內外植物原色大圖鑑
不模寫
許複製
著者檢印證

內外植物原色大圖鑑
第三卷
布頒約豫

昭和八年六月廿日發行
昭和八年六月十日印刷

發行所　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　植物原色大圖鑑刊行會　振替東京四六〇一六番
責任製本所　東京市神田區美土代町三丁目拾四番地　合資會社　山口製本所
印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社
圖版製版技師　橋本敏夫
製版主任　高橋八十八
製版所　東京市本鄉區駒込曙町拾三番地　照文社製版部
本文及彩色圖
印刷者　東京市京橋區築地四丁目四番地　鈴木茂
發行者　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　宮下軍平
著作者　東京市本鄉區駒込曙町拾三番地　村越三千男

148

638-81
1200501565650